新潟県埋蔵文化財調査報告書　第 275 集

一般国道８号

柏崎バイパス関係発掘調査報告書ＸＶ

丘 江 遺 跡 Ⅰ

２０１８

新　潟　県　教　育　委　員　会

公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

一般国道８号

柏崎バイパス関係発掘調査報告書ＸＶ

丘江（おかえ）遺跡Ⅰ

２０１８

新　潟　県　教　育　委　員　会

公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

序

一般国道８号は新潟市を起点とし、日本海沿いに北陸地方を縦断し、京都市に至る総距離561.2㎞の主要幹線道路です。新潟県と北陸地方及び京阪神地方を結ぶとともに、新潟県の産業・経済・文化の交流・発展に大きな役割を果たしています。

しかし、現在の柏崎市域では、市街地化の進展及び交通需要の増加に伴い、慢性的な交通混雑を引き起こしています。柏崎バイパス建設事業は、このような問題を解決し、柏崎市内の安全で円滑な交通の確保と、地域開発の支援などを目的に計画されました。

本書は、この柏崎バイパスの建設に先立ち、2014年度に実施した丘江遺跡の発掘調査報告書です。

丘江遺跡は中世・近世の集落遺跡で、集落域に隣接して生産域（水田）も見つかりました。集落と水田が隣接する当時の景観がうかがえます。また中世の井戸からは、土師器の皿が17枚まとまって出土し、その多くが破損のない完形品でした。井戸を埋め戻す際の祭祀で使用した土師器の皿を、まとめて投げ込んだ可能性があります。そのほか破片ですが茶臼も出土しており、注目されます。

発掘調査で得られた資料や本報告書が、埋蔵文化財の理解や認識を深める契機となり、地域の歴史資料として広く活用されるものと期待しています。

最後に、この発掘調査で多大な御協力と御理解をいただいた柏崎市教育委員会、柏崎市都市整備部八号バイパス事業室、並びに地元の方々、また発掘調査から本報告書の作成まで、格別な御配慮をいただいた国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所に対して厚くお礼申し上げます。

2018年３月

新潟県教育委員会

教育長　池　田　幸　博

例　　言

1　本報告書は、新潟県柏崎市田塚３丁目丘江地内ほかに所在する丘江遺跡の発掘調査記録である。

2　この調査は、一般国道８号柏崎バイパス建設事業に伴い、国土交通省から新潟県教育委員会（以下、県教委とする）が受託したもので、調査主体である県教委は公益財団法人新潟県埋蔵文化財事業団（以下、埋文事業団とする）に発掘調査を依頼した。

3　埋文事業団は、2014（平成 26）年度に発掘調査、2017（平成 29）年度に整理･報告書作成を株式会社吉田建設（以下吉田建設とする）に委託して実施した。

4　出土遺物及び調査・整理作業に係る各種資料（含観察データ）は、一括して県教委が保管している。データの有無や閲覧希望は、県教委に問い合せ願いたい。

5　図書館等（著作権法第 31 条１項に規定する図書館等をいう。）の利用者は、その調査研究の用に供するために、本報告書の全体について、複製することができる。

6　遺物の注記は丘江遺跡の略記号「14 オカエ」とし、出土地点や層位を続けて記した。

7　本書の図中で示す方位は、すべて真北である。

8　遺物番号は種別に関わりなく通し番号とし、本文及び観察表・図面図版・写真図版の番号はすべて一致している。

9　本文中の注は脚注とし､頁ごとに番号を付した。また､引用文献は著者及び発行年（西暦）を文中に［　］で示し、巻末に一括して掲載した。

10　出土遺物については、品田高志氏･伊藤啓雄氏（柏崎市教育委員会）、水澤幸一氏（胎内市教育委員会）から、種々御教示頂いた。

11　自然科学分析に係る各種分析は、パリノ・サーヴェイ株式会社に委託し、分析結果を掲載した。

12　本書の執筆は、今井昭俊（吉田建設　調査員）が担当した。執筆分担は以下のとおりである。なお、第Ⅰ章１については、山崎忠良（埋文事業団　班長）が執筆した。第Ⅳ章については、伊藤正志･田中万里子（以上、吉田建設）の原稿を基に今井が加筆・修整して掲載した。また、各種図面・写真図版の作成は、水科かおり（吉田建設　調査補助員）が作成した。編集は、春日真実（埋文事業団課長代理）の指導のもと、今井が行った。

第Ⅰ章１ …… 山崎
第Ⅰ章２、第Ⅱ～Ⅴ章、第Ⅶ章 …… 今井
第Ⅵ章 …… パリノ・サーヴェイ株式会社
要約 …… 春日

13　発掘調査から本書作成に至るまで、下記の方々及び機関から多くの御教示・御協力を賜った。ここに記して厚く御礼を申し上げる。（敬称略　五十音順）

相羽重徳　継　実　中島義人　平吹　靖　柏崎市教育委員会
胎内市教育委員会　柏崎土地改良区　柏崎市都市整備部八号バイパス事業室
柏崎市ガス水道局　田塚農家組合　田塚町内会

目　次

第Ⅰ章　序　　説 …… 1

1　調査に至る経緯 …… 1

2　調　査　経　過 …… 2

A　試掘確認調査 …… 2
B　本発掘調査 …… 2

3　調査・整理体制 …… 3

第Ⅱ章　遺跡の位置と環境 …… 4

1　地理的環境 …… 4

2　歴史的環境 …… 6

第Ⅲ章　調査の概要 …… 8

1　グリッドの設定と地区名 …… 8

2　基本層序 …… 8

第Ⅳ章　遺　　構 …… 10

1　遺構の概要と記述の方法 …… 10

A　概　　要 …… 10
B　遺構の記述と表記方法 …… 10

2　遺構各説 …… 11

A　掘立柱建物 …… 11
B　井　　戸 …… 15
1）1　　区 …… 15　2）2　　区 …… 18
3）3　　区 …… 20
C　土　　坑 …… 21
1）1　　区 …… 21　2）2　　区 …… 22
3）3　　区 …… 25
D　溝 …… 25
1）1　　区 …… 25　2）2　　区 …… 26
3）3　　区 …… 27
E　道路状遺構 …… 27
F　性格不明遺構 …… 28
G　ピット …… 28
H　下　　層 …… 29

第Ⅴ章　遺　　物 …… 30

1　概　　要 …… 30

2　遺　物　各　説 …… 30

A　土器・陶磁器 …… 30
B　石　製　品 …… 38
C　木　製　品 …… 40
D　土　製　品 …… 42
E　金　属　製　品 …… 42

第Ⅵ章　自然科学分析 …… 43

は　じ　め　に …… 43

1　花　粉　分　析 …… 43

A　試　　料 …… 43
B　分　析　方　法 …… 43
C　結　　果 …… 44
D　考　　察 …… 46

2　種　実　同　定 …… 47

A　試　　料 …… 47
B　分　析　方　法 …… 47
C　結　　果 …… 47
D　考　　察 …… 50

3　樹　種　同　定 …… 60

A　試　　料 …… 60
B　分　析　方　法 …… 60
C　結　　果 …… 60
D　考　　察 …… 63

第Ⅶ章　ま　と　め …… 68

1　丘江遺跡における土器・陶磁器の様相 …… 68

A　土器・陶磁器類の構成 …… 68
B　陶磁器の時期別推移 …… 68
C　共伴関係からみる土師質土器皿の年代 …… 71

2　遺 構 の 変 遷 …… 74

A　掘 立 柱 建 物 …… 74
B　区　画　溝 …… 75
C　周溝建物の可能性 …… 76
D　小　　結 …… 77

3　文献史料からみる丘江遺跡とその周辺 …… 79

《要　　約》…… 80
《引用・参考文献》…… 81
《観　　察　　表》…… 83

挿図目次

第１図　柏崎バイパスの法線と丘江遺跡の位置 …… 1
第２図　丘江遺跡の位置と周辺の微地形 …… 2
第３図　試掘確認トレンチと本調査範囲 …… 2
第４図　柏崎周辺の地形 …… 5
第５図　周辺の古代・中世の遺跡 …… 7
第６図　グリッド設定図 …… 8
第７図　基本層序柱状図 …… 9
第８図　遺構の平面・断面形態、堆積状況の分類 …… 10
第９図　柱穴の埋土堆積状況の分類 …… 11
第10図　土器・陶磁器類の分類 …… 31
第11図　花粉化石群集 …… 44
第12図　花粉化石 …… 46
第13図　種実遺体 …… 58
第14図　木材 …… 61
第15図　種別出土比率 …… 68
第16図　陶磁器の時期別出土量 …… 69
第17図　時期別器種組成グラフ …… 70
第18図　土師質土器皿の構成 …… 71
第19図　丘江遺跡出土土師質土器皿類の編年試案１ …… 72
第20図　丘江遺跡出土土師質土器皿類の編年試案２ …… 73
第21図　掘建柱建物の軸方位 …… 74
第22図　丘江遺跡の遺構編年図 …… 78
第23図　一遍上人絵巻に描かれる住居 …… 77

表　目　次

第１表　周辺の遺跡一覧表 …… 7
第２表　花粉分析の試料一覧 …… 43
第３表　花粉分析結果 …… 45
第４表　種実同定結果 …… 49・50
第５表　主な種実遺体の計測値 …… 51～57
第６表　樹種同定結果 …… 62
第７表　木器の器種別樹種構成 …… 64
第８表　陶磁器の器種別出土比率 …… 69

図 版 目 次

【図面図版】
図版１　全体図
図版２　１・２区全体図１
図版３　１・２区全体図２
図版４　２・３区全体図
図版５　分割図１
図版６　分割図２
図版７　分割図３
図版８　分割図４
図版９　分割図５
図版10　分割図６
図版11　分割図７
図版12　分割図８
図版13　分割図９
図版14　分割図10
図版15　分割図11
図版16　分割図12
図版17　分割図13
図版18　分割図14
図版19　分割図15
図版20　分割図16
図版21　分割図17
図版22　遺構個別図１　掘立柱建物１
図版23　遺構個別図２　掘立柱建物２
図版24　遺構個別図３　掘立柱建物３
図版25　遺構個別図４　掘立柱建物４
図版26　遺構個別図５　掘立柱建物５
図版27　遺構個別図６　掘立柱建物６
図版28　遺構個別図７　掘立柱建物７
図版29　遺構個別図８　掘立柱建物８
図版30　遺構個別図９　掘立柱建物９
図版31　遺構個別図10　掘立柱建物10
図版32　遺構個別図11　掘立柱建物11
図版33　遺構個別図12　掘立柱建物12
図版34　遺構個別図13　井戸１
図版35　遺構個別図14　井戸２
図版36　遺構個別図15　井戸３
図版37　遺構個別図16　井戸４
図版38　遺構個別図17　井戸５
図版39　遺構個別図18　井戸６
図版40　遺構個別図19　井戸７
図版41　遺構個別図20　井戸８
図版42　遺構個別図21　土坑１
図版43　遺構個別図22　土坑２
図版44　遺構個別図23　土坑３
図版45　遺構個別図24　土坑４
図版46　遺構個別図25　土坑５
図版47　遺構個別図26　土坑６
図版48　遺構個別図27　溝１
図版49　遺構個別図28　溝２、道路状遺構、性格不明遺構、ピット１
図版50　遺構個別図29　ピット２
図版51　下層全体図、遺構個別図１
図版52　土器・陶磁器類１
図版53　土器・陶磁器類２
図版54　土器・陶磁器類３
図版55　土器・陶磁器類４
図版56　土器・陶磁器類５
図版57　土器・陶磁器類６、石製品１
図版58　石製品２（砥石・磨製石斧・石臼）、木製品１（柱根）
図版59　木製品２（柱根）
図版60　木製品３（漆器椀・盤・箸・杓子・曲物）
図版61　木製品４（曲物・柄杓・独楽・Ｙ字状木製品・火鑽臼・卒塔婆）
図版62　木製品５（下駄・農具）
図版63　木製品６（板材ほか）、金属製品（鉄鍋）、土製品（土錘・羽口）、銭貨

【写真図版】
図版64　遺跡遠景
図版65　遺跡位置、基本層序、SB4345完掘
SE3764出土遺物
図版66　１区掘立柱建物１
図版67　１区掘立柱建物２
図版68　１区掘立柱建物３
図版69　１区掘立柱建物４
図版70　２区掘立柱建物１
図版71　２区掘立柱建物２
図版72　２区掘立柱建物３
図版73　２区掘立柱建物４
図版74　２区掘立柱建物５
図版75　２区掘立柱建物６、３区掘立柱建物１
図版76　３区掘立柱建物２
図版77　３区掘立柱建物３、１区井戸１
図版78　１区井戸２
図版79　１区井戸３
図版80　１区井戸４
図版81　１区井戸５
図版82　１区井戸６
図版83　１区井戸７、２区井戸１
図版84　２区井戸２

図版85　２区井戸３
図版86　２区井戸４
図版87　２区井戸５
図版88　２区井戸６、３区井戸１
図版89　３区井戸２
図版90　３区井戸３
図版91　３区井戸４、１区土坑１
図版92　１区土坑２
図版93　１区土坑３
図版94　１区土坑４、２区土坑１
図版95　２区土坑２
図版96　２区土坑３
図版97　２区土坑４
図版98　２区土坑５、３区土坑１
図版99　３区土坑２、１区溝１
図版100　１区溝２、２区溝１
図版101　２区溝２、３区溝、１区道路状遺構
図版102　１区性格不明遺構、１区ピット１
図版103　１区ピット２
図版104　１区ピット３、２・３区ピット
図版105　３区ピット、１区下層遺構
図版106　土器・陶磁器類１
図版107　土器・陶磁器類２
図版108　土器・陶磁器類３
図版109　土器・陶磁器類４
図版110　土器・陶磁器類５、石製品１
図版111　石製品２、木製品１
図版112　木製品２
図版113　木製品３
図版114　木製品４
図版115　木製品５、土製品、金属製品

第Ⅰ章　序　　説

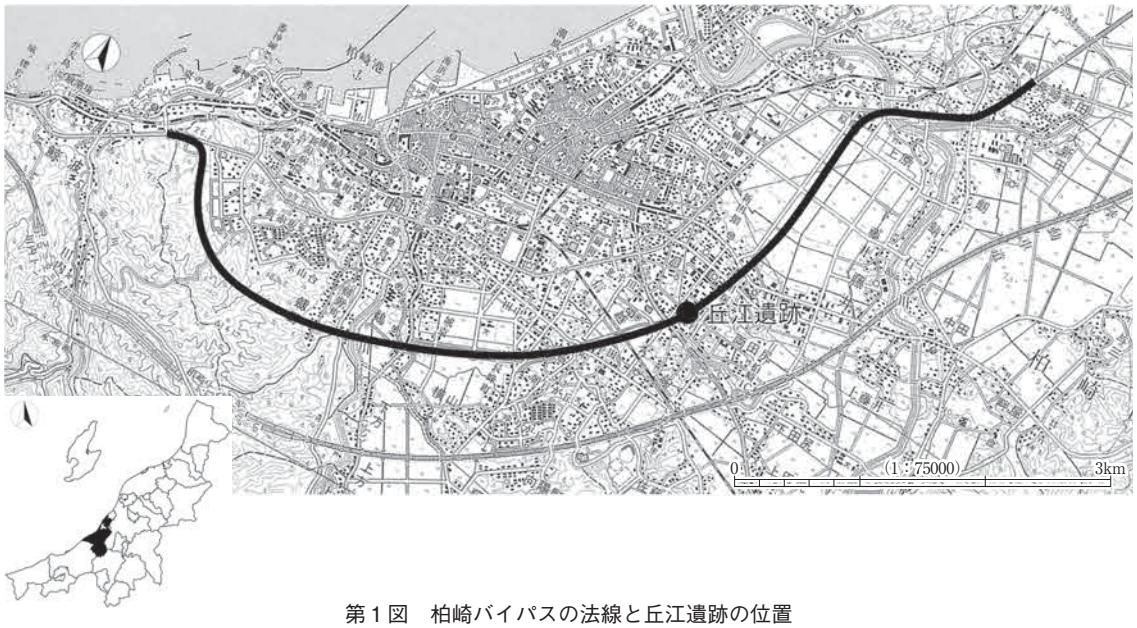
1　調査に至る経緯

一般国道８号柏崎バイパスは、柏崎市長崎を起点に同市鯨波に至る延長11.0㎞の幹線道路である。柏崎市内の安全で円滑な交通の確保と、地域開発の支援などを目的に計画され、1987（昭和62）年度に事業化された。1991（平成３）年度から用地買収、1993（平成５）年度から工事に着手し、整備が進められている。

国土交通省（以下、国交省）は新潟県教育委員会（以下、県教委）に柏崎市東原町から茨目間の分布調査を依頼し、県教委の委託を受けた財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団（現公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団）が2002（平成14）年７月に実施した。その結果、対象地域の広範囲で古代・中世・近世の遺物が採取でき、遺跡の存在する可能性が高いことから、道路法線のほぼ全域について試掘確認調査が必要であると県教委に報告した。

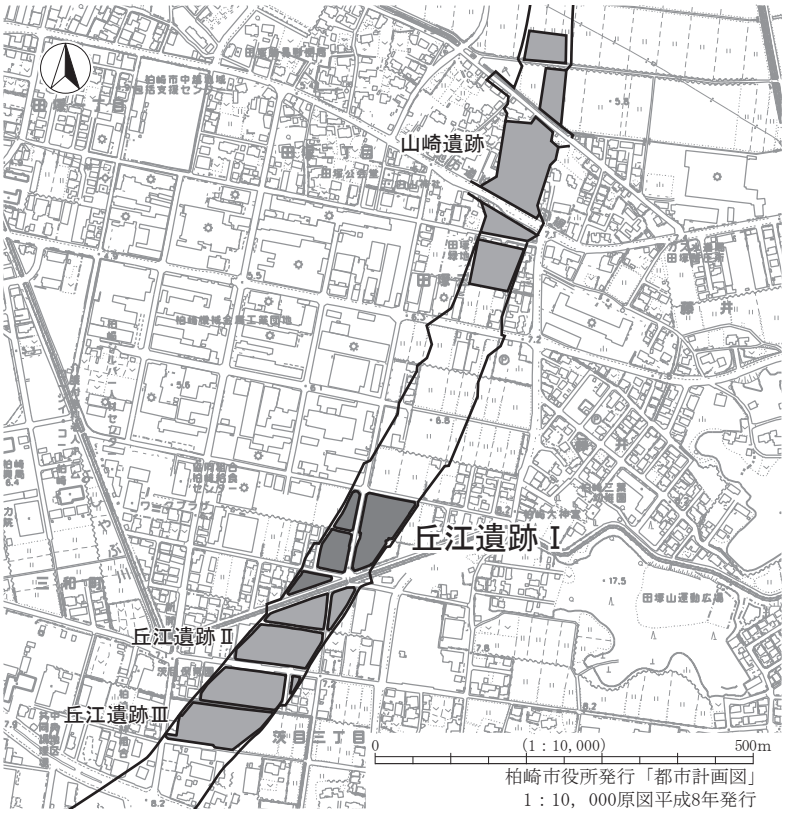
丘江遺跡に係る試掘確認調査は、埋文事業団が2012（平成24）年10・11月に、県教委が2013（平成25）年７・８月、2014（平成26）年７月に、計73,909㎡を対象に実施した。その結果、下層から弥生時代後期から古墳時代前期の遺構・遺物が、上層から中世・近世の遺構・遺物が検出された。そのため丘江遺跡として新規登録し、下層19,970㎡、上層54,467㎡、延74,437㎡について本発掘調査（以下、本調査）が必要となった。

2014年度に、「平成26年３月31日付け国北整長調第77－２号」で国交省から県教委に本調査の依頼があり、県教委は「平成26年４月２日付け教文第494号の２」で埋文事業団に調査の実施を依頼した。

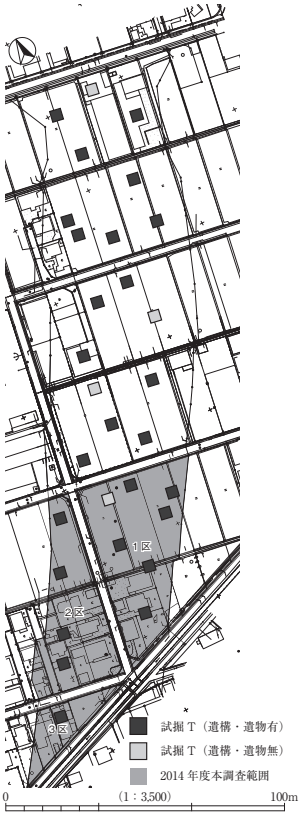


第１図　柏崎バイパスの法線と丘江遺跡の位置

［国土地理院 2007（平成 19）年発行「柏崎」「岡野町」1：50,000 を縮小］



第２図　丘江遺跡の位置と周辺の微地形



第３図　試掘確認トレンチと本調査範囲

2　調　査　経　過

A　試掘確認調査

試掘確認調査は、2012（平成24）年10月1日から19日、並びに11月12日から16日にかけて、計19日間にわたって実施した。調査対象面積は53,300㎡、そのうち調査面積は1,130㎡で、試掘確認率は2.1％となる。調査方法は、事業予定地内に調査坑（トレンチ：略号T）を任意に設定し、重機（0.4級バックホー）及び人力による掘削・精査を行った。遺構・遺物の有無の確認をし、調査坑（T）の位置、土層の堆積状況等を図面・写真に記録保存した。

45か所（24‐1T～45T）で試掘調査を実施したところ、23か所で遺構を検出、34か所で遺物が出土した。試掘調査の結果、丘江遺跡は弥生時代後期～古墳時代前期と中近世の重層遺跡で、遺構検出面が2面あることが明らかとなった。これを受け、本発掘調査の面積は上・下層合わせて49,337㎡と決まり、内訳は上層が29,367㎡、下層が19,970㎡である。

なお、今回の調査範囲の南側には未買収地を含む未調査地が存在するが、丘江遺跡の調査範囲がさらに広がる可能性が高い。

B　本発掘調査

本発掘調査は、2014（平成26）年４月14日から開始し、同年12月27日に終了した。調査面積は上・下層合わせて9,750㎡である。

初日から５月初頭までは、重機による暗渠掘削ならびに表土掘削を行った。５月15日より作業員を投入

し、１区から本格的に発掘調査を開始した。この時、調査員１名が重機に立ち会い、発掘調査と同時並行で残りの２・３区の表土掘削を進めた。本調査範囲の表土掘削が終了したのは６月25日である。これ以降は、３班体制で本発掘調査にあたった。基本は、３班ともに同一地区内の調査を行ったが、調査の進捗状況によって、班ごとに各地区を担当し、同時進行で作業にあたることもあった。

９月18日には、１回目の航空写真撮影及び高所作業車による写真撮影を行った。対象は1区南と2区南である。その後、９月20日に現地説明会を実施し、延べ74人が参加した。現地説明会以降も調査は継続して行い、11月22日に2回目の航空写真撮影及び高所作業車による写真撮影を行った。この時の対象は、２区北及び３区である。12月12日には、最後の高所作業車による写真撮影を行う。対象は、用水路下や重機足場下などの調査範囲の残存部である。そして、12月27日には遺構測量がすべて完了し、現地の後片付けをして撤収した。

3　調査・整理体制

試掘確認調査

年　　度	2012（平成24）年
調査期間	2012年10月1日～2012年10月19日
	2012年11月12日～2012年11月16日
調査主体	新潟県教育委員会（教育長　高井盛雄）
調　　査	財団法人　新潟県埋蔵文化財調査事業団
総　　括	木村正昭（事務局長）
管　　理	熊倉宏二（総務課長）
庶　　務	仲川国博（総務課班長）
調査総括	高橋　保（調査課長）
調査担当	渡邉裕之（試掘・確認担当課長代理）
調査職員	朝岡政康（調査課主任調査員）

本発掘調査

年　　度	2014（平成26）年
調査期間	2014年4月14日～2014年12月27日
調査主体	新潟県教育委員会（教育長　高井盛雄）
調　　査	公益財団法人　新潟県埋蔵文化財調査事業団
総　　括	土肥　茂（事務局長）
管　　理	熊倉宏二（総務課長）
庶　　務	仲川国博（総務課班長）
調査総括	高橋　保（調査課長）
調査指導	田海義正（調査課長代理）
調査監理	山崎忠良（調査課班長）
	阿部友晴（調査課主任調査員）
支援組織	株式会社　吉田建設
調査担当	伊藤正志（株式会社　吉田建設）
現場代理人	渋木宏人（株式会社　吉田建設）
調　査　員	今井昭俊（株式会社　吉田建設） 田中万里子（株式会社　吉田建設）

整理作業

年　　度	2017（平成29）年
調査期間	2017年4月3日～2018年3月31日
調査主体	新潟県教育委員会（教育長　池田幸博）
調　　査	公益財団法人　新潟県埋蔵文化財調査事業団
総　　括	清野一善（事務局長）
管　　理	松田　祐（総務課長）
庶　　務	星野美奈（総務課班長）
整理総括	沢田　敦（調査課長）
整理指導	春日真実（調査課本調査担当課長代理）
整理担当	今井昭俊（株式会社　吉田建設）
支援組織	株式会社　吉田建設
作　業　員	佐野美来子、菅沼克絵、長沼直美、 中村美智子、水科かおり、山崎雄史、 矢部千栄子

第Ⅱ章　遺跡の位置と環境

1　地 理 的 環 境

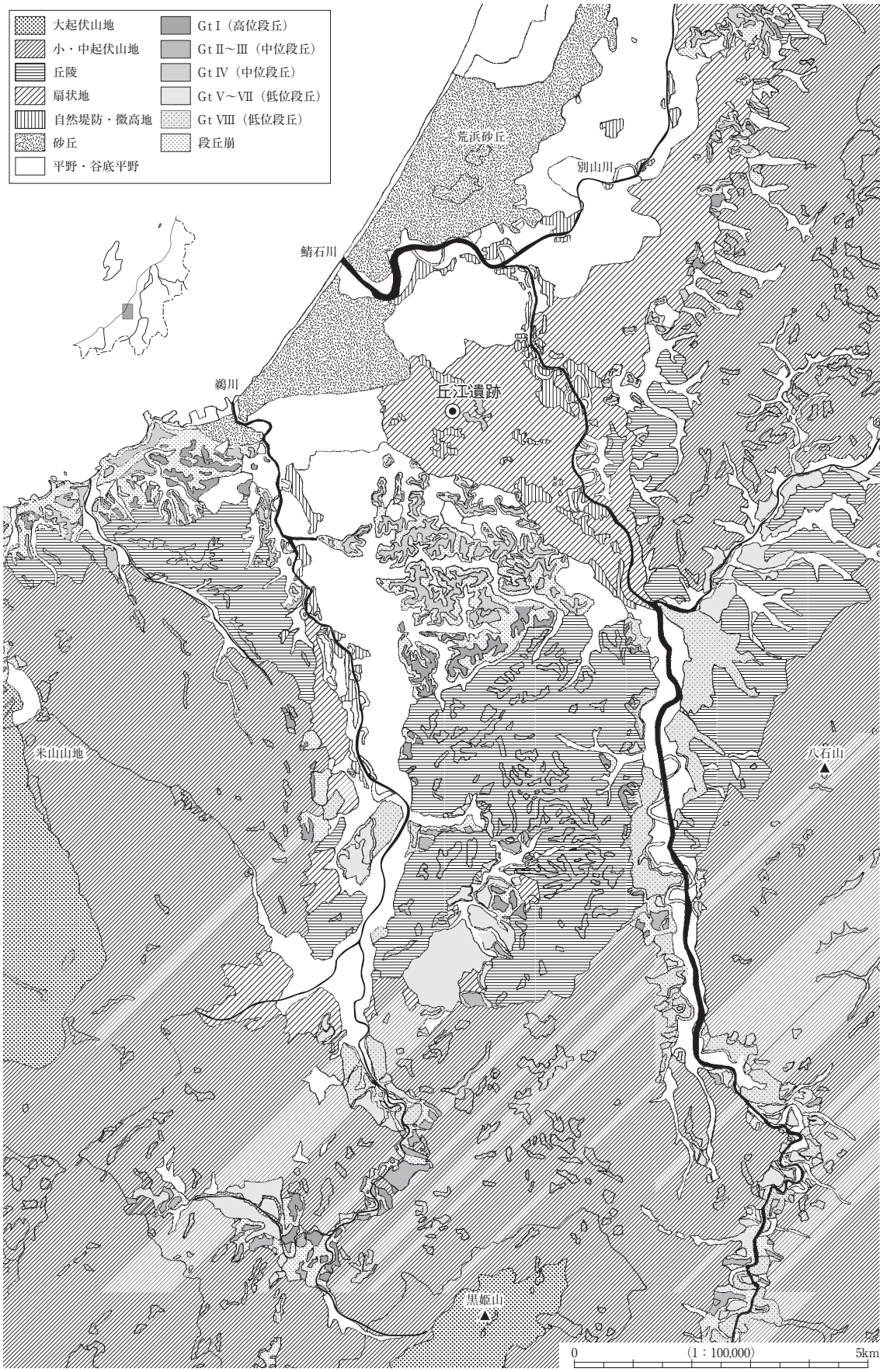
柏崎平野の地勢　柏崎平野は、主要河川である鵜川と鯖石川及びその支流の別山川によって形成された幅約７㎞、長さ約18㎞の小規模な臨海沖積平野である。その南と東西の三方は「刈羽三山」を頂点とする山地や東頸城丘陵によって囲まれ黒姫山山頂付近は大起伏山地に地形区分され、頸城方面との分水嶺をなす。こうした山地・丘陵の縁辺や岸部には荒浜砂丘が発達し、その後背には湿地性の沖積地が展開する［鈴木ほか1988・1989］。砂丘形成の顕著な時期に河口部が閉ざされることにより湛水し、「鏡ヶ沖」などと称される湖沼と化した［石井1981、柏崎市1972］。丘陵の縁辺は、中・高位の河岸段丘が分布している。

こうした柏崎平野周辺の地形的特徴は、平野を北流する鵜川・鯖石川によって西部・中央部・東部に三分される。東部は鯖石川以東の地域に相当し、丘陵や沖積地・砂丘が発達している。刈羽・三島丘陵などの丘陵地帯と別山川・長鳥川地域の沖積地、さらには日本海岸沿の砂丘が広く展開し、その軸はいずれも北北東―南南西方向を示している。こうした地形的特徴は新第三系以降の地質構造を反映したもので、褶曲構造の向斜・背斜方向と一致している［鈴木ほか1988・1989、大野・徳間ほか1990］。

中央部は鵜川・鯖石川流域に沿って黒姫山地や丘陵が南北方向に展開し、その縁辺では中位段丘地帯の発達が顕著である。中位段丘面は著しく樹枝状に開析され鵜川・鯖石川が生成した沖積地に接している。中央部以西では地形の軸が東部に比べて南北方向にずれているが、それは新第三系以降の地質構造の褶曲区の違いに由来するものと推測されている［大野・徳間ほか1990］。

西部は鵜川左岸地帯一帯を指し、米山から続く山地・丘陵が発達している。当地域では、米山山地が海岸に達して断崖をなし、その東側では狭小な中・高位段丘面を形成している。砂丘や沖積地の形成に乏しい地域であり、広範囲に発達した沖積地や砂丘が展開する東部や中央部とは対照的な様相を示している。

鯖石川流域の地形と遺跡の位置　丘江遺跡は柏崎平野北西部、鯖石川左岸に位置し、扇状地の中の微高地に所在する。標高は6～7m で、海岸線からは約3km 内陸にある。遺跡の西側には柏崎の市街地が広がるほか、鯖石川支流の小河川が流れる。新潟県の河川は上流に地すべり地帯が多く、浸食、運搬作用が盛んである。さらに下流には灌漑用の取水施設が多いため、河川の流れが下流近くで緩やかになり、その結果天井川が形成されやすい。鯖石川もこの例にもれず、平野の形成、遺跡の形成に大きな影響を及ぼす。最上部柏崎面が完成された後も河川の下刻は続き、完成した柏崎面を侵食していった。また、洪水の際の蛇行により平野部では側方侵食が行われ、中流から下流にかけて柏崎面を破壊し、新たに鯖石川面と呼ばれる沖積面を作り出した。この鯖石川面は鯖石川流域の幅１㎞の狭い範囲にのみ分布する面であるが、この面により鯖石川流域の氾濫原が形成され、両岸の自然堤防にはいくつかの古代及び中世の遺跡が立地している。さらに、鯖石川の蛇行が作り出しているものに荒浜砂丘の新砂丘が挙げられる。新砂丘は平安時代以降西山丘陵の南側、鯖石川右岸に大規模な砂丘を作り出し、土砂崩れをしばしば起こして河道の蛇行にさらに拍車をかけていた。合流部付近には荒浜砂丘により形成された丘があり、鯖石川と荒浜・柏崎両砂丘により形成された後背湿地が広がる。両河川の合流部のため水が集中し、洪水により破堤するため、河道がしばしば替えられていた。このため近辺の遺跡は、河川の氾濫の影響を受けていた可能性がある。



［飯坂盛泰ほか2105に加筆・修正して作成］

第４図　柏崎周辺の地形

2　歴史的環境

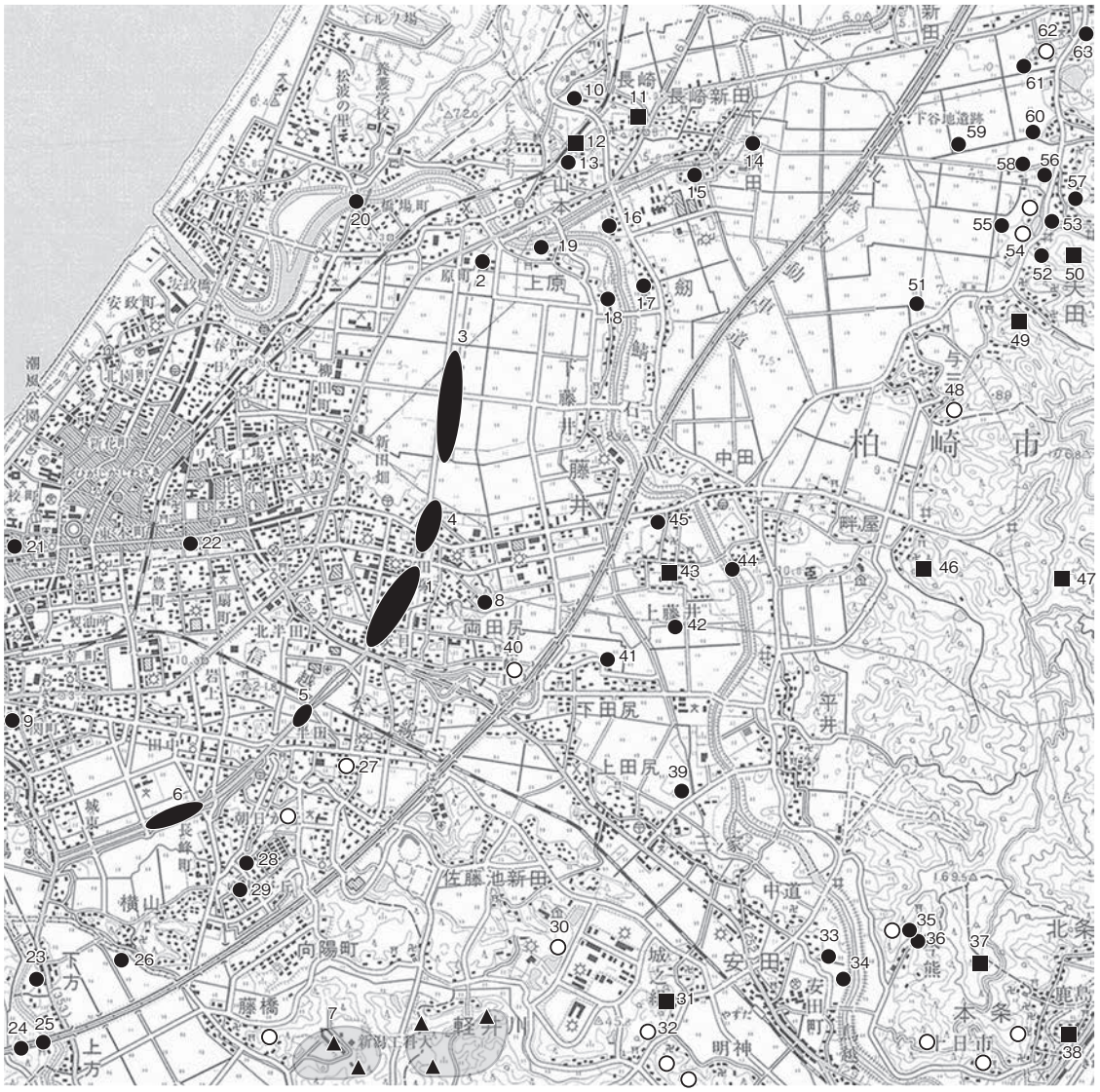
11世紀末から12世紀中葉頃には『和名類聚抄』に記載される郡・郷は再編され、各地に荘園や郷・保を単位とする国衙領が成立した。中世の鵜川流域は、古代の三嶋郡三嶋郷をほぼ踏襲した鵜川荘の荘域であった。古代の三嶋郡一帯は、中世では鵜川荘、佐橋荘、比角荘といった荘園名で表記され、３荘園のほかに原田保、赤田保など、わずかな資料に保名があることから、国衙領の存在が知られている。現状として、荘園・国衙領の所在は、鵜河荘などの荘園を柏崎平野南部の鵜川・鯖石川流域に、原田保などの国衙領を主に北部の別山川流域に比定するのが定説化している［金子1976］。史料として、『吾妻鏡』1186年（文治2年）３月12日条の「三箇国庄々未進注文」には、柏崎平野に比定される荘園として「宇河（鵜川）荘」・「佐橋（鯖石）荘」・「比角荘」の三荘園が記載されている［荻野1986］。

中世の遺跡は、集落遺跡が丘陵裾部や自然堤防などの沖積地に分布し、墳墓や塚・経塚などが丘陵裾部や中位段丘などの台地上に立地する傾向が認められる［品田1995］。

本遺跡の周辺の遺跡には、宝田遺跡（３）、山崎遺跡（４）、小峯遺跡（５）、田塚山遺跡群（８）などがある。田塚山遺跡群は本遺跡から東へ約300mに立地し、仏堂とその関連施設が築造され、周囲に墳墓が配置されている［品田ほか1996］。田塚山遺跡群から南側の丘陵上に立地する小児石遺跡（40）は、中世全般に亘って墓地として機能し、礫石経・六道銭などが出土している［品田ほか1991］。山崎遺跡は、13世紀中頃から15世紀後半を主体とする集落遺跡で、掘立柱建物28棟や井戸141基が検出され、土師質土器や珠洲焼の他に風炉や茶臼といったものも出土している［白井2014］。宝田遺跡は古代から断続的に水田耕作を行った生産遺跡である。多数の水田遺構のほか微高地に掘立柱建物や井戸を検出し、須恵器や土師質土器（9C後葉）、珠洲焼のほかに、15世紀中頃と推定されるおにぎり状炭化米が出土した［飯坂ほか2015］。

鯖石川と別山川の合流点付近には、東原町遺跡（２）、角田遺跡（16）などがある。両遺跡は自然堤防上に立地しており、河川交通などの物流関係を背景に成立したと考えられる。東原町遺跡は13世紀後半から14世紀が主体の集落遺跡で、掘立柱建物４棟、井戸28基、溝92条などが検出され、溝によって居住域と生産域が区画されている。居住域では、鍛冶関連の工房、饗宴に使用された土師質土器の一括廃棄土坑があった。珠洲焼壺に1万枚以上の銭貨を入れた埋納銭が出土した［山崎ほか2005］。角田遺跡は13世紀後半が主体の遺跡で、掘立柱建物13棟に多数の井戸と土坑が検出され、交通の要衝を押さえる目的で在地小領主が家屋敷を営んだとみられる。［品田ほか1999］。鵜川流域の遺跡としては、鶴巻田遺跡(25)などがある。鶴巻田遺跡では、丘陵裾に素掘りの井戸や貯蔵穴が検出され、珠洲焼、青磁、製塩土器などのほかに鉄滓や銭貨などの製鉄関連の資料が出土している［藤巻1988］。鵜川の河口に近い右岸域の柏崎砂丘では、現在の市街地と重複する柏崎町遺跡（21）が立地する。中世の柏崎は、比角荘域にあたり、15世紀にはすでに東本町まで開発がおよび、17世紀には現市街地の原形が形成されていく［品田・伊藤2001］。中世の柏崎は町人集団が支配する港湾都市であった可能性が指摘［矢田1999］されているが、それを示すように青花、青磁、白磁などの貿易陶磁器が柏崎平野のどの中世遺跡よりも多数出土している［品田・伊藤ほか2001］。

城館は、丘陵地に矢田城跡（49）、畔屋城跡（46）や佐橋荘の毛利氏が築城した北条城跡（37）、鯖石川を挟んで佐橋荘の毛利氏から分立した鵜川荘の安田毛利氏の居城である安田城跡（31）などの要害が挙げられる。また、荒浜砂丘と刈羽山地の境界付近にも岩野城跡（12）や土合殿屋敷遺跡（11）といった城や館と関連した遺跡が存在している。



（原図 国土地理院2007（平成19）年発行［柏崎］ 1:50,000）

第５図　周辺の古代・中世の遺跡

No.	遺　跡　名	時　　期	No.	遺　跡　名	時　　期	No.	遺　跡　名	時　　期	No.	遺　跡　名	時　　期
1	丘江	古墳・中世	18	境川原	中世	35	堂の浦	中世	53	西草薙	平安～近世
2	東原町	中世	19	上原	古墳・平安・鎌倉	36	今熊薬師堂裏	中世	54	吉井の百塚	中世
3	宝田	古代・中世	20	開運橋	縄文・弥生・古代	37	北条城跡	室町	55	権田町	縄文・古墳・平安・室町
4	山崎	平安・中世	21	柏崎町	中世・近世	38	北条館跡	中世			
5	小峯	古代・中世	22	四谷	鎌倉	39	大新田	室町	56	吉井水上Ⅱ	古墳・平安・中世
6	箕輪	弥生・古代・中世	23	嶋屋敷	室町	40	小児石	中世（墓地）	57	吉井堀之内	室町
7	藤橋東遺跡群	縄文・古代（製鉄関連）・中世	24	桐山	縄文・古代・中世	41	不退寺	平安・中世	58	戸口	弥生・古墳・古代・中世
			25	鶴巻田	縄文・弥生・古墳・平安・中世	42	前田	古代・中世			
8	田塚山遺跡群	縄文・弥生・中世（仏堂・墓地）				43	藤井城跡	古代・中世	59	萱場	弥生・古墳・古代
			26	茅原	平安・中世	44	関野	縄文・古墳～中世	60	礼坊	古墳・平安・中世
9	関町	中世	27	半田の塚群	中世	45	中田久保川原	中世	61	行塚	古墳・平安・中世
10	西岩野	弥生・中世	28	大沢A	縄文・古代・中世	46	畔屋城跡	室町	62	行塚の塚群	中世
11	土合殿屋敷跡	中世	29	大宮	縄文・平安	47	八方口城跡	室町	63	杉ノ木田B	古代・中世
12	岩野城跡	不明	30	十三本塚の塚群	中世	48	出口の塚	中世			
13	宮ノ浦	古代・中世	31	安田城跡	室町	49	矢田城跡	室町			
14	下才見	中世	32	上軽井川の経塚群	鎌倉	50	吉井砦跡	中世			
15	下境井	古墳・平安				51	江ノ下	弥生・古墳・平安・中世			
16	角田	古墳・古代・鎌倉	33	中道	平安・中世						
17	剣下川原	古墳・古代・中世	34	門田	中世	52	本村	中世			

凡　例
● 遺跡　■ 城
▲ 製鉄　○ 塚

第１表　周辺の遺跡一覧表

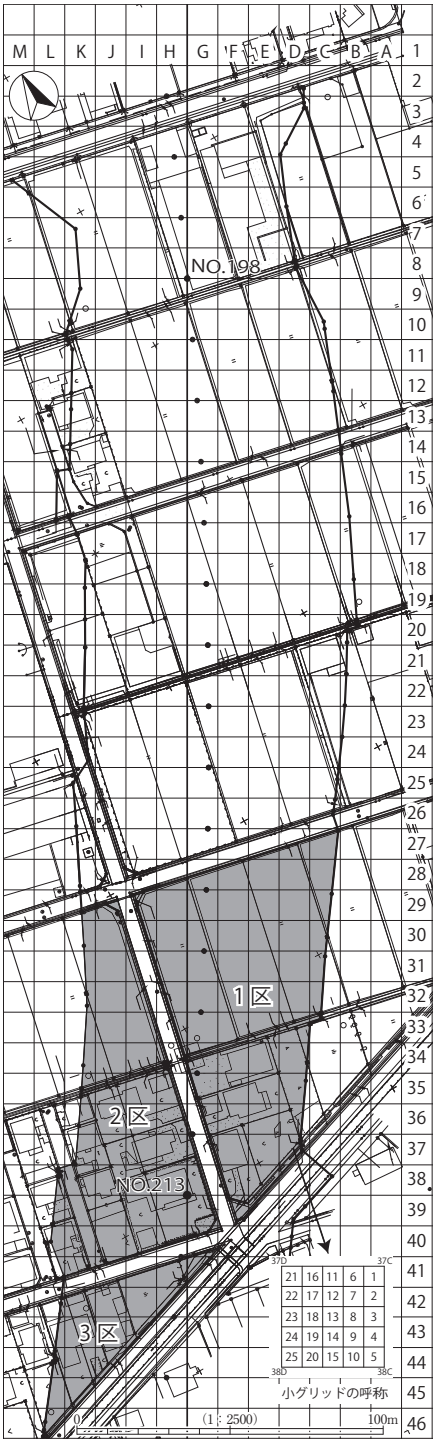
第Ⅲ章　調 査 の 概 要

1　グリッドの設定と地区名

丘江遺跡は、2012年度の試掘調査で新たに発見された遺跡である。グリッドは、柏崎バイパスの法線に沿うよう、道路建設予定地内のセンター杭２点を基準とした。基準としたセンター杭は、No.198（X=151919.385、Y=7642.954）と No.213（X=151602.171、Y=7474.344）である。この両センター杭を結んだ直線を縦軸とし、これに直交する線を横軸として設定した。グリッドの基準線方位は、横軸が真北から29度3分57秒東偏している。

グリッドは大小２種類を用いた。大グリッドは縦横10m間隔に設置して、横列は算用数字を用いて、北東から南西に向かい「１、２、３、４…」列、縦軸はアルファベットを用いて、南東から北西に向かって「A、B、C、D…」とした。大グリッド名は、北東隅にある基準線の交点を「1A、1B、1C、１D…」と呼称した。小グリッドは、大グリッド内を縦横２m 間隔で25分割した。小グリッド北東隅を１として南西に数え南西隅を25とし算用数字で表した。グリッド表記は「７Ｂ２」のように呼称した。

2014年度の本調査範囲内には市道がいくつか通るため、市道により分割し、南東側のブロックから「１区、２区、３区」と呼称した。



（国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所作成した地図を使用）

第６図　グリッド設定図

2　基　本　層　序

丘江遺跡は柏崎市田塚３丁目字丘江地内に所在し、鯖石川左岸に広がる沖積微高地に立地する。標高は６～７m前後で、現況は水田及び宅地跡となっている。地形は、南東から北西方向にかけて緩やかな傾斜を示す。1・2区の北側には、旧葦藪川が横断している。これは、明治45年に作成された柏崎の地図にも記載されていることから、測量された明治42年よりも以前から存在したことがわかる。

基本土層はⅠ～Ⅳ層に大別した。同一の土層でも土質・色調に多少の差異があり、さらに２～４層に細分可能な層もあ

る。このうちⅡ層が鎌倉・室町時代の遺物包含層であり、土質によりⅡａ・Ⅱｂに分層できる。上位のⅠ層からはⅡ層と同時期の遺物も含まれるが、近世の遺物も混在する。Ⅲ層は弥生時代後期～古墳時代の遺物包含層である。この土層は、1区の30ライン以北でのみ確認された土層であり、これより南には存在していない。

盛土：住宅造成時などに盛られた土

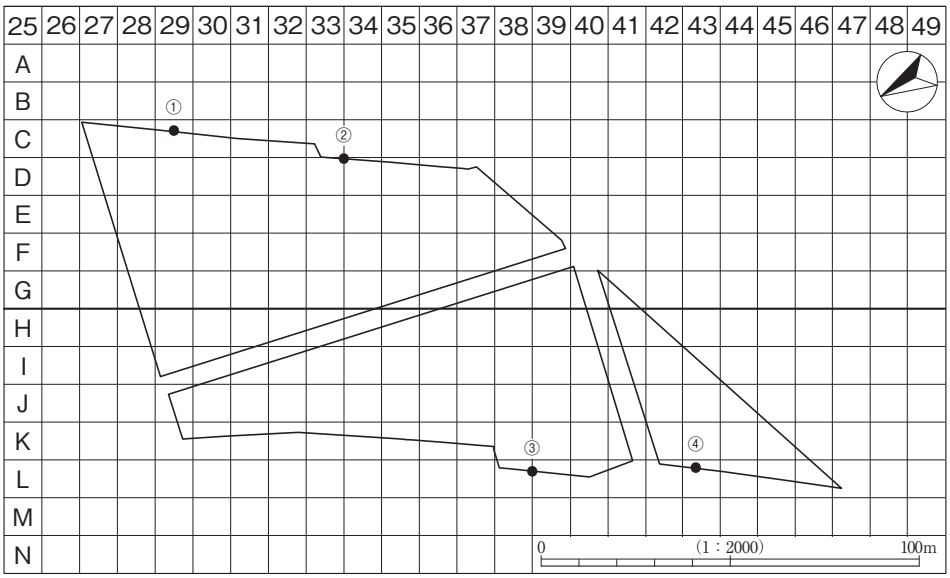
Ⅰ層：灰褐色粘土（7.5Y 4／2）粘性としまりが共に強い。近・現代の水田や畑の耕作土。地点により２～３層に細分される。

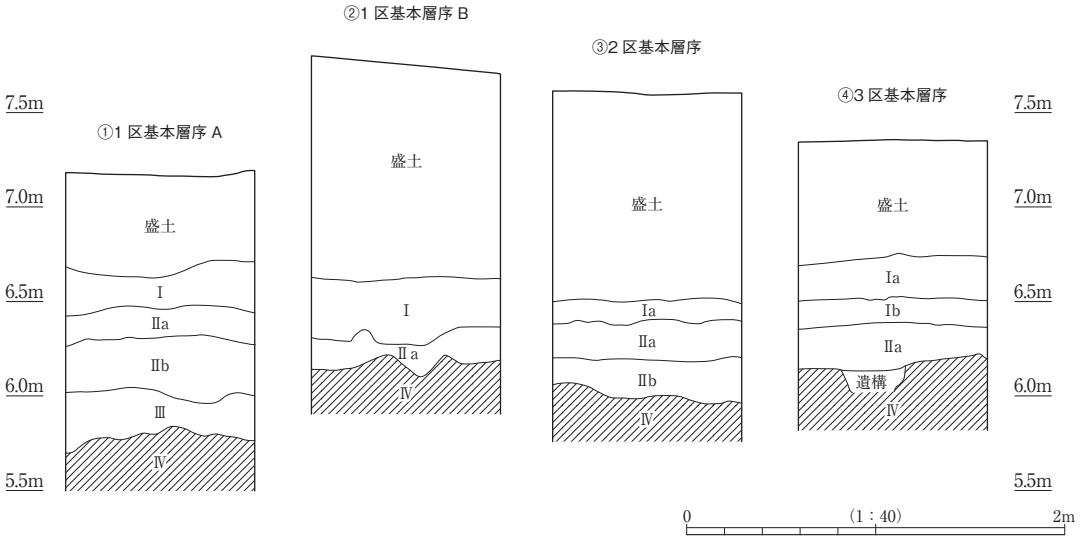
Ⅱａ層：褐灰色土シルト（10YR 4／1）粘性がやや強く、しまりが強い。中世～近世の遺物包含層。

Ⅱｂ層：灰色シルト（7.5Y 4／1）粘性がやや強く、しまりが強い。中世～近世の遺物包含層。

Ⅲ層：黒色シルト（7.5Y 2／1）弥生時代後期～古墳時代前期の遺物包含層。

Ⅳ層：灰色シルト（10Y 6／1）粘性としまりが共に強い。基盤土層であり、遺構検出面。





第７図　基本層序柱状図

第Ⅳ章　遺　　構

1　遺構の概要と記述の方法

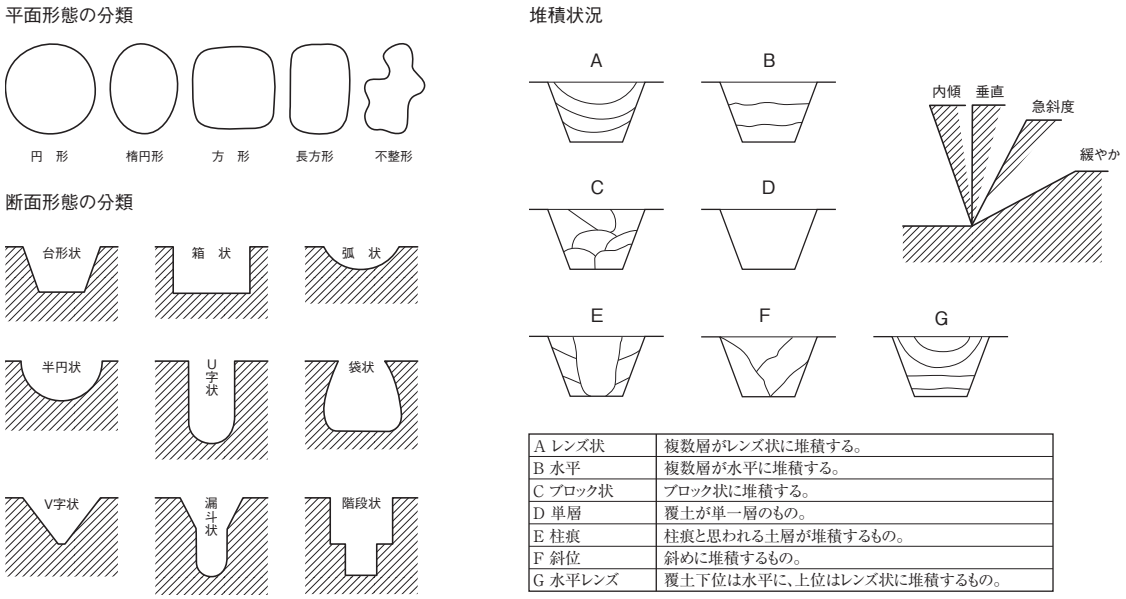
A　概　　要

調査で検出した遺構は、掘立柱建物26棟、井戸174基、土坑152基、溝78条、性格不明遺構１基、ピット多数である。これらは出土遺物の時期や遺構埋土の特徴から、多くが中・近世の遺構であり、中でも14世紀中葉～14世紀後半、16世紀後半～17世紀初頭に主体となる時期があると判断した。

B　遺構の記述と表記方法

遺構の説明には、本文・観察表・図面図版・写真図版を用いる。図面図版は、遺構全体図：１/800、分割図：１/300・１/100、個別図：１/80・１/40で構成する。掲載順については、種別ごとに各地区で遺構番号の若い順とした。しかし、図版の都合上、一部で遺構番号が前後するか所がある。写真図版についても同様の基準で掲載をした。本文は個別図に掲載した遺構についてすべて記述している。

遺構名は、遺構種別の略号と番号を組み合わせて表記する。遺構種別の略号は、掘立柱建物:SB、井戸:SE、土坑：SK、溝：SD、性格不明遺構：SX、ピット：Pとした。番号は、遺構種別や検出層位に関係なく通しで付した。ただし、現場作業や整理作業の過程において欠番が生じている。そのため、遺構番号の数が、遺構の数を表しているわけではない。

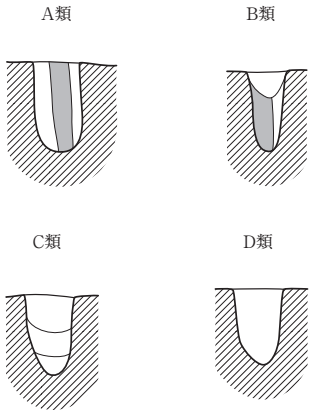


A レンズ状	複数層がレンズ状に堆積する。
B 水平	複数層が水平に堆積する。
C ブロック状	ブロック状に堆積する。
D 単層	覆土が単一層のもの。
E 柱痕	柱痕と思われる土層が堆積するもの。
F 斜位	斜めに堆積するもの。
G 水平レンズ	覆土下位は水平に、上位はレンズ状に堆積するもの。

（加藤1999･荒川ほか2004を改変）

第８図　遺構の平面・断面形態、堆積状況の分類

遺構の平面形及び断面形の表記は、和泉Ａ遺跡［荒川・加藤ほか1999］の分類基準（第８図）に準拠した。本文・観察表中の遺構の計測値については、遺構検出面での数値である。遺構の重複やカクラン等により計測が困難な遺構については、残存値で表記した。また、柱穴の埋土の堆積状況をＡ～Ｄ類に分類し、第９図に示す。柱痕が検出面で確認できるものをＡ類、柱痕が検出面で確認できず、断面でレンズ状に堆積した層下で柱痕が確認できたものをＢ類、レンズ状に堆積するものをＣ類、単層のものをＤ類とした。Ａ・Ｂ類は、柱を切り取った痕跡とし、Ｃ類は柱を抜き取った痕跡、Ｄ類は切り取り・抜き取りのどちらとも取れ、柱の遺存状況は不明である。



第９図　柱穴の埋土堆積状況の分類

遺構の新旧関係については、本文中では、「切る」･「切られる」、「新しい」･「古い」という表現とし、観察表では、不等記号を用いて「新＞古」として示した。遺構の方位は、長軸が真北を中心に東西に傾く角度を「Ｎ－●°－Ｅ（W）」として表記する。土層断面図の色調は『新版標準土色帖』［農林水産省農林水産技術会議事務局・財団法人日本色彩研究所2004］を使用した。

２　遺　構　各　説

Ａ　掘立柱建物

掘立柱建物については、柱間数の多い方向を桁行（長軸）、少ない方向を梁行（短軸）とした。軸方位は北に対して桁行が東西に何度傾くかをＮ－●°－Ｅ（W）と表した。建物の面積は桁行と梁行で囲まれた部分を床とし、桁行× 梁行で床面積を計算した。建物は26棟復元した。

SB4301（図版10・22・66）は１区37E・Ｆに位置する。桁行３間、梁間２間の側柱建物で、桁行方位はＮ－８°－Ｗを示す。床面積は25.5㎡である。建物を構成する９基の柱穴は柱間が1.7～3.5mである。柱穴の平面は円形または楕円形、断面の多くはＵ字状を呈する。規模は、径0.22～0.50m、深さ0.12～0.82mである。柱根や遺物は出土していない。

SB4306（図版10・22・66）は１区37・38E・Ｆに位置する。建物の北西側が調査区外へ延びるため規模は断定できないが、桁行５間、梁間２間以上の側柱建物で、桁行方位はＮ－７°－Ｅを示す。床面積は残存部で37.9㎡である。建物を構成する10基の柱穴は柱間が1.3～2.5mである。柱穴の平面は円形または楕円形、断面の多くはＵ字状を呈する。規模は、径0.16～0.38m、深さ0.24～0.87mである。柱根がP259・P321から出土した。

SB4309（図版10・22・67）は１区36・37Fに位置する。桁行３間、梁間１間の側柱建物で、桁行方位はＮ－76°－Ｗを示す。床面積は18.4㎡である。建物を構成する８基の柱穴は柱間が1.6～3.4mである。柱穴の平面は円形または楕円形、断面の多くはＵ字状を呈する。規模は、径0.21～0.57m、深さ0.33～0.70mである。柱根や遺物は出土していない。

SB4310（図版10・23・66・67・68）は１区36・37Fに位置する。桁行４間、梁間２間の側柱建物で、桁行方位はＮ－76°－Ｅを示す。床面積は31.2㎡である。建物を構成する12基の柱穴は柱間が1.6～4.1m

である。柱穴の平面は円形または楕円形、断面の多くはＵ字状を呈する。規模は、径0.26～0.62m、深さ0.19～0.72mである。柱根や遺物は出土していない。

SB4314（図版9・24・67）は１区34・35F・Ｇに位置する。柱穴がいくつか欠落しているため規模は断定できないが、桁行３間、梁間２間の総柱建物で、桁行方位はＮ－84°－Ｗを示す。床面積は残存部で25.1㎡である。建物を構成する10基の柱穴は柱間が1.1～3.8mである。柱穴の平面は円形または楕円形、断面の多くはＵ字状を呈する。規模は、径0.27～0.46m、深さ0.25～0.57mである。柱根や遺物は出土していない。SB4316と重複関係にあるが、直接的な切り合いは見られないため新旧は不明である。

SB4316（図版9・24・68・69）は１区34・35Fに位置する。桁行５間、梁間２間の総柱建物で、桁行方位はＮ－３°－Ｗを示す。床面積は36.9㎡である。建物を構成する17基の柱穴は柱間が1.1～3.4mである。柱穴の平面は円形または楕円形、断面の多くはＵ字状を呈する。規模は、径0.23～0.52m、深さ0.16～0.62mである。柱根や遺物は出土していない。SB4314と重複関係にあるが、直接的な切り合いは見られないため新旧は不明である。

SB4325（図版6・25・69）は１区33・34D・Ｅに位置する。柱穴がいくつか欠落しているため規模は断定できないが、桁行４間、梁間２間の側柱建物で、西側に廂を持つ。桁行方位はＮ－84°－Ｗを示す。床面積は推定で58.1㎡である。建物を構成する10基の柱穴は柱間が2.1～3.7mである。柱穴の平面は円形または楕円形、断面はＵ字状やＶ字状を呈する。規模は、径0.29～0.67m、深さ0.20～0.72mである。柱根がP351（351）・P4079から、遺物はP356から青磁・唐津焼が出土している。SB4326と重複関係にあるが、直接的な切り合いは見られないため新旧は不明である。

SB4326（図版6・25・69）は１区34D・Ｅに位置する。桁行３間、梁間２間の側柱建物で、桁行方位はＮ－84°－Ｗを示す。床面積は15.1㎡である。建物を構成する10基の柱穴は柱間が1.3～1.8mである。柱穴の平面は円形または楕円形、断面はＵ字状や半円状などを呈する。規模は、径0.19～0.53m、深さ0.16～0.38mである。柱根や遺物は出土していない。SB4325と重複関係にあるが、直接的な切り合いは見られないため新旧は不明である。

SB4345－１（図版16・26・70）は２区39Gに位置する。建物の北西側が調査区外へ延びるため規模は断定できないが、桁行２間、梁間２間以上の建物で、桁行方位はＮ－13°－Ｗを示す。床面積は不明である。建物を構成するとみられる５基の柱穴は柱間が1.9～2.4mである。柱穴の平面は円形または楕円形、断面はＵ字状や台形状を呈する。規模は、径0.22～0.48m、深さ0.11～0.53mである。柱根や遺物は出土していない。SB4325－２と重複関係にあり、P1379とP1378が切り合っている。両遺構の切り合いから、SB4345－１はSB4345－２よりも古い。

SB4345－２（図版16・26・70）は２区39Gに位置する。建物の北西側が調査区外へ延びるため規模は断定できないが、桁行３間、梁間２間以上の建物で、桁行方位はＮ－３°－Ｗを示す。床面積は不明である。建物を構成するとみられる６基の柱穴は柱間が1.5～2.2mである。柱穴の平面は円形または楕円形、断面はＵ字状や漏斗状を呈する。規模は、径0.33～0.58m、深さ0.26～0.57mである。柱根や遺物は出土していない。SB4325－１と重複関係にあり、P1379とP1378が切り合っている。両遺構の切り合いから、SB4345－２はSB4345－１よりも新しい。

隣接するSD1380はＬ字状の溝である。桁行･梁行の軸が一致することから建物に付随する溝と考える。

SB4348（図版18・26・71）は２区39・40I・Ｊに位置する。桁行４間、梁間２間の側柱建物で、桁行方位はＮ－20°－Ｗを示す。床面積は21.0㎡である。建物を構成する12基の柱穴は柱間が1.1～3.9mである。

柱穴の平面は円形または楕円形、断面はＵ字状や台形状などを呈する。規模は、径0.19～0.71m、深さ0.12～0.63mである。柱根はP1790から出土したが、遺物は出土していない。

SB4351（図版18・27・71）は２区39I・Ｊに位置する。桁行２間、梁間１間の側柱建物で、桁行方位はＮ－72°－Ｅを示す。床面積は15.8㎡である。建物を構成する６基の柱穴は柱間が1.8～3.7mである。柱穴の平面は円形または楕円形、断面はＵ字状や漏斗状などを呈する。規模は、径0.30～0.44m、深さ0.18～0.50mである。柱根はP1449から出土したが、遺物は出土していない。SB4353と重複関係にあるが、直接的な切り合いは見られないため新旧は不明である。

SB4353（図版18・27・71・72）は２区38・39Jに位置する。桁行５間、梁間２間の側柱建物で西側に廂を持つ。桁行方位はＮ－73°－Ｅを示す。床面積は51.7㎡である。建物を構成する15基の柱穴は柱間が1.6～2.7mである。柱穴の平面は円形または楕円形、断面はＵ字状や漏斗状などを呈する。規模は、径0.26～0.48m、深さ0.15～0.59mである。柱根はP1612から出土したが、遺物は出土していない。SB4351と重複関係にあるが、直接的な切り合いは見られないため新旧は不明である。

SB4355（図版18・28・71・72）は２区39Jに位置する。桁行２間、梁間２間の側柱建物で、桁行方位はＮ－14°－Ｗを示す。床面積は13.9㎡である。建物を構成する７基の柱穴は柱間が1.6～3.5mである。柱穴の平面は円形または楕円形、断面は多くがＵ字状を呈する。規模は、径0.20～0.43m、深さ0.13～0.51mである。柱根はP2255から出土したが、遺物は出土していない。SB4353と重複関係にあるが、直接的な切り合いは見られないため新旧は不明である。

SB4369（図版15・28・72・73）は２区37Iに位置する。桁行３間、梁間２間の側柱建物で、桁行方位はＮ－72°－Ｅを示す。床面積は13.9㎡である。建物を構成する９基の柱穴は柱間が1.4～3.6mである。柱穴の平面は円形または楕円形、断面は多くがＵ字状を呈する。規模は、径0.19～0.34m、深さ0.17～0.53mである。柱根はP2096から出土したが、遺物は出土していない。

SB4396（図版13・28・73）は２区31Jに位置する。桁行３間、梁間１間の側柱建物で、桁行方位はＮ－84°－Ｗを示す。床面積は17.8㎡である。建物を構成する７基の柱穴は柱間が2.0～4.1mである。柱穴の平面は円形または楕円形、断面はＵ字状や台形状などを呈する。規模は、径0.25～0.68m、深さ0.23～0.53mである。柱根や遺物は出土していない。

SB4397（図版13・29・73）は２区31・32Jに位置する。桁行３間、梁間２間の側柱建物で、桁行方位はＮ－81°－Ｅを示す。床面積は24.1㎡である。建物を構成する10基の柱穴は柱間が1.5～2.5mである。柱穴の平面は円形または楕円形、断面はＵ字状や半円状を呈する。規模は、径0.22～0.53m、深さ0.13～0.42mである。柱根や遺物は出土していない。SB4398・SB4399と重複関係にあるが、直接的な切り合いは見られないため新旧は不明である。

SB4398（図版13・14・29・73・74）は２区32I・Ｊに位置する。桁行３間、梁間２間の側柱建物で、桁行方位はＮ－86°－Ｅを示す。床面積は26.6㎡である。建物を構成する12基の柱穴は柱間が1.0～3.0mである。柱穴の平面は円形または楕円形で、一部に方形もある。断面はＵ字状や台形状などを呈する。規模は、径0.27～0.52m、深さ0.19～0.71mである。柱根はP3428から出土したが、遺物は出土していない。SB4397・SB4399・SB4401と重複関係にある。SB4397は直接的な切り合いが見られないため、新旧は不明である。SB4399はP3185とP3184が切り合うため、SB4398はSB4399よりも新しい。SB4401はP3193とP3194が切り合うため、SB4398はSB4401よりも古い。

SB4399（図版13・30・74）は２区31・32Jに位置する。桁行２間、梁間２間の側柱建物で、桁行方位は

N －68°－ W を示す。床面積は20.3㎡である。建物を構成する８基の柱穴は柱間が1.7～3.3m である。柱穴の平面は円形または楕円形で、断面はＵ字状やＶ字状などを呈する。規模は、径0.22～0.53m、深さ0.13～0.57m である。柱根は P3190・P3410から出土したが、遺物は出土していない。SB4397・SB4398と重複関係にある。前者は直接的な切り合いが見られないため、新旧は不明で、後者は P3184と P3185が切り合う。そこから SB4399は SB4398よりも古い。

SB4401（図版14・30・74・75）は２区32I・J に位置する。桁行３間、梁間２間の側柱建物で、桁行方位はN －71°－ W を示す。床面積は16.0㎡である。建物を構成する10基の柱穴は柱間が1.2～2.2m である。柱穴の平面は円形または楕円形で、断面はＵ字状やＶ字状などを呈する。規模は、径0.23～0.38m、深さ0.16～0.35m である。柱根や遺物は出土していない。SB4398と重複関係にあり、P3193と P3194が切り合う。そこから SB4401は SB4398よりも新しい。

SB4420（図版19・31・75）は３区42I・J に位置する。桁行２間、梁間１間の側柱建物で、桁行方位はN －81°－ E を示す。床面積は13.4㎡である。建物を構成する６基の柱穴は柱間が2.2～2.9m である。柱穴の平面は円形または楕円形で、断面は多くがＵ字状を呈する。規模は、径0.24～0.53m、深さ0.17～0.74m である。柱根や遺物は出土していない。

SB4427（図版20・31・75）は３区42・43J・K に位置する。建物の北側が調査区外へ延びるため規模は断定できないが、桁行７間、梁間２間以上の建物で、桁行方位はN －３°－ W を示す。床面積は残存部で59.4㎡である。建物を構成するとみられる17基の柱穴は柱間が1.0～2.4m である。柱穴の平面は円形または楕円形、断面は多くがＵ字状を呈する。規模は、径0.20～0.70m、深さ0.19～0.66m である。柱根や遺物は出土していない。SB4428・SB4429と重複関係にあるが、直接的な切り合いは見られないため新旧は不明である。

SB4428（図版20・32・76）は３区42・43J・K に位置する。桁行４間、梁間２間の側柱建物で、桁行方位はN －８°－ W を示す。床面積は26.3㎡である。建物を構成する12基の柱穴は柱間が1.4～2.4m である。柱穴の平面は円形または楕円形、断面はＵ字状やＶ字状を呈する。規模は、径0.26～0.44m、深さ0.18～0.64m である。柱根や遺物は出土していない。SB4427と重複関係にあるが、直接的な切り合いは見られないため新旧は不明である。

SB4429（図版20・32・76）は３区42・43J・K に位置する。建物の北西側の柱穴がいくつか欠落するため規模は断定できないが、桁行４間、梁間２間の総柱建物で、桁行方位はN －16°－ W を示す。床面積は推定で22.1㎡である。建物を構成するとみられる11基の柱穴は柱間が2.0～2.8m である。柱穴の平面は円形または楕円形、断面は多くがＵ字状を呈する。規模は、径0.26～0.62m、深さ0.16～0.79m である。柱根や遺物は出土していない。SB4427と重複関係にあるが、直接的な切り合いは見られないため新旧は不明である。

SB4438（図版20・33・76）は３区43・44K に位置する。桁行２間、梁間１間の側柱建物で、桁行方位はN －14°－ E を示す。床面積は12.1㎡である。建物を構成する６基の柱穴は柱間が2.3～2.5m である。柱穴の平面は円形または楕円形、断面はＵ字状やＶ字状、台形状を呈する。規模は、径0.23～0.30m、深さ0.07～0.46m である。柱根や遺物は出土していない。SB4439と重複関係にあるが、直接的な切り合いは見られないため新旧は不明である。

SB4439（図版20・33・76・77）は３区43K に位置する。桁行２間、梁間１間の側柱建物で、桁行方位はN －84°－ E を示す。床面積は12.8㎡である。建物を構成する６基の柱穴は柱間が1.6～3.3m である。柱

穴の平面は円形または楕円形、断面は多くがＵ字状を呈する。規模は、径0.27～0.45m、深さ0.17～0.61mである。柱根や遺物は出土していない。SB4438と重複関係にあるが、直接的な切り合いは見られないため新旧は不明である。

Ｂ　井　　戸

今回の調査では、174基以上の井戸を検出した。平面は円形・楕円形が多く、少数ながら方形も見られる。断面形の大部分はＵ字状が占める。井戸側は、残骸や杭、礫などを含めて出土していない。すべて素掘りである。側壁は垂直から急斜度が多く、底面は平坦なものが多い。埋土はレンズ状堆積が大部分を占めるが、いくつかブロック状堆積なども見られる。井戸の時期は出土遺物などから判断して、おおむね中世の所産である。

１）１　　区

SE99（図版11･34･77）は31H11に位置する。平面は楕円形、断面は台形状を呈する。規模は長軸0.75m、短軸0.62m、検出面からの深さは0.82mである。11層に分層された埋土は、炭化物を少量含み、中～下位は水平、上位は斜位に堆積することから人為的に埋め戻されたと考察する。遺物は出土していない。

SE150（図版10・34・77）は37F10に位置する。平面は楕円形、断面は、立ち上がりが中位からやや緩くなり、Ｕ字状を呈する。規模は、長軸0.91m、短軸0.73m、検出面からの深さは1.63mである。地山ブロックを多量に含む黒色土が堆積し、５層は腐植物が特に多い。４・５層から湧水があり、掘削中に崩落した。２層から唐津焼皿（１）、底面から焼礫が１点出土した。

SE151（図版10･34･77）は37F13に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりが垂直なＵ字状を呈する。規模は長軸0.81m、短軸0.81m、検出面からの深さは1.42mである。埋土は４層に分層され、地山ブロックを多量に含む黒色土がレンズ状に堆積する。底面からは湧水を確認した。遺物は出土していない。

SE187（図版10・34・78）は37F ２・７に位置する。平面は楕円形、断面は、立ち上がりが垂直なＵ字状を呈する。規模は、長軸0.74m、短軸0.60m、検出面からの深さは0.88mである。埋土は４層に分層され、地山ブロックを含む黒褐色土が水平レンズ状に堆積する。底面からは湧水を確認した。４層から珠洲焼の片口鉢（２）が出土した。

SE267（図版6・34・78）は32F20に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりがやや緩やかなＵ字状を呈する。規模は、長軸0.52m、短軸0.62m、検出面からの深さは0.64mである。埋土は黒褐色を基本とする粘土質で４層に分層される。青灰色粘土を多く含んでいる。底面からは湧水を確認した。遺物は曲物の底板（245）１点と礫２点が出土した。

SE272（図版6・34・78）は32F20に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりがやや緩やかな台形状を呈する。規模は長軸0.84m、短軸0.68m、検出面からの深さは0.80mである。埋土は４層に分層され、灰色粘土を含む黒褐色粘土がレンズ状に厚く堆積する。底面からは湧水を確認した。遺物は曲物の底板と４層から土師質土器の小皿（３・４）が出土した。

SE284（図版7・34・78・79）は37E ８・３に位置する。平面は楕円形、断面は、立ち上がりが上位から緩くなる漏斗状を呈する。規模は、長軸1.20m、短軸1.12m、検出面からの深さは1.44mである。埋土は灰黒色を基本とする粘土質で、６層に分層される。青灰色粘土を多量に含み、レンズ状に堆積する。底面からは湧水を確認した。新旧関係は、P443・SD283に切られる。遺物は、土師質土器の小皿（５）、珠洲

焼甕の底部（６）が出土した。

SE383（図版10・34・79）は37F12・13に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりがやや緩くなるＵ字状を呈する。規模は、長軸1.10m、短軸1.00m、検出面からの深さは1.58mである。埋土は、黒色土が堆積し、５層は腐植物を多量に含む。４層以下はしまりが弱く湧水が見られ、掘削途中で崩落した。新旧関係は、SD186を切る。底面から径20～30cmの礫が16個出土した。うち、被熱したものは14個を数える。礫の割れ口に、被熱による黒色化が見られることから、井戸への投入前から割れていたと考えられる。５層から唐津焼皿（７～11）、天目茶椀（12）が一括出土した。

SE534（図版10・34・79）は37F ６に位置する。平面形は円形、断面は、立ち上がりが垂直なＵ字状を呈する。規模は、長軸0.80m、短軸0.68m、検出面からの深さは0.96mである。埋土は黒色粘土を基本とし、５層に分層される。青灰色粘土を多量に含み、レンズ状に堆積する。土師質土器片と漆器椀、砥石（199）が出土した。

SE670（図版7・35・79）は36E ２に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりが大きく広がる台形状を呈する。規模は、長軸0.82m、短径0.72m、検出面からの深さは0.74mである。埋土は５層に分層され、灰色粘土と炭化物を含む黒褐色粘土がレンズ状に堆積する。遺物は珠洲焼、瀬戸焼・美濃焼平椀（13）などが出土した。

SE687（図版10・35・79）は37F ２に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりが垂直なＵ字状を呈する。規模は、長軸0.88m、短径0.80m、検出面からの深さは0.60mである。埋土は５層に分層され、レンズ状に堆積する。遺物は、砥石（200）が出土した。

SE777（図版10・35・80）は36E14・15に位置する。平面は楕円形、断面は、立ち上がりがやや緩やかなＵ字状を呈する。規模は、長軸1.32m、短軸1.04m、検出面からの深さは1.36mである。埋土は７層に分層され、レンズ状に堆積している。新旧関係は、P679に切られ、SD678・SD778を切る。遺物は底面から板材（275）が出土した。

SE783（図版6・9・35・80）は35E 17に位置する。平面は方形、断面は、立ち上がりが緩やかに開くＵ字状を呈する。規模は、長軸1.20m、短軸は1.20m、検出面からの深さは1.50mである。埋土は６層に分層され、レンズ状に堆積する。１～４層はしまりの強い褐灰色粘土で、４層を除き灰色粘土を少量含む。５・６層は多量の水気を含むために脆い。５層は炭化物や腐植物が混在している。最下層の６層はしまりのない褐灰色粘土で、自然堆積の様相をしている。セクションを撮影した直後に崩落した。底面に近いところから柄杓（257）が出土した。

SE813（図版10・35・80）は37F18に位置する。平面は楕円形、断面は、立ち上がりが垂直な箱状を呈する。規模は、長軸0.81m、短軸0.68m、検出面からの深さは0.98mである。埋土は５層に分層され、レンズ状に堆積している。３層から木材が出土した。

SE832（図版9・35・80・81）は35F14・15に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりが緩やかに開くＵ字状を呈する。規模は、長軸0.72m、短軸0.72m、検出面からの深さは0.81mである。埋土は7層に分層され、黒色土と地山近似の灰色土が交互にレンズ状に堆積する。７層から板材（276）が出土した。

SE855（図版6・35・81）は35D22・23に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりが緩やかに開くＵ字形を呈する。長軸0.64m、短軸0.64ｍ、検出面からの深さは0.32mである。埋土は、砂粒を含むシルト寄りの褐灰色粘土で、３層に分層される。炭化物や灰色粘土を少量含む。レンズ状に堆積する。新旧関係は、SK647に切られる。底面付近から珠洲焼の片口鉢が出土した。

SE860（図版9・35・81）は35F17・18に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりが緩やかに開くU字形を呈する。長軸0.99m、短軸0.90m、検出面からの深さは0.96mである。埋土は、4層に分層される。地山ブロックを多量に含む黒褐色土がレンズ状に堆積する。新旧関係は、P908に切られる。遺物は、4層から磨製石斧（210）、6層から焼礫が1点出土した。

SE866（図版9･35･81）は35F 9に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりが垂直な箱状を呈する。長軸0.76m、短軸0.76m、検出面からの深さは0.76mである。埋土は、6層に分層され、地山ブロックを含む黒褐色土がレンズ状に堆積する。3層から下位で焼礫が多く見られる。3・6層から珠洲焼甕、6層から板材が出土した。

SE936（図版7･36･81･82）は36E13に位置する。平面は円形､断面は､立ち上がりが垂直な箱状を呈する。長軸0.92m、短軸　0.60m、検出面からの深さは0.76mである。埋土は5層に分層され、灰色粘土を多量に含み、レンズ状に堆積する。新旧関係は、SK970に切られ、P965を切る。遺物は土師質土器の皿（14）が出土した。

SE953（図版9･36･82）は35G 7に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりが垂直な箱状を呈する。規模は長軸0.76m、短軸　0.72m、検出面からの深さは0.84mである。埋土は8層に分層され、黒褐色粘土がレンズ状に堆積する。3層は炭化物や灰を多量に含む黒色土である。底面から珠洲焼の片口鉢（15）と焼礫が出土した。

SE1042（図版7・36・82）は35D13・14に位置する。平面は楕円形、断面は、立ち上がりが垂直な台形状を呈する。規模は長軸0.90m、短軸0.44m、検出面からの深さ1.28mである。埋土は4層に分層され、黒色粘土と黒褐色粘土の層が互層し、1～4層とも炭化物を含むが下層へいくほど多量に含む。レンズ状に堆積する。新旧関係は、SE1045に切られる。遺物は1層から珠洲焼の片口鉢（16・17）が出土した。

SE1045（図版7・36・82）は35D13・14に位置する。平面は楕円形、断面は、立ち上がりが緩やかに開くU字状を呈する。規模は長軸0.90m、短軸0.72m、検出面からの深さ0.92mである。埋土は4層に分層され、黒色粘土と黒褐色粘土の層が互層し、1～4層とも炭化物を含むが下層へいくほど多量に含む。レンズ状に堆積する。新旧関係は、SE1042を切る。遺物は出土していない。

SE1160（図版36･82）は34E24に位置する。平面は円形､断面は､立ち上がりが垂直なU字状を呈する。規模は長軸0.92m、短軸0.81m、検出面からの深さ0.80mである。埋土は3層に分層され、灰色粘土を多量含みレンズ状に堆積する。遺物は、砥石（201）が出土した。

SE1384（図版9･36･82）は35F 4に位置する。平面は円形､断面は立ち上がりが垂直な台形状を呈する。規模は、長軸0.60m、短軸0.56m、検出面からの深さ0.78mである。埋土は5層に分層され、1～5層とも炭化物を含むが、下層へいくほど多量に含む。レンズ状に堆積する。新旧関係は、P1395を切る。遺物は2層から珠洲焼の壺（18）が出土した。

SE4067（図版6・36・82・83）は33E3に位置する。平面は円形、断面は、上部に向かってやや開くU字状を呈する。規模は長軸0.98m、短軸0.84m、検出面からの深さ1.97mである。埋土は9層に分層され、レンズ状に堆積する。埋土の下半部が水気を多く含んでいたため脆い。新旧関係は、SK4068を切る。遺物は8・9層から棒状木製品と曲物の底板（255）が出土した。

SE4087（図版6・37・83）は33D13に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりが垂直なU字状を呈する。規模は長軸0.70m、短軸0.64m、検出面からの深さ1.08mである。埋土は4層に分層され、地山粘土ブロックを少量含む褐灰色粘土がレンズ状に堆積する。遺物は3・4層の境目から瀬戸焼・美濃焼の皿

(19)、曲物の底板（256)、下駄（267)、礫２点が出土した。

SE4151（図版6･37･83）は33E9に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりが垂直な箱状を呈する。規模は長軸0.70ｍ、短軸0.60m、検出面からの深さ0.87ｍである。埋土は５層に分層され、地山粘土ブロックを少量含む黒褐色粘土がレンズ状に堆積する。新旧関係は、SD496に切られる。遺物は５層から唐津焼の皿（20）が出土した。

２）２　　区

SE1205（図版18・39・88）は40I17に位置する。平面は円形、断面は上部に向かって緩やかに開くＵ字形を呈する。規模は、長軸0.52m、短軸0.48m、検出面からの深さ0.52ｍである。埋土は４層に分層され、褐灰色粘土と黒褐色粘土がレンズ状に堆積する。出土遺物は、４層から土師質土器の小皿(29)が出土した。土師質土器は15世紀後半の所産とみられる。したがって、井戸の時期は15世紀後半と考える。

SE1207（図版18・37・83）は40I17に位置する。平面は不整形、断面は、上部に向かって緩やかに開く台形状を呈する。規模は、長軸0.96m、短軸0.92m、検出面からの深さ1.40ｍである。埋土は６層に分層され、炭化物を少量含む褐灰色粘土がレンズ状に堆積する。底面から常に湧水する。新旧関係は、P1206を切る。遺物は、５層から珠洲焼の片口鉢（21)、曲物の底板（247)、板材（277）が出土した。片口鉢はⅣ期の所産とみられる。埋没過程での混入と判断し、井戸の時期は14世紀代と考える。

SE1210（図版18･37･84）は40I18に位置する。平面は円形、断面は上部に向かって開く漏斗状を呈する。規模は、長軸は1.03ｍ、短軸1.02m、検出面までの深さ1.08m である。埋土は３層からなり、灰色粘土を多量に含む褐灰色粘土が水平状に堆積する。底面から湧水する。新旧関係は、SD1211に切られる。遺物は、２層から珠洲焼の片口鉢（22）が出土した。埋没過程での混入と考える。

SE1212（図版16・37・84）は39I ５に位置する。平面は方形、断面は立ち上がりが垂直なＵ字状を呈する。規模は、長軸は0.88ｍ、短軸0.82m、検出面までの深さ1.16m である。埋土は５層に分層され、褐灰色粘土がレンズ状に堆積する。４層以下は水分を多量に含む黒色粘土で脆い。底面から湧水する。遺物は、砥石が（202）が出土した。

SE1404（図版18・37・84）は39J19に位置する。平面は楕円形、断面は上部に向かって緩やかに開くＵ字形を呈する。規模は、長軸0.70m、短軸0.52m、検出面からの深さ0.72m である。埋土は６層に分層され、灰白色粘土や黒色粘土がブロック状に堆積する。５・６層が自然堆積した後、４層以上が埋戻した土だと考える。遺物は、２層から土師質土器の皿（23）が出土した。土師質土器は13世紀中頃から14世紀の所産とみられる。したがって、井戸の時期は13世紀中頃から14世紀と考える。

SE1518（図版16・37・84）は38H ６に位置する。平面は楕円形、断面は、立ち上がりが垂直なＵ字状を呈する。規模は、長軸1.56m、短軸0.80m、検出面からの深さ1.60m である。埋土は６層に分層され、主に黒褐色土が水平に堆積する。５層は微細な炭化物、灰を多量に含む青黒色土、６層は腐植土層である。西側中位に幅約50cm のテラス状の段を持つ。井戸掘削時の足場か、崩落の痕跡かはわからない。底面から柄杓（258・259）が出土した。

SE1563（図版15・16・37・84・85）は37H20、38H16に位置する。平面は楕円形、断面は、立ち上がりが垂直な台形状を呈する。規模は、長軸1.00m、短軸0.84m、検出面からの深さ1.30m である。埋土は７層に分層され、灰白色粘土を多量に含む黒褐色粘土がレンズ状に堆積する。新旧関係は、P1564に切られ

る。底面から曲物の底板（248）、盤（240）、板材（278）が出土した。

SE1568（図版16・38・85）は38H21に位置する。平面は方形、断面は、立ち上がりが緩やかに開く台形状を呈する。規模は、長軸1.32m、短軸1.08m、検出面からの深さ1.88mである。埋土は６層に分層され、主に黒褐色土がレンズ状に堆積する。３層以下はしまりが弱く、６層は腐植物を多量に含む。遺物は４層から珠洲焼の甕、底面から木製紡錘車か独楽（261）とＹ字状木製品（262）が出土している。

SE1982（図版16・38・85）は38H25に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりが垂直なＵ字形を呈すると推定する。規模は、長軸1.20m、短径1.08m、検出面からの深さ0.84ｍである。埋土は６層に分層され、ブロック状に堆積する。新旧関係は、SK2278・SD1428に切られる。遺物は、２層から珠洲焼の片口鉢の口縁部（24）・底部（25）、底面から木製鍬（270）が出土した。木製鍬は、柄を開口部に向けた状態で見つかった。SD1428から珠洲焼や瀬戸焼・美濃焼が出土したことから、井戸は溝より古い14世紀代の遺構と考える。

SE2007（図版15・38・85）は37I ９・14に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりが垂直なＵ字形を呈する。規模は、長軸0.68m、短径0.64m、検出面からの深さ0.88ｍである。埋土は５層に分層され、灰白色粘土を多量に含む黒色土がレンズ状に堆積する。遺物は、底面から曲物の底板（249）が出土した。

SE2281（図版15・38・86）は37H16・17に位置する。平面は方形、断面は、立ち上がりが垂直な箱状を呈する。規模は、長軸1.08m、短径1.04m、検出面からの深さ1.84ｍである。埋土は９層に分層され、レンズ状に堆積する。１～３層は灰白色粘土を含む黒褐色土、４～９層は微細な炭化物・灰を含むオリーブ黒色土が堆積する。８層は腐植物を多く含む。遺物は３層から珠洲焼、８層から砥石（203）、漆器椀（233）、曲物底板（250・251）、曲物（252）が出土した。

SE2526（図版17・38・86）は37J １に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりが垂直な箱状を呈する。規模は、長軸0.76m、短径0.76m、検出面からの深さ1.20ｍである。埋土は12層に分層され、レンズ状に堆積する。新旧関係は、P2315・P2467に切られる。遺物は、漆器椀（234）が出土した。

SE2561（図版15・39・86）は36I14に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がりが垂直なＵ字状を呈する。規模は、長軸0.93m、短径0.84m、検出面からの深さ1.24ｍである。埋土は４層に分層され、地山ブロックを含む黒色土がレンズ状に堆積する。４層は腐植物を多量に含む。４層から珠洲焼の片口鉢（26）が出土した。

SE2562（図版17・39・86）は36J10に位置する。平面は楕円形、断面は、立ち上がりが垂直なＵ字状を呈する。規模は、長軸0.80m、短径0.64m、検出面からの深さ1.44ｍである。埋土は６層に分層され、灰白色粘土を多量に含む黒褐色土がレンズ状に堆積する。６層は腐植物を多量に含む。遺物は、６層から珠洲焼の片口鉢（27）が出土した。

SE2984（図版13・39・87）は31J ３に位置する。平面は方形、断面は立ち上がりが緩やかに開くＵ字形を呈する。規模は、長軸0.72m、短軸0.68m、検出面からの深さ0.64mである。埋土は５層からなり、レンズ状に堆積する。３層が炭化層で、未分解腐植物や炭化物を非常に多く含む。遺物は、３層から曲物の底板（253）が出土した。

SE3150（図版13・39・87）は31J3・４に位置する。平面は円形、断面は立ち上がりが垂直なＵ字形を呈する。規模は長軸0.68m、短軸0.64m、検出面からの深さ0.76ｍである。埋土は６層からなり、レンズ状に堆積する。新旧関係は、SD2998、P3882を切る。遺物は６層から初鋳年1039年の皇宋通寶（291）が１枚出土した。

SE3178（図版13・39・87）は31J14に位置する。平面は円形、断面は立ち上がりが緩やかに開くＵ字形を呈する。規模は長軸0.81m、短軸0.76m、検出面からの深さ0.68ｍである。埋土は６層からなり、レンズ状に堆積する。３層以下は、灰白色粘土を多量に含む。遺物は５層から土師質土器の小皿(28)が出土した。

SE3900（図版13・39・88）は、32J11・16に位置する。平面は円形、断面は立ち上がりが上部で急に開くＵ字状を呈する。規模は、長軸1.20m、短軸1.12ｍ、検出面からの深さ1.24ｍである。埋土は３層からなり、レンズ状に堆積する。埋土は、６層まで比較的しまりが強く、７層以下は水分を多く含むため脆弱である。底面から湧水が見られた。遺物は、９層から杓子（244）、底面から箸や曲物の底板（254）が出土した。遺物の出土層位が異なることから、ごみ棄て穴として二次利用していた可能性がある。

３）３　　区

SE3260（図版20・39・88）は43J15・20に位置する。遺構の半分が調査区外へ広がる。平面は円形と推測され、断面は立ち上がりが急に開くＶ字状を呈する。規模は、長軸0.96m、短軸は残存値で0.60ｍ、検出面からの深さ1.38ｍである。埋土は６層からなり、炭化物、灰白色粘土を多量に含む黒色土がレンズ状に堆積する。６層は地山に近似する灰色土。遺物は出土していない。

SE3261（図版20・40・88）は、44J21に位置する。平面は方形、断面は立ち上がりが垂直な箱状を呈する。規模は、長軸0.80m、短軸0.72ｍ、検出面からの深さ1.58ｍである。埋土は７層からなり、地山ブロックを含む黒色粘土がレンズ状に堆積する。６層は籾殻などを多く含む未分解腐植物を含む。７層は地山に近似する灰色土。遺物は、底面から漆器椀（235）、盤（241）が出土した。

SE3507（図版20・40・88・89）は、44K ７に位置する。平面は楕円形、断面は立ち上がりが垂直なＵ字状を呈する。規模は、長軸1.04m、短軸0.80ｍ、検出面からの深さ1.16ｍである。埋土は６層からなり、黒色土がレンズ状に堆積する。５・６層は未分解腐植物を多量に含み水分も多い。新旧関係はSD3002を切る。遺物は６層から初鋳年1086年の熙寧元寶（286）が出土した。

SE3508(図版20･40･89)は、43J24に位置する。平面は円形、断面は立ち上がりが垂直なＵ字状を呈する。規模は、長軸0.72m、短軸0.68ｍ、検出面からの深さ1.28ｍである。埋土は９層からなり、黒色粘土がレンズ状に堆積する。９層は未分解腐植物を少量含む。遺物は、底面から土師質土器の皿（30）が出土した。

SE3623（図版19・40・89）は、41I15に位置する。平面は円形、断面は立ち上がりが垂直なＵ字状を呈する。規模は、長軸0.92m、短軸0.88ｍ、検出面からの深さ0.92ｍである。埋土は６層からなり、地山ブロックを含む黒褐色土がレンズ状に堆積する。新旧関係はSD3624を切る。廃棄されたとみられる人頭大の礫が、中位で２点、底面で15点出土。礫の約半数が被熱している。遺物は１層から珠洲焼の片口鉢(31)、底面から砥石（204）が出土した。

SE3704（図版19･40･89）は、42I18に位置する。平面は円形、断面は立ち上がりが垂直な箱状を呈する。規模は、長軸0.68m、短軸0.68ｍ、検出面からの深さ1.00ｍである。埋土は８層からなり、地山ブロックを含む黒色土がレンズ状に堆積する。新旧関係は、P4021・4022を切る。遺物は、７層から土師質土器の皿（32）、板材（279）が出土した。

SE3719（図版19・41・90）は、42I18に位置する。平面は楕円形、断面は立ち上がりが緩やかに開くＵ字状を呈する。規模は、長軸1.40m、短軸1.12ｍ、検出面からの深さ1.74ｍである。埋土は11層からなり、１～７層は地山ブロックを含む黒色土、８～11層は未分解腐植物を含む黒褐色土がレンズ状に堆積する。新旧関係は、P3915・3916を切る。遺物は、９層から踏み鋤（271）、底面から焼礫が１点出土した。

SE3726（図版19・40・90）は、42I ７に位置する。平面は楕円形、断面は立ち上がりが少し歪なＵ字状を呈する。規模は、長軸1.00m、短軸0.80ｍ、検出面からの深さ1.58ｍである。埋土は11層からなり、１～８層は黒色土、９・10層は未分解腐植物を含む黒褐色土がレンズ状に堆積する。遺物は、４層から珠洲焼の片口鉢、９層から瓢箪形の容器が出土した。瓢箪形の容器内からは多くの種子を検出した。しかし、土圧のためか、容器は原型を留めていない。

SE3764（図版20・41・90）は、42J18・23に位置する。平面は円形、断面は立ち上がりが上部に開くＵ字状を呈する。規模は、長軸0.70m、短軸0.68ｍ、検出面からの深さ1.36ｍである。埋土は７層からなり、主に黒色土がレンズ状に堆積する。６・７層は未分解腐植物を含み、湧水が著しい。底面近くから土師質土器の皿・小皿（33～49）が出土した。その内、10枚が正位で重なっており、すべて完形品である。

SE3940（図版20・41・91）は、42J20に位置する。平面は円形、断面は立ち上がりが垂直なＵ字状を呈する。規模は、長軸1.20m、短軸1.08ｍ、検出面からの深さ0.92ｍである。埋土は５層からなり、黒色土がレンズ状に堆積する。２層は炭化物と地山に近似する灰色土が互層をなす。新旧関係は、P4041に切られ、P4042・P4044を切る。遺物は５層から土師質土器の皿（50）、焼礫４点、五輪塔の地輪が出土した。

SE4030（図版20・41・91）は、43J16に位置する。平面は円形、断面は立ち上がりが垂直なＵ字状を呈する。規模は、長軸0.84m、短軸0.80ｍ、検出面からの深さ1.12ｍである。埋土は６層からなり、黒色土がレンズ状に堆積する。６層は水分を含み脆い。新旧関係はSD3383に切られる。６層から木材が出土した。

SE4275（図版20・41・91）は42J22に位置する。平面は方形、断面は、立ち上がりが垂直なＵ字状を呈する。規模は、長軸0.80ｍ、短軸0.68ｍ、検出面からの深さ0.76ｍである。埋土は５層からなり、レンズ状に堆積する。底面から湧水が見られる。遺物は、３層から珠洲焼の甕（51）、５層から珠洲焼の片口鉢が出土した。

Ｃ　土　　坑

土坑は32基検出した。平面は円形や楕円形が多く、長方形や方形も少数ながら存在する。側壁は、垂直から急斜度が多数を占め、底面は平坦なものが多い。埋土は、多くがレンズ状堆積で、ブロック状や斜位の堆積は少ない。時期は出土遺物などから判断して、おおむね中世の所産である。

１）１　　区

SK44（図版12・42・91）は32G15・20、33G16・17に位置する。平面は長方形、断面は、南側が急斜で、北側はやや緩い立ち上がりの台形状を呈する。規模は、長軸4.00ｍ、短軸1.96ｍ、検出面からの深さ0.64ｍである。埋土は９層からなり、レンズ状に堆積する。しかし、埋土は地山ブロックを多量に含んでいる部分もあり、人為的に埋め戻しが行われた可能性がある。遺物は、１層から土師質土器の皿が出土した。

SK581（図版６・42・92）は34D10に位置する。遺構の一部が調査区外へ広がる。平面は楕円形あるいは方形を呈すると思われる。断面は、立ち上がりが上部で緩やかに開く台形状を呈する。狭小な段を南側に持つ。規模は、長軸1.92m、短軸は残存値で1.80m、検出面からの深さは0.80ｍである。埋土は７層からなり、レンズ状に堆積する。１層は砂粒をわずかに含みよくしまる。２・５層は灰白色粘土や炭化物を多量に含み、壁面から土が流れ込む様子が見られるため、崩落土の可能性が高い。３・４層は混入物が少ないため自然堆積とみる。６層は水気を多く含み、鉄分の沈着が多い。また、中心部から円形状に集まった未分解腐植物を検出した。新旧関係は、SD599に切られる。遺物は、土師質土器が出土した。

SK647（図版６・43・92）は35D22・23、35E ２・３・８に位置する。平面は長楕円形、断面は立ち上

がりが緩やかな弧状を呈する。規模は、長軸3.88ｍ、短軸2.84ｍ、検出面からの深さ0.36mである。埋土は７層からなり、レンズ状に堆積する。１層は灰褐色土が多く混じるにぶい黄褐色砂である。４・６層に灰色・褐灰色粘土を比較的多く含む。層位の堆積が乱れているように見えるが、自然堆積と判断した。新旧関係はSE852・SE855、SK654、P1007・P2724・P2655・P2656・P2694・P2737・P2739・2740を切る。遺物は、２層から唐津焼の皿（52・53）瀬戸焼・美濃焼の擂鉢（54）が出土した。

SK654（図版６・42・92）は35E ６・７・８、35D21に位置する。平面は方形、断面は立ち上がりが急斜度な台形状を呈する。規模は、長軸3.13ｍ、短軸2.58ｍ、検出面からの深さ0.48ｍである。埋土は８層からなり、レンズ状に堆積する。埋土は砂粒を含むシルト寄りの粘土で、灰色粘土ブロックを少量含む。１層は、SK647に近似する砂粒を多く含む。６・７層は灰色粘土を多量に含み、壁面から流れ込む様子がある。８層は砂粒と水気を含む黒褐色粘土で、未分解腐植物を検出した。新旧関係は、SK647、SD599に切られる。遺物は、底面から唐津焼の皿（55～57）・瀬戸焼・美濃焼の天目茶椀（58）が出土した。

SK688（図版10・43・92・93）は36F12に位置する。平面は円形、断面は立ち上がりが垂直な半円状を呈する。規模は、長軸1.00ｍ、短軸0.96ｍ、検出面からの深さ0.36ｍである。埋土は４層からなり、粘土とシルトがレンズ状に堆積する。シルト層はしまりが弱い。遺物は、２層から土師質土器の皿が出土した。

SK853（図版６・７・43・93）は35D 18に位置する。平面は楕円形、断面は立ち上がりが急斜度な台形状を呈する。規模は長軸0.72ｍ、短軸0.60m、深さ0.36mである。埋土は３層からなり、レンズ状に堆積する。遺物は、底面から珠洲焼の片口鉢（91）が出土した。この遺物は、SD111・SD41・SD496で出土した破片と同一個体である。したがって、SD111・SD41・SD496と同時期に存在していたと推定する。

SK981（図版７・43・93）は36D21 に位置する。平面は楕円形、断面は立ち上がりが垂直なＵ字状を呈する。規模は長軸1.04ｍ、短軸0.88m、検出面からの深さ0.64mである。埋土は５層からなり、黒褐色土がレンズ状に堆積する。４・５層はしまりが弱い。遺物は２層から土師質土器の皿（59）が出土した。

SK1128（図版９・44・93）は34F14・15・19・20 に位置する。平面は楕円形、断面は立ち上がりが急斜度で、中央部は深く窪み、階段状を呈する。規模は長軸1.86ｍ、短軸1.32m、検出面からの深さ0.92mである。埋土は５層からなり、地山ブロックを多量に含む黒褐色土がレンズ状に堆積する。１つの遺構として記録したが、柱穴上に土坑が構築された可能性もある。遺物は、２層から土師質土器の皿（60）が出土した。

SK1168（図版９・44・93）は34F ４に位置する。平面は楕円形、断面は、立ち上がりが急斜度で半円状を呈する。規模は長軸1.08ｍ、短軸0.80m、検出面からの深さ0.16mである。埋土は３層からなり、地山ブロックを含む黒色土がレンズ状に堆積する。遺物は、１層から土師質土器の皿が出土した。

SK1227（図版6・44・94）は34E14に位置する。平面は円形、断面は立ち上がりが急斜度な半円状を呈する。規模は、長軸0.48ｍ、短軸0.44m　検出面からの深さは0.20mである。埋土は２層からなり、レンズ状に堆積する。遺物は、珠洲焼の片口鉢（61）が出土した。

SK4086（図版８・44・94）は33F21・22に位置する。平面は方形、断面は立ち上がりが垂直な箱状を呈する。規模は、長軸2.08ｍ、短軸1.90m　検出面からの深さは0.48mである。埋土は10層からなり、レンズ状に堆積する。３層以上は灰白色粘土を多量に含む。遺物は唐津焼の皿（64・65）と珠洲焼の片口鉢（66）が出土した。

２）２　　区

SK1306（図版18・44・94）は40I22、40J2に位置する。平面は円形、断面は、立ち上りが急斜度なＶ字

状を呈する。規模は、長軸0.92m、短軸0.92m、検出面からの深さ0.64mである。埋土は５層からなり、レンズ状に堆積する。２・５層は灰白色粘土ブロックを多量に含む。新旧関係は、P1305を切る。遺物は、２層から土師質土器の皿（62）が出土した。

SK1359（図版16・44・94）は39G25に位置する。遺構の一部が調査区外に広がる。平面は円形と推定され、断面は、立ち上りが急斜度な台形状を呈する。西側に狭小なテラスを持つ。規模は、長軸1.40m、短軸は残存値で0.84m、検出面からの深さ0.60ｍである。埋土は７層からなり、地山ブロックを含む黒褐色土がレンズ状に堆積する。６・７層は炭化物を多く含む。新旧関係は、SD1380を切る。遺物は、２層から土師質土器の小皿（63）が出土した。

SK1435（図版16・44・94）は38I ２に位置する。平面は円形、断面は、立ち上りが急斜度なＵ字状を呈する。規模は、長軸0.84m、短軸0.84m、検出面からの深さ0.60ｍである。埋土は５層からなり、レンズ状に堆積する。検出時はSK1436と同一の遺構と捉えたが、断面観察による土質の違い、深さなどの形状の違いから、別遺構の重複と考えた。新旧関係は、SK1436を切る。両遺構とも黒褐色土が堆積するが、SK1435の黒味が強い。遺物は、２層から土師質土器の小皿（67）が出土した。

SK1436（図版16・44・94）は38I ２に位置する。平面は楕円形、断面は、立ち上りが急斜度な半円状を呈すると推定。規模は、長軸1.08m、短軸は残存値で0.60m、検出面からの深さ0.32ｍである。埋土は２層からなり、黒褐色土がレンズ状に堆積する。新旧関係はSK1435に切られ、P1437を切る。遺物は出土していない。

SK1515（図版16・45・95）は38Ｈ２に位置する。平面は楕円形、断面は、立ち上りが急斜度な半円状を呈する。規模は、長軸2.40m、短軸1.96m、検出面からの深さ0.52ｍである。埋土は６層からなり、黒褐色土がレンズ状に堆積する。新旧関係はSD1428に切られる。遺物は、６層から珠洲焼の甕が出土している。

SK1760（図版16・18・45・95）は38I ８に位置する。平面は方形、断面は、立ち上りが急斜度な台形状を呈する。規模は、長軸2.00m、短軸1.58m、検出面からの深さ0.46ｍである。埋土は５層からなり、地山ブロックを含む黒褐色土がレンズ状に堆積する。方形の竪穴状土坑で、底面は平坦をなす。遺物は、２層から珠洲焼の片口鉢（68）が出土した。

SK1809（図版18・45・95）は、38I23に位置する。平面形は長楕円形、断面形は立ち上りが急斜度な半円形を呈する。規模は、長軸1.46m、短軸0.92m、検出面からの深さ0.30mである。埋土は５層からなり、炭化物や灰色粘土を多量に含む褐灰色粘土がブロック状に堆積する。堆積状況から人為的な埋戻しを行ったと推定する。遺物は、２層から初鋳年1068年の熙寧元寶（287）と初鋳年1004年の景徳元寶（288）が１枚ずつ、４層から板材が出土した。

SK1834（図版15・17・45・95）は、36I18に位置する。平面は円形、断面は立ち上りが急斜度なＵ字状を呈する。規模は、径0.60m、検出面からの深さ0.38mである。埋土は４層からなり、１・２層は灰色粘土を含む黒褐色粘土、３層は褐色土、４層は青灰色粘土がレンズ状に堆積する。新旧関係は、SK2146を切る。遺物は、２層から越中瀬戸焼の擂鉢（70）と瀬戸焼・美濃焼の天目茶椀（69）、３層から石臼（213）が出土した。

SK1946（図版16・45・96）は、39H25に位置する。平面形は円形または楕円形と推定され、断面形は立ち上りが急斜度な台形を呈する。規模は、長軸0.94m、短径は残存値で0.42m、検出面からの深さ0.32ｍである。埋土は４層からなり、レンズ状に堆積する。１・２層は炭化物を多く含まず、３cm大の灰色粘

土ブロックが多量に含まれる。新旧関係は、SD1540に切られる。遺物は、２層から土師質土器の皿（71）と５枚の銭貨が隣接して出土した。出土状況から墓坑の可能性が高いが、木棺などの痕跡は断面からは判断できなかった。出土した土師質土器は、15世紀後半の所産と見られる。また、銭貨は初鋳年1411年の永楽通寶（290）と初鋳年1008年の祥符元寶（289）の２枚が判別可能であった。

SK1947（図版16・45・96）は、39H24、39J ４に位置する。平面は円形または楕円形と推定され、断面は立ち上りが緩やかな弧状を呈する。規模は長軸1.12ｍ、短軸は残存値で0.52m、検出面までの深さ0.18ｍである。埋土は２層からなり、レンズ状に堆積する。新旧関係は、SD1540に切られる。遺物は、１層から土師質土器の皿が出土した。

SK2062（図版17・45・96）は、37I19に位置する。平面は楕円形、断面は立ち上りが垂直なＵ字状を呈する。規模は、長軸0.60ｍ、短軸0.54m、検出面までの深さ0.66ｍである。埋土は５層からなり、地山に近似する灰色土と黒褐色土が交互にレンズ状に堆積する。遺物は、５層から初鋳年995年の至道元寶が１枚出土した。

SK2129（図版15・45・96）は、37H21、37I １・２に位置する。平面は円形、断面は立ち上りが垂直なＵ字状を呈する。埋土は８層からなり、１～３層は黒褐色土、４～８層は黒色土がレンズ状に堆積する。遺物は、２層から珠洲焼の片口鉢（74）が出土した。

SK2030（図版17・46・97）37J23・24に位置する。平面は不整形、断面は、立ち上りが北側は緩やか、南側は垂直な箱型を呈する。南に狭小なテラスを持つ。規模は、長軸3.04m、短軸2.30m、検出面からの深さ0.82m である。埋土は８層からなり、灰色粘土と炭化物を含む黒褐色粘土がレンズ状に堆積する。遺物は、土師質土器の皿（72）、青磁（73）、漆器椀、箸（243）が出土した。

SK2278（図版16・46・97）は38H24・25、38I ４・５に位置する。平面は円形あるいは楕円形、断面は半円形を呈する。長軸1.60ｍ、短軸は残存値で0.62m、検出面からの深さ0.60ｍである。埋土は４層からなり、レンズ状に堆積する。１・２層目に多量の灰色粘土を含む。新旧関係は、SD1428を切り、SD2276に切られる。遺物は出土していない。

SK2973（図版13・46・97）は31J ９・14に位置する。平面は円形、断面は半円状を呈する。規模は、長軸0.74m、短軸0.70m、検出面からの深さ0.48ｍである。埋土は６層からなり、ブロック状に堆積する。底部から湧水が見られる。遺物は、２層から珠洲焼の甕（75）と片口鉢（76）口縁部片が出土した。

SK2894（図版14・46・98）は33J・33K に位置する。遺構の一部が調査区外へと広がる。平面は楕円形と推定され、断面は、立ち上がりが緩やかな弧状を呈する。規模は、長軸4.50ｍ、短軸3.70m、検出面からの深さ0.30ｍである。埋土は６層からなり、黒褐色粘土や褐灰色粘土がレンズ状に堆積する。新旧関係は、SK3593・P3571・P3596・P3597・P3598・P3654・P3655・P3589・P3590・P3591・P3592を切る。遺物は出土していない。

SK3447（図版14・47・98）は、33J １・２・６・７に位置する。平面は円形、断面は、立ち上がり緩やかな弧状を呈する。規模は、長軸2.10ｍ、短軸2.06ｍ、検出面からの深さ0.42ｍである。埋土は８層からなり、褐灰色粘土や黒褐色粘土がレンズ状に堆積する。遺物は、底部から土師質土器の皿（79）、瀬戸焼・美濃焼の皿（80）、礫、木が出土した。遺物や礫には、二次焼成の痕跡が見られるが、遺構自体に炭化層は存在しない。したがって、土坑に遺物を廃棄したと考える。

SK3641（図版15・47・98）は34J・K に位置する。遺構の一部が調査区外に広がる。平面は不整形、断面形は立ち上がりが緩やかな弧状を呈する。規模は、長軸3.20ｍ、短径は残存値で2.60m、検出面からの

深さ0.10ｍである。埋土は褐灰色粘土の単層である。新旧関係は、P3565・P3656・P3658・P3659・P3660を切る。遺物は出土していない。埋土はごく浅く、底面も凹凸を為すため、包含層であるⅢ層が低地に堆積した窪みの可能性もある。

SK3652（図版14・47・98）は32I・J、33I・Jに位置する。平面は円形、断面は立ち上りが緩やかな弧状を呈する。規模は、長軸3.44ｍ、短軸3.00m、検出面からの深さ0.26ｍである。埋土は４層からなり、褐灰色粘土がレンズ状に堆積する。遺物は出土していない。

３）３　　区

SK3259（図版20･47･98）は43K ７･12に位置する。平面は円形､断面は立ち上りが垂直な箱状を呈する。規模は、長軸0.60ｍ、短軸0.60m、検出面からの深さ0.40ｍである。埋土は６層からなり、地山ブロックを含む黒色土がレンズ状に堆積する。遺物は、底面から土師質土器皿、青磁椀（77）、こぶし大の礫４個が出土した。

SK3354（図版20・47・99）は42K20に位置する。北西端が調査区法面にかかる。平面は方形、断面は立ち上りが斜度な箱状を呈する。規模は、長軸2.44ｍ、短軸2.30m、検出面からの深さ0.68ｍである。埋土は11層からなり、１～４層は黒色土、５～11層は黒褐色土がレンズ状に堆積する竪穴状土坑である。埋土に炭化物の塊などが見られることから、人為堆積と考えられる。底面は平坦を呈する。東側にわずかな突出部があり、立ち上がりはやや緩くなるため、階段などの施設を想定したが、検出しなかった。遺物は、７層から土師質土器の皿（78）、瀬戸焼・美濃焼の皿が出土した。

Ｄ　溝

１）１　　区

SD41（図版9・11・48・99）は32Eに位置する。溝は直線的で、東西方向に延び、調査区外へ続く。断面は立ち上りが緩やかな弧状を呈する。規模は長さ17.0ｍ、幅2.00ｍ、検出面からの深さ0.34ｍである。埋土は７層からなり、黒褐色粘土や灰白色粘土がレンズ状に堆積する。７層には、未分解植物を多量に含む。新旧関係は、SD496に切られる。遺物は、土師質土器の皿・小皿（81～83）、珠洲焼（85～87）、唐津焼の皿（84）、砥石（205）、曲物（260）、下駄（268・269）、下駄歯、板材（280）が出土した。

SD111（図版10・48・99）は38Eに位置する。溝は直線的で、東西方向に延び、調査区外へ続く。断面は、立ち上がりが緩やかな台形状を呈する。規模は、長さ10.4ｍ、幅2.20ｍ、検出面からの深さ0.70ｍである。埋土は４層からなり､黒褐色土がレンズ状に堆積する。遺物は、２層から土師質土器の皿（88）、２・３層から珠洲焼（89～94）が出土した。

SD281（図版7・48・99）は36・37Dに位置する。溝は直線的で、南北方向に延び、南側は調査区外へ続く。そのため、全容は把握できない。断面は立ち上りが垂直な台形状を呈する。規模は、長さが残存値で42.0ｍ、幅1.60m、検出面からの深さ0.24mである。埋土は２層からなり、黒褐色粘土が水平に堆積する。新旧関係は、P304・308・313・364・563・576・770・923・2615・2616・2670・2671、SE666を切り、SE765に切られる。遺物は、土師質土器の皿（95）、珠洲焼の片口鉢（96）が出土した。

SD282（図版7･48･99）は35～37Dに位置する。溝は直線的で南北方向に延び､南側は調査区外に続く。そのため、全容は把握できない。SD281が平行する。断面は、立ち上がりが急斜度な半円状を呈する。規

模は、長さが残存値で20.4ｍ、幅2.04ｍ、検出面からの深さ0.52mである。埋土は３層からなり、灰白色土を含む黒褐色粘土が、レンズ状に堆積する。新旧関係は、P316・768・1232、SK320・970・SK1338、SE297を切る。遺物は、土師質土器の皿（97）、珠洲焼の片口鉢（98）が出土した。

SD283（図版7・48・100）は37Eに位置する。溝は直線的で南北方向に延びる。断面は、立ち上がりが緩やかな弧状を呈する。規模は、長さ6.10ｍ、幅1.80ｍ、深さ0.10ｍである。埋土は、灰白色粘土を含む黒褐色粘土の単層である。遺物は、唐津焼の椀（99）が出土した。

SD345（図版6・48・100）は34Dに位置する。溝は直線的で東西方向に延びる。東側は調査区外に延び、西側はSK412に切られる。そのため、全容は把握できない。断面は、立ち上りが緩やかな弧状を呈する。規模は、長さが残存値で4.4ｍ、幅1.56m、検出面からの深さ0.32mである。埋土は３層からなり、灰白色粘土を含む黒色粘土や黒褐色粘土がレンズ状に堆積する。新旧関係は、P356・419・764・2779を切り、SK350・412を切る。遺物は、土師質土器、珠洲焼の甕（100）が出土した。

SD496（図版2・48・100）は、34Eに位置する。溝は直線的で南北方向に延びる。断面は、立ち上がりが緩やかな弧状を呈する。規模は、長さ19.2ｍ、幅9.60m、検出面からの深さ0.58ｍである。埋土は８層からなり、黒色粘土や黒褐色粘土がレンズ状に堆積する。遺物は、土師質土器の皿・小皿（101～104）、珠洲焼（107～110）、瀬戸焼・美濃焼の卸皿（105）と大皿（106）が出土した。

２）２　　区

SD1211（図版16・17・37・84）は、39・40Iに位置する。溝は直線的で南西から北東方向に延びる。南西側は調査区外へ、北東側はSD1540に切られる。断面は、立ち上がりが垂直な台形状を呈する。埋土は５層からなり、褐灰色粘土が斜位に堆積する。SD2462と埋土や断面形が近似することから、同一遺構の可能性がある。新旧関係は、SE1210を切り、SD1540・SD2276に切られる。遺物は、土師質土器皿、珠洲焼が出土した。

SD1380（図版16・48・100）は39Gに位置する。溝はＬ字型に屈曲し、SB4345－１・２を囲む。南側は調査区外に延びる。断面は、立ち上がりが急斜度な台形状を呈する。規模は、全長14.0ｍ、幅1.50ｍ、検出面からの深さ0.40ｍである。埋土は４層からなり、黒褐色土がレンズ状に堆積する。溝の東端は、意図的な立ち上りを見せる。仮に建物と溝が東側へ延伸するならば、この部分は土橋と推定される。また、本遺構周辺は遺構の空白域が見られるため、掘削土を利用した盛土などの構築を想定した。しかし、その痕跡は断面観察から見出せなかった。遺物は、１層から多数の土師質土器の皿（112～133）、瀬戸焼・美濃焼（134）、珠洲焼が出土した。

SD1428（図版16・38）は39Jに位置する。溝は直線的で東西方向に延びる。東側は調査区外に延び、西側はSD2276に切られる。SD1380と平行する。規模は、長さが残存値で12.0ｍ、幅2.87ｍ、深さ0.60ｍ、断面は立ち上りが緩やかな台形状を呈する。埋土は８層からなり、黒褐色粘土などがレンズ状に堆積する。新旧関係は、SE1982を切り、SK2278、SD2276に切られる。遺物は、土師質土器皿（135・136）、３層から珠洲焼（137～141）、７層から瀬戸焼・美濃焼（142）が出土した。

SD2285（図版15・48・100）は37Hに位置する。溝は南北方向に直線的に伸びる。断面は立ち上りが急斜度な弧状を呈する。規模は、長さ3.00ｍ、幅0.60ｍ、検出面からの深さ0.10ｍである。埋土は黒色粘土の単層である。遺物は出土していない。

SD1540（図版12～14・48・100）は、２区南の中心に位置する。溝は直線的に南北方向に延びる。南側

は調査区外へ延び、北側は旧葦藪川に切られる。断面は立ち上りが急斜度な台形状を呈する。規模は、長さが残存値で41.0ｍ、幅2.16ｍ、検出面からの深さ0.70ｍである。埋土は７層からなり、褐灰色粘土などがレンズ状に堆積する。埋土からは土師質土器の皿（143)、珠洲焼（153～161)、唐津焼（144･145)、瀬戸焼･美濃焼（147・148)、白磁（150～152)、志野焼（149)、越中瀬戸焼（146)、石臼（215）が出土した。SD1540が埋没した後に掘り直されている。掘り直し後の溝はSD2276である。

SD2276（図版12～14・48・100）は２区の南側の中心に位置する。溝は直線的で南北方向に延びる。南側は調査区外へ延び、北側は旧葦藪川に切られる。断面は急斜度な台形状を呈する。規模は、長さが残存値で41.0ｍ、幅1.60m、深さ0.42ｍである。埋土は４層からなり、褐灰色粘土などがレンズ状に堆積する。遺物は１層から土師質土器の皿（162）が出土した。土師器質土器の内面には「南無阿弥陀□」と梵字（キリーク)、底部外面にも「□妙蓮□」の墨書がある。SK2278・SD1428・SD1540を切る。

SD2462（図版12～14･48･100）は38Iに位置する。溝は直線的で南北方向に延びる。南側はSD2276に、北側は旧葦藪川に切られる。断面は、立ち上がりが垂直な台形状を呈する。規模は、長さが残存値で19.6ｍ、幅0.96m、深さ0.40ｍである。埋土は３層からなり、褐灰色粘土や灰白色粘土が水平に堆積する。新旧関係は、P2477に切られ、SE2525・SK2461・P2314・P2523・P2568・P2478を切る。遺物は２層から土師質土器の皿（163）が出土した。

SD3991（図版20･21･48･100）は35H･I、36H･Iに位置する。溝はＬ字状に屈曲する溝である。断面は、立ち上りが緩やかな弧状を呈する。規模は、全長が残存値で15.0ｍ、幅2.10m、検出面からの深さ0.30ｍである。埋土は４層からなり、褐灰色粘土がレンズ状に堆積する。SD4019を切り、SD3990に切られる。１層から土師質土器の皿（164～166)、珠洲焼の甕（167)、瀬戸焼・美濃焼の大皿（168）が出土した。

３）３　　区

SD3002（図版20・21・49・101）は43・44Ｋに位置する。溝は直線的で南北方向に延び、両側が調査区外へ続く。断面は､立ち上がりが急斜度な台形状を呈する。東側にテラス状の段を持つ所がある。規模は、長さが残存値で16.6m、幅1.74ｍ、深さ0.44ｍである。埋土は７層からなり、地山ブロックを含む黒褐色土がレンズ状に堆積する。遺物は、１層から珠洲焼が出土した。

SD3305(図版20･49･101)は､43Ｊに位置する。溝は､直線的で南北方向に延びる。SD3002と同軸である。規模は、長さが残存値で16.7ｍ、幅0.80ｍ、検出面からの深さ0.48ｍである。埋土は５層からなり、地山ブロックを含む黒褐色土がレンズ状に堆積する。堀に近い印象を受ける。新旧関係はSD3383に切られる。遺物は１・３層から珠洲焼の甕が出土した。

SD3383（図版19・20・49・101）は42I・Ｊに位置する。溝は直線的で東西方向に延びる。SD3305と接した部分で途切れる。SD3551は南北方向に延びる溝である。42I18・23付近でＴ字状に合流する。断面観察からは両者に新旧関係は確認できないことや、平面規模と深さ、埋土の土質が似ていることから、同時期の遺構と推察する。炭化物と地山ブロックを含む黒色土が堆積する。遺構検出の際は、本遺構より新しいものは見出せなかった。SD3383・１層から陶磁器が出土した。

Ｅ　道 路 状 遺 構（図版９・12・49・101）

33・34・35Ｇ・Ｆに位置する。溝は、やや弧状を呈しながら北から西方向へ延びる。西側は調査区外へと延び、一部が旧葦藪川に切られる。断面は、３つの溝で成り立ち、それぞれの立ち上がりは急斜度な

弧状を呈する。規模は、全長が残存値で28.0ｍ、幅2.42ｍ、検出面からの深さ0.24ｍである。埋土は４層からなり、黒褐色粘土がレンズ状に堆積する。新旧関係は、SD41を切る。遺物は、土師質土器の皿（169～171）、珠洲焼の片口鉢（177）、唐津焼（172・175・176）、天目茶椀（173）、瀬戸焼・美濃焼の大皿（174）が出土した。

Ｆ　性格不明遺構

SX300（図版７・10・49・102）は36・37Eに位置する。平面は長楕円形、断面は立ち上がりが急斜度な弧状を呈する。規模は、長軸7.12m、短軸4.20m、検出面からの深さは0.28mである。埋土は６層からなり、黒褐色粘土などがブロック状に堆積する。新旧関係は、SD258、SE661・680、P457・675・744・775を切る。遺物は、唐津焼の皿（178）が出土した。

Ｇ　ピ　ッ　ト

P61（図版11・49・102）は30H13・14に位置する。平面は楕円形、断面はＵ字状を呈する。規模は、長軸0.84m、短軸0.62m、検出面からの深さ0.62mである。埋土は５層からなり、柱根が残存する。埋土は４・５層が裏込め土、１・２層は埋め土である。遺物は信楽焼の甕（179）が出土した。

P81（図版11・49・102）は30H14に位置する。平面は円形、断面は箱状を呈する。規模は、長軸0.82m、短軸0.80m、検出面からの深さ0.74mである。埋土は６層からなり、黒色粘土や褐灰色粘土がブロック状に堆積する。遺物は、土師質土器の皿（180）が出土した。

P136（図版７・10・50・102）は37Ｅ３に位置する。平面は楕円形、断面は漏斗状を呈する。規模は、長軸0.76m、短軸0.62m、検出面からの深さ0.60mである。埋土は６層からなり、黒色粘土やシルトがレンズ状に堆積する。遺物は、唐津焼の皿（181）が出土した。

P253（図版10・50・102）は38Ｆ11に位置する。平面は円形、断面はＵ字状を呈する。規模は、長軸0.40m、短軸0.32m、検出面からの深さ0.50mである。埋土は２層からなり、１層から柱根（217）が出土した。

P351（図版７・50・102）は37Ｅ３に位置する。平面は楕円形、断面はＵ字状を呈する。規模は、長軸0.30m、短軸0.22m、検出面からの深さ0.24mである。埋土は黒褐色粘土の単層で、１層から柱根（219）が出土した。

P361（図版７・50・102）は37Ｅ３に位置する。平面は楕円形、断面はＵ字状を呈する。規模は、長軸0.30m、短軸0.22m、検出面からの深さ0.24mである。埋土は黒褐色粘土の単層で、１層から柱根（219）が出土した。

P407（図版６・50・103）34D21に位置する。平面は円形、断面はＵ字状を呈する。規模は、長軸0.24m、短軸0.22m、検出面からの深さ0.40mである。埋土は２層からなり、灰色粘土と黒褐色粘土が堆積する。遺物は、天目茶椀（182）が出土した。

P509（図版７・50・103）は36Ｄ21に位置する。平面は方形、断面は漏斗状を呈する。規模は、長軸0.62m、短軸0.60m、検出面からの深さ0.64mである。埋土は４層からなり、黒褐色粘土やオリーブ灰色粘土が堆積する。３層から柱根（220）が出土した。

P520（図版10・50・103）は37Ｆ６に位置する。平面は円形、断面はＵ字状を呈する。規模は、長軸0.30m、短軸0.30m、検出面からの深さ0.40mである。埋土は４層からなり、黒褐色粘土や灰色粘土が堆積する。

P660（図版６・50・103）は35E13に位置する。平面は円形、断面はＵ字状を呈する。規模は、長軸0.32m、短軸0.30m、検出面からの深さ0.60mである。埋土は２層からなり、褐灰色粘土が堆積する。１層から柱根（223）が出土した。

P752（図版10･50･103）は37F5に位置する。平面は円形、断面はＵ字状を呈する。規模は、長軸0.44m、短軸0.40m、検出面からの深さ0.40mである。埋土は４層からなり、黒色シルトや褐灰色粘土などが堆積する。２層から柱根（224）が出土した。

P912（図版9･50･103）は35Ｆ18に位置する。平面は円形、断面はＵ字状を呈する。規模は、長軸0.28m、短軸0.28m、検出面からの深さ0.58mである。埋土は３層からなり、黒色粘土や灰色粘土が堆積する。２層から柱根（225）が出土した。

P1396（図版50･103）は34Ｅ24に位置する。平面は楕円形、断面は漏斗状を呈する。規模は、長軸0.56m、短軸0.30m、検出面からの深さ0.24mである。埋土は３層からなり、黒褐色粘土や青灰色粘土が堆積する。２層から土師質土器の皿（183）が出土した。

P2622（図版７･50･103）は36Ｅ８に位置する。平面は楕円形、断面は漏斗状を呈する。規模は、長軸0.56m、短軸0.30m、検出面からの深さ0.24mである。埋土は３層からなり、黒褐色粘土や青灰色粘土が堆積する。新旧関係は、Ｐ2623を切る。遺物は出土していない。

P2623（図版７・50・103）は36Ｅ８に位置する。平面は楕円形、断面は漏斗状を呈する。規模は、長軸0.34m、短軸0.26m、検出面からの深さ0.10mである。埋土は単層で、黒褐色粘土が堆積する。新旧関係は、Ｐ2622に切られる。埋土から土師質土器の皿が出土した。

P2809（図版５・51・104）は32D11に位置する。平面は円形、断面はＵ字状を呈する。長軸0.30m、短軸0.26m、検出面からの深さ0.32mである。埋土は２層からなり、黒褐色粘土と青灰色粘土がレンズ状に堆積する。遺物は、天目茶椀（185）が出土した。

P3221（図版５・51・104）は32E24・25に位置する。平面は楕円形、断面は箱状を呈する。長軸0.84m、短軸0.50m、検出面からの深さ0.18mである。埋土は３層からなり、黒褐色粘土や青灰色粘土が水平状に堆積する。新旧関係は、P3220に切られる。遺物は、土師質土器の皿（187）が出土した。

P4164（図版６・51・104）は33Ｄ23に位置する。平面は円形、断面はＵ字状を呈する。長軸0.20m、短軸0.16m、検出面からの深さ0.24mである。埋土は２層からなり、黒色粘土や灰色粘土がレンズ状に堆積する。２層から柱根（231）が出土した。

Ｈ　下　　層

SK4210（図版51・105）は、29Ｇ８に位置する。平面は楕円形、断面は立ち上がり緩やかな弧状を呈する。規模は、長軸1.74ｍ、短軸1.00ｍ、検出面からの深さ0.13ｍである。埋土は２層からなり、黒色粘土や灰色粘土がレンズ状に堆積する。遺物は、２層から珠洲焼の片口鉢（192）が出土した。

SD4193（図版51・105）は、30・31Dに位置する。溝は直線的で東西方向に延びる。溝の東側は調査区外に続き、西側は旧葦薮川に切られる。よって全容は把握できない。断面は立ち上りが緩やかな弧状を呈する。規模は、長さが残存値で36.3ｍ、幅2.60m、検出面からの深さ0.64mである。埋土は６層からなり、黒色粘土や黒褐色粘土がレンズ状に堆積する。新旧関係は、水田3575・3580を切る。遺物は珠洲焼の片口鉢（193・194）が出土した。

SD4194（図版51・105）は30・31Dに位置する。溝は直線的で東西方向延びる。溝の東側は調査区外に続き、西側は旧葦薮川に切られる。よって、全容は把握できない。断面は立ち上りが緩やかな弧状を呈する。規模は、長さが残存値で20.0ｍ、幅2.50m、検出面からの深さ0.70mである。埋土は５層からなり、黄灰色粘土や暗青灰色粘質土がレンズ状に堆積する。遺物は珠洲焼の片口鉢（195）が出土した。

第Ⅴ章　遺　　物

1　概　　要

今回の調査で出土した遺物は、土器・陶磁器類、石製品、木製品、土製品、金属製品などがある。出土量は浅箱（内法54㎝×幅34㎝×深さ10㎝）換算で50箱にのぼる。内訳は土器・陶磁器23箱、木製品20箱、石製品５箱、金属製品１箱、自然科学分析用試料１箱である。遺物の多くは中世の所産である。しかしながら、出土遺物の中には弥生時代や古墳時代の遺物がわずかながら含まれる。ここでは、土器・陶磁器→石製品→木製品→土製品→金属製品→銭貨の順に報告する。なお、記述は図面図版の掲載順とし、土器・陶磁器類については遺構ごとに行い、そのほかの遺物については種別ごとにまとめて記述した。

2　遺　物　各　説

A　土器・陶磁器

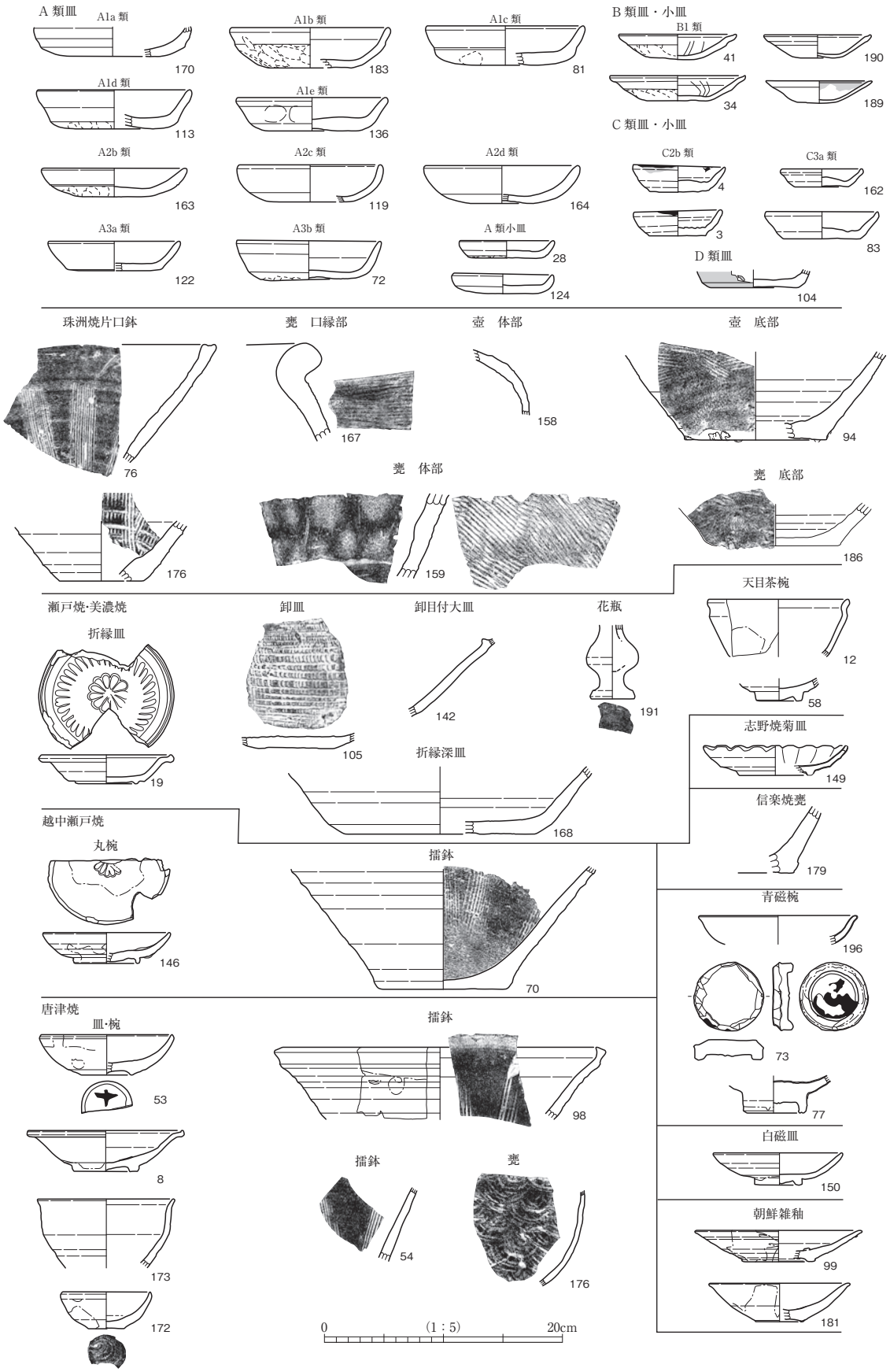
種別は、土師質土器、珠洲焼、瀬戸焼・美濃焼、肥前系陶器、輸入陶磁器などが確認できた。これらの分類・年代観については、珠洲焼が［吉岡1994］、瀬戸焼・美濃焼が［藤澤2008］、肥前系陶器が［大橋1989］、輸入陶磁器が［上田1982］・［森田1982］・［山本2000］に従った。土師質土器皿については、品田氏・水澤氏の論考［品田1991・1999b・c］・［水澤2005］を参考に、製作技法の違いと器形によりＡ～Ｄ類の４つに分類を行った。

Ａ類：手づくね成形で、全体的に器壁が厚く、口縁部を２段ないし１段にヨコナデしている。口径11㎝を境として、以上を皿、未満を小皿とした。皿は、口縁部と体部の境に稜がつく１類、口縁部が内湾する２類、器形が箱状となる３類に大別した。さらに、調整の差異で、口縁部を２段にヨコナデし、体部との境に明瞭な稜線が付くものをａ類、口縁部のヨコナデが１段で、体部との境に明瞭な稜線が付くものをｂ類、口縁部を広めにヨコナデし、稜線が底部付近に下がるか沈線状になるものをＡ１・２ｃ類、稜線が不明瞭になり、底部と口縁部との境が窪むものをｄ類、口縁部のヨコナデが粗雑で、稜線がないものをｅ類とした。

Ｂ類：手づくね土器で、器壁が薄く、口縁部を２段ないし１段にヨコナデするもの。口径11㎝を境として、以上を皿、未満を小皿とした。Ｂ類の皿・小皿は、どちらも口縁部を２段ないし１段ヨコナデしており、口縁端部を上方に摘まみ上げるもの（１類）と、口縁部を１段ヨコナデし、口縁端部に面を持たないもの（２類）がある。Ｂ類の土師質土器は、SE3764から17枚（皿７枚、小皿10枚）が一括で出土しており、製作技法が皿と小皿で明らかに異なる。

Ｃ類：ロクロ成形で底部に糸切り痕が残るもの。口径11㎝を境として、以上を皿、未満を小皿とした。小皿は２種に細分し、体部が直線的に立ち上がるものをC2a類、口縁端部を内側に屈曲させて面を持ち、内面中央がやや盛り上がるものをC3a類とした。

Ｄ類：ロクロ成形で底部にヘラ切り痕が残るもの。底部は平坦で、体部との境には面を持つ。Ａ～Ｃ類に比べて胎土が緻密でしまった印象を受ける。このタイプはSD496から１点のみ出土した。



第10図　土器・陶磁器類の分類

SE150（図版52・106　１）

１は唐津焼の皿で、底部内外面には胎土目痕が４か所残存する。16世紀末～17世紀前半の所産である。

SE187（図版52・106　２）

２は珠洲焼片口鉢の口縁部片で、片口部が残存する。片口部の幅は人差し指２本分である。

SE272（図版52・106　３・４）

３・４は土師質土器のＣ２ｂ類である。３・４の口縁部にはタールが付着する。そのため灯明皿としての利用が窺える。

SE284（図版52・106　５・６）

５は土師質土器の小皿である。底部内面の中央には人為的な穿孔がある。６は珠洲焼甕の底部である。

SE383（図版52・106　７～12）

７～11は唐津焼で、底部内面には砂目（７・８）または胎土目（９～11）の痕跡が３～４か所残存する。７・８は口縁端部をわずかに上方へつまみ上げられ面を形成する。10は口縁部が波状に加飾され、11は底部内面に鉄絵が描かれている。16世紀後半の所産と考える。12は瀬戸焼・美濃焼の天目茶椀で、後期様式Ⅳ期の所産と考える。

SE670（図版52・106　13）

13は瀬戸焼・美濃焼の平椀である。内外面が施釉され、口縁端部には使用痕が残る。後期様式Ⅱ・Ⅲ期の所産と考える。

SE936（図版52・106　14）

14は土師質土器のＡ１ｅ類である。

SE953（図版52・106　15）

15は珠洲焼の片口鉢である。内面には１条11～12目の卸目が施される。全体的に被熱しており、内面の摩耗が著しい。Ⅳ１期の所産と考える。

SE1042（図版52・106　16・17）

16・17は珠洲焼の片口鉢の口縁部である。17の胎土には混和材が多く入る。時期は16がⅣ２期、17がⅣ１期の所産と考える。

SE1384（図版52・106　18）

18は珠洲焼の壺で、底部片である。底部には静止糸切り痕が残り、砂粒が付着する。

SE4087（図版52・106　19）

19は瀬戸焼・美濃焼の折縁皿である。底部内面には菊花紋が刻印され、内側面には花弁を表すとみられる加飾が施される。高台には重ね焼きの痕跡が残る。被熱している。大窯様式Ⅳ期の所産と考える。

SE4151（図版52・106　20）

20は唐津焼の皿である。底部内面には胎土目の痕跡が４か所残り、口縁部にはススやタールが付着する。器形は全体的に所丸みを帯びる。16世紀末～17世紀初頭（大橋編年Ⅰ期）の所産と考える。

２区

SE1207（図版52・106　21）

21は珠洲焼の片口鉢の口縁部である。Ⅳ１期の所産と考える。

SE1210（図版52・106　22）

22は珠洲焼の片口鉢の口縁部である。口縁部には片口部の痕跡が残る。Ⅴ期の所産と考える。

SE1404（図版52・106　23）

23は土師質土器皿Ａ２ｃ類である。内面にはススが付着する。

SE1982（図版52・106　24・25）

24・25は珠洲焼の片口鉢である。24は口縁部、25は底部である。25の体部外面には、底部外端を調整した時の指頭圧痕が明瞭に残る。24・25ともにⅣ１期の所産と考える。

SE2561（図版52・106　26）

26は珠洲焼の片口鉢である。内面には１条10目の卸目が４条以上施され、底部がわずかに摩耗する。Ⅳ１期の所産と考える。

SE2562（図版52・106　27）

27は珠洲焼の片口鉢の底部である。底部内面には摩耗がみられる。Ⅳ２期の所産と考える。

SE3178（図版52・106　28）

28は土師質土器のＡ２類である。

SE1205（図版52・106　29）

29は土師質土器のＣ１ａ類である。

SE3508（図版52・106　30）

30は土師質土器のＢ２類である。底部外面にはススが付着する。

SE3623（図版52・106　31）

31は珠洲焼片口鉢の口縁部である。内面には１条７目の卸目が施される。Ⅳ１期の所産と考える。

SE3704（図版53・106　32）

32は土師質土器皿のＣ類である。口縁部にはススが付着している。

SE3764（図版53・107　33～49）

33～49まで土師質土器で、埋土から一括で出土した。33～45がＢ１類、残りは小皿である。32～42と43～48で胎土と作風が異なる。前者は器面が滑らかで胎土に砂粒などの含有物が少ない。作風は口縁部をしっかりとナデ、端部がわずかに立ち上がる。また、底部内面にはナデ抜いた痕跡がはっきりと残る。対して、後者は、胎土に砂粒などの含有物が多く、器面がざらつく。作風は、粗雑な調整で器形が大きく歪む。前者が京都の正品とした場合、後者は模造品の印象を受ける。

SE3940（図版53・107　50）

50は土師質土器皿のＢ２類である。口縁部内面にはタール状の付着物がある。そのため、灯明皿としての使用が窺える。

SE4275（図版53・107　51）

51は珠洲焼甕の口縁部で、Ⅲ期の所産と考える。

１区

SK647（図版53・107　52～54）

52・53は唐津焼の皿で、底部内面には胎土目の痕跡が残る。藁灰釉が内面から体部半ばまで掛かる。53の高台の内側には墨書で「十」が書かれている。SK651に同一の墨書を持つ唐津焼皿が出土している。16世紀末～17世紀初頭と考える。54は瀬戸焼・美濃焼の擂鉢である。内面には１条12目の卸目が施される。加えて、摩耗がみられる。

SK654（図版53・107　55～58）

55～57は唐津焼の皿で、底部内面には胎土目の痕跡が残る。56・57の高台内には「十」が墨書で書かれている。SK647に同一の墨書を持つ唐津焼皿が出土している。16世紀末～17世紀初頭の所産と考える。58は瀬戸焼・美濃焼の天目茶椀で、大窯様式Ⅳ期の所産と考える。

SK981（図版53・107　59）

59は土師質土器のＡ２ｅ類である。器面の摩耗が著しい。

SK1128（図版53・107　60）

60は土師質土器皿のＡ１ｅ類である。

SK1227（図版53・107　61）

61は珠洲焼の片口鉢である。Ⅳ１期の所産と考える。

SK1306（図版53・107　62）

62は土師質土器皿のＡ２ｄ類である。外面にはススが付着する。

SK1359（図版53・107　63）

63は土師質土器Ａ２類の小皿である。

SK4086（図版53・107　64～66）

64・65は唐津焼の皿で、底部内面には胎土目痕が残る。64の底部外面には回転糸切り痕があり、墨書で「十」が書かれている。65は削り出し高台で、高台の内側には64と同じく「十」の字がある。「十」の字がある唐津焼皿はSK647・SK651からも出土している。16世紀末～17世紀初頭の所産と考える。65は珠洲焼の片口鉢である。内面には１条10目の卸目が施され、底部外面には静止糸切り痕が残る。底部外端はケズリ調整が施され、それに伴う指頭圧痕が体部側面に残存する。内外面にススが付着する。Ⅳ１期の所産と考える。

２区

SK1435（図版53・107　67）

67は土師質土器皿のＣ１ａ類である。被熱したため、内外面にはススが付着する。

SK1760（図版53・107　68）

68は珠洲焼の片口鉢の口縁部である。体部内面には卸目がわずかに残る。Ⅳ１期の所産と考える。

SK1834（図版53・107　69・70）

69は唐津焼の椀である。内面から体部には藁灰釉が掛かる。高台には砂目痕が３か所残る。16世紀末～17世紀前半の所産と考える。70は越中瀬戸焼の擂鉢である。底部外面には回転糸切り痕があり、立ち上がりは体部が直線的である。内面には１条10目の卸目が施されているが、底部付近は卸目が消滅するほど摩耗が著しい。

SK1946（図版53・107　71）

71は土師質土器皿のＢ１類である。内面にはナデ抜きの痕跡が明瞭に残る。口縁部から体部外面にかけてススが付着する。そのため、灯明皿としての利用が窺える。

SK2030（図版53・107　72・73）

71は土師質土器皿のＡ３ａ類である。器壁は厚く、体部が直線的に伸びる。底部中央にはやや凹むか所がある。72は青磁有台椀の底部である。高台の断面は方形を呈する。底部と体部の境目を意図的に打ち欠いており、高台の内側には墨痕が残る。破損した後、硯に転用したことが窺える。上田Ｄ類と考える。

SK2129（図版53・107　74）

74は珠洲焼の片口鉢である。内面には卸目がわずかに残り、割れ口には漆が付着する。Ⅳ１期の所産と考える。

SK2973（図版54・107　75・76）

75・76は珠洲焼である。74は甕の口縁部でⅢ期の所産と考える。75は片口鉢で、口縁端部がわずかに凹む面を持つ。内面には１条11目の卸目が施される。Ⅳ１期の所産と考える。

SK3259（図版54・108　77）

77は青磁の椀で被熱している。底部が厚く、高台の断面が方形を呈する。高台は内端接地である。上田ＢⅣ類で15世紀後半から16世紀前半の所産と考える。

SK3354（図版54・108　78）

78は土師質土器皿のＡ３a類である。内外面にススが付着する。

SK3447（図版54・108　79・80）

79は瀬戸焼・美濃焼の皿で、器面が被熱している。割れ口にススが付着することから、破損後被熱したと考えられる。大窯様式Ⅳ期の所産と考える。80は土師質土器の小皿である。

１区

SD41（図版54・108　81～87）

81～83は土師質土器で、81・82は皿でＡ１c類、83は小皿でＣ１a類である。３点とも焼成が不良で、内面にはススが付着する。83のみ器面の摩耗が著しい。84は唐津焼の皿である。皿の内外面には藁灰釉が掛かり、底部内面に胎土目痕が残る。16世紀末～17世紀初頭の所産と考える。85～87は珠洲焼である。85・87は片口鉢、86は壺である。85はⅣ２期、86・87はⅡ期の所産と考える。

SD111（図版54・108　88～94）

88は土師質土器皿のＣ１a類である。89～94は珠洲焼で、89～91までが片口鉢、92～94が甕である。91は４つの破片から１個体を成すが、破片はすべて異なる遺構（SK853、SD41・SD111・SD469）から出土した。92の表面には焼成時の降灰の痕跡が残る。89はⅣ２期、90はⅥ期、91はⅤ期、93はⅢ期の所産と考える。

SD281（図版54・108　95・96）

95は土師質土器皿のＣ１a類である。口縁部にはタール状の付着物がある。そのため、灯明皿としての利用が窺える。96は珠洲焼の片口鉢である。内面には波状文を施した痕跡が残る。Ⅳ２期～Ⅴ期の所産と考える。

SD282（図版54・108　97・98）

97は土師質土器のＡ１d類である。口縁部の内外面には多量のススが付着する。98は唐津焼の擂鉢である。口縁部にのみ鉄釉が掛かり、体部の内外面は露胎する。16世紀末～17世紀初頭の所産と考える。

SD283（図版54・108　99）

99は朝鮮雑釉皿である。内面～畳付けまで釉が掛かり、所々に灰釉が付着する。底部の内外面には砂目らしき痕跡が残るが不明瞭である。16世紀後半の所産と考える。

SD345（図版55・108　100）

100は珠洲焼の甕である。Ⅳ２期の所産と考える。

SD496（図版55・108　101～111）

101～104は土師質土器皿である。101はＡ２ｅ類、102はＡ３ａ類、103はＣ１ａ類である。104は内外面に大量のススと炭化物が付着する。101～103の胎土とは全く異なり、104の胎土は非常に硬く締まっている。底部をヘラ切りしていることから阿賀北地方で制作されたとみる。105・106は瀬戸焼・美濃焼である。105は卸皿で、皿底部に回転糸切り痕が残る。内面には灰釉が掛かるが、中央部の釉は使用によって摩耗している。中期様式Ⅳ期～後期様式Ⅰ期の所産と考える。106は折縁深皿で、中期様式Ⅲ期～Ⅳ期の所産と考える。107～111は珠洲焼である。107・108は片口鉢の口縁部で、どちらも片口部が残る。107の片口部は人指し指２本分の幅がある。107はⅣ１期、108はⅣ２期の所産と考える。109は壺の口縁部で、頸部から上方に直線的に延び、端部は折り返されやや肥厚する。110･111は甕である。110がⅣ１期、111がⅣ２期の所産と考える。

SD1380（図版55・108　112～134）

112～133は土師質土器で埋土内から一括で出土した。112・115・117・119はＡ２ｄ類、113・114・116・118・120・121はＡ１ｄ類、122はＡ３ａ類である。遺物により底部外面の中央に意図的な窪みが施されている。123～133は小皿である。134は唐津焼の折縁皿で、内面から口縁部にかけて藁灰釉が掛かる。底部内面には胎土目痕が残る。16世紀末から～17世紀初頭の所産と考える。

SD1428（図版55・56・109　135～142）

135・136は土師質土器皿でＡⅠｅ類である。135の口縁部にはススが付着する。そのため、灯明皿としての利用が窺える。137～141は珠洲焼である。137・138は片口鉢の口縁部で、137のみ波状文が施される。137はⅤ期、138はⅥ期の所産と考える。139は片口鉢の底部で、静止糸切りと外端ケズリの痕跡が残る。内面には卸目が施されるが､使用による磨滅で､卸目の単位は不明である。Ⅳ２期の所産と考える。140・141は甕の口縁部で、Ⅳ２期の所産と考える。142は瀬戸焼・美濃焼の卸目付大皿である。体部の内面上半から外面下半にかけて灰釉が掛かる。口縁端部は破損して詳細は不明だが、断面形がＹの字状になるとみられる。後期様式Ⅱ期の所産と考える。

SD1540（図版56・109　143～161）

143は土師質土器皿のＢ１類である。体部上半はナデにより外反し、口縁端部はやや上方を向く。器壁は薄く仕上げられ、内面にはナデ抜き痕が明瞭に残る。非常に丁寧な作りである。144・145は唐津焼である。144は溝縁皿で、内面から口縁部の外面まで灰釉が掛かる。底部内面には砂目が３か所残る。151は天目茶椀で、削り出し高台の畳付けには胎土目が２か所残る。どちらも16世紀末～17世紀前半の所産と考える。146は越中瀬戸焼の皿である。体部内外面には緑釉が掛かり、底部内面の中央に菊花紋が刻印される。147・148は瀬戸焼・美濃焼である。147は丸椀で、削り出し高台の外縁まで緑釉が掛かる。148は大皿で、体部の内外面の半ばまで白釉が掛かる。149は志野焼の菊皿で、口縁に刻み目を施し花弁状に仕上げている。16世紀末の所産と考える。150～152は白磁皿でいずれも森田Ｄ類である。145の高台の内側は黒色であり､144の高台の内側には「×」のヘラ記号が刻まれている。15世紀前半の所産と考える。153～161まで珠洲焼である。153～155は片口鉢で、口縁部の形態から153がⅥ期、153がⅣ２期、154がⅣ１期の所産と考える。156・157・159・160が甕で、158・161が壺である。156・157の口縁部形態からⅢ期とⅣ１期の所産と考える。159～160は底部である。159は底部に近い体部片である。内面には底部と体部の接合部が明瞭で、接合時の指頭圧痕が指単位で列を為す。160は砂底で、底部外縁までタタキが施される。また、一部にヘラによる傷が残る。161の内面はロクロ成形痕が明瞭である。底部外面には静止

糸切り痕が残り、外縁はケズリ調整を施す。

SD2276（図版56・109　162）

162は土師質土器の小皿でＣ３ａ類である。内面には「南無阿弥□、キリーク（阿弥陀如来）」、外面に「□妙蓮□」の墨書が記されている。SD2276が通る付近には、六文銭と土師質土器皿が出土したSK1946があることから、溝の周囲に墓域が存在した可能性がある。

SD2462（図版56・109　163）

163は土師質土器の皿でＡ２ｂ類である。外面にはススが付着する。

SD3990（図版56・109　164～168）

164～164は土師質土器である。164・165は皿でＡ２ｃ類、166は小皿である。167は珠洲焼甕でⅣ１期の所産と考える。168は瀬戸焼・美濃焼の折縁深皿で内外面に釉が掛かる。中期様式Ⅲ～Ⅳ期の所産と考える。

道路状遺構（図版56・109　168～176）

168～170は土師質土器である。168・169は皿で、前者がＡ２ｅ類、後者がＡ１ａ類である。168は被熱しており、器面の損傷が著しい。171は小皿でＣ１ａ類である。黒色処理かは不明であるが、全体が黒色である。また、内面には炭化物が付着する。172・173・175・176は唐津焼ですべて器種が異なる。172は椀、173は天目茶椀、175は大皿、176は壺である。172の底部外面には墨痕が残る。175は底部の内外面に胎土目痕が残り、同じく内面には鉄絵が描かれる。いずれも16世紀末～17世紀初頭の所産と考える。174は瀬戸焼・美濃焼の鉢で、内外面が施釉される。177は珠洲焼の片口鉢である。底部外面には静止糸切り痕が残り、内面には卸目が施されるが、単位は不明である。Ⅴ期の所産と考える。

SX300（図版57・109　178）

178は唐津焼の皿である。内面から体部半ばに藁灰釉が掛かり、底部内外面には砂目が残る。16世紀末～17世紀前半の所産と考える。

P61（図版57・109　179）

179は信楽焼の甕と考える。底部片のため全容を把握するのは困難である。被熱している。15世紀後半の所産と考える。

P81（図版57・109　180）

180は土師質土器皿のＡ２ｃ類である。内外面にはススが付着する。

P136（図版57・109　181）

181は朝鮮雑釉の皿である。被熱しており、高台が著しく摩耗する。底部内面には砂目が３か所残る。15世紀後半の所産と考える。

P407（図版57・109　182）

182は瀬戸焼・美濃焼の天目茶椀で、大窯様式Ⅲ期の所産と考える。P2809で出土した天目茶椀と同一個体の可能性がある。

P1396（図版57・109　183）

183は土師質土器皿のＡ１ｂ類である。内外面にススが付着する。

P2804（図版57・110　184）

184は珠洲焼の片口鉢である。内面には１条10目の卸目が施される。Ⅳ１期の所産と考える。

P2809（図版57・110　185）

185は瀬戸焼・美濃焼の天目茶椀で、大窯様式Ⅲ期の所産と考える。P407で出土した天目茶椀と同一個体の可能性がある。

P3221（図版57・110　187）

186は珠洲焼の甕もしくは壺の底部である。底部外面は砂底で、外縁をケズリ調整している。ケズリ調整時に付いたとみられる指頭圧痕が体部外面に残る。内面にはロクロ成形の痕跡が明瞭に残り、ススや油煙が付着する。

P1570（図版57・110　186）

187は土師質土器皿のＡ２ｂ類で、内外面にススが付着する。

P3033（図版57・110　188・189）

188・189は土師質土器皿のＢ１類である。188は内外面が黒色である。黒色処理をした可能性がある。189は内面にススもしくはタール状の付着物がある。そのため、灯明皿としての利用が窺える。

P3340（図版57・110　190）

190は土師質土器皿のＢ１類である。底部外面の中央部には凹みがあり、口縁部内面にはススが付着する。そのため、灯明皿としての利用が窺える。

P3995（図版57・110　191）

191は瀬戸焼･美濃焼の花瓶である。体部下半がやや下膨れ気味な器形で、底面には回転糸切りが残る。中期様式Ⅰ期の所産と考える。

下層

SK4210（図版57・110　192）

192は珠洲焼の片口鉢で、片口部が残存する。幅は人指し指１本分である。片口部を正面から見た時の左側には、片口部を引き出した時に付いたとみられる指頭圧痕が残る。底部は静止糸切りで、外端をケズリ調整している。Ⅲ期の所産と考える。

SD4193（図版57・110　193・194）

193・194は珠洲焼の片口鉢である。193の内面には１条８～12目の卸目が施される。193・194はⅣ２期の所産であると考える。

SD4194（図版57・110　195）

195は珠洲焼の片口鉢である。内面には１条８～12目の卸目が施される。195はⅣ２期の所産であると考える。

遺構外（図版57・110　196・197）

196は青磁椀で、口縁部が玉縁状である。龍泉窯系で14世紀末後半の所産と考える。197は唐津焼の擂鉢である。内面には１条12目の卸目が施され、使用による摩耗がみられる。17世紀前半の所産と考える。

Ｂ　石　製　品

出土した石製品の大部分は砥石である。次いで石臼が多い。加工痕などが特徴的なものを抽出し、19点を掲載し報告する。

砥石（図版57・58・110　198～209）

198は凝灰岩製で、SB4401を構成するP3417から出土した。形は角柱状を呈し、上部が欠損する。砥面は表裏左右でそれぞれに刃砥ぎの線状痕が付く。特に表が使用による摩耗が著しい。199は凝灰岩製で、SE534から出土した。角柱状を呈し、上部が欠損する。砥面は表裏左右を使用している。使用により表がやや摩耗する。200は凝灰岩製で、SE687から出土した。角柱状を呈し、上下部が欠損する。砥面は表裏左右を使用している。使用により、左右が抉れ、表が摩耗する。201は凝灰岩製で、SE1160から出土した。角柱状を呈していたと思われるが、４分の１が欠損しているため定かでない。砥面は表裏左面をほぼ全面使用している。右面の残存部にも一部使用痕が残る。断面は長方形を成す。202は凝灰岩製で、SE1212から出土した。四角錐状を呈し、上部が欠損する。砥面は表裏左右のほぼ全面を使用している。特に、下部から上部にかけて、徐々に厚みが薄くなる。203は凝灰岩製で、SE2281から出土した。角柱状を呈し、上下部が欠損する。砥面は表裏左右をほぼ全面使用している。裏面と左面に刃砥ぎによる欠けが残る。204は凝灰岩製で、SE3623から出土した。角柱状を呈し、上下部が欠損する。砥面は表裏左右をほぼ全面使用している。それぞれに刃砥ぎの線状痕が不明瞭に付く。205は凝灰岩製で、SD41から出土した。角柱状を呈し、上下部が欠損する。砥面は表裏左右をほぼ全面使用している。それぞれに刃砥ぎの線状痕が付く。206は砂岩製で、SD345から出土した。角柱状を呈し、上下部が欠損する。砥面は表裏左右をほぼ全面使用している。それぞれに刃砥ぎの線状痕が付く。207は凝灰岩製で、P520から出土した。角柱状を呈し、上部が欠損する。砥面は表裏左右をほぼ全面使用している。それぞれに刃砥ぎの線状痕が付く。また、表が使用により摩耗し弧状を呈する。208は凝灰岩製で、遺構外から出土した。角柱状を呈し、上下部が欠損する。砥面は表裏左右をほぼ全面使用している。それぞれに刃砥ぎの線状痕が付く。また、左右面が使用により摩耗し大きな弧状を呈する。209は凝灰岩製で、遺構外から出土した。角柱状を呈し、上下部が欠損する。砥面は表裏左右をほぼ全面使用している。それぞれに刃砥ぎの線状痕と欠けが付く。

磨製石斧（図版58・110　210）

210は緑色岩類製の扁平片刃石斧で、SE860から出土した。上部右隅にわずかな欠損が見られるがほぼ完形である。表裏左右のほぼ全面に加工時の線状痕が付く。

石皿（図版58・110　211）

211はSE3260から出土した。破片のため詳細は不明であるが、上面は使用により摩耗し凹んでいること、対して下部には摩耗がみられないことから石皿と判断した。全体に被熱している。

石臼（図版58・110　212～216）

212は安山岩製で、SE3623から出土した。大部分が欠損しているが、供給口、芯棒受けがみられることから上臼である。擦り合せ部の溝は使用による摩耗で不鮮明のため、分画数は不明である。213は安山岩製で、SK1834から唐津焼椀（68）・越中瀬戸焼の擂鉢（69）と共に出土した。完形の上臼で、供給口、芯棒受け、側面に挽木受けがある。擦り合せ部の溝は鮮明で、６分画である。214は花崗岩製で、SD1428から出土した。大部分が欠損しているが、右下に芯棒孔と思われる痕跡が残るため下臼と判断した。擦り合せ部の溝は鮮明だが、分画数は不明である。215は安山岩製で、SD1540から出土した。大部分が欠損している。Ｌ字状の断面形から上臼と判断した。擦り合せ部は破損しており、分画数も不明である。216は砂岩製で、遺構外から出土した。茶臼の下臼の受け皿端部である。

C 木 製 品

木製品は、主に柱根、曲物、漆器、下駄、板材などが出土している。このうち器種が分かるもの、用途不明のもののうち加工痕が特徴的なものを抽出し、41点掲載した。木製品の分類は、『木器集成図録 近畿古代編』・『木器集成図録近畿原始編』［奈良国立文化財研究所1985・1993］を参照した。

柱根（図版58・59・111・112　217～231）

柱根は15本図示した。12本が心持ち丸材で、他に半截状、分割材あるいは分割角材がある。遺存状況から、立ち腐れ、もしくは柱を切断したことによる柱根の遺存と想定されるが、柱根を観察したもののどちらかであったかは判断がつかなかった。柱根のいくつかは、工具による加工痕が接地面に明瞭に残る。特に222と231には他の柱根とは異なる加工が施される。222は、正面下部に直径4cm前後の円形孔、背面の半ばに方形孔を穿かれている。どちらの孔も貫通はしていない。加えて、円孔の直下には柱根を1周するV字状の溝が彫られている。231は、貫通する方形孔が開いている。222・231は、これに付随する部材が出土していないため、孔などの用途は不明である。柱材は樹種同定の結果、217・218・222・224～226、228～231がクリ、220がスギ、351がコナラ属、227がブナであった。クリ材が10点と他の樹種よりも優位を示す。新潟県内の調査事例では、中近世においてクリやスギの利用が多いとされる［伊藤・山田2012］ことから、丘江遺跡もこの傾向に一致する。

漆器（図版60・112　232～239）

232～239は漆器椀で、234･239は内外面とにも赤色漆地であり、それら以外のものは黒色漆地である。233・235・238は内面黒色漆地に赤色漆を用いて模様が描かれ、特に233は文様の残りが良く、円を用いた意匠が凝らされているのがみてとれる。樹種同定は235・236のみ行い、その結果、どちらも横木地柾目取で、235がブナ属、236がハリギリと同定された。どちらも加工性の高い木材である。新潟県内では、椀にはブナ属やケヤキを主に使用し、ハリギリも大武遺跡［春日2000］で利用例がある［第Ⅳ章3D］。

盤（図版60・112　240・241）

240・241は盤である。SE1563から240が、SE3261から241が出土した。240は、高台のような底部に、やや内湾気味の口縁部を持つ。241は、底部が平らで、外反気味の口縁部を持つ。また、内面外縁は中央部に比べて少し窪む。

箸（図版60・112　242・243）

242・243は箸である。SE783から242が、SK2030から243が出土した。どちらも周囲を面取りを施し、断面は隅丸方形を呈する。242は両端が同程度の太さであるが、243は片方のみ尖らせている。

杓子（図版60・112　244）

244は杓子である。SE3900から出土した。表に加工時の線状痕が多く付く。

曲物（図版60・61・112・113　245～256）

245～251、253～256は曲物の底板である。245は半月状に残存する。右側面には、木釘穴らしき痕跡が2か所あり、両端が炭化している。246は表面が一部炭化する。247は径が22㎝で中央に方形の孔がある。表裏に加工時の線状痕が多数残る。紡錘車の可能性がある。248は径が16㎝で、表面に加工時の線状痕が多数残る。249・250は半月状で、厚みは250の方がない。251は半月状に残り、厚みが2㎝程ある底板で、左側面には木釘穴と思われる痕跡が4か所ある。252は側板である。径は18.1㎝で、底板は残存しない。側板の綴じ合わせは2か所、正面は1列7段綴じ、裏面は1列4段綴じである。側板に木釘穴は見

当たらない。253は径が20㎝で、表裏に加工時の線状痕が残る。また、外縁には径0.6㎝程の穴が26か所空いている。254は径が18.9㎝で表面に加工時の線状痕がわずかに残る。側面には木釘穴の痕跡が３か所ある。255は半月状で表面に加工時の線状痕が多数残る。256は半月状で表面に加工時の線状痕が多数残る。

柄杓（図版61・113　257～259）

257は径が16㎝で、側板の綴じ合わせは３か所である。正面が１列上外下内４段綴じと１列内２段綴じ、裏面は１列内５段綴じである。正面に２cm方形の柄孔が開き、相対する位置に径0.4㎝ほどの円形孔がある。258・259はセットである。258は曲物で１列上下３段綴じ、底板は残存しない。259は長さ56.2㎝で、全面に面取りを施し、断面は隅丸長方形を呈する。片側を尖らせている。260は径が9.8㎝で、側板の綴じ合わせは２か所である。正面は２列上５段綴じで、２列内２段綴じである。正面に径１㎝、相対する位置に径0.4㎝ほどの円形の柄孔がある。

その他（図版61・113・114　262～264）

261は独楽で、体部下半を削って円錐状に仕上げている。262はＹ字状木製品で、用途不明品である。263は火鑽臼で、正面右側に径1.8㎝ほどの半円が３か所残る。264は卒塔婆の先端部と考える。頭頂部を尖らせ、下部の両側には∠字状の抉りが付く。

下駄（図版62・114　265～269）

265・266は連歯下駄で、SK4086から出土した。265の形状は隅丸方形を呈し、天と裏に径3.4㎝ほどの円形の刻印がある。前穴と後穴の左が欠損する。266は楕円形で、前穴が欠損する。267は連歯下駄で、SK4087から出土した。形状は楕円形を呈し、前穴が欠損する。268・269は連歯下駄で、SD41から出土した。268は破損が著しく形状は定かでない。かろうじて後穴の痕跡が残る。出土した他の下駄よりひと回り小さい。269の形状は隅丸方形を呈し、天と裏に径3.4㎝ほどの円形の刻印がある。加工時についたと思われる線状痕が多く残る。前穴以降は欠損している。265と269には近似する円形の刻印が施されることから２個で１対の可能性がある。

農具（図版62・114　270～273）

270は鍬で、身に柄が差し込まれた状態でSE1982から出土した。身が柾目状、柄が削出棒状であり、柄は身から直角に出て、前面側に25度屈折して延び、柄頭付近でさらに25度ほど前面に屈折する。柄は面取りされ、隅丸台形状の断面を呈する。材はブナ属を用いている。新潟県内における中・近世に属する鍬の出土例は、仲田遺跡［加藤2003］・用言寺遺跡［加藤2006］（上越市）、住吉遺跡［高橋2006］・砂山中道下遺跡［佐藤2006］（新発田市）などがある。271・272はSE4067から出土した。271は鋤の身で、エノキ属の心持材を用いている。厚い基部から刃部に向かい薄く削り出している。基部の端部には断面が方形となる溝が斜めに作られ、溝の途中には金属製の部品を刺した痕跡が残る。柄を斜めに嵌めて釘などで固定したと考える。272は、横槌と思われる。心持材を用いて、材の３分の２を削り細めて柄にしている。身と柄の境が顕著に表れている。

板材（図版63・114～115　274～280）

274は方形の板材で、SE272から出土した。四隅には径0.2㎝程の孔が穿かれている。275は板状木製品でSE777から出土した。正面左側の中央部に人為的な凹凸がみられることから、井戸枠などの部材と考える。276は板状木製品でSE832から出土した。277は板状木製品でSE1207から出土した。台形状を呈し、穿孔が数か所に開く。278は板状木製品でSE1563から出土した。278は板状木製品でSE3704から出土した。長方形を呈し、両側に1.5×3.0㎝の方形の穴が開く。井戸枠などの部材と考える。280はSD41から

出土した板状木製品である。表面右隅には径0.2㎝程の穿孔が２か所あり、表裏面には加工時の線状痕が多数付く。

紡織具（図版63・115　281）

281は紡錘車である。中央に径0.3㎝程の穿孔が円形の板材である。

杭（図版63・115　282）

282は杭でSD4182から出土した。先端から７㎝ほどを削り出して尖らせる。

Ｄ　土　製　品

土錘（図版63・115　283）

283は土錘で長さ5.0㎝、最大径4.9㎝、形状は楕円形を呈する。穴径2.0㎝で製作時の指頭圧痕が表面に多数残る。SK4086から出土し、羽口が共伴する。

羽口（図版63・115　284）

284は羽口で現長9.8㎝、現幅7.0㎝である。穴形は2.3㎝前後と推定する。形状は半円状を呈する。外面は被熱により赤変し、ガラス質の鉄滓が付着する。SK4086から出土し、土錘が共伴する。

Ｅ　金　属　製　品

鉄鍋（図版63・115　285）

285は鉄鍋で、器面には脚部とみられる円柱状の突起が1.6㎝程突き出る。SE179から出土した。

銭貨（図版63・115　286～291）

SE3507

286は熙寧元寳（北宋銭）で、初鋳年は1068年である。文字は真書である。

SK1809（図版62・105　287・288）

287は真書の熙寧元寳（北宋銭）で、初鋳年は1068年である。背濶縁で、背面の左上に月文の可能性がある。288は景徳元寳（北宋銭）で、初鋳年は1004年である。

SK1946（図版62・105　289～291）

289は祥符元寳（北宋銭）で、初鋳年は1009年である。290は永楽通寳（明銭）で、初鋳年は1408年である。

SK3150（図版62・105　288）

291は真書の皇宋通寳（北宋銭）で、初鋳年は1038年である。

第Ⅵ章　自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

丘江遺跡（新潟県柏崎市田塚３丁目字丘江地内）は、山崎遺跡の南側に隣接しており、本地域の地形分類図［鈴木 1989］などを参考とすると、鯖石川の左岸に分布する扇状地扇端付近に立地する。本遺跡の発掘調査では、上層（中世、近世）および下層（弥生、古墳時代）の遺物包含層が確認されており、これまでに13～15世紀および17世紀頃の集落の様相が明らかとされている。これらの中世や近世の集落に帰属する遺構は、とくに掘立柱建物に伴う柱穴や井戸跡が多く検出されるという傾向が明らかとされているほか、遺跡内でもやや標高の高い南側において密になるという特徴も確認されている。

本報告では、中世および近世の古植生や植物利用、さらに出土木製品の樹種および木材利用の検討などを目的として、花粉分析、種実同定、樹種同定を実施した。

1　花粉分析

A　試料

試料は、中世および近世と考えられる井戸跡を埋積する堆積物より採取された土壌10点（１区南 SE149；５層、１区 SE1048、２区北 SE2911；６層・SE2984；３層、２区南 SE1518；６層・SE2546；７層、３区 SE3020；４層・SE3507；６層・SE3704；７層・SE3726；10層）である。各遺構より採取された土壌試料の詳細（採取位置）や観察所見は、一覧として第２表に示したので参照されたい。

B　分析方法

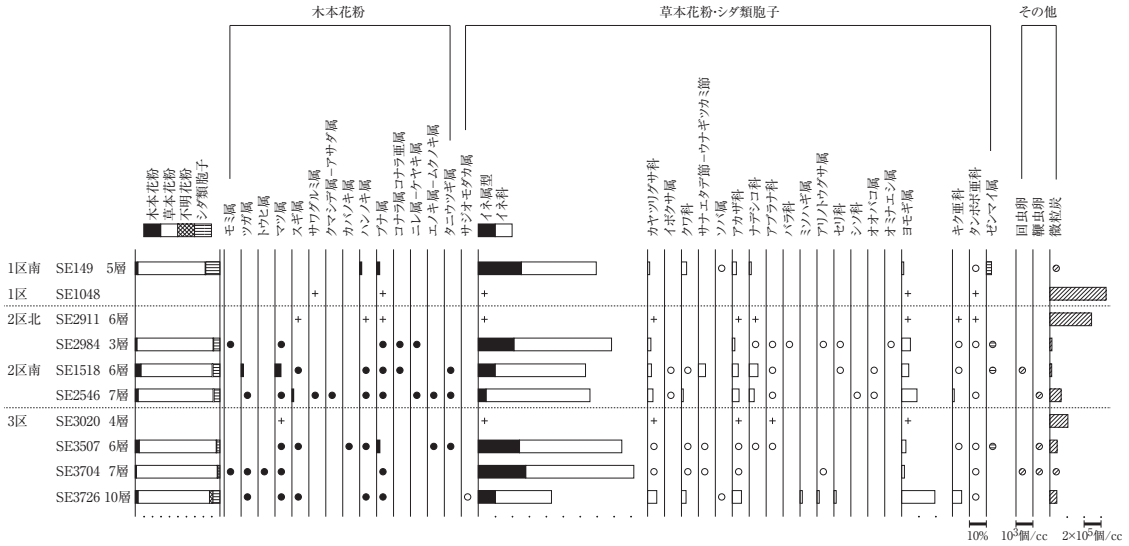
試料約10g について、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛、比重2.3）による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス（無水酢酸９：濃硫酸１の混合液）処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプ

地区	グリッド	遺構名	層名	備考	観察所見
１区	37F14	SE149	5	覆土最下層	砂分（細粒砂）がわずかに混じる（暗）青灰色泥
１区	33D7	SE1048	-	-	黒色砂質泥～泥（炭化物主体か？）
２区	31J6	SE2911	6	覆土下層	炭化物が多量混じる暗（褐）灰色泥
２区	31J3	SE2984	3	覆土中 - 下層	植物遺体等が混じる暗灰色～暗褐灰泥
２区	38H6	SE1518	6	覆土最下層	青灰色泥の偽礫が混じる暗灰色泥
２区	36I13	SE2546	7	覆土下層	炭化物が混じる暗（青）色泥
３区	44K8	SE3020	4	覆土最下層	褐色泥の偽礫混じる黒色砂質泥～泥（炭化物主体か？）
３区	44K7	SE3507	6	覆土最下層	植物遺体等が混じる暗（青）灰色泥
３区	42I18	SE3704	7	覆土下層	青灰色泥の偽礫が混じる黒色～黒灰色泥
３区	42I17	SE3726	10	覆土下層	植物遺体が多量混じる暗褐色～暗褐灰色泥

第２表　花粉分析の試料一覧

レパラートを作製し、400倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。同定は、当社保有の現生標本や［島倉 1973］・［中村 1980a］・［藤木・小澤 2007］・［三好ほか 2011］等を参考にする。

結果は同定・計数結果の一覧表、及び花粉化石群集の層位分布図として表示する。図表中で複数の種類を -（ハイフォン）で結んだものは、種類間の区別が困難なものを示す。図中の木本花粉、および草本花粉・シダ類胞子のいずれも、総数から不明花粉を除いた数をそれぞれ基数として、百分率で出現率を算出し図示する。なお、花粉総数が100個未満のものは、出現した種類を＋で表示するに留めている。



木本花粉、草本花粉・シダ類胞子のいずれも総数から不明花粉を除いた数を基数として百分率で表した。○●は1%未満、
+は花粉総数100個未満の試料において検出された種類を示す。なお、寄生虫卵量、微粒炭量は、堆積物1ccあたりの個数で
示し、○は寄生虫卵が100個/cc未満、微粒炭量は20,000個/cc未満を示す。

第11図　花粉化石群集

C　結　　果

結果を第３表、第11図に示す。花粉化石の産状は、試料により大きく異なるが、保存状態は概ね類似し、いずれの試料もやや悪い傾向にある。また、分析に供された10試料のうち、SE1048、SE2911；６層、SE3020；４層の３試料は、花粉化石の産状が悪く、定量解析に有効な個体数は得られなかったが、この他の７試料からは花粉化石が多く産出した。

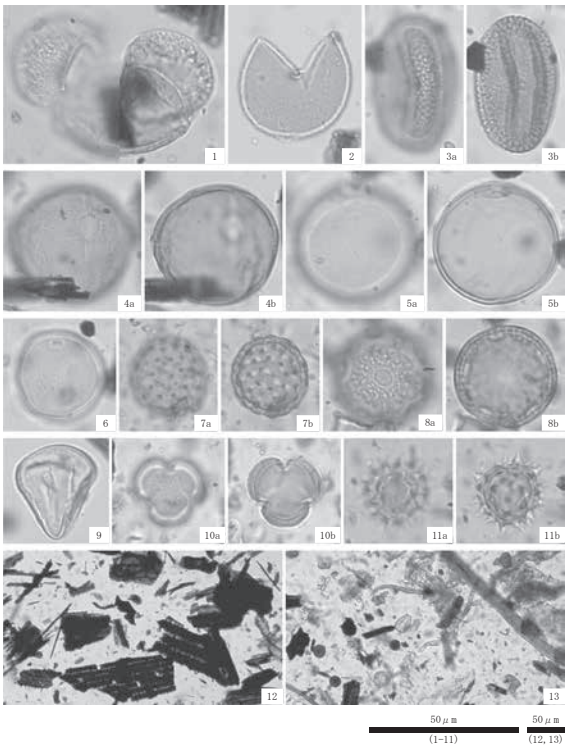
花粉が多く産出した７試料の群集組成は、いずれも草本花粉が多産あるいは優占し、すべてイネ科の多産によって特徴付けられる。一方の木本花粉の出現率は極めて低率であり、モミ属、ツガ属、マツ属、スギ属、ハンノキ属、ブナ属、ニレ属－ケヤキ属などが、わずかに検出された程度である。

草本花粉では、多産したイネ科には、栽培種であるイネ属に形態が類似する個体が比較的多く認められた。とくに花粉化石が多く産出した７試料のイネ科花粉に占めるイネ属型の割合は、SE149；５層が36.5%、SE1518；６層が15.7%、SE2546；７層が7.0%、SE2984；３層が26.8%、SE3507；６層が28.8%、SE3704；７層が30.5%、SE3726；10層が23.4%である。イネ科以外では、カヤツリグサ科、クワ科、サナエタデ節－ウナギツカミ節、アカザ科、ナデシコ科、ヨモギ属、キク亜科などが認められる。また、上記したイネ属型以外の栽培種では、SE149；５層、SE3726；10層よりソバ属が検出される。この他、SE1518；６層、SE2546；７層、SE3507；６層、SE3704；７層からは、回虫卵や鞭虫卵などの寄生虫卵も検出される。

分類群	1区南	1区	2区北		2区南		3区			
	SE149	SE1048	SE2911	SE2984	SE1518	SE2546	SE3020	SE3507	SE3704	SE3726
	5層	-	6層	3層	6層	7層	4層	6層	7層	10層
木本花粉										
モミ属	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-
ツガ属	-	-	-	-	4	1	-	-	2	1
トウヒ属	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
マツ属複維管束亜属	-	-	-	1	4	1	-	-	-	-
マツ属 (不明)	-	-	-	3	7	-	1	3	2	1
スギ属	-	-	2	-	1	5	-	3	-	1
サワグルミ属	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
クマシデ属－アサダ属	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
カバノキ属	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
ハンノキ属	2	-	1	-	1	1	-	1	-	1
ブナ属	3	1	2	1	2	1	-	7	1	1
コナラ属コナラ亜属	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
ニレ属－ケヤキ属	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
エノキ属－ムクノキ属	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
タニウツギ属	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-
草本花粉										
サジオモダカ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
イネ属型	42	2	17	98	31	22	8	88	155	15
イネ科	73	15	34	268	166	292	30	218	353	49
カヤツリグサ科	2	-	3	9	7	15	1	1	1	8
イボクサ属	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-
クワ科	5	-	-	-	1	5	-	3	3	4
サナエタデ節－ウナギツカミ節	-	-	-	-	13	-	-	2	4	-
ソバ属	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
アカザ科	4	-	1	7	11	19	1	2	2	8
ナデシコ科	2	-	1	2	16	14	-	3	-	-
アブラナ科	-	-	-	2	1	3	3	1	-	-
バラ科	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ミソハギ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
アリノトウグサ属	-	-	-	3	-	-	-	-	3	2
セリ科	-	-	-	2	1	-	-	-	-	2
シソ科	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
オオバコ属	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
オミナエシ属	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ヨモギ属	2	7	1	24	13	43	1	9	9	29
キク亜科	-	-	1	2	1	5	-	2	-	8
タンポポ亜科	1	1	1	2	-	2	-	1	1	1
不明花粉										
不明花粉	1	3	3	3	3	5	-	2	4	6
シダ類胞子										
ゼンマイ属	5	-	-	1	2	-	-	1	-	-
他のシダ類胞子	23	3	8	34	24	34	2	13	14	13
合　計										
木本花粉	5	2	5	9	21	16	1	17	8	5
草本花粉	132	25	59	421	264	426	44	330	531	130
不明花粉	1	3	3	3	3	5	0	2	4	6
シダ類胞子	28	3	8	35	26	34	2	14	14	13
合計 (不明を除く)	165	30	72	465	311	476	47	361	553	148
その他										
回虫卵	-	-	-	-	1	-	-	-	8	-
鞭虫卵	-	-	-	-	-	2	-	1	2	-
微粒炭数 (個 /cc)	11,000	663,400	492,300	24,200	21,700	132,900	212,900	85,700	4,600	82,300
寄生虫卵数 (個 /cc)	0	0	0	0	<100	<100	0	<100	<100	0

第３表　花粉分析結果

なお、分析残渣は、多くの試料で炭化した微細な植物片（いわゆる微粒炭）が多く含まれる状況が確認されたが、SE2984；３層、SE3726；10層の２試料は微粒炭が少なく、未分解の植物残渣が多く含まれる状況が確認された。また、確認された微粒炭は、ほとんどが母材の推定が難しい不明型であったが、イネ科葉部に由来するとされる波状構造を持つタイプ［小椋,2007；2008など］も確認された。とくにSE1048、SE2546；７層、SE2911；６層にはイネ科由来の微粒炭が多く認められる傾向にある。



1. マツ属(SE1518;6層)
2. スギ属(SE1518;6層)
3. ソバ属(SE149;5層)
4. ブナ属(SE2911;6層)
5. イネ科(イネ属型)(SE149;5層)
6. イネ科(SE1518;6層)
7. アカザ科(SE2984;3層)
8. ナデシコ科(SE2546;7層)
9. カヤツリグサ科(SE1518;6層)
10. ヨモギ属(SE2546;7層)
11. キク亜科(SE2546;7層)
12. 分析プレパラート内の状況(SE2911;6層)
13. 分析プレパラート内の状況(SE3726;10層)

第12図　花粉化石

D　考　　察

井戸跡の埋積物を対象とした花粉分析の結果、花粉が多く産出した７試料における群集組成は、いずれも草本花粉が多産あるいは優占し、とくにイネ科の多産によって特徴付けられた。イネ科以外では、カヤツリグサ科、クワ科、アカザ科、ナデシコ科、ヨモギ属、キク亜科などが比較的多く産出する。これらは、いずれも開けた明るい場所に生育する人里植物を含む分類群であり、その他に認められる分類群の多くも、同様の生育環境を示す。このことから、遺構周辺や調査地内は開けた環境であったと推定され、周囲にはよって、これらの草本類からなる草地が分布していたと考えられる。

また、草本花粉のうち多産したイネ科には、栽培種のイネ属に類似するイネ属型の花粉が認められた。イネ科花粉中におけるイネ属型の割合は７～36％であるが、保存が悪く同定できなかったものもあるため本来の割合はそれ以上であったことが推定される。イネの花粉は、生産される花粉の１／４がもみ殻内に残留することが知られている［中村 1980b］ほか、Ⅱ章の種実同定では花粉分析の対象とされた同一の試料よりイネの穎や胚乳などが検出されている。このことから、イネ科花粉中に認められたイネ属型花粉は、その多くは穎に残存していたものに由来する可能性が高いと判断される。また、イネ以外の栽培種では、SE149；５層、SE3726；10層よりソバ属が確認された。この結果から、井戸跡機能時あるいは覆土の埋積物の形成過程におけるソバ属の栽培や利用が考えられる。

また、わずかに検出された木本花粉についてみると、針葉樹のモミ属、ツガ属、マツ属、スギ属、広葉樹のハンノキ属、ブナ属、ニレ属－ケヤキ属などが検出された。隣接する山崎遺跡などの調査成果（未公表資料）なども参考とすると、モミ属、ツガ属、ブナ属などは周辺や後背の山地や丘陵に分布した森林に由来すると考えられ、スギ属、ハンノキ属、ニレ属－ケヤキ属などは扇状地扇端付近や河畔などに分布した林分に由来する可能性がある。

なお、各試料の分析残渣では、SE2984；３層、SE3726；10層は未分解の植物遺体が多く含まれることや、この２試料を除く試料では微粒炭が多く認められるという特徴が確認された。さらに、SE1048、

SE2546；７層、SE2911；６層にはイネ科由来とされる波状構造を持つ微粒炭が多く認められ、堆積物中に含まれる微粒炭の形態に差異がある状況も確認された。土壌中に含まれる微粒炭は、人間活動と密接に関係していることが知られており、その変化は人為活動の変化を反映している場合が多く認められる（例えば安田, 1987；山野井, 1996；井上ほか, 2002）。今回の場合、分析残渣中における植物遺体や微粒炭の産状は、試料の観察所見と概ね整合しており、さらにⅡ章における成果などを参考とすると、埋積物の形成過程における人為活動の痕跡を示している可能性がある。

また、植物化石以外では、SE1518；６層、SE2546；７層、SE3507；６層、SE3704；７層などからは寄生虫卵が検出された。寄生虫卵は普通の土壌中にも含まれるが、トイレ遺構などの堆積物で多産する調査事例も確認されている。本分析では絶対量による分析を実施していないため正確な含量は明らかとはならないが、経験的には分析処理残渣量やプレパラート内の産状を見る限り、ある程度の人口密度を持つ集落などの汚染の範囲内と推測される。

２　種　実　同　定

Ａ　試　　料

試料は、溝跡（１区北 SD41；５層）や井戸跡（１区北 SD41；５層、１区南 SE149；５層、１区 SE4151；４層、２区南 SE2281；８層・SE2546；７層・SE1518；６層、３区 SE3507；６層・SE3726；９層（２点）、10層）より出土した種実遺体10試料である。なお、試料の状態は、３区 SE3726；９層が水浸の状態で保管されており、この他の９試料は全て乾燥した状態で保管された試料である。

種実同定は、全試料を対象に実施し、試料全体の種類組成の把握と、一部の種実を対象とした計測を実施した。なお、下記した工程において仕様を上回る個数なる状況が確認されたため、２区南 SE1518; ６層および３区 SE3726; ９層・10層の３試料については、分析目的なども踏まえ、栽培種以外の草本種実の抽出・同定数を調整している。

Ｂ　分　析　方　法

試料を双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、同定が可能な種実遺体を抽出する。同定は、現生標本および［椿坂 1993］・［石川 1994］・［中山ほか 2000］・［小畑 2008;2011］・［鈴木ほか 2012］等を参考に実施し、部位・状態別の個数を数えて結果を一覧表で示す。実体顕微鏡下による区別が困難な複数種間は、-で結んで表示する。計測は、多量出土した栽培種のヒョウタン類や、メロン類、ナスなどを対象として、保存状態が良好な一部の種実の長さ、幅、厚さ等をデジタルノギスで計測し、結果を一覧表で示す。欠損等で完全な計測値を得られない場合は、残存値に＋で示す。分析後は、種実遺体を分類群別に容器に入れ、残渣は袋に戻して保管する。

Ｃ　結　　果

同定結果を第４表に示す。また、栽培種分類群の写真を第13図に、主な種実遺体の計測値を第５表に示して同定根拠とする。　溝跡および井戸跡より出土した種実遺体は、全10試料を通じて、被子植物88分類群、イネ科、ミクリ属、アゼスゲ類、コウボウムギ近似種、スゲ属、ハリイ属、ウキヤガラ、イヌホタルイ近似種、ホタルイ近似種、ホタルイ類、フトイ近似種、サンカクイ近似種、カナムグラ、アサ、ギシギシ属、イヌタデ近似種、

ヤナギタデ近似種、ボントクタデ近似種、サナエタデ近似種、タデ属、ソバ、アカザ属、ヒユ属、ムラサキケマン型、マメ科、クサネム、エノキグサ、スミレ属、キカラスウリ、ゴキヅル、ヒョウタン類、トウガン、雑草メロン型、マクワ・シロウリ型、モモルディカメロン型、メロン類、アリノトウグサ、セリ科、ミツガシワ、ハマヒルガオ、シソ属、シソ属 - イヌコウジュ属、ウツボグサ属、ナス、ナス属、ゴマ、ヒシモドキ、オナモミ属、ゴボウ近似種、タカサブロウ、メナモミ属、キク科）3,242個の種実遺体が同定された。５個は同定ができなかったが、同一種・部位と考えられる炭化４個を不明Ａとしている。分析残渣は、漆器片、木材、炭化材、植物片、蘚苔類の茎・葉、虫類、動物遺存体、岩片、土粒などが確認された。

種実遺体の出土個数は、SD41；５層が84個、SE149；５層が109個、SE4151；４層が370個、SE2281；８層が792個、SE2546；７層が66個、SE1518；６層が317個、SE3507；６層が125個、SE3726；９層が407個、同９層が523個、同10層が449個であった。１試料のみ木本主体で、３試料・10層）は栽培種と他の草本が多く、残りの６試料は栽培種主体の組成を示す。

種実遺体群は、栽培種が2,020個と全体の約６割を占め、その他の草本が次いで多く、木本は158個と少ない。栽培種は、イネが567個、オオムギが74個、コムギが29個、ヒエが５個、キビが１個、アワが19個、アサが196個、ソバが６個、ヒョウタン類が561個、トウガンが２個、メロン類が67個、シソ属が131個、ナスが231個、ゴマが26個と、栽培の可能性が高いナシ属が３個、マメ科が４個、マメ科が20個、シソ属 - イヌコウジュ属が74個、ゴボウ近似種が４個確認された。イネ、オオムギ、コムギ、ヒエ、キビ、アワ、マメ科は炭化しており、穀類のイネ、オオムギ、コムギ、ヒエ、キビ、アワは穎（籾）が残る個体が多い。とくにSE3726より出土したイネの塊状炭化物には、複数の穎・胚乳と表面に付着する単子葉類の植物片が同方向に配列する小穂（稲穂）の状態が確認された。

栽培種の出土状況は、遺構間で大きく異なる。SE2281；８層とSE3726は分類群数が比較的多く、SE149；５層はアサ、SE4151；４層はナス、SE2281；８層はイネとアサ、SE2546；７層はアワとシソ属、SE1518；６層およびSE3507；６層はイネ、SE3726；９層はヒョウタン類が多産する。このうちSE3726の９層試料は全てヒョウタン類から成り、果実片の大半が緩やかな丸みを帯び、１個に基部が確認された。また、多量出土した種子のうち、各試料100個の計測値は、水浸試料では長さが最小14.3～最大17.4mm、幅が5.3～7.1mm、厚さが2.3～3.7mm、乾燥試料では長さが13.0～16.9mm、幅が5.0～7.8mm、厚さが2.3～5.3mmであり、乾燥試料は小型の傾向を示す。また、SE4151；４層より多産したナスの種子100個の計測値は、長さが最小2.1～最大3.0mm、幅が2.5～3.7mm、厚さが0.5～1.2mmであった。

栽培種やその可能性がある分類群以外は、木本は主にSD41；５層、SE2281；８層より確認され、全て落葉広葉樹から成る。高木になるエノキ属、カラスザンショウ、ヤマボウシ、小高木のエゴノキ、低木のキイチゴ属、イヌザンショウ、サンショウ、キブシ、クサギ、ニワトコ、藤本のサンカクヅル近似種、ヤマブドウ近似種、ブドウ属、ノブドウが確認された。これらの分類群は、林縁等の明るく開けた場所に生育する陽樹を主体とし、エノキ属、エゴノキ、キブシ等はやや湿った場所に生育する樹種が含まれる。なお、ヤマボウシは炭化しており、サンショウの一部には外種皮が残る状態が確認された。

一方の草本は、海岸の砂地に生育するコウボウムギ近似種、ハマヒルガオや、浮葉植物のヒシモドキ、抽水植物のオモダカ属、サジオモダカ属、イボクサ、ミクリ属、ウキヤガラ、イヌホタルイ近似種、ホタルイ近似種、ホタルイ類、フトイ近似種、サンカクイ近似種、ミツガシワ、湿生植物のアゼスゲ類、スゲ属、ハリイ属、ヤナギタデ近似種、ボントクタデ近似種、クサネム、ゴキヅル、タカサブロウ、乾いた場所にも生育可能な中生植物のツユクサ、イヌビエ属、エノコログサ属、イネ科、カナムグラ、ギシギ

分類群	部位	状態		1区北	1区南	1区	2区南			3区				備考
				34G6	-	-	37H16	-	38H6	44K7	−			
				SD41	SE149	SE4151	SE2281	SE2546	SE1518	SE3507	SE3726			
				5 層	5 層	4 層	8 層	7 層	6 層	6 層	9 層		10 層	
				乾燥	乾燥	乾燥	乾燥	乾燥	乾燥	乾燥	水浸	乾燥	乾燥	
栽培種														
ブドウ	種子	完形		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	腹面右側欠損 , 合点窪む
イネ	穎(基部)	破片		-	-	-	4	-	-	3	-	-	-	
		破片	炭化	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	穎・胚乳	塊状	炭化	-	-	-	-	-	-	-	-	20+	13+	小穂 , 単子葉類植物片付着
		完形	炭化	-	-	1	11	-	17	8	-	15	14	SE3507:1 個細身
		破片	炭化	-	-	-	3	-	-	-	-	4	-	
	胚乳	完形	炭化	6	5	16	89	1	142	47	-	50	27	
		破片	炭化	-	-	1	26	1	19	2	-	14	7	
オオムギ	穎・胚乳	完形	炭化	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	
	胚乳	完形	炭化	-	3	8	1	-	37	5	-	3	-	
		破片	炭化	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
コムギ	穎・胚乳	完形	炭化	-	-	-	2	-	2	1	-	-	-	
	胚乳	完形	炭化	-	-	-	13	-	9	1	-	1	-	
ヒエ	穎・胚乳	完形	炭化	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	
キビ	穎・胚乳	完形	炭化	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	状態良好
アワ	穎・胚乳	完形	炭化	-	-	-	-	17	1	1	-	-	-	
アサ	果実	完形		1	39	1	3	-	-	-	-	-	-	
		破片		-	45	2	99	-	3	2	-	1	-	
ソバ	果実	完形		-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
		破片		-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	
ヒョウタン類	果実(基部)	破片		-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	臍径 6.8mm, 果皮厚 5.5mm
	果実(頂部付近)	破片		-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	丸みが急 , 最大 4.4cm
	果実	破片		-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	丸みが緩やか
		微細片		-	-	-	-	-	-	-	148	-	-	丸みが緩やか
	種子	完形		-	-	-	9	-	-	-	134	118	7	
		完形未満		-	-	-	2	-	-	-	10	11	1	
		破片		-	-	-	3	-	-	1	1	1	1	
トウガン	種子	完形		-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
雑草メロン型	種子	完形		-	-	2	1	-	-	-	-	6	2	
マクワ・シロウリ型	種子	完形		-	1	2	7	-	-	-	-	9	12	
		完形未満		-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
マクワ ・ モモルディカ型	種子	完形未満		-	-	1	2	-	-	-	-	-	1	
		破片		-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
モモルディカメロン型	種子	完形		-	-	2	2	-	-	-	-	4	-	
		完形未満		-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	
		破片		-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
メロン類	種子	破片		-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	
シソ属(エゴマ)	果実	完形		-	-	2	19	15	2	4	-	32	29	
		破片		-	-	-	10	2	-	1	-	9	6	
ナス	種子	完形		-	8	168	1	-	1	-	-	4	6	
		完形未満		-	-	34	-	-	-	-	-	1	2	
		破片		-	1	2	-	-	2	-	-	-	1	
ゴマ	種子	完形		-	-	-	-	-	-	-	-	2	13	
		破片		-	-	-	2	-	-	-	-	2	7	
栽培の可能性														
ナシ属	種子	完形		-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	SE3507: 一部欠損
マメ科(アズキ類)	種子	完形	炭化	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	臍一部残存
		破片	炭化	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	初生葉残存
マメ科(ダイズ類)	種子	完形	炭化	1	1	-	1	-	6	8	-	-	-	臍 :SE2281 のみ残存
		破片	炭化	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
シソ属 ・ イヌコウジュ属	果実	完形		-	-	-	28	14	3	4	-	17	6	
		破片		-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	
ゴボウ近似種	果実	完形		-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	
その他の木本														
エノキ属	核	完形		-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
キイチゴ属	核	完形		-	-	3	2	-	-	-	-	1	1	
カラスザンショウ	種子	完形		11	-	-	26	-	1	1	-	-	-	
		破片		2	-	-	24	-	-	-	-	-	-	
イヌザンショウ	種子	完形		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
サンショウ	外種皮・種子	完形		-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	種子	完形		-	-	-	3	-	-	-	-	1	1	
		破片		-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	
サンカクヅル近似種	種子	完形		-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	基部鋭く尖る
ブドウ属	種子	破片		-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1 個腹面
ノブドウ	種子	完形		-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
キブシ	種子	完形		-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
ヤマボウシ	核	完形	炭化	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
エゴノキ	種子	完形		55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		破片		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クサギ	核	完形		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	SE2281: 腹面欠損
		破片		-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	SE3507: 腹面
ニワトコ	核	完形		-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
その他の草本														
オモダカ属	果実	完形		-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
サジオモダカ属	果実	完形		-	-	-	6	-	-	2	-	1+	4+	
ツユクサ	種子	完形		-	-	2	6	-	-	-	-	-	1	
イボクサ	種子	完形		-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
イヌビエ属	果実	完形		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
エノコログサ属(大型)	果実	完形	炭化	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
		完形		-	-	-	2	-	-	-	-	-	1+	
エノコログサ属	果実	完形		1	-	3	3	1	1+	2	-	1+	13+	
イネ科	果実	完形		-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	毛残存
ミクリ属 A	果実	完形	炭化	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
ミクリ属 B	果実	完形		-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	
アゼスゲ類	果胞・果実	完形		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	果実	完形		-	-	-	1	-	-	-	-	1+	1	
コウボウムギ近似種	果胞・果実	完形		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	果実	完形		-	-	-	-	2	1	1	-	1	-	
スゲ属(3 面体)	果胞・果実	完形		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	果実	完形		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
ハリイ属	果実	完形		-	-	-	-	-	3+	-	-	-	-	
ウキヤガラ	果実	完形		-	-	41	-	-	2	1	-	1	1	SE4151:2 個果序の状態
		破片		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
イヌホタルイ近似種	果実	完形		-	-	-	45	1	-	4	-	1+	1+	
ホタルイ近似種	果実	完形		-	-	1	10	-	-	1	-	1+	1+	
ホタルイ類	果実	完形		-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	
		破片		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
フトイ近似種	果実	完形		-	-	-	1	1	1+	1	-	-	1+	長さ 1.9 ～ 2.1mm
サンカクイ近似種	果実	完形		-	-	-	-	-	1+	-	-	-	1+	長さ 2.5mm
カナムグラ	果実	完形		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	果実・核	完形		-	-	-	5	-	6	-	-	-	-	
		破片		-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	
ギシギシ属	花被	完形		-	-	4	-	-	2	-	-	-	-	
		破片		-	-	16	1	-	-	-	-	-	-	
	花被・果実	完形		-	-	27	-	-	2+	-	-	-	-	
	果実	完形		-	-	6	1	-	1+	-	-	-	-	
イヌタデ近似種	果実	完形		-	1	12	108	2	1+	4	-	1+	2+	
		破片		-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	
ヤナギタデ近似種	果実	完形		-	-	-	15	-	1+	-	-	1+	2+	
		破片		-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
ボントクタデ近似種	果実	完形		-	-	1	3	-	1+	-	-	1+	-	
		破片		-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
サナエタデ近似種	果実	完形		-	-	-	12	-	6+	2	-	1+	1+	
		破片		-	-	-	8	-	-	4	-	-	-	

第４表　種実同定結果(1)

分類群	部位	状態		1区北 34G6 SD41 5層 乾燥	1区南 - SE149 5層 乾燥	1区 - SE4151 4層 乾燥	2区南 37H16 SE2281 8層 乾燥	2区南 - SE2546 7層 乾燥	2区南 38H6 SE1518 6層 乾燥	3区 44K7 SE3507 6層 乾燥	3区 − SE3726 9層 水浸	3区 − SE3726 9層 乾燥	3区 − SE3726 10層 乾燥	備考
	タデ属(卵状2面体)	果実	完形	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
	タデ属(2面平滑)	果実	完形	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	タデ属(3面平滑)	果実	完形	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
	タデ属(3面粗面)	果実	完形	-	-	-	1	-	1+	-	-	1+	1+	
	アカザ属	種子	完形	-	-	-	-	-	-	-	-	1+	3+	
	ヒユ属	種子	完形	-	-	-	1	-	1+	-	-	1+	3+	
	ムラサキケマン型	種子	完形	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
	マメ科(アズキ類？)	種子	完形	炭化	-	-	1	-	1	-	-	-	-	腹面欠損
			破片	炭化	-	1	-	-	-	-	-	-	-	初生葉一部残存
	マメ科A	種子	完形	炭化	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
	マメ科B	果実・種子	完形	炭化	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
	マメ科	種子	完形	炭化	-	-	-	-	2	2	-	-	-	別種の可能性
	クサネム	小節果	完形		-	-	2	28	-	3	-	-	96	168
			破片		-	-	-	58	-	-	1	-	64+	25+
	エノキグサ	種子	完形		-	-	1	4	7	1+	2	-	1+	-
	スミレ属	種子	完形		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	キカラスウリ	種子	完形		-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
	ゴキヅル	種子	破片		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	アリノトウグサ	核	完形		-	-	-	1	-	-	-	-	-	1+
	セリ科	果実	完形		-	-	-	1	-	1+	-	-	1+	44+
	ミツガシワ	種子	破片		-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
	ハマヒルガオ	種子	完形		-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	ウツボグサ属	果実	完形		-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	ナス属	種子	完形		-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	ヒシモドキ	果実	完形		-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	オナモミ属	総苞	完形		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	タカサブロウ	果実	完形		-	-	-	3	-	-	-	-	1+	4+
	メナモミ属	果実	完形		-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
	キク科	果実	完形		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
不明A		種子？	完形	炭化	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-
種実合計														
	栽培種				7	102	245	321	36	255	76	407	315	153	計1917個
	栽培の可能性				2	1	-	32	16	9	14	-	21	9	計104個
	その他の木本				70	1	3	63	-	8	4	-	5	2	計156個
	その他の草本				5	4	123	377	14	46	30	-	183	285	計1067個
	不明				-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	計4個
	種実合計(不明を除く)				84	108	371	793	66	318	124	407	524	449	計3244個
分析残渣														
	漆器片(木製品)				-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	口縁部
	木材				-	-	+	+	-	+	+	-	+	-	
	炭化材				2	+	+	+	-	+	+	-	+	-	
	植物片				-	-	+	+	-	+	+	-	+	+	
	蘚苔類の茎・葉				-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	
	虫類(昆虫・ミミズ類卵胞等)				-	+	+	+	-	+	+	-	+	+	
	二枚貝類				-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	
	二枚貝類の殻皮				-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	
	動物遺存体(椎骨・歯等)				-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	
	岩片				-	+	+	+	-	+	+	-	+	+	
	土粒				-	-	+	+	+	-	-	-	+	+	

第４表　種実同定結果(2)

シ属、イヌタデ近似種、サナエタデ近似種、タデ属、アカザ属、ヒユ属、ムラサキケマン型、マメ科、エノキグサ、スミレ属、キカラスウリ、アリノトウグサ、セリ科、ウツボグサ属、ナス属、オナモミ属、メナモミ属、キク科などが確認された。エノコログサ属（大型）、ミクリ属A、マメ科は炭化している。草本の出土状況は、SE3726はクサネムなどの水湿地生植物が多産し、SE2281；８層はイヌタデ近似種、SE1518；６層はサナエタデ近似種などの中生植物もやや多い。SE4151；４層は抽水植物のウキヤガラと中生植物のギシギシ属を主体する。一方、SD41；５層、SE149；５層、SE2546；７層、SE3507；６層は少量であり、SE3726；９層（水浸試料）からは１個も確認されなかった。

D　考　　察

溝跡や井戸跡より採取された試料における種実遺体群は、栽培種（可能性含む）が全体の約６割を占め、他の草本が３～４割と次いで多く、木本は約５％と少ない組成を示した。栽培種は、イネ、オオムギ、コムギ、ヒエ、キビ、アワ、アサ、ソバ、ヒョウタン類、トウガン、メロン類、シソ属、ナス、ゴマと、栽培の可能性が高いナシ属、マメ科、シソ属－イヌコウジュ属、ゴボウ近似種が確認された。また、これらの栽培種などの出土状況は遺構間で異なっており、SE149はアサ、SE4151はナス、SE2281はイネとアサ、SE2546はアワとシソ属（エゴマ）、SE1518、SE3507はイネ、SE3726の９層はヒョウタン類が多産するという特徴が確認された。

地区	グリッド	遺構	層位	状態	分類群	部位	状態	番号	大きさ(mm)[1]			図版番号	備考
									長さ	幅	厚さ		
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	ナシ属	種子	完形	-	6.8	4.8	2.6 +	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ナシ属	種子	完形	-	7.2	4.2	2.1	2	
3区		SE3726	10層	乾燥	ナシ属	種子	完形	-	7.2	4.6	1.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ブドウ	種子	完形	-	5.0	4.2	3.6	9	基部突出し切形,腹面右側欠損
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	サンカクヅル近似種	種子	完形	-	4.1	3.2	2.5	-	基部鋭く尖る
3区		SE3726	9層	乾燥	サンカクヅル近似種	種子	完形	-	4.1	2.8	2.2	10	基部鋭く尖る
1区北	34G6	SD41	5層	乾燥	イネ	胚乳	完形	1	5.5	2.6	2.2	-	
1区北	34G6	SD41	5層	乾燥	イネ	胚乳	完形	2	4.9	2.8	2.3	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	イネ	胚乳	完形	1	4.2	2.3	2.2 +	-	焼き膨れ
1区南		SE149	5層	乾燥	イネ	胚乳	完形	2	5.4	1.8	1.8 +	-	焼き膨れ
1区南		SE149	5層	乾燥	イネ	胚乳	完形	3	4.5	2.6	2.2 +	-	表面摩耗
1区南		SE149	5層	乾燥	イネ	胚乳	完形	4	4.3	2.7	2.1 +	-	焼き膨れ
1区南		SE149	5層	乾燥	イネ	胚乳	完形	5	3.3	1.7	1.1 +	-	表面摩耗
1区		SE4151	4層	乾燥	イネ	胚乳	完形	1	4.8	2.5	1.5	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	イネ	胚乳	完形	2	4.9	2.6	2.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	イネ	胚乳	完形	3	4.3	2.4	1.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	イネ	胚乳	完形	4	5.1	2.5	2.0	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	イネ	胚乳	完形	1	5.1	2.7	1.9	26	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	イネ	胚乳	完形	2	3.6	2.5	1.2	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	イネ	胚乳	完形	3	3.4	2.7	2.0	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	イネ	胚乳	完形	4	5.2	2.2	1.5	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	イネ	胚乳	完形	5	4.8	2.9	1.5	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	イネ	胚乳	完形	6	4.8	2.7	2.2	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	イネ	胚乳	完形	7	5.6	3.1	2.2	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	イネ	胚乳	完形	8	4.5	2.5	1.9	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	イネ	胚乳	完形	9	4.6	2.4	1.5	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	イネ	胚乳	完形	10	4.4	2.5	2.3	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	イネ	胚乳	完形	11	5.2	2.9	2.6	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	イネ	胚乳	完形	12	4.6	2.7	1.9	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	イネ	胚乳	完形	13	5.6	2.4	1.6	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	イネ	胚乳	完形	14	5.1	3.0	2.2	-	
2区南		SE2546	7層	乾燥	イネ	胚乳	完形	-	3.7 +	2.1	1.4	-	一部欠損
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	1	4.2	2.3	2.1	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	2	4.5	2.0	1.0	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	3	4.5	2.7	1.6	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	4	4.9	3.1	2.1	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	5	5.4	3.2	2.5	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	6	4.3	2.4	1.8	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	7	4.5	2.1	1.3	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	8	4.3	2.0	1.4	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	9	4.6	2.7	1.8	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	10	4.0	2.4	1.8	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	11	4.9	2.1	1.7	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	12	4.7	2.3	2.2	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	13	4.3	1.7	1.1	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	14	3.9	2.5	1.7	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	15	4.2	1.9	1.2	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	16	3.8	1.9	1.0	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	17	4.1	2.5	2.1	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	18	4.3	1.8	1.1	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	19	4.3	2.3	1.6	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	20	3.6	2.0	1.0	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	1	4.5	2.1	1.4	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	2	4.2	2.6	1.4	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	3	4.7	2.7	2.5	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	4	4.4	2.7	1.9	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	5	4.5	2.4	1.5	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	6	5.3	2.6	2.0	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	7	4.5	2.1	1.4	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	8	3.6	1.5	0.9	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	9	5.0	1.8	1.1	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	イネ	胚乳	完形	10	5.0	2.9	2.0	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	1	4.4	2.7	1.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	2	5.1	2.8	2.1	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	3	5.0	2.9	2.0	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	4	5.2	2.9	2.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	5	4.6	2.1	1.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	6	4.7	2.2	1.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	7	5.4	3.0	2.0	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	8	5.3	3.3	2.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	9	5.1	2.3	1.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	10	4.4	2.6	1.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	11	5.8	2.7	2.0	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	12	5.1	2.8	2.2	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	13	4.3	2.6	2.0	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	14	4.9	2.1	1.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	15	4.4	2.1	1.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	16	4.8	2.6	2.1	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	17	5.2	3.2	2.1	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	18	4.4	2.3	2.1	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	19	5.1	2.4	1.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	イネ	胚乳	完形	20	4.4	2.6	2.1	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	1	5.4	2.5	2.0	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	2	5.3	2.4	2.1	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	3	4.4	2.4	1.9	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	4	5.3	2.4	2.0	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	5	5.4	2.9	2.7	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	6	4.6	2.2	2.1	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	7	4.6	2.5	2.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	8	3.5	2.4	1.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	9	4.5	1.9	1.5	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	10	5.3	3.0	2.2	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	11	4.6	2.8	2.3	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	12	5.6	2.9	2.7	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	13	4.4	2.1	1.7	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	14	4.7	2.5	2.0	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	15	4.7	3.1	2.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	16	5.6	3.1	2.7	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	イネ	胚乳	完形	17	4.4	2.2	2.2	-	

第５表　主な種実遺体の計測値(1)

地区	グリッド	道構	層位	状態	分類群	部位	状態	番号	大きさ(mm)[1]			図版番号	備考
									長さ	幅	厚さ		
1区南		SE149	5層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	1	6.0	3.2	2.5	-	頂部やや欠損
1区南		SE149	5層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	2	4.7 +	3.0	2.5	-	頂部,基部欠損
1区南		SE149	5層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	3	3.9 +	2.3	1.6	-	頂部やや欠損
1区		SE4151	4層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	1	4.6	2.8	2.6	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	2	4.5	2.8	2.3	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	-	4.7 +	3.1	2.5	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	1	6.2	3.4	2.8	27	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	2	6.0	2.9	2.1	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	3	5.2	2.9	2.4	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	4	5.3	2.9	2.2	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	5	5.0	2.5	2.1	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	6	5.0	2.6	2.0	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	7	4.8	2.8	1.7	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	8	4.9	3.3	2.7	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	9	4.5	2.5	2.1	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	10	5.0	2.6	215.0	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	1	5.6	3.2	2.4	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	2	5.4	3.2	2.6	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	3	4.7	2.5	2.3	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	4	4.0 +	1.7	1.2	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	5	3.7	2.2	1.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	1	4.2	2.3	1.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	2	5.3	3.0	1.9 +	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	オオムギ	胚乳	完形	3	5.8 +	3.2	2.3	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	コムギ	穎・胚乳	完形	1	3.4	2.2 +	2.4	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	コムギ	穎・胚乳	完形	2	3.9	1.9 +	1.8	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	コムギ	胚乳	完形	1	3.5	2.3	2.3	28	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	コムギ	胚乳	完形	2	3.6	2.5	2.0	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	コムギ	胚乳	完形	3	3.7	2.7	1.8	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	コムギ	胚乳	完形	4	3.4	1.9	1.6	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	コムギ	胚乳	完形	5	2.9	1.9	1.9	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	コムギ	胚乳	完形	6	3.9	2.8	1.1	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	コムギ	胚乳	完形	7	3.9	2.7	2.2	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	コムギ	胚乳	完形	8	3.9	2.5	1.6	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	コムギ	胚乳	完形	9	2.7	2.4	1.9	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	コムギ	胚乳	完形	1	3.4	2.3	1.6	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	コムギ	胚乳	完形	2	3.1	2.3	1.9	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	コムギ	胚乳	完形	3	3.1	2.0	1.6	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	コムギ	胚乳	完形	4	3.4	2.4	2.0	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	コムギ	穎・胚乳	完形	-	3.4	2.1 +	2.2	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	コムギ	胚乳	完形	-	3.1	2.1 +	1.5 +	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	コムギ	胚乳	完形	-	4.0	2.5	1.5 +	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	キビ	穎・胚乳	完形	-	2.4	2.0	1.8	31	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	エノコログサ属(大型)	果実	完形	1	3.3	2.3	0.8	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	エノコログサ属(大型)	果実	完形	2	3.4	1.9	0.6	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	エノコログサ属(大型)	果実	完形	-	3.7	2.5	0.8	33	
1区北	34G6	SD41	5層	乾燥	アサ	果実	完形	-	4.1	3.3	2.9	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	1	4.0	3.4	2.8	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	2	3.6	3.2	2.7	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	3	3.7	3.1	2.6	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	4	3.7	3.2	2.8	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	5	4.3	3.5	2.8	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	6	4.2	3.6	2.9	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	7	3.5	3.1	2.6	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	8	3.5	2.9	2.4	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	9	4.2	3.4	2.8	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	10	3.6	3.1	2.7	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	11	3.6	2.9	2.5	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	12	3.4	3.2	2.6	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	13	3.7	3.1	2.7	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	14	4.0	3.2	2.6	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	15	4.0	3.3	3.0	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	16	4.1	3.6	2.8	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	17	3.7	2.9	2.7	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	18	3.6	3.1	2.6	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	19	4.3	3.5	2.9	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	20	4.3	3.5	2.7	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	21	4.3	3.6	2.8	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	22	3.8	3.4	2.9	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	23	3.8	3.1	2.6	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	24	3.4	3.1	2.5	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	25	4.0	3.5	2.8	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	26	3.9	3.3	2.8	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	27	3.6	3.0	2.6	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	28	3.4	2.9	2.5	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	29	4.2	3.1	2.8	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	30	3.9	3.3	2.8	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	31	3.5	2.9	2.6	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	32	3.6	3.0	2.7	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	33	3.5	3.0	2.5	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	34	3.9	3.1	2.9	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	35	3.5	3.1	2.6	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	36	4.2	3.6	2.8	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	37	3.6	3.2	2.7	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	アサ	果実	完形	38	4.2	3.0	2.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	アサ	果実	完形	-	3.4	2.8	2.4	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	アサ	果実	完形	1	4.4	3.6	3.2	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	アサ	果実	完形	2	4.3	3.6	3.3	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	アサ	果実	完形	3	3.8	3.3	2.2	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	ソバ	果実	完形	-	3.9	3.1	-	57	
1区北	34G6	SD41	5層	乾燥	マメ科(ダイズ類)	種子	完形	-	6.1	3.5	3.2	-	焼き崩れ発泡している,幼根長2.6mm
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	マメ科(ダイズ類)	種子	完形	-	6.9	4.0	2.1 +	-	焼き崩れ発泡している
1区南		SE149	5層	乾燥	マメ科(ダイズ類)	種子	完形	-	4.4	3.0	2.5	-	幼根長2.6mm
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	マメ科(ダイズ類)	種子	完形	1	7.9	4.9	4.8*	61	臍残存長1.7mm
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	マメ科(ダイズ類)	種子	完形	2	7.0	4.7	3.6	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	マメ科(ダイズ類)	種子	完形	3	6.4	4.0	3.2	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	マメ科(ダイズ類)	種子	完形	4	6.5	3.8	4.1	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	マメ科(ダイズ類)	種子	完形	5	7.0	5.1	2.3	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	マメ科(ダイズ類)	種子	完形	6	6.0	3.9	-	-	裂開している

第５表　主な種実遺体の計測値(2)

地区	グリッド	道構	層位	状態	分類群	部位	状態	番号	大きさ(mm)[1]			図版番号	備考
									長さ	幅	厚さ		
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	マメ科(ダイズ類)	種子	完形	1	6.7	3.9	2.9	-	幼根長2.6mm
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	マメ科(ダイズ類)	種子	完形	2	5.6	3.6	2.4	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	マメ科(ダイズ類)	種子	完形	3	5.6	3.2	2.3	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	マメ科(ダイズ類)	種子	完形	4	5.7	3.6	2.8 *	-	背面裂開,幼根長2.4mm
1区北	34G6	SD41	5層	乾燥	マメ科(アズキ類)	種子	完形	-	5.1	3.3	3.0	62	臍残存長2.4mm
3区		SE3726	9層	乾燥	マメ科(アズキ類)	種子	完形	-	4.6	3.4	3.0	63	臍:短い;長さ1.8mm,幅1.1mm
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	マメ科(アズキ類)	種子	破片	-	2.8 +	3.7 +	2.1 +	67	半分厚,初生葉残存
1区南		SE149	5層	乾燥	マメ科(アズキ類？)	種子	完形	-	2.7	1.9	1.0 +	66	小型,半分厚,初生葉一部残存
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	マメ科(アズキ類？)	種子	完形	-	3.6	1.9	2.3	-	小型,直方体状,臍欠損
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	マメ科(アズキ類？)	種子	完形	-	3.1	1.7	1.6	65	小型,直方体状,臍欠損
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	マメ科	種子	完形	-	3.6	2.8	3.0	64	臍:長さ1.9mm,幅0.7mm,ダイズ類？
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	1	15.5	6.1	2.8	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	2	14.6	5.8	2.8	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	3	13.9	5.5	2.4	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	4	15.0	6.0	2.7	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	5	15.1	6.3	2.6	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	6	15.2	5.8	2.6	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	7	13.8	5.5	2.7	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	8	14.4	5.9	2.7	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	9	13.9	5.7	2.7	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	1	16.6	6.7	3.4	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	2	15.8	6.0	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	3	15.8	6.9	3.4	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	4	16.0	6.6	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	5	16.7	7.1	3.4	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	6	15.9	6.4	2.9	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	7	16.0	6.0	3.2	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	8	15.5	6.5	2.6	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	9	16.8	6.7	2.9	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	10	16.3	5.9	3.2	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	11	16.1	6.3	3.3	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	12	15.5	6.3	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	13	16.7	6.5	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	14	16.1	5.7	3.2	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	15	15.3	6.4	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	16	14.3	5.6	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	17	16.4	6.3	2.9	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	18	16.6	6.0	2.6	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	19	16.0	6.1	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	20	15.5	6.3	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	21	16.5	6.5	3.2	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	22	16.7	6.5	3.7	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	23	16.0	6.0	2.8	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	24	15.8	6.2	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	25	15.0	6.0	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	26	15.8	5.9	3.4	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	27	16.0	5.9	3.2	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	28	15.3	5.9	3.2	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	29	15.4	5.9	2.7	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	30	15.6	6.4	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	31	16.7	6.3	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	32	15.8	6.3	3.3	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	33	15.3	6.3	3.2	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	34	14.8	5.6	2.8	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	35	15.8	6.6	3.3	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	36	16.4	6.4	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	37	15.8	6.0	2.7	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	38	15.4	6.2	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	39	16.1	6.7	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	40	16.6	6.5	3.2	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	41	16.6	6.2	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	42	16.4	6.2	3.4	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	43	15.3	6.1	3.4	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	44	15.9	6.0	3.4	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	45	15.1	6.4	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	46	16.1	6.5	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	47	15.9	6.3	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	48	15.4	5.7	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	49	15.7	6.6	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	50	15.6	6.4	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	51	16.5	6.2	3.2	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	52	15.4	5.8	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	53	16.5	5.6	2.9	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	54	15.5	5.9	3.2	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	55	14.8	6.5	2.3	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	56	16.0	5.7	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	57	16.3	6.5	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	58	15.9	6.4	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	59	17.4	6.5	3.5	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	60	16.0	5.9	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	61	16.0	6.4	3.3	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	62	16.3	6.4	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	63	16.1	6.0	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	64	16.3	6.3	3.4	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	65	16.2	6.0	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	66	16.9	6.4	3.2	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	67	16.5	6.2	2.9	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	68	15.0	5.7	3.2	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	69	16.5	5.9	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	70	15.1	5.8	3.2	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	71	16.1	6.4	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	72	15.7	5.7	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	73	16.0	5.6	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	74	15.7	5.8	2.9	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	75	16.7	6.3	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	76	16.2	5.8	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	77	16.5	6.4	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	78	16.1	5.7	2.7	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	79	15.9	6.5	2.7	-	

第５表　主な種実遺体の計測値(3)

地区	グリッド	道構	層位	状態	分類群	部位	状態	番号	大きさ(mm)[1]			図版番号	備考
									長さ	幅	厚さ		
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	80	16.0	6.0	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	81	15.9	5.8	2.7	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	82	15.9	6.6	3.3	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	83	16.4	6.2	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	84	15.8	6.6	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	85	15.8	6.0	2.9	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	86	15.2	6.4	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	87	16.1	6.4	2.7	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	88	14.5	5.9	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	89	16.4	6.4	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	90	16.0	6.0	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	91	15.3	5.9	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	92	14.8	5.3	3.0	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	93	16.6	6.2	2.9	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	94	15.7	6.4	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	95	15.4	6.6	2.9	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	96	15.4	5.5	2.4	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	97	15.5	6.2	3.1	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	98	16.5	6.5	2.9	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	99	15.9	5.7	2.8	-	
3区		SE3726	9層	水浸	ヒョウタン類	種子	完形	100	15.2	6.8	3.0	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	1	14.8	6.0	2.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	2	15.7	5.9	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	3	14.8	5.8	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	4	15.1	5.7	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	5	16.4	6.9	3.3	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	6	15.6	6.7	3.0	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	7	14.7	7.1	2.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	8	14.9	5.8	2.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	9	15.4	6.6	3.1	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	10	15.2	5.4	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	11	15.7	5.6	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	12	15.2	6.2	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	13	15.5	5.4	2.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	14	14.9	5.3	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	15	16.0	6.5	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	16	14.8	5.8	2.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	17	15.4	5.5	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	18	15.1	6.1	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	19	14.9	6.4	2.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	20	14.7	5.7	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	21	13.0	6.5	3.2	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	22	14.8	6.1	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	23	13.5	6.4	2.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	24	14.6	5.4	2.3	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	25	15.6	6.3	2.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	26	16.0	6.6	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	27	14.1	5.7	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	28	14.1	5.5	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	29	14.3	7.8	3.0	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	30	15.3	5.8	2.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	31	13.8	6.9	2.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	32	14.3	6.0	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	33	14.2	5.9	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	34	15.3	5.9	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	35	13.1	5.7	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	36	16.9	6.4	3.0	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	37	13.6	5.5	2.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	38	14.6	7.3	3.3	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	39	15.1	7.3	3.1	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	40	14.4	7.1	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	41	13.4	5.0	2.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	42	13.9	7.1	2.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	43	15.3	6.6	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	44	14.9	5.8	2.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	45	14.6	7.0	2.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	46	14.6	7.1	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	47	15.6	7.3	2.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	48	14.4	5.8	2.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	49	15.1	7.0	3.1	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	50	14.3	5.7	2.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	51	14.7	6.2	2.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	52	14.0	6.9	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	53	15.2	5.7	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	54	14.2	6.0	2.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	55	15.4	6.2	2.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	56	14.0	5.7	2.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	57	14.8	5.9	2.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	58	13.6	5.4	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	59	14.6	6.5	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	60	14.9	5.7	2.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	61	14.3	5.8	2.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	62	13.7	5.9	5.3	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	63	14.3	5.4	2.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	64	15.2	6.0	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	65	14.2	5.8	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	66	14.7	6.5	2.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	67	14.4	6.7	2.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	68	14.4	6.4	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	69	15.2	5.9	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	70	14.3	5.1	2.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	71	14.2	6.4	2.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	72	14.5	5.8	2.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	73	15.3	6.0	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	74	14.6	6.2	3.0	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	75	13.8	5.7	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	76	14.5	6.2	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	77	14.0	5.7	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	78	15.0	5.9	2.5	-	

第５表　主な種実遺体の計測値(4)

地区	グリッド	道構	層位	状態	分類群	部位	状態	番号	大きさ(mm)[1]			図版番号	備考
									長さ	幅	厚さ		
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	79	14.9	5.8	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	80	14.7	5.4	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	81	14.7	6.8	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	82	13.6	6.1	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	83	14.6	5.8	2.7 +	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	84	15.0	5.8	2.5 +	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	85	15.1	6.0	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	86	15.1	5.7	2.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	87	14.8	5.7	2.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	88	14.6	5.2	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	89	15.1	6.5	2.8	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	90	14.3	5.6	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	91	14.2	5.4	2.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	92	14.1	5.9	2.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	93	13.6	6.3	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	94	15.2	6.3	3.0	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	95	15.4	5.8	2.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	96	14.5	5.5	2.3	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	97	14.0	7.1	2.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	98	14.4	5.8	2.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	99	15.0	5.8	2.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	100	15.8	5.5	2.7	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	1	17.7	7.2	3.1	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	2	15.3	6.7	2.6	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	3	15.3	7.4	2.6	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	4	14.3	6.6	2.7	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	5	15.5	7.1	2.7	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	6	13.6	5.7	2.7	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	ヒョウタン類	種子	完形	7	14.2	7.0	2.8	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	トウガン	種子	完形	1	9.4	5.8	1.8	77	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	トウガン	種子	完形	2	9.3	5.4	1.5	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	-	7.8	3.5	1.6	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	モモルディカメロン型	種子	完形	1	8.7	3.9	1.6	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	モモルディカメロン型	種子	完形	2	8.3	3.5 +	1.6 +	-	一部欠損
1区		SE4151	4層	乾燥	モモルディカメロン型	種子	破片	1	8.5	3.3 +	1.1 +	-	一部欠損
1区		SE4151	4層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	1	7.2	3.9	1.3	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	2	6.8	3.3	1.5	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	雑草メロン型	種子	完形	1	6.0	3.2 +	1.6	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	雑草メロン型	種子	完形	2	4.2	2.3	0.7 +	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	モモルディカメロン型	種子	完形	1	9.2	4.1	1.5	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	モモルディカメロン型	種子	破片	2	8.2	3.5	1.0 +	-	半分
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	モモルディカメロン型	種子	完形	3	9.4	4.3	1.4	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	モモルディカメロン型	種子	完形未満	4	8.7	4.1	1.3 +	-	一部欠損
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	1	7.0	3.6	-	-	裂開
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	2	7.4	3.2	-	-	裂開
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	3	7.9	3.5	1.6	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	4	7.4	3.9	1.6	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	5	7.0	3.5	1.5	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	6	6.3	2.8	1.1	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	7	6.2	2.9	1.2	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	雑草メロン型	種子	完形	-	5.2	2.2	1.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	モモルディカメロン型	種子	完形	1	8.3	3.6	1.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	モモルディカメロン型	種子	完形	2	8.9	3.7	1.6	80	
3区		SE3726	9層	乾燥	モモルディカメロン型	種子	完形	3	8.2	3.9	1.3	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	モモルディカメロン型	種子	完形	4	8.2	3.5	1.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	モモルディカメロン型	種子	完形	5	8.6	3.7	1.5 +	-	一部欠損
3区		SE3726	9層	乾燥	モモルディカメロン型	種子	完形未満	6	8.1	3.1	1.3	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	モモルディカメロン型	種子	完形	7	8.2	4.1	0.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	1	6.8	3.6	1.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	2	7.7	3.6	1.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	3	6.1	3.1	1.3	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	4	6.6	3.2	1.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	5	6.9	3.0	1.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	6	6.5	3.2	1.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	7	6.7	2.8	1.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	8	6.7	3.0	1.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	9	6.3	2.8	1.0	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形未満	10	6.4	3.3	1.0	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	雑草メロン型	種子	完形	1	5.6	2.5	1.2	78	
3区		SE3726	9層	乾燥	雑草メロン型	種子	完形	2	6.0	2.9	1.1	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	雑草メロン型	種子	完形	3	5.7	2.8	1.0	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	雑草メロン型	種子	完形	4	5.9	2.7	0.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	雑草メロン型	種子	完形	5	5.8	2.8	1.2	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	雑草メロン型	種子	完形	6	5.8	2.5	1.1	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	1	7.3	3.3	1.4	79	一部欠損
3区		SE3726	10層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	2	7.4	3.1	1.6	-	一部欠損
3区		SE3726	10層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	3	7.0	3.3	1.3	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	4	6.4	2.8	-	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	5	6.4	2.8	1.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	6	6.6	3.0	-	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	7	6.7	2.9	0.9	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	8	6.8	3.1	1.1 +	-	一部欠損
3区		SE3726	10層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	9	6.2	2.9	1.1	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	10	7.3	3.6	1.1	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	11	6.4	3.2	1.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	マクワ・シロウリ型	種子	完形	12	6.3	3.1	1.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	雑草メロン型	種子	完形	1	5.9	3.3	0.6	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	雑草メロン型	種子	完形	2	6.1	2.8	1.2	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	1	1.8	1.7	1.3	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	2	2.1	1.9	1.5	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	1	2.3	2.1	1.7	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	2	2.1	1.9	1.4	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	3	2.3	2.1	1.5	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	4	2.1	2.0	1.5	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	5	2.3	2.0	1.7	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	6	1.8	2.0	1.3	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	7	1.9	1.6	1.5	88	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	8	1.9	1.7	1.4	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	9	2.0	1.8	1.5	-	

第５表　主な種実遺体の計測値(5)

地区	グリッド	道構	層位	状態	分類群	部位	状態	番号	大きさ(mm)[1]			図版番号	備考
									長さ	幅	厚さ		
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	10	1.8	1.5	1.3	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	11	2.1	1.8	1.4	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	12	1.9	1.6	1.4	-	
2区南		SE2546	7層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	1	1.8	1.5	1.4	-	
2区南		SE2546	7層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	2	2.1	1.9	1.6	-	
2区南		SE2546	7層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	3	2.1	1.9	1.6	-	
2区南		SE2546	7層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	4	1.9	1.5	1.4	-	
2区南		SE2546	7層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	5	1.7	1.4	1.3	-	
2区南		SE2546	7層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	6	1.8	1.4	1.4	-	
2区南		SE2546	7層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	7	2.0	1.6	1.4	-	
2区南		SE2546	7層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	8	2.3	2.2	1.4	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	1	2.0	1.8	1.5	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	2	1.8	1.7	1.5	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	1	1.9	1.6	1.5	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	2	2.5	2.3	2.0	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	3	2.0	2.1	1.8	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	4	2.0	1.7	1.4 +	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	1	2.0	1.7	1.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	2	1.9	1.7	1.3	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	3	1.9	1.6	1.3	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	4	2.3	2.1	1.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	5	2.0	2.0	1.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	6	1.9	1.6	1.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	7	2.0	2.1	1.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	8	2.0	1.9	1.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	9	1.9	1.8	1.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	10	2.0	1.9	1.6	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	11	1.9	1.6	1.3	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	12	2.3	2.1	1.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	13	1.8	1.5	1.2	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	14	2.3	2.0	1.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	15	1.9	1.7	1.3	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	16	1.8	1.6	1.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	17	1.9	1.6	1.3	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	18	1.9	1.6	1.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	19	2.1	1.8	1.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	20	2.1	2.1	1.6	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	1	2.5	2.3	1.6	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	2	2.1	1.8	1.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	3	2.3	2.2	1.5	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	4	2.1	1.8	1.5	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	5	2.1	1.8	1.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	6	1.9	1.6	1.3	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	7	2.0	1.8	1.5	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	8	1.8	1.6	1.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	9	2.1	1.8	1.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	10	1.8	1.7	1.3	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	11	2.2	1.9	1.5	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	12	2.2	1.9	1.2	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	13	1.9	1.8	1.3	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	14	1.7	1.6	1.3	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	15	1.9	1.7	1.3	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	16	1.8	1.6	1.3	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	17	1.9	1.6	1.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	18	2.3	2.1	1.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	19	2.0	1.8	1.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	20	2.2	1.8	1.5	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	21	1.8	1.6	1.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	22	1.8	1.7	1.3	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	23	1.9	1.6	1.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	24	2.0	1.8	1.2	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	シソ属(エゴマ)	果実	完形	25	1.9	1.7	1.3	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	1	2.8	3.4	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	2	2.7	3.4	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	3	2.7	3.1	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	4	2.6	3.3	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	5	2.5	3.2	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	6	2.8	3.5	0.6	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	7	2.4	3.0	0.7	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	8	2.5	3.4	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	9	2.7	3.2	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	10	2.5	3.1	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	11	2.6	3.3	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	12	2.3	3.1	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	13	2.6	3.0	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	14	2.6	3.4	0.6	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	15	2.5	3.4	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	16	2.6	3.0	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	17	2.6	3.1	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	18	2.5	3.0	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	19	2.9	3.4	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	20	2.3	3.3	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	21	2.5	3.0	0.7	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	22	2.6	3.1	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	23	2.3	3.5	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	24	2.5	3.1	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	25	2.6	3.2	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	26	2.8	3.2	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	27	2.6	3.1	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	28	2.7	2.9	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	29	2.6	3.1	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	30	2.8	3.6	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	31	2.7	2.9	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	32	2.5	3.1	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	33	2.6	3.1	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	34	2.2	2.9	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	35	2.5	3.0	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	36	2.3	3.5	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	37	2.7	3.3	0.9	-	

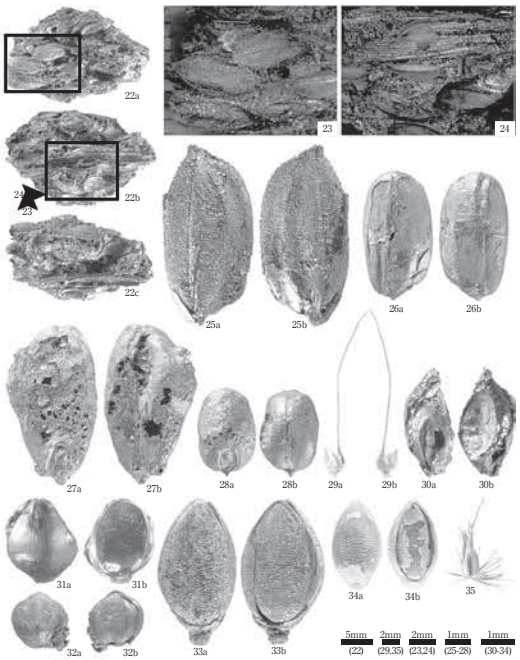
第５表　主な種実遺体の計測値(6)

地区	グリッド	道構	層位	状態	分類群	部位	状態	番号	大きさ(mm)[1]			図版番号	備考
									長さ	幅	厚さ		
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	38	2.5	3.1	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	39	2.6	3.2	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	40	2.6	3.5	1.2	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	41	2.7	3.4	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	42	2.7	2.8	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	43	2.5	3.0	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	44	2.2	3.2	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	45	2.6	2.9	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	46	2.2	3.3	1.2	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	47	2.4	2.9	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	48	2.8	3.4	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	49	2.3	3.2	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	50	2.4	3.0	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	51	2.7	3.1	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	52	2.8	3.5	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	53	2.3	3.4	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	54	2.5	3.1	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	55	2.4	2.9	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	56	2.5	3.0	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	57	2.4	2.8	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	58	2.3	2.9	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	59	2.8	3.4	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	60	2.6	3.0	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	61	2.7	3.1	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	62	2.5	3.6	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	63	2.7	3.1	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	64	2.6	3.1	0.7	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	65	2.6	2.9	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	66	2.4	3.0	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	67	2.7	2.9	0.5	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	68	2.1	3.1	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	69	2.4	3.3	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	70	2.7	2.9	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	71	2.3	2.9	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	72	2.6	3.3	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	73	2.5	2.8	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	74	2.6	3.1	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	75	2.5	2.8	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	76	2.6	2.8	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	77	2.8	2.9	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	78	2.9	3.3	0.5	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	79	2.7	3.2	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	80	2.5	3.1	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	81	2.6	3.2	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	82	2.3	3.1	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	83	2.6	3.5	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	84	2.7	3.0	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	85	2.2	2.8	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	86	2.6	3.4	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	87	2.5	3.0	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	88	2.7	3.3	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	89	2.5	3.1	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	90	2.1	2.5	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	91	2.5	3.3	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	92	2.3	2.7	0.5	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	93	2.6	2.8	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	94	2.4	3.5	1.0	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	95	2.6	3.1	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	96	2.2	3.2	0.9	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	97	2.4	2.9	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	98	2.4	3.5	0.8	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	99	3.0	3.7	1.1	-	
1区		SE4151	4層	乾燥	ナス	種子	完形	100	2.7	3.3	0.8	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	ナス	種子	完形	1	2.3	2.9	1.0	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	ナス	種子	完形	2	2.7	2.9	0.7	-	
1区南		SE149	5層	乾燥	ナス	種子	完形	3	2.7	2.9	1.3	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	ナス	種子	完形	1	2.7	3.1	1.0	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	ナス	種子	完形	1	2.8	3.5	0.7	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ナス	種子	完形	1	2.7	2.7	0.4	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ナス	種子	完形	2	2.3	3.1	0.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ナス	種子	完形	3	2.1	2.8	0.9	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ナス	種子	完形	4	2.5	3.1	1.1	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	ナス	種子	完形	1	2.5	3.4	0.8	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	ナス	種子	完形	2	2.7	3.3	0.8	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	ナス	種子	完形	3	2.4	2.8	0.9	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	ナス	種子	完形	4	2.5	3.0	0.4 +	-	一部欠損
3区		SE3726	10層	乾燥	ナス	種子	完形	5	2.4	3.3	1.4	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	ナス	種子	完形	6	2.4	2.9	0.4	-	
2区南	37H16	SE2281	8層	乾燥	ナス属	種子	完形	1	1.4 +	2.0 +	0.6	90	野生種
3区		SE3726	10層	乾燥	ゴマ	種子	完形	1	3.1	1.6	-	92	
3区		SE3726	9層	乾燥	ゴボウ近似種	果実	完形	1	5.0	2.3	1.5	-	
3区		SE3726	9層	乾燥	ゴボウ近似種	果実	完形	2	5.1	2.1	1.3	-	
3区		SE3726	10層	乾燥	ゴボウ近似種	果実	完形	1	5.5	2.4	1.5	96	
3区		SE3726	10層	乾燥	ゴボウ近似種	果実	完形	2	4.6	2.2	1.4	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	不明A	種子?	完形	1	3.2	2.1	1.8	-	
2区南	38H6	SE1518	6層	乾燥	不明A	種子?	完形	2	2.8	2.2	2.2	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	不明A	種子?	完形	1	4.0	1.7	1.9	-	
3区	44K7	SE3507	6層	乾燥	不明A	種子?	完形	2	4.2	2.0	2.0	-	

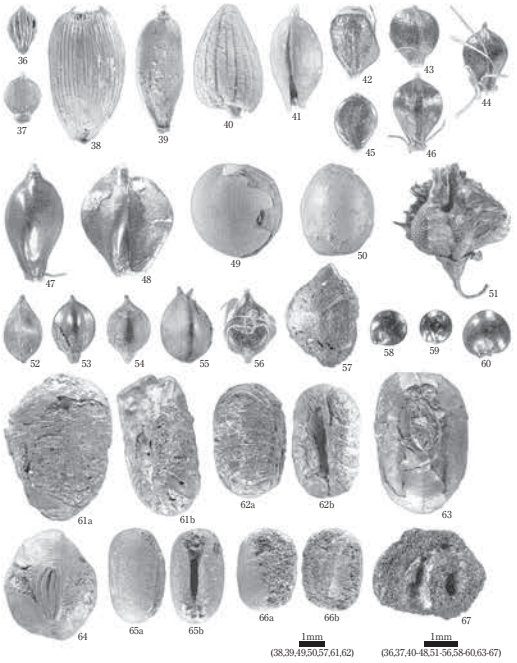
1）計測はデジタルノギスを使用。欠損は残存値に「+」、焼き膨れや裂開等は計測値に「*」で示す。

第５表　主な種実遺体の計測値(7)

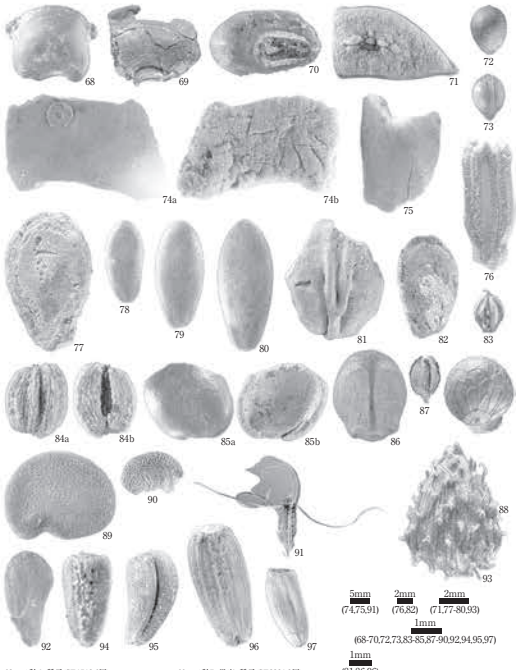
1.エノキ属 核(SE1518:6層)
2.ナシ属 種子(SE3726:9層)
3.キイチゴ属 核(SE4151:4層)
4.カラスザンショウ 種子(SE2281:8層)
5.イヌザンショウ 種子(SE1499:5層)
6.サンショウ 外種皮・種子(SE3726:9層)
7.サンショウ 種子(SE2281:8層)
8.ノブドウ 種子(SE3507:6層)
9.ブドウ 種子(SE4151:4層)
10.サンカクヅル近似種 種子(SE3726:9層)
11.キブシ 種子(SE2281:8層)
12.ママボウシ 核(SE1518:6層)
13.エゴノキ 種子(SD415:5層)
14.クサギ 核(SD415:5層)
15.ニワトコ 核(SE3507:6層)
16.オモダカ属 果実(SE2281:8層)
17.サジオモダカ属 果実(SE2281:8層)
18.ツユクサ 種子(SE2281:8層)
19.イボクサ 種子(SE3726:10層)
20.ミクリ属B 果実(SE1518:6層)
21.ミクリ属A 果実(SE3507:6層)



22.イネ 穎・胚乳(小穂)/植物片(単子葉類)(SE3726:9層)
23.イネ 穎・胚乳(小穂)/植物片(単子葉類)(SE3726:9層)
24.イネ 穎・胚乳(小穂)/植物片(単子葉類)(SE3726:9層)
25.イネ 穎・胚乳(SE3726:9層)
26.イネ 胚乳(SE2281:8層)
27.オオムギ 胚乳(SE1518:6層)
28.コムギ 胚乳(SE2281:8層)
29.イヌビエ属 果実(SE1518:6層)
30.ヒエ 穎・胚乳(SE2281:8層)
31.キビ 穎・胚乳(SE4151:4層)
32.アワ 穎・胚乳(SE2546:7層)
33.エノコログサ属(大型) 果実(SE1518:6層)
34.エノコログサ属 果実(SE3726:10層)
35.イネ科 果実(SE1499:5層)



36.アゼスゲ類 果殻・果実(SE3726:10層)
37.アゼスゲ類 果実(SE3726:10層)
38.コウボウムギ近似種 果殻・果実(SD415:5層)
39.コウボウムギ近似種 果実(SD415:5層)
40.スゲ属(6面体) 果殻・果実(SD415:5層)
41.スゲ属(6面体) 果実(SD415:5層)
42.ハリイ属 果実(SE1518:6層)
43.イヌホタルイ近似種 果実(SE2281:8層)
44.ホタルイ近似種 果実(SE2281:8層)
45.フトイ近似種 果実(SE3726:10層)
46.サンカクイ近似種 果実(SE3726:10層)
47.ウキヤガラ 果実(SE4151:4層)
48.ウキヤガラ 果実(SE4151:4層)
49.カナムグラ 果実・核(SE1518:6層)
50.アサ 果実(SE1499:5層)
51.ギンギン属 花殻・果実(SE4151:4層)
52.ギンギン属 果実(SE4151:4層)
53.イタタテ近似種 果実(SE2281:8層)
54.ヤナギタデ近似種 果実(SE2281:8層)
55.ボントクタデ近似種 果実(SE1518:6層)
56.サナエタデ近似種 果実(SE2281:8層)
57.ソバ 果実(SE3726:10層)
58.アカザ属 種子(SE3726:10層)
59.ヒユ属 種子(SE3726:10層)
60.ムラサキケマン類 種子(SE2281:8層)
61.マメ科(ヤエ類) 種子(SD415:5層)
62.マメ科(アズキ類) 種子(SD415:5層)
63.マメ科(アズキ類) 種子(SE3726:9層)
64.マメ科 種子(SE3507:6層)
65.マメ科(アズキ類?) 種子(SE1518:6層)
65.マメ科(アズキ類?) 種子(SE1518:6層)
66.マメ科(アズキ類?) 種子(SE149:5層)
67.マメ科(アズキ類) 種子(初年業残存)(SE3507:6層)



68.マメ科A 種子(SE1518:6層)
69.マメ科B 果実・種子(SE2281:8層)
70.マメ科 種子(SE1518:6層)
71.タヌキユ 小節果(SE3726:10層)
72.エノキグサ 種子(SE2546:7層)
73.スミレ属 種子(SE3726:10層)
74.ヒョウタン類 果実(基部)(SE3726:9層)
75.ヒョウタン類 果実(頂部付近)(SE3726:9層)
76.ヒョウタン類 種子(SE3726:9層)
77.トウガン 種子(SE2281:8層)
78.雑草メロン型 種子(SE3726:9層)
79.マクワ・シロウリ型 種子(SE3726:10層)
80.モモルディカメロン型 種子(SE3726:9層)
81.ゴキヅル 種子(SE1518:6層)
82.キカラスウリ 種子(SE2281:8層)
83.アリドウグサ 核(SE3726:10層)
84.セリ科 果実(SE3726:10層)
85.ミツガシワ 種子(SE4151:4層)
86.ハマヒルガオ 種子(SE3726:9層)
87.ウツボグサ属 果実(SE3726:10層)
88.シソ属(エゴマ) 果実(SE3726:10層)
89.ナス 種子(SE4151:4層)
90.ナス属 種子(SE2281:8層)
91.ヒシモドキ 果実(SE3726:10層)
92.ゴマ 種子(SE3726:10層)
93.オナモミ属 総苞(SE1518:6層)
94.タカサブロウ 果実(SE3726:10層)
95.メナモミ属 果実(SE2281:8層)
96.ゴボウ近似種 果実(SE3726:10層)
97.キク科 果実(SE3726:10層)

第13図　種実遺体

これらの栽培種は、当時利用された植物質食料と考えられ、出土状況などによる検証が必要であるが、遺構内への廃棄や祭祀などに関わる人為に由来するものも含まれる可能性がある。また、イネ（穎の一部を除く）、オオムギ、コムギ、ヒエ、キビ、アワ、マメ科は炭化しており、穀類のイネ、オオムギ、コムギ、ヒエ、キビ、アワには穎が残る個体が多いことから、脱皮（脱籾）前の穎がついた状態で火を受けたことが示唆され、とくにSE3726のイネについては小穂の状態で火を受けたことが窺える。

また、SE3726；９層より多産したヒョウタン類は、少なくとも果実１個体分に相当すると考えられ、果実の形状は頂部がわずかに尖る球体状と推定される。また、多量の種子も出土果実に由来する可能性が高い。なお、種子の計測値は、水浸試料よりも乾燥試料が小型の傾向を示したが、これは試料の状態を反映しており、乾燥による収縮と考えられる。

栽培種やその可能性がある分類群以外は、草本主体の組成を示した。このような産状はⅠ章の花粉化石群集組成においても確認されており、当時の調査地周辺は明るく開けた草地環境と推定される。木本は全て落葉広葉樹で、高木になるエノキ属、カラスザンショウ、ヤマボウシ、小高木のエゴノキ、低木のキイチゴ属、イヌザンショウ、サンショウ、キブシ、クサギ、ニワトコ、藤本のサンカクヅル近似種、ヤマブドウ近似種、ブドウ属、ノブドウなどの、河畔や林縁等の明るく開けた場所に生育する樹種が確認された。これらは遺跡周辺の林内や林縁等に生育していたと考えられる。なお、SE3726；９層より出土したサンショウは、外種皮が残る良好な保存状態であったことから、現地性の高さが窺える。また、SE1518より炭化した状態で出土したヤマボウシは、果実が甘く食用可能であることから、人が食用に利用した後の残滓の可能性がある。その他、サンショウは果実や種子が香辛料等として食用可能であり、サンカクヅル近似種、ヤマブドウ近似種などのブドウ属も果実が食用可能である。

次に、草本類についてみると、海岸の砂地に生育するコウボウムギ近似種、ハマヒルガオや、浮葉植物のヒシモドキ、抽水植物のオモダカ属、サジオモダカ属、イボクサ、ミクリ属、ウキヤガラ、イヌホタルイ近似種、ホタルイ近似種、ホタルイ類、フトイ近似種、サンカクイ近似種、ミツガシワ、湿生植物のアゼスゲ類、スゲ属、ハリイ属、ヤナギタデ近似種、ボントクタデ近似種、クサネム、ゴキヅル、タカサブロウ、中生植物のツユクサ、イヌビエ属、エノコログサ属、イネ科、カナムグラ、ギシギシ属、イヌタデ近似種、サナエタデ近似種、タデ属、アカザ属、ヒユ属、ムラサキケマン型、マメ科、エノキグサ、スミレ属、キカラスウリ、アリノトウグサ、セリ科、ウツボグサ属、ナス属、オナモミ属、メナモミ属、キク科などが確認された。エノコログサ属、ミクリ属Ａ、マメ科は、炭化していることから、火を受けたとみなされる。とくにエノコログサ属と栽培種のアワ、アズキの原種とされるヤブツルアズキ類？とアズキ類、ダイズの原種とされるツルマメ類？とダイズ類は、上述した栽培種などと関連して利用の可能性が考えられ、今後の検討を要する。

その他の分類群は、人里植物を主体とし、多くの水湿地性植物と海浜植物を含むことから、沿海地に立地する本遺跡周辺域の明るく開けた草地環境に生育していたと考えられる。また、砂地に生育するコウボウムギ近似種やハマヒルガオ、水湿地に生育するヒシモドキ（水深約２ｍ以内）や抽水植物（水深約１ｍ以内）の出土から、調査地付近にはこのような環境の存在も推定される。なお、SE3726；９層より出土したヒシモドキは現在絶滅危惧種とされており、当時の分布を示す貴重な考古資料と言える。

3　樹　種　同　定

A　試　　料

試料は、柱穴から出土した柱根、井戸跡や土坑、溝跡などから出土した木製品50点である。このうち、SE783とSE2281の曲物は二重の側板と底板から構成されており、SD41の曲物は側板と底板からなる。また、SE1982の鍬は身と柄が別材で製作されていることが確認されたため、これらの試料については、各部材より試料を採取している。SE1563の盤は、全面が炭化しており切片の採取が困難であったため、炭化部分より破片を採取している。

なお、本分析の対象とされた木製品の詳細は、同定結果と併せて第６表に示したので参照されたい。

B　分　析　方　法

木製品は資料の木取りを観察した後、剃刀を用いて木口・柾目・板目の３断面の徒手切片を直接採取する。切片をガム・クロラール（抱水クロラール，アラビアゴム粉末，グリセリン，蒸留水の混合液）で封入し、プレパラートとする。プレパラートは、生物顕微鏡で木材組織の種類や配列を観察する。また、SE1563の盤は、端部から小片を採取し、自然乾燥させる。３断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の種類や配列を観察する。各試料で観察された特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、［島地・伊東 1982］・［Wheeler 他 1998］・［Richter 他 2006］を参考にする。また、日本産木材の組織配列は、［林 1991］・［伊東 1995-1999］を参考にする。

C　結　　果

同定結果を第７表に示す。木製品には、針葉樹３分類群と広葉樹５分類群に同定された。以下に、同定された各分類群の解剖学的特徴等を記す。

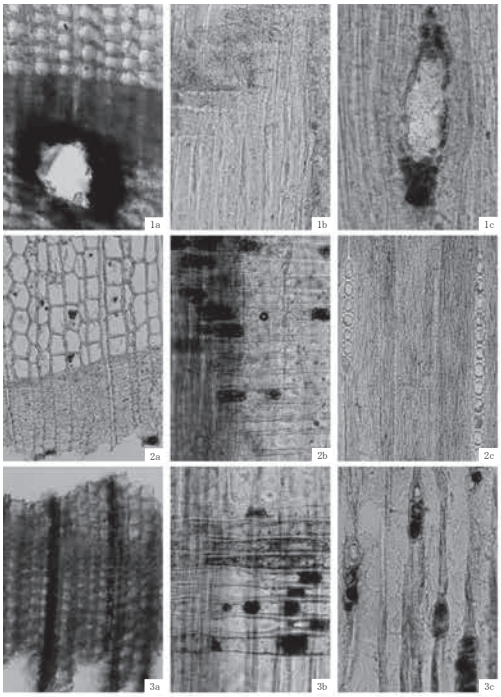
・マツ属複維管束亜属（*Pinus subgen. Diploxylon*）　マツ科

軸方向組織は仮道管と垂直樹脂道で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は急～やや緩やかで、晩材部の幅は広い。垂直樹脂道は晩材部に認められる。放射組織は、仮道管、柔細胞、水平樹脂道、エピセリウム細胞で構成される。分野壁孔は窓状となる。放射仮道管内壁には鋸歯状の突起が認められる。放射組織は単列、１-15細胞高。

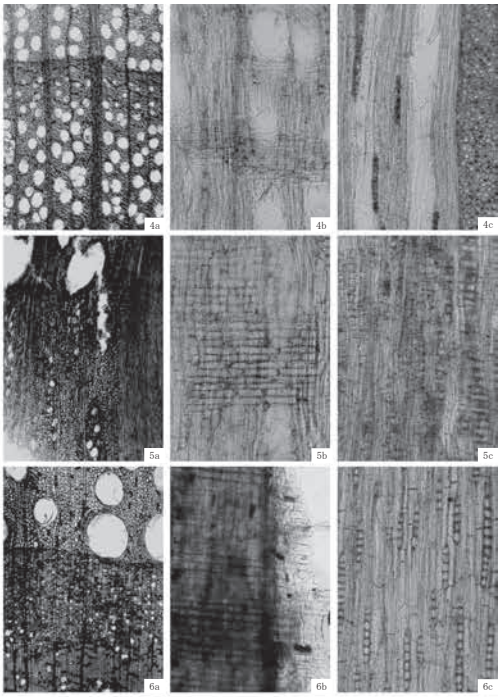
・スギ（*Cryptomeria japonica*　D. Don）　スギ科スギ属　軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広い。樹脂細胞はほぼ晩材部に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はスギ型で、１分野に２-４個。放射組織は単列、１-10細胞高。

・アスナロ（*Thujopsis dolabrata* Sieb. et Zucc.）　ヒノキ科アスナロ属

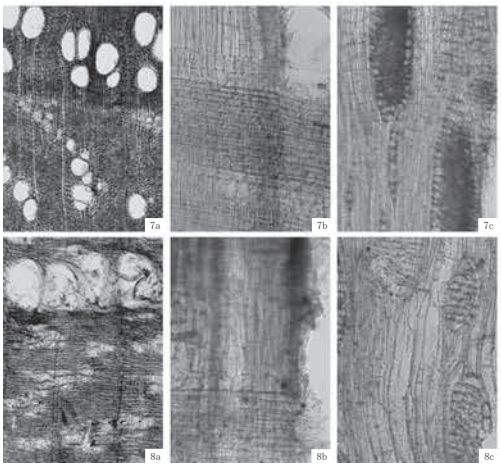
軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やかで、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部付近に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成され、内壁には茶褐色の樹脂が顕著に認められる。分野壁孔はヒノキ型で、１分野に１-４個。放射組織は単列、１-10細胞高。



1. マツ属複維管束亜属(SE2281;板)
2. スギ(SE777;木製品)
3. アスナロ(P660;柱根)
　a:木口,b:柾目,c:板目



4. ブナ属(SE1982;鍬・柄)
5. コナラ属コナラ亜属コナラ節(P351;柱根)
6. クリ(P321;柱根)
　a:木口,b:柾目,c:板目



7. エノキ属(SE3719;踏み鋤)
8. ハリギリ(SE3719;漆器椀)
　a:木口,b:柾目,c:板目

第14図　木材

・ブナ属（*Fagus*）　ブナ科

散孔材で、道管は単独または放射方向に２-３個が複合して散在し、年輪界付近で径を減ずる。道管の分布密度は高い。道管は単穿孔および階段穿孔を有し、壁孔は対列状～階段状に配列する。放射組織はほぼ同性、単列、数細胞高のものから複合放射組織まである。

・コナラ属コナラ亜属コナラ節（*Quercus subgen. Quercus* sect. *Prinus*）　ブナ科

環孔材で、孔圏部は１-２列、孔圏外で急激に径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、１-20細胞高のものと複合放射組織

グリッド	遺構	層位	報告番号	器種	部位	木取り	種類（分類群）
37F9	P321	1層	218	柱根	-	心持（丸木）	クリ
36F14	P555	2層	222	柱根	-	心持丸木	クリ
37F15	P253	1層	217	柱根	-	心持丸木	クリ
33D23	P4164	1層	231	柱根	-	心持丸木	クリ
35F22	P912	2層	225	柱根	-	半截状	クリ
37F5	P752	2層	224	柱根	-	心持丸木	クリ
39J8	P2263	1層	227	柱根	-	分割角材	ブナ属
32J8・13	P3428	2層	230	柱根	-	心持丸木	クリ
35E8	P660	1層	223	柱根	-	分割材	アスナロ
43K20・25	P3097	3層	229	柱根	-	心持丸木	クリ
39I13	P1449	1層	226	柱根	-	心持丸木	クリ
32J1	P3119	-	-	柱根	-	心持丸木	クリ
37E3	P361	1層	219	柱根	-	心持丸木	アスナロ
36D21	P509	3層	220	柱根	-	分割角材	スギ
34D21	P351	1層	221	柱根	-	心持丸木	コナラ属コナラ亜属コナラ節
31J7	P2946	1層	228	柱根	-	心持丸木	クリ
32 F 19	SE272	4層	274	四角板	-	柾目	スギ
36E12	SE777	7層	275	木製品	-	板目板	スギ
35E17	SE783	5層	257	曲物（柄杓）	側板（外側）	柾目	スギ
					側板（内側）	柾目	スギ
					底板	柾目	スギ
		5層	242	箸	-	分割角棒	スギ
40I7	SE1207	5層	247	円形板	-	柾目	スギ
		5層	277	板材	-	柾目	スギ
38H6	SE1518	6層	258	曲物	側板	柾目	スギ
		6層	259	尖棒状	-	削出棒	スギ
38H16	SE1563	7層	240	盤（破片）	-	柾目	ブナ属
		7層	278	板材	-	柾目	スギ
38H21	SE1568	6層	261	独楽	-	心持丸木	クリ
38H25	SE1982	3層	270	鍬	身	柾目	ブナ属
					柄	削出棒	ブナ属
37I14	SE2007	5層	249	曲物	底板	柾目	スギ
37H16	SE2281	8層	252	曲物	側板（外側）	柾目	アスナロ
					側板（内側）	板目	アスナロ
					底板	柾目	アスナロ
37H16	SE2281	8層	251	曲物	底板	板目～柾目	マツ属複維管束亜属
		8層	263	板棒状	-	板目	スギ
31J7	SE2984	3層	253	円形板	-	柾目	スギ
45J21	SE3261	7層	241	盤	-	柾目	ブナ属
		7層	235	漆器椀	-	横木地柾目	ブナ属
42J18	SE3704	7層	279	部材	-	柾目板	スギ
42I8	SE3719	9層	271	踏み鋤	身	心持材	エノキ属
		9層	236	漆器椀	-	横木地柾目	ハリギリ
32J11	SE3900	5層	254	底板	-	柾目	スギ
		5層	244	杓子	-	柾目	スギ
33E5	SE4067	8層	-	部材	-	身：板目、柄：削出丸棒	クリ
		8層	255	底板	-	柾目	スギ
33F7	SD41	2層	280	板材	-	柾目	スギ
33E18	SD41	2層	260	曲物	側板	柾目	スギ
					底板	柾目	スギ
	SD4193	4層	264	卒塔婆	-	板目	スギ
37E	SX300	2層	281	紡錘車	-	柾目	アスナロ
37K4	SK2030	下層	243	箸	-	分割棒状	スギ
32F22	SK4086	9層	265	連歯下駄	-	台面が追柾	スギ
			266	連歯下駄	-	台面が柾目	スギ
33D13	SK4087	4層	256	底板	-	柾目	スギ

第６表　樹種同定結果

とがある。

・クリ（*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.）　ブナ科クリ属

環孔材で、孔圏部は３-４列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、１-15細胞高。

・エノキ属（*Celtis*）　ニレ科

環孔材で、孔圏部は１-３列、孔圏外で急激に径を減じたのち、塊状に複合して接線･斜方向に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、１-６細胞幅、１-50細胞高で鞘細胞が認められる。

・ハリギリ（*kalopanax pictus* Nakai）　ウコギ科ハリギリ属　環孔材で、孔圏部は１-２列、孔圏外で急激に径を減じたのち、塊状に複合して接線・斜方向に帯状あるいは紋様状に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状または対列状に配列する。放射組織は異性～同性、１-５細胞幅、１-30細胞高。柔組織はターミナル状および周囲状。

D　考　　察

今回の分析に供された木製品の樹種同定の結果、マツ属複維管束亜属、スギ、アスナロなどの針葉樹と、ブナ属、コナラ属コナラ亜属コナラ節、クリ、エノキ属、ハリギリなどの広葉樹の計８分類群が認められた。

これらの分類群のうち､針葉樹のマツ属複維管束亜属は､本州にはアカマツとクロマツの２種があるが、いずれも二次林や海岸などに生育する、あるいは植栽される常緑高木である。スギは、谷筋や扇状地扇端部の湧水地などの適湿地に生育する､あるいは植栽される常緑高木であり､アスナロは山地等に生育する、あるいは植栽される常緑高木である。広葉樹のブナ属は、山地の冷温帯性落葉広葉樹林の主要な構成種となる落葉高木であり、コナラ節は二次林や山地の落葉広葉樹林の主要な構成種となる落葉高木であり、クリは二次林等に生育する落葉高木である。エノキ属やハリギリは、谷筋や河畔等に生育する落葉高木である。

また、各分類群の木材の材質は、マツ属複維管束亜属は針葉樹としては比較的重硬な部類に入り、強度や保存性が比較的高い。スギやアスナロは、いずれも木理が通直であり、割裂性や耐水性が比較的高い。コナラ節やクリは、いずれも重硬で強度が高く、とくにクリは耐朽性が高いとされる。ブナ属やエノキ属は、比較的重硬～やや重硬とされるが、ブナ属は加工が容易あるものの保存性は低いとされる。一方、ハリギリは軽軟であり、強度や保存性が低い。

今回の分析対象の木製品は、［伊東・山田 2012］の木器分類を参考にすると、農耕具（鍬、踏み鋤？）、紡織具（紡錘車）、服飾具（連歯下駄）、容器（曲物、底板、漆器椀、盤）、調理加工具（杓子）、食事具（箸）、遊戯具（独楽）、建築部材（柱根）、その他（四角板、板、板棒状、部材、尖棒状、木製品、不明）から構成される。木器分類ごとの樹種構成（第７表）についてみると、農耕具は、鍬と踏み鋤？がある。鍬は身に柄が装着された状態で出土している。身が柾目状、柄が削出棒状であり、柄は身から直角に出た後、やや屈折して伸びる。いずれもブナ属が用いられており、比較的重硬な木材が利用される。新潟県内における中世・近世の鍬を対象とした調査事例［伊東・山田 2012］は、仲田遺跡、用言寺遺跡、住吉遺跡、砂山中道下遺跡の４例があり、用言寺遺跡と砂山中道下遺跡の資料がコナラ節、仲田遺跡の資料がトチノキ、住吉遺跡の資料がスギとされている。このうち、砂山中道下遺跡の鍬身は木取りと形状が今回の資料に似ている。ま

	農耕具			紡織	服飾	容器				
	鍬		踏鋤	紡錘車	下駄	曲物		-	漆器	盤
	身	柄	身	-	連歯	側板	底板	底板	椀	-
針葉樹										
マツ属複維管束亜属										
スギ					2	4	3	5		
アスナロ				1		2	1			
広葉樹										
ブナ属	1	1							1	2
コナラ属コナラ亜属コナラ節										
クリ										
エノキ属			1							
ハリギリ									1	
合計	1	1	1	1	2	6	4	5	2	2

	調理	食事	遊戯	建築			その他				
	杓子	箸	独楽	柱根			板材	部材	尖棒	不明	合計
	-	-	-	心持	半截	分割	-	-	-	-	
針葉樹											
マツ属複維管束亜属							1				1
スギ	1	2				1	4	1	1	3	27
アスナロ				1		1					6
広葉樹											
ブナ属						1					6
コナラ属コナラ亜属コナラ節				1							1
クリ			1	10	1			1			13
エノキ属											1
ハリギリ											1
合計	1	2	1	12	1	3	5	2	1	3	56

＊円形板は底板を含む。また、板材は四角板・板・板材・板棒状を、不明は不明・木製品を含む。

第７表　木器の器種別樹種構成

た、利用樹種についてみると、重硬およびやや重硬な種類、軽軟な種類が利用されるなど材質に幅がある。踏み鋤？は、心持材を利用しており、厚い基部から一木で薄く長い刃を削り出す。基部の端部には断面が方形となる溝が斜めに作られており、溝の途中には金属製の部品を刺した痕跡が認められることから、柄を斜めに嵌めて、金属の部品で固定したと考えられる。足を掛ける部分が無く、現代のものとはやや形状が異なるが、足を掛ける部分は別部材で作られていた可能性もあり、全体的な形状から踏み鋤の可能性が高いと考えられる。樹種はエノキ属であったことから、やや重硬な木材の利用が窺える。鍬と同様に鉄刃を装着すれば、木部の材質が必ずしも重硬である必要はないため、利用可能な強度を持つ木材の中でより加工が容易な木材を選択している可能性がある。踏み鋤の出土例は、土生遺跡の弥生時代中期の資料が知られているが、その形状は現在のものとは大きく異なる。江戸末期の万延元年に描かれたとされる豊年万作図襖絵には、現在民具として残る資料に近い形態の踏み鋤が描かれている［町田市立博物館 1993］。ただし、中世･近世の資料は出土品をはじめ伝承品なども殆ど無く、樹種を明らかにした例も知られていない。そのため、今回の資料は、当該期の形態や木材利用を知る上でも重要な資料となる可能性がある。

紡織具は、紡錘車が１点ある。紡錘は、回転運動によって繊維に撚りをかける道具であり、回転軸とこれにはめ込む円盤状の弾み車で構成されており、弾み車が紡輪あるいは紡錘車と呼ばれている［東村

2011]。今回の資料は、中央に穿孔が認められる円形（径７cm）を呈する柾目板であり、針葉樹のアスナロが認められた。この結果から、加工性の高い木材の選択が推定される。中世や近世の紡錘車の調査事例は、一之口遺跡の資料にクリ、大武遺跡や寺前遺跡の資料にスギが確認されている。今回の結果はスギの利用例に近い木材選択と考えられる。

服飾具は、下駄が２点ある。いずれも台と歯を一木で作る連歯下駄であり、台表が柾目になる資料と、樹心に近い部分を使い、台表が追柾状になる資料とがある。このうち追柾状になる資料は、台表のかかと付近と台裏の歯と歯の間に円形の刻印が認められる。樹種は２点ともスギであったことから、加工性の高い木材の利用が推定される。新潟県内では、これまでにも多くの遺跡で連歯下駄の樹種同定が実施されている。このうち、本遺跡周辺における事例についてみると、下沖北遺跡ではヤマグワ、大武遺跡ではスギ、ヒノキ、モミ属、クリ、ケヤキ、キハダ、寺前遺跡ではスギ、ヒノキ科、モクレン属、ケヤキ、カツラが確認されている。このように下駄には多くの種類の木材が利用されていたことが明らかとなっているが、今回確認されたスギはこれまでの調査事例では最も多く確認されており、当該期の下駄材として一般的な樹種であったことが窺える。

容器は、曲物、漆器、盤および所属不明の底板がある。曲物は、二重の側板と底板から構成される資料と、側板と底板から構成される資料、さらに側板のみ（SE1518）および底板のみの資料がある。これらのうち、SE783とSD41の曲物は、側面２ヵ所に孔が確認されることから、柄を通して柄杓として利用された可能性がある。樹種同定の結果、SE2281の資料にアスナロが認められたほかは全てスギであった。この結果から、薄い板の製作が比較的容易な割裂性が高い樹種が選択・利用されたことが推定される。新潟県内における調査事例では、スギの利用が多く、サワラ、ヒノキ、サワラ、カラマツ等が確認されており、今回の資料のスギの利用は既存の木材利用とも調和する結果と言える。一方、アスナロは、新潟県内では出土事例は知られていない。アスナロや変種のヒノキアスナロの現在の分布［倉田 1971］をみると、アスナロは富山県、群馬県、福島県の県境付近、ヒノキアスナロは佐渡島と群馬県、福島県、山形県との県境付近に分布するとされ、柏崎市周辺には分布していない。そのため、これらの分布する地域からの木材あるいは製品の搬入なども想定する必要がある。

底板は、曲物や結物等の底板と考えられる。全てスギに同定されており、曲物の底板と同様の木材利用が推定される。

漆器椀は２点ある。SE3261から出土した資料は、高台が低く、内外面とも黒色で内面の底面に朱漆で円形の模様が描かれる。一方のSE3719から出土した資料は、高台が高く、内面が赤色、外面が黒色に朱漆で模様が描かれており、木取りはいずれも横木地柾目取である。樹種は、SE3261がブナ属、SE3719がハリギリに同定された。ブナ属とハリギリは材質がやや異なるものの、比較的加工が容易であることから、加工性の高い木材の利用が推定される。新潟県内の調査事例では、椀にはブナ属やケヤキを中心に多くの樹種の利用が確認されており、ハリギリも大武遺跡で利用例が確認できる。今回の結果は既存の調査結果とも調和的といえる。

盤は、いずれも薄い柾目板状を呈しており、SE1563の資料は全面が炭化している。樹種はいずれもブナ属であり、椀と同様の木材が盤にも利用されたと考えられる。

調理加工具は、杓子の１点があり、スギに同定された。柾目板状を呈する資料であり、曲物などと同様に加工性を考慮した木材利用が推定される。

食事具では、箸が２点ある。いずれも分割棒状あるいは分割角棒状を呈しており、スギに同定された。

箸のような小径の製品は、木材分割時に生じる端材などからも製作可能と考えられ、これまでに明らかとされている箸の樹種［伊東・山田 2012］についてみると、それぞれの地域の板状などを呈する木製品に多く利用される針葉樹材が箸にも利用されている傾向が見られる。本遺跡では、スギが全体の約半数を占めており、スギの加工時の端材を箸に利用したことが推定される。

遊戯具は、独楽の１点がある。径４㎝の心持丸木を円錐状に削り出して製作されている。広葉樹のクリが利用されることから、強度の高い木材を利用したことが推定される。新潟県内における独楽あるいは独楽の可能性があるとされる木製品の調査事例は、下沖北遺跡と寺前遺跡の２例があり、下沖北遺跡の資料がブナ属、寺前遺跡の資料がモクレン属に同定されている。これらの結果を踏まえると、樹種は雑多であり、木材の材質も幅があることが窺える。

建築部材は、柱材16点からなり、心持丸木、半截状、分割材あるいは分割角材を呈する資料に分けられる。その内訳は、心持丸木資料が16点中12点と最も多く、半截状が１点、分割材あるいは分割角材が３点である。柱材のうち心持丸木の資料12点は、クリが10点と最も多く、この他にアスナロとコナラ節が１点ずつ認められた。この結果から、強度や耐朽性が高いクリを主とする木材利用が示唆され、このような木材利用は半截状の資料についても指摘できる。また、コナラ節は強度、アスナロは耐水性が利用の背景に考えられる。一方、分割材および分割角材には、針葉樹のスギとアスナロ、広葉樹のブナ属が確認された。このことから、心持丸木や半截状の柱材とは異なる木材利用が推定される。なお、ブナ属の柱材は、地中部と考えられるか所に抉りや貫通しない孔が認められることから、本来は別の用途の器種であった可能性があり、後に柱材に転用された可能性がある。新潟県内の調査事例では、中世や近世の資料には多くの樹種が利用されているが、とくにクリやスギの利用が多い傾向がある。本遺跡における柱材の木材利用は、これまでの結果と調和する傾向と言える。

その他とした用途・器種不明の木製品は、板状を呈する資料が多く、スギを主体として分割加工が容易な種類が利用される。なお、SE4067の部材は、一木で身と柄を削り出し、身が板目状、柄が削出丸木状を呈する。クリが利用されることから、強度や耐朽性を要する用途や部位が推定される。

＜引用文献＞

藤木利之・小澤智生　2007　『琉球列島産植物花粉図鑑』アクアコーラル企画 ,155p.
林　昭三　1991　『日本産木材　顕微鏡写真集』京都大学木質科学研究所 .
東村純子　2011　『考古学からみた古代日本の紡織』六一書房　205p
井上　淳・吉川周作・千々和一豊　2002　「琵琶湖周辺域に分布する黒ボク土中の黒色木片について」『日本第四紀学会講演要旨集』32,74-75p
石川茂雄　1994　『原色日本植物種子写真図鑑』石川茂雄図鑑刊行委員会　328p
伊東隆夫　1995　「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ」『木材研究・資料 ,31』京都大学木質科学研究所　81-181p
伊東隆夫　1996　「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ」『木材研究・資料 ,32』京都大学木質科学研究所　66-176p
伊東隆夫　1997　「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ」『木材研究・資料 ,33』京都大学木質科学研究所　83-201p
伊東隆夫　1998　「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ」『木材研究・資料 ,34』京都大学木質科学研究所　30-166p
伊東隆夫　1999　「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ」『木材研究・資料 ,35』京都大学木質科学研究所　47-216p
伊東隆夫・山田昌久　2012　「出土木製品用材データベース」『木の考古学』海青社　449p
金原正明・金原正子　1992　『花粉分析および寄生虫 . 藤原京跡の便所遺構－右京七条一坊西北坪－』奈良国立文化財研究所　12-15.
金原正明・金原正子　1993　「史跡松江城二ノ丸番所跡 SK-04 内堆積土の分析」『史跡松江城発掘調査報告書』松江市

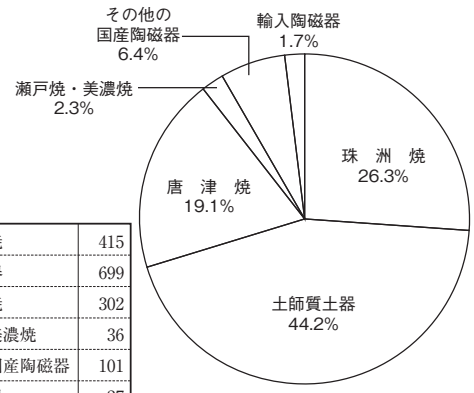
教委区委員会　51-56p
金原正明・金原正子・中村亮仁　1995 「大宮坊跡における自然科学的分析」『史跡石動山環境整備事業報告Ⅱ』石川県鹿島町教育委員会　51-70p
倉田　悟　　1971　『原色日本林業樹木図鑑　第１巻』地球出版株式会社　331p
町田市立博物館　1993 『農耕図と農耕具展』107p
三好教夫・藤木利之・木村裕子　2011 『日本産花粉図鑑』北海道大学出版会　824p
中村　純　　1980a　「日本産花粉の標徴Ⅰ Ⅱ」『大阪市立自然史博物館収蔵資料目録　第 12,13 集』91p
中村　純　　1980b　「花粉分析による稲作史の研究」『自然科学の手法による遺跡・古文化財等の研究　－総括報告書－』文部省科研費特定研究「古文化財」総括班　87-204p
中山至大・井之口希秀・南谷忠志　2000 『日本植物種子図鑑』東北大学出版会　678p
小畑弘巳　　2008　「マメ科種子同定法」『極東先史古代の雑穀３』日本学術振興会平成 16 ～ 19 年度科学研究費補助金「雑穀資料からみた極東地域における農耕受容と拡散過程の実証的研究」研究成果報告書 , 小畑弘巳編 , 熊本大学埋蔵文化財調査室　225-252p
小畑弘己　　2011　『東北アジア古民族植物学と縄文農耕』同成社　309p
吉崎昌一　　1992　「古代雑穀の検出」『月刊考古学ジャーナル ,No.355』２-14p
小椋純一　　2007　「微粒炭の母材植物特定に関する研究」『植生史研究 ,15』85-95p
小椋純一　　2008　「釧路湿原北東陸地部における微粒炭分析」『日本植生史学会第 23 回大会講演要旨集』46-4p
Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E.　2006 「針葉樹材の識別」『IAWA による光学顕微鏡的特徴リスト』伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部　久・内海泰弘 , 海青社 ,70p.［Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E.,2004,IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification］.
島地　謙・伊東隆夫　1982 『図説木材組織』地球社　176p
島倉巳三郎　1973　「日本植物の花粉形態」『大阪市立自然科学博物館収蔵目録　第５集』60p
鈴木郁夫　　1989　『Ⅰ地形分類図 . 土地分類基本調査　柏崎・出雲崎　５万分の１』国土調査 , 新潟県農地部農村総合整備課　13-27p
鈴木庸夫・高橋　冬・安延尚文　2012 『ネイチャーウォッチングガイドブック 草木の種子と果実－形態や大きさが一目でわかる植物の種子と果実 632 種－』誠文堂新光社　272p
椿坂恭代　　1993　「アワ・ヒエ・キビの同定」『吉崎昌一先生還暦記念論集「先史学と関連科学」』261-281p
Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E.　1998 「広葉樹材の識別」『IAWA による光学顕微鏡的特徴リスト』伊東隆夫・藤井智之・佐伯　浩 , 海青社 ,122p.［Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E.,1989,IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification］.
山野井徹　　1996　「黒土の成因に関する地質学的検討」『地質学雑誌 ,102』526-544p
安田喜憲　　1987　『文明は緑を食べる』読売新聞社　227p.

第Ⅶ章　ま　と　め

1　丘江遺跡における土器・陶磁器の様相

A　土器・陶磁器類の構成

出土した土器・陶磁器類は、総点数1580点に上る。種別には土師質土器、珠洲焼、瀬戸焼・美濃焼、肥前系陶器、輸入陶磁器などがあり、これらの数量を比率で表すと第15図となる。珠洲焼が最多で、土師質土器がこれに次ぐ。この２種が、出土した土器・陶磁器類の７割を占める状況で、これら以外の瀬戸焼・美濃焼などが占める割合は高くない。しかし、その中でも唐津焼は、瀬戸焼・美濃焼などに比べ、出土した土器・陶磁器に占める割合が19％と比較的高い値を示している。唐津焼が多量に出土したことは、丘江遺跡の特徴と言えそうである。それに対して、輸入陶磁器は青磁・白磁・朝鮮雑釉が出土しているが、３種類を合わせても割合は1.7％と低い数値である。以上のように、土器・陶磁器類を点数比率の面から求めた結果、丘江遺跡では土師質土器と珠洲焼が中心となり、そこに唐津焼が一定量加わり、珠洲焼・唐津焼以外の国産陶磁器及び輸入陶磁器が少量混在する組成であることが明らかとなった。



珠　洲　焼	415
土師質土器	699
唐　津　焼	302
瀬戸焼・美濃焼	36
その他の国産陶磁器	101
輸入陶磁器	27
合　　計	1580

第15図　種別出土比率

周辺で類似する土器・陶磁器の組成を持つ遺跡は、東原町遺跡、下沖北遺跡、小峰遺跡などがあるが、これらと比較しても、唐津焼の出土量を除けば、大きな差異はみられない。よって、丘江遺跡の土器・陶磁器の構成は、当該地域において一般的な組成と言えよう。

B　陶磁器の時期別推移

国産陶磁器は、珠洲焼、瀬戸焼･美濃焼、唐津焼など854点が出土した。以下では、定量出土した珠洲焼、瀬戸焼・美濃焼、唐津焼を中心として、丘江遺跡において主体となる時期の検討を行う。

珠洲焼は415点出土し、甕・壺・片口鉢の基本３器種が揃う。器種別の比率では、甕・壺類が64％、片口鉢が36％で、甕・壺類が片口鉢に比べ1.7倍ほど優位である。ただし、甕・壺類と片口鉢の一個体から生じる破片数の差は考慮しなければならない。器種別比率からみた場合、珠洲焼は貯蔵具の占める割合が調理具よりも大きいことが分かった。出土した415点中79点は時期の比定が可能で、吉岡編年のⅢ～Ⅴ期の所産とみる。次に瀬戸焼・美濃焼である。43点が出土し、器種は折縁皿、折縁深皿、卸皿、花瓶、天目茶椀など多器種に渡る。時期の比定が可能なものは30点で、これらは藤澤編年の古瀬戸中期様式Ⅲ期～大窯Ⅲ期まで連綿と存続する。最後に唐津焼である。302点が出土し、皿、椀、擂鉢などの器種がある。中でも皿の出土量が椀や擂鉢に比べて多い。皿の底部には胎土目や砂目の痕跡が残存するものもある。302点

中59点の時期比定が可能で、これらは大橋編年のⅠ～Ⅱ-2期の所産とみられる。

その他の国産陶磁器ついては、志野焼、越前焼、越中瀬戸焼、信楽焼が出土したが、いずれも出土量は少なく、それぞれの所産は15世紀後半以降と判断した。

出土した輸入陶磁器は27点で、内訳は白磁７点、青磁８点及び朝鮮陶器２点である。器種は、白磁が森田Ｄ類の皿、青磁が皿・椀・腰折皿、朝鮮雑釉が皿である。時期は、白磁と青磁が14世紀後半～15世紀前半、朝鮮陶器が15世紀後半～16世紀前半の所産とみられる。

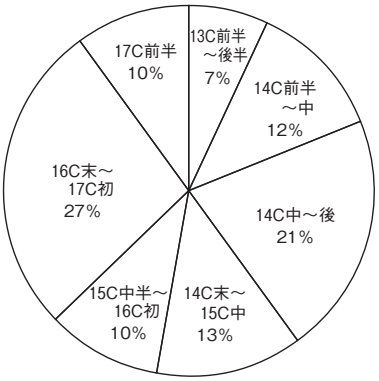
以上のことを踏まえ、時期を７期に区分し、陶磁器類の出土量の推移を第16・17図に示した。

丘江遺跡では、13世紀前半に陶磁器が出現し始め、時代が下るにつれて出土量が増加し、14世紀中葉～後半に最盛期を迎える。この時の組成は珠洲焼、瀬戸焼・美濃焼、青磁である。14世紀後半以降は徐々に出土量が減少していき、16世紀初頭を最後に空白期間が生まれる。再び遺物の出土がみられるのは16世紀末であるため、それまでの間は遺物の様相が不明である。16世紀末～17世紀前半では、陶磁器の組成が唐津焼、瀬戸焼・美濃焼、志野焼、越中瀬戸焼へと変化している。

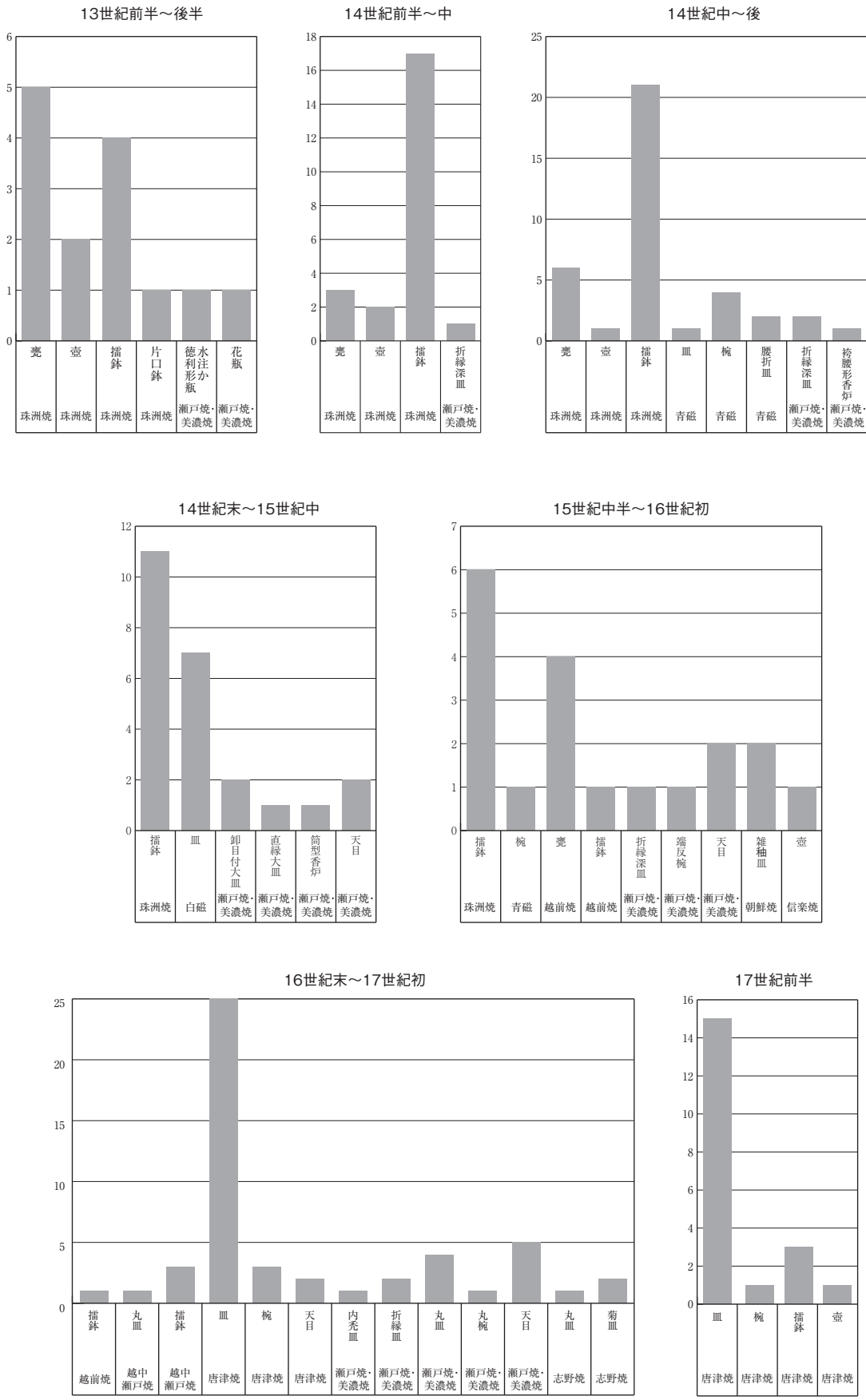
陶磁器の出土量の推移から判断した結果、13世紀前半から丘江遺跡では集落の開発が始まったとみられる。そして、16世紀前半～後半は集落が衰退もしくは廃絶していた可能性が高い。この期間を経て、再び集落が構築されるのが16世紀末で、以後17世紀前半まで集落が存続したと想定する。その中で、14世紀中葉～後半、16世紀末～17世紀初頭の２時期が集落の主体となる時期である。陶磁器の面から見ると、16世紀前半～後半の空白期間を境として、珠洲焼が消滅、それに代わって唐津焼が台頭してくることから、丘江遺跡では、16世紀前半～後半の空白期間が陶磁器の画期となることが明らかとなった。

		13C前半～後半	14C前半～中	14C中～後	14C末～15C中	15C中半～16C初	16C末～17C初	17C前半	器種別比率
珠洲焼	甕	5	3	6					18%
	壺	2	2	1					6%
	擂鉢	4	17	21	11	6			75%
	片口鉢	1							1%
青磁	皿			1					12.5%
	椀			4		1			62.5%
	腰折皿			2					25%
白磁	皿				7				100%
越前焼	甕					4			67%
	擂鉢					1	1		33%
越中瀬戸焼	丸皿						1		25%
	擂鉢						3		75%
唐津焼	皿						25	15	80%
	椀						3	1	8%
	擂鉢							3	6%
	天目						2		4%
	壺							1	2%
瀬戸焼・美濃焼	卸目付大皿				2				7%
	内禿皿						1		3%
	直縁大皿				1				3%
	折縁皿						2		7%
	折縁深皿		1	2		1			13%
	丸皿						4		13%
	端反椀					1			3%
	丸椀						1		3%
	水注か徳利形瓶	1							3%
	花瓶	1							3%
	筒型香炉				1				3%
	袴腰形香炉			1					3%
	卸皿			1					3%
	天目				2	2	5		30%
志野焼	丸皿						1		33%
	菊皿						2		67%
朝鮮焼	雑釉皿					2			100%
信楽焼	壺					1			100%
時期別比率		7%	12%	21%	13%	10%	27%	11%	100%
数量		14	23	39	24	19	51	20	190

第８表　陶磁器の器種別出土比率



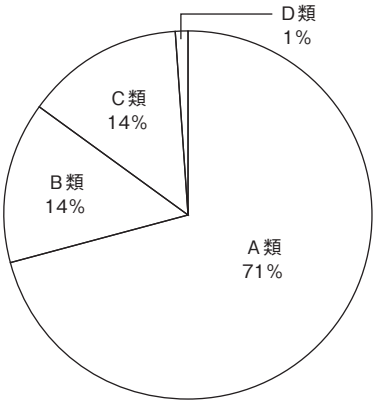
第16図　陶磁器の時期別出土量



第17図　時期別器種組成グラフ

C　共伴関係からみる土師質土器皿の年代

土師質土器は699点が出土した。器種はすべて皿であり、その分類方法は第Ⅳ章で述べたとおりである。699点中220点の分類が可能で、その構成比率が第18図である。A類70％、B類14％、C類14％、D類１％である。



第18図　土師質土器皿の構成

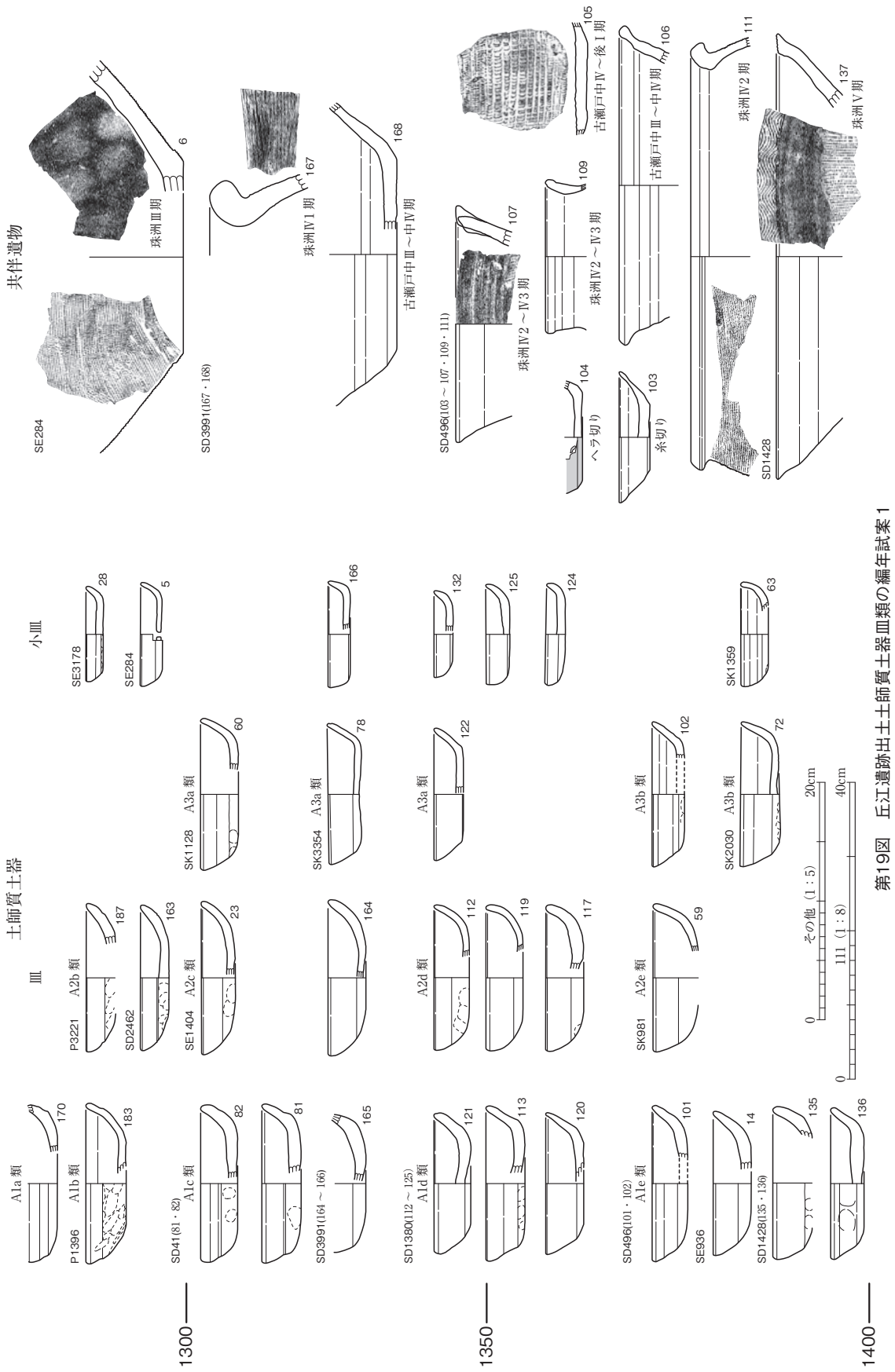
A類の出土量が153点と多く、分類した中でも器形や形状が異なることから、時期的な変化が窺える。A類は、器形でA１～A３類に分かれ、最大でa～e類への変遷を想定した。それぞれについてみていく。まず、A１類では、浅身で陵が明瞭なa類から口径が縮小し、深身となり、陵が不明瞭となるe類へ変化していく。次に、A２類は浅身なb類から、深身のe類へと変化する。最後に、A３類では口縁が面取りされ器形が台形状を呈するa類から、深身で器形が内湾気味な形状を呈したb類へ変化する。13～14世紀における手づくね土器皿の形態変化については、水澤氏が述べている［水澤2005］。

いくつかの遺構でA１～A３類と陶磁器の共伴が確認できる。SD3991では、A１c・A２c・A３a類にⅣ１期の珠洲焼甕と中期様式Ⅲ～Ⅳ期の瀬戸焼・美濃焼の大皿が、SD282では土師質土器皿A１d類にⅣ２期の珠洲焼甕がそれぞれ伴う。また、SD496では、A１e・A３b類、C類、D類にⅣ２～Ⅳ３期の珠洲焼片口鉢・壺ならびに瀬戸焼・美濃焼の中期様式Ⅳ～後期様式Ⅰ期の卸皿・中期様式Ⅲ～Ⅳ期の大皿が伴っている。そして、SD1428では、A１e・A３b類にⅤ期の珠洲焼擂鉢が伴う。

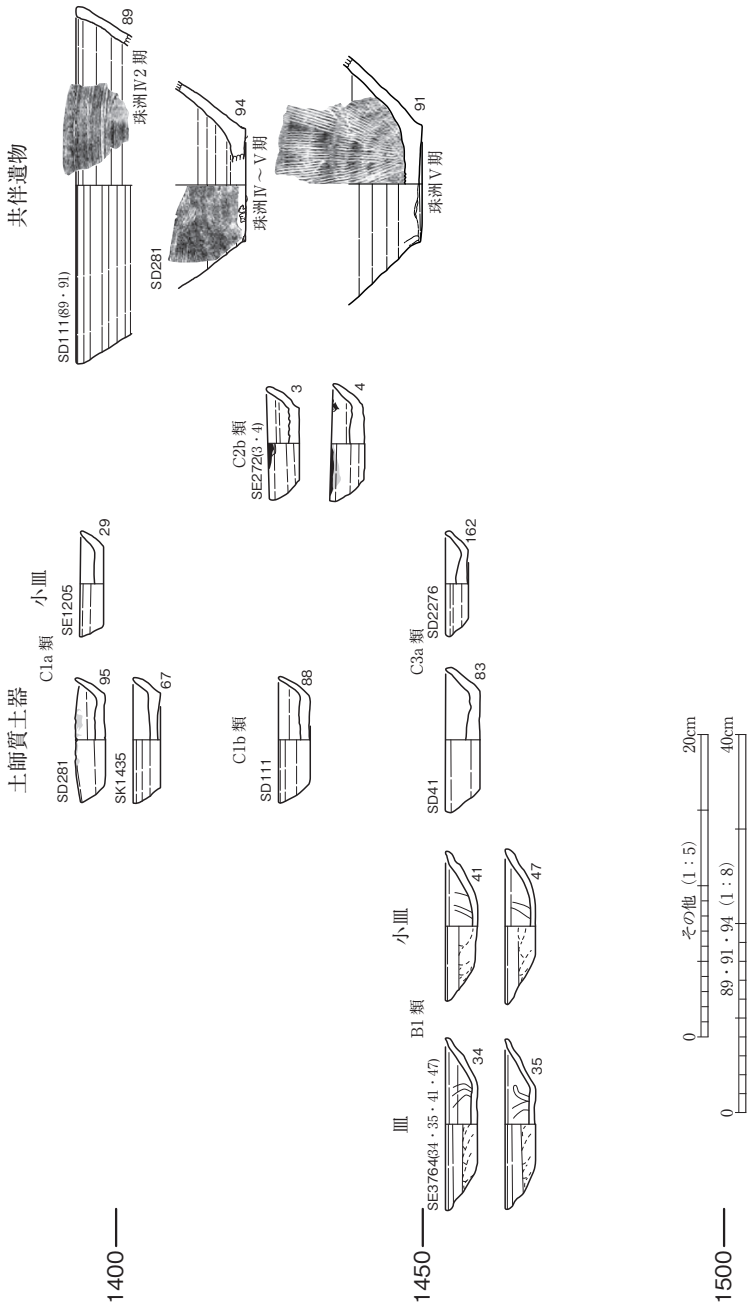
これらを基にして土師質土器皿を整理し、まとめたものが第19・20図の編年試案である。この試案では、A類の初現期を13世紀中葉～後期に比定し、14世紀末には消滅すると考えた。

周辺遺跡の東原町遺跡や下沖北遺跡では丘江遺跡の土師質土器皿に近似・補完する資料が出土している。東原町遺跡では、SK106からA１a類に白磁Ⅸ類が伴う。また、下沖北遺跡ではSK445からA３c類に青磁BⅠ'とⅣ期の珠洲焼甕・擂鉢、SK81からA１Cに白磁Ⅸ類が伴う。加えて、SE435及びSK187ではC類にⅤ期の珠洲焼が伴う。この両遺跡の共伴関係は、丘江遺跡の共伴関係と比べても大きな齟齬は感じない。そこで、東原町遺跡・下沖北遺跡の年代観に丘江遺跡を組み込むと、1300年前後にA１C・A２C類が加わるとみられる。山崎氏は、土師質土器皿の形状の変換点が13世紀後半～14世紀前半にあることを指摘しており［山崎2003・2005］、今回、丘江遺跡で出土したA１C・A２C類が形状の変換点を補完する可能性がある。

土師質土器の変遷をまとめると、A１ab類・A２b類（13世紀末）、A１c類・A２c類・A３a類（14世紀前半～中葉）、A１d類・A２d類（14世紀中葉）、A１e類・A２e類・A３b（14世紀中葉～末）、C類（15世紀）、B１類（15世紀中葉）、B２・B３類（15世紀後半）となる。以上のような結論となったが、今回提示した土師質土器の編年試案は、既存の年代観と若干の齟齬がみられる。しかしながら、今回は共伴関係からA類が14世紀後半まで下ると判断した。



第19図　丘江遺跡出土土師質土器皿類の編年試案1



第20図　丘江遺跡出土土師質土器皿類の編年試案２

2　遺構の変遷

今回の調査で検出した遺構は、総数が4000基を超える。出土遺物から、13世紀前半から17世紀前半まで断続的に存続した集落であることが明らかとなった。主体となる時期は14世紀中葉～後半及び16世紀後半～17世紀前半の２時期である。集落は区画溝を用いて屋敷地を設定し、その中に掘立柱建物群などを構築している。遺構配置などから、調査区内には複数の屋敷地が存在することが判明した。また、これらは遺構の規模、軸方位、切り合い関係、出土遺物などから、おおよその時期の比定が可能であり、その変遷が追えそうである。以下では、掘立柱建物と区画溝を検討材料として集落の変遷を見てみる。

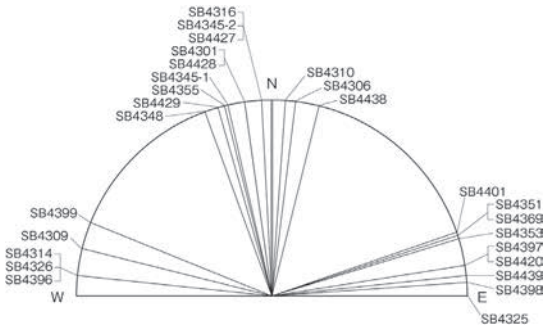
A　掘立柱建物

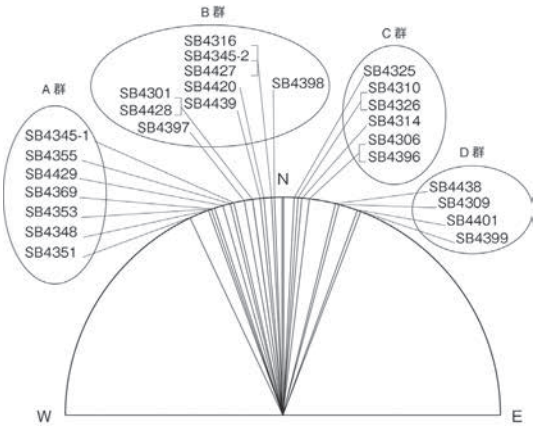
丘江遺跡では遺構配置などを検討した結果、26棟の掘立柱建物を報告した。なお、柱穴は抽出した以外にも多数認められ、実際にはより多くの建物が存在すると考えられる。

26棟の掘立柱建物は方角を意識して建てられており、棟行方向から南北棟と東西棟に大別できる。これらの桁行方向の軸方位を求めてみたところ、第21図左の結果が得られた。大きく３つに分かれる様相となった。しかし、東西棟の中には、桁行が南北棟の梁行と平行を成す建物が見受けられることから、東西棟の梁行方向の軸が南北方向にどれだけ傾いているかを求め、南北棟の軸方位と照合したところ第21図右の結果が得られた。この図を見ると、多少のズレはあるものの建物は、南北方向を意識して建てられていることがわかる。その中で、軸方位が近似する単位がいくつか認められることから、それらをＡ～Ｄ群の４つに分類した。分類方法は以下のとおりである。西偏する建物で11度以上をＡ群、11度未満をＢ群とし、東偏する建物で10度未満をＣ群、10度以上の建物をＤ群とした。26棟の内訳は、Ａ群７棟、Ｂ群９棟、Ｃ群６棟、Ｄ群４棟である。軸方位が近似する建物同士は同時性が高く併存していた可能性が強いとされるが、同分類内でも重複関係が存在することから、短期間で建て替えが行われたものと想定する。

これを基に各分類の年代について検討する。年代を推定する手がかりは、２区南東隅に位置するSB4345-２とSD1380である。遺構配置から両遺構がセットであると捉えた。SD1380からは土師質土器皿Ａ１ｄ類が出土したことから、14世紀中葉～後半に位置付けた。SB4345-２は軸方位による建物の分類においてＢ群に属す。よって、Ｂ群内の掘立柱建物は同様の時期に位置付けできよう。

14世紀中葉～後半と位置付けた建物以外の遺構としてSD496がある。SD496は大型の竪穴状土坑で、軸方位がＢ群と近似する。SD41・SD786・SD3203と重複関係にあり、これらを切る。出土遺物にも





第21図　掘建柱建物の軸方位

相違は見られないことから、B群と併存していた可能性が高い。規模や遺物の出土量から、溜め池などの機能を想定する。

B群を14世紀中葉～後半と位置付けた場合、A群は必然的にそれ以前の建物群となる。B群であるSB4345-２はA群であるSB4345-１と重複し、明確な新旧関係を示す。SB4345-１は、柱穴の切り合いからSB4345-２よりも古い。そのため、SB4345-１が属するA群が14世紀中葉以前の建物となる。A群には他にSB4348・SB4355があり、この両建物にはSD1211・SD2462が平行する。SD1211とSD2462は、遺構配置、規模、埋土から同一遺構と判断した。その場合、平面形がL字状を呈する溝となり、SB4348・SB4355などの建物群が内側に収まることから、溝が建物群に付随すると判断した。SD2462から土師質土器皿Ａ２ｂ類が出土したことから、A群を13世紀後半～14世紀初頭と位置付けた。

C群には、SB4307とSD111の関係を挙げる。SB4307はSD111と東西方向の軸が一致し平行することから、併存した可能性が高い。また、SD111は同一個体の珠洲焼が出土したSD786やSD41と同一遺構とみられ、溝は調査区外へと延伸するが、平面図上では方形区画が想定できる。おそらくSD3203も同一遺構であることから、屋敷地が２つ存在したことは確かである。SD111から14世紀前半～中葉の遺物が出土しており、SD786やSD41でも同様の遺物が複数出土したことから、C群は14世紀前半～14世紀中葉の建物群と位置付けた。

D群ついては、時期を判断できる材料が乏しいために年代の位置付けが行えなかった。

以上のようにA～C群については、出土遺物からある程度の年代に位置付けた。これを時系列順にまとめるとA→C→Bという流れとなる。軸方位でみると、13世紀末～14世紀初頭は10°以上西偏したA群が、14世紀前半～中葉になるとその傾きが西偏から東偏へと変化し、C群が形成される。しかし、14世紀中葉～後半になると再び西偏するB群が形成される。この時、傾きは２°～10°と13世紀末～14世紀初頭に比べると弱くなる。

Ｂ　区　画　溝

丘江遺跡では区画溝がいくつか存在する。ほとんどが調査区外もしくは旧河川に壊されるなどするため、全容は判然としない。しかしながら、残存部からおおよその屋敷地の検討が可能で、推定で６つの屋敷地が形成される。また、規模、重複関係、出土遺物の傾向から溝の変遷が追える。

まず、SD41・SD111・SD786・SD3203・SD3991である。これらは、規模や軸方位が近似することから同一遺構であると考える。特に、SD41・SD111・SD786は珠洲焼甕の同一個体が出土したことから間違いないと判断した。遺構平面図で確認すると、SD41・SD786・SD3203・SD3990が方形区画を呈すると推測できる。また、SD786を境として東西に屋敷地が２つ形成される。それぞれの溝からは13世紀後半～15世紀後半までの遺物が出土した。遺物を検討した結果、主体となる時期は14世紀前半～中葉と比定した。掘立柱建物群C類が付随すると考える。この区画溝の北東側は遺構が希薄となっており、地形的に見ると北へ向かうにつれて標高が低くなる。また、区画溝に近い場所では、いくつかの畦畔及び水田を検出したが、旧葦藪川が調査区内を東西方向に横断することから詳細は不明である。しかしながら、区画溝より北東側には生産域が広がっていた可能性が高いと言える。

話は変わるが、2013（平成25）年には柏崎市教育委員会が同遺跡の調査を実施している。調査は１区南東隅から約50ｍで行われ、13～15世紀後半と16世紀末～18世紀前半の遺構を検出している。その中に、水路や区画溝を想定したSD88がある。この遺構は断面から掘り直しを行っていることが確認されてお

り、遺構上半部が近世、下半部が中世に比定される［土屋・松本2016］。双方の調査区を平面図上で合成したところ、両遺構の規模や軸方位、出土物には大きな相違が見られないことから、断定はできないが同様の区画溝であった可能性がある。

次にSD1428・SD1540である。両溝は、規模や軸方位が近似することから同一遺構であると考える。SD1428は幅３ｍ前後の東西方向に延びる溝で、西端はSD1540にほぼ垂直に接続する。遺物はⅤ・Ⅵ期の珠洲焼や後期様式Ⅱ期の瀬戸焼・美濃焼などが出土した。SD1540は２区を南北に縦断する溝で、北端を旧葦藪川に切られ、南端は調査区外へ延伸する。当初はSD1540を単独の溝として扱っていた。しかし、断面を確認したところ複数回にわたって掘り直した痕跡が残っており、明確に確認できた痕跡をSD2276として追加した。遺物は13世紀後半～17世紀前半のものが出土した。SD1540は単体でも掘り直しが複数回行われていることから、機能していた時期が他の溝に比べて長期になると推測する。その中でも主体となる時期は、他の溝との関係性を踏まえると14世紀中頃～15世紀後半と考える。

最後にSD2462・SD1211である。SD2462とSD1211はSD1540・SD2276に切られる幅１ｍ前後の溝である。両遺構とも埋土や形状が近似するため同一遺構と考えた。溝は、39I付近で南西方向に屈曲し、平面形がＬ字状を呈する。遺物はSD2462から土師質土器のＡ２ｂ類が出土したことから、遺構は13世紀後半と判断する。

以上が丘江遺跡における３条の区画溝である。３条の区画溝はそれぞれ軸方位が若干異なる。これは掘立柱建物の軸方位と同様に、時間的な相違を示す可能性が高い。これらの区画溝を年代ごとに並べると、SD2462・SD1211（13世紀末～14世紀初頭）→SD41・SD263・SD786・SD3203・SD3990（14世紀前半～後半）→SD111・SD1428・SD1540（14世紀中葉～14世紀後半）となる。区画溝は、13世紀末の段階では幅１ｍ前後と狭小であった、14世紀前半～後半に入るとSD41・SD3203・SD3900などの幅が1.5～２ｍ前後に拡張する。さらに14世紀後半以降になるとSD1428・SD1540のように幅が３ｍ前後へと変化していく様子が窺える。

Ｃ　周溝建物の可能性

SB4345-２とSD1380の全容は不明である。ただし、SB4345-２の外縁をSD1380がコの字状に巡るものと想定している。SD1380の北側にはSD1428、西側にはSD1540が3.5ｍほどの遺構空白域を挟んで平行しており、建物の周囲を２重に溝が巡る可能性がある。この遺構空白域は周囲の遺構密集度と一線を画す。また、SD1380からは土師質土器皿が一括で出土したこともあり、他の屋敷地とは違う意味合いがあったのかもしれない。

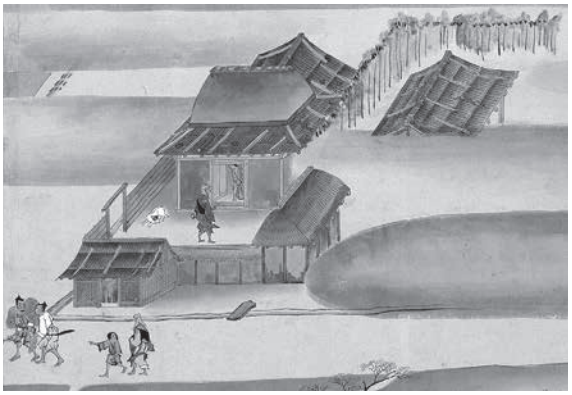
このような建物について、水澤氏は「周溝建物」と呼称し集成を行っている。例として宝積寺館跡（新発田市）、下町・坊城遺跡Ｂ地点（胎内市）、片桐塚群遺跡（見附市）、三ツ塚遺跡、保坂遺跡（上越市）を挙げている［水澤2001］。この他に境塚遺跡（阿賀野市）［荒川2016］でも同様の建物が見受けられる。境塚遺跡以外の遺跡では、この周溝建物を宗教関連施設の可能性を示唆している。宝積寺館跡では二重の方形周溝遺構の西側に火葬墓が集中する。丘江遺跡においても建物の北西に墓坑らしき遺構をいくつか検出しており、SK194からは土師質土器と六文銭が共伴し、SD2276からは「南無阿弥陀□・□妙蓮□」と墨書された土師質土器が出土するなど、付近に墓があったことを示す遺物が出土している。このようなことから、一連の遺構は、有力者層の館や宗教関連施設などの可能性を示唆する。

D　小　　結

掘立柱建物、区画溝、年代を比定できそうな遺構をまとめ、丘江遺跡における集落の変遷を示したものが第22図である。丘江遺跡には時期の異なる区画溝が混在し、それぞれが屋敷地を形成していた。屋敷地内には軸方位が一致する複数の掘立柱建物が建ち、建物の周辺には井戸や土坑が存在する。自然科学分析の結果から、建物の柱根はクリ材の心持丸木が多用されていたようである。井戸や土坑内からは、イネ、キビ、アワといった栽培種とされる種実を検出した。また、SE1518・SE2546・SE3507・SE3704では寄生虫卵を一定量検出しており、第Ⅳ章１Ｄにおいて、ある程度の人口密度を持つ集落であった可能性が示唆されている。そして、居住域と生産域を分けるSD41・SD3203といった溝も存在しており、今回の調査区は集落の縁辺部にあたる。集落の本体は地形的に高くなる南側に広がり、反対の北側には生産域が広がるものと推定する。集落周辺の環境は明るく開けた草地環境であったと自然科学分析から想定される。

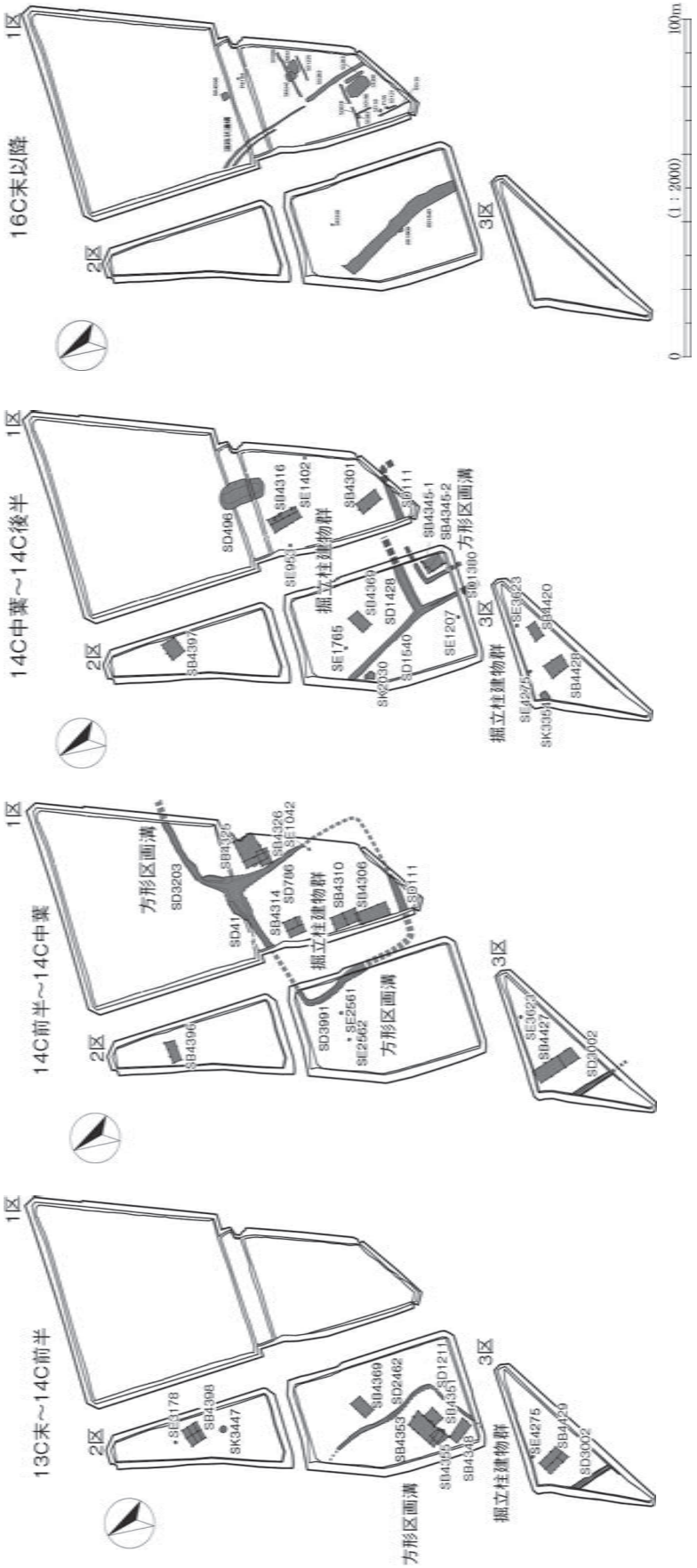
丘江遺跡の様に区画溝を伴う集落形態を持つ遺跡は県内にいくつも事例がある。例えば、下沖北遺跡［山本・山崎ほか2005］、東原町遺跡［山本・山崎ほか2005］、馬場・天神腰遺跡［品田1991］などが同じ柏崎市内にあり、市外に目を向けると古渡路遺跡［土橋2011］、境塚遺跡（阿賀野市）、住吉遺跡（新発田市）、寺前遺跡（出雲崎町）、樋田遺跡（旧吉川町）、下割遺跡（上越市）などの遺跡がある。提示した遺跡は、いずれも集落の主体となる時期が13世紀～14世紀前半であり、溝などで居住域を区画しているが、堀や土塁を伴わない。この時点の区画溝はあくまでも境界としての性格が強いとみられ、後世に出現する至徳寺遺跡や江上館跡などのように明確な堀と土塁を伴う防御色の強い方形居館とは性格が異なる。したがって、このような区画溝を伴う集落形態は、後世の方形居館へと繋がる前段階と考えられる。

15世紀末に断絶を迎える丘江遺跡の集落は、北陸地方の様相と近似する。北陸地方の中世集落は加賀を除いて12世紀中葉あるいは後半に一斉に出現するとされ、比較的低い扇状地、微高地、自然堤防上に立地する。集落同士の間隔は300～500ｍとされ、周囲を区画溝で囲む場合もある。集落の付近では新田開発を行うとされる［前川1996］。このような集落を吉岡康暢氏は「新開型村落」と呼称しており［吉岡1988］、14世紀前半まで発展してくるが、14世紀後半～15世紀前半になるとその数は減少していき、16世紀前半には消滅する。「新開型村落」が減少すると共に、標高50ｍ以上で城館周辺に立地する集落が増加する。しかし、この集落形態は長くは続かず16世紀末になると徐々に衰退を始める。そして、再び比較的低い扇状地、微高地、自然堤防上に集落を構える傾向にある［前川1996］。丘江遺跡の集落の消長と「新開型村落」及び16世紀後半以降の動向はおおむね一致する。加えて、付近には毛利安田氏の居城である安田城が存在することから、柏崎地域でも他の北陸地方同様の動きがあった可能性は高い。



第23図　一遍上人絵巻に描かれる住居
（国立国会図書館デジタルコレクション 一遍上人絵伝.[1] 部分）

最後に参考として13世紀後半の様子を描いている『一遍上人絵巻』（第23図）を挙げる。1299年に作成された絵巻には風景や屋敷などが写実的に描写されており、屋敷には簡易的な生垣と排水溝らしき設備がある。描かれている地域は異なるが、丘江遺跡の屋敷地も絵巻で描かれた屋敷に近いものと想定する。



第22図　丘江遺跡の遺構編年図

3　文献史料からみる丘江遺跡とその周辺

今回の発掘調査の結果、丘江遺跡が13世紀～14世紀後半・16世紀末～17世紀前半に主体を持つ集落であることが明らかとなった。ここでは、当該期の時代背景がどのようなものであったか文献史料を使い見ていく。主に参考とした文献史料は、『毛利安田氏文書』［矢田俊文ほか2009］、『白川風土記』［早稲田大学1996］である。この他に参考とした文献史料については、その都度明記する。『毛利安田氏文書』は、鵜川荘安田条を拠点として活動した毛利安田氏の書状をまとめたもので、14世紀後半～17世紀前半までの書状が収載される。書状には実年代が表記されるものも多く、当時の様子が如実に表れている。もうひとつの『白川風土記』は、高田藩主松平越中守定賢の命によって領内の村々について書かれた19世紀前半の史料である。資料には、柏崎の67箇村の様子が詳細に記述されており、過去の事柄などについては伝聞を記載している。

丘江遺跡が立地する田塚、茨目地区は『白河風土記』ではどちらも村とされる。田塚村は旗本安藤内蔵助の領地であり詳細は記載されていないが、茨目村については、古くは新田家一族の里見烏山氏の領地と伝わる。それが貞治年中（1362～1368年）に上杉家の領地へと代わり、上杉景勝が会津へ転封される慶長３年（1598）までの間、上杉家の領地として存続した。上杉家の領地以降は、堀氏、松平忠輝と領主層が短期間に度々交代していくことが記されている。茨目村の起源については不明であるが、茨目地区に近い上田尻・下田尻地区は、村の起こりが承元３年（1209年）という記述があり、13世紀前半には周辺で開発が始まっていたことが窺える。

13世紀後半になると、佐橋荘の地頭に毛利経光が付き、ここを拠点として活動し発展する。毛利経光は越後毛利氏の始祖であり、当地域を支配していた有力氏族とされる。後世では、安田氏、北条氏といった諸派に分裂する。丘江遺跡と毛利氏との直接的な関係性を示す史料はないが、この毛利氏の活動に呼応するかのように丘江遺跡の遺物量は増加し、最初の主体となる時期である14世紀中～後半を迎える。しかし、この頃になると毛利一族のひとつ安田毛利氏と安国寺との間で鵜川荘安田条上方をめぐり対立関係が起こる。室町幕府から越後守護である上杉憲栄に毛利安田氏の排除命令が出るなど、安田条の周辺が緊迫した状況となる。15世紀代には、上杉房朝による毛利刑部少輔の討伐（柏崎市史76号）や不退寺との争論といったこともあり、14世紀後半以降と同様に情勢が不安定であったことが史料から判断できる。その影響が、16世紀初頭における集落の衰退、もしくは廃絶に繋がった一因と考える。

２度目の主体となる時期である16世紀末～17世紀前半は、上杉景勝の会津転封、堀氏の春日山入城及び福島城の築城、松平忠輝による高田城の築城といった出来事が起こる。この頃は、領主層が短期間で交代する時期でもあり、時を同じくして村々の再開発が始まったと言える。高田平野の城下町以外の遺跡では、胎土目や砂目といった唐津焼の出土が目立ち、17世紀中葉から後半にかけて減少する様相を見せる［小島2003］。この傾向は丘江遺跡も同様で、特にⅠ・Ⅱ期の唐津焼が多いことからも、この時期に再開発が行われた可能性が高い。『白川風土記』には、刈羽郡内16箇村の大胆煎を務めた坂井段兵衛という人物がいたことが記載されている。この人物は、大胆煎を上杉謙信が存命時から務め始め、福島城の築城時に刈羽郡の人夫の手配を行っており、新田開発も精力的に行っていたとされる。16世紀末～17世紀前半の段階で、丘江遺跡の周辺に有力な大胆煎が存在していたことは確かである。

要　　約

1　『丘江遺跡Ⅰ』は、国道８号柏崎バイパスの建設に伴い、2014 年度に実施した丘江遺跡の発掘調査報告書である。2014 年度の調査面積は 9,033㎡である

2　丘江遺跡は柏崎市田塚３丁目ほかに所在する。遺跡は鯖石川左岸の沖積地微高地上に所在し、旧状は水田・宅地であった。

3　調査の結果、鎌倉時代から室町時代と安土桃山時代から江戸時代初めの集落跡が検出され、土器・陶磁器、石製品、木製品、金属製品が出土した。

4　遺構は掘立柱建物 26、井戸 174、土坑 152、溝 78 のほか多数のピットを検出した。

5　鎌倉時代～室町時代の土器・陶磁器には土師質土器・青磁・白磁・朝鮮陶器・瀬戸焼・美濃焼・珠洲焼・越前焼・信楽焼がある。土師質土器皿には南無阿弥陀□、□妙蓮□と記したもの（図版 56-162）がある。共伴した陶磁器を参考に、13 ～ 15 世紀の土師質土器の編年案を示した。

6　安土桃山時代の土器・陶磁器には唐津焼、志野焼、瀬戸焼・美濃焼の大窯製品、越中瀬戸焼がある。

7　木製品は漆器椀・皿、箸、杓子、曲物、柄杓、下駄、卒塔婆、独楽、鋤、鍬、柱根などが出土した。鍬は柄・鍬先がほぼ完存している（図版 62-270）。石製品は砥石・石臼・茶臼・石鉢のほか弥生時代の扁平片刃石斧などが出土した。

8　建物の柱穴や建物を区画する溝から出土した土器・陶磁器の年代、建物・溝の主軸方位を参考にして 13 世紀から 17 世紀前半の集落の変遷を検討した。検討の結果、① 13 世紀末～ 14 世紀前半に区画溝を伴う建物跡が出現すること、② 14 世紀前半～中葉に一辺 40 mの方形区画を持つ区域が成立すること、③ 14 世紀中葉から後半には方形区画を南に移動すること、④ 14 世紀末以降 2014 年度の調査区内では集落は衰退し 15 世紀末には集落は一旦廃絶すること、⑤ 1 世紀近くの空白期間を経て 16 世紀末に再び集落が営まれること、⑥ 13 世紀末から 14 世紀の区画溝は規模を拡大しており当初幅１m であったものが 14 世紀後半には幅３m（以上）となること、などを明らかにした。

9　８で示した集落の動向は北陸地方の中世集落の動向とおおむね一致すること、鎌倉・室町時代の集落の変化は毛利安田氏と関連する可能性が高いこと、16 世紀末の集落の再興は上杉氏の会津転封と堀氏の入府との関連する可能性が高いこと指摘した。

10　自然科学分析は花粉分析・種実同定・樹種同定を行った。花粉分析は、木本花粉に比べ草本花粉が卓越し草本花粉の中ではイネ科の植物の花粉が多く検出されている。種実同定ではイネ・ナス・シソ属・ヒョウタン類・アサなどを多く検出したほかオオムギ・コムギ・ソバ・マメ科（アズキ類・ダイズ類）なども検出した。花粉分析・種実同定の結果から集落周辺には水田や畑地などが広がり、多様な植物が栽培されていたことが推測できる。樹種同定では柱根はクリが多く、鍬は柄・鍬先ともブナ属が使用されたことなどが明らかになった。

引用・参考文献

秋山真好ほか 2015 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第264集 宝田遺跡Ⅱ』新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

荒川隆史 2012 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第133集 青田遺跡』新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

荒川隆史ほか 2012 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第232集 境塚遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

荒川隆史ほか 2016 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第262集 境塚遺跡Ⅱ』新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

荒川隆史・加藤学ほか 1999 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第93集 和泉A遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

石井二郎 1981 「宮川四郎兵衛」『農業土木を支えてきた人々』公益社団法人農業農村工学会

石井 隆 1997 「第2節 越前」『中・近世の北陸』－考古学が語る社会史－ 北陸中世土器研究会

飯坂盛泰ほか 2015 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第252集 宝田遺跡』新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

石川智紀ほか 2012 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第241集 山崎遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

伊東隆夫・山田昌久 2012 『木の考古学』海青社

上田秀夫 1982 「14～16世紀の青磁椀の分類」『貿易陶磁研究』№2 日本貿易陶磁研究会

大野隆一郎・徳間正一ほか 1990 「大地」『柏崎市史』上巻 柏崎市教育委員会

大橋康二 1989 『肥前陶磁』ニュー・サイエンス社

荻野正博 1986 「荘園と国衙領」『新潟県史 通史編1 原始・古代』新潟県

小野正敏 1982 「15～16世紀の染付椀、皿と分類と年代」『貿易陶磁研究会』№2

柏崎市史編さん委員会 1982 『柏崎市史資料集』考古編2

柏崎市史編さん委員会 1987 『柏崎市史資料集』考古編1

柏崎市教育委員会 1972 『柏崎市伝説集』

春日真実ほか 2000 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第97集 大武遺跡Ⅰ』新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

春日真実ほか 2015 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第254集 箕輪遺跡Ⅱ』新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

金子拓男 1976 「第6章 第3節 三島郡の分立、第5節 交通と交通路、第6節 延喜式内神社」『柏崎市史』上巻 新潟県柏崎市史編さん委員会

小池邦明 1999 「第5章 中世 第2節 陶磁器の組成と変遷 第1項 中世前期」『新潟県の考古学』新潟県考古学会編 高志書院

小島幸雄 2003 「第1節 時代概説」『上越市叢書8考古 中・近世資料』上越市史専門委員会考古部会

坂井秀弥 1997 「第5章第8節 中・近世の越後国」『中・近世の北陸』北陸中世土器研究会編 桂書房

品田高志ほか 1991a 『小児石』柏崎市埋蔵文化財調査報告書第15 柏崎市教育委員会

品田高志 1991b 「越中の中世土師器」『新潟考古学談話会会報』第8号 新潟考古談話会

品田高志 1995 「総括」『柏崎市内遺跡発掘調査報告書(柏崎市の遺跡Ⅳ)』(柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第20集) 柏崎市教育委員会

品田高志ほか 1999a 『柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第32集 角田』柏崎市教育委員会

品田高志 1999b 「第5章 第3節 第1項 中世土師器」『新潟県の考古学』新潟県考古学会編 高志書院

品田高志　1999c　「越後における中世後期の土師器Ⅲ－京都系土師器第２派の流入と展開－」『中世土師器の基礎研究』ＸⅣ 日本中世土器研究会
品田高志ほか 1996　『柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第21集 田塚山遺跡群』柏崎市教育委員会
品田高志　2004　「越後国佐橋荘の中世古道と町並み」『中世の道を探る』　高志書院
品田高志・伊藤啓雄　2001　『柏崎町』柏崎市埋蔵文化財調査報告書　第38集　新潟県柏崎市教育員会
白井雅人　2014　「山崎遺跡Ⅲ」『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報　平成27年度』財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
鈴木郁夫ほか 1988　『土地分類基本調査　岡野町』新潟県
鈴木郁夫ほか 1988　『土地分類基本調査　柏崎・出雲崎』新潟県
高橋　保ほか 2002　『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第109集 箕輪遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
鶴巻康志ほか 1999　「第５章 中近世 第２節Ｂ 中世後期」『新潟県考古学』高志書院
土屋崇夫・松本吉弘　2016　『柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第81集 丘江』柏崎市教育委員会
土橋由理子　2011　『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第221集 古渡路遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
永井久美男　1994　『中世の出土銭－出土銭の調査と分類』兵庫県埋蔵銭調査会
永井久美男　1996　『日本中世出土銭総覧』兵庫埋蔵銭調査会
中野　純・平吹　靖ほか　2006　『柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第47集 与三』柏崎市教育委員会
中野　純ほか 2009　『柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第48集 角田Ⅱ』柏崎市教育委員会
奈良国立文化財研究所　1985　『木器集成図録 近畿原始編』奈良国立文化財研究所
奈良国立文化財研究所　1993　『木器集成図録 近畿古代編』奈良国立文化財研究所
農林水産省農林水産技術会議事務局・財団法人日本色彩研究所　2004　『新版標準土色帖』日本色研事業株式会社
藤沢良祐　1993　『瀬戸市史　陶磁史編四』愛知県瀬戸市
藤沢良祐　2008　『中世瀬戸窯の研究』高志書院
藤巻正信　1988　『新潟県埋蔵文化財調査報告書第27集　西田・鶴巻田遺跡群』新潟県教育委員会
北陸中世土器研究会　1997　『中・近世の北陸』中世土器研究会編
前川　要　1996　「中世の家族と住居」『考古学による日本歴史15（家族と住まい）』雄山閣
水澤幸一　2001　「越後の特異な建物群」『掘立と竪穴』東北中世考古学会　高志書院
水澤幸一　2005　「越後の中世土器」『新潟考古』第16号 新潟県考古学会
森田　勉　1982　「14～16世紀の白磁の分類と編年」『貿易陶磁研究』№2 貿易陶磁研究会
矢田俊文　1999　「戦国越後の守護と守護代」『中世の越後と佐渡』　高志書院
山崎忠良ほか 2005　『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第140集 東町原遺跡・下沖北遺跡Ⅱ』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
山本信夫　2000　『太宰府条坊石跡ＸＶ－陶磁器分類編－』太宰府市の文化財第49集太宰府市教育委員会
山本信夫　2010　「貿易陶磁の分類・編年研究の現状と課題」『貿易陶磁研究』30 日本貿易陶磁研究会
山本　肇ほか 2003　『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第125集 下沖北遺跡Ⅰ』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
吉岡康暢　1988　「北東日本海域における集落の移動に関する一考察」『国立歴史民俗博物館研究報告』第16集
吉岡康暢　1994　『中世須恵器の研究』吉川弘文館
早稲田大学　1996　『白川風土記 巻之15-33』早稲田大学図書館

掘立柱建物（SB）

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造	面積（㎡）	桁行（m）	梁行（m）	新旧関係
SB4301	1区	37E・F	N-8°-W	3間×2間 長方形	25.5	7.2	3.7	

柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P471	37F3・25	楕円形	U字状	0.44	0.36	0.82	A	P471-P371	3.5				
P371	37E13	円形	U字状	0.34	0.28	0.61	C	P371-P2631	2.4				
P2631	37E18	円形	漏斗状	0.30	0.28	0.29	A	P2631-P744	2.4				
P744	37F23	円形	U字状	0.25	0.23	0.18	D	P744-P942	2.4				
P942	36F4	円形	U字状	0.28	0.25	0.44	A	P942-P395	1.7				
P395	37F2	円形	U字状	0.23	0.22	0.56	D	P395-P332	2.0				
P332	37F8	円形	箱状	0.22	0.22	0.12	D	P332-P380	2.4				
P380	37F3	円形	U字状	0.50	0.48	0.57	C	P380-P622	2.3	P380-P744	3.5		
P622	37E24	円形	半円状	0.28	0.25	0.15	-	P622-P471	2.2	P622-P2631	3.5		

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造	面積（㎡）	桁行（m）	梁行（m）	新旧関係
SB4306	1区	37・38E・F	N-7°-E	5間×2間か 長方形	(37.9)	9.7	4.0	

柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P2586	38E11	円形	V字状	0.24	0.23	0.87	-	P2586-P138	2.2				
P138	38F6	方形	半円状	0.31	0.28	0.27	C	P138-P114	1.8				
P114	37F10	円形	U字状	0.28	0.24	0.37	C	P114-P321	2.5				
P321	37F9	円形	半円状	0.38	0.37	0.35	A	P321-P428	2.5			柱根	
P428	37F8	円形	U字状	0.31	0.28	0.46	D	P428-438	1.7				
P438	37F13・12	円形	U字状	(0.16)	(0.16)	0.47	C	P438-P518	1.3				
P518	37F12・11	円形	U字状	0.25	0.25	0.43	D	P518-P204	1.7				
P204	37F6	円形	U字状	0.24	0.22	0.24	D	P204-P521	1.9				
P521	37F16	楕円形	U字状	0.37	0.33	0.52	C			P521-P138	9.8		
P259	37F5	円形	V字状	0.21	0.17	0.28	A	P259-P2586	2.4			柱根	

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造	面積（㎡）	桁行（m）	梁行（m）	新旧関係
SB4309	1区	36・37F	N-76°-W	3間×1間 長方形	18.4	5.7	3.4	

柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P205	37F6	円形	U字状	0.32	0.29	0.56	C	P205-P285	2.0				
P285	37F6	円形	U字状	0.30	0.28	0.35	-	P285-P516	2.0	P285-P535	3.2		
P516	37F6	円形	U字状	0.21	0.21	0.41	B	P516-P838	1.6	P516-P538	3.2		
P838	37F1	円形	U字状	0.30	0.29	(0.35)	D	P838-P554	3.1				
P554	36F4	楕円形	U字状	0.53	0.41	0.52	C	P554-P538	1.9				
P538	36F10	円形	U字状	0.33	0.29	0.70	A	P538-P535	1.9				
P535	36F14・10	円形	漏斗状	0.57	0.50	0.33	B	P535-P530	1.9				
P530	36F20	楕円形	箱状	0.40	0.31	0.48	B	P530-P205	3.4				

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造	面積（㎡）	桁行（m）	梁行（m）	新旧関係
SB4310	1区	36・37F	N-76°-E	4間×2間 長方形	31.2	7.9	4.0	

柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P531	37F17	楕円形	U字状	0.35	0.30	0.40	B	P531-P206	1.9				
P206	37F11	円形	U字状	0.26	0.22	0.39	D	P206-P542	2.1	P206-P548	3.9		
P542	37F10	円形	漏斗状	0.33	0.33	0.56	B	P542-P555	4.1				
P555	36F14	不整	漏斗状	0.62	0.36	0.58	B	P555-P620	2.2	P555-P548	1.8	柱根	
P620	36F18・13	楕円形	V字状	0.61	0.30	0.34	C	P620-P694	1.6				
P694	36F17	楕円形	漏斗状	0.48	0.37	0.72	B	P694-P712	1.9				
P712	36F23	円形	U字状	(0.35)	(0.35)	0.67	B	P712-P728	2.0	P712-P548	4.0	柱根	
P728	36G3	楕円形	U字状	0.50	0.40	0.50	A	P728-P619	3.9			柱根	
P619	36F25	楕円形	U字状	0.45	0.43	0.60	B	P619-P524	2.4	P619-P548	2.0		
P524	37F16	楕円形	半円状	0.32	0.26	0.19	A	P524-P531	1.6				
P548	36F19・14	楕円形	U字状	0.50	0.34	0.64	B						

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造	面積（㎡）	桁行（m）	梁行（m）	新旧関係
SB4314	1区	34・35F・G	N-84°-W	3間×2間 方形/総柱建物	25.1	4.9	5.0	

柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P1099	35G3	楕円形	U字状	0.36	0.30	0.34	A	P1099-P1102	2.2				
P1102	35F22	円形	U字状	0.35	0.33	0.50	A	P1102-P952	2.6				
P952	35F17	楕円形	U字状	0.46	0.40	0.50	-	P952-P991	2.0				
P991	35F16	楕円形	U字状	0.35	0.32	0.57	B	P991-P1110	1.9	P991-P1260	2.7		
P1110	34F25	円形	台形状	0.41	0.30	0.28	C	P1110-P1192	2.8				
P1192	35G1	円形	U字状	0.31	0.30	0.50	B	P1192-P1250	2.2				
P1250	35G6	円形	漏斗状	0.32	0.29	0.55	B	P1250-P1099	3.8				
P1103	35G4	円形	U字状	0.27	0.25	0.25	D	P1099-P1103	1.1				
P950	35F23	楕円形	箱状	0.28	0.22	0.28	D	P950-P1103	2.3	P1102-P950	1.4		
P1260	34F22	円形	U字状	0.34	0.34	0.30	C						

掘立柱建物（SB）

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造		面積（㎡）		桁行（m）		梁行（m）		新旧関係	
SB4316	1区	34・35F	N-3°-W	5間×2間 長方形/総柱建物		36.9		9.2		4.4			
柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P902	35F8	円形	U字状	0.31	0.29	0.33	A	P902-P883	1.2				
P941	35F8	円形	U字状	0.23	0.21	0.62	D	P941-P902	2.1				
P1383	35F3・4	円形	漏斗状	0.48	0.39	0.33	D	P1383-P941	1.5				
P1100	35F2	円形	（漏斗状）	（0.37）	（0.37）	0.23	－	P1100-P1383	1.4	P1100-P2731	1.6		
P1133	34F10	円形	U字状	0.30	0.30	0.61	B	P1133-P1100	3.4	P1133-P1131	1.7		
P1190	34F14	円形	U字状	0.31	（0.23）	0.49	B	P1190-P1133	2.1	P1190-1132	1.6		
P1125	34F13	円形	弧状	0.36	0.36	0.25	B	P1125-P1190	2.3				
P1137	34F14	円形	台形状	0.36	0.36	0.58	C	P1137-P1132	1.8				
P1111	34F25	円形	U字状	0.49	0.49	0.58	C	P1111-P1137	1.6				
P1117	34F20	円形	U字状	0.30	0.28	0.34	－	P1117-P1111	2.1	P1117-P1132	2.5		
P992	35F16	楕円形	U字状	0.33	0.31	0.41	C	P992-P1117	1.8	P992-P1131	2.6		
P919	35F12	円形	半円状	0.32	0.28	0.16	C	P919-P992	2.0	P919-P1101	2.3		
P883	35F18	楕円形	U字状	0.39	0.31	0.33	C	P883-P919	2.0	P883-P2731	2.0		
P1132	34F14	楕円形	U字状	0.37	0.31	0.35	C	P1132-P1131	2.0				
P1131	34F8	円形	漏斗状	0.48	0.48	0.58	B	P1131-P1101	2.2				
P1101	35F7	楕円形	V字状	0.52	0.38	0.30	B	P1101-P2731	1.8				
P2731	35F7	円形	半円状	0.30	0.26	0.18	D	P2731-P941	1.1				

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造		面積（㎡）		桁行（m）		梁行（m）		新旧関係	
SB4325	1区	33・34D・E	N-84°-W	4間×2間 長方形		58.1		8.8		6.8			
柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P491	34D18・23 34E3	楕円形	箱状	0.45	0.36	0.48	A	P491-P600	2.0				
P600	34D13,35E1	円形	V字状	0.32	0.27	0.21	C	P600-P356	2.3	P600-P351	3.4		
P356	34D2	円形	U字状	0.67	0.59	0.60	C					青磁・唐津	
P4053	33D8	楕円形	U字状	（0.33）	（0.30）	0.72	－	P4053-P4059	2.1				
P4059	33D13	円形	U字状	0.30	0.26	0.37	－	P4059-P4063	2.2				
P4063	33D18・19	円形	漏斗状	0.40	0.40	0.37	－	P4063-P4084	2.3	P4063-P356	6.6		
P4084	33D23、33E3	円形	漏斗状	0.47	0.38	0.53	－	P4084-P4079	2.2	P4084-P351	3.3		
P4079	33E4・5	円形	U字状	0.43	0.42	0.44	A	P4079-P358	3.1			柱根	
P358	34E1	円形	階段状	（0.29）	（0.29）	0.37	C	P358-P491	3.7	P358-P351	2.1		
P351	34D21	円形	V字状	0.40	0.40	0.32	A						

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造		面積（㎡）		桁行（m）		梁行（m）		新旧関係	
SB4326	1区	34D・E	N-84°-W	3間×2間　長方形		15.1		4.6		3.3			
柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P595	34D18	円形	半円状	0.42	0.36	0.27	D	P595-P484	1.8				
P484	34D23	円形	半円状	0.34	0.32	0.20	C	P484-P486	1.5	P484-P405	3.3		
P486	34D18	楕円形	台形状	0.33	0.29	0.20	A	P486-P481	1.3	P486-P2774	3.5		
P481	34D13	円形	U字状	0.23	0.21	0.20	D	P481-P419	1.5				
P419	34D17	円形	V字状	0.36	0.30	0.30	A	P419-P500	1.8	P419-P2762	4.4		
P500	34D16	不整	U字状	0.30	0.27	0.38	D	P500-P2774	1.5				
P2774	34D17	楕円形	U字状	0.23	0.14	0.16	A	P2774-P405	1.5				
P405	34D22	円形	V字状	0.29	0.26	0.34	A	P405-P495	1.6			柱根	
P495	34E2	楕円形	台形状	0.53	0.33	0.29	D	P495-P2762	1.6				
P2762	34E3	円形	U字状	0.19	0.19	0.19	A	2762-P595	1.6				

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造		面積（㎡）		桁行（m）		梁行（m）		新旧関係	
SB4345-1	2区	39G	（N-13°-W）	2間×2間 長方形/側柱建物		－		4.3以上		3.9以上		＜SB4345-2	
柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P1379	39G16	円形	台形状	0.48	（0.28）	0.41	D	P1379-P1366	2.4				＜P1378
P1366	39G22	楕円形	U字状	0.22	0.17	0.18	D	P1366-P1350	1.9				
P1350	39G23	円形	半円状	0.32	0.30	0.13	D	P1350-P1297	2.0				
P1297	39G24	楕円形	台形状	0.43	0.35	0.53	B	P1297-P1291	1.9				
P1291	39G20・19	楕円形	弧状	0.35	0.28	0.11	A						

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造		面積（㎡）		桁行（m）		梁行（m）		新旧関係	
SB4345-2	2区	39G	（N-3°-W）	3間×2間 長方形/側柱建物		－		6.0以上		4.1以上		＞SB4345-1	
柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P1378	39G16	楕円形	漏斗状	0.53	0.42	0.57	B	P1378-P1364	2.1				＞P1379
P1364	39G22	楕円形	半円状	0.58	0.45	0.35	B	P1364-P1345	2.0				
P1345	39H2	楕円形	漏斗状	0.39	0.33	0.30	－	P1345-P1342	2.2				
P1342	39G23	楕円形	階段状	0.48	0.43	0.33	C	P1342-P1295	2.2				
P1295	39G24	円形	U字状	0.42	0.36	0.53	B	P1295-P1343	1.5				
P1343	39G20	円形	U字状	0.33	0.30	0.26	D						

掘立柱建物（SB）

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造		面積（㎡）		桁行（m）		梁行（m）		新旧関係	
SB4348	2区	39・40I・J	N-20°-W	4間×2間 長方形/側柱建物		21.0		6.9		3.4			
柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	柱遺存状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P1279	40J3	円形	U字状	0.21	0.20	0.28	D	P1279-P1270	1.8				
P1270	40I22・23	円形	台形状	0.25	0.22	0.22	A	P1270-P1262	1.6				
P1262	40I17	円形	台形状	0.29	0.25	0.25	D	P1262-P1264	1.1				
P1264	40I22	円形	U字状	0.30	0.26	0.43	D	P1264-P1661	3.9	P1264-SK1304	3.1		
P1661	40J6	円形	U字状	0.19	0.19	0.40	D	P1661-P1682	1.9	P1661-P1790	1.2		
P1682	39J10	円形	U字状	0.24	0.21	0.39	B	P1682-P1335	1.3				
P1335	40J11	円形	U字状	0.27	0.26	0.35	B	P1335-P1336	1.5	P1335-P1790	2.0		
P1336	40J11	楕円形	半円状	0.27	0.19	0.12	D	P1336-P1325	2.0				
P1325	40J7	円形	U字状	0.31	0.27	0.26	A	P1325-P1311	2.0				
P1311	40J7	円形	V字状	0.32	0.30	0.30	A	P1311-SK1304	1.7				
SK1304	40J3	楕円形	漏斗状	0.71	0.59	0.21	C	SK1304-P1279	1.0				
P1790	40J6	円形	台形状	0.23	0.20	0.63	A	P1325-P1790	1.6			柱根	

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造		面積（㎡）		桁行（m）		梁行（m）		新旧関係	
SB4351	2区	39I・J	N-72°-E	2間×1間　方形		15.8		4.4		3.7			
柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P1452	39I24・19	楕円形	半円状	0.38	0.28	0.31	D	P1452-P1449	2.6				
P1449	39I18	円形	U字状	0.43	0.36	0.37	A	P1449-P1417	1.8	P1449-P1416	1.8	柱根	
P1417	39I12	楕円形	漏斗状	0.42	0.30	0.45	A	P1417-P1555	3.7				
P1555	39I16	円形	U字状	0.30	0.29	0.50	A	P1555-P1546	2.2				
P1546	39I22	楕円形	漏斗状	0.44	0.34	0.36	C	P1546-P1484	2.1	P1546-P1416	1.8		
P1484	39J3	楕円形	U字状	0.33	0.27	0.18	-	P1484-P1452	3.6				

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造		面積（㎡）		桁行（m）		梁行（m）		新旧関係	
SB4353	2区	39・39J	N-73°-E	5間×2間 長方形/側柱建物		51.7		10.5		5.1			
柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P1481	39J9	楕円形	漏斗状	0.43	0.32	0.44	A	P1481-P1459	1.9				
P1459	39J4・3	円形	漏斗状	0.44	0.37	0.52	A	P1459-P1490	2.4				
P1490	39J3	円形	U字状	0.29	0.28	0.45	A	P1490-P1544	2.2	P1490-P1612	5.1		
P1544	39I22	楕円形	台形状	0.44	0.34	0.30	A	P1544-P1533	2.1	P1544-P1613	5.0		
P1533	39I16	円形	V字状	0.29	0.29	0.40	-	P1533-P1530	1.9	P1533-P1608	4.9		
P1530	38I15	円形	U字状	0.37	0.36	0.28	A	P1530-P1796	2.2				
P1796	38I20	円形	半円状	0.24	0.21	0.17	D	P1796-P1923	2.9	P1796-P2268	8.5		
P1923	38I24,38J4	円形	U字状	0.27	0.24	0.19	A	P1923-P1608	1.9				
P1608	38J5	楕円形	U字状	0.37	0.32	0.15	C	P1608-P1613	2.0				
P1613	38J10	円形	U字状	0.29	0.27	0.35	B	P1613-P1612	2.5				
P1612	39J11	円形	U字状	0.48	0.41	0.46	A	P1612-P2251	2.0			柱根	
P2251	39J12	円形	半円状	0.32	0.28	0.15	C	P2251-P1989	1.6	P2251-P2268	2.4		
P1989	39J18	円形	U字状	0.26	0.21	0.24	A	P1989-P1993	2.3				
P1993	39J13	方形	漏斗状	0.31	0.30	0.59	A	P1993-P1481	2.7	P1993-P2268	1.8		
P2268	39J8	円形	U字状	0.28	0.25	0.58	A	P2268-P1459	2.5				

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造		面積（㎡）		桁行（m）		梁行（m）		新旧関係	
SB4355	2区	39J	N-14°-W	2間×2間　方形		13.9		3.9		3.8			
柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P2504	39J15	楕円形	U字状	0.28	0.23	0.51	-	P2504-P1460	1.7				
P1460	39J9	円形	U字状	0.27	0.24	0.13	-	P1460-P1458	2.1	P1460-P2255	3.7		
P1458	39J3	円形	U字状	0.22	0.19	0.21	A	P1458-P1589	3.5				
P1589	39J7	楕円形	漏斗状	0.43	0.33	0.49	A	P1589-P2255	1.8				
P2255	39J13	円形	U字状	0.38	0.33	0.27	B	P2255-P1410	1.8			柱根	
P1410	39J13	円形	U字状	0.20	0.18	0.24	B	P1410-P1407	2.3				
P1407	39J14	円形	漏斗状	0.21	0.20	0.27	D	P1407-P2504	1.6				

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造		面積（㎡）		桁行（m）		梁行（m）		新旧関係	
SB4369	2区	37I	N-72°-E	3間×2間 長方形/側柱建物		20.9		6.0		3.6			
柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P2082	37I14	円形	漏斗状	0.27	0.24	0.53	A	P2082-P2094	1.5				
P2094	37I13	円形	U字状	0.19	0.14	0.22	-	P2094-P2096	2.1	P2094-P2131	3.4		
P2096	37I7	楕円形	U字状	0.34	0.29	0.49	A	P2096-P2332	2.2	P2096-P2406	3.5	柱根	
P2332	37I2	楕円形	U字状	0.33	0.27	0.31	D	P2332-P2337	3.6				
P2337	36I10	円形	台形状	0.20	0.19	0.20	D	P2337-P2406	2.1				
P2406	37I11	円形	U字状	0.26	0.24	0.25	C	P2406-P2131	2.5				
P2131	37I17	円形	半円状	0.33	0.31	0.34	A	P2131-P2250	1.4				
P2250	37I17	円形	U字状	026	0.22	0.24	C	P2250-P2216	1.7				
P2216	37I18	円形	半円状	0.24	0.17	0.17	D	P2216-P2082	1.8				

掘立柱建物（SB）

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造	面積（㎡）	桁行（m）	梁行（m）	新旧関係
SB4396	2区	31J	N-84°-W	3間×1間 長方形/側柱建物	17.8	6.6	3.0	

柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P3788	31J25	方形	漏斗状	0.42	0.35	0.23	A	P3788-P3781	2.6				
P3104	31J14	円形	台形状	0.35	0.32	0.29	A	P3104-P3788	4.1	P3104-P2972	2.9		
P2980	31J9	楕円形	U字状	0.27	0.20	0.37	A	P2980-P3104	2.0				
P3103	31J7・8	楕円形	台形状	0.68	0.52	0.45	B	P3103-P2980	3.0				
P2972	31J13	円形	U字状	0.25	(0.23)	0.45	A	P2972-P3103	2.4				
P3145	31J18	楕円形	V字状	0.44	0.39	0.49	A	P3145-P2972	2.0				
P3781	31J24	円形	台形状	0.45	0.40	0.53	A	P3781-P3145	2.2				

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造	面積（㎡）	桁行（m）	梁行（m）	新旧関係
SB4397	2区	31・32J	N-81°-E	3間×2間 長方形/側柱建物	24.1	5.6	4.6	

柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P3132	32J6	楕円形	半円状	0.29	0.23	0.18	C	P3132-P3126	1.6				
P3126	32J6	円形	U字状	0.22	(0.17)	0.25	A	P3126-P2891	1.5	P3126-P3872	4.5		
P2891	32J5	楕円形	U字状	0.22	0.21	0.27	-	P2891-P2985	2.1	P2891-P2974	4.2		
P2985	31I24・25	楕円形	台形状	0.51	0.39	0.17	D	P2985-P3200	2.2				
P3200	31J3・4	円形	半円状	0.22	0.20	0.15	D	P3200-P2953	2.2	P3200-P3946	5.6		
P2953	31J3	円形	U字状	0.26	0.25	0.23	C	P2953-P2974	2.1				
P2974	31J8	楕円形	U字状	0.30	0.23	0.35	C	P2974-P3872	2.0				
P3872	31J14	円形	V字状	0.53	0.37	0.42	B	P3872-P3155	1.5				
P3155	31J14	楕円形	半円状	0.36	0.30	0.24	C	P3155-P3946	2.5				
P3946	31J15	楕円形	漏斗状	0.24	0.19	0.13	A	P3946-P3132	2.1				

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造	面積（㎡）	桁行（m）	梁行（m）	新旧関係
SB4398	2区	32I・J	N-86°-E	3間×2間 長方形/側柱建物	26.6	5.6	4.6	＞SB4399・SB4401

柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P3430	32J9	円形	漏斗状	0.33	0.33	0.56	A	P3198-P3430	2.8				
P3198	32J3	楕円形	台形状	0.36	0.21	0.19	A	P3194-P3198	2.7	P3198-P3450	1		
P3194	32I22	楕円形	U字状	0.37	(0.27)	0.31	A	P3177-P3194	1.2				＜P3193
P3177	32I22	円形	階段状	0.36	0.35	0.59	A	P3119-P3177	2.0	P3177-P3450	2.8		
P3119	32J1	円形	V字状	0.28	0.27	0.58	A	P3159-P3119	1.8	P3119-P3184	2.8	柱根	
P3159	31J5	方形	台形状	0.52	0.49	0.31	D	P3159-P3137	2.6				
P3137	32J6・11	円形	U字状	0.27	0.25	0.29	D	P3891-P3137	3.0	P3137-P3184	2.1		
P3891	32J17	方形	半円状	0.50	0.47	0.26	C	P3891-P3403	1.8				
P3403	32J12・13	楕円形	U字状	0.30	0.26	0.20	A	P3403-P3428	1.9	P3403-P3184	2.8		
P3428	32J8・13	楕円形	U字状	0.43	0.35	0.71	B	P3428-P3430	1.0	P3428-P3450	2.6	柱根	＞P3428
P3184	32J7	円形	U字状	0.27	0.26	0.50	-	P3184-P3450	2.0				＞P3185
P3450	32J2・3・8・9	円形	U字状	0.40	0.38	0.55	A	P3450-P3198	1.0			柱根	

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造	面積（㎡）	桁行（m）	梁行（m）	新旧関係
SB4399	2区	31・32J	N-68°-W	2間×2間 方形/側柱建物	20.3	5.0	4.1	＜SB98

柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P3948	32J17	楕円形	U字状	(0.31)	(0.23)	0.48	D	P3948-P3405	3.3				＜P3885
P3405	32J12	楕円形	V字状	0.28	0.22	0.16	-	P3405-P3185	1.7	P3405-P3410	4.3		
P3185	32J7	円形	半円状	0.32	0.28	0.13	-	P3190-P3141	1.8				＜P3184
P3141	32J6	円形	U字状	0.30	0.28	0.28	A	P3141-P3190	1.7			柱根	
P3190	31J10	楕円形	階段状	0.53	0.43	0.50	A	P3190-P3410	2.5			柱根	
P3410	31J15	楕円形	U字状	0.41	0.32	0.57	B	P3410-P3879	2.4			柱根	
P3789	31J20・25	円形	V字状	(0.22)	0.21	0.25	C	P3879-P3863	2.2				＞P3789
P3863	32J16	円形	V字状	0.22	0.20	0.14	C	P3863-P3948	1.9				

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造	面積（㎡）	桁行（m）	梁行（m）	新旧関係
SB4401	2区	32 I・J	N-71°-E	3間×2間 長方形/側柱建物	16.0	5.7	2.8	＞SB4398

柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P3437	32J5・10	円形	U字状	0.30	0.29	0.22	C	P3437-P3422	1.7				
P3422	32J4	楕円形	V字状	0.33	0.28	0.23	-	P3422-P3199	2.1	P3422-P3449	3.0		
P3199	32I23・24	円形	U字状	0.38	0.34	0.35	A	P3199-P3439	1.8	P3199-P3959	2.8		
P3439	32I23	楕円形	V字状	0.32	0.28	0.16	A	P3439-P3193	1.3				
P3193	32I22	円形	U字状	0.24	0.23	0.32	A	P3193-P3165	1.5	P3193-P3418	5.8		＞P3194
P3165	32J2	円形	漏斗状	0.31	0.31	0.27	C	P3165-P3959	1.9				
P3959	32J3	不整	U字状	0.35	0.23	0.33	-	P3959-P3449	2.2				
P3449	32J8	楕円形	台形状	0.37	0.30	0.22	A	P3449-P3417	1.6				
P3417	32J14	楕円形	半円状	0.31	0.28	0.18	C	P3417-P3418	1.2				
P3418	32J9	円形	漏斗状	0.23	0.21	0.25	C	P3418-P3437	1.6				

掘立柱建物(SB)

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造	面積(㎡)	桁行(m)	梁行(m)	新旧関係
SB4420	3区	42 I・J	N-81°-E	2間×1間 長方形/側柱建物	13.4	4.9	2.9	

柱穴	位置	平面形	断面形	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	堆積状況	柱穴間隔(m)				出土遺物	
P3613	42I24	楕円形	台形状	0.53	0.40	0.36	A	P3613-P3689	2.5				
P3689	42I19	円形	漏斗状	0.24	0.22	0.26	A	P3689-P3637	2.2	P3689-P3857	3.2		
P3637	42I13	楕円形	U字状	0.27	0.23	0.17	A	P3637-P3780	2.7				
P3780	42I17	円形	U字状	0.35	0.33	0.74	A	P3780-P3857	2.3				
P3857	42I22	円形	U字状	0.25	0.23	0.58	B	P3857-P4252	2.6				
P4252	42J3	円形	U字状	0.47	0.45	0.49	-	P4252-P3613	2.9				

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造	面積(㎡)	桁行(m)	梁行(m)	新旧関係
SB4427	3区	42・43J・K	(N-3°-W)	7間×2間 長方形/側柱建物	59.4	13.5	4.1	

柱穴	位置	平面形	断面形	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	堆積状況	柱穴間隔(m)				出土遺物	
P3268	43J19・24	楕円形	箱状	0.36	0.34	0.34	C	P3268-P3525	2.3				
P3525	43J18	楕円形	U字状	0.20	0.17	0.19	-	P3525-P3309	1.8	P3525-P4031	4.9		
P3309	43J13	円形	U字状	0.25	0.23	0.42	C	P3309-P3330	1.0				
P3330	43J12	楕円形	漏斗状	0.35	0.25	0.22	B	P3330-P3924	1.2	P3330-P3495	4.3		
P3924	43J12・17	楕円形	半円状	0.42	0.38	0.22	C	P3924-P3939	2.4	P3924-P3388	4.2		
P3939	43J16	楕円形	U字状	0.47	0.28	0.27	B	P3939-P3369	2.0	P3939-P4031	1.6		
P3369	42J25	楕円形	階段状	0.51	0.37	0.55	A	P3369-SK3482	2.3	P3369-P3335	4.4		
SK3482	42J24	不整	台形状	0.70	0.65	0.36	C	SK3482-P3375	2.4	SK3482-P3332	4.5		
P3375	42K3	楕円形	U字状	0.36	0.28	0.66	B			P3375-P3499	4.3		
P3500	42K13	円形	U字状	0.29	0.26	0.28	B	P3500-P3499	1.9				
P3499	42K14	楕円形	漏斗状	0.25	0.21	0.24	A	P3499-P3332	1.8				
P3332	42K10	楕円形	U字状	0.49	0.41	0.49	B	P3332-P3335	2.4				
P3335	43K1・6	円形	U字状	0.43	0.35	0.59	A	P3335-P3382	2.4				
P3382	43K2	楕円形	階段状	0.46	0.41	0.39	C	P3382-P3388	2.3	P3382-P4031	2.4		
P3388	43J23	楕円形	半円状	0.30	0.27	0.20	-	P3388-P3494	1.1				
P3494	43J23・24	楕円形	U字状	0.28	0.22	0.25	-	P3494-P3268	1.6				
P4031	43J21	円形	U字状	0.21	0.19	0.34	-	P4031-P3939	1.6				

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造	面積(㎡)	桁行(m)	梁行(m)	新旧関係
SB4428	3区	42・43J・K	N-8°-W	4間×2間 長方形/側柱建物	26.3	6.2	4.6	

柱穴	位置	平面形	断面形	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	堆積状況	柱穴間隔(m)				出土遺物	
P3505	43J18・23	円形	V字状	0.27	0.25	0.22	-	P3505-P3295	2.2				
P3295	43J13・18	円形	V字状	0.31	0.28	0.18	B	P3295-P3923	1.9	P3295-P3356	6.1		
P3923	43J12	楕円形	U字状	0.30	0.20	0.29	C	P3923-P3604	1.5				
P3604	43J11	円形	箱状	0.29	0.27	0.34	B	P3604-P4034	1.6	P3604-P3481	4.1		
P4034	43J16	円形	半円状	0.35	0.30	0.18	-	P4034-P4041	1.5	P4034-P3395	4.3		
P4041	42J20	円形	U字状	0.27	0.24	0.62	B	P4041-P3744	1.6	P4041-P3355	4.3		
P3744	42J24・19	円形	U字状	0.30	0.29	0.48	B	P3744-P3356	2.4				
P3356	43J22	方形	U字状	0.26	0.23	0.43	A	P3356-P3333	2.2				
P3333	43K1	円形	漏斗状	0.44	0.39	0.64	B	P3333-P3355	1.4				
P3355	43K1	円形	U字状	0.32	0.30	0.27	B	P3355-P3395	1.6				
P3395	43J22	楕円形	台形状	0.37	0.29	0.33	B	P3395-P3481	1.4				
P3481	43J22	円形	漏斗状	0.40	0.35	0.50	B	P3481-P3505	1.4				

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造	面積(㎡)	桁行(m)	梁行(m)	新旧関係
SB4429	3区	42・43J・K	N-16°-W	4間×2間 長方形/側柱建物(推定)	22.1	7.2	4.8	

柱穴	位置	平面形	断面形	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	堆積状況	柱穴間隔(m)				出土遺物	
P3389	43J23	円形	U字状	0.31	0.27	0.62	B	P3389-P4043	2.4				
P4043	43J17	円形	U字状	0.26	0.25	0.56	A	P4043-P4035	2.4				
P4035	43J16	円形	U字状	0.33	0.31	0.49	C	P4035-P3370	2.0				
P3370	42J20・25	楕円形	漏斗状	0.62	0.37	0.27	C	P3370-P3367	2.3	P3370-P3493	2.7		
P3367	42J24	楕円形	U字状	0.27	0.23	0.37	C	P3367-P3511	2.5	P3367-P3498	2.5		
P3511	42K3	円形	U字状	0.32	0.29	0.45	C	P3511-P3334	2.5				
P3334	42K9	円形	台形状	0.33	0.30	0.34	B	P3334-P3498	2.8				
P3498	42K5	楕円形	階段状	0.53	0.36	0.29	C	P3498-P3493	2.3				
P3493	43J21	楕円形	漏斗状	0.39	0.33	0.79	-	P3493-P4043	2.1	P3493-P3381	2.2		
P3381	43K2	楕円形	箱状	0.44	0.33	0.16	-	P3381-P3389	2.2				

掘立柱建物（SB）

遺構番号	地区	グリッド	方位	構造	面積（㎡）	桁行（m）	梁行（m）	新旧関係
SB4438	3 区	43・44K	N−14°−E	2間×1間 長方形/側柱建物	12.1	4.8	2.5	

柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P3515	44K7・12	円形	半円状	0.24	0.20	0.07	−	P3515−P3070	2.5				
P3070	44K1	円形	V 字状	0.30	0.27	0.26	A	P3070−P3520	2.5				
P3520	43K10	円形	台形状	0.23	0.21	0.19	−	P3520−P3284	2.3	P3520−P3078	2.6		
P3284	43K9	円形	箱状	0.28	0.28	0.39	C	P3284−P3049	2.5				
P3049	43K14	楕円形	U 字状	0.28	0.27	0.27	A	P3049−P3078	2.3				
P3078	43K15	円形	U 字状	0.25	0.22	0.46	B	P3078−P3515	2.5				

遺構番号	地区	方位	構造	面積（㎡）	桁行（m）	梁行（m）	新旧関係
SB4439	3 区	N−84°−E	2 間 × 1 間　長方形 / 側柱建物	12.8	4.1	3.1	

柱穴	位置	平面形	断面形	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	堆積状況	柱穴間隔（m）				出土遺物	
P3097	43K25 44K21	楕円形	U 字状	0.43	0.34	0.32	B	P3097−P3084	1.8				
P3084	43K20	円形	U 字状	0.28	0.25	0.45	C	P3084−P3249	3.3	P3084−P3030	3.4		
P3249	43K14・15	楕円形	U 字状	0.29	0.26	0.43	A	P3249−P3082	3.1				
P3082	43K18	円形	U 字状	0.45	0.37	0.55	A	P3082−P3030	1.9				
P3030	43K19・24	円形	半円状	0.27	0.23	0.17	−						
P3099	43K25	楕円形	U 字状	0.33	0.31	0.61	B	P3099−P3097	1.6				

井戸（SE）

遺構番号	種別	検出層位	地区	グリッド	長径長軸（m）	短径幅（m）	深さ（m）	平面形	断面形	覆土（埋土）	切り合い	出土遺物	時期	所見・備考
99	SE	Ⅳ	1 区	31H11	(0.75)	(0.62)	(0.82)	楕円形	台形状	レンズ状	−	−	−	
150	SE	Ⅳ	1 区	37F10	0.91	0.73	1.63	楕円形	U 字状	レンズ状	−	唐津焼 焼礫	16C 後−17C 前	
151	SE	Ⅳ	1 区	37F13	0.81	0.81	1.42	円形	U 字状	レンズ状	−	−	−	
187	SE	Ⅳ	1 区	37F2・7	0.74	0.60	0.88	楕円形	U 字状	水平 レンズ状	＞ P326	珠洲焼	−	
267	SE	Ⅳ	1 区	32F20	0.64	0.52	0.64	円形	U 字状	レンズ状	−	曲物底板	−	
272	SE	Ⅳ	1 区	32F20	0.84	0.68	0.8	円形	台形状	レンズ状	−	曲物底板	15C	
284	SE	Ⅳ	1 区	37E8・3	1.20	1.12	1.44	楕円形	漏斗状	レンズ状	＜ P443、SD283	土師質土器・ 珠洲焼	13−14C	
383	SE	Ⅳ	1 区	37F12・13	1.10	1.00	1.58	円形	U 字状	レンズ状	＞ SD192	唐津焼・天目	16C 後−17C 前	
534	SE	Ⅳ	1 区	37F6	0.80	0.68	0.96	円形	U 字状	レンズ状	＞ P542	土師質土器・ 漆器椀	−	
670	SE	Ⅳ	1 区	36E2	0.82	0.72	0.74	円形	台形状	レンズ状	−	珠洲焼 白磁皿 瀬戸美濃焼	−	
687	SE	Ⅳ	1 区	37F2	0.88	0.8	0.60	円形	U 字状	レンズ状	−	−	−	崩落
777	SE	Ⅳ	1 区	36E14・15	1.32	1.04	1.36	楕円形	U 字状	レンズ状	＜ P679 ＞ SE777、SD678・SD778	板材	−	
783	SE	Ⅳ	1 区	35E17・12	1.20	1.20	1.50	方形	U 字状	レンズ状	−	土師質土器・ 陶磁器・柄杓	−	
813	SE	Ⅳ	1 区	37F18	0.81	0.68	0.99	方形	箱状	レンズ状	＜ P814	木材	−	
832	SE	Ⅳ	1 区	35F9・10・14・15	0.72	0.72	0.81	円形	U 字状	レンズ状	−	板材	−	
855	SE	Ⅳ	1 区	35D22・23	0.64	0.64	0.32	円形	U 字状	レンズ状	＜ SK647	珠洲焼	−	
860	SE	Ⅳ	1 区	35F17・18	0.99	0.90	0.96	円形	U 字状	レンズ状	＜ P908	磨製石斧 焼礫	−	
866	SE	Ⅳ	1 区	35F9	0.76	0.76	0.76	円形	箱状	レンズ状	−	珠洲焼 焼礫・板材	−	
936	SE	Ⅳ	1 区	36E7・8・12・13	0.92	(0.60)	0.76	円形	箱状	レンズ状	＜ SK1970 ＞ P965	土師質土器	14C	
953	SE	Ⅳ	1 区	35G2・7	0.75	0.72	0.84	円形	箱状	レンズ状	−	珠洲焼・焼礫	−	
1042	SE	Ⅳ	1 区	35D13・14	0.90	(0.44)	1.28	楕円形	台形状	レンズ状	＜ SE1045	珠洲焼	Ⅳ−Ⅴ期	
1045	SE	Ⅳ	1 区	35D13・14	0.90	0.72	0.92	楕円形	U 字状	レンズ状	＞ SE1042	−	−	
1160	SE	Ⅳ	1 区	34E24	0.92	0.81	0.80	円形	U 字状	レンズ状	−	−	−	
1205	SE	Ⅳ	2 区	40I17	0.52	0.48	0.52	円形	U 字状	レンズ状	−	土師質土器	15C	
1207	SE	Ⅳ	2 区	40I7	0.96	0.92	1.40	不整形	台形状	レンズ状	＞ P1206	珠洲焼・曲物底板・ 板材	−	
1210	SE	Ⅳ	2 区	40I18	1.03	1.02	1.08	円形	漏斗状	レンズ状	＜ SD1211	珠洲焼	−	
1212	SE	Ⅳ	2 区	39I5	0.88	0.82	1.16	方形	U 字状	レンズ状	−	−	−	
1384	SE	Ⅳ	1 区	35F3・4	0.60	0.56	0.78	円形	台形状	レンズ状	＞ P1395	珠洲焼	−	崩落
1404	SE	Ⅳ	2 区	39J19	0.70	0.52	0.72	楕円形	U 字状	レンズ状	−	土師質土器	14C	
1518	SE	Ⅳ	2 区	38H6	1.56	0.80	1.60	楕円形	U 字状	水平	−	柄杓	−	

井戸（SE）

遺構番号	種別	検出層位	地区	グリッド	長径長軸（m）	短径幅（m）	深さ（m）	平面形	断面形	覆土（埋土）	切り合い	出土遺物	時期	所見・備考
1563	SE	Ⅳ	2区	37H20・38H16	1.00	0.84	1.30	楕円形	台形状	レンズ状	＜ P1564	曲物底板・盤板材	–	
1568	SE	Ⅳ	2区	38H21	1.32	1.08	1.88	方形	台形状	レンズ状	–	珠洲焼・独楽Y字状木製品	–	
1982	SE	Ⅳ	2区	38H25	(1.20)	(1.08)	(0.84)	円形	U字状	ブロック状	＜ SK2278 SD1428	珠洲焼・鍬	–	
2007	SE	Ⅳ	2区	37I9・14	0.68	0.64	0.88	円形	U字状	レンズ状	–	曲物底板	–	
2281	SE	Ⅳ	2区	37H16・17	1.08	1.04	1.84	方形	箱状	レンズ状		珠洲焼・砥石漆器椀・曲物	Ⅳ期	
2526	SE	Ⅳ	2区	37J1	0.76	0.76	1.2	円形	箱状	レンズ状	＜ P2315・P2467	漆器椀	–	
2561	SE	Ⅳ	2区	36I14	0.93	0.84	1.24	円形	U字状	レンズ状	–	珠洲焼	Ⅳ期	
2562	SE	Ⅳ	2区	36J10	0.80	0.64	1.44	楕円形	U字状	レンズ状	–	珠洲焼	–	
2984	SE	Ⅳ	2区	31J3	0.72	0.68	0.64	方形	U字状	レンズ状	–	曲物底板	–	
3150	SE	Ⅳ	2区	31J3・4	0.68	0.64	0.76	円形	U字状	レンズ状	＞ P3882・SD2998	銭貨	–	
3178	SE	Ⅳ	2区	31J14	0.81	0.76	0.68	円形	U字状	レンズ状	–	土師質土器	–	
3260	SE	Ⅳ	3区	43J15・20	0.97	(0.60)	1.38	円形	V字状	レンズ状	–	土師質土器	15C後	
3261	SE	Ⅳ	3区	44J21	0.8	0.72	1.58	方形	箱状	レンズ状	–	漆器椀・盤	–	
3507	SE	Ⅳ	3区	44K7	1.04	0.80	1.16	楕円形	U字状	レンズ状	＞ SD3002	銭貨	–	
3508	SE	Ⅳ	3区	43J24	0.72	0.68	1.28	楕円形	U字状	レンズ状	–	土師質土器	15C後	
3623	SE	Ⅳ	3区	41I15	0.92	0.88	0.92	円形	U字状	レンズ状	＞ SD3624	珠洲焼・砥石礫・漆器椀曲物	–	
3704	SE	Ⅳ	3区	42I18	0.68	0.68	1.00	円形	箱状	レンズ状	＞ P4021・P4022	土師質土器・板材	15C	
3719	SE	Ⅳ	3区	42I8	1.40	1.12	1.74	楕円形	U字状	レンズ状	＞ P3915・P3916	踏鋤・焼礫	–	
3726	SE	Ⅳ	3区	42I7	1.00	0.80	1.58	楕円形	U字状	レンズ状	–	珠洲焼・木製容器	–	
3764	SE	Ⅳ	3区	42J18・23	0.70	0.68	1.36	円形	U字状	レンズ状	–	土師質土器	15C後	17枚出土
3900	SE	Ⅳ	2区	32J11・16	1.20	1.12	1.24	円形	U字状	レンズ状	–	木・杓子・曲物底板	–	
3940	SE	Ⅳ	3区	42J20	1.20	1.08	0.92	円形	U字状	レンズ状	＜ P4041 ＞ P4042・P4044	土師質土器・地輪・焼礫	15C	
4030	SE	Ⅳ	3区	43J16	0.84	0.80	1.12	円形	U字状	レンズ状	＜ SD3383	木材		
4067	SE	Ⅳ	1区	33E3	0.98	0.84	1.97	円形	U字状	レンズ状	＞ SK4068	棒状木製品曲物底板	–	
4087	SE	Ⅳ	1区	33D13・14	0.70	0.64	1.08	円形	箱状	レンズ状	–	瀬戸焼・美濃焼下駄・礫	–	
4151	SE	Ⅳ	1区	33E9	0.70	0.60	(0.87)	円形	箱状	レンズ状	–	唐津焼	16C後–17C前	
4275	SE	Ⅳ	3区	42J22	0.80	0.68	0.76	方形	U字状	レンズ状	–	珠洲焼	–	

土坑（SK）

遺構番号	種別	検出層位	地区	グリッド	長径長軸（m）	短径幅（m）	深さ（m）	平面形	断面形	覆土（埋土）	切り合い	出土遺物	時期	所見・備考
44	SK	Ⅳ	1区	32G15・20 33G16・17	4.00	1.96	0.64	長方形	台形状	レンズ状	–	土師質土器	–	
581	SK	Ⅳ	1区	34D10	1.92	(1.80)	0.80	楕円形	台形状	レンズ状	＜ SD599	–	–	
647	SK	Ⅳ	1区	35D22・23 35E2・3・8	3.88	2.84	0.36	長楕円形	弧状	レンズ状	＞ SE852・SE855、SK654、P1007	瀬戸焼・美濃焼唐津焼	–	
654	SK	Ⅳ	1区	35E6–8 35D21	3.13	2.58	0.48	方形	台形状	レンズ状	＜ SK647、SD599	瀬戸焼・美濃焼唐津焼・天目	16C後-17C前	
688	SK	Ⅳ	1区	36F12	1.00	0.96	0.36	円形	半円状	レンズ状	–	土師質土器	14C	
853	SK	Ⅳ	1区	35D18	0.72	0.60	0.36	楕円形	台形状	レンズ状	–	珠洲焼	–	
981	SK	Ⅳ	1区	36D21	1.04	0.88	0.64	楕円形	U字状	レンズ状	–	土師質土器	14C	
1128	SK	Ⅳ	1区	34F14・15・19・20	1.86	1.32	0.92	楕円形	階段状	レンズ状	–	土師質土器	14C	
1168	SK	Ⅳ	1区	34F4	1.08	0.8	0.16	楕円形	半円状	レンズ状	–	土師質土器	–	
1227	SK	Ⅳ	1区	35E14	0.48	0.44	0.20	円形	半円状	レンズ状	–	珠洲焼	Ⅳ期	
1306	SK	Ⅳ	2区	40I22	0.92	0.92	0.64	円形	V字状	レンズ状	＞ P1305	土師質土器	14C	
1359	SK	Ⅳ	2区	39G25	1.40	(0.84)	0.60	(円形)	台形状	レンズ状	＞ SD1380	土師質土器	14C	
1435	SK	Ⅳ	2区	38I2	0.84	0.84	0.60	円形	U字状	レンズ状	＞ SK1436	土師質土器	15C	

土坑（SK）

遺構番号	種別	検出層位	地区	グリッド	長径長軸（m）	短径幅（m）	深さ（m）	平面形	断面形	覆土（埋土）	切り合い	出土遺物	時期	所見・備考
1436	SK	Ⅳ	2区	38I2	1.08	(0.60)	0.32	楕円形	半円状	レンズ状	＜SK1435 ＞P1437	–	–	
1515	SK	Ⅳ	2区	38 I 2	2.40	1.96	0.52	楕円形	半円状	レンズ状	＜SD1428	珠洲焼	–	
1760	SK	Ⅳ	2区	38I8	2.00	1.58	0.46	方形	台形状	レンズ状	–	珠洲焼	Ⅳ期	
1809	SK	Ⅳ	2区	38I23	1.46	0.92	0.3	長楕円形	半円状	ブロック状	–	板材・銭貨	17C	景徳元寶 熙寧元寶
1834	SK	Ⅳ	2区	36I18	0.60	0.60	0.38	円形	U字状	レンズ状	＞SK2146	越中瀬戸焼・ 天目・石臼	–	
1946	SK	Ⅳ	2区	39H25	0.94	(0.42)	0.32	(円形)	台形状	レンズ状	＜SD1540	土師質土器・ 銭貨	15C前	祥符元寶 永楽通寶
1947	SK	Ⅳ	2区	39H24 39I4	1.12	(0.52)	0.18	(円形)	弧状	レンズ状	＜SD1540	土師質土器	15C前	
2062	SK	Ⅳ	2区	37I19	0.60	0.54	0.66	楕円形	U字状	レンズ状	–	銭貨	–	至道元寶
2129	SK	Ⅳ	2区	37H21 37I1・2	0.70	0.58	0.67	方形	箱状	水平 レンズ状	–	珠洲焼	–	
2030	SK	Ⅳ	2区	37J23・ 24	3.04	2.30	0.82	不整形	箱状	レンズ状	–	土師質土器・ 青磁・漆器椀・ 棒状木製品	14C	転用硯か
2278	SK	Ⅳ	2区	38H24・ 25 38I4・5	1.60	(0.62)	0.60	(円形)	半円状	レンズ状	＜SD2276 ＞SD1428	–	–	
2894	SK	Ⅳ	2区	33J・K	4.50	3.70	0.30	円形	半円状	レンズ状	＞SK3593	–	–	
2973	SK	Ⅳ	2区	31J9・14	0.74	0.7	0.48	円形	半円状	ブロック 状	–	珠洲焼	–	
3447	SK	Ⅳ	2区	33J1・2・ 6・7	2.10	2.06	0.42	円形	弧状	レンズ状	–	土師質土器 瀬戸焼・美濃焼 礫・木	14C	
3641	SK	Ⅳ	2区	34J・K	3.20	(2.60)	0.10	不整形	弧状	単層	＞P3565・ P3656 P3658 - P3660	–	–	
3652	SK	Ⅳ	2区	32 I・J 33 I・J 32 J 5 33 I 16・ 21 33 J 1	3.44	3.00	0.26	円形	弧状	水平状	–	–	–	
3259	SK	Ⅳ	3区	43K7・12	0.60	0.60	0.40	円形	箱状	レンズ状	–	土師質土器・ 青磁、礫	14C	
3354	SK	Ⅳ	3区	42K20	2.44	2.3	0.68	方形	箱状	レンズ状	–	土師質土器 瀬戸焼・美濃焼	14C末	
4210	SK	Ⅳ	1区	29G8	1.74	1.00	0.13	楕円形	弧状	レンズ状	–	珠洲焼	Ⅲ	

溝（SD）

遺構番号	種別	検出層位	地区	グリッド	長径長軸（m）	短径幅（m）	深さ（m）	平面形	断面形	覆土（埋土）	切り合い	出土遺物	時期	所見・備考
41	SD	Ⅳ	1区	32E	(17.0)	2.0	0.34	–	弧状	レンズ状	＜SD496	土師質土器・ 珠洲焼・唐津焼 砥石、曲物、 下駄、板材	14-15C	
111	SD	Ⅳ	1区	38E	(10.4)	2.2	0.7	–	弧状	レンズ状	＜SD110・ SD125・ SD146 ＞P133・ P474	土師質土器・ 珠洲焼	–	SD116・ SD125
281	SD	Ⅳ	1区	36・37 D	(42.0)	1.60	0.24	–	弧状	水平状	＞SE666 ＜SE765	土師質土器・ 珠洲焼	15C後 Ⅳ期	
282	SD	Ⅳ	1区	35～37 D	(20.4)	2.04	0.52	–	半円状	レンズ状	＞SE297、 SK320・ SK970・ SK1338	土師質土器・ 珠洲焼	13C・14C 前 16C-17C	
283	SD	Ⅳ	1区	37 E	6.10	1.80	0.10	–	弧状	単層	–	唐津焼	17C中	P136と同 一個体
345	SD	Ⅳ	1区	34D	(4.40)	1.56	0.32	–	弧状	レンズ状	＜SK350・ SK412	土師質土器 珠洲焼	Ⅳ期	
496	SD	Ⅳ	1区	34E	19.2	9.6	0.58	–	弧状	レンズ状	–	土師質土器・ 珠洲焼・ 瀬戸焼・美濃焼 器種不明品	Ⅳ-Ⅵ期	

溝（SD）

遺構番号	種別	検出層位	地区	グリッド	長径長軸（m）	短径幅（m）	深さ（m）	平面形	断面形	覆土（埋土）	切り合い	出土遺物	時期	所見・備考
1211	SD	Ⅳ	2区	39・40 Ⅰ	(12.8)	1.10	0.41	－	台形状	斜位	＞SE1210 ＜SD1540・SD2276	土師質土器・珠洲焼	15C Ⅱ－Ⅲ期	
1380	SD	Ⅳ	2区	39J	14.00	1.50	0.40	－	台形状	レンズ状	－	土師質土器 瀬戸焼・美濃焼 珠洲焼	－	
1428	SD	Ⅳ	2区	38 G・H	(12.1)	3.10	0.70	－	台形状	レンズ状	－	土師質土器・珠洲焼・瀬戸美濃焼	14C	
2285	SD	Ⅳ	2区	37 H	3.00	0.60	0.10	－	弧状	単層	－	－	－	
1540	SD	Ⅳ	2区	37J、38I、39H・Ⅰ	(41.0)	2.16	0.70	－	台形状	レンズ状	＜SD2276	土師質土器・珠洲焼・白磁・瀬戸焼・美濃焼・唐津焼・志野焼・越中瀬戸焼・石臼	15C、Ⅴ－Ⅵ	
2276	SD	Ⅳ	2区	37J、38I・J	(41.0)	1.60	0.42	－	台形状	レンズ状	＞SK2278 SD1428 SD1540	土師質土器	15C 後	墨書「南無阿弥陀□」
2462	SD	Ⅳ	2区	38I	19.60	0.96	0.4	－	台形状	水平状	＜P2477 ＞SE2525 SK2461	土師質土器	－	
3391	SD	Ⅳ	2区	35 H・I、36 H・Ⅰ	(15.0)	2.10	0.30	－	弧状	レンズ状	＞SD4019 ＜SD3990	土師質土器・珠洲焼 瀬戸焼・美濃焼	－	
3002	SD	Ⅳ	3区	43K、44K	16.6	1.74	0.44	－	台形状	レンズ状	－	珠洲焼	－	
3305	SD	Ⅳ	3区	43J	(16.7)	0.80	0.48	－	弧状	レンズ状	＜SD3383	珠洲焼	－	
3383	SD	Ⅳ	3区	42I・J	－	1.88	0.10	－	弧状	単層	－	－	－	
4193	SD	Ⅳ	1区	30・31D	36.30	2.60	0.64	－	弧状	レンズ状	＞水田3575 水田3580	珠洲焼	Ⅳ－Ⅵ期	
4194	SD	Ⅳ	1区	30・31D	20.0	2.50	0.70	－	弧状	レンズ状	－	珠洲焼	－	

道路状遺構

遺構番号	種別	検出層位	地区	グリッド	長径長軸（m）	短径幅（m）	深さ（m）	平面形	断面形	覆土（埋土）	切り合い	出土遺物	時期	所見・備考
1	SR	Ⅳ	1区	33G、34・35G・F 35G・F	(28.0)	2.42	0.24	－	弧状	レンズ状	＞SD41	土師質土器、珠洲焼、唐津焼、瀬戸焼・美濃焼天目	13C 中－17C 前	

性格不明遺構（SX）

遺構番号	種別	検出層位	地区	グリッド	長径長軸（m）	短径幅（m）	深さ（m）	平面形	断面形	覆土（埋土）	切り合い	出土遺物	時期	所見・備考
300	SX	Ⅳ	1区	36・37E	7.12	4.20	0.28	長楕円形	弧状	ブロック状	＞SE661・SE680、SD258	唐津焼	16C 後－17C 前	

ピット（P）

遺構番号	種別	検出層位	地区	グリッド	長径長軸（m）	短径幅（m）	深さ（m）	平面形	断面形	覆土（埋土）	切り合い	出土遺物	時期	所見・備考
61	P	Ⅳ	1区	30H13・14	0.84	0.62	0.62	楕円形	U字状	B	－	信楽焼	15C 後	
81	P	Ⅳ	1区	30H14	0.82	0.80	0.74	円形	箱状	ブロック状	－	土師質土器	14C	
136	P	Ⅳ	1区	37 E 3	0.76	0.62	0.60	楕円形	漏斗状	C	＞P125・P323	唐津焼	16C 後	
253	P	Ⅳ	1区	38F11	0.40	0.32	0.50	円形	U字状	A	－	柱根	－	
351	P	Ⅳ	1区	37E3	0.12	0.12	0.24	楕円形	U字状	A	－	柱根	－	
361	P	Ⅳ	1区	37E3	0.24	0.24	0.46	円形	U字状	A	－	柱根	－	
407	P	Ⅳ	1区	34D21	0.21	0.21	0.23	円形	U字状	A	＞SK412	瀬戸焼・美濃焼	大窯1	P2809と同一個体
509	P	Ⅳ	1区	36D21	0.61	0.60	0.63	方形	漏斗状	B	＜P580	柱根	－	
520	P	Ⅳ	1区	37F6	0.29	0.29	0.42	円形	U字状	B	－	－	－	
628	P	Ⅳ	1区	34E24	0.46	0.31	0.48	楕円形	U字状	単層	－	唐津焼	16C 後－17C 前	
660	P	Ⅳ	1区	35E13	0.30	0.30	0.45	円形	U字状	A	－	柱根	－	
752	P	Ⅳ	1区	37F5	0.43	0.41	0.4	円形	U字状	B	－	柱根	－	
912	P	Ⅳ	1区	35F22	0.30	0.27	0.59	楕円形	U字状	B	－	柱根	－	
1396	P	Ⅳ	1区	34E24	0.66	0.30	0.13	楕円形	漏斗状	A	－	－	－	
2809	P	Ⅳ	1区	32D11	0.30	0.27	0.32	不整形	箱状	C	－	瀬戸焼・美濃焼	－	

土器・陶磁器観察表

凡　例　胎土・・・長＝長石、英＝石英、チ＝チャート、雲＝雲母、海＝海面骨針、砂粒＝砂、白色粒子＝白、黒色粒子＝黒、赤色粒子＝赤

No.	種類	器種	出土地点			大きさ（ｃｍ）			色調	成形技法			胎土	焼成	分類	備考
			グリッド	遺構	層位	口径	底径	器高	外面	内面	外面	底面				
1	唐津焼	Ⅲ	1区 37F10	SE150	2	－	3.6	(3.2)	オリーブ黄	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	－	良好		内面から口縁部に施釉 底部内外面に胎土目４か所 16C 末～ 17C 初
2	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	1区 37F7	SE187	4	－	－	－	オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 海・砂	良好		注口部の幅は指２本分
3	土師質土器	小Ⅲ	1区 32F19	SE272	4	7.3	4.8	2.1	にぶい黄褐	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り （右回転）	英・雲	良好	C2b類	底部内面にスス、 口縁部にタール付着 灯明Ⅲ
4	土師質土器	小Ⅲ	1区 32F19	SE272	4	7.8	5.0	2.2	にぶい黄褐	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り （右回転）	英・雲・ 砂	良好	C2b類	底部内面にスス、 口縁部にタール付着 灯明Ⅲ
5	土師質土器	小Ⅲ	1区 37E3	SE284	2	8.5	6.0	1.9	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	良好		底部中央に穿孔
6	珠洲焼	甕	1区 37E3	SE284	3	－	16.0	－	灰	あて具痕	タタキ	砂底 底部外端 ケズリ	長・英	良好		
7	唐津焼	Ⅲ	1区 37F12・13	SE383	5	12.2	3.7	3.4	灰褐	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	－	良好		内面から口縁部に施釉 底部内外面に砂目 17C 前半
8	唐津焼	Ⅲ	1区 37F12・13	SE383	5	13.0	5.4	3.4	灰黄	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	－	良好		内面から口縁部に施釉 底部内外面に砂目 17C 前半
9	唐津焼	Ⅲ	1区 37F12・13	SE383	5	12.8	3.6	3.9	褐灰	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	－	良好		胎土目 16C 末～ 17C 初
10	唐津焼	Ⅲ	1区 37F12・13	SE383	5	11.8	3.7	4.0	にぶい橙	ロクロナデ →加飾	ロクロナデ ロクロケズリ 加飾	削り出し 高台	－	良好		底部内面に胎土目４か所 16C 末～ 17C 初
11	唐津焼	Ⅲ	1区 37F12・13	SE383	5	－	5.8	－	灰黄	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	－	良好		底部内面に胎土目１か所 内面に鉄絵 16C 末～ 17C 初
12	唐津焼	天目茶椀	1区 37F12・13	SE383	5	11.8	－	(4.8)	にぶい黄褐 ・暗灰黄	ロクロナデ	ロクロナデ	－	－	良好		内外面に鉄釉 大窯Ⅳ期　16C 末
13	瀬戸焼・ 美濃焼	平椀	1区 36E2	SE570	5	12.8	－	－	浅黄	ロクロナデ	ロクロナデ	－	－	良好		内外面釉 口縁端部に使用痕 後期様式Ⅱ・Ⅲ期 15C 前
14	土師質土器	Ⅲ	1区 36E13	SE936	－	12.0	5.6	3.2	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	英・砂	良好	A1e類	
15	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	1区 35G2・7	SE953	8	－	15.0	－	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	静止糸切り 底部外端 ケズリ	長・英・ 海・砂	良好		内面摩耗著しい　被熱 卸目 11 ～ 12 目　Ⅳ１期 14C 前半
16	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	1区 35D14・19	SE1042	1	35.6	－	－	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	長・英・ 海	良好		Ⅳ２期　14C 後半
17	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	1区 35D20	SE1042	1				灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	長・英・ 海・砂	良好		混和材多　Ⅳ１期 14C 前半
18	珠洲焼	壺	1区 35F4	SE1384	2	－	7.1	(5.0)	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ 指頭圧痕	静止糸切り	長・砂	良好		底面に細砂が付着
19	瀬戸焼・ 美濃焼	折縁Ⅲ	1区 33D13	SE4087	4	10.8	5.0	2.4	暗オリーブ ・灰黄	ロクロナデ 文様付加	ロクロナデ	削り出し 高台	－	良好		被熱　高台内に重ね痕跡 大窯Ⅳ期　16C 末
20	唐津焼	Ⅲ	1区 33E13	SE4151	5	11.2	4.5	3.7	灰オリーブ	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	－	良好		内面から口縁部に施釉 底部内面に胎土目４か所 外面スス・タール付着 16C 末～ 17C 初
21	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	2区 40I7	SE1207	5	－	－	(5.1)	オリーブ灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	長・英・ 雲	良好		Ⅳ１期　14C 前半
22	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	2区 40I18	SE1210	2	25.2	－	(2.9)	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	長・英・ 海・砂	良好		注口部痕跡 Ⅴ期　15C 前半
23	土師質土器	Ⅲ	2区 39J19	SE1404	2	12.6	6.0	2.7	灰白	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 雲・砂	良好	A2c類	内面スス付着
24	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	2区 38H25	SE1982	2	－	－	－	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	長・英・ 砂	良好		Ⅳ１期　14C 前半
25	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	2区 38H25	SE1982	2	－	14.0	－	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ 指頭圧痕	静止糸切り 底部外端 ケズリ	長・英・ 海・砂	良好		卸目９目 Ⅳ１期　14C 前半
26	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	2区 36I9	SE2561	4	22.0	7.8	6.8	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	静止糸切り 底部外端 ケズリ	長・英・ 海・砂	良好		Ⅳ１期　14C 前半
27	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	2区 36J10	SE2562	6	－	13.4	－	オリーブ黒	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	静止糸切り 底部外端 ケズリ	長・英・ 海・砂	良好		Ⅳ２期　14C 後半
28	土師質土器	小Ⅲ	2区 31J14	SE3178	5	7.9	5.8	1.5	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 砂	良好	A2類	
29	土師質土器	小Ⅲ	2区 40I17	SE1205	3	7.0	5.2	1.6	黄褐	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り （右回転）	長・英・ チ・雲	不良	C1a類	胎土に雲母を多量に含む
30	土師質土器	Ⅲ	3区 43J24	SE3508	9	10.7	5.6	2.1	灰白	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 砂	良好	B2類	底部外面にスス付着
31	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	3区 41I15	P2623	1	－	－	－	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	長・英・ 海	良好		Ⅳ１期　14C 前半
32	土師質土器	椀	3区 42I18	SE3704	7	13.4	7.6	3.5	にぶい黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り （右回転）	英・雲	良好		口縁部にスス付着
33	土師質土器	Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	11.4	5.2	2.1	にぶい橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英	良好	B1類	
34	土師質土器	Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	11.4	5.1	2.1	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英	良好	B1類	
35	土師質土器	Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	11.2	4.9	2.0	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英	良好	B1類	
36	土師質土器	Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	11.5	5.5	2.1	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英	良好	B1類	
37	土師質土器	Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	11.4	5.7	2.0	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英	良好	B1類	

土器・陶磁器観察表

凡　例　胎土・・・長＝長石、英＝石英、チ＝チャート、雲＝雲母、海＝海面骨針、砂粒＝砂、白色粒子＝白、黒色粒子＝黒、赤色粒子＝赤

No.	種類	器種	出土地点			大きさ（ｃｍ）			色調	成形技法			胎土	焼成	分類	備考
			グリッド	遺構	層位	口径	底径	器高	外面	内面	外面	底面				
38	土師質土器	Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	11.6	5.4	2.0	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英	良好	B1類	
39	土師質土器	Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	11.6	5.3	1.9	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英	良好	B1類	
40	土師質土器	小Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	9.8	3.6	2.3	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 砂	良好	B1類	
41	土師質土器	小Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	9.9	3.5	2.1	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 砂	良好	B1類	
42	土師質土器	Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	10.0	3.8	2.0	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 砂	良好	B1類	
43	土師質土器	Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	10.0	4.2	1.9	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 砂	良好	B1類	
44	土師質土器	Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	10.0	4.0	2.0	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 砂	良好	B1類	
45	土師質土器	Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	9.9	3.7	2.0	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 砂	良好	B1類	
46	土師質土器	Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	9.8	3.9	2.0	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 砂	良好		
47	土師質土器	Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	10.2	3.6	2.0	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 砂	良好		
48	土師質土器	Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	10.2	4.4	2.1	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 砂	良好		
49	土師質土器	Ⅲ	3区 42J18	SE3764	7	9.8	3.7	2.0	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 砂	良好		
50	土師質土器	Ⅲ	3区 42J16	SE3940	5	10.8		(2.1)	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英	良好	B2類	内面タール状付着物 灯明皿か
51	珠洲焼	甕	3区 42J22	SE4275	3	54.0	－	－	灰	あて具痕 ヨコナデ	タタキ ヨコナデ	－	長・英・ 海・砂	良好		Ⅲ期　13C 後半
52	唐津焼	Ⅲ	1区 35E7	SK647	2	11.5	3.8	3.5	橙	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	－	良好		内面から体部に藁灰釉 底部内面に胎土目４か所 16C 末～ 17C 初
53	唐津焼	Ⅲ	1区 35E3	SK647	2	11.0	4.0	3.4	灰黄	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	白	良好		内面に藁灰釉 底部内面に胎土目２か所 墨書「十」16C末～17C 初
54	瀬戸焼・ 美濃焼	擂鉢・ 片口鉢	1区 35E2	SK647	2	－	－	(6.2)	赤灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	－	良好		内面摩耗 卸目 12 目　107 と同一個体 17C 前半
55	唐津焼	Ⅲ	1区 35E7	SK651	3	11.3	3.4	3.3	にぶい黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	－	良好		内面から口縁部に藁灰釉 底部内面に胎土目４か所 16C 末～ 17C 初
56	唐津焼	Ⅲ	1区 35E6	SK651	2	12.3	4.6	3.4	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	白	良好		内面に藁灰釉 底部内面に胎土目３か所 墨書「十」16C末～17C初
57	唐津焼	Ⅲ	1区 35E7	SK651	3	11.3	4.5	4.0	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	白	良好		内面に藁灰釉 底部内面に胎土目３か所 墨書「十」16C末～17C 初
58	瀬戸焼・ 美濃焼	天目茶椀	1区 35E7	SK651	3		3.4	(1.9)	淡黄	ロクロナデ	ロクロナデ	削り出し 高台	砂	良好	Ⅰ類	底部内面に鉄釉 大窯Ⅳ期　16C 末
59	土師質土器	Ⅲ	1区 36D21	SK981	2	12.0	－	(3.8)	にぶい橙	ヨコナデ	ヨコナデ	－	英・雲・ 砂	不良	A2e類	器面の摩耗が著しい
60	土師質土器	Ⅲ	1区 34F14	SK1128	2	12.4	8.8	3.2	にぶい橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	良好	A1e類	
61	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	1区 34E14	SK1227	2	29.1	－	(6.8)	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	長・英・ 海・砂	良好		Ⅳ１期　14C 前半
62	土師質土器	Ⅲ	2区 40I22	SK1306	－	12.0	－	(3.4)	灰黄褐	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英	良好	A2d類	外面にスス付着
63	土師質土器	小Ⅲ	2区 39G25	SK1359	1	4.8	－	2.3	浅黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ チ	良好	A2類	
64	唐津焼	Ⅲ	1区 33E21	SK4086	2	12.9	4.9	4.2	にぶい橙	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り （右回転） →ナデ	－	良好		内面から口縁部に藁灰釉 底部内面に胎土目５か所 墨書「十」16C末～17C初
65	唐津焼	Ⅲ	1区 33F21・22	SK4086	4	－	3.8	(2.6)	にぶい赤褐	ロクロナデ	ロクロナデ 指頭圧痕	削り出し高台	－	良好		内面から口縁部に藁灰釉 底部内面に胎土目４か所 16C 末～ 17C 初
66	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	1区 33F21・22	SK4086	7	－	10.7	－	オリーブ灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ 指頭圧痕	静止糸切り 底部外端 ケズリ	長・英・ 海・砂	良好		内外面にスス付着 卸目 10 目 Ⅳ１期　14C 前半
67	土師質土器	小Ⅲ	2区 38I2	SK1435	3	8.4	6.2	1.8	黒	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り （右回転）	英・砂	不良	C1a類	被熱
68	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	2区 38I8	SK1760	2	－	－	－	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	英・海・ 砂	良好		Ⅵ期　15C 後半
69	唐津焼	椀	2区 36I18	SK1834	2	－	4.5	－	浅黄	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	白・黒	良好		内面～体部に藁灰釉 高台に砂目３か所 16C 末～ 17C 前半
70	越中瀬戸焼	擂鉢・ 片口鉢	2区 36I18	SK1834	2	－	10.4	－	明赤褐	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ 指頭圧痕	回転糸切り （右回転）	長・英・ 砂	良好		卸目 10 目 内面摩耗顕著　16C 末
71	土師質土器	Ⅲ	2区 39H2	SK1946	2	12.1	6.1	2.3	にぶい黄褐	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	英・雲・ 砂	良好	B1類	口縁部２段ナデ 内外面にスス付着 灯明皿の可能性あり
72	土師質土器	Ⅲ	2区 37K4	SK2030	8	12.2	7.3	3.4	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 雲・砂	良好	A3a類	底部中央に ユビオサエによる凹み
73	青磁	有台椀	2区 37K4	SK2030	8	－	5.3	－	浅黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	削り出し 高台	－	良好	上田 D類？	意図的に打ち欠く 高台内に墨痕　転用硯？ 14C 後半
74	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	2区 34I1	SK2129	1	22.9	－	－	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	長・英	良好		割れ口に漆付着 Ⅳ１期　14C 前半
75	珠洲焼	甕	2区 31J9	SK2973	2	70.0	－	－	灰	あて具痕 ヨコナデ	タタキ ヨコナデ	－	長・英・ 砂	良好		Ⅲ期　13C 後半
76	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	2区 31J9	SK2973	2	－	－	－	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	長・英・ 砂	良好		卸目 11 目 Ⅳ１期　14C 前半

土器・陶磁器観察表

凡　例　胎土・・・長＝長石、英＝石英、チ＝チャート、雲＝雲母、海＝海面骨針、砂粒＝砂、白色粒子＝白、黒色粒子＝黒、赤色粒子＝赤

No.	種類	器種	出土地点			大きさ（ｃｍ）			色調	成形技法			胎土	焼成	分類	備考
			グリッド	遺構	層位	口径	底径	器高	外面	内面	外面	底面				
77	青磁	椀	3区 43K12	SK3259	6	－	4.5	－	灰オリーブ	ロクロナデ	ロクロナデ	削り出し 高台	白・赤	良好	上田 BⅣ類	被熱 15C後半～16C初
78	土師質土器	Ⅲ	3区 42K20	SK3354	7	11.6	8.4	2.9	にぶい橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	ヘラ切り？ ヘラケズリ	英・雲・ 砂	良好	A3a類	内外面にスス付着
79	瀬戸焼・ 美濃焼	小Ⅲ	2区 33J1	SK3447	2	11.2	6.0	2.1	灰白	ロクロナデ 釉剥ぎ	ロクロナデ	削り出し 高台	－	良好		被熱 大窯Ⅳ期　14C後半
80	土師質土器	小Ⅲ	2区 33J1	SK3447	1	8.3	－	(2.0)	にぶい黄褐	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 雲	良好		外面と割れ口にスス付着 被熱　内禿 大窯Ⅳ期
81	土師質土器	Ⅲ	1区 32E7	SD41	3	13.0	11.0	3.3	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・雲・ 砂	不良	A1c類	口縁部2段ナデ 内面スス付着
82	土師質土器	Ⅲ	1区 33E17	SD41	3・4	13.0	9.0	3.1	浅黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・雲・ 砂	不良	A1c類	口縁部2段ナデ 内面スス付着
83	土師質土器	小Ⅲ	1区 34F12	SD41	5	9.4	6.4	2.3	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り （右回転か）	長・雲	不良	C1a類	器面の摩耗著しい 被熱か
84	唐津焼	Ⅲ	1区 33F7	SD41	2	10.5	3.1	2.9	明黄褐	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	－	良好		内外面に藁灰釉 底部内面に胎土目4か所 16C末～17C初
85	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	1区 38G6	SD41	2	29.0	－	(3.2)	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	長・英・ 海	良好		Ⅳ2期　14C後半
86	珠洲焼	壺	1区 32E17	SD41	1	21.0	－	(3.0)	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	－	砂・長	良好		Ⅱ期　13C前半
87	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	1区 33E16	SD41	6	－	16.8	(5.2)	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ 指頭圧痕	静止糸切り 底部外端 ケズリ	英・砂・ 海	良好		内面摩耗 Ⅱ期　13C前半
88	土師質土器	小Ⅲ	1区 38E22	SD111	1・2	8.3	5.9	2.1	浅黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	雲・チ・ 砂	良好	C1a類	
89	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	1区 37F17	SD111	3	37.0	－	(6.0)	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	長・英・ 砂	良好		Ⅳ2期　14C後半
90	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	1区 38F22	SD111	2	23.8	－	(6.5)	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	長・英・ 海	良好		Ⅵ期　15C後半
91	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	1区35D18 1区33E16 1区38F2 1区33F20	SK853 SD41 SD111 SD469	3 6 2 8	－	12.4	(8.4)	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	静止糸切り痕 ケズリ	長・英・ 海・砂	良好		卸目11目 Ⅴ期　15C前半
92	珠洲焼	甕	1区 38F2	SD111	2	－	－	(3.6)	灰	あて具痕 ヨコナデ	タタキ ヨコナデ	－	長・英・ 海	良好		降灰に依る外面の白化
93	珠洲焼	甕	1区 38E11	SD111	2	－	15.0	(6.5)	灰	あて具痕	タタキ 指頭圧痕	砂底 底部外端 ケズリ	長・英・ 砂	良好		Ⅲ期　13C後半
94	珠洲焼	甕	1区 35F17	SD111	2	－	12.0	(7.4)	灰	ロクロナデ	ロクロナデ タタキ 指頭圧痕	砂底 ケズリ	長・英・ 砂	良好		
95	土師質土器	小Ⅲ	1区 36D21	SD281	1	8.1	6.2	2.0	浅黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り？	雲・チ・ 砂	不良	C1a類	口縁部タール付着 灯明皿
96	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	1区 37D21	SD281	2	37.0	－	(3.9)	灰	ロクロナデ→ 口縁部内面 波状文	ロクロナデ	－	英・砂	良好		Ⅳ2～Ⅴ期　14C後半
97	土師質土器	Ⅲ	1区 36E6	SD282	3	12.4	－	(3.7)	灰黄褐	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 雲・砂	良好	A1d類	口縁部2段ナデ 内外面にスス付着 灯明皿
98	唐津焼	擂鉢・ 片口鉢	1区 36E8	SD282	3	26.4	－	(6.1)	にぶい赤褐	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	－	良好		口縁部に鉄釉 17C前半
99	朝鮮雑釉	Ⅲ	1区 37E7	SD283	2	13.8	5.9	2.6	暗褐	ロクロナデ	ロクロナデ	削り出し 高台	－	良好		内面～畳付に釉が掛かる 16C後半
100	珠洲焼	甕	1区 34D12	SD345	2	31.4	－	(8.0)	灰	あて具痕 ヨコナデ	タタキ ヨコナデ	－	英・海・ 砂	良好		Ⅳ2期　14C後半
101	土師質土器	Ⅲ	1区 33E	SD496	－	12.8	4.4	(3.0)	浅黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	英・長・ チ	不良	A2e類	内面スス付着
102	土師質土器	Ⅲ	1区 33E	SD496	－	12.0	(6.2)	(2.7)	にぶい	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	英・長・ 雲・チ	良好	A3a類	
103	土師質土器	Ⅲ	1区 34E11	SD496	2	11.0	5.5	2.6	浅黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り →ナデ	英・雲	良好	C1a類	口縁部2段ナデ
104	土師質土器	Ⅲ	1区 33E	SD496	－	－	－	－	浅黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	英	良好		内面炭化物、 外面スス付着
105	瀬戸焼・ 美濃焼	卸Ⅲ	1区 34E17	SD496	7		6.4	(1.2)	灰白	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	糸切り （右回転）	砂	良好		底部内面中央に使用痕 内面に釉、外面一部に釉 中Ⅳ～後Ⅰ期　14C中～後
106	瀬戸焼・ 美濃焼	折縁深Ⅲ	1区 33E	SD496	7	26.0	－	－	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	－	白・黒	良好		中Ⅲ～Ⅳ期　14C中
107	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	1区 33E20	SD496	8	－	－	－	灰	ロクロナデ	ロクロナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 海・砂	良好		注口部幅は指2本 Ⅳ1期　14C前半
108	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	1区 33E20	SD496	6	20.0		(4.7)	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ 指頭圧痕		英・砂・ 雲・海	良好		注口部痕跡 Ⅳ2期　14C後半
109	珠洲焼	壺	1区 33E15	SD496	8	13.0		(3.4)	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	長・英・ 雲	良好		Ⅳ2期　14C後半
110	珠洲焼	甕	1区 33E18	SD496	6	25.0		(8.9)	灰	あて具痕 ヨコナデ	タタキ ヨコナデ	－	砂・長・ 英	良好		Ⅳ1期　14C前半
111	珠洲焼	甕	1区 34E11	SD496	4・5	57.6	－	(8.0)	灰	あて具痕 ヨコナデ	タタキ ヨコナデ	－	長・英・ 砂	良好		Ⅳ2期　14C後半
112	土師質土器	Ⅲ	2区 39H8	SD1380	－	13.4	6.4	3.0	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	良好	A2d類	
113	土師質土器	Ⅲ	2区 39H1	SD1380	－	13.2	8.0	3.3	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	英・砂	不良	A1d類	口縁部2段ナデ
114	土師質土器	Ⅲ	2区 39H4	SD1380	－	13.0	－	(3.0)	にぶい橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	良好	A1d類	
115	土師質土器	Ⅲ	2区 39H7	SD1380	－	12.5	7.5	3.1	にぶい橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	底部外面中央 指頭圧による 凹み	英・砂	不良	A2d類	

土器・陶磁器観察表

凡　例　胎土・・・長＝長石、英＝石英、チ＝チャート、雲＝雲母、海＝海面骨針、砂粒＝砂、白色粒子＝白、黒色粒子＝黒、赤色粒子＝赤

No.	種類	器種	出土地点			大きさ（ｃｍ）			色調	成形技法			胎土	焼成	分類	備考
			グリッド	遺構	層位	口径	底径	器高	外面	内面	外面	底面				
116	土師質土器	Ⅲ	2区 39H8	SD1380	－	12.4	6.3	3.4	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	底部外面中央 指頭圧による 凹み	英・砂	不良	A1d類	外部に工具痕あり
117	土師質土器	Ⅲ	2区 39G21	SD1380	－	12.4	5.8	3.2	黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	底部外面中央 指頭圧による 凹み	英・砂	不良	A2d類	口縁部２段ナデ
118	土師質土器	Ⅲ	2区 39H7	SD1380	－	12.0	6.8	2.9	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	不良	A1d類	
119	土師質土器	Ⅲ	2区 39H7	SD1380	－	12.0	6.4	(3.1)	にぶい橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	英・砂・ 長	良好	A2d類	内外面にスス付着
120	土師質土器	Ⅲ	2区 39H8	SD1380	－	12.0	6.8	3.3	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	良好	A1d類	口縁部２段ナデ
121	土師質土器	Ⅲ	2区 39H8	SD1380	－	11.8	6.7	3.1	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	底部外面中央 指頭圧による 凹み	砂	不良	A1d類	
122	土師質土器	Ⅲ	2区 39H8	SD1380	－	11.2	6.4	2.5	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ→ 底部外縁 ケズリ 指頭圧痕	－	砂	不良	A3a類	
123	土師質土器	小Ⅲ	2区 39H4	SD1380	－	8.7	5.9	1.8	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	良好		
124	土師質土器	小Ⅲ	2区 39H7	SD1380	－	8.6	6.2	1.6	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	英・砂	良好		
125	土師質土器	小Ⅲ	2区 39H8	SD1380	－	8.4	5.1	2.0	にぶい橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	不良		
126	土師質土器	小Ⅲ	2区 39H8	SD1380	－	8.4	5.0	2.0	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	良好		
127	土師質土器	小Ⅲ	2区 39H	SD1380	－	8.2	5.7	1.6	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	不良		
128	土師質土器	小Ⅲ	2区 39H8	SD1380	－	8.0	5.2	1.6	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	英・砂	良好		
129	土師質土器	小Ⅲ	2区 39H4	SD1380	－	7.7	5.1	1.6	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	不良		
130	土師質土器	小Ⅲ	2区 39H5	SD1380	－	7.6	5.7	1.3	にぶい橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	不良		
131	土師質土器	小Ⅲ	2区 39H4	SD1380	－	7.6	5.4	15.0	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 砂	良好		
132	土師質土器	小Ⅲ	2区 39H7	SD1380	－	7.4	5.1	1.5	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	不良		
133	土師質土器	小Ⅲ	2区 39H7	SD1380	－	7.2	5.0	1.6	橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	―	長・英・ 砂	良好		
134	唐津焼	Ⅲ	2区 39H4	SD1380	－	11.6	－	(1.6)	灰褐	ロクロナデ	ロクロナデ	－	－	良好		内面～口縁部に藁灰釉 胎土目　16C 末
135	土師質土器	Ⅲ	2区 38G23	SD1428	3	12.4		3.3	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・ 雲	良好	A1e類	口縁部スス付着 灯明皿？
136	土師質土器	Ⅲ	2区 38H9	SD1428	3	12.5	9.1	2.8	浅黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	底部外面中央 指頭圧による 凹み	長・英	不良	A1e類	
137	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	2区 38H3	SD1428	－	37.2	－	(5.6)	オリーブ灰	ロクロナデ →卸目 口縁部内面 波状文	ロクロナデ	－	英・海・ 砂	良好		Ⅴ期　15C 前半
138	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	2区 38H4	SD1428	3	32.0	－	(6.0)	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	－	長・英・ 海・砂	良好		Ⅵ期　15C 後半
139	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	2区 38H15	SD1428	－	－	11.3	(4.1)	明オリーブ 灰	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ 指頭圧痕	静止糸切り 底部外端 ケズリ	長・英・ 砂	不良		底部外面にスス付着 内面摩耗 Ⅵ２期　14C 後半
140	珠洲焼	甕	2区 38H3	SD1428	－	－	－	－	灰	あて具痕 ヨコナデ	タタキ ヨコナデ	－	長・英・ 海・砂	良好		Ⅵ２期　14C 後半
141	珠洲焼	甕	2区 38H14	SD1428	－	－	－	－	オリーブ灰	あて具痕 ヨコナデ	タタキ ヨコナデ	－	長・英・ 海・砂	良好		Ⅵ２期　14C 後半
142	瀬戸焼・ 美濃焼	卸目付大皿	2区 38G22	SD1428	7	－	－	(6.5)	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	－	－	良好		体部内面上半から 外面下半に釉 後Ⅱ期 14C 末～ 15C 初
143	土師質土器	Ⅲ	2区 38I3	SD1540	2	14.4	6.4	2.6	浅黄	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英	良好	B1類	口縁部２段ナデ
144	唐津焼	Ⅲ	2区 39I1	SD1540	3	13.2	4.0	3.4	明褐	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	－	良好		内面から口縁部まで施釉 底部内外面に砂目３か所 17C 前半
145	唐津焼	天目茶椀	2区 39I6	SD1540	1･2	－	3.6	－	赤褐	ロクロナデ	ロクロナデ	削り出し 高台	－	良好		高台に胎土目２か所 16C 末～ 17C 前半
146	越中瀬戸焼	丸椀	2区 39I8	SD1540	5	10.6	5.2	2.6	浅黄	ロクロナデ 刻印	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	長	良好		体部内面から外面に施釉 胎土白色 大窯Ⅳ期　16C 末
147	瀬戸焼・ 美濃焼	丸椀	2区 39I8	SD1540	1	10.6	5.2	2.6	浅黄	ロクロナデ 刻印	ロクロナデ ロクロケズリ	削り出し 高台	長	良好		高台付近まで施釉 大窯Ⅳ期　16C 末
148	瀬戸焼・ 美濃焼	大皿	2区 38I5	SD1540	2	－	－	－	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	－	英	良好		見込み露胎 被熱
149	志野焼	菊皿	2区 38I3	SD1540	1･2	12.0	6.0	2.5	灰白	ロクロナデ 文様付加	ロクロナデ	削り出し 高台	－	良好		高台内まで釉 16C 末
150	白磁	Ⅲ	2区 38I10	SD1540	2	10.7	3.4	2.7	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ ヘラケズリ	削り出し 高台	－	良好	森田 D類	高台付近まで釉 高台内「X」のヘラ記号 15C 前半
151	白磁	Ⅲ	2区 38I9	SD1540	1･2	－	3.8	－	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	削り出し 高台	－	良好	森田 D類	高台部付近まで釉 高台内が黒色 15C 前半
152	白磁	Ⅲ	2区 38I3	SD1540	1･2	－	－	(1.6)	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	－	－	良好	森田 D類	高台付近に釉なし 15C 前半
153	珠洲焼	擂鉢・ 片口鉢	2区 38I3	SD1540	1･2	25.0	－	－	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	長・英・ 海	良好		Ⅵ期　15C 後半

土器・陶磁器観察表

凡　例　胎土・・・長＝長石、英＝石英、チ＝チャート、雲＝雲母、海＝海面骨針、砂粒＝砂、白色粒子＝白、黒色粒子＝黒、赤色粒子＝赤

No.	種類	器種	出土地点			大きさ（ｃｍ）			色調	成形技法			胎土	焼成	分類	備考
			グリッド	遺構	層位	口径	底径	器高	外面	内面	外面	底面				
154	珠洲焼	擂鉢・片口鉢	2区 39H22	SD1540	1	(24.8)	－	－	黄灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	長・英・海・砂	良好		Ⅳ2期　14C後半
155	珠洲焼	擂鉢・片口鉢	2区 39I13	SD1540	5	23.4	－	－	灰黄褐	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ		長・英・雲・海	不良		卸目9目　重ね焼き痕 Ⅳ1期　14C前半
156	珠洲焼	甕	2区 39I8	SD1540	5	36.0	－	－	黄灰	あて具痕 →ヨコナデ	タタキ ヨコナデ	－	長・英・海	良好		Ⅲ期　13C後半
157	珠洲焼	甕	2区 38I4	SD1540	2	－	－	－	灰白	あて具痕 ロクロナデ	タタキ ヨコナデ	－	長・英・海・砂	良好		Ⅳ1期　14C前半
158	珠洲焼	壺？	2区 39I8	SD1540	5	－	－	－	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	長・英・雲・海	良好		
159	珠洲焼	甕	2区 39I1	SD1540	3	－	－	－	灰	あて具痕 →ヨコナデ 指頭圧痕	タタキ	－	長・英・海	良好		
160	珠洲焼	甕	2区 39I6	SD1540	1	－	－	－	灰	あて具痕 →ヨコナデ	タタキ	砂底	長・英・海・砂	良好		器面にヘラによるキズ Ⅳ1期　14C前半
161	珠洲焼	壺	2区 38I3	SD1540	1･2	－	6.0	－	黄灰	ロクロナデ	ロクロナデ 指頭圧痕	静止糸切り 底部外端ケズリ	長・英・海・砂	良好		Ⅴ・Ⅵ期
162	土師質土器	小皿	2区 38I8	SD2276	1	6.6	4.5	1.5	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り（右回転）	英・雲・チ	良好	C3a類	内「南無阿弥口・梵字(キリーク)」 外「口妙蓮口」
163	土師質土器	皿	2区 37J24	SD2462	2	12.0	6.0	2.4	灰白	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	良好	A2b類	口縁部2段ナデ 外面スス付着
164	土師質土器	皿	2区 35I3	SD3990	1	12.8	5.4	3.2	灰褐	充具痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・雲・砂	良好	A2c類	底部中央に ユビオサエによる凹み 阿賀北産
165	土師質土器	皿	2区 35I3	SD3990	－	－	5.0	(2.7)	灰白	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・雲・砂	不良	A2c類	底部中央に ユビオサエによる凹み
166	土師質土器	小皿	2区 35I3	SD3990	1	9.0	6.8	1.9	灰褐	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	長・英・砂	良好		阿賀北
167	珠洲焼	甕	2区 35I3	SD3990	1	－	－	(8.2)	褐灰	あて具痕 ヨコナデ	タタキ ヨコナデ	－	長・英・砂	良好		Ⅳ1期　14C前半
168	瀬戸焼・美濃焼	折縁深皿	－	SD3990	1	－	15.9	(5.6)	灰白	ロクロナデ	ロクロナデ ロクロケズリ	砂粒底か	－	良好		内外面に釉 中Ⅲ～Ⅳ期 14C前～中
169	土師質土器	皿	1区 34F25	道路状遺構	3	12.4	－	(2.4)	明赤褐	ヨコナデ	ヨコナデ	－	砂	不良	A2e類	被熱 器面の損傷が著しい
170	土師質土器	皿	1区 33G14	道路状遺構	4	13.2	7.6	(2.5)	にぶい黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	良好	A1a類	口縁部2段ナデ
171	土師質土器	小皿	1区 34F20	道路状遺構	4	－	4.7	(0.9)	褐灰	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り？	雲	不良	C1a類	黒色処理？ 内面炭化物付着
172	唐津焼	椀	1区 34F20	道路状遺構	4	7.4	3.0	3.1	にぶい黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り（右回転）	－	良好		内面から口縁部に藁灰釉 一部高台付近まで掛かる 底部外面に墨痕 17C前半
173	唐津焼	天目茶椀	1区 34F20	道路状遺構	4	11.2	－	－	にぶい黄褐	ロクロナデ	ロクロナデ	－	白・黒	良好		16C末～17C前半
174	瀬戸焼・美濃焼	鉢	1区 33G18	道路状遺構	2	－	－	－	オリーブ黄	ロクロナデ	ロクロナデ	－	－	良好		内外面施釉
175	唐津焼	皿	1区 38G1	道路状遺構	3	－	11.0	(5.1)	褐	ロクロナデ	ロクロナデ	削り出し高台	－	良好		底部内外面に胎土目1か所 内面に鉄絵 16C末～17C初
176	唐津焼	壺	1区 34F20	道路状遺構	4	－	－	－	黒褐	あて具痕	ロクロナデ	－	－	良好		17C前半
177	珠洲焼	擂鉢・片口鉢	－	道路状遺構	4	－	7.2	－	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ 指頭圧	静止糸切り 底部外端ケズリ	長・英	良好		Ⅴ期　15C前半
178	唐津焼	皿	1区 37E11～20	SX300	3	11.4	4.9	2.9	灰オリーブ	ロクロナデ	ロクロナデ	削り出し高台	－	良好		内面～体部半ばに藁灰釉 底部内面に砂目2ヵ所 17C前半
179	信楽焼	壺	1区 30H13	P61	1	－	－	(5.2)	橙	ロクロナデ	ロクロナデ	－	英	良好		被熱　15C後半
180	土師質土器	皿	1区 30H14	P81	4	14.8	－	(3.5)	黄褐	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・砂	良好	A2c類	口縁部2段ナデ 内外面スス付着
181	朝鮮雑釉	皿	1区 38F6	P136	3	11.6	4.0	3.2	灰黄褐	ロクロナデ	ロクロナデ	削り出し高台	－	良好		被熱 底部内面砂目3か所 高台著しく摩耗 15C後半
182	瀬戸焼・美濃焼	天目茶椀	1区 34D21	P407	1	－	－	－	黒	ロクロナデ	ロクロナデ	－	－	良好		No.178と同一個体 大窯後Ⅲ期　15C前半
183	土師質土器	皿	1区 34E25	P1396	1	13.2	7.0	3.4	灰黄褐	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英	良好	A1b類	内外面にスス付着 口縁部2段ナデ
184	珠洲焼	擂鉢・片口鉢	1区 35D23	P2804	1	32.0	－	(10.9)	灰	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	長・英・海・砂	良好		卸目10目 Ⅳ1期　14C前半
185	瀬戸焼・美濃焼	天目茶椀	1区 32D16	P2809	1	－	－	－	黒	ロクロナデ	ロクロナデ	－	－	良好		No.179と同一個体 大窯後Ⅲ期　18C前半
186	珠洲焼	甕	2区 38H11	P1570	1･2	－	16.8	(3.6)	灰	ロクロナデ	指頭圧痕 タタキ	砂底 ケズリ	英・砂	良好		内面にススや油煙が付着 内面摩耗か
187	土師質土器	皿	1区 32E25	P3221	1	12.2	－	(2.4)	黒褐	ヨコナデ	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長・英・雲	良好	A2b類	口縁部2段ナデ 内外面スス付着
188	土師質土器	小皿	3区 44K2	P3033	1	9.4	－	(2.0)	黒	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	英	良好	B1類	内外面黒色処理？
189	土師質土器	小皿	3区 44K2	P3033	4	9.0	2.9	1.9	灰白	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	砂	良好	B1類	内面ススかタール付着 灯明皿
190	土師質土器	小皿	3区 43K2	P3340 P3379	1	9.0	3.0	1.9	浅黄橙	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	長	良好	B1類	口縁部内面にスス付着 灯明皿
191	瀬戸焼・美濃焼	花瓶	2区 36H23	P3995	1	－	3.6	(6.2)	灰	－	ロクロナデ	糸切り（右回転）	－	良好		被熱？　中Ⅰ期 13C末～14C初
192	珠洲焼	擂鉢・片口鉢	1区 34F2	SK4210	1	23.7	12.6	10.8	緑灰	ロクロナデ	ロクロナデ 指頭圧痕	静止糸切り 底部外端ケズリ	長・英・海・砂	良好		注口部の幅は指1本分 Ⅲ期　13C後半
193	珠洲焼	擂鉢・片口鉢	－	SD4193	－	28.2	－	(4.2)	灰白	ロクロナデ →卸目	ロクロナデ	－	英	不良		卸目8か12目 実測No.53と同一個体 Ⅳ2期　14C後半

土器・陶磁器観察表

凡　例　胎土・・・長＝長石、英＝石英、チ＝チャート、雲＝雲母、海＝海面骨針、砂粒＝砂、白色粒子＝白、黒色粒子＝黒、赤色粒子＝赤

No.	種類	器種	出土地点			大きさ（ｃｍ）			色調	成形技法			胎土	焼成	分類	備考
			グリッド	遺構	層位	口径	底径	器高	外面	内面	外面	底面				
194	珠洲焼	擂鉢・片口鉢	－	SD4193	－	36.0	－	(4.8)	灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	長・英・海	良好		Ⅳ2期　14C後半
195	珠洲焼	擂鉢・片口鉢	－	SD4193	3	32.0	－	(4.4)	灰白	ロクロナデ→卸目	ロクロナデ	－	英	不良		卸目8か12目 実測№52と同一個体 Ⅳ2期　14C後半
196	青磁	椀	1区 37E15	－	Ⅱ	13.0	－	(2.4)	オリーブ灰	ロクロナデ	ロクロナデ	－	－	良好		口縁部玉縁状 龍泉窯系 14C後半
197	唐津焼	擂鉢・片口鉢	1区 35D20	－	Ⅱ	－	－	－	灰	ロクロナデ→卸目	ロクロナデ	－	長・英・黒・礫	良好		内面摩耗 卸目12目 17C前半
283	土製品	羽口	1区 33F21・22	SK4086	4	－	－	－	灰白			－	砂	良好		鉄滓付着
284	土師質土器	土錘	1区 33F21・22	SK4086	8	4.6	－	5.0	にぶい黄橙	ナデ	指頭圧痕	－	長・英・砂	良好		

石器・石製品観察表

No.	器種	出土地点				大きさ				石材	遺存状況	備考
		地区	グリッド	遺構	層位	器長(cm)	器幅(cm)	器厚(cm)	重量(g)			
198	砥石	2区	32J8	P3417	1	10.1	3.3	2.4	90	凝灰岩	上部欠	使用面表裏左右
199	砥石	1区	37F6	SE534	1	(5.3)	2.7	1.6	50	凝灰岩	上部欠	使用面表裏左右ほぼ全面
200	砥石	1区	37F3	SE687	5	6.4	3.0	2.3	55	凝灰岩	上・下部欠	使用面表裏左右ほぼ全面
201	砥石	1区	34E17	SE1160	－	9.6	4.7	3.9	145	凝灰岩	片側欠	使用面表裏左面ほぼ全面 右面一部使用痕
202	砥石	2区	39I5	SE1212	2	5.4	3.8	2.2	45	凝灰岩	上部欠	使用面表裏左右ほぼ全面
203	砥石	2区	37H16	SE2281	8	14.2	4.5	4.0	655	凝灰岩	上・下部欠	使用面表裏左右ほぼ全面
204	砥石	3区	41I15	SE3623	6	6.9	4.0	1.4	55	凝灰岩	上・下部欠	使用面表裏左右ほぼ全面
205	砥石	1区	33E17	SD41	4	10.2	3.2	2.9	155	凝灰岩	上・下部欠	使用面表裏全面、左右面
206	砥石	1区	34D12	SD345	3	6.6	5.6	4.1	250	砂岩	上・下部欠	使用面表裏左右ほぼ全面
207	砥石	1区	37F6	P520	5	8.4	3.1	2.0	85	凝灰岩	上部欠	使用面表裏左右ほぼ全面
208	砥石	2区	32J22	－	Ⅲ	8.5	5.4	2.1	105	凝灰岩	上・下部欠	
209	砥石	1区	37E22	－	Ⅱ	5.1	3.9	3.4	110	凝灰岩	上・下部欠	
210	磨製石斧	1区	35F17	SE860	4	7.4	4.9	1.4	105	蛇紋岩	上部欠	使用面表裏左右ほぼ全面
211	石皿？	3区	43J20	SE3260	6	－	－	－	945	凝灰岩	上・下部欠	
212	臼	3区	41I15	SE3623	－	－	－	9.9	4460	安山岩	大部分欠	使用面裏
213	臼	2区	36I18	SK1834	3・4	29.9	29.6	8.6	9050	安山岩	－	使用面裏
214	臼	2区	38G23	SD1428	5	－	－	－	520	花崗岩	大部分欠	使用面裏
215	臼	2区	39H21	SD1540	2	－	－	7.5	1150	安山岩	大部分欠	使用面裏
216	石臼？	3区	45K21	－	Ⅱ	－	－	(4.6)	165	砂岩	下部欠	

木製品観察表

No.	器種	出土地点			法量（ｃｍ）			木取り	樹種	備考
		グリッド	遺構	層位	長さ・口径	幅・底径	厚さ・器高			
217	柱根	37F15	P253	1	67.0	19.2	16.0	心持丸木	クリ	
218	柱根	37F9	P321	1	38.2	5.8	5.7	心持丸木	クリ	
219	柱根	37E3	P361	1	38.2	13.2	11.7	心持丸木	アスナロ	
220	柱根	36D21	P509	3	46.8	12.6	11.1	分割角材	スギ	
221	柱根	34D21	P351	1	54.9	18.6	14.8	心持丸木	コナラ属 コナラⅡ属 コナラ節	
222	柱根	36F14	P555	2	66.4	13.4	12.8	心持丸木	クリ	
223	柱根	35E8	P660	1	66.1	15.6	13.4	分割材	アスナロ	
224	柱根	37F5	P752	2	34.4	15.1	10.3	心持丸木	クリ	
225	柱根	35F22	P912	2	36.3	13.5	9.5	半截状	クリ	
226	柱根	39I13	P1449	1	49.0	19.9	17.8	心持丸木	クリ	
227	柱根	39J8	P2263	1	25.2	13.7	11.2	分割角材	ブナ属	
228	柱根	31J7	P2946	1	43.8	7.7	7.7	心持丸木	クリ	
229	柱根	43K 20・25	P3097	3	67.5	14.2	12.8	心持丸木	クリ	
230	柱根	32J8・13	P3428	2	50.8	14.5	10.9	心持丸木	クリ	
231	柱根	33D23	P4164	1	59.4	17.0	14.1	心持丸木	クリ	
232	漆器椀	37F12	SE383	5	－	5.6	(3.0)			内：赤　外：黒
233	漆器椀	37H16	SE2281	8	14.0	7.9	(6.0)			高台欠
234	漆器椀	37J11	SE2526	4	－	(9.0)	(3.5)			内：赤　外：黒
235	漆器椀	45J21	SE3261	7	14.7	7.0	6.0	横木地柾目	ブナ属	内外面：黒
236	漆器椀	42I8	SE3719	9	－	8.5	(6.7)	横木地柾目	ハリギリ	内：赤　外：黒　底外面に印
237	漆器椀	33E18	SE4151	1	－	5.8	(4.3)			内：赤　外：黒
238	漆器椀	－	－	Ⅲ	12.3	6.4	5.0			内：赤　外：黒
239	漆器椀	33F3	暗渠	－	11.0	5.3	4.0			内外面：赤　高台内：黒　底外面に印

木製品観察表

No.	器種	出土地点			法量（ｃｍ）			木取り	樹種	備考
		グリッド	遺構	層位	長さ・口径	幅・底径	厚さ・器高			
240	盤	38H16	SE1563	7	器径：29.2	27.6	器高：1.7	柾目	ブナ属	
241	盤	45J21	SE3261	7	30.2	(15.2)	5.5	柾目	ブナ属	
242	箸	35E17	SE783	最下層	23.3	0.6	0.6	分割角棒	スギ	
243	箸	37K4	SK2030	7	19.7	－	0.6	分割棒状	スギ	
244	杓子	32J11	SE3900	5	24.5	6.8	0.8	柾目	スギ	
245	曲物底板	32F20	SE267	4	33.2	7.8	1.4			
246	曲物底板	35F9	SE866	6	9.9	6.1	0.7			
247	円形板	40I	SE1207	5	21.9	15.9	1.2	柾目	スギ	
248	曲物底板	38H16	SE1563	7	－	16.0	0.5			
249	曲物底板	37I14	SE2007	5	19.7	10.1	1.0	柾目	スギ	
250	曲物底板	37H16	SE2281	5	20.7	9.5	0.6			
251	曲物底板	37H16	SE2281	8	31.7	8.6	2.0	板目～柾目	マツ属 複維管束 亜属	
252	曲物	37H16	SE2281	8	18.4	－	厚さ：0.2 器高：15.0	側板(外側)：柾目	アスナロ	
								側板(内側)：板目	アスナロ	
								底板：柾目	アスナロ	
253	円形板	31J7	SE2984	3	20.3	20.5	0.8	柾目	スギ	
254	底板	32J11	SE3900	5	19.3	18.8	0.8	柾目	スギ	
255	底板	33E5	SE4067	8	25.1	12.6	1.3	柾目	スギ	
256	底板	33D13	SK4087	4	20.9	7.2	0.9	柾目	スギ	
257	曲物(柄杓)	35E17	SE783	5	16.0	幅：16.0 底径：15.0	厚さ：0.3 器高：10.1	側板：柾目	スギ	
								底板：柾目	スギ	
258	曲物(柄杓)	38H6	SE1518	6	10.0	8.0	厚さ：0.2 器高：8.9	側板：柾目	スギ	
259	柄(尖棒状)	38H6	SE1518	6	56.5	1.6	1.0	削出棒	スギ	
260	曲物(柄杓)	33E18	SD41	2	9.6	9.0	厚さ：0.2 器高：9.2	側板：柾目	スギ	
								底板：柾目	スギ	
261	独楽	38H21	SE1568	6	－	4.2	4.4	心持丸木	クリ	独楽？栓？
262	Ｙ字状 木製品	38H21	SE1568	6	－	－	厚さ：2.7 器高：8.7			焦げてスス化
263	板棒状	37H16	SE2281	8	31.6	3.0	1.0	板目	スギ	
264	卒塔婆	－	SD4193	4	19.1	8.8	0.9	板目	スギ	
265	下駄	32F22	SK4086	9	19.5	10.3	5.9	台面：追柾	スギ	
266	下駄	32F22	SK4086	9	20.9	10.2	5.7	台面：柾目	スギ	
267	下駄	33D13	SK4087	4	21.3	9.2	1.3	台面：柾目		
268	下駄	33E22	SD41	4	(18.1)	8.1	1.2	台面：柾目		
269	下駄	33E18	SD41	2	19.8	10.3	7.1	台面：柾目		
270	鍬	38H25	SE1982	3	77.5	22.3 11.7	鍬：2.6	身：柾目	ブナ属	
							柄：4.2	柄：削出棒	ブナ属	
271	鋤	42I8	SE3719	9	60.8	16.0	2.8	心持材	エノキ属	
272	農具	33E5	SE4067	7	61.5	5.9	3.7	身：板目	クリ	
								柄：削出丸棒	クリ	
273	農具	32J1	P3119	1	64.5	8.3	7.5			
274	四角板	32F19	SE272	4	14.6	14.3	0.9	柾目	スギ	
275	木製品	36E12	SE777	7	125.0	10.6	1.9	板目板	スギ	
276		35F9	SE832	7	34.9	7.2	1.2			
277	板	40I	SE1207	5	36.7	8.0	0.7	柾目	スギ	
278	板材	38H16	SE1563	7	34.8	12.4	1.5	柾目	スギ	
279	部材	42I18	SE3704	7	28.9	7.5	1.6	柾目板	スギ	
280	木製品	33F7	SD41	2	32.5	6.1	0.8	柾目	スギ	
281	紡錘車？	37E	SX300	2	7.3	6.7	0.7	柾目	アスナロ	
282	杭	34G16	SD4182	－	57.2	6.1	3.8			

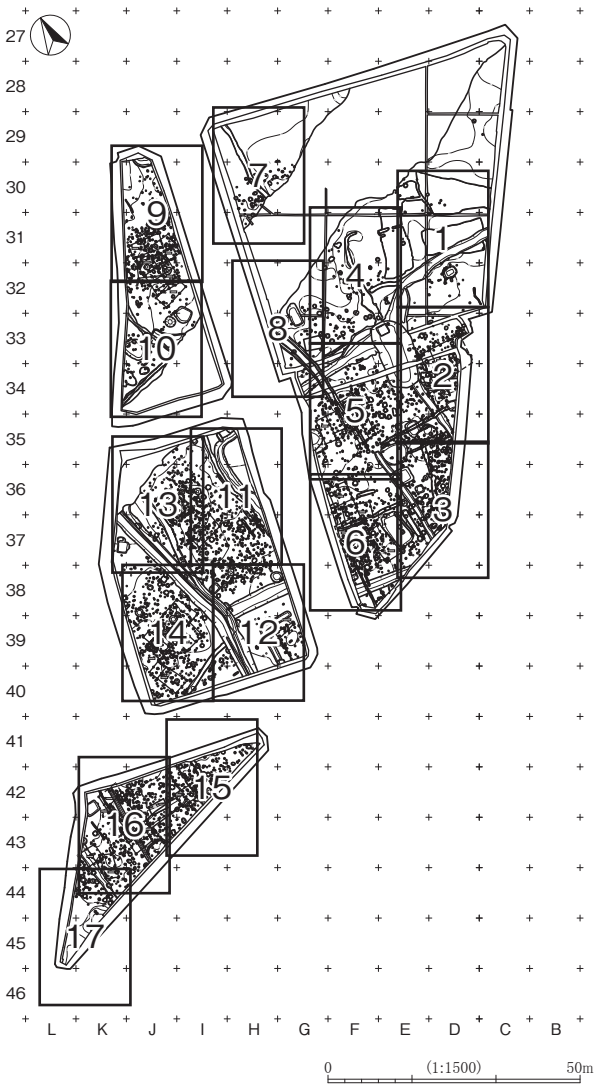
金属製品観察表

No.	器種	出土地点			大きさ				備考
		グリッド	遺構	層位	長さ(cm)	幅(cm)	器高(cm)	重量(g)	
285	鉄鍋	1区　32G5	SE179	1	(6.9)	(3.7)	(2.3)		鉄鍋脚部

銭貨観察表

No.	銭種	出土地点			大きさ				王朝	初鋳年(西暦)	備考
		グリッド	遺構	層位	外径(mm)	穿径(mm)	輪厚(mm)	重量(g)			
286	熙寧元寳	3区　44K7	SE3507	6	24.04	6.21	1.42	2.08	北宋	1068	真書
287	熙寧元寳	2区　38I23	SK1809	2	23.80	6.44	1.28	1.59	北宋	1068	真書。背濶縁。背左上月文？
288	景德元寳	2区　38I23	SK1809	2	24.32	5.84	1.38	2.64	北宋	1004	
289	祥符元寳	2区　39H25	SK1946	2	22.72	6.22	1.04	(1.24)	北宋	1009	
290	永樂通寳	2区　39H25	SK1946	2	25.12	5.56	1.26	(2.50)	明	1408	
291	皇宋通寳	2区　31J4	SE3150	6	24.56	6.30	1.01	3.29	北宋	1038	真書

図　　版



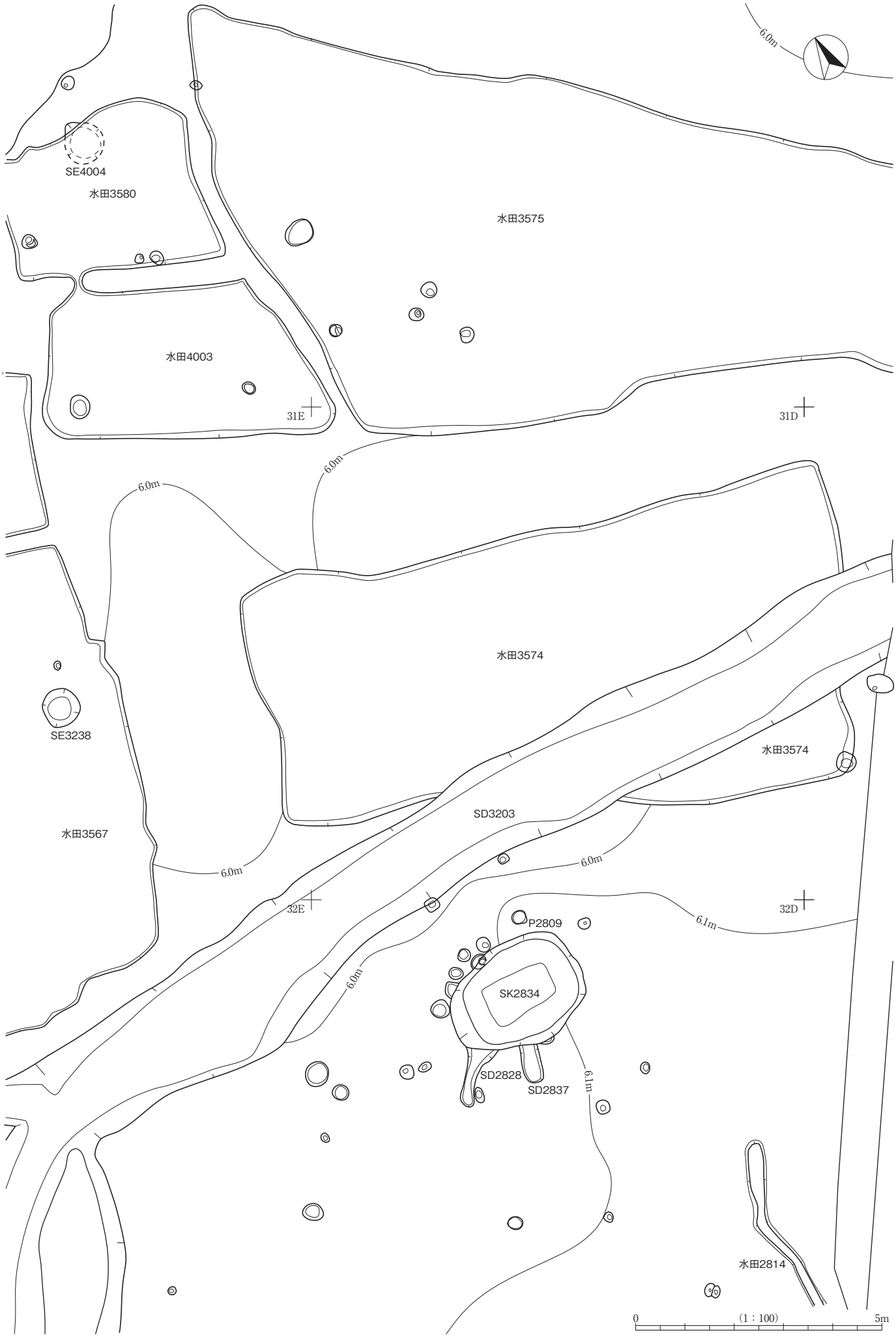
遺構平面図分割模式図

柏崎市街図　其10（平成8年10月　柏崎市作成）を改変

1・2区全体図1

30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
L
K
J
I
H
G
F
0
(1：400)
20m

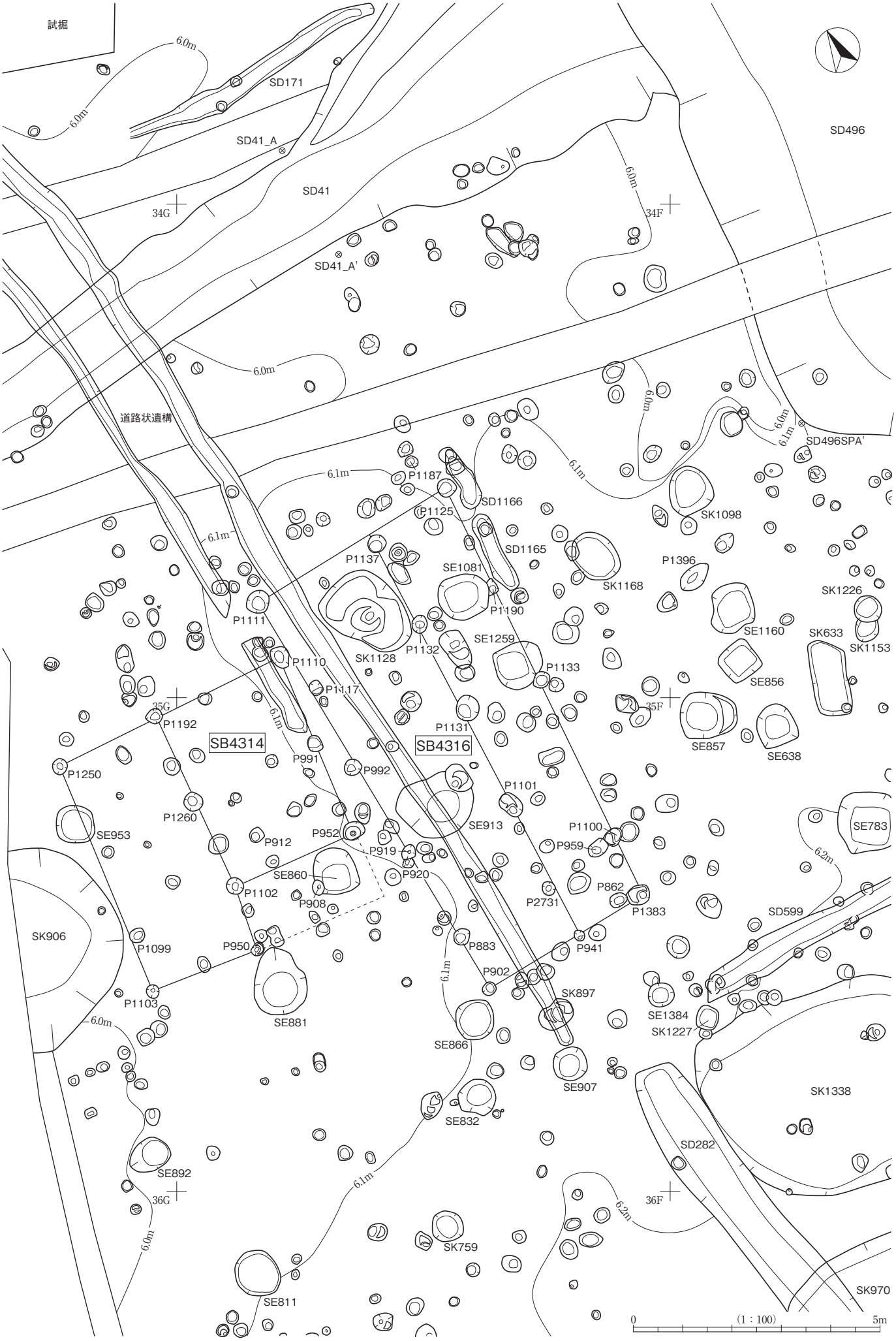
2・3区全体図

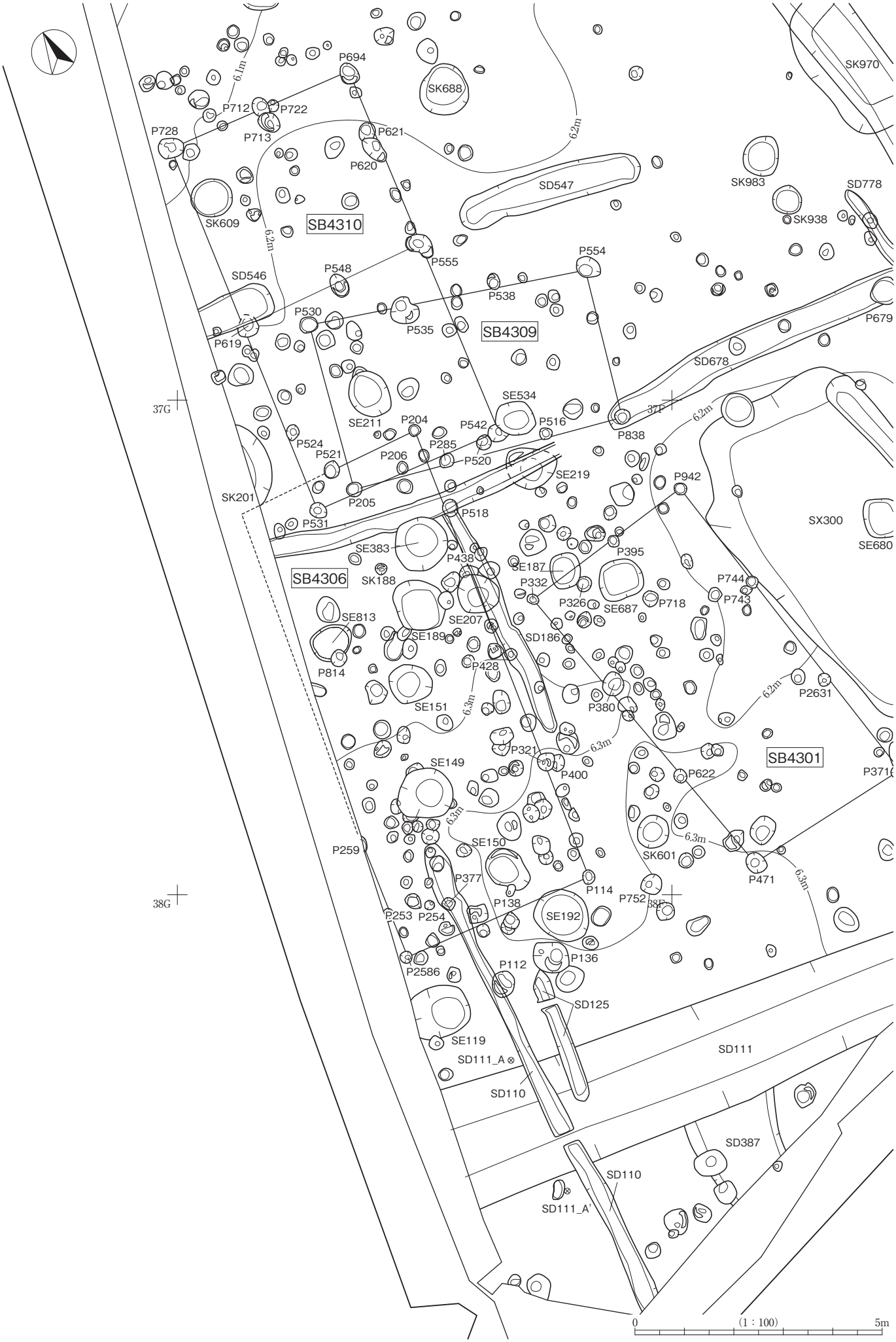

6.0m
SE4004
水田3580
水田3575
水田4003
31E
31D
6.0m
6.0m
水田3574
SE3238
水田3574
SD3203
水田3567
6.0m
6.0m
32E
32D
6.1m
P2809
6.0m
SK2834
SD2828
SD2837
6.1m
水田2814
0
(1：100)
5m

6.1m
33E
33D
SK4160
SK4055
P4176
P4052
SE4048
P4053
SE4067
SK4068
P4164
P4059
P4061
SK4087
P4063
SE4154
P4085
P4084
SE4151
P4079
P4078
SD496
SK494
SB4325
SK2801
SE353
34E
34D
P351
P352
SK357
SE346
P500
P358
P403
P407
SD345_A'
P2774
SK348
P405
P356
P495
SD345
P419
SD496SPA
SK412
SK350
SD345_A
P600
P481
SK596
P486
P2762
P491
SB4326
P484
6.2m
P595
P859
SK581
SK1226
SK1153
35E
35D
SD786
SD599
SE852
SE783
SK654
SK647
SE795
SK2644
SE855
SE854
SK853
P660
6.3m
SK656
0
(1：100)
5m

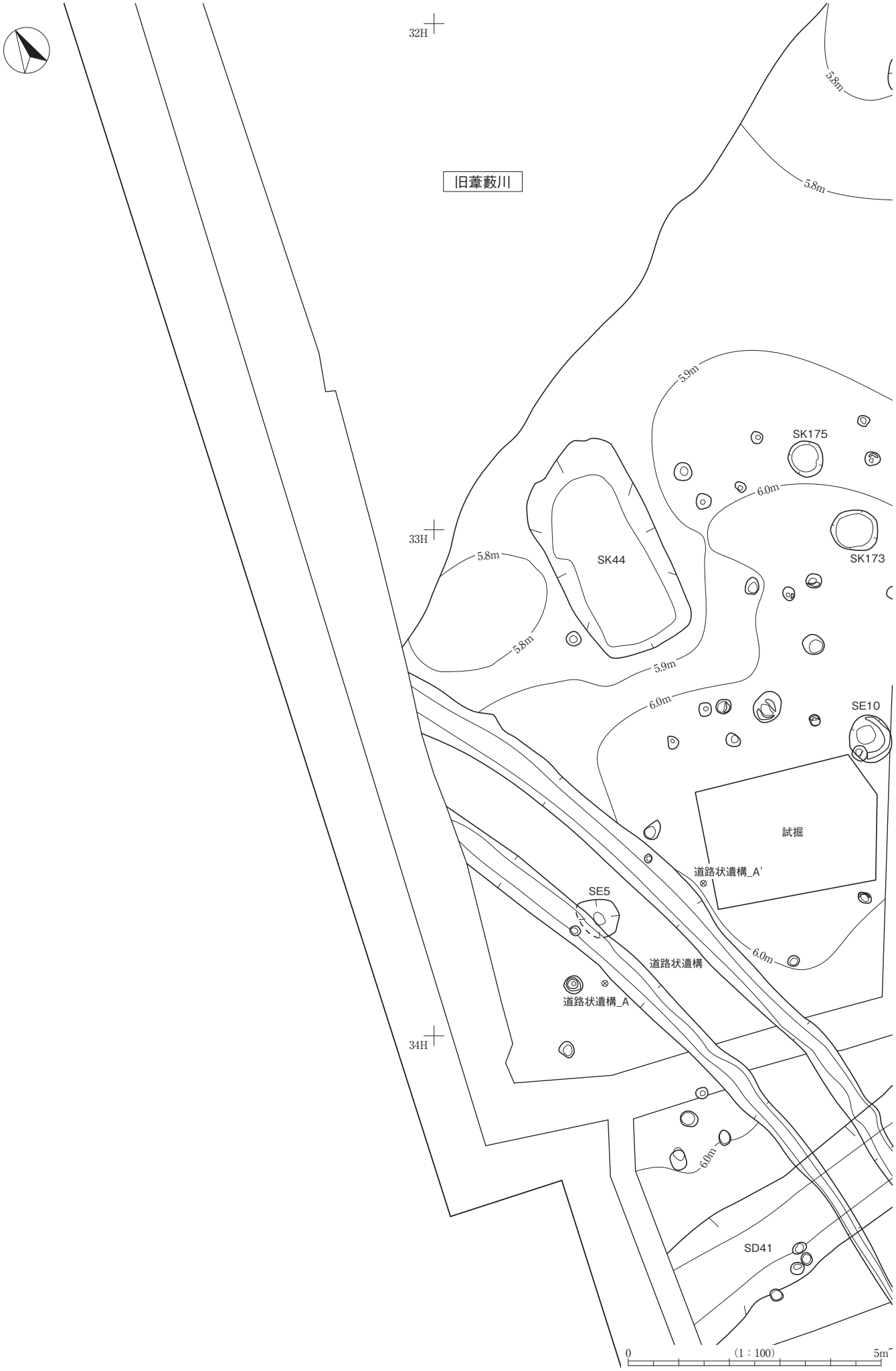
SK1338
SD1225
SD774
SK653
SK656
SK1144
P800
SK853
SE1042
SK1058
SE1045
SK1143
SK1159
SE771
6.3m
36E
SK981
SK2666
36D
P509
SE765
SK970
SE670
SE936
SK780
P2622
P2623
SE665
SD778
SK269
SE773
SK293
SD281
SK2676
P679
SE777
SE297
SE575
SE570
SK299
SD282
SE294
SK295
SE666
SD281_A'
37E
37D
SK478
SD281_A
6.2m
SK320
SD282_B
SD283
SK291
SD282_B'
SD283_C
SK2609
SE680
SD258
SE611
SE290
SK2612
SX300
SD283_C'
P443
SE284
SK365
P361
P371
SK367
SK364
38E
38D
SD111
0
(1：100)
5m

31G
31F
水田3567
旧葦藪川
5.9m
SD3568
5.9m
SK225
5.9m
水田3567
SE3218
SK50
32G
32F
5.9m
5.8m
SE58
SE55
SE53
5.8m
5.8m
6.0m
SE60
SE56
SK264
SD3204
5.9m
SE227
SD263
6.0m
P3220
P3221
SD3203
5.9m
SK175
6.0m
SE272
SE267
33G
SK173
SK3231
SE3224
6.0m
6.0m
33F
SE169
SE177
SK4086
SE10
SE13
SE26
SD496
試掘
SE17
SD41
0
(1：100)
5m

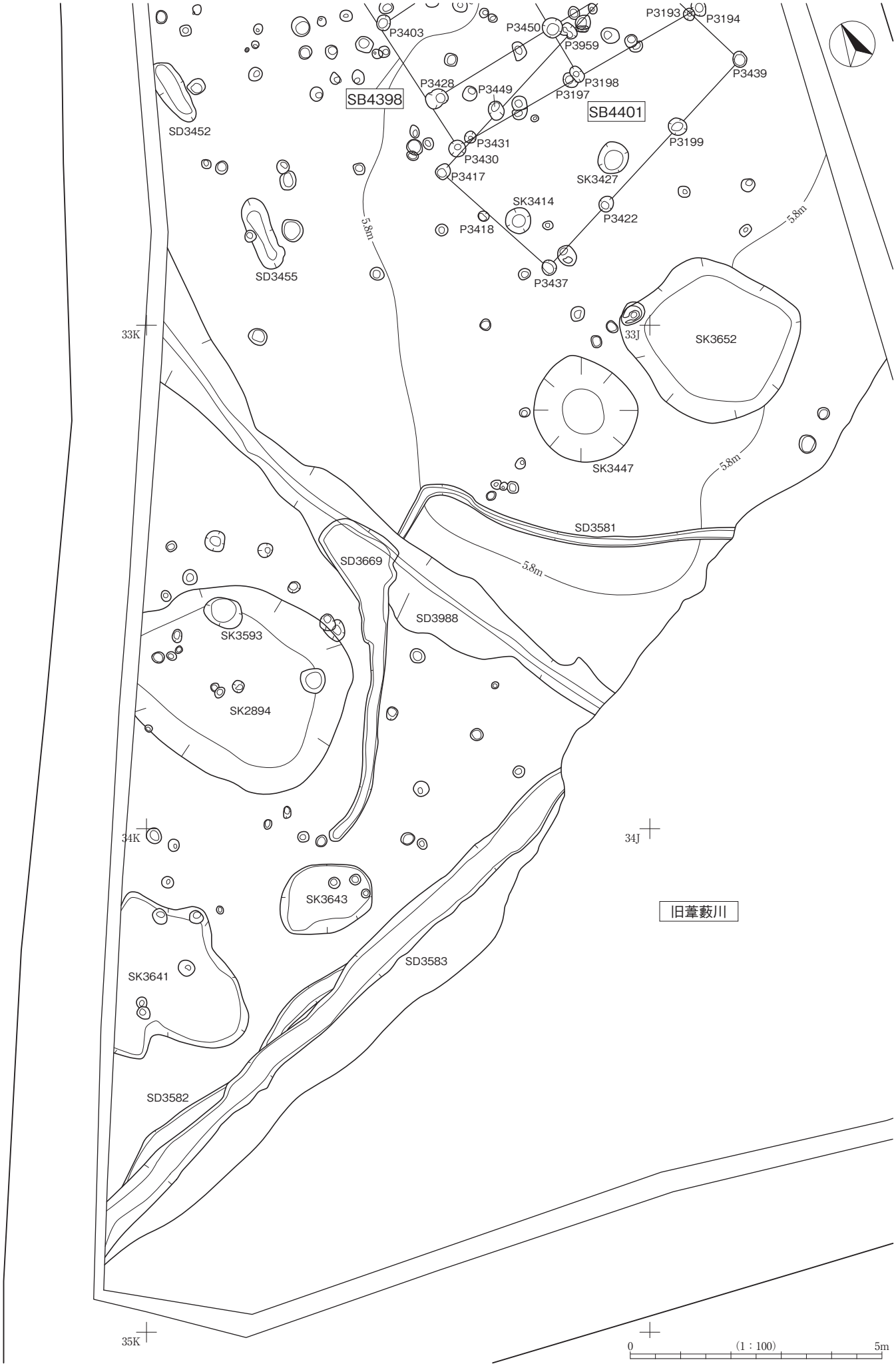

試掘
6.0m
SD171
SD41_A
SD41
SD41_A'
34G
34F
SD496
道路状遺構
6.1m
SD496SPA'
P1187
SD1166
P1125
SK1098
SD1165
P1137
SE1081
SK1168
P1396
SK1226
P1190
P1111
SE1160
SK633
SK1153
SE1259
P1132
SK1128
P1110
P1133
SE856
P1117
35G
35F
P1192
P1131
SB4314
SB4316
SE857
SE638
P991
P992
P1250
P1101
P1260
SE913
P1100
SE783
SE953
P952
P912
P959
P919
6.2m
SE860
P920
P862
P1102
P2731
P908
P1383
SD599
SK906
P1099
P950
P883
P941
P902
P1103
SK897
SE1384
SE881
SK1227
SE866
SE907
SK1338
SE832
SD282
SE892
36G
36F
SK759
SK970
SE811
0
(1：100)
5m

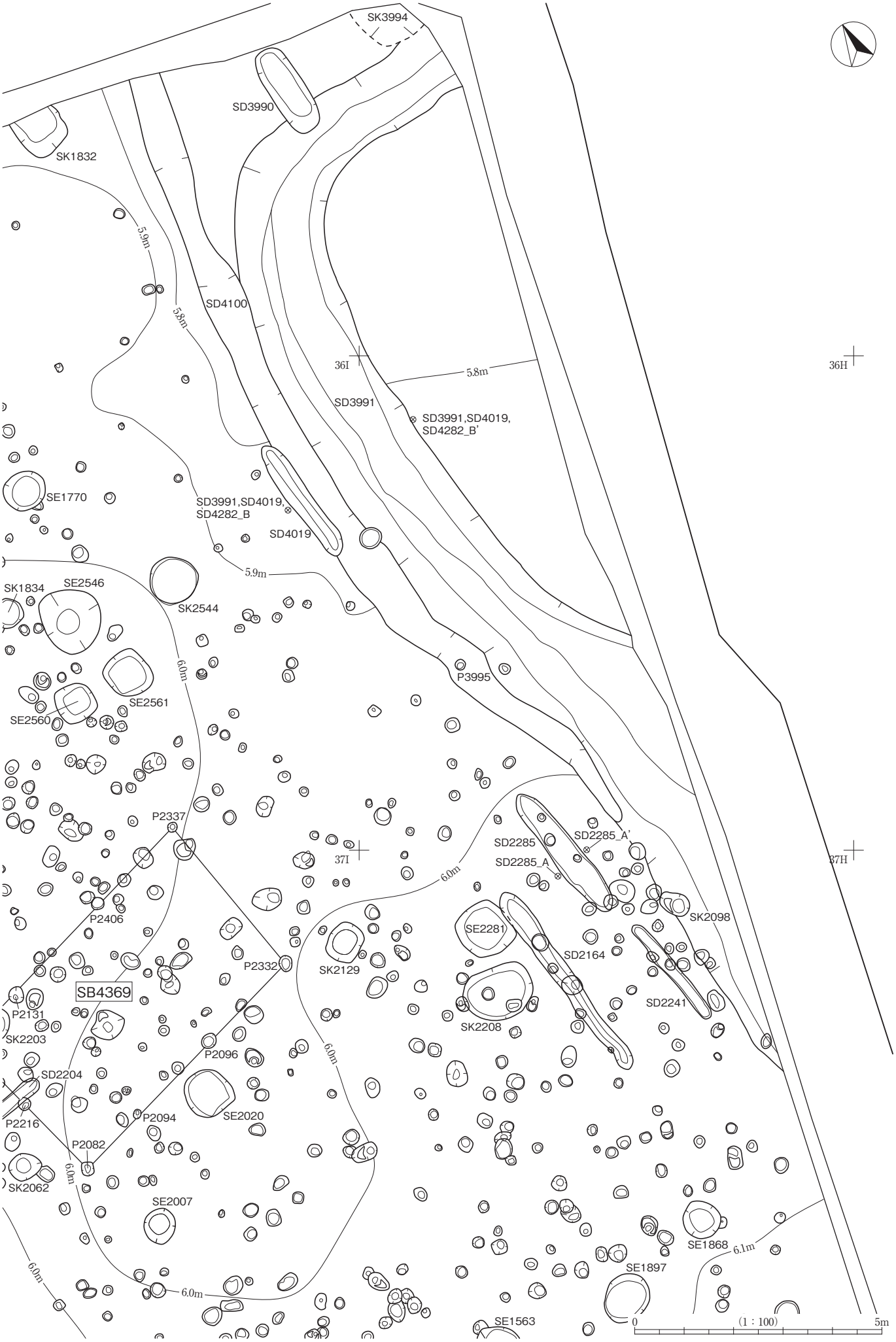

SB4310
SB4309
SB4306
SB4301
SK688
SK970
SK983
SK938
SD778
SD547
SK609
SD546
SD678
P679
P694
P712
P722
P713
P728
P621
P620
P555
P554
P548
P538
P530
P535
P619
SE534
SE211
P204
P542
P516
P838
P524
P521
P206
P285
P520
SE219
P942
SK201
P205
P531
P518
SX300
SE680
SE383
P438
P395
SE187
SK188
P332
P744
P743
P326
SE687
P718
SE813
SE207
SE189
SD186
P814
P428
P2631
SE151
P380
P321
P400
P622
SE149
P371
SK601
P471
P259
SE150
P377
P114
P752
P138
SE192
P253
P254
P136
P2586
P112
SD125
SE119
SD111_A
SD111
SD110
SD387
SD111_A'
37G
38G
6.1m
6.2m
6.3m
0
(1：100)
5m

29I
29H
5.9m
5.9m
5.8m
SD64
30I
30H
SE3207
5.8m
5.9m
SE3208
5.8m
P61
5.9m
P81
SE104
5.9m
旧葦藪川
31I
31H
SE99
5.8m
0
(1：100)
5m

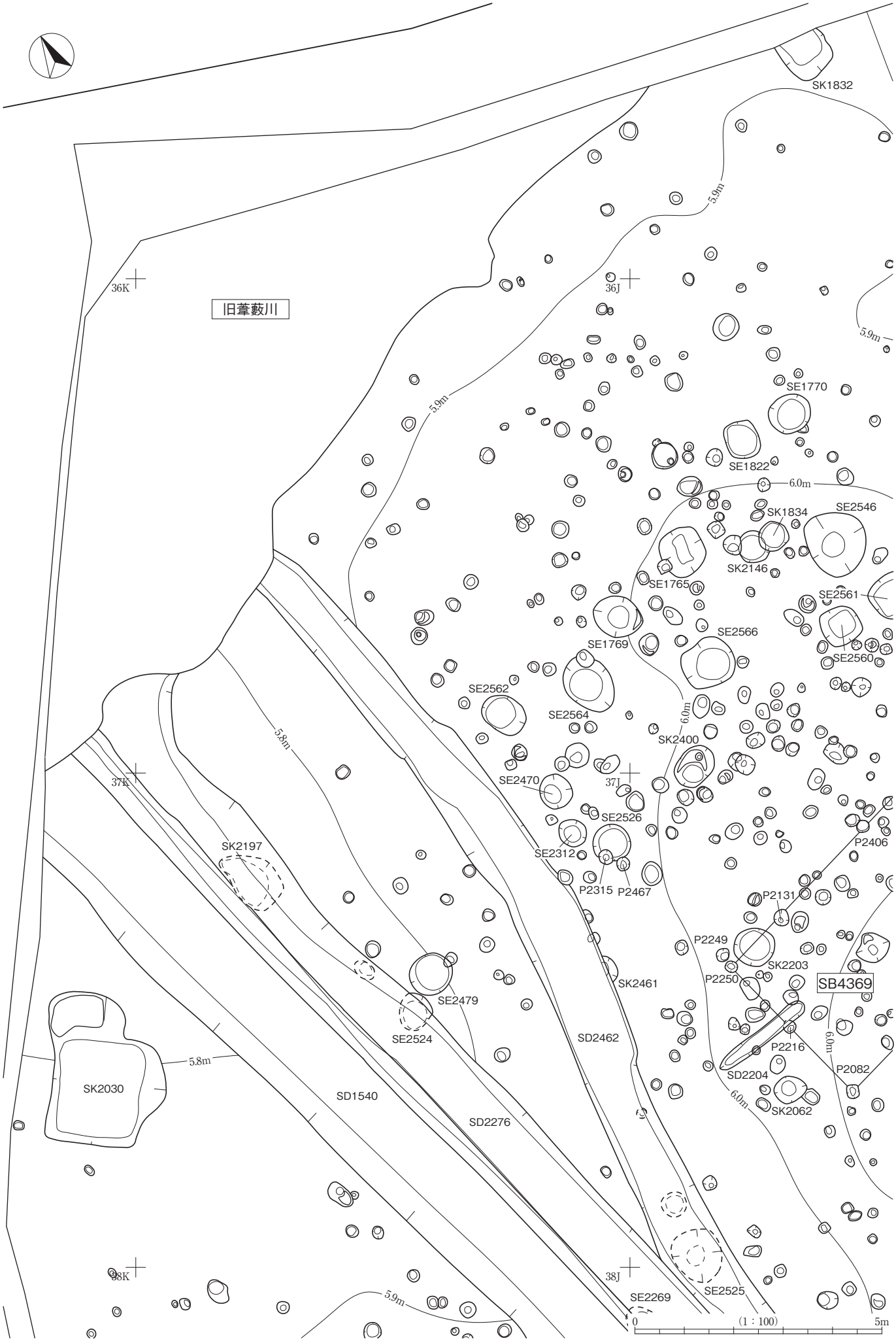

32H
33H
34H
旧葦藪川
5.8m
5.9m
6.0m
SK175
SK173
SK44
SE10
試掘
道路状遺構_A'
SE5
道路状遺構
道路状遺構_A
SD41
0
(1：100)
5m

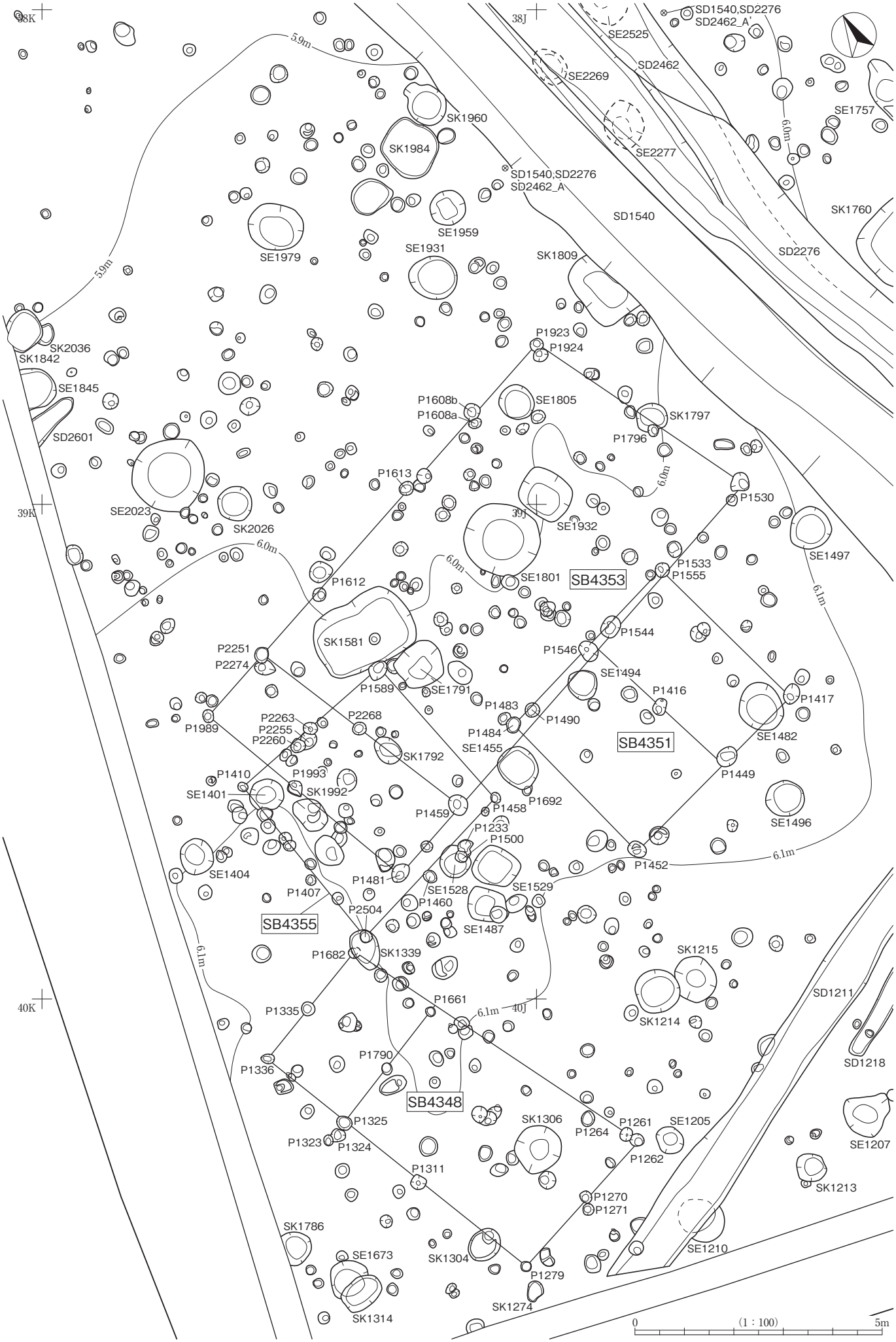
30K
30J
SK3102
5.6m
5.7m
5.7m
SD3664
SE2957
31K
31J
5.8m
SE2911
P2946
P3103
P2968
P2953
P2972
P2960
P3144
P3145
P2974
SE2984
P3200
P3872
P3781
SB4396
SK2973
P2980
SE3150
5.8m
P3155
P3190
SD2998
SE3178
P3104
SB4397
P2985
P3410
P3789
SE3128
P3159
P3879
SE3180
P3788
P3946
P2891
P3124
P3141
32K
SB4399
P3176
32J
P3137
P3126
SK3895
P3119
P3863
SE3900
P3132
SK3175
SK3894
P3184
SE3446
5.8m
P3890
P3891
P3405
SB4398
P3948
P3185
P3165
P3177
P3892
SD3453
P3885
0
(1：100)
5m

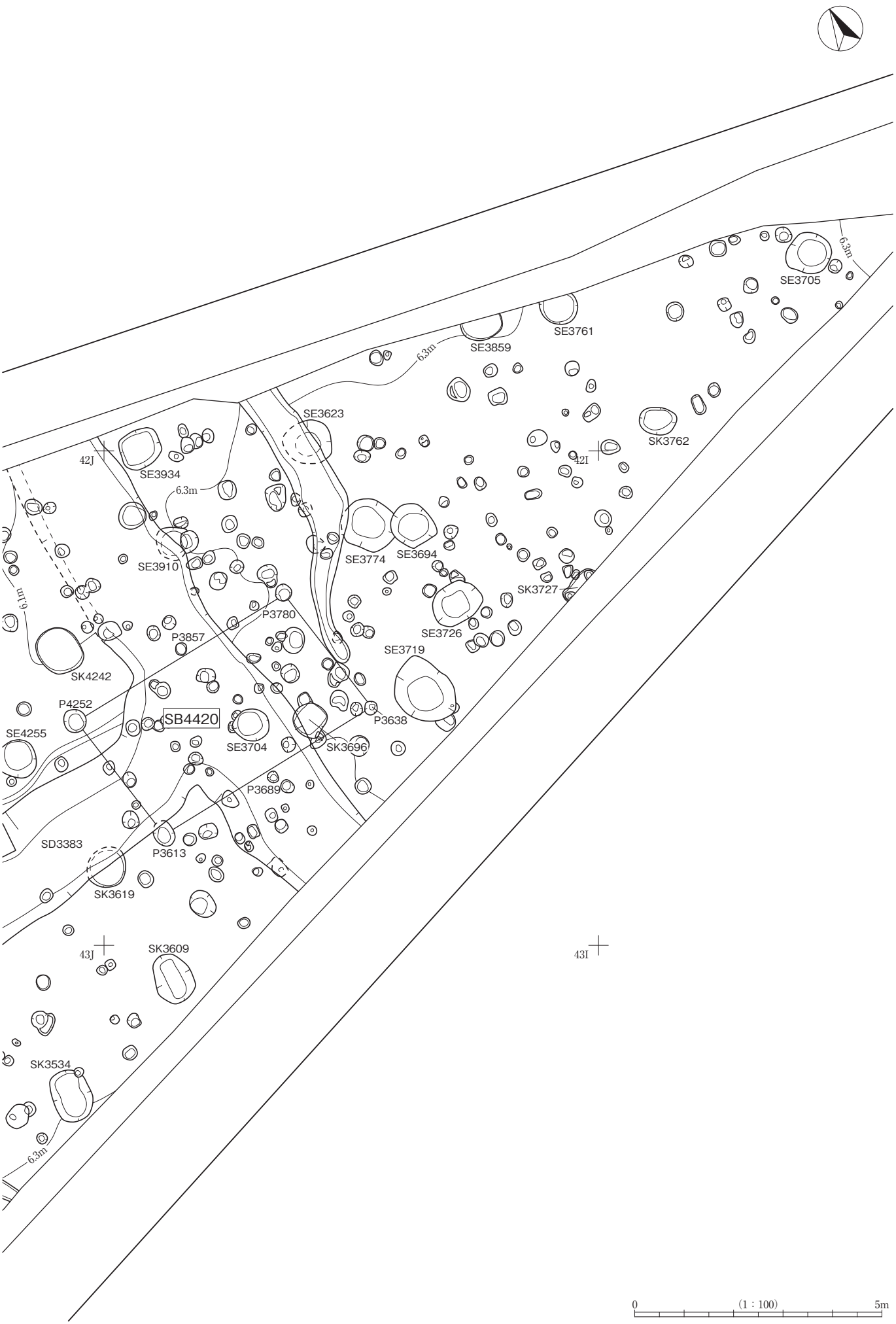

P3403
P3450
P3959
P3193
P3194
P3439
P3198
P3197
P3428
P3449
SB4398
SB4401
SD3452
P3431
P3430
P3417
P3199
SK3427
SK3414
P3422
P3418
5.8m
SD3455
P3437
33K
33J
SK3652
SK3447
SD3581
SD3669
SD3988
SK3593
SK2894
34K
34J
SK3643
旧葦藪川
SD3583
SK3641
SD3582
35K
0
(1：100)
5m


SK3994
SD3990
SK1832
5.9m
5.8m
SD4100
36I
5.8m
36H
SD3991
SD3991,SD4019,
SD4282_B'
SE1770
SD3991,SD4019,
SD4282_B
SD4019
5.9m
SK1834
SE2546
SK2544
6.0m
P3995
SE2561
SE2560
P2337
37I
SD2285
SD2285_A'
SD2285_A
37H
6.0m
P2406
SE2281
SK2098
SD2164
P2332
SK2129
SB4369
P2131
SK2203
SK2208
SD2241
P2096
6.0m
SD2204
P2216
P2094
SE2020
P2082
6.0m
SK2062
SE2007
SE1868
6.1m
SE1897
6.0m
6.0m
SE1563
0
(1：100)
5m

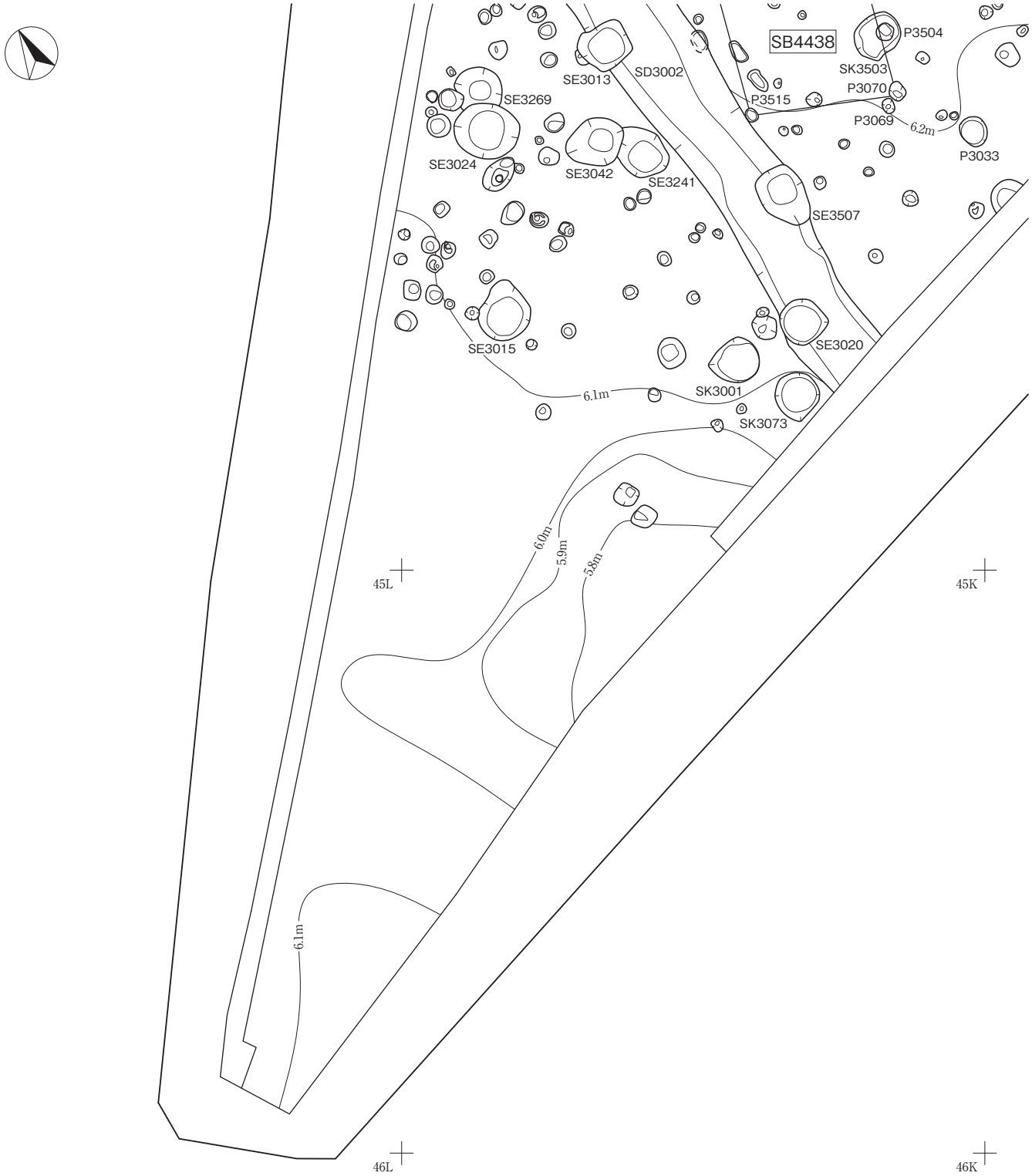
38I
38H
P1570
SE1563
SE1568
SE1518
SE1757
SK1515
P1437
SE1561
SK1656
SE1440
SK1435
SK1436
SK1760
6.1m
SE1870
SD1428
SK2278
SE1982
39I
39H
SD2276
SD1380
SB4345-2
P1378
P1364
P1379
SD1421
SK1981
SD1540
SB4345-1
P1368
P1366
P1345
6.3m
P1350
P1351
P1342
P1297
SK1367
SD1211
P1294
SK1947
P1295
P1291
6.2m
P1343
SK1946
SK1359
SE1212
SD1218
40I
40H
SD1380_A
SD1380_A'
SD1201
0
(1：100)
5m


SK1832
5.9m
36K
36J
旧葦藪川
5.9m
5.9m
SE1770
SE1822
6.0m
SK1834
SE2546
SK2146
SE1765
SE2561
SE2566
SE1769
SE2560
SE2562
SE2564
6.0m
SK2400
5.8m
37K
37J
SE2470
SE2526
SE2312
P2406
SK2197
P2315
P2467
P2131
P2249
SK2203
P2250
SB4369
SK2461
SE2479
SE2524
SD2462
P2216
6.0m
P2082
SD2204
5.8m
SK2030
SD1540
6.0m
SK2062
SD2276
38K
38J
SE2269
SE2525
5.9m
0
(1：100)
5m


38K
38J
39K
39J
40K
40J
SD1540,SD2276
SD2462_A'
SE2525
SD2462
SE2269
SE1757
SK1960
SK1984
SE2277
SD1540,SD2276
SD2462_A
SD1540
SK1760
SE1959
SE1931
SE1979
SK1809
SD2276
SK2036
SK1842
SE1845
SD2601
P1923
P1924
P1608b
P1608a
SE1805
SK1797
P1796
P1613
P1530
SE2023
SK2026
SE1932
SE1497
P1533
P1555
SE1801
SB4353
P1612
SK1581
P1544
P2251
P2274
P1546
SE1494
P1589
SE1791
P1416
P1417
P1483
P1490
P2263
P2255
P2260
P2268
P1989
P1484
SE1455
SB4351
SE1482
SK1792
P1449
P1410
P1993
SE1401
SK1992
P1692
P1459
P1458
SE1496
P1233
P1500
P1452
SE1404
P1481
SE1528
SE1529
P1407
P1460
P2504
SB4355
SE1487
P1682
SK1339
SK1215
SD1211
P1661
P1335
SK1214
P1790
SD1218
P1336
SB4348
P1325
SK1306
P1261
SE1205
P1323
P1324
P1264
SE1207
P1262
P1311
SK1213
P1270
P1271
SK1786
SE1673
SK1304
SE1210
P1279
SK1274
SK1314
5.9m
6.0m
6.1m
0
(1：100)
5m

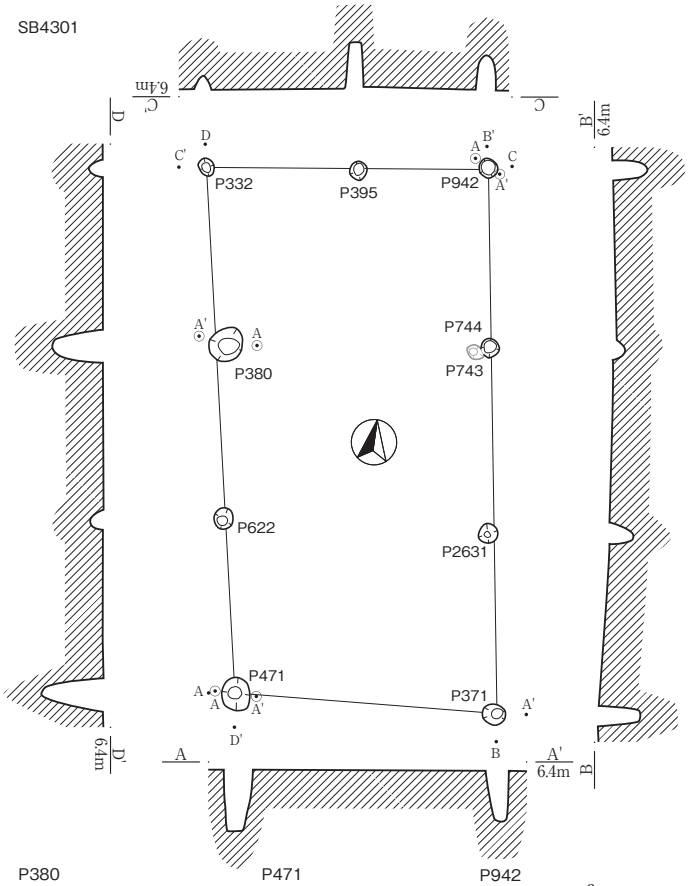

SE3705
6.3m
SE3761
SE3859
6.3m
SE3623
SK3762
42J
SE3934
42I
6.3m
SE3910
SE3774
SE3694
SK3727
6.1m
P3780
SE3726
P3857
SE3719
SK4242
P4252
SB4420
P3638
SE4255
SE3704
SK3696
P3689
SD3383
P3613
SK3619
43J
SK3609
43I
SK3534
6.3m
0
(1：100)
5m

42K
43K
44K
SB4427
SB4428
SB4429
SB4438
SB4439
SD3510
SK3376
P3375
SE4275
6.1m
6.2m
6.0m
SE4241
SE3764
SE4255
P3500
P3511
SD3316
P3334
SK3482
P3499
SD3305
P3367
P3744
SK3354
SD3305_B'
6.3m
試掘
SD3305_B
P3356
P4041
P4042
P3332
P3369
P3370
P3498
SE3940
SD3383SPA
P4034
P4035
P3333
P3335
P3355
P3493
P3939
SE4030
P4031
SD3383_A
P3604
SD3304
P4043
SK3506
P3381
P3395
P3924
P3382
P3923
SK3250
SK3259
P3389
P3295
P3330
P3481
P3340
P3309
P3339
P3388
P3505
P3525
SD3306
SE3336
P3082
P3494
P3030
SE3508
SK3208
P3284
P3049
P3268
P3249
SK3282
P3099
SK3083
SE3260
P3100
SD3002_A
P3084
P3520
P3097
SD3002_A'
P3078
SD3002
P3504
SE3269
SK3503
SE3261
SE3013
P3070
SE3024
P3515
P3069
P3033
SE3042
SE3241
SE3507
0
(1：100)
5m

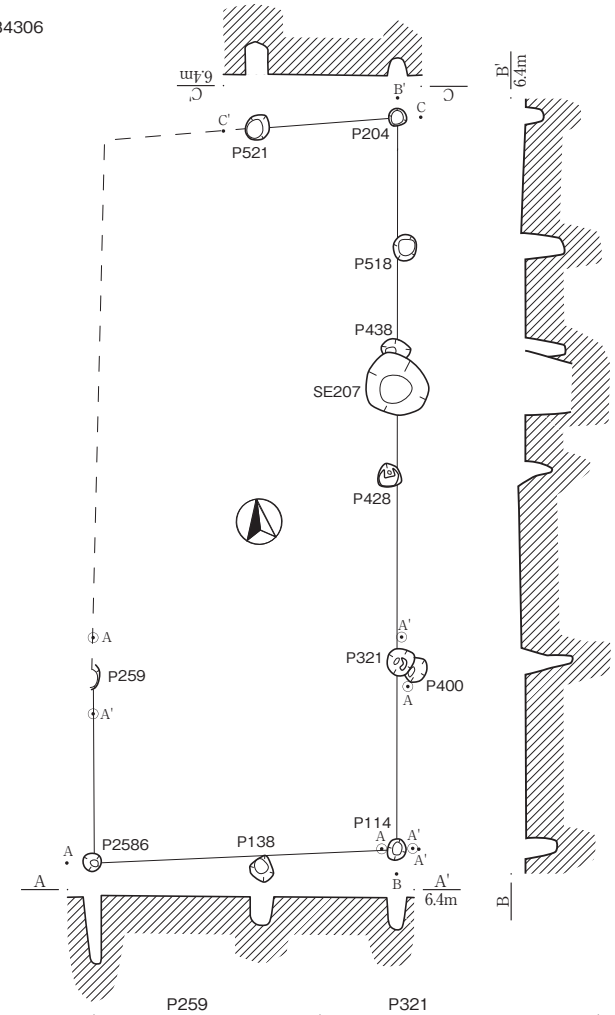

SB4438
P3504
SK3503
P3070
P3069
6.2m
P3033
SE3013
SD3002
P3515
SE3269
SE3024
SE3042
SE3241
SE3507
SE3015
SE3020
6.1m
SK3001
SK3073
6.0m
5.9m
5.8m
45L
45K
6.1m
46L
46K

0 (1：100) 5m

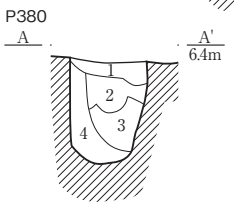
SB4301



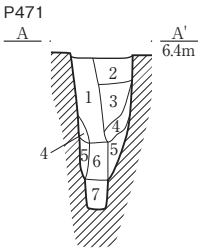
SB4306



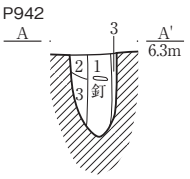
P380



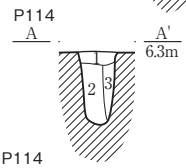
P471



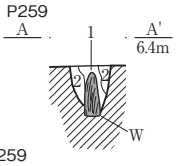
P942



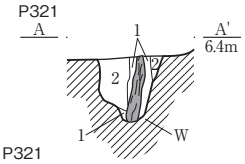
P114



P259



P321



P380
1 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性強　しまり強
黒色シルト多量
2 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性強　しまり強
灰色粘土ブロック多量
3 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性強　しまり強
4 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性有　しまり有
黒色粘土ブロック多量

P471
1 黒褐色粘土 (2.5Y3/2)
粘性有　しまり有
2 黒褐色粘土 (2.5Y3/2)
粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック少量
3 黒褐色粘土 (2.5Y3/1)
粘性有　しまり有　砂粒少量
4 黒褐色粘土 (2.5Y3/2)
粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック含有
5 青灰色粘土 (5G6/1) 粘性有　しまり有　砂粒少量
6 青灰色粘土 (5G6/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量
7 青灰色粘土 (5G6/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量

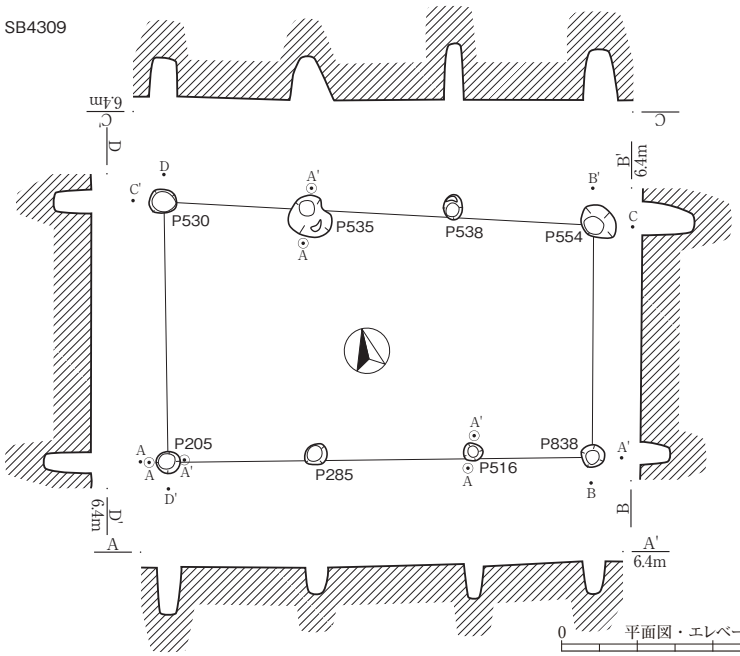
P942
1 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有
炭化物少量
2 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性有　しまり有
黒褐色粘土ブロック少量
3 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性有　しまり有

P114
1 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有
3 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有

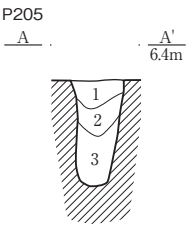
P259
1 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有
2 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック少量

P321
1 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有
2 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有

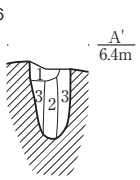
SB4309



P205



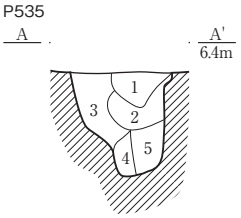
P516



P205
1 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量
炭化物少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック少量

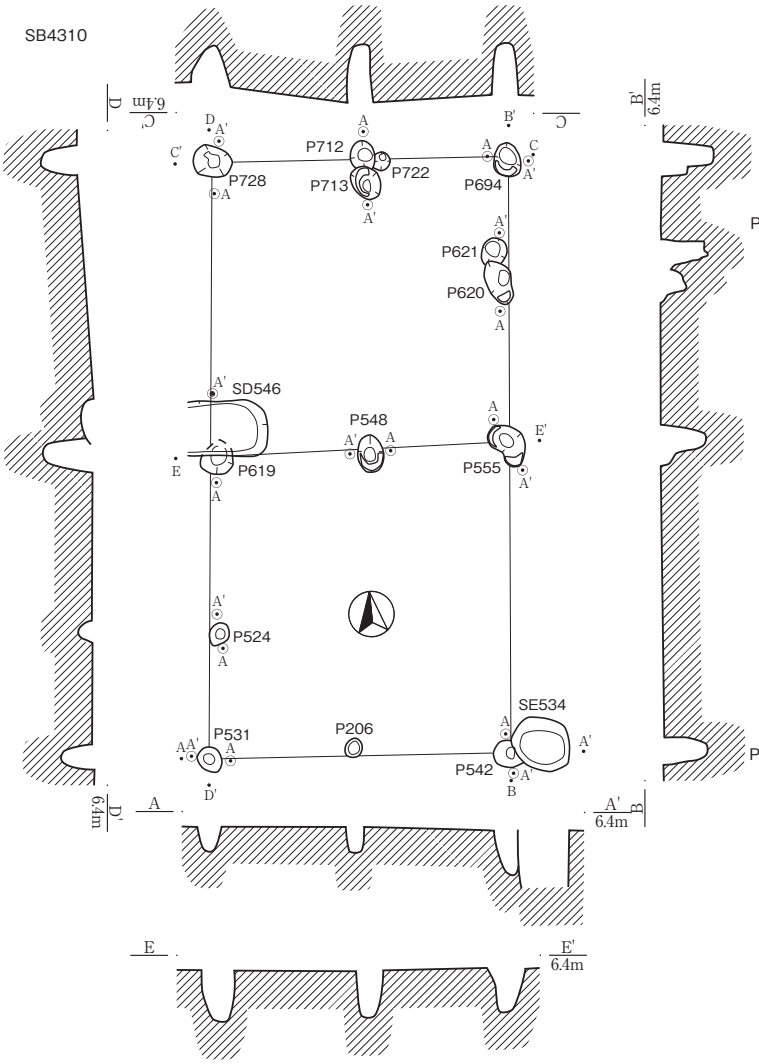
P516
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　炭化物少量
灰色シルトブロック多量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強
しまり有　灰色粘土ブロック含有
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強
しまり有　灰色粘土ブロック少量

P535



P535
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
炭化物少量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
灰色シルトブロック少量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック、灰色シルトブロック多量
4 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
5 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性強　しまり有
黒色粘土ブロック少量

0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m　0　断面図（1：40）　2m



P524

1 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量
2 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性有　しまり有
黒色粘土ブロック少量

P531

1 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
3 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック少量

P542

1 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性強　しまり有
灰色シルトブロック、炭化物、
灰色粘土、砂粒少量
2 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性強　しまり有
灰色シルトブロック少量

P548

1 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
灰色シルトブロック、炭化物少量
2 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性有　しまり有
黒色粘土ブロック少量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
灰色シルトブロック多量
4 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有

P555

1 黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
3 黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
4 灰色粘土 (5Y4/1)　粘性強　しまり有

P619

1 黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり強
炭化物少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量
3 黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
4 灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有

SD546

1 黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強

P620

1 黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
2 黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
灰色シルトブロック、灰色少量
3 黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量

P621

1 黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強
灰色シルトブロック多量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
3 灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有
黒褐色粘土ブロック少量

P694

1 黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量
2 灰色粘土 (5Y4/1)　粘性強　しまり有
3 灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有

P712

1 黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
灰色多量　暗灰色粘土ブロック少量
2 灰色粘土 (5Y4/1)　粘性強　しまり有
黒褐色粘土ブロック少量
3 灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有
灰色シルト少量

P713

1 黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
灰色シルトブロック少量
2 黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
3 灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有

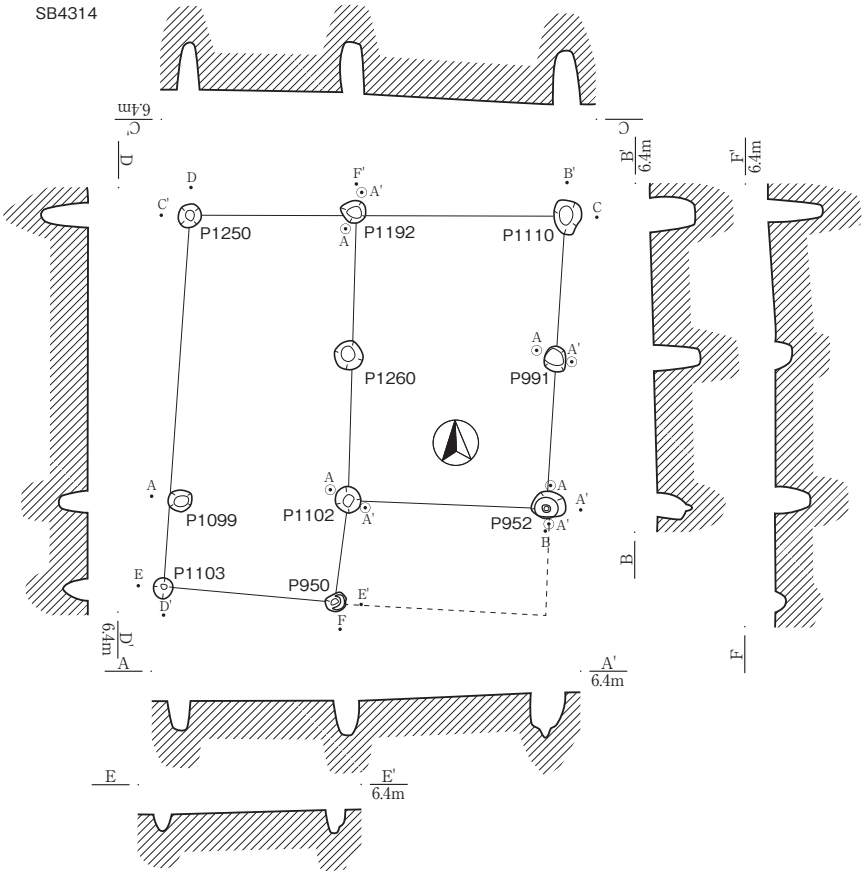
P728

1 黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
灰色シルトブロック少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
3 灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり強
4 黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
5 灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有

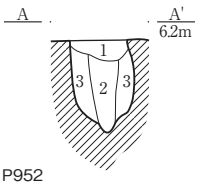
0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m

0　断面図（1：40）　2m

SB4314

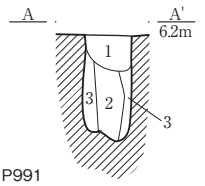


P952



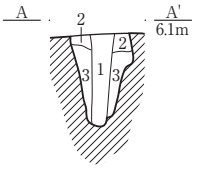
P952
1 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性有　しまり強
灰色シルトブロック少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量

P991



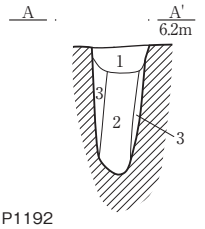
P991
1 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性有　しまり強
2 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック少量
3 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性有　しまり有
黒褐色粘土ブロック含有

P1102



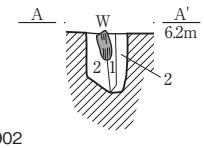
P1102
1 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性強　しまり有
2 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性強　しまり有
炭化物少量
3 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性やや強　しまり有
黒色粘土ブロック含有

P1192



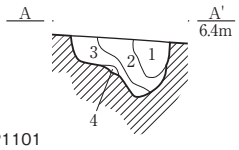
P1192
1 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性有　しまり強
灰色シルトブロック多量
2 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量
3 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性有　しまり有
黒色粘土ブロック少量

P902



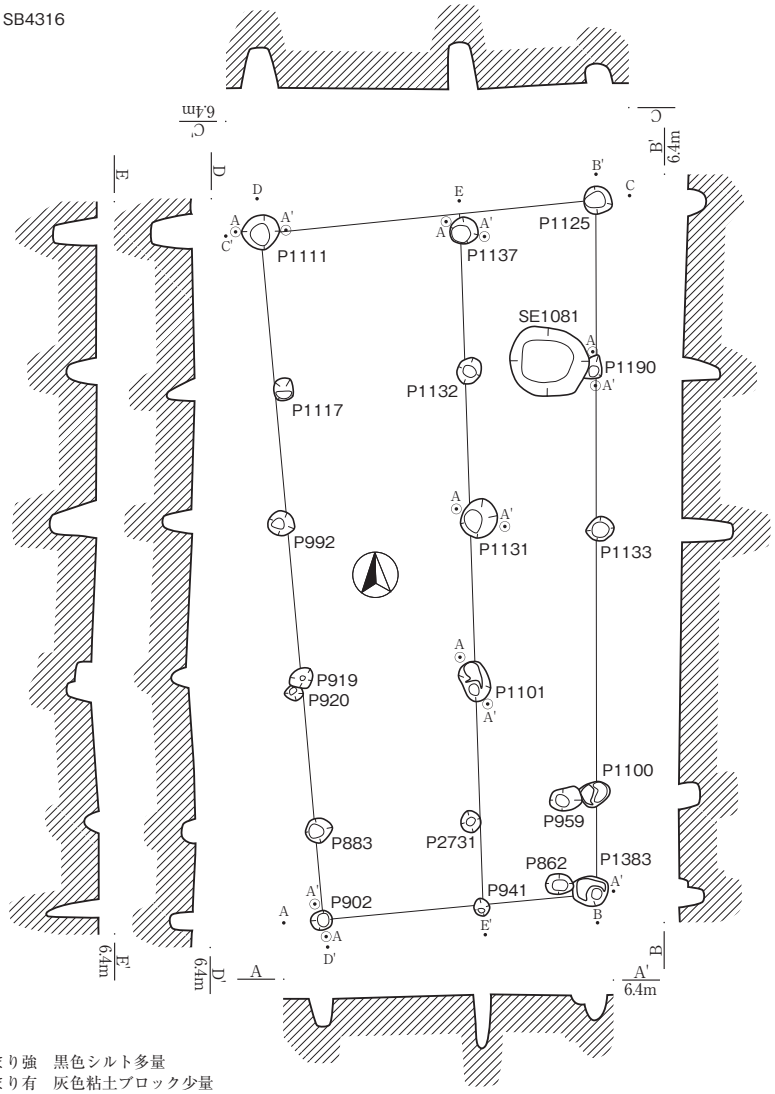
P902
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有
しまり強　灰色シルトブロック、
黒色シルト、白色粒子少量
2 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有
しまり有

P1101

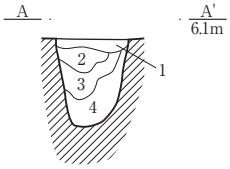


P1101
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有
しまり強　炭化物少量
2 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有
しまり強　黒色粘土ブロック少量
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有
しまり強　炭化物少量
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有
しまり有

SB4316

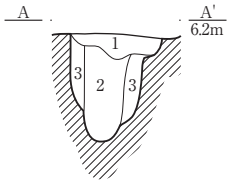


P1111



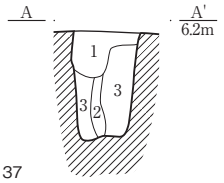
P1111
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有
しまり強　暗灰色粘土ブロック、
灰色粘土ブロック少量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有
しまり強
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有
しまり強　暗灰色粘土ブロック、
灰色粘土ブロック少量
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性強
しまり有　黒色粘土ブロック多量

P1131



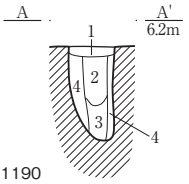
P1131
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有
しまり強　灰色粘土ブロック多量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強
しまり有　灰色粘土ブロック少量
3 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性有　しまり有

P1137



P1137
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり強
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強
しまり有
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり強

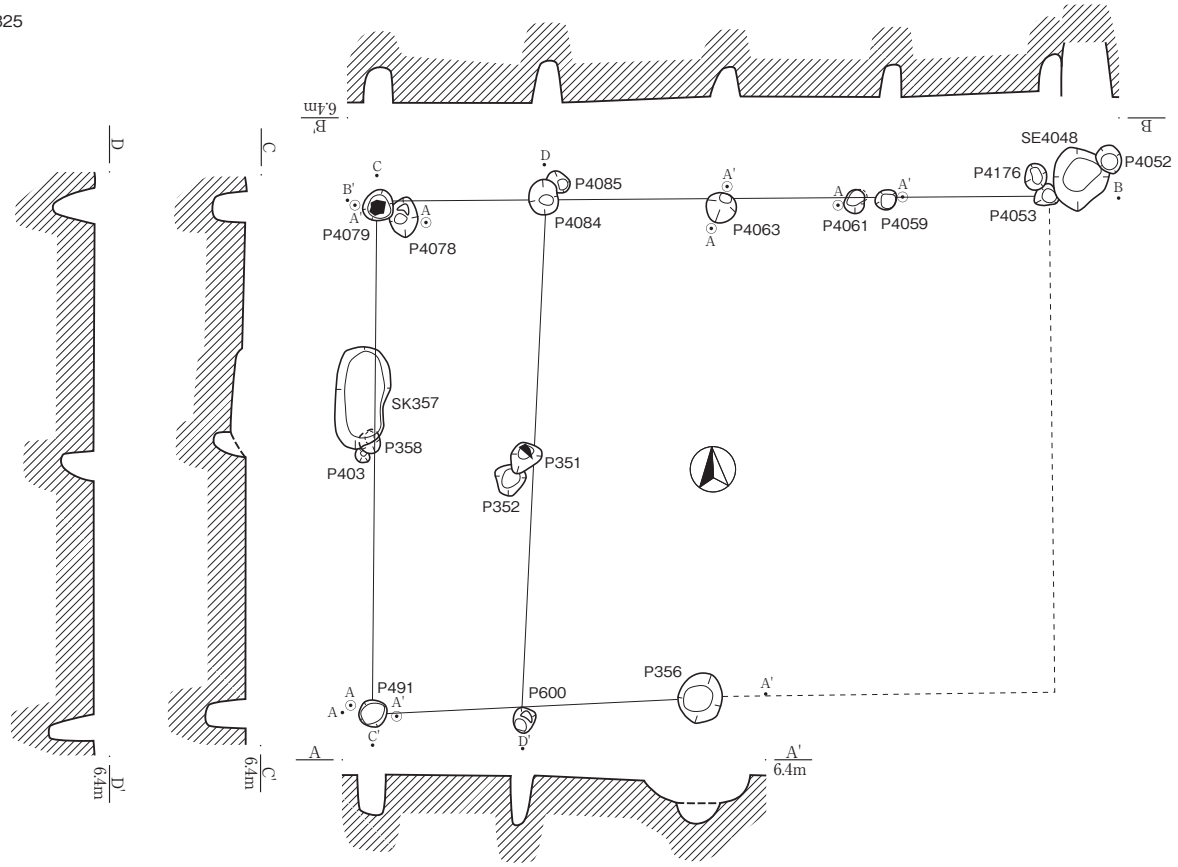
P1190



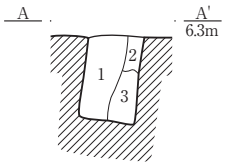
P1190
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強　黒色シルト多量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック少量
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性強　しまり有
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性強　しまり有　黒褐色粘土ブロック少量

0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m
0　断面図（1：40）　2m

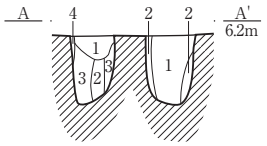
SB4325



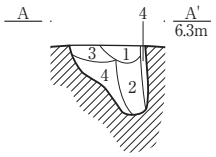
P491



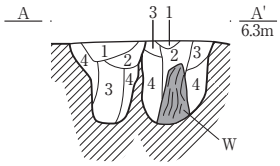
P4061・P4059



P4063



P4078・P4079



P491
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強
しまり強　褐灰色粘土ブロック多量
炭化物少量
2 褐灰色粘土 (10YR5/1) 粘性強
しまり強　褐灰色粘土ブロック多量
炭化物少量
3 青灰色粘土 (10BG6/1) 粘性強
しまり有　褐色ブロック多量

P4059
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
2 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有

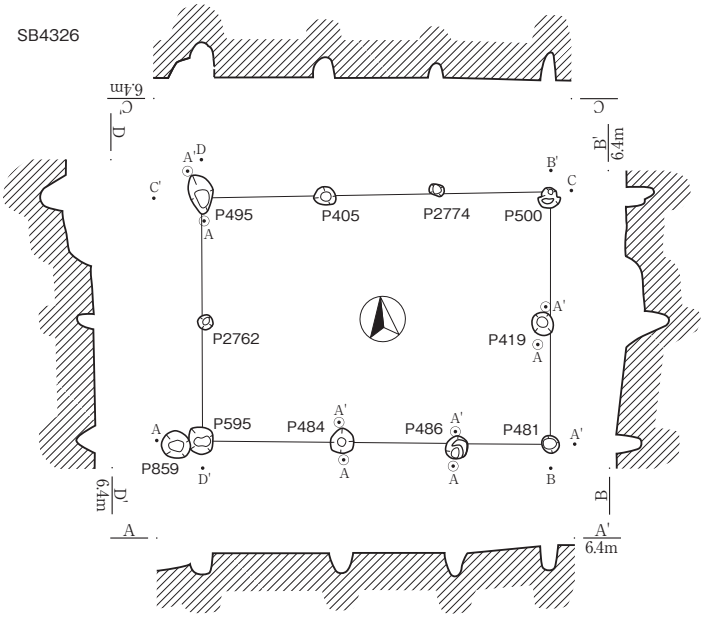
P4061
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック少量
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有

P4063
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有
しまり有
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強
しまり有
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有
しまり有　黒褐色粘土ブロック少量
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有

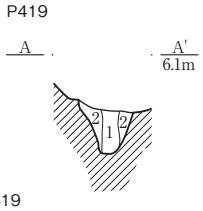
P4078
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
炭化物少量
2 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
黒褐色粘土ブロック多量
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有

P4079
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
黒色シルト多量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック少量
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有

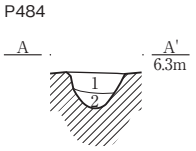
SB4326



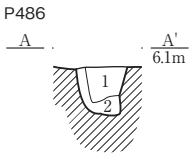
P419



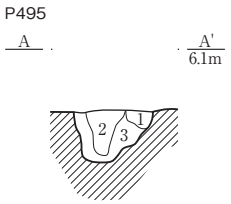
P484



P486



P495



P419
1 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有　炭化物少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有

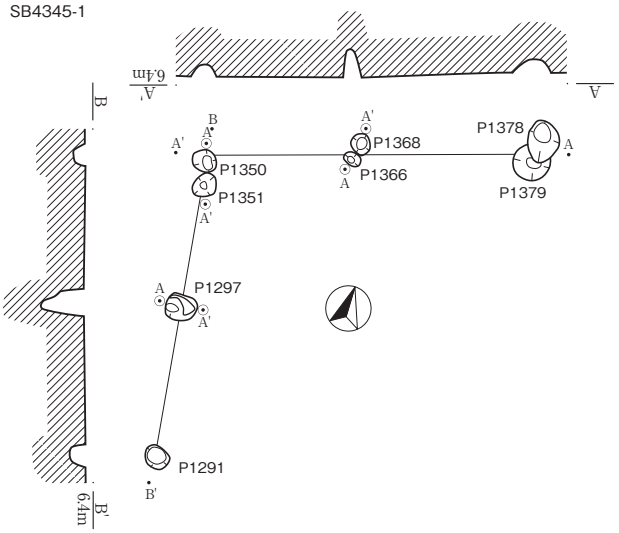
P484
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性有　しまり有
炭化物ブロック少量
2 明青灰色粘土 (5B7/1) 粘性強　しまり有
褐灰色粘土ブロック多量

P486
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強
しまり有　炭化物少量
2 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強
しまり有　炭化物多量

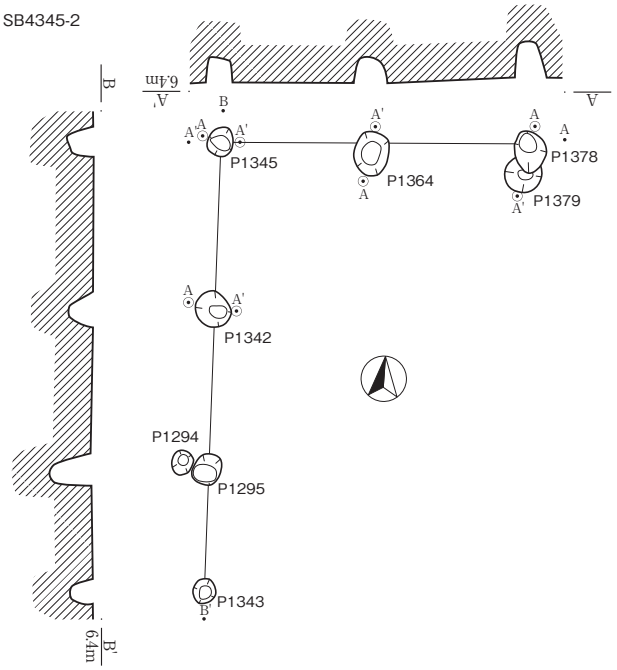
P495
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
2 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり有
黒色粘土含有
3 褐灰色粘土 (10YR5/1) 粘性有　しまり

0　断面図（1：40）　2m　0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m

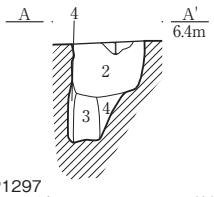
SB4345-1



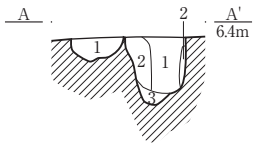
SB4345-2



P1297



P1350･P1351

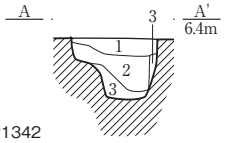


P1297
1 黒色シルト (10YR2/1) 粘性有　しまり強
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり強
灰色粘土ブロック多量　炭化物少量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色シルトブロック少量
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性強　しまり有

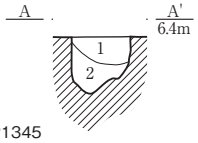
P1350
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　炭化物少量

P1351
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり強　灰色シルトブロック多量
灰色粘土ブロック、炭化物少量
2 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有

P1342



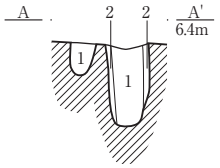
P1345



P1342
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり強　灰色粘土ブロック少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり強　灰色粘土ブロック多量

P1345
1 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強
しまり有　灰色粘土ブロック、
暗灰色粘土ブロック、炭化物少量
2 灰色粘土（5Y4/1）粘性有　しまり有

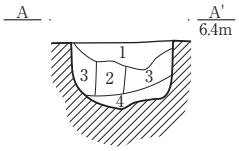
P1366･P1368



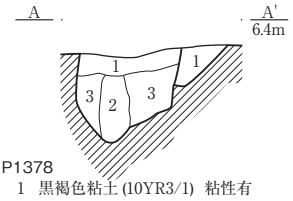
P1366
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック少量

P1368
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色シルトブロック少量
2 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有

P1364



P1378･P1379

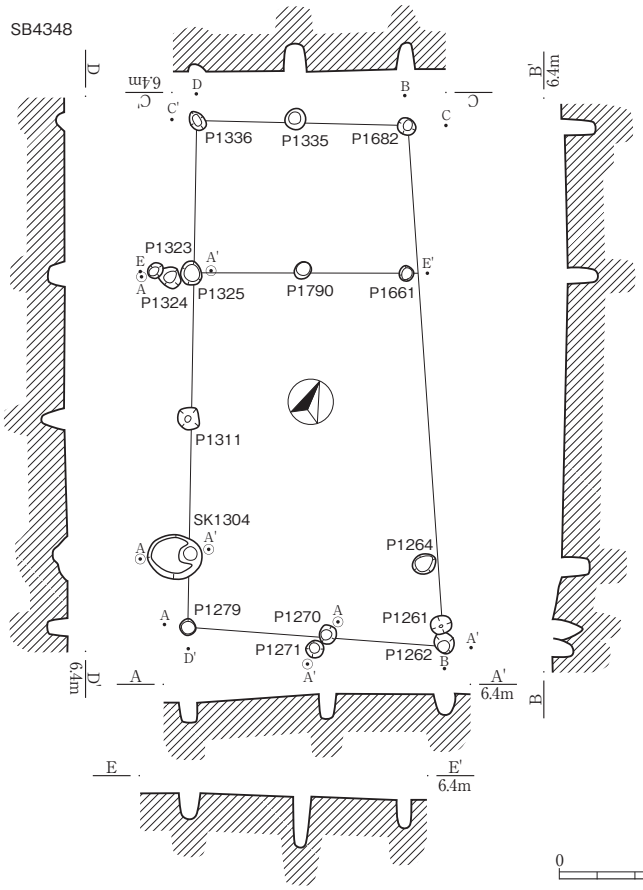


P1364
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり強　灰色粘土ブロック、
暗灰色粘土ブロック多量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　灰色粘土ブロック、
暗灰色粘土ブロック多量
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
黒褐色粘土ブロック少量
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有

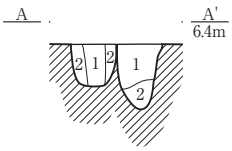
P1378
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　炭化物少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強
しまり有
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　炭化物、
灰色粘土ブロック少量

P1379
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　灰色粘土ブロック多量

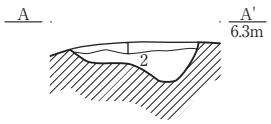
SB4348



P1270･P1271



SK1304

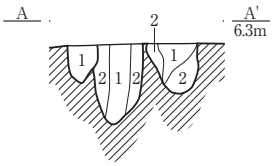


P1270
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強
しまり強　酸化強　炭化物多量
2 明青灰色粘土 (10BG7/1) 粘性強
しまり強　褐色粘土ブロック多量

P1271
1 褐灰色粘土 (10YR5/1) 粘性強
しまり強　炭化物少量
灰色粘土ブロック多量
2 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強
しまり有

SK1304
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強
しまり強　炭化物少量
2 明青灰色粘土 (10BG7/1) 粘性強
しまり強　褐色粘土ブロック少量

P1323･P1324･P1325



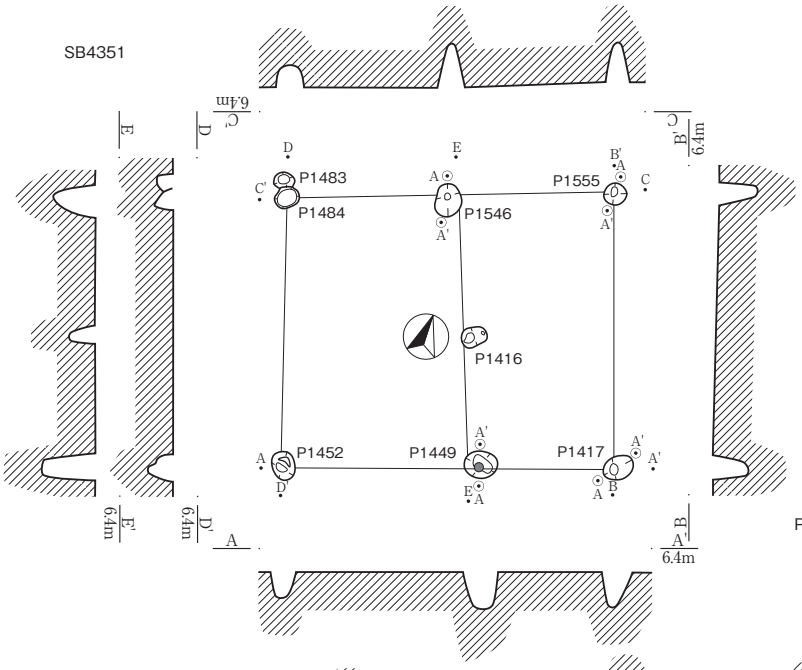
P1323
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強
しまり強　灰色粘土ブロック多量

P1324
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強
しまり有　炭化物少量
2 明青灰色粘土 (10BG7/1) 粘性強
しまり強　褐色粘土ブロック多量

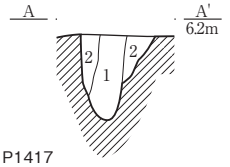
P1325
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強
しまり有　炭化物少量
2 明青灰色粘土 (10BG7/1) 粘性強
しまり強　褐色粘土ブロック多量

0　断面図（1：40）　2m　0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m

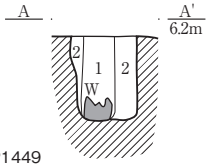
SB4351



P1417



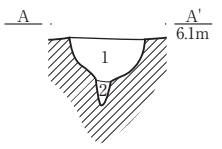
P1449



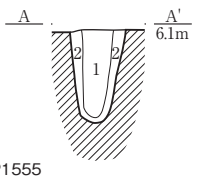
P1417
1　にぶい黄褐色粘土 (10YR4/3)
　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック多量
　炭化物少量
2　明青灰色粘土 (10BG7/1)　粘性強
　しまり有　褐色ブロック多量

P1449
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強
　しまり有　炭化物少量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強
　しまり有　灰色粘土ブロック多量
　炭化物少量

P1546



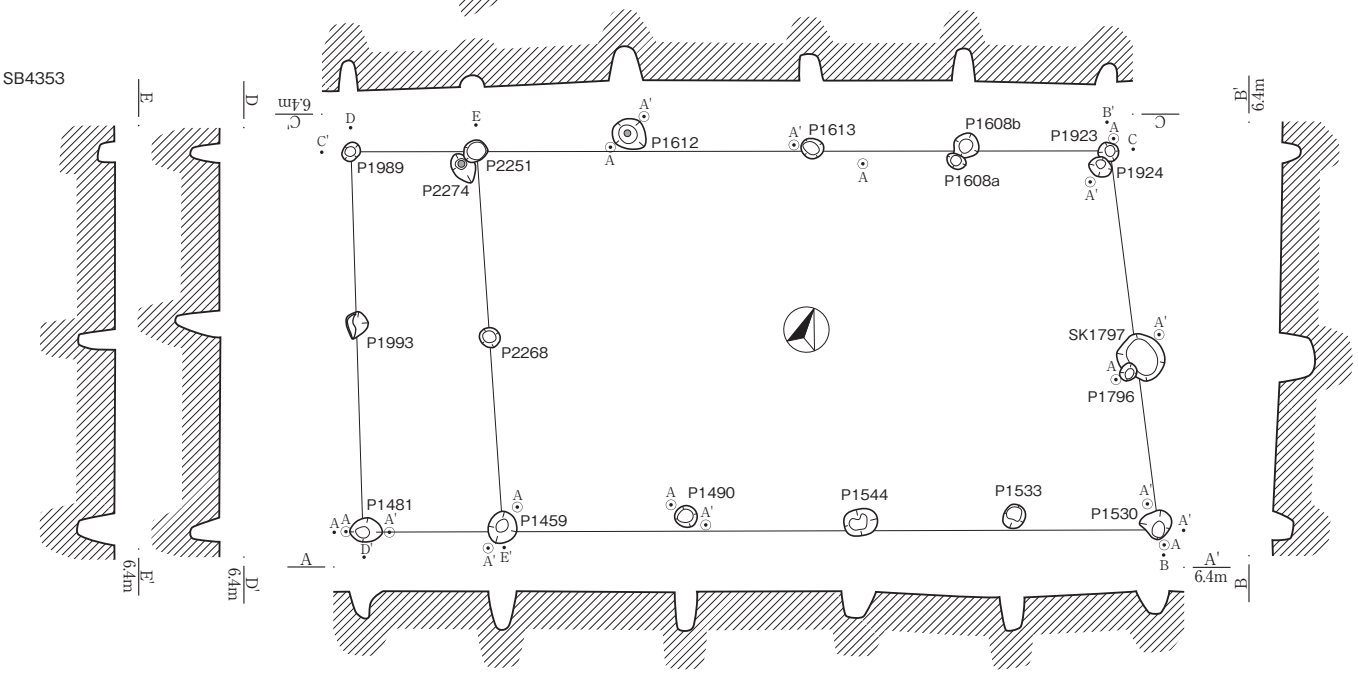
P1555



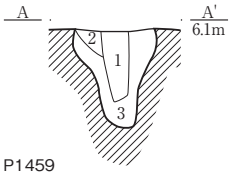
P1546
1　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強
　しまり強　炭化物、
　灰色粘土ブロック少量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強
　しまり有

P1555
1　灰色黄褐色粘土 (10YR6/2)
　粘性強　しまり強　炭化物
　灰色粘土ブロック少量
2　灰白色粘土 (10YR7/1)　粘性強
　しまり強　褐色粘土ブロック多量

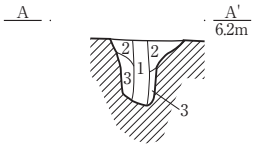
SB4353



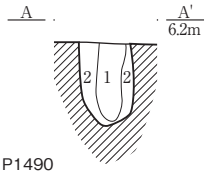
P1459



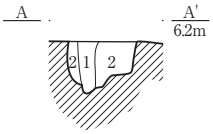
P1481



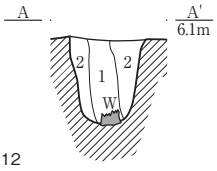
P1490



P1530



P1612



P1459
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
　炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強
　しまり有　炭化物少量
3　明青灰色粘土 (10BG7/1)　粘性強
　しまり有　褐色ブロック多量

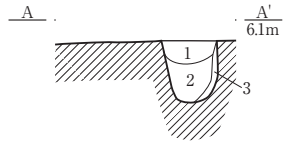
P1481
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強
　しまり有　炭化物少量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強
　しまり強　灰色粘土ブロック少量
3　明青灰色粘土 (10BG7/1)　粘性強
　しまり強　褐色粘土ブロック多量

P1490
1　褐灰色色砂粒 (10YR4/1)
　粘性なし　しまりなし
　褐色ブロック少量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)
　粘性強　しまり強
　炭化物少量

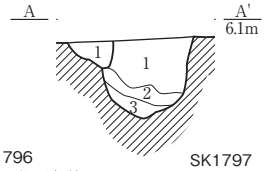
P1530
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)
　粘性強　しまり有
　炭化物多量
2　灰白色粘土 (10YR7/1)
　粘性強　しまり強
　褐色粘土ブロック多量　炭化物少量

P1612
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強
　しまり有　炭化物多量
2　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強
　しまり強　褐色粘土ブロック、
　炭化物少量

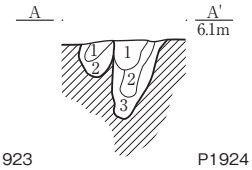
P1613



P1796、SK1797



P1923･P1924



P1613
1　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強
　しまり強　灰色粘土ブロック、
　炭化物少量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強
　しまり強　炭化物少量
3　褐灰色シルト (10YR5/1)　粘性強
　しまり強

P1796
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)
　粘性強　しまり強
　炭化物少量

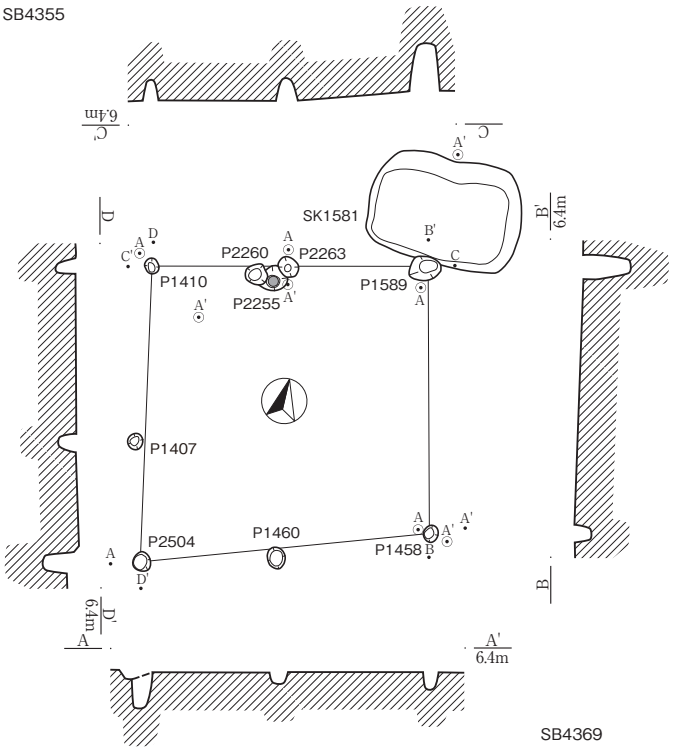
SK1797
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強
　しまり強　炭化物、砂粒多量
2　灰白色粘土 (10YR7/1)　粘性強
　しまり強　褐色粘土ブロック少量
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強
　しまり有　炭化物少量

P1923
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)
　粘性強　しまり強
　灰色粘土ブロック、
　炭化物、砂粒少量
2　灰白色粘土 (10YR7/1)
　粘性強　しまり強
　褐色粘土ブロック少量

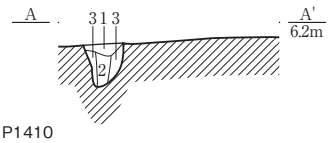
P1924
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強
　しまり強　灰色粘土ブロック、
　炭化物少量
2　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強
　しまり強　灰色粘土ブロック多量
　炭化物少量
3　灰白色粘土 (10YR7/1)　粘性強
　しまり強　褐色粘土ブロック少量

0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m　　0　断面図（1：40）　2m

SB4355

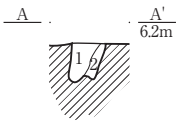


P1410



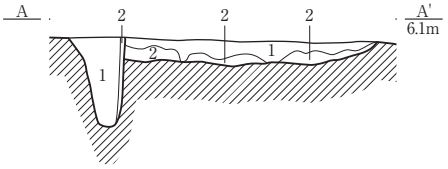
P1410
1　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強
　しまり強　灰色粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強
　しまり強　炭化物少量
3　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強
　しまり強　灰色粘土ブロック多量

P1458

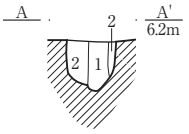


P1458
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)
　粘性強　しまり強
　灰色粘土ブロック多量
2　明青灰色粘土 (10BG7/1)
　粘性強　しまり強
　灰色粘土ブロック多量

P1589、SK1581



P2263

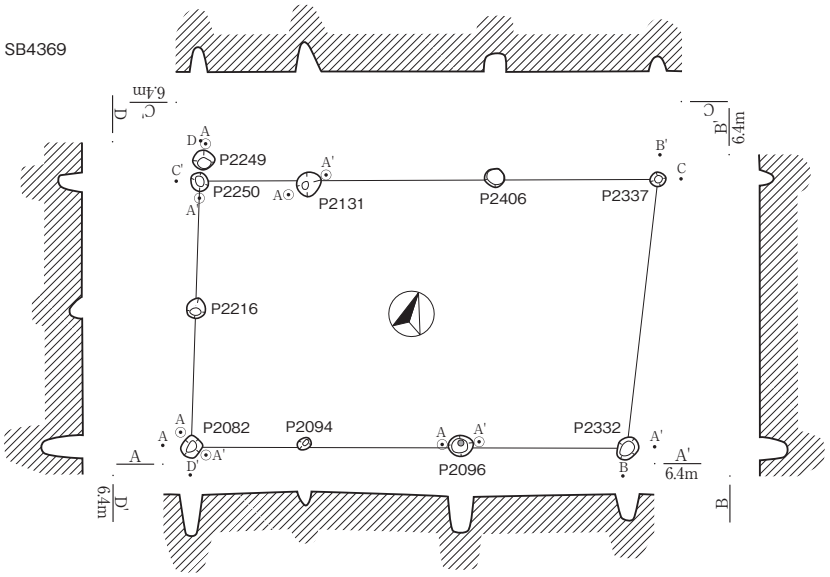


P1589
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)
　粘性強　しまり強
　灰色粘土ブロック、炭化物少量
2　褐灰色粘土 (10YR6/1)
　粘性強　しまり強
　灰色粘土ブロック、炭化物少量

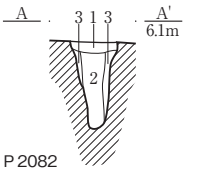
SK1581
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)
　粘性強　しまり強
　灰色粘土ブロック、
　炭化物多量
2　灰白色粘土 (10YR7/1)
　粘性強　しまり強
　褐色粘土ブロック少量

P2263
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)
　粘性強　しまり強
　灰色粘土ブロック
　炭化物少量
2　褐灰色粘土 (10YR6/1)
　粘性強　しまり強
　灰色粘土ブロック多量

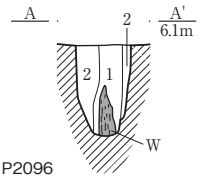
SB4369



P2082



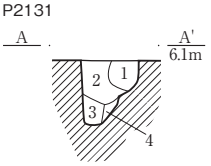
P2096



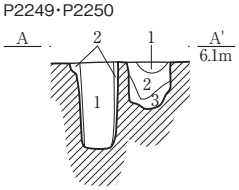
P 2082
1　黒色粘土 (10YR2/1)
　粘性有　しまり有
2　黒色粘土 (10YR2/1)
　粘性強　しまり有
3　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有
　しまり有　黒褐色粘土ブロック少量

P2096
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)
　粘性強　しまり有
2　灰色粘土 (5Y4/1)
　粘性有　しまり有
　黒褐色粘土ブロック少量

P2131



P2249・P2250

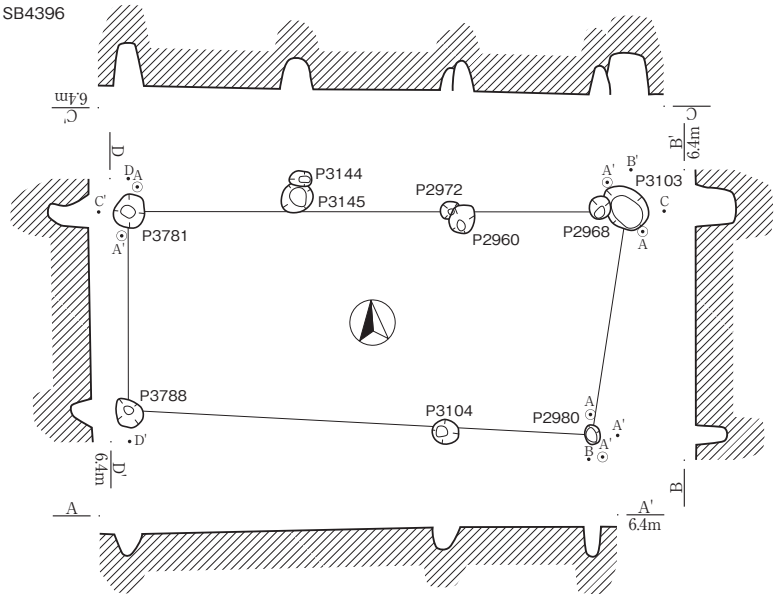


P2131
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有
　しまり有　炭化物少量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有
　しまり有　灰色粘土ブロック多量
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)
　粘性強　しまり有
4　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有

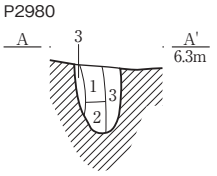
P2249
1　黒色粘土 (10YR2/1)
　粘性強　しまり有
2　灰色粘土 (5Y4/1)
　粘性有　しまり有

P2250
1　黒色シルト (10YR2/1)
　粘性有　しまり強
2　黒色粘土 (10YR2/1)
　粘性有　しまり有
3　灰色粘土 (5Y4/1)
　粘性有　しまり有

SB4396

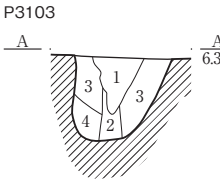


P2980



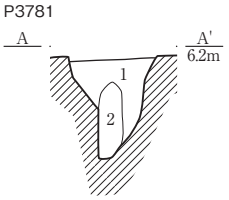
P2980
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強
　しまり強　灰色粘土ブロック、
　炭化物少量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強
　しまり有　灰色粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強
　しまり強　灰色粘土ブロック多量
　炭化物少量

P3103



P3103
1　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり強
　灰色粘土ブロック、砂粒多量　炭化物少量
2　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強
　灰色粘土ブロック、炭化物多量
4　灰白色粘土 (10YR7/1)　粘性強　しまり強
　褐色粘土ブロック多量

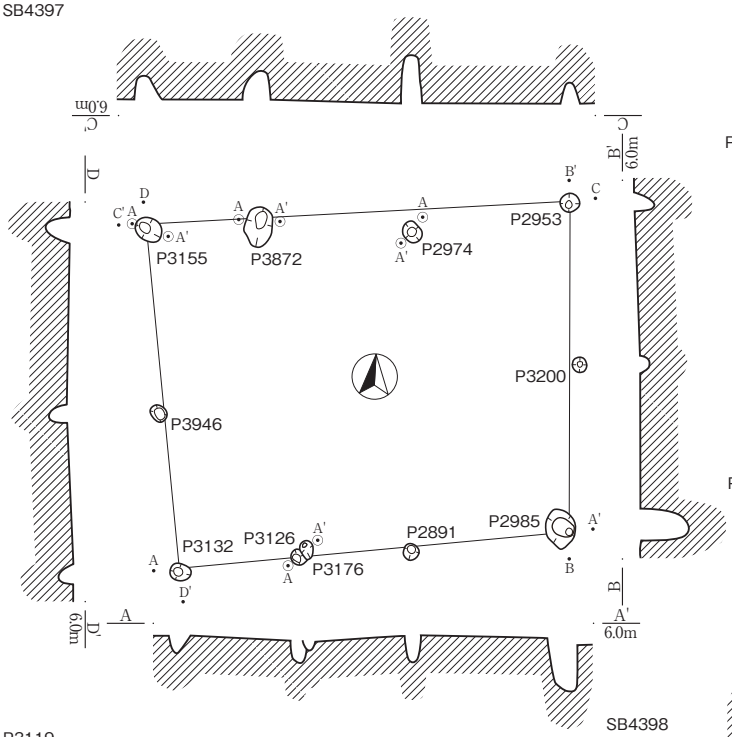
P3781



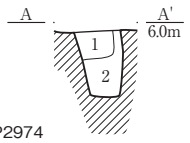
P3781
1　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強　しまり強
　灰色粘土ブロック　炭化物多量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有

0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m
0　断面図（1：40）　2m

SB4397

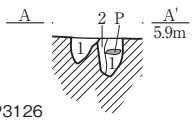


P2974



P2974
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック多量　炭化物少量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック多量

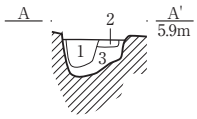
P3126･P3176



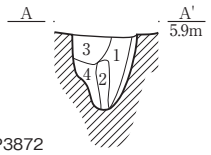
P3126
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック多量　炭化物少量

P3176
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック多量　炭化物少量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強

P3155



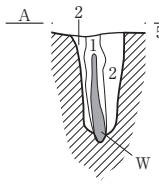
P3872



P3155
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック多量
3　灰白色粘土 (10YR7/1)　粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック少量

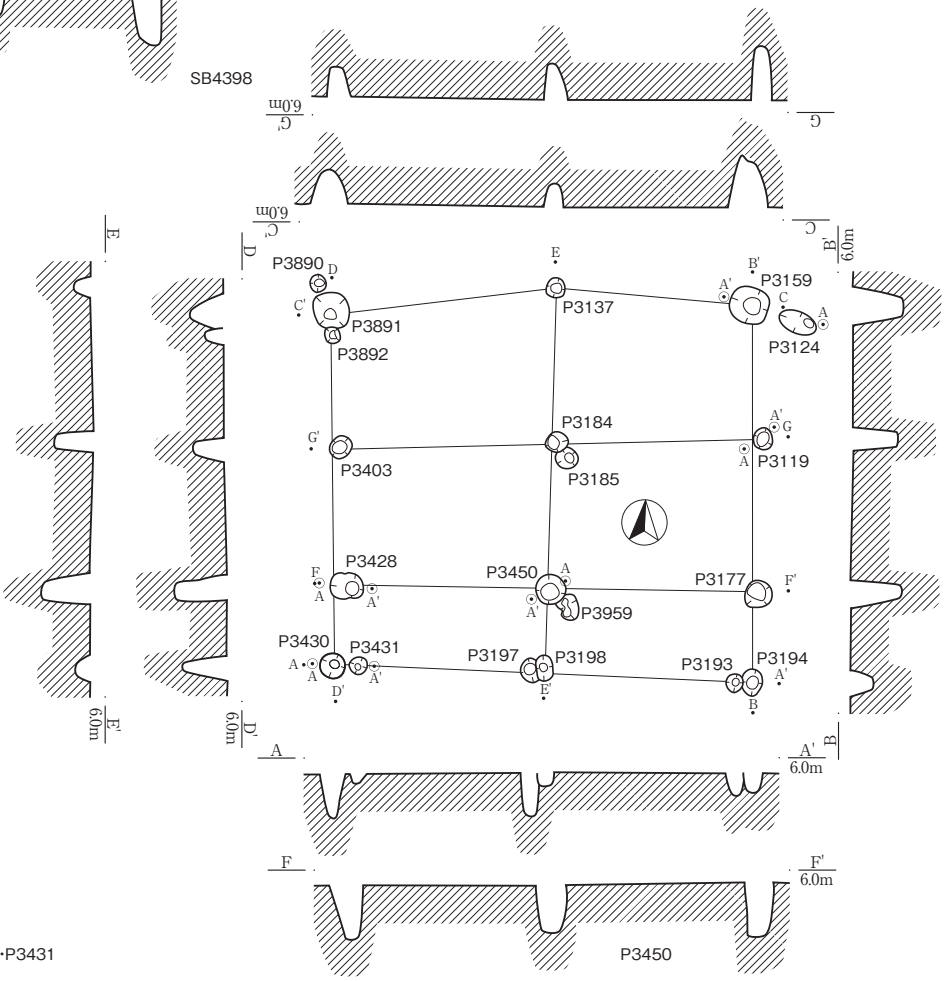
P3872
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック、炭化物少量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　炭化物少量
3　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック多量
4　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強 しまり強

P3119

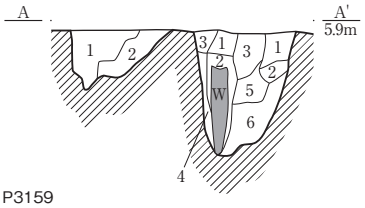


P3119
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック多量　炭化物少量

SB4398



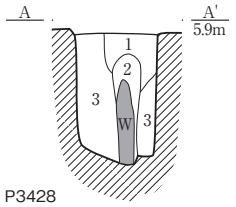
P3159･P3124



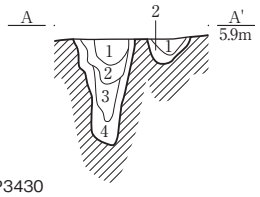
P3159
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　炭化物少量
2　明青灰色粘土 (10BG7/1)　粘性強　しまり強　褐色粘土ブロック多量　炭化物少量

P3124
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　炭化物少量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
3　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック、炭化物、砂粒少量
4　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック、炭化物多量
5　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック多量
6　灰白色粘土 (10YR7/1)　粘性強　しまり強　褐色粘土ブロック少量

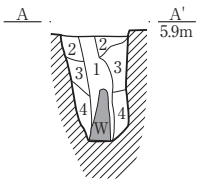
P3428



P3430･P3431



P3450



P3428
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　炭化物少量　灰色粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　炭化物少量
3　灰白色粘土 (10YR7/1)　粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック少量

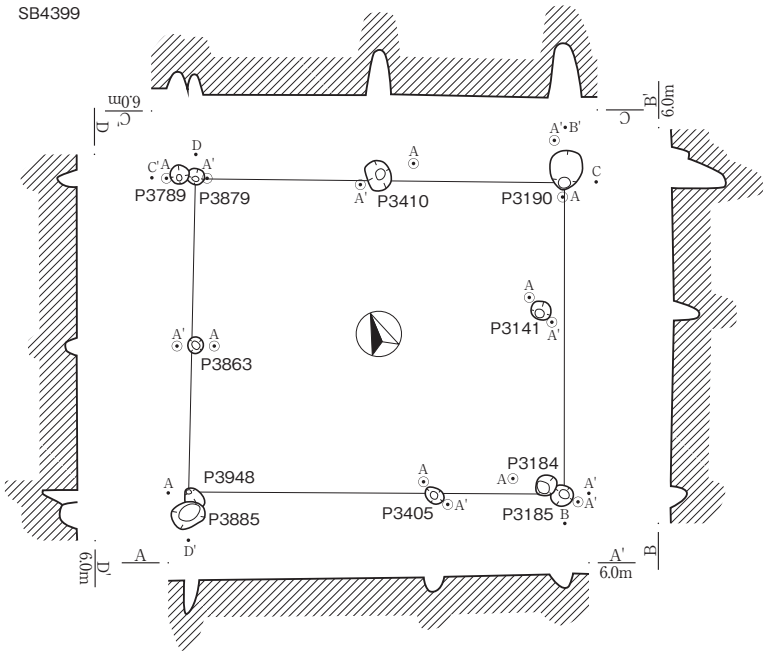
P3430
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　炭化物少量　灰色粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　炭化物少量　灰色粘土ブロック少量
4　灰白色粘土 (10YR7/1)　粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック少量

P3431
1　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック少量

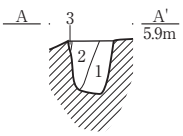
P3450
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック、炭化物多量
2　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック、炭化物多量
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり強　炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
4　明青灰色粘土 (10BG7/1)　粘性強　しまり有　炭化物少量

0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m　0　断面図（1：40）　2m

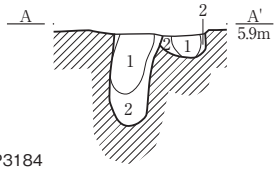
SB4399



P3141



P3184･P3185

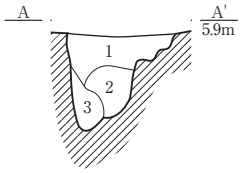


P3141
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強
しまり強　炭化物多量
灰色粘土ブロック少量
2 褐色粘土 (10YR6/1)
粘性強　しまり強
灰色粘土ブロック多量
3 明青灰色粘土 (10BG7/1)
粘性強　しまり強

P3184
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強
しまり強　灰色粘土ブロック少量
2 灰色粘土 (10YR7/1) 粘性強
しまり強　褐灰色粘土ブロック少量

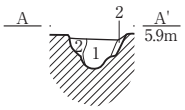
P3185
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強
しまり強　炭化物多量
灰色粘土ブロック多量
2 灰白色粘土 (10YR7/1) 粘性強
しまり強　炭化物少量
褐灰色粘土ブロック少量

P3190

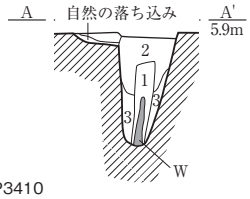


P3190
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強
しまり強　炭化物少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強
しまり有　炭化物、
灰色粘土ブロック多量
3 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強
しまり強　灰色粘土ブロック多量

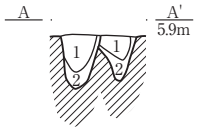
P3405



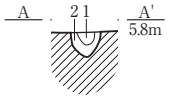
P3410



P3789･P3879



P3863



P3405
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強
しまり強　炭化物多量
灰色粘土ブロック少量
2 明青灰色粘土 (10BG7/1) 粘性強
しまり強　炭化物少量

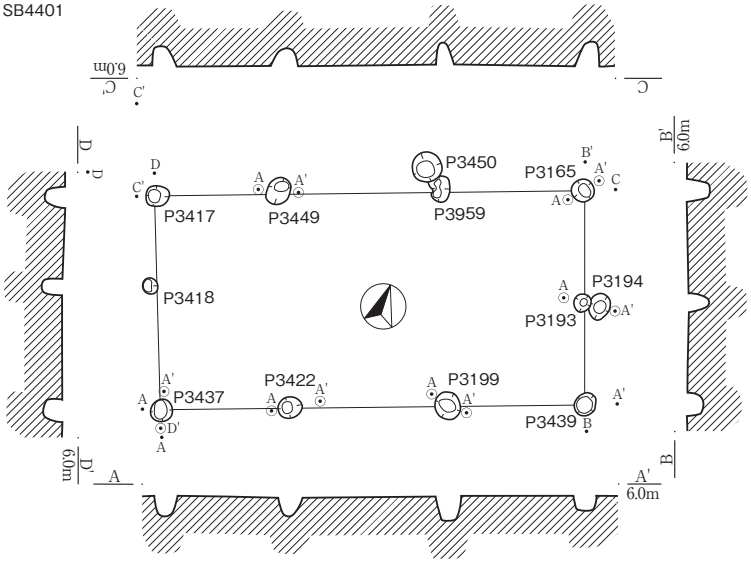
P3410
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
炭化物多量
2 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強
炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
3 褐灰色粘土 (10YR6/1) 粘性強　しまり強
褐色粘土ブロック少量

P3789
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強
しまり強　灰色粘土ブロック、炭化物少量
2 明青灰色粘土シルト (10BG7/1)
粘性強　しまり強　褐色粘土ブロック少量

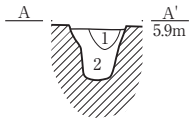
P3879
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり強
炭化物、灰色粘土ブロック少量
2 明青灰色シルト (10BG7/1) 粘性強
しまり強　褐色ブロック少量

P3863
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強
しまり強　灰色粘土ブロック
炭化物少量
2 明青灰色粘土 (10BG7/1) 粘性強
しまり強　炭化物少量

SB4401

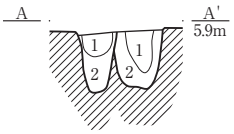


P3165



P3165
1 褐灰色粘土 (10YR4/1)
粘性強　しまり強
灰色粘土ブロック、炭化物多量
2 明青灰色粘土 (10BG7/1)
粘性強　しまり強
褐色粘土ブロック、炭化物多量

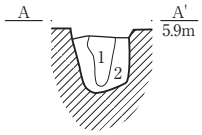
P3193･P3194



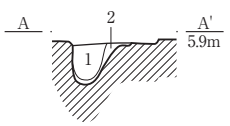
P3193
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強
しまり強　灰色粘土ブロック多量
炭化物少量
2 明青灰色粘土 (10BG7/1) 粘性強
しまり強　褐色粘土ブロック多量

P3194
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強
しまり強　炭化物、砂粒多量
2 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強
しまり強　炭化物少量

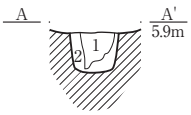
P3199



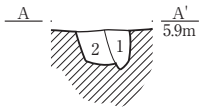
P3422



P3437



P3449



P3199
1 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり強
炭化物多量
灰色粘土ブロック少量
2 褐灰色粘土 (10YR6/1)
粘性強　しまり強
褐色粘土ブロック多量

P3422
1 褐灰色粘土 (10YR4/1)
粘性強　しまり強
灰色粘土ブロック、炭化物少量
2 褐灰色粘土 (10YR6/1)
粘性強　しまり強
褐色粘土ブロック少量

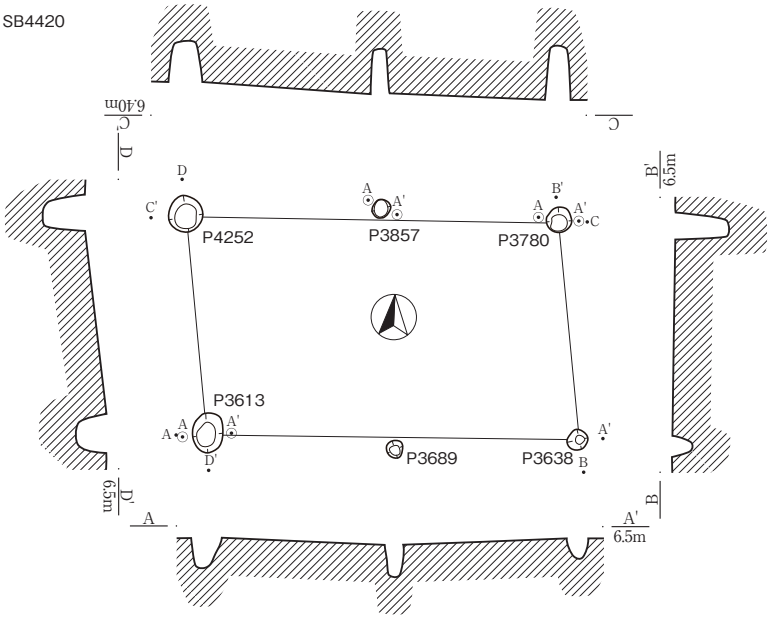
P3437
1 褐灰色粘土 (10YR4/1)
粘性強　しまり強
灰色粘土ブロック多量
2 灰白色粘土 (10YR7/1)
粘性強　しまり強
褐灰粘土ブロック少量

P3449
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強
しまり有
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有
しまり有

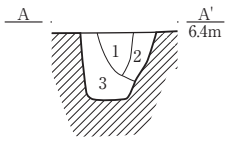
0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m

0　断面図（1：40）　2m

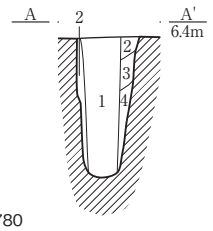
SB4420



P3613



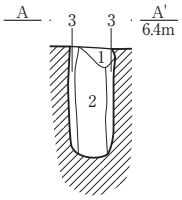
P3780



P3613
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有
しまり有
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有
しまり有　灰色粘土ブロック少量
3 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量

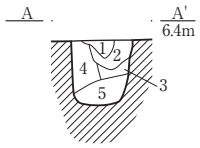
P3780
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強
しまり有　灰色粘土ブロック少量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有
しまり強　灰色粘土ブロック、
黒色シルト少量
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有
しまり有　黒褐色粘土ブロック少量
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有

P3857

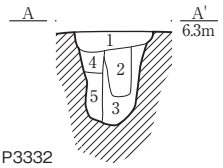


P3857
1 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性有　しまり強
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強
しまり有　褐色砂粒少量
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり強

P3268



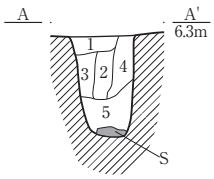
P3332



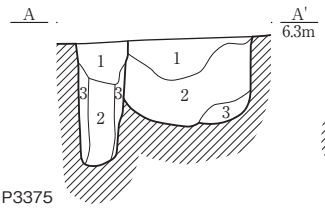
P3268
1 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　灰色粘土ブロック多量
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　灰色粘土ブロック多量
5 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有

P3332
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　灰色粘土ブロック少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　灰色粘土ブロック含有
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有
しまり有　黒褐色粘土ブロック含有
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　灰色粘土ブロック含有
5 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有
しまり有　黒褐色粘土ブロック含有

P3335



P3375、SK3376

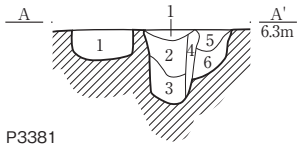


P3335
1 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
2 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有しまり有
3 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性有　しまり有
4 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性有　しまり有
3 層に準拠
5 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性有　しまり有

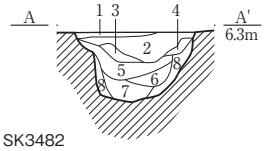
P3375
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
灰色粘土ブロック多量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
黒褐色粘土ブロック多量

SK3376
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
暗灰色粘土ブロック、炭化物多量
灰色粘土ブロック含有
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック、暗灰色粘土ブロック、
炭化物多量
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有

P3381・P3382



SK3482

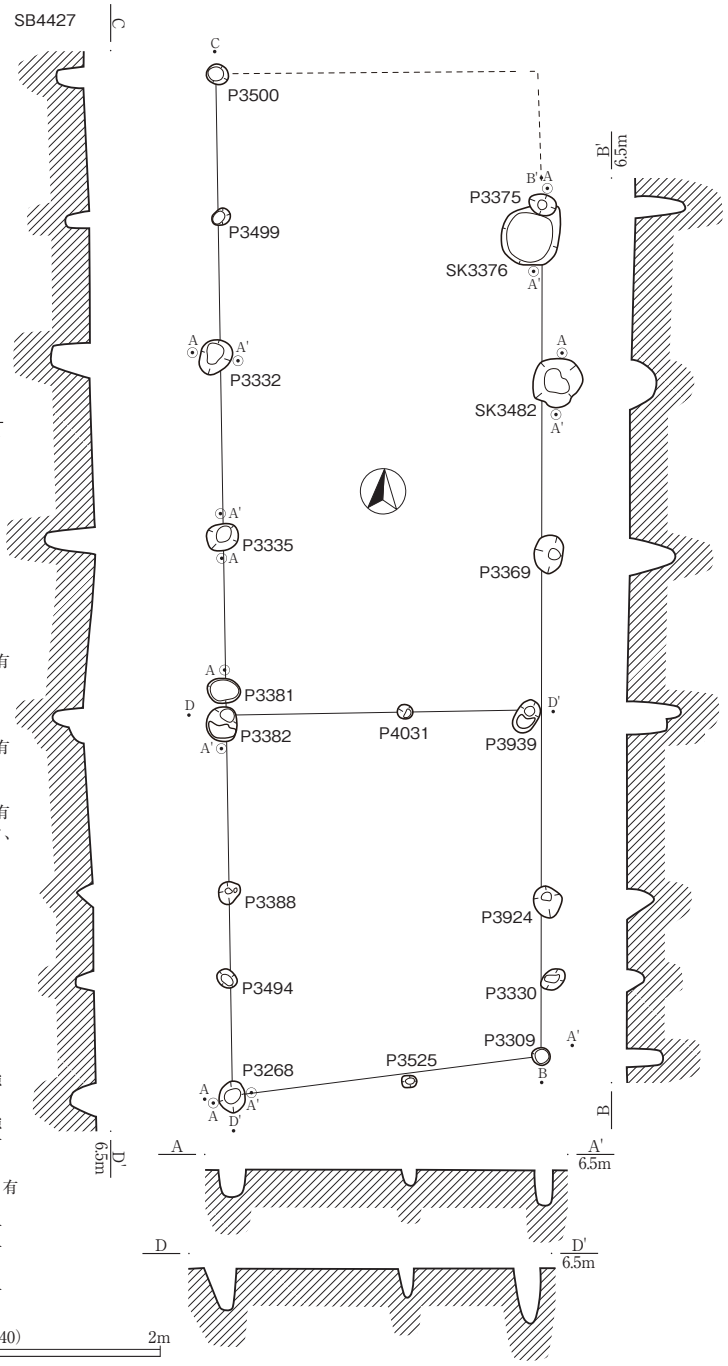


P3381
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有
しまり有　灰色粘土ブロック多量

P3382
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
2 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　灰色粘土ブロック多量
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　炭化物少量
5 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
6 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有

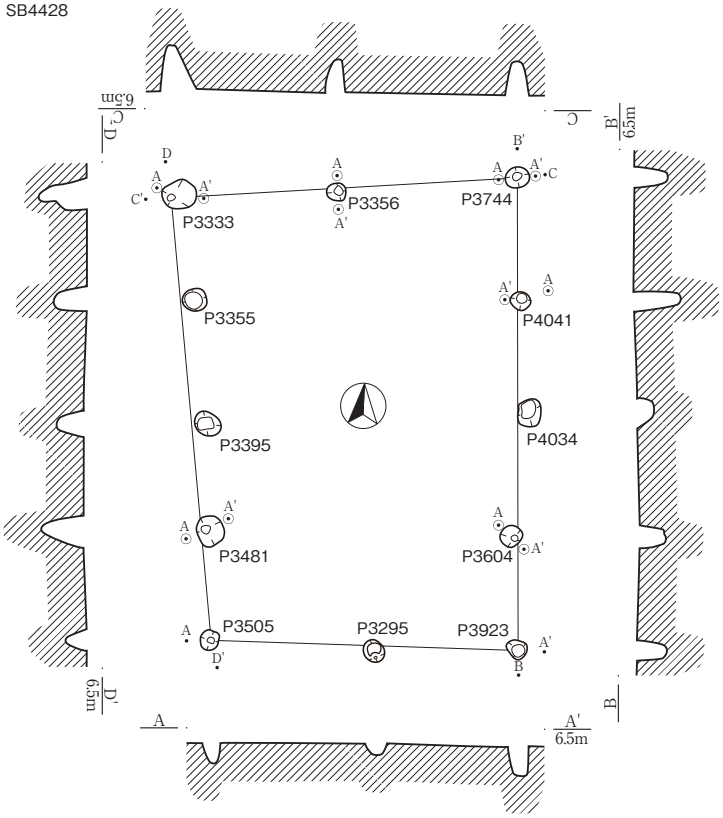
SK3482
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
炭化物少量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック少量
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量
5 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
6 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック少量
7 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
8 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有

SB4427

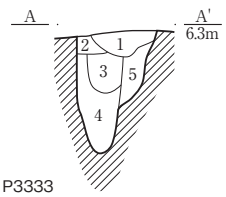


0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m　0　断面図（1：40）　2m

SB4428

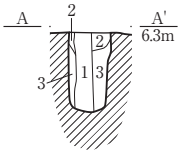


P3333



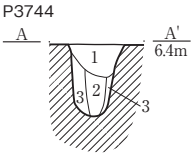
P3333
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性強　しまり有
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
黒褐色粘土ブロック少量
5 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
黒褐色粘土ブロック少量

P3356



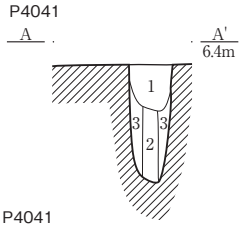
P3356
1 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性強　しまり有
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有
しまり有　黒色シルト少量
3 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性有　しまり有
黒褐色粘土ブロック少量

P3744



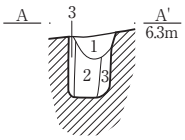
P3744
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強
しまり有　灰色粘土ブロック少量
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有
しまり有　黒褐色粘土ブロック少量

P4041



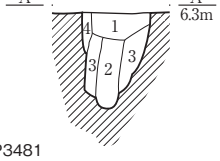
P4041
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有
しまり強　黒色シルト少量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強
しまり有
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有
しまり有

P3604



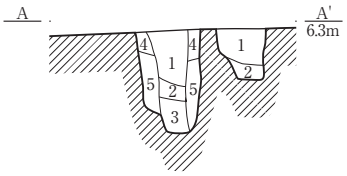
P3604
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有
しまり強　炭化物少量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有

P3481



P3481
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
炭化物、黒色シルト少量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有

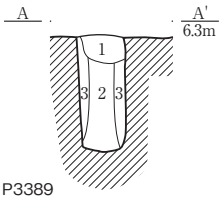
P3369･P3370



P3369
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック少量
2 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
黒褐色粘土ブロック多量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量
4 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量
5 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
黒褐色粘土ブロック少量

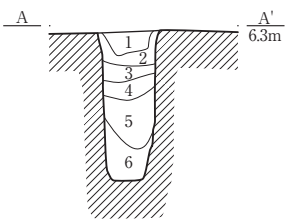
P3370
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
灰色粘土ブロック多量
2 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
黒褐色粘土ブロック少量

P3389



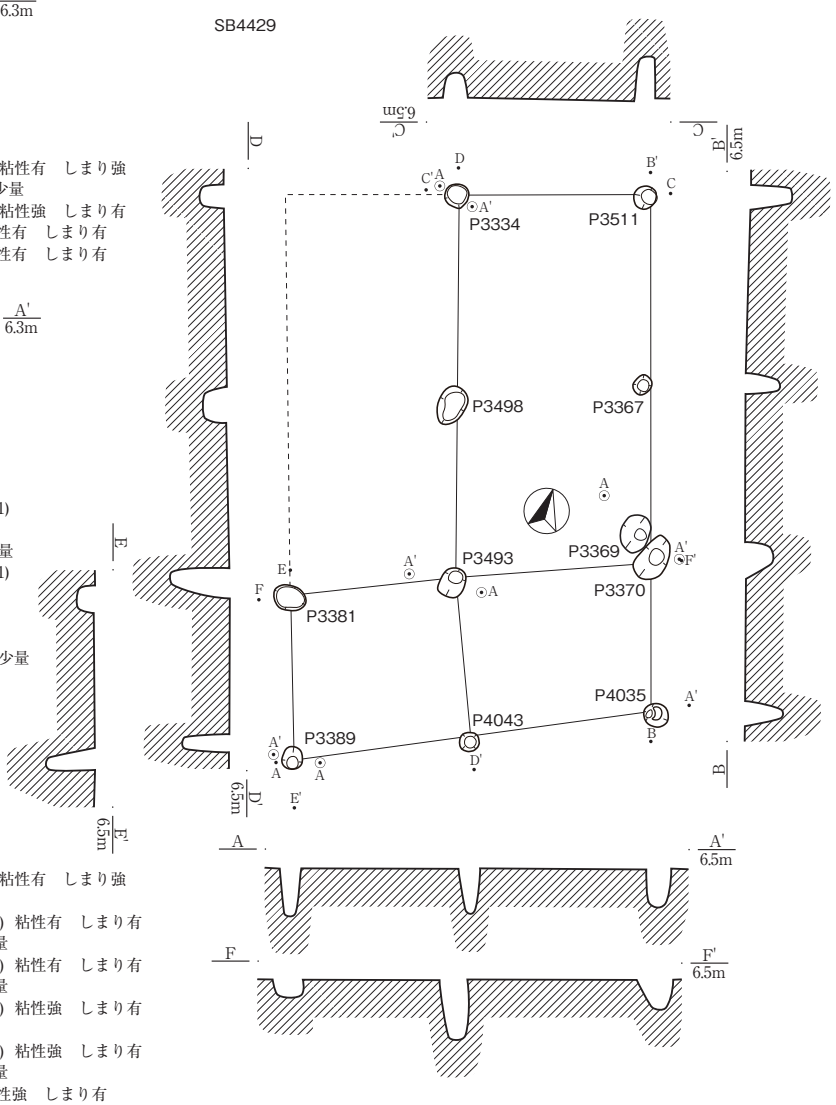
P3389
1 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有
3 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性有　しまり有
黒褐色粘土ブロック少量

P3493



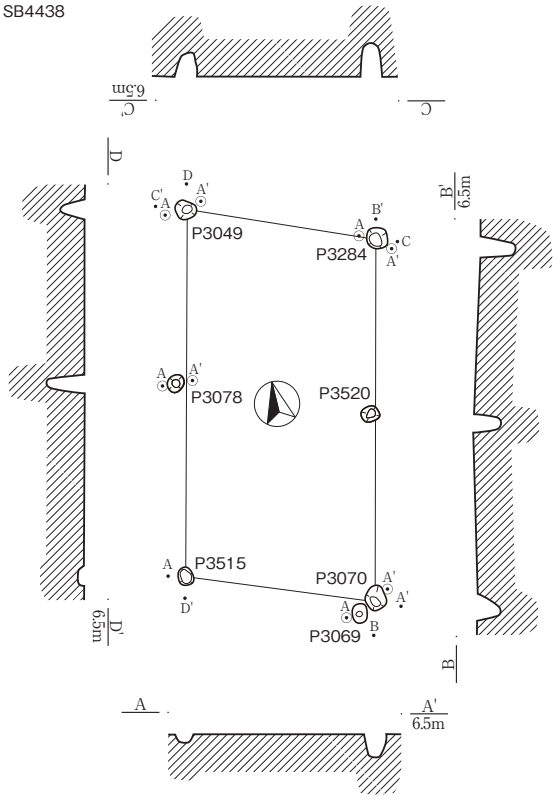
P3493
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
黒色シルト少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック少量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック少量
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
炭化物少量
5 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量
6 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性強　しまり有

SB4429

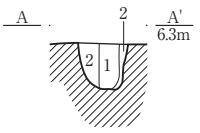


0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m　0　断面図（1：40）　2m

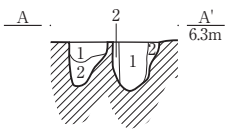
SB4438



P3049



P3069･P3070

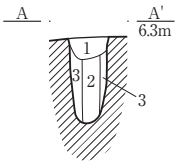


P3049
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
2　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有
　黒褐色粘土ブロック多量

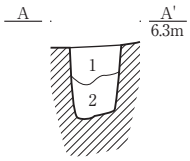
P3069
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
　灰色粘土ブロック少量
2　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有

P3070
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
　炭化物少量
2　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有

P3078



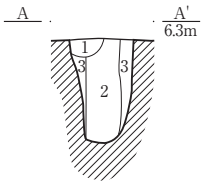
P3284



P3078
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
2　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性強　しまり有
　黒褐色粘土ブロック少量
3　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性強　しまり有

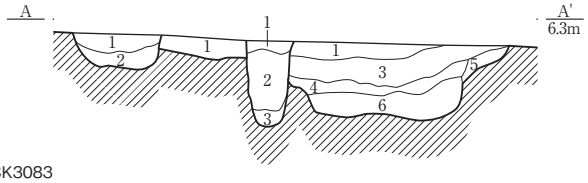
P3284
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
　炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　炭化物少量

P3082



P3082
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有
　しまり有　灰色粘土ブロック多量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強
　しまり有　炭化物多量
　灰色粘土ブロック少量
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強
　しまり有　灰色粘土ブロック多量

SK3083、P3084、SD3002

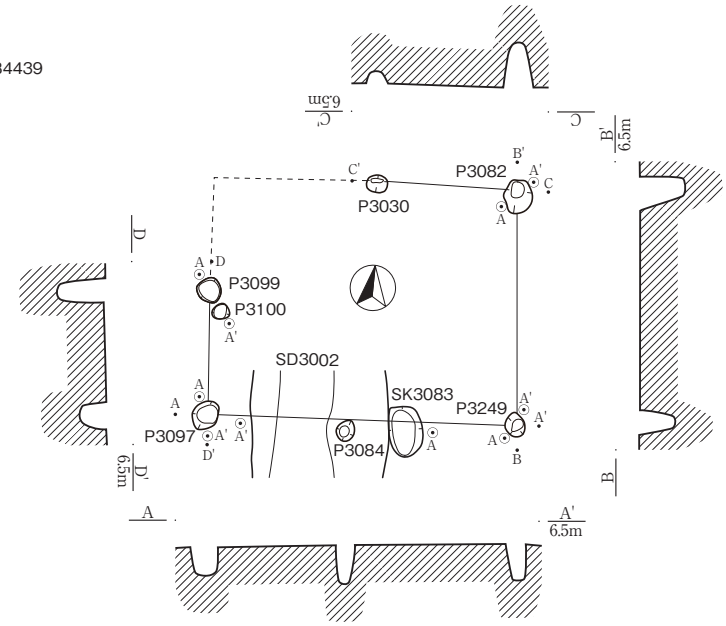


SK3083
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強　黒色シルト少量
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強

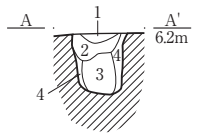
P3084
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強　黒色シルト少量
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
3　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有まりやや弱　黒褐色粘土ブロック少量

SD3002
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり強　炭化物少量
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量
4　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
5　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり強
6　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック少量

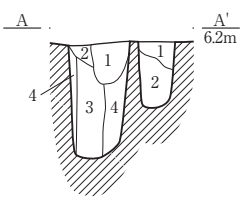
SB4439



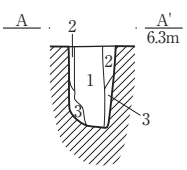
P3097



P3099･P3100



P3249



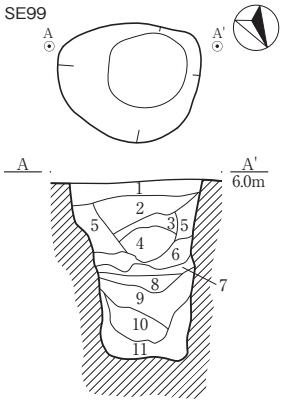
P3097
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有
　しまり強　灰色粘土ブロック少量
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強
　しまり有　灰色粘土ブロック多量
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強
　しまり有
4　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有
　しまり有　黒褐色粘土ブロック少量

P3099
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
　灰色粘土ブロック多量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
　灰色粘土ブロック少量
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
4　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有

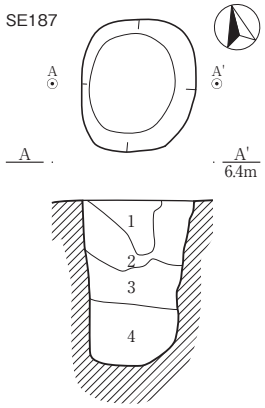
P3100
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
　灰色粘土ブロック多量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有

P3249
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強
　しまり有
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強
　しまり有
3　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有
　しまり有　黒褐色粘土ブロック少量

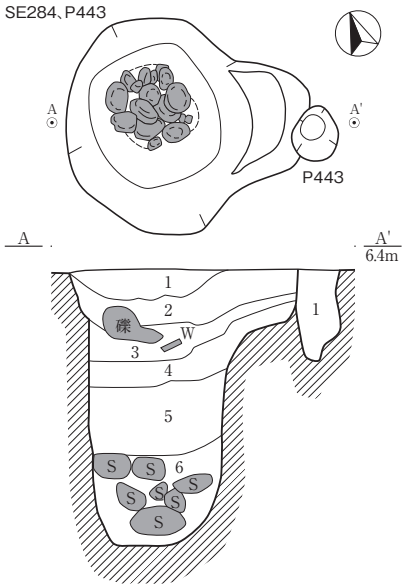
0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m　0　断面図（1：40）　2m



SE99
1　暗褐色粘土 (10YR3/3)　粘性強　しまり強
2　暗褐色粘土 (10YR3/3)　粘性強　しまり強　炭化物少量
3　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック多量
4　暗褐色粘土 (10YR3/4)　粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック含有
5　暗褐色粘土 (10YR3/4)　粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック少量
6　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり強　暗褐色粘土ブロック多量
7　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強　しまり強　暗褐色粘土ブロック含有
8　暗褐色粘土 (10YR3/3)　粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック含有
9　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強　しまり強　暗褐色粘土ブロック多量
10 褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強　しまり強　暗褐色粘土ブロック多量
11 暗褐色粘土 (10YR3/4)　粘性強　しまり強　褐灰色粘土粒子多量

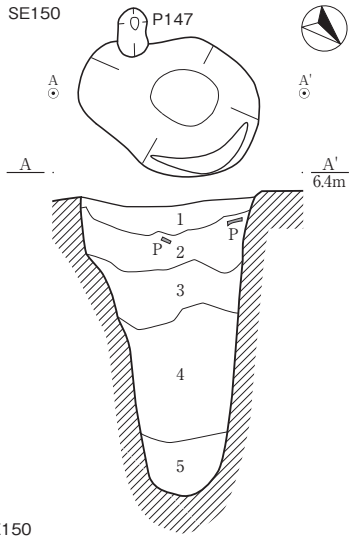


SE187
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強　炭化物少量
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強　灰色シルトブロック少量
3　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有　黒褐色粘土ブロック少量
　灰色シルト少量
4　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック少量

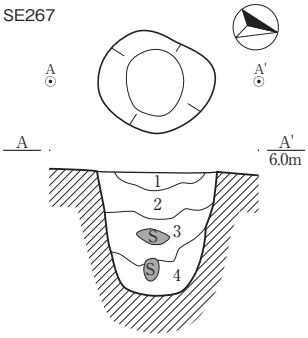


SE284
1　黒褐色粘土 (2.5YR3/1)　粘性有　しまり有　砂質粒子少量
2　黒褐色粘土 (2.5Y3/2)　粘性有　しまり有　砂質粒子少量
3　黒褐色粘土 (2.5YR3/2)　粘性有　しまり有　砂質粒子多量
4　黒褐色粘土 (2.5YR3/2)　粘性有　しまり有　砂質粒子含有
5　青灰色粘土 (5G6/1)　青灰色粘土ブロック、
　黒色粘土ブロック、砂粒少量
6　黒褐色粘土 (2.5YR3/2)　粘性有　しまり有

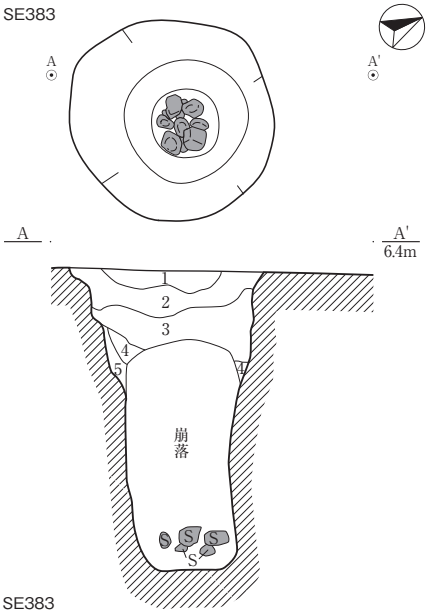
P443
1　褐灰色粘土(10YR6/1)　粘性有　しまり強　炭化物少量



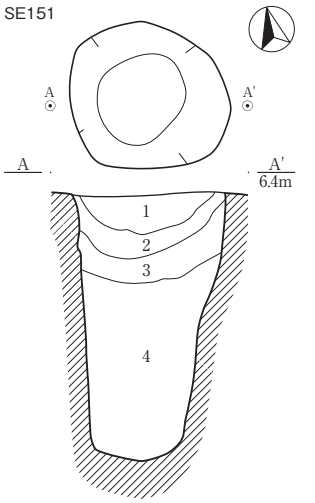
SE150
1　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり強
　黒色シルト多量　Ⅱ層を含有
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
3　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性強　しまり有
　黒色粘土ブロック多量　暗灰色粘土ブロック少量
4　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック少量
5　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有　未分解腐植物多量



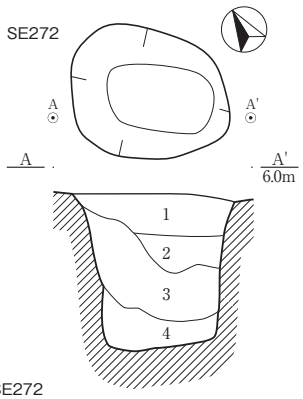
SE267
1　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり強
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり強
　灰色粘土ブロック多量　酸化鉄含有
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまりなし
　炭化物少量　細砂粒ブロック含有
4　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまりなし　炭化物少量



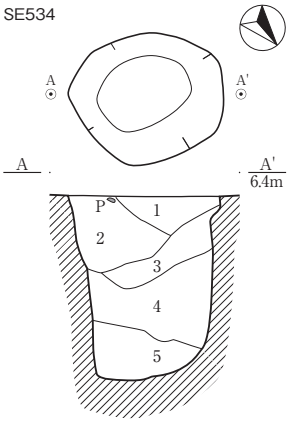
SE383
1　黒色シルト (10YR2/1)　粘性有　しまり強　炭化物少量
　白色粒子多量 (Ⅱ層に準拠)
2　黒色シルト (10YR2/1)　粘性有　しまり強
　灰色シルトブロック少量
3　黒色シルト (10YR2/1)　粘性強　しまり有
4　黒色砂 (10YR2/1)　粘性有　しまり有　炭化物少量
　白色粒子多量 (Ⅱ層に準拠)
5　黒色シルト (10YR2/1)　粘性強　しまり有



SE151
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
　灰色シルト多量　白色粒子少量　炭化物少量
　Ⅱ層を含有
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
3　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　灰色シルトブロック少量
4　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有



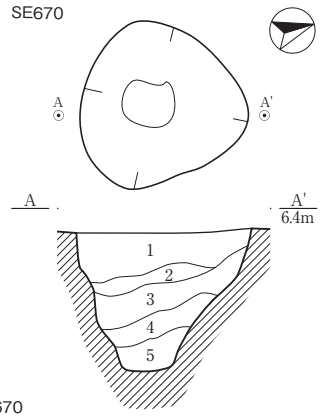
SE272
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
　灰色粘土ブロック含有
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
　灰色粘土ブロック多量
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
　灰色粘土ブロック少量
4　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
　灰色粘土粒子少量



SE534
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
　灰色シルトブロック、砂粒少量
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
　炭化物少量
3　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
　灰色粘土ブロック多量
　灰色シルトブロック、砂粒少量
4　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　灰色シルトブロック少量
5　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有

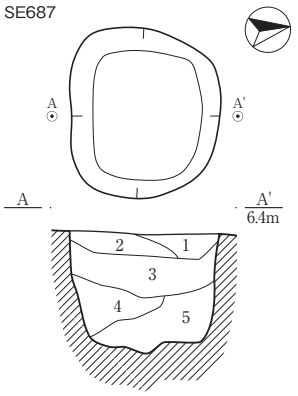
0　すべて（1：40）　2m

SE670



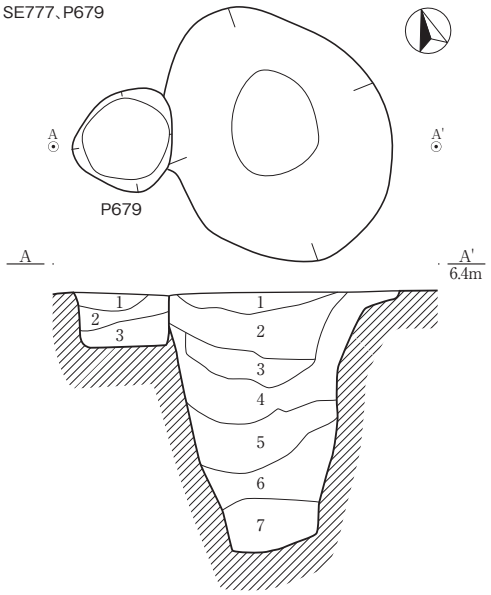
SE670
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック、炭化物含有
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック、炭化物少量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土粒子、炭化物含有
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粒子、炭化物少量
5 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土粒子多量

SE687



SE687
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　炭化物少量
4 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量
5 灰色粘土 (5Y4/1)　粘性強　しまり有

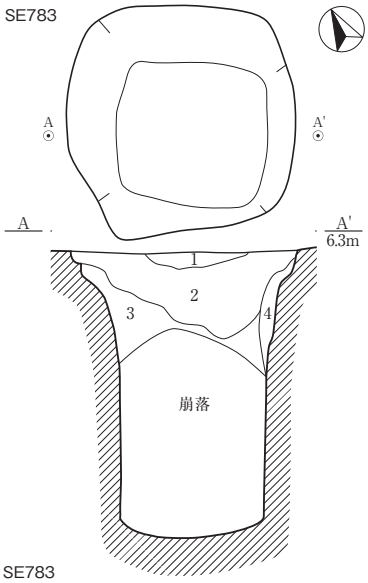
SE777、P679



SE777
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　炭化物、
地山粘土ブロック多量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　炭化物、
地山粘土ブロック含有
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　炭化物少量
5 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　炭化物多量　炭化物が砂粒化
6 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　地山粘土ブロック含有
7 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　地山粘土ブロック少量

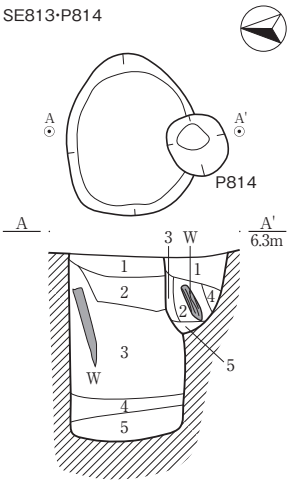
P679
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　炭化物少量

SE783



SE783
1 褐灰色粘土 (10YR6/1) 粘性強　しまり強
炭化物少量　灰色粘土ブロック多量
2 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強
炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
3 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり有
炭化物少量　灰色粘土ブロック、灰色シルト多量
4 灰白色粘土 (10YR7/1) 粘性強　しまり強
褐灰色粘土ブロック多量

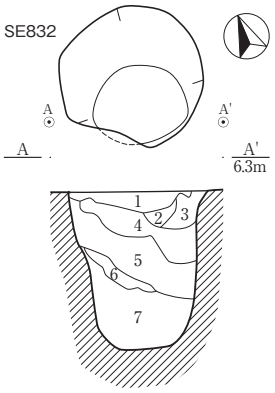
SE813･P814



SE813
1 黒色シルト (10YR2/1) 粘性有　しまり有
黒色粘土ブロック多量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
炭化物、灰色シルトブロック含有
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
灰色シルトブロック多量
4 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
5 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
黒色粘土ブロック多量

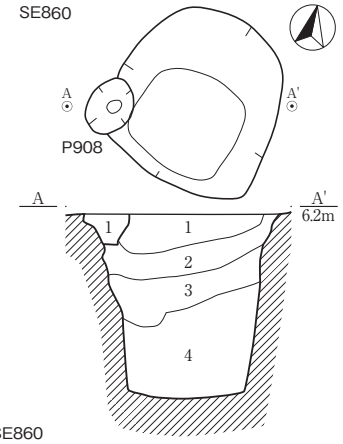
P814
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　黒色粘土多量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック少量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色シルトブロック多量
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
5 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有

SE832



SE832
1 黒色シルト (10YR2/1) 粘性有　しまり有
灰色シルトブロック少量
2 青黒色 (5B2/1) 粘性有　しまり有
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有　黒褐色粘土ブロック多量
5 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
6 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
7 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有

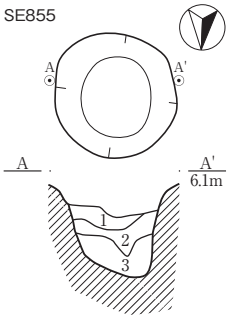
SE860



SE860
1 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
黒色粘土ブロック、暗灰色粘土ブロック多量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック少量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック含有
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量

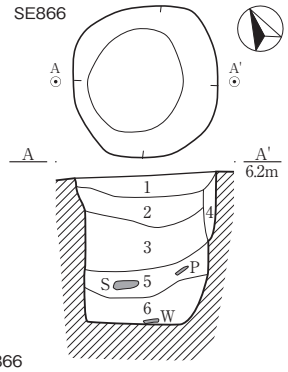
P908
1 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性有　しまり有

SE855



SE855
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
砂粒、炭化物多量
2 褐灰色粘土 (10YR6/1) 粘性強　しまり有
3 褐灰色粘土 (10YR6/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量

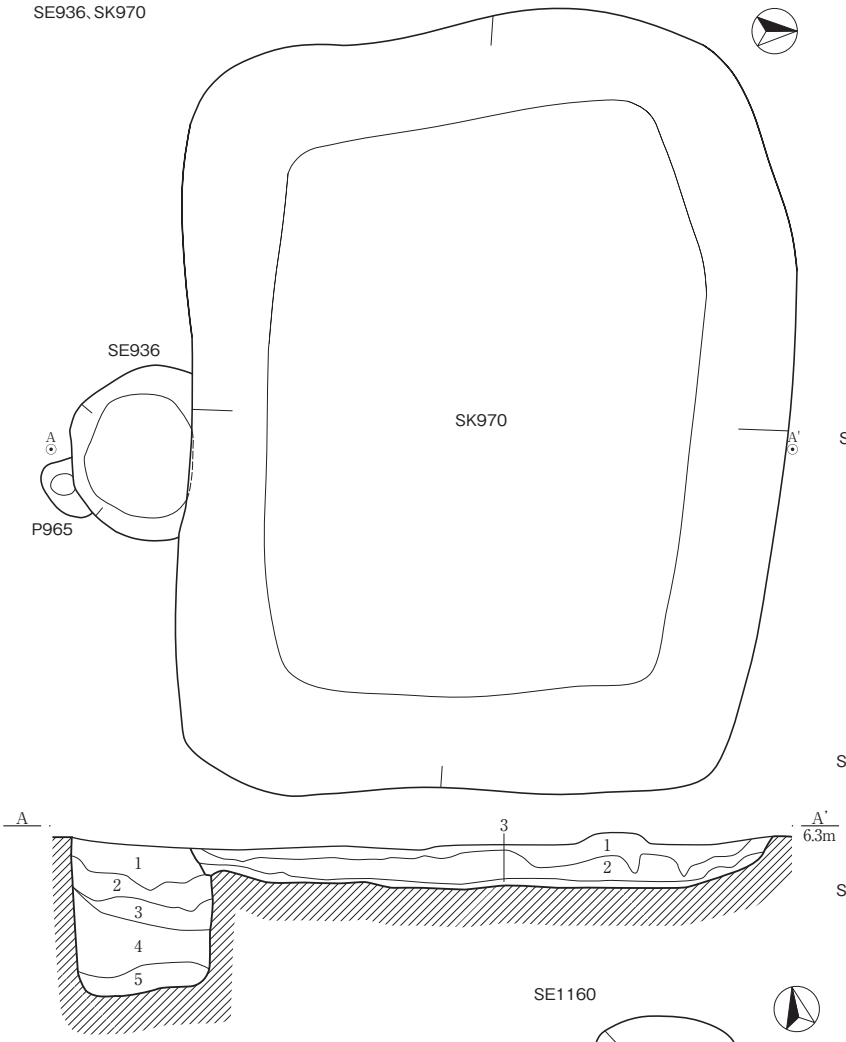
SE866



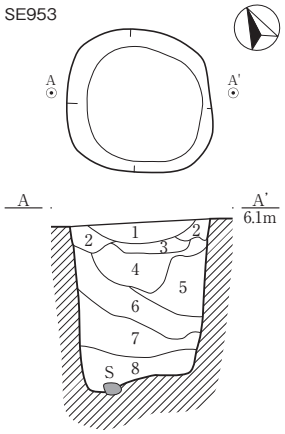
SE866
1 黒色シルト (10YR2/1) 粘性有　しまり強
灰色シルトブロック少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック少量
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量
5 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量
6 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有

0　すべて（1：40）　2m

SE936、SK970



SE953

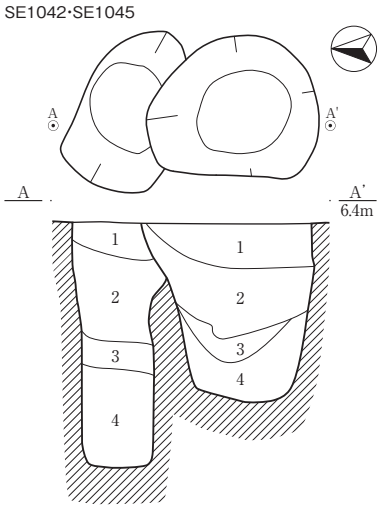


SE953
1 黒色シルト (10YR2/1) 粘性有　しまり強
灰色シルトブロック多量　炭化物少量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強　黒色シルト多量、
褐色砂粒少量
3 暗青灰色シルト (5B2/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック、
炭化物多量
4 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有　炭化物少量
5 黒色シルト (10YR2/1) 粘性強　しまり有　炭化物多量
6 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有　炭化物、
灰色シルトブロック多量
7 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　炭化物少量
8 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土多量、炭化物少量暗青灰色シルトブロック含有

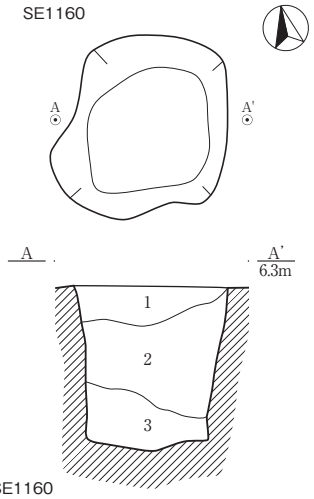
SE936
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック含有
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック少量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量
5 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック少量

SK970
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック含有
3 青灰色粘土 (5B6/1) 粘性有　しまり有　黒色粘土ブロック少量

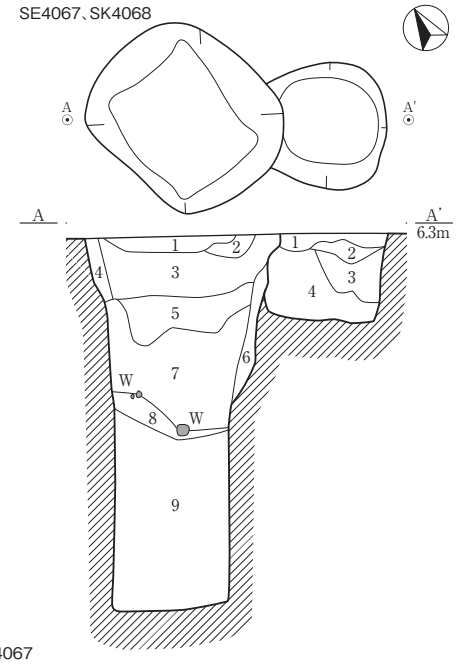
SE1042･SE1045



SE1160



SE4067、SK4068

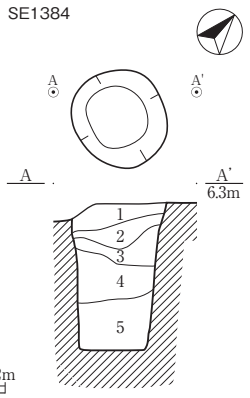


SE1160
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量

SE1042
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
炭化物少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック、炭化物、砂粒少量
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
炭化物含有
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
炭化物多量

SE1045
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック含有
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック含有
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック少量

SE1384



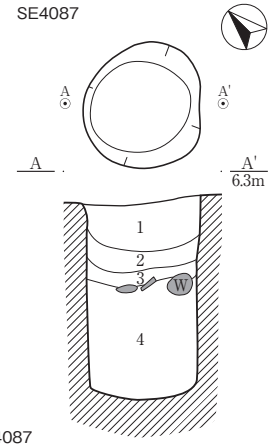
SE1384
1 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
炭化物少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
炭化物含有
3 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック含有
4 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
炭化粒子含有
5 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性有　しまりなし
炭化粒子多量

SE4067
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
2 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有　黒色粘土ブロック少量
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有　黒色粘土ブロック少量
5 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
6 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック多量
7 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
8 褐灰色粘土 (10YR6/1) 粘性強　しまり有
炭化物多量　灰色粘土ブロック多量
9 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
炭化物多量　灰色粘土ブロック多量

SK4068
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
黒色シルト少量
2 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり強
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり強

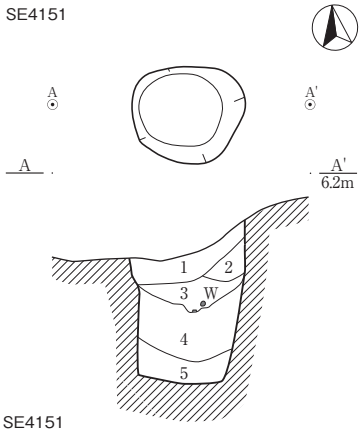
0　すべて（1：40）　2m

SE4087



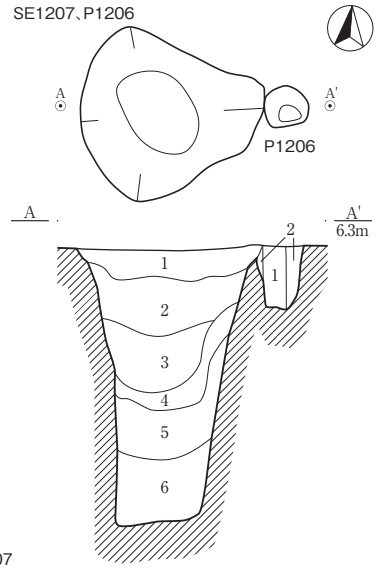
SE4087
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強
　黒色シルト多量
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
3　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　未分解腐植物少量
4　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　炭化物少量　未分解腐植物少量

SE4151



SE4151
1　黒褐色粘土 (10YR3/2)　粘性有　しまり有
2　黒褐色粘土 (10YR3/2)　粘性強　しまり有
3　黒褐色粘土 (10YR2/2)　粘性強　しまり有
　未分解腐植物少量
4　黒褐色粘土 (10YR2/2)　粘性強　しまり有
　未分解腐植物多量
5　黒褐色粘土 (10YR2/2)　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック、未分解腐植物少量

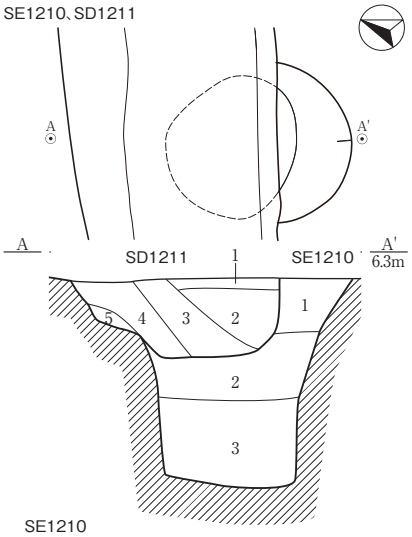
2区　SE1207、P1206



SE1207
1　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強　しまり強　炭化物少量
　灰色粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強　しまり強　炭化物少量
3　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　炭化物少量
4　褐灰色シルト (10YR4/1)　粘性強　しまり有　炭化物少量
　灰色シルトブロック多量
5　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック少量
6　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有
　灰色シルトブロック多量

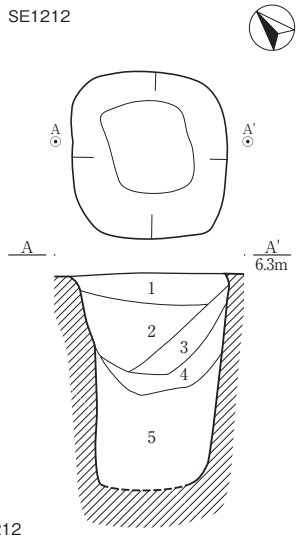
P1206
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強
　灰色粘土ブロック少量
2　灰白色粘土 (10YR7/1)　粘性強　しまり強
　褐灰色粘土ブロック少量

SE1210、SD1211



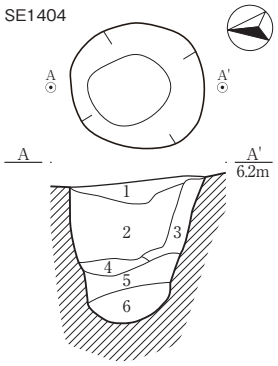
SE1210
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強
　炭化物、灰色粘土ブロック少量　砂粒多量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強
　炭化物少量　灰色粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり有
　炭化物少量　灰色粘土ブロック多量

SE1212



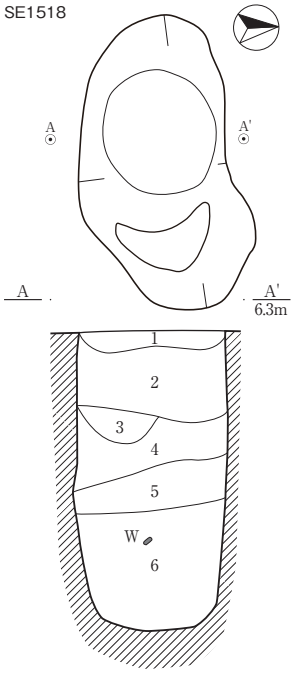
SE1212
1　にぶい黄褐色粘土 (10YR5/4)　粘性強　しまり強
　酸化強　砂粒多量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　炭化物多量
3　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有
　砂粒、白色粒子多量
4　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有　砂粒多量
5　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有

SE1404



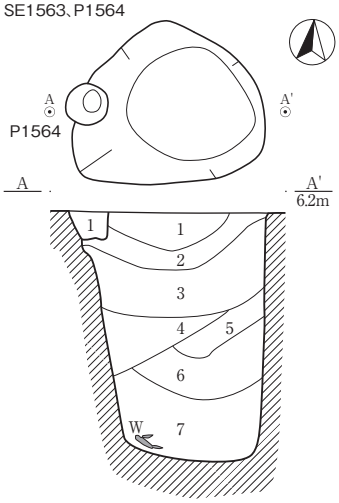
SE1404
1　褐灰色粘土 (7.5YR6/1)　粘性強　しまり強
　炭化物、砂粒少量
2　灰白色粘土 (10YR7/1)　粘性強　しまり強
　炭化物、灰色粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強
　炭化物、灰色粘土ブロック少量
4　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　炭化物多量
5　黒色シルト (10YR2/1)　粘性強　しまり有　炭化物多量
6　褐灰色シルト (10YR6/1)　粘性強　しまり有

SE1518



SE1518
1　黒色粘土 (10YR2/1)
　粘性有　しまり強
　黒色シルト、
　灰色粘土ブロック少量
　炭化物
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)
　粘性強　しまり有
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)
　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック多量
4　黒褐色粘土 (10YR3/1)
　粘性強　しまり有
　炭化物多量
　灰色粘土ブロック少量
5　黒色粘土 (10YR2/1)
　粘性有　しまり有
　微細な炭化物、
　灰色粘土ブロック多量
6　黒色粘土 (10YR2/1)
　粘性有　しまり有
　微細な炭化物、
　未分解腐植物多量

SE1563、P1564

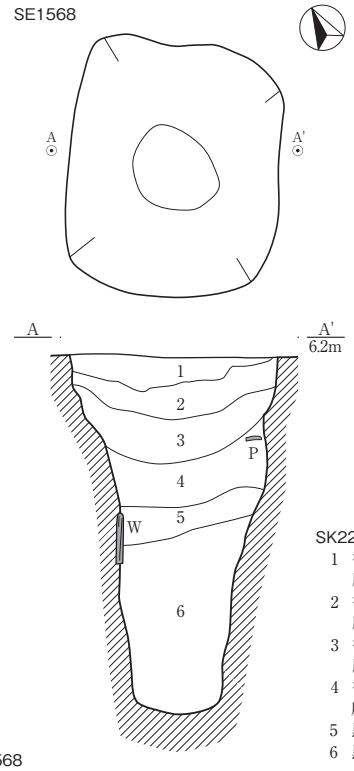


SE1563
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり強
　炭化物少量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり強
　灰色粘土ブロック多量　炭化物少量
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック、炭化物多量
4　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
　炭化物少量
5　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック多量
6　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック少量
7　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　炭化物少量　未分解腐植物多量

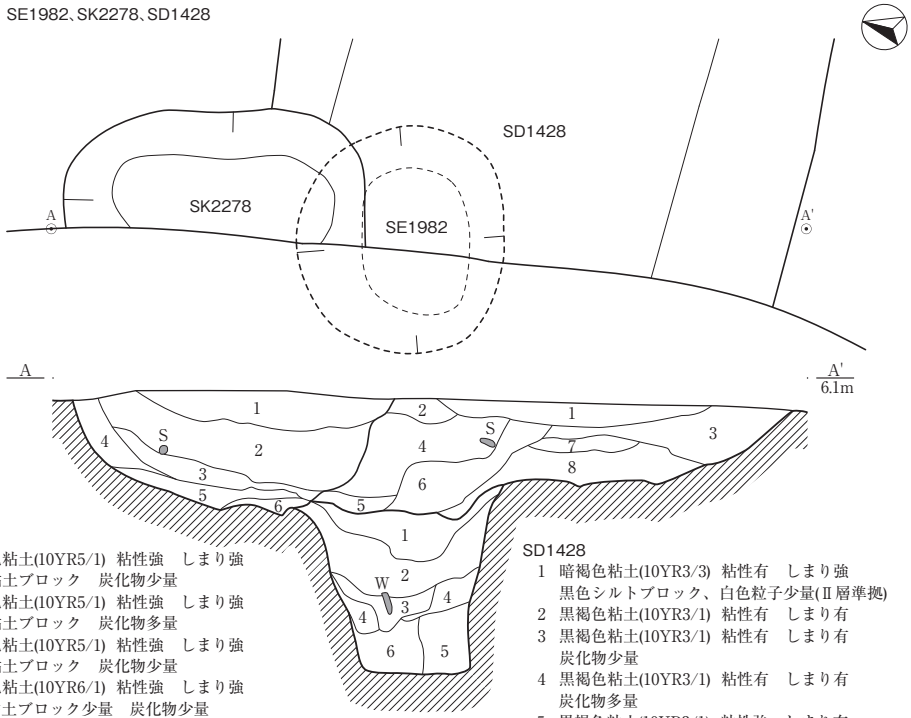
P1564
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
　灰色粘土ブロック多量

0　すべて（1：40）　2m

SE1568



SE1982、SK2278、SD1428



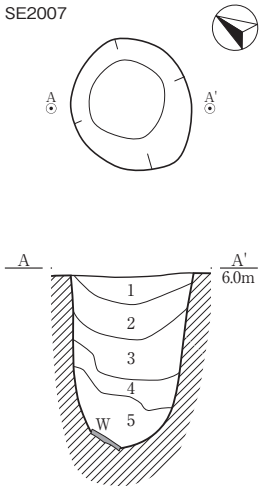
SE1568
1 黒色シルト(10YR2/1) 粘性有　しまり強
炭化物少量(Ⅱ層に準拠)
2 黒色粘土(10YR2/1) 粘性強　しまり有
3 黒色粘土(10YR2/1) 粘性強　しまり有
4 黒色粘土(10YR2/1) 粘性強　しまり有
5 黒色粘土(10YR2/1) 粘性強　しまり有
6 黒色粘土(10YR2/1) 粘性強　しまり有
未分解腐植物多量

SK2278
1 褐灰色粘土(10YR5/1) 粘性強　しまり強
灰色粘土ブロック　炭化物少量
2 褐灰色粘土(10YR5/1) 粘性強　しまり強
灰色粘土ブロック　炭化物多量
3 褐灰色粘土(10YR5/1) 粘性強　しまり強
灰色粘土ブロック　炭化物少量
4 褐灰色粘土(10YR6/1) 粘性強　しまり強
灰色粘土ブロック少量　炭化物少量
5 黒褐色シルト(10YR3/1) 粘性強　しまり有　炭化物少量
6 黒褐色シルト(10YR3/1) 粘性強　しまり有　灰色シルト少量

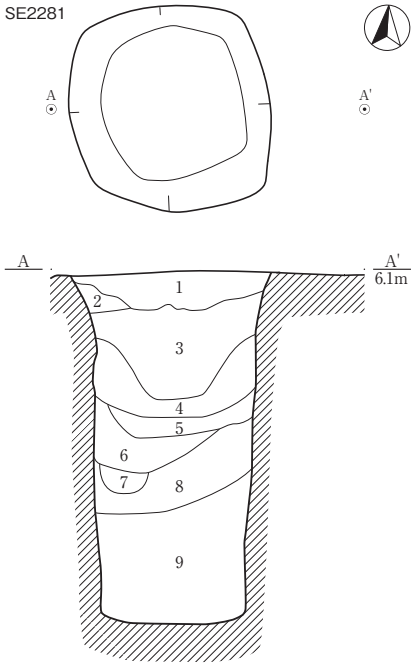
SE1982
1 褐灰色粘土(5YR6/1) 粘性強　しまり有　炭化物少量
2 褐灰色粘土(5YR6/1) 粘性強　しまり有　炭化物多量
灰色粘土ブロック多量　灰色シルト少量
3 褐灰色シルト(5YR6/) 粘性強　しまり有　炭化物、砂粒多量
4 黒褐色シルト(10YR3/1) 粘性強　しまり有　炭化物少量
5 黒褐色シルト(10YR3/1) 粘性強　しまり有　炭化物少量　灰色シルト少量
6 黒褐色シルト(10YR3/1) 粘性強　しまり有　炭化物多量

SD1428
1 暗褐色粘土(10YR3/3) 粘性有　しまり強
黒色シルトブロック、白色粒子少量(Ⅱ層準拠)
2 黒褐色粘土(10YR3/1) 粘性有　しまり有
3 黒褐色粘土(10YR3/1) 粘性有　しまり有
炭化物少量
4 黒褐色粘土(10YR3/1) 粘性有　しまり有
炭化物多量
5 黒褐色粘土(10YR3/1) 粘性強　しまり有
炭化物多量　灰色粘土、砂粒多量
6 黒褐色粘土(10YR3/1) 粘性強　しまり有
7 黄灰色粘土(2.5Y4/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量
8 黒褐色粘土(10YR3/1) 粘性強　しまり有
炭化物多量　灰色粘土、砂粒多量

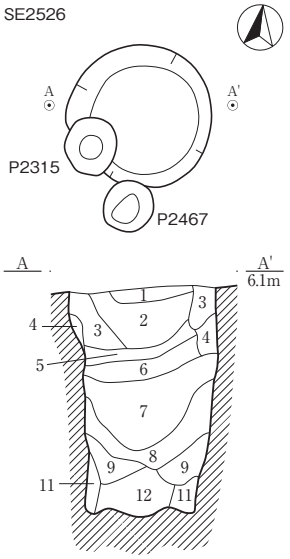
SE2007



SE2281



SE2526



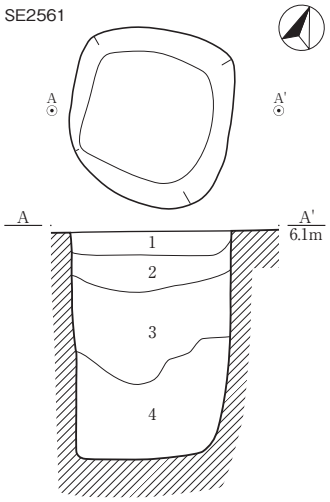
SE2007
1 黒色粘土(10YR2/1) 粘性強　しまり有
炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
2 黒色粘土(10YR2/1) 粘性強　しまり有
炭化物少量
3 黒色粘土(10YR2/1) 粘性強　しまり有
4 黒色粘土(10YR2/1) 粘性強　しまり有
5 黒色粘土(10YR2/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量

SE2281
1 黒褐色粘土(10YR3/1) 粘性有　しまり強　黒色シルト多量
2 黒色粘土(10YR2/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量
3 黒色粘土(10YR2/1) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック、
炭化物少量
4 黒色粘土(10YR2/1) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック、
炭化物少量
5 黒色粘土(10YR2/1) 粘性強　しまり有　微細な炭化物、
灰色粘土ブロック多量
6 オリーブ黒褐色(5Y2/2) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量
7 オリーブ黒褐色(5Y2/2) 粘性強　しまり有　微細な炭化物、
灰色粘土ブロック少量
8 黒色粘土(10YR2/1) 粘性有　しまり有　微細な炭、
灰色粘土ブロック多量
9 オリーブ黒色(5Y2/2) 粘性強　しまり有
未分解腐植物、灰色粘土ブロック多量

SE2526
1 褐灰色粘土(10YR6/1) 粘性強　しまり強　炭化物、
灰色粘土ブロック、砂粒多量
2 褐灰色粘土(10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物、
灰色粘土ブロック少量
3 褐灰色粘土(10YR4/1) 粘性強　しまり強
灰色粘土ブロック少量
4 灰白色粘土(10YR7/1) 粘性強　しまり強
5 黒褐色粘土(10YR3/1) 粘性強　しまり有　炭化物多量
灰色粘土ブロック少量
6 褐灰色粘土(10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物、
灰色粘土ブロック多量
7 黒褐色粘土(10YR3/1) 粘性強　しまり有　炭化物多量
灰色粘土ブロック少量
8 褐灰色粘土(10YR4/1) 粘性強　しまり有　炭化物、
灰色粘土ブロック多量
9 黒色粘土(10YR2/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック少量
10 褐灰色粘土(10YR6/1) 粘性強　しまり有　炭化物少量
11 黒褐色シルト(10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック 少量
12 黒褐色シルト(10YR3/1) 粘性強　しまり有　炭化物、
灰色粘土ブロック少量

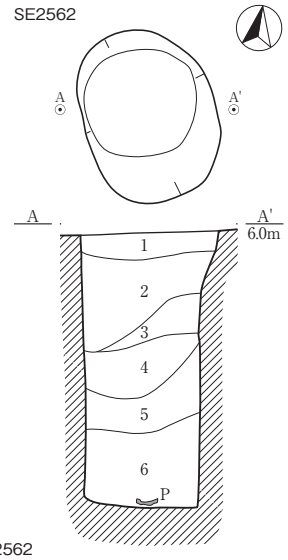
0　すべて（1：40）　2m

SE2561



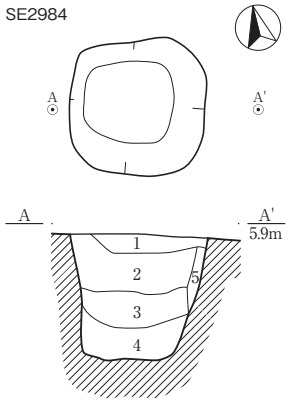
SE2561
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
灰色粘土ブロック少量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
未分解腐植物多量

SE2562



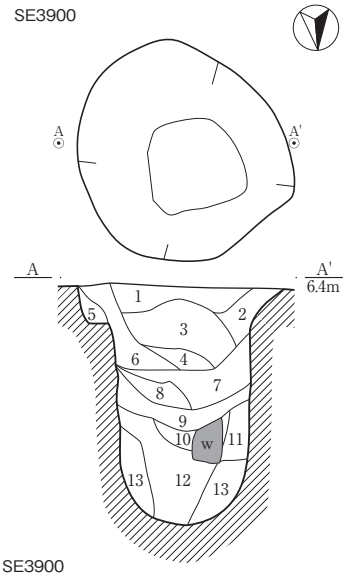
SE2562
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
炭化物少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック少量
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量
5 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック少量
6 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック少量　未分解腐植物多量

SE2984



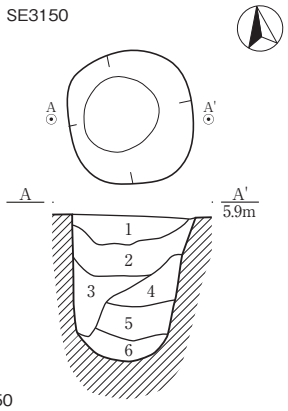
SE2984
1 褐灰色粘土 (10YR6/1) 粘性強　しまり強
炭化物、砂粒多量
2 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強
炭化物多量
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
未分解腐植物少量
4 褐灰色粘土 (10YR6/1) 粘性強　しまり有
炭化物多量
5 灰白色粘土 (10YR7/1) 粘性強　しまり強
褐色粘土ブロック少量

SE3900



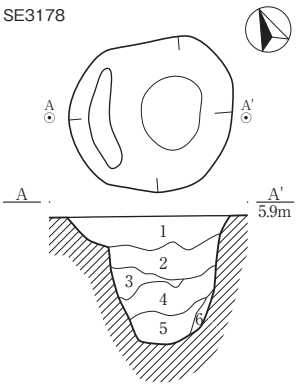
SE3900
1 褐灰色粘土 (10YR6/1) 粘性強　しまり強
炭化物、灰色粘土ブロック、砂粒多量
2 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強
炭化物、灰色粘土ブロック少量
3 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強
炭化物、灰色粘土ブロック少量
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
5 灰白色粘土 (10YR7/1) 粘性強　しまり強
褐灰色粘土ブロック少量
6 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強
炭化物、灰色粘土ブロック多量
7 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
8 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり有
炭化物、灰色粘土ブロック多量
9 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック少量
10 褐灰色粘土 (10YR6/1) 粘性強　しまり有
11 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり有
炭化物、灰色粘土ブロック多量
12 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック少量
13 褐灰色粘土 (10YR6/1) 粘性強　しまり有
炭化物少量、灰色粘土ブロック多量

SE3150



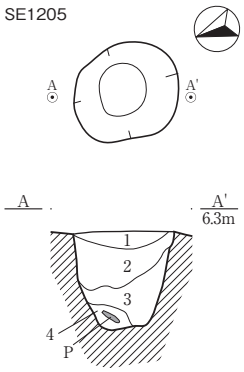
SE3150
1 褐灰色粘土 (10YR5/1) 粘性強　しまり強
炭化物少量　砂粒多量
2 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強
炭化物少量　灰色粘土ブロック少量
3 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強
灰色粘土シルト少量
4 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強
炭化物多量
5 褐灰色シルト (10YR5/1) 粘性強　しまり強
炭化物少量　灰色粘土ブロック少量
6 褐灰色シルト (10YR5/1) 粘性強　しまり有
炭化物少量

SE3178



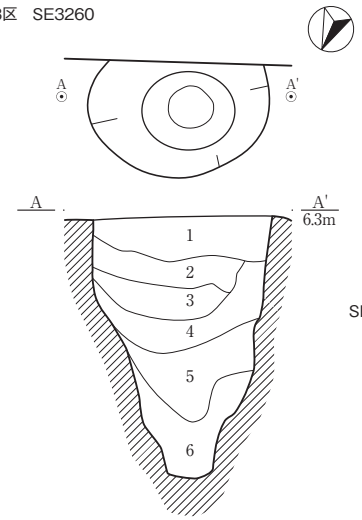
SE3178
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり強
炭化物、砂粒多量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック少量
3 明青灰色粘土 (10BG7/1) 粘性強　しまり強
褐色粘土ブロック多量
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり強
灰色粘土ブロック多量
5 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量
6 明青灰色粘土 (10BG7/1) 粘性強　しまり有
褐色ブロック少量

SE1205



SE1205
1 褐灰色粘土 (10YR6/1) 粘性強　しまり強
炭化物、砂粒多量
2 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強
炭化物多量　灰色粘土ブロック多量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有　炭化物少量
4 黒褐色シルト (10YR3/1) 粘性強　しまり有　炭化物少量

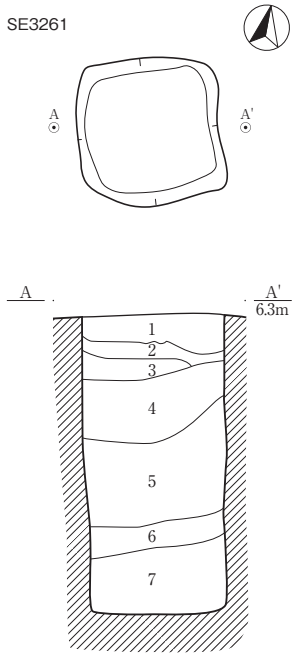
3区　SE3260



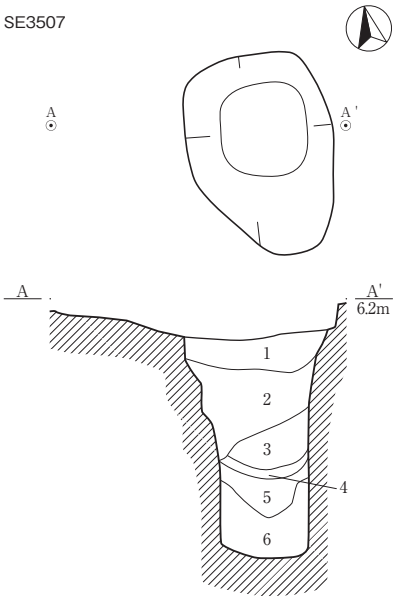
SE3260
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
灰色粘土ブロック、灰白色粘土ブロック、炭化物多量
2 黒照粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　炭化物少量
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
4 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
5 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
6 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有

0　すべて（1：40）　2m

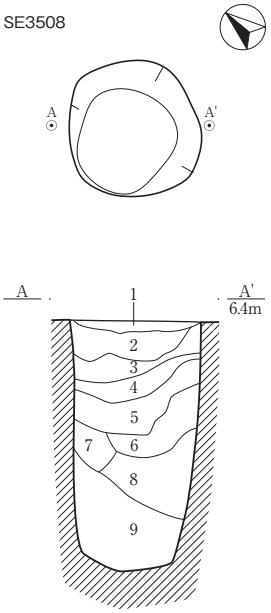
SE3261



SE3507



SE3508

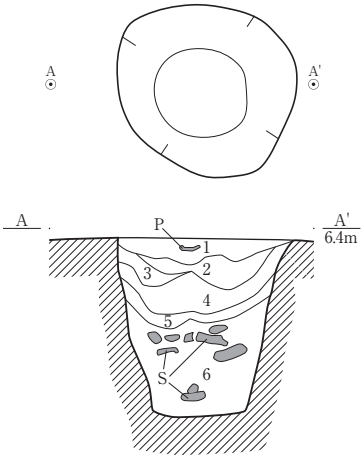


SE3261
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
　炭化物少量
3　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
4　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
5　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック多量
6　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有
　黒色粘土ブロック多量
7　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　炭化物少量　未分解腐植物多量

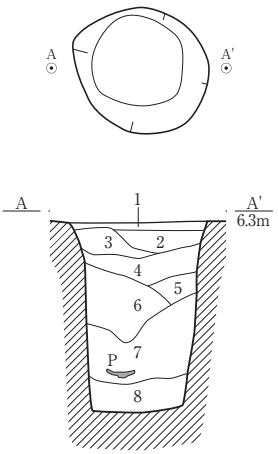
SE3507
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
3　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
4　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　炭化物層
5　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　未分解腐植物少量
6　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　未分解腐植物多量　灰色粘土ブロック少量

SE3508
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強
　炭化物少量　黒色シルト少量
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強
　炭化物多量
3　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
4　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
5　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
6　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
7　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
　灰色粘土ブロック、炭化物少量
8　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック少量
9　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　未分解腐植物少量

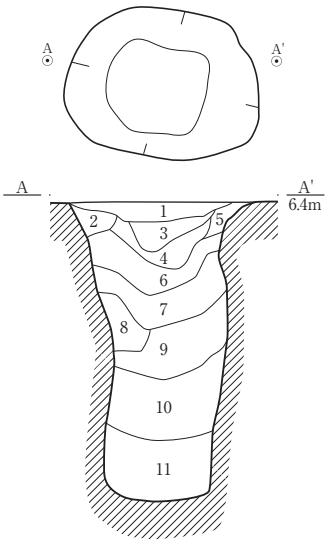
SE3623



SE3704



SE3726



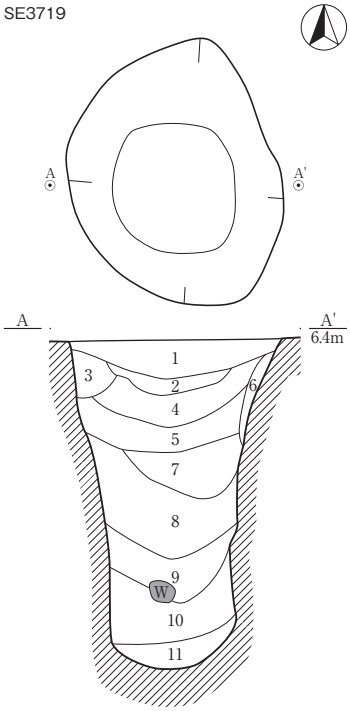
SE3623
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強
　灰色粘土ブロック多量
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
4　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
　炭化物少量
5　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック多量
6　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
　炭化物少量

SE3704
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
3　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強
　黒色シルト少量
4　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有
5　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック含有
6　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック少量
7　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック多量
8　黒褐色粘土 (10YR2/2)　粘性強　しまり有
　未分解腐植物少量

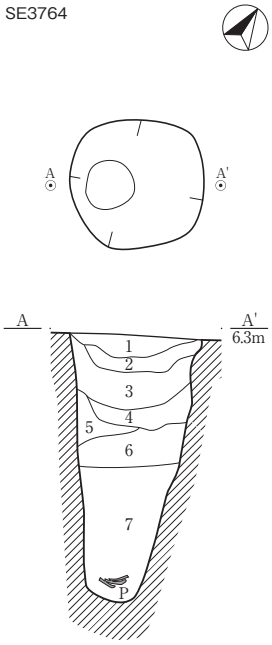
SE3726
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性有　しまり強
　炭化物微量　黒色シルトブロック少量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性有　しまり強
　灰白色粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性有　しまり強
4　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性有　しまり強　炭化物少量
5　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有　黒褐色粘土ブロック少量
6　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
7　黒色シルト(10YR2/1)　粘性有　しまり強　炭化物含有
　黒色粘土ブロック少量
8　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり　強灰色粘土ブロック多量
9　黒色シルト(10YR2/1)　粘性有　しまり強
10 黒褐色シルト(10YR2/2)　粘性強　しまり有
　灰色粘土ブロック多量　未分解腐植物少量
11 黒褐色粘土 (10YR3/2)　粘性強　しまり有　未分解腐植物少量

0　すべて（1：40）　2m

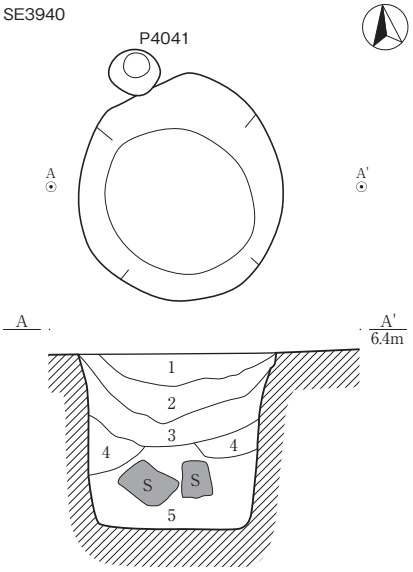
SE3719



SE3764



SE3940

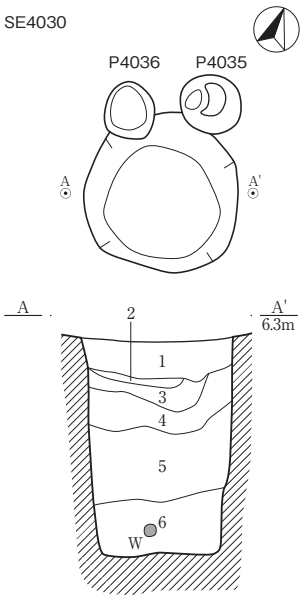


SE3719
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強　炭化物、黒色シルト少量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　炭化物多量
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり強　黒褐色粘土ブロック多量
4 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　炭化物少量
5 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック少量
6 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり強
7 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量　炭化物少量
8 黒褐色粘土 (10YR2/2) 粘性強　しまり有
9 黒褐色粘土 (10YR2/2) 粘性強　しまり有　未分解腐植物多量
10 黒褐色粘土 (10YR2/2) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック多量　未分解腐植物少量
11 黒褐色粘土 (10YR3/2) 粘性強　しまり有　未分解腐植物少量

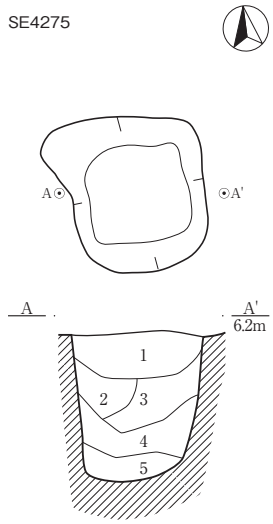
SE3764
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　炭化物少量　黒色シルト少量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
4 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック少量
5 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
6 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック少量　未分解腐植物少量
7 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有　未分解腐植物多量

SE3940
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強　黒色シルト少量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　炭化物多量
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック多量
4 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック多量
5 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有

SE4030



SE4275

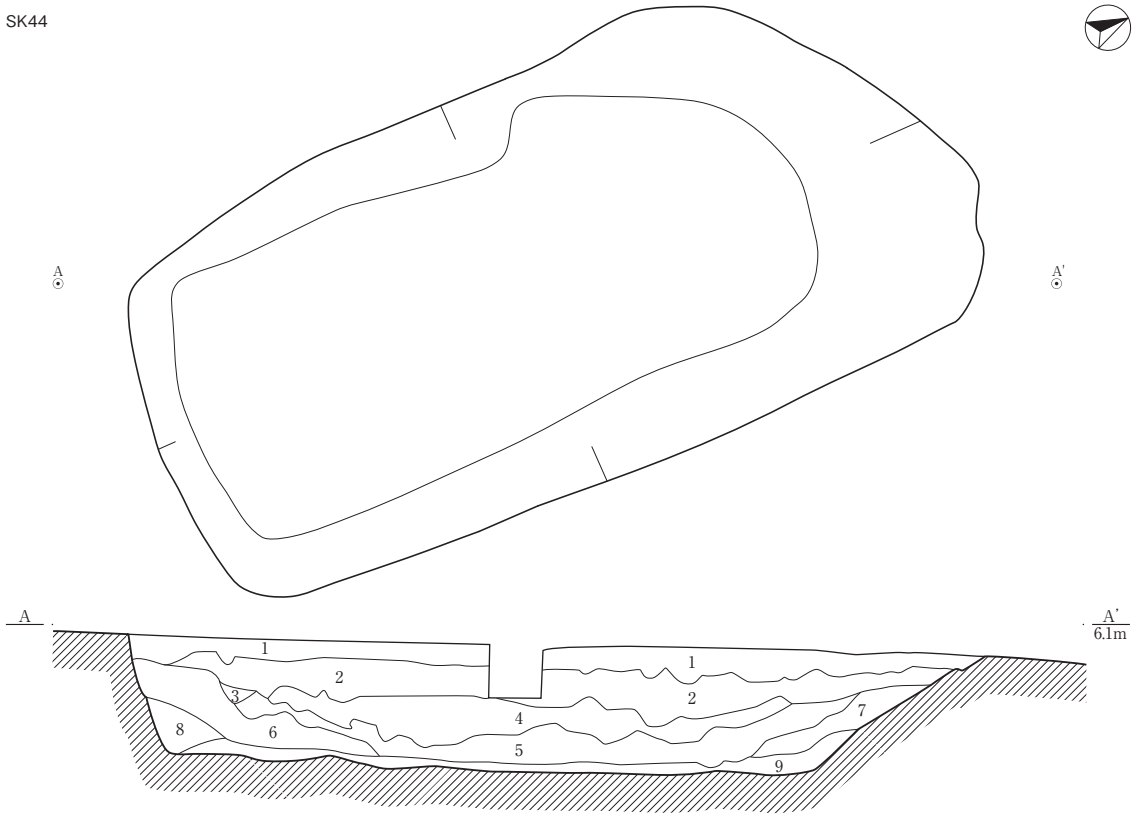


SE4030
1 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック少量
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
4 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック少量
5 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり弱
6 褐灰色シルト (10YR2/1) 粘性強　しまり強　炭化物多量　灰粘土ブロック少量

SE4275
1 褐灰色粘土 (10YR5/1) 粘性強　しまり強　炭化物多量　灰色粘土ブロック多量
2 褐灰色粘土 (10YR5/1) 粘性強　しまり強　炭化物少量　灰色粘土ブロック多量
3 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
4 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物少量
5 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物多量　灰色粘土ブロック少量

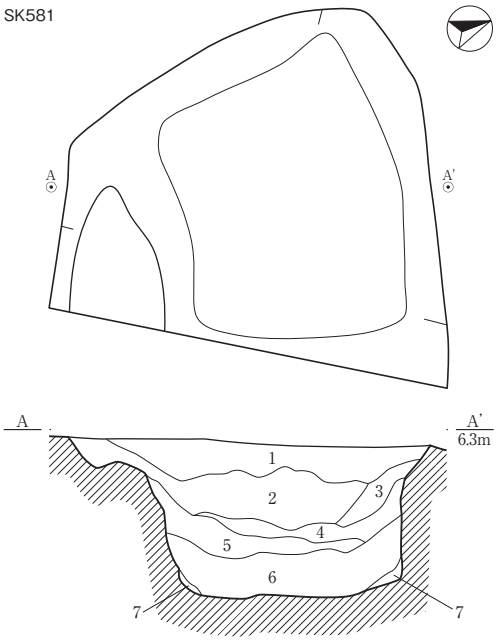
0　すべて（1：40）　2m

SK44



SK44
1　灰色粘土 (N4/1)　粘性有　しまり強　暗灰色粘土ブロック、灰色粘土ブロック多量、灰色シルトブロック多量
2　灰色粘土 (N4/1)　粘性有　しまり強　暗灰色粘土ブロック、灰色粘土ブロック多量、灰色シルト大ブロック多量
3　灰黄色粘土 (2.5Y6/2)　粘性強　しまり強　暗灰色粘土ブロック、黒褐色粘土ブロック少量
4　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック、暗灰色粘土ブロック、灰色シルトブロック多量
5　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック少量
6　灰色粘土 (N4/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック少量
7　灰色粘土 (N4/1)　粘性強　しまり有　黄灰色粘土ブロック多量　黒褐色粘土ブロック、灰色粘土ブロック少量
8　灰色粘土 (N4/1)　粘性強　しまり強　黄灰色粘土ブロック、黒褐色粘土ブロック、灰色粘土ブロック少量
9　黒褐色粘土 (2.5Y3/2)　粘性強　しまり有

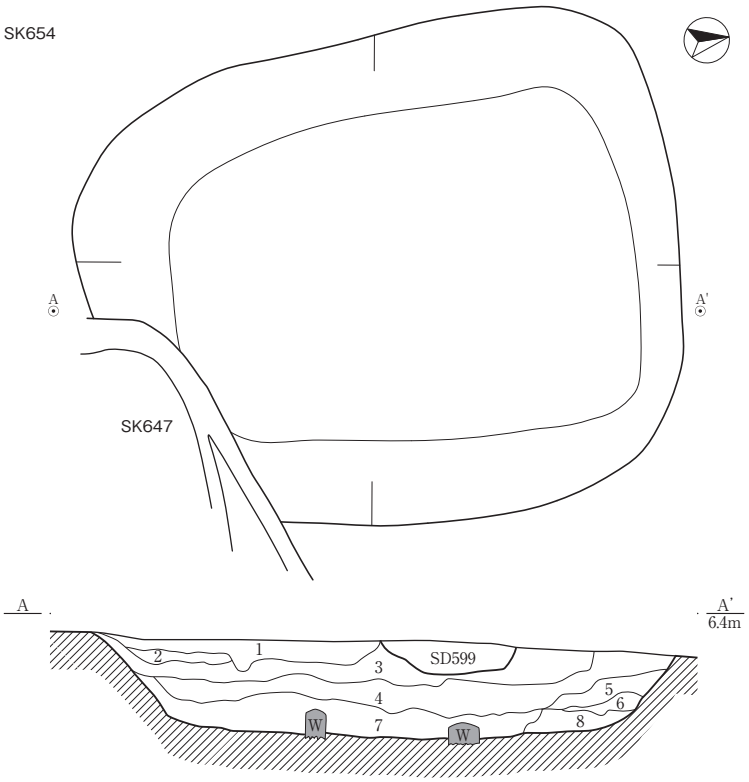
SK581



SK581
1　にぶい黄褐色 (10YR4/3)　粘性強　しまり強　炭化物、
　灰色粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック、
　炭化物多量
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック、
　炭化物少量　砂粒含有
4　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　炭化物少量
　褐色粘土ブロック多量
5　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　炭化物少量
　褐色ブロック多量
6　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有　炭化物多量
7　青灰色粘土 (10BG7/1)　粘性強　しまり有　褐色粘土ブロック多量

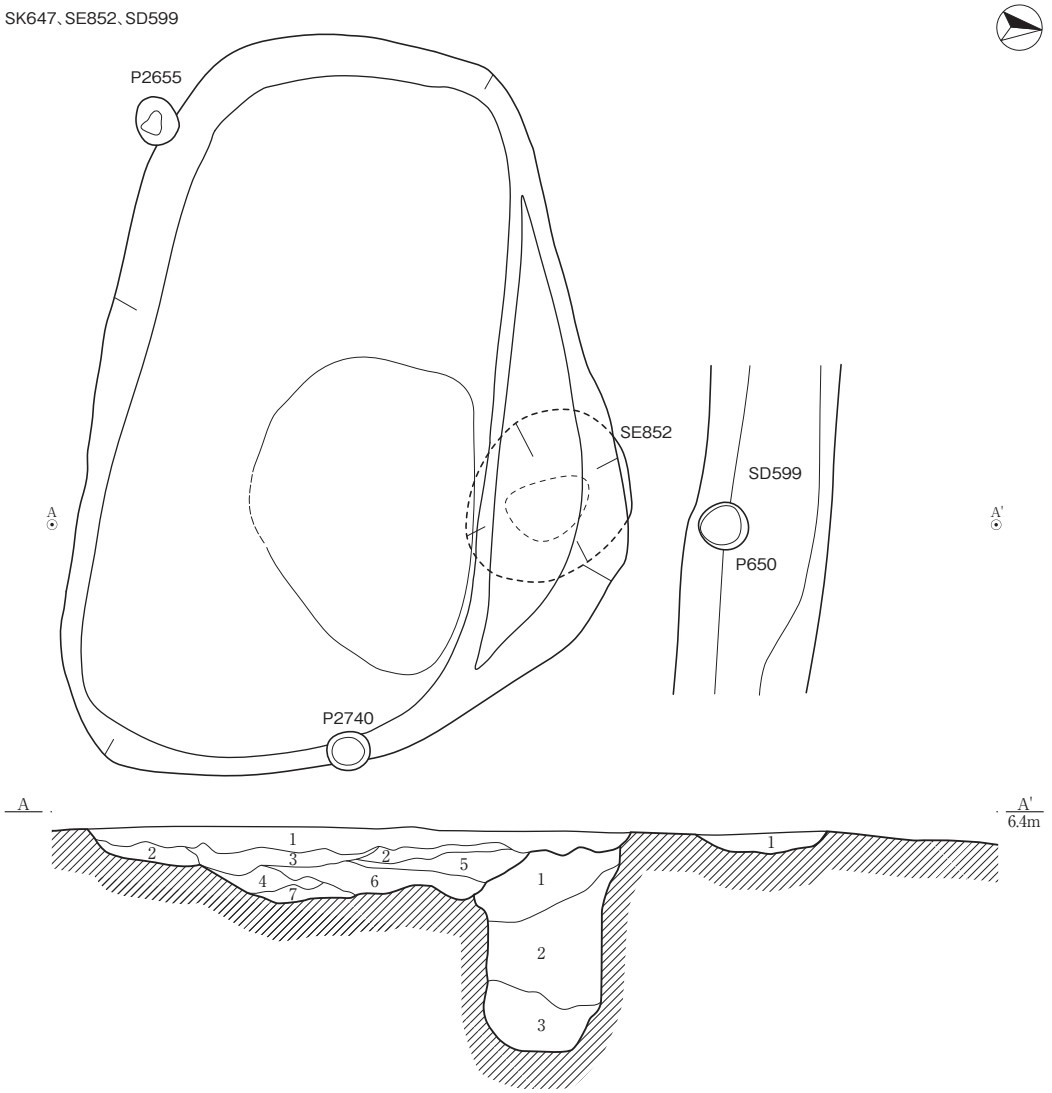
0　すべて（1：40）　2m

SK654



SK654
1　灰色黄褐色 (10YR4/2)　粘性強　しまり有　炭化物少量　砂粒多量
2　灰黄褐色砂 (10YR4/2)　粘性なし　しまり有
3　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　炭化物少量　灰色粘土ブロック多量　砂粒少量
4　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　炭化物、灰色粘土ブロック少量
5　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　炭化物少量　砂粒多量
6　灰白色粘土 (10YR7/1)　粘性強　しまり有　褐灰色粘土ブロック多量
7　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり強　炭化物、未分解腐植物、砂粒多量
8　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり有　灰白色ブロック少量

SK647、SE852、SD599

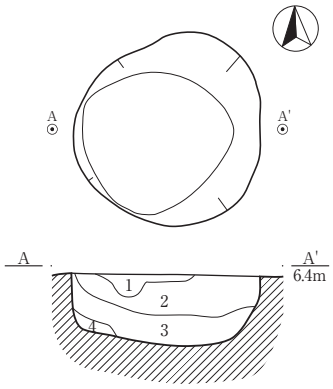


SK647
1　褐色粘土 (10YR4/4)　粘性なし　しまりなし　砂粒含有
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　灰白色粘土ブロック多量　炭化物少量
3　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　炭化物多量　灰白色粘土ブロック少量
4　青灰色粘土 (10BG6/1)　粘性強　しまり弱　褐灰色粘土ブロック多量
5　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり弱
6　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり弱　炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
7　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり弱　灰色粘土ブロック少量　炭化物少量

SE852
1　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり有　炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有　炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
3　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック、砂粒多量

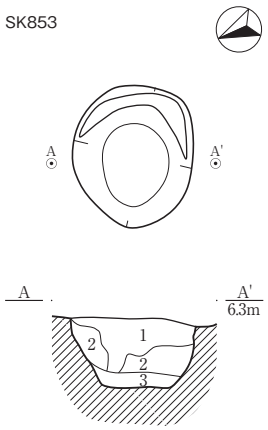
SD599
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　炭化物少量

SK688



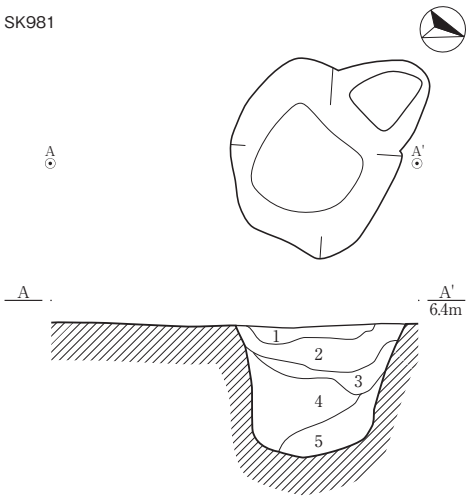
SK688
1　暗青灰色粘土 (5B3/1)　粘性有　しまり強　灰色粘土ブロック少量
2　青黒色シルト (5B2/1)　粘性有　しまり有　灰色砂粒少量
3　青黒色シルト (5B2/1)　粘性有　しまり有　黒褐色粘土ブロック多量
4　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有

SK853



SK853
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有　炭化物少量
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有　炭化物少量
3　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有　炭化物、灰色粘土ブロック少量

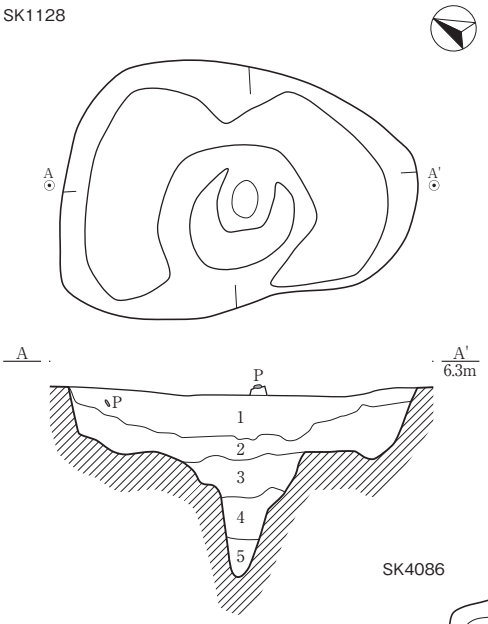
SK981



SK981
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　炭化物、灰色粘土ブロック、黒色シルトブロック少量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有　炭化物少量
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック、炭化物少量
4　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有　炭化物少量
5　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有　炭化物、灰色シルトブロック少量

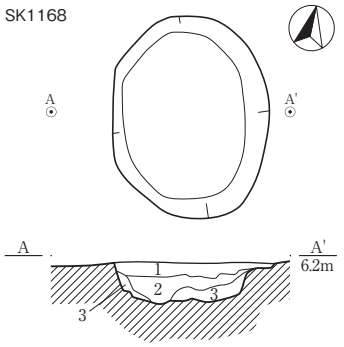
0　すべて（1：40）　2m

SK1128



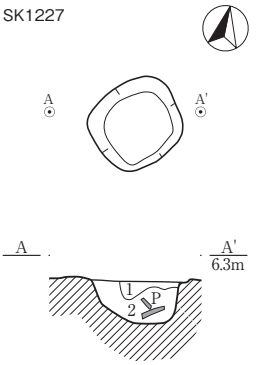
SK1128
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり強
黒色粘土ブロック多量　炭化物少量
2 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり強
黒褐色粘土ブロック
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
地山粘土ブロック少量
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
炭化物多量
5 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性強　しまり有

SK1168



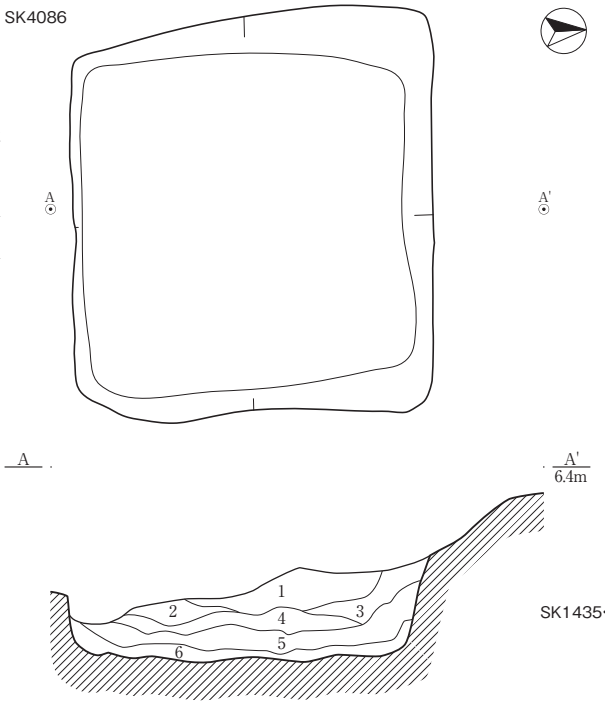
SK1168
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
黒色シルト多量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
灰色粘土ブロック多量

SK1227



SK1227
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
砂粒含有
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量

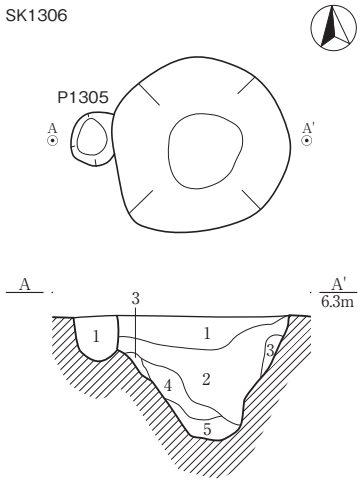
SK4086



SK4086
1 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有
2 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有
3 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有
4 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量
炭化物少量
5 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有
6 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性強　しまり有

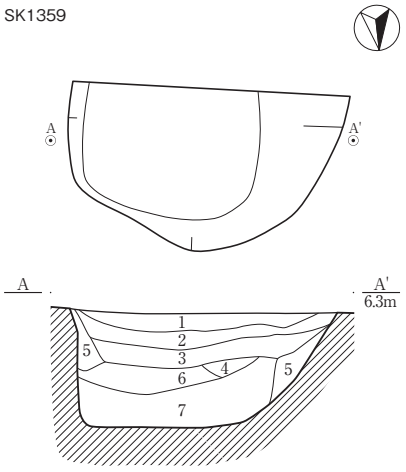
2区

SK1306



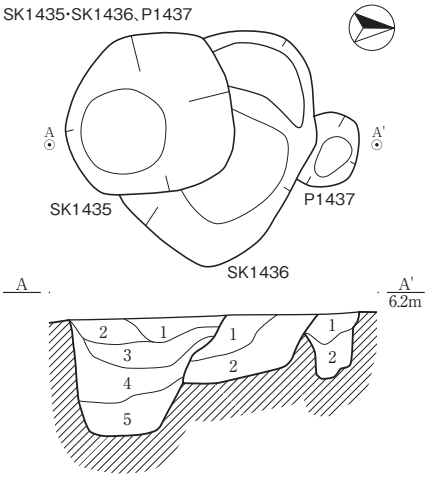
SK1306
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり強
炭化物少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量　炭化物少量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
炭化物少量
4 黒褐色色シルト (10YR3/1) 粘性強　しまり有
炭化物多量　灰色粘土ブロック多量
5 黒褐色色シルト (10YR3/1) 粘性強　しまり有

SK1359



SK1359
1 黒色シルト (10YR2/1) 粘性有　しまり強　炭化物少量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有　炭化物、
黒色シルトブロック、砂粒少量
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有　炭化物、
黒色シルトブロック、砂粒、灰色シルトブロック少量
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性強　しまり有　砂粒少量
5 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性強　しまり有
黒褐色粘土ブロック多量
6 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有　炭化物多量
7 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有　炭化物多量

SK1435･SK1436、P1437



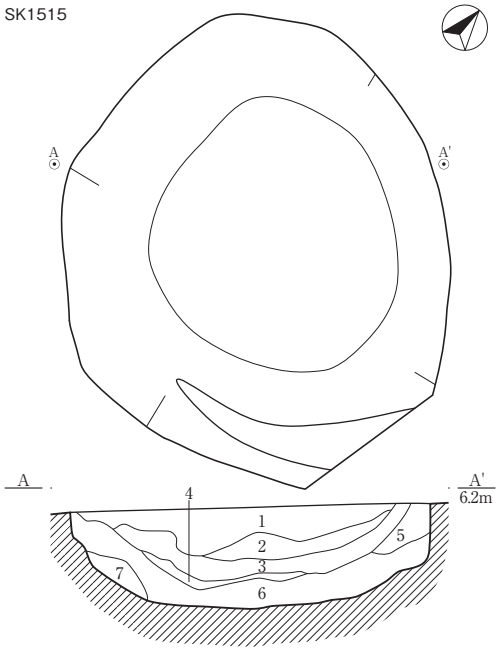
SK1435
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
炭化物少量
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック多量　炭化物少量
5 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有

SK1436
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック、暗灰色粘土ブロック多量

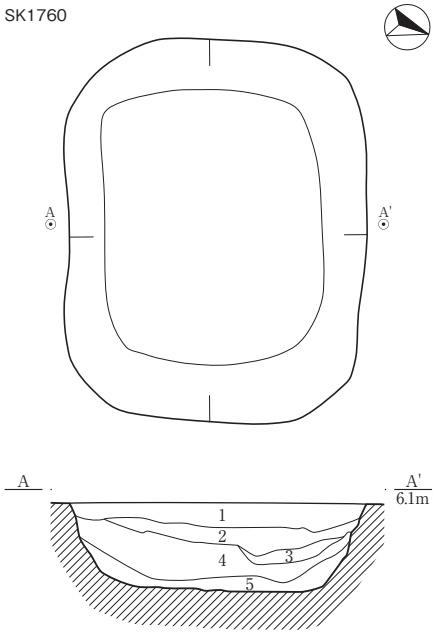
P1437
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック、暗灰色粘土ブロック多量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有

0　すべて（1：40）　2m

SK1515



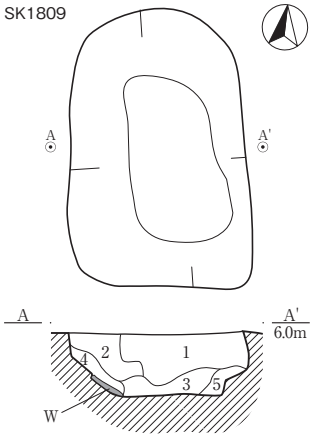
SK1760



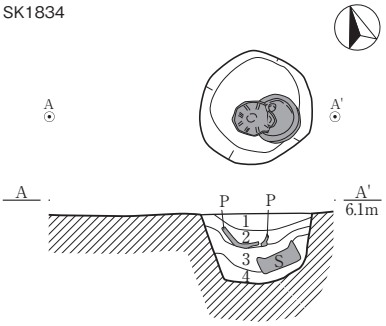
SK1515
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり強　灰色粘土ブロック、暗灰色粘土ブロック少量
2　黒褐色色シルト (10YR3/1)　粘性有　しまり有
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
4　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土色砂粒多量
5　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり強　灰色粘土ブロック、暗灰色粘土ブロック、灰色シルトブロック多量
6　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック、炭化物少量
7　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性強　しまり有　黒褐色粘土ブロック多量

SK1760
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強　灰色シルトブロック、暗灰色粘土ブロック、炭化物少量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　黒色シルト多量　灰色粘土ブロック少量
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有
4　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック少量
5　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量

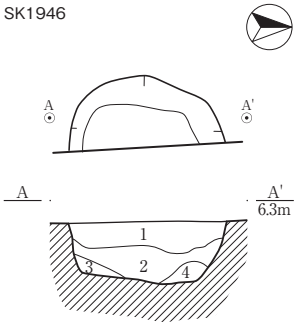
SK1809



SK1834



SK1946

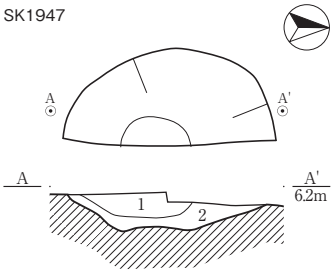


SK1809
1　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック多量　炭化物少量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　炭化物、灰色粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり有　炭化物少量　灰色粘土ブロック多量
4　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有
5　灰白色粘土 (10YR7/1)　粘性強　しまり強　褐色粘土ブロック少量

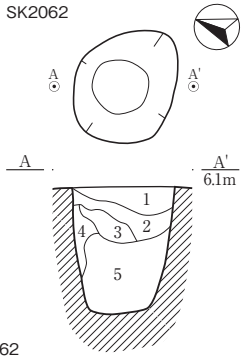
SK1834
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック含有
3　褐色粘土 (10YR4/4)　粘性有　しまり有
4　青灰色粘土 (5B6/1)　粘性有　しまり有

SK1946
1　にぶい黄褐色 (10YR6/3)　粘性強　しまり強　炭化物、灰色粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり強　炭化物少量　灰色粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック多量
4　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック少量

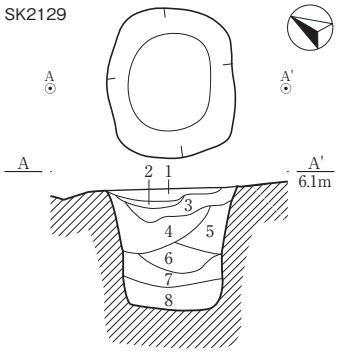
SK1947



SK2062



SK2129



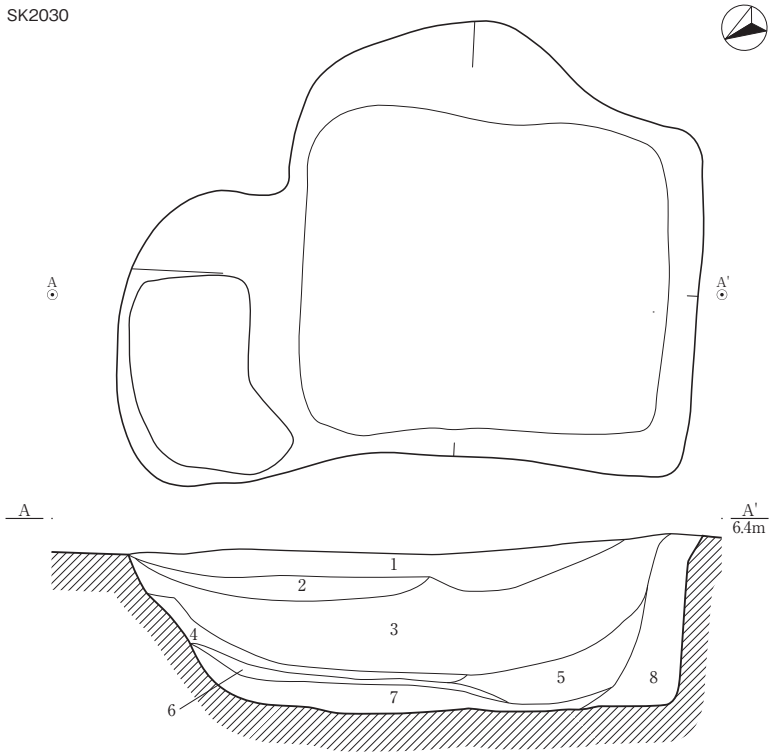
SK1947
1　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強　しまり強　炭化物少量
2　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック多量

SK2062
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強　炭化物少量
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強　灰色粘土ブロック多量
3　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量
4　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有　黒褐色粘土ブロック少量
5　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有　炭化物含有　灰色粘土ブロック多量

SK2129
1　黒色シルト (10YR2/1)　粘性有　しまり強　炭化物少量
2　黒色シルト (10YR2/1)　粘性有　しまり強　黒色粘土多量
3　黒色シルト (10YR2/1)　粘性有　しまり強　灰色粘土ブロック多量
4　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有　黒色シルト少量
5　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック多量　黒色シルト少量
6　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
7　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック少量
8　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有

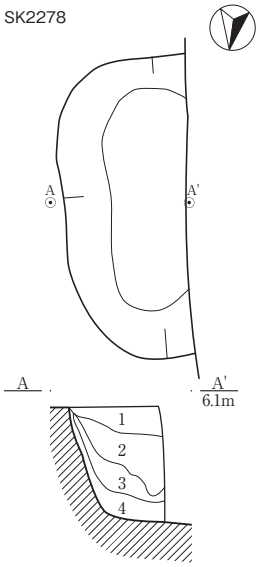
0　すべて（1：40）　2m

SK2030



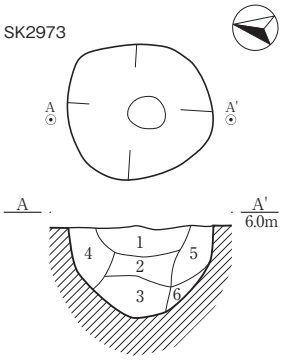
SK2030
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　炭化物、大粒の灰色粘土ブロック少量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　炭化物含有　大粒の灰色粘土ブロック含有
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　炭化物少量　大粒の灰色粘土ブロック多量
4　青灰色粘土 (5B6/1)　粘性有　しまり有　黒色粘土ブロック含有
5　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　炭化物、灰色粘土ブロック少量
6　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　炭化物含有　灰色粘土ブロック多量
7　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　炭化物含有　灰色粘土ブロック含有
8　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　炭化物、灰色粘土ブロック多量

SK2278



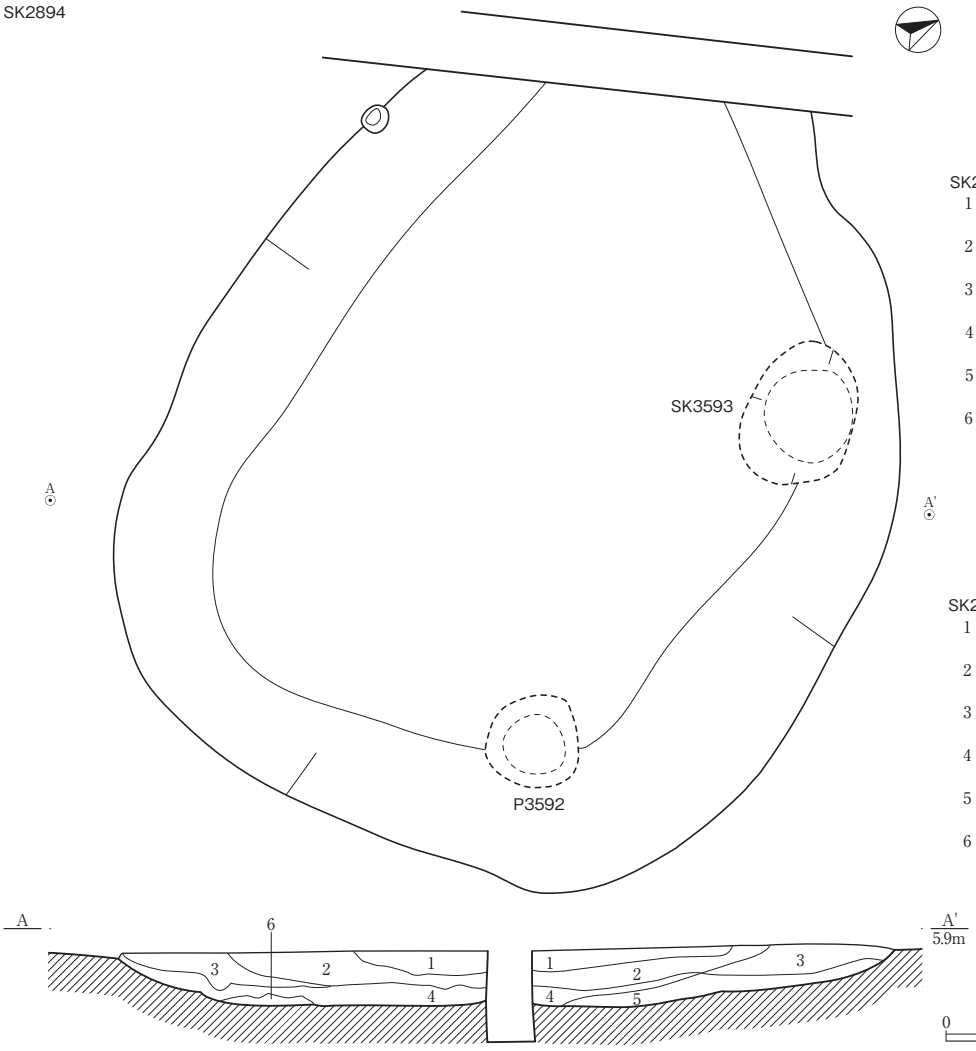
SK2278
1　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強　しまり強　炭化物、灰色粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強　しまり強　炭化物、灰色粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性強　しまり強　炭化物、灰色粘土ブロック少量
4　褐灰色粘土 (10YR6/1)　粘性強　しまり強　炭化物、灰色粘土ブロック少量

SK2973



SK2973
1　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　炭化物少量　砂粒多量
2　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　炭化物少量　灰色粘土ブロック少量
3　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック少量
4　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　炭化物、砂粒少量
5　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック少量
6　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック少量

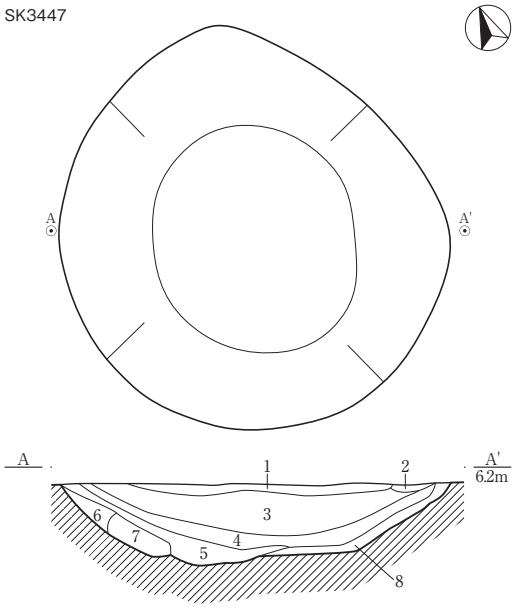
SK2894



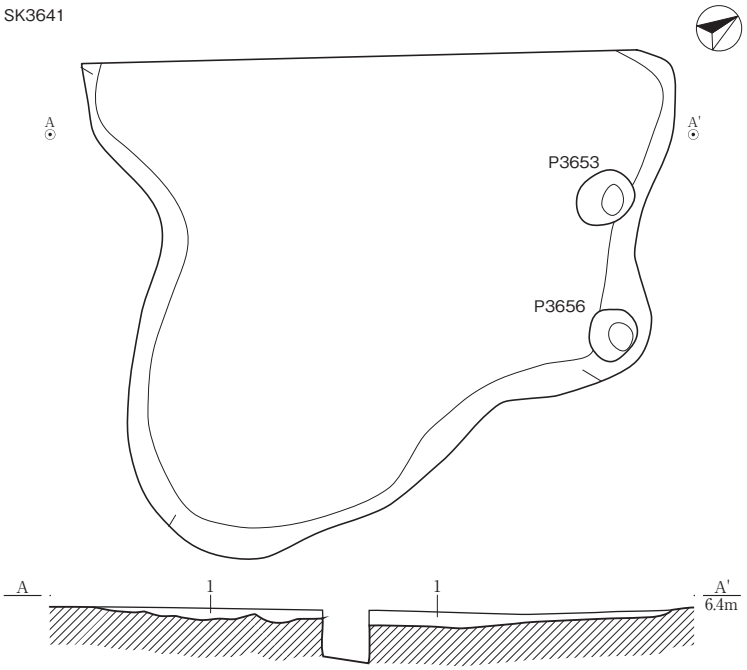
SK2894
1　灰色褐色 (5YR4/2)　粘性強　しまり強　炭化物多量
2　灰色褐色 (5YR4/2)　粘性強　しまり強　炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
3　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり強　炭化物少量
4　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有　炭化物多量
5　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有　炭化物、灰色粘土ブロック少量
6　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性強　しまり有　炭化物、灰色粘土ブロック少量

0　すべて（1：40）　2m

SK3447



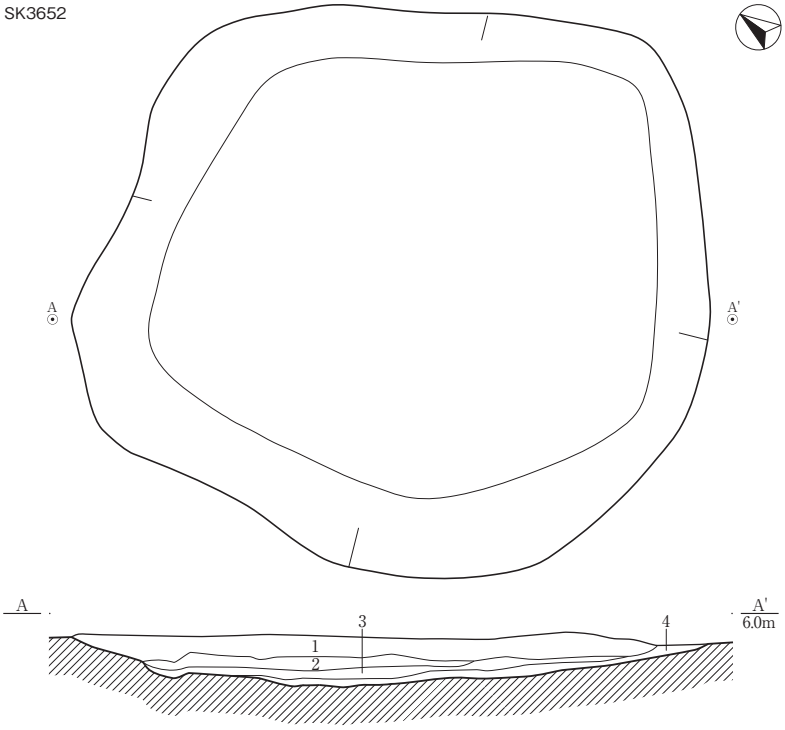
SK3641



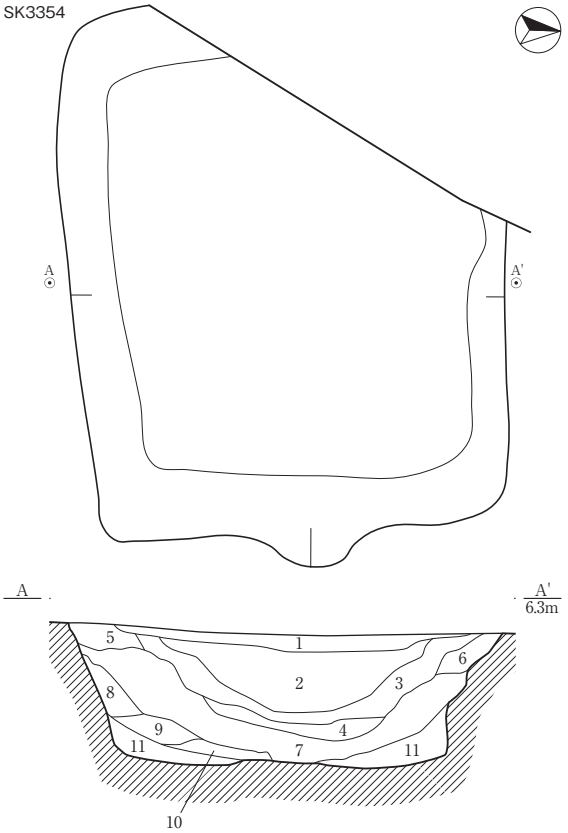
SK3447
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物少量
2 灰白色粘土 (10YR7/1) 粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック多量
3 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり有　炭化物多量
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有　炭化物多量
5 褐灰色粘土 (10YR5/1) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック少量
6 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物少量
7 黒褐色シルト (10YR3/1) 粘性強　しまり有　砂粒多量
8 灰白色シルト (10YR7/1) 粘性強　しまり有　褐灰色粘土ブロック多量

SK3641
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物少量

SK3652

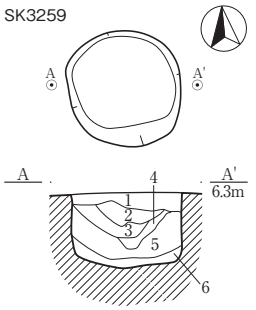


SK3354



SK3652
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物少量　灰色粘土ブロック多量
2 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物少量
3 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック多量
4 黒褐色粘土 (10YR3/2) 粘性強　しまり有　炭化物少量

3区
SK3259



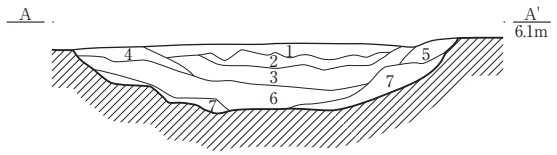
SK3259
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
4 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック少量
5 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
6 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
黒褐色粘土ブロック多量

SK3354
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　炭化物少量
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック少量
4 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック少量
5 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
6 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック多量
7 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
8 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック少量
9 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
10 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有　炭化物多量
灰色粘土ブロック少量
11 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性強　しまり有　黒褐色粘土ブロック多量
地山粘土ブロック少量

0　すべて（1：40）　2m

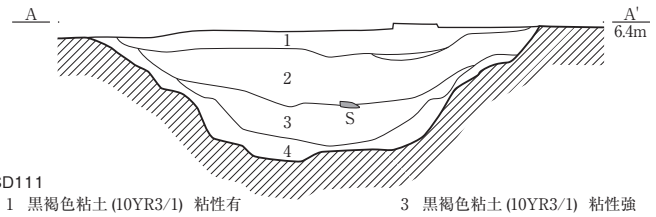
1区

SD41（図版9）



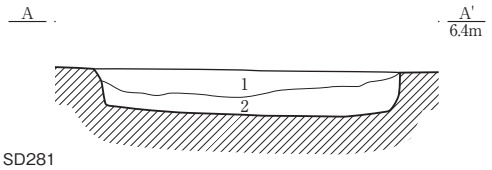
SD41
1 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
3 黒色粘土 (10YR2/2) 粘性有　しまり有
4 黒褐色粘土 (10YR2/3) 粘性有　しまり強
5 黒褐色粘土 (10YR2/2) 粘性有　しまり有
6 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック多量
7 黒褐色粘土 (7.5YR2/2) 粘性強　しまり有　未分解腐植物多量

SD111（図版10）



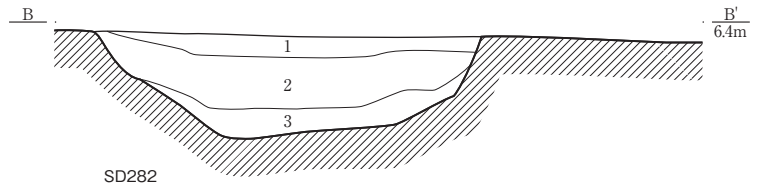
SD111
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　Ⅱ層混入
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有　炭化物少量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有　炭化物少量
4 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック多量

SD281（図版7）



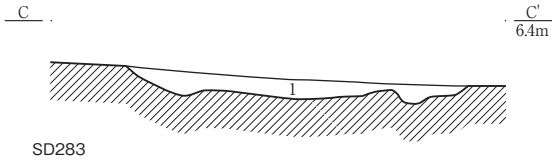
SD281
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり強
2 青灰色粘土 (5G6/1) 粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量

SD282（図版7）



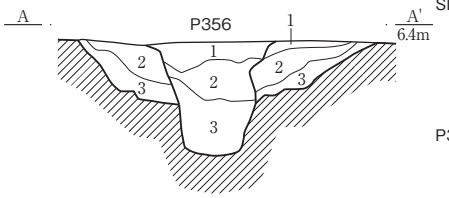
SD282
1 オリーブ灰色粘土 (5Y5/3) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック少量
3 黒色粘土 (10YR2/2) 粘性有　しまり有

SD283（図版7）



SD283
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり強　地山粘土ブロック含有

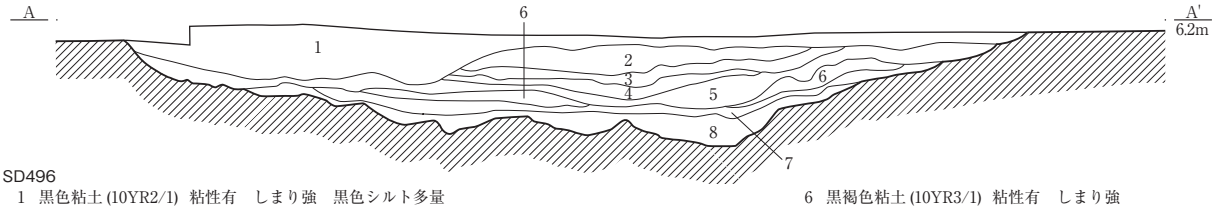
SD345、P356（図版6）



SD345
1 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性強しまり有
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり強　荒い白色粒子　多量　灰色粘土ブロック少量
3 黒色粘土 (10YR1.7/1) 粘性強　しまりなし　炭化物多量　灰色粘土ブロック少量

P356
1 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性強　しまり強
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり強　白色粘土粒子多量　灰色粘土ブロック少量
3 黒色粘土 (10YR1.7/1) 粘性強　しまりなし　炭化物多量　灰色粘土ブロック少量

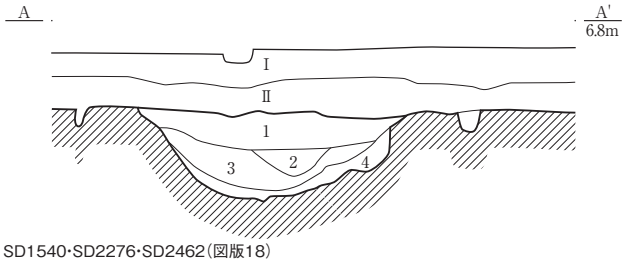
SD496（図版6･9）



SD496
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強　黒色シルト多量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強　炭化物少量
4 黒色粘土色炭層　粘性なし　しまり有
5 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
6 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり強
7 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり有
8 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック少量

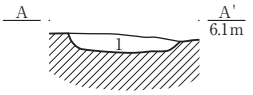
2区

SD1380（図版16）



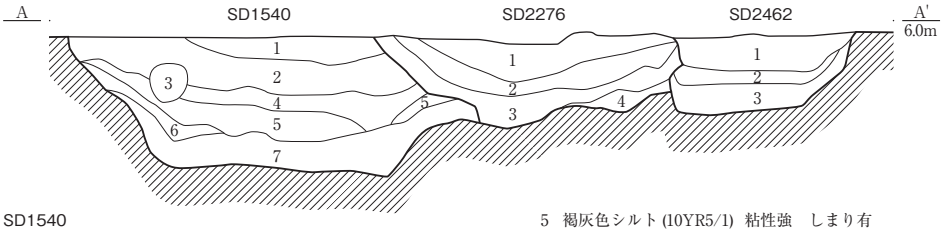
SD1380
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有　炭化物多量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性強　しまり有　黒褐色粘土ブロック少量

SD2285（図版15）



SD2285
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強　黒色シルトブロック少量

SD1540･SD2276･SD2462（図版18）



SD1540
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物少量　砂粒多量
2 褐灰色粘土 (10YR5/1) 粘性強　しまり強　炭化物少量　砂粒少量
3 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物多量
4 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり有　炭化物少量　灰色シルトブロック多量
5 褐灰色シルト (10YR5/1) 粘性強　しまり有
6 褐灰色粘土 (10YR5/1) 粘性強　しまり強　炭化物少量
7 褐灰色粘土 (10YR6/1) 粘性強　しまり有　炭化物少量　灰色粘土ブロック、灰色シルト多量

SD2276
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック多量　炭化物少量
2 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物、褐色粘土ブロック少量
3 褐灰色粘土 (10YR5/1) 粘性強　しまり強
4 灰白色粘土 (10YR7/1) 粘性強　しまり強　炭化物少量

SD2462
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック多量　炭化物少量
2 灰白色粘土 (10YR7/1) 粘性強　しまり強　褐色粘土ブロック　炭化物少量
3 灰白色シルト (10YR7/1) 粘性強　しまり強

SD3991

1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物多量
2 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物多量　灰色粘土ブロック少量
3 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強 しまり強 炭化物、砂粒多量 灰色粘土ブロック少量
4 褐灰色粘土 (10YR6/1) 粘性強　しまり強　炭化物少量　灰色粘土ブロック多量

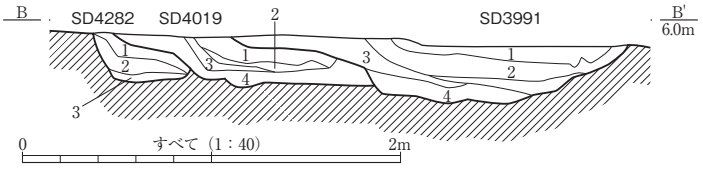
SD4019

1 褐灰色粘土 (10YR5/1) 粘性強　しまり強　炭化物少量
2 褐灰色粘土 (10YR6/1) 粘性強　しまり強　炭化物少量　灰粘土ブロック多量
3 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強 しまり強　炭化物、砂粒多量 灰色粘土ブロック少量
4 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強 しまり強　炭化物少量

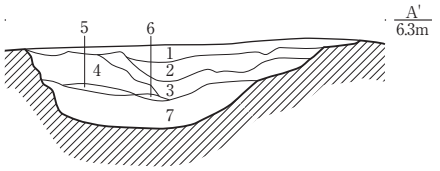
SD4282

1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり強　炭化物少量
2 褐灰色粘土 (10YR6/1) 粘性強　しまり強　炭化物多量
3 褐灰色粘土 (10YR5/1) 粘性強　しまり強　炭化物、灰粘土ブロック少量

SD3991･SD4019･SD4282（図版15）

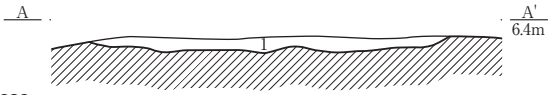


3区
SD3002（図版20）



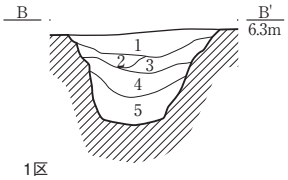
SD3002
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり強　炭化物少量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり強
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量
4　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
5　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり強
6　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック少量
7　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック多量

SD3383（図版20）



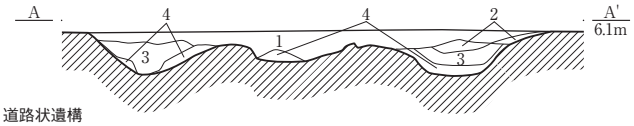
SD3383
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強　灰色粘土ブロック、黒色シルト少量

SD3305（図版20）



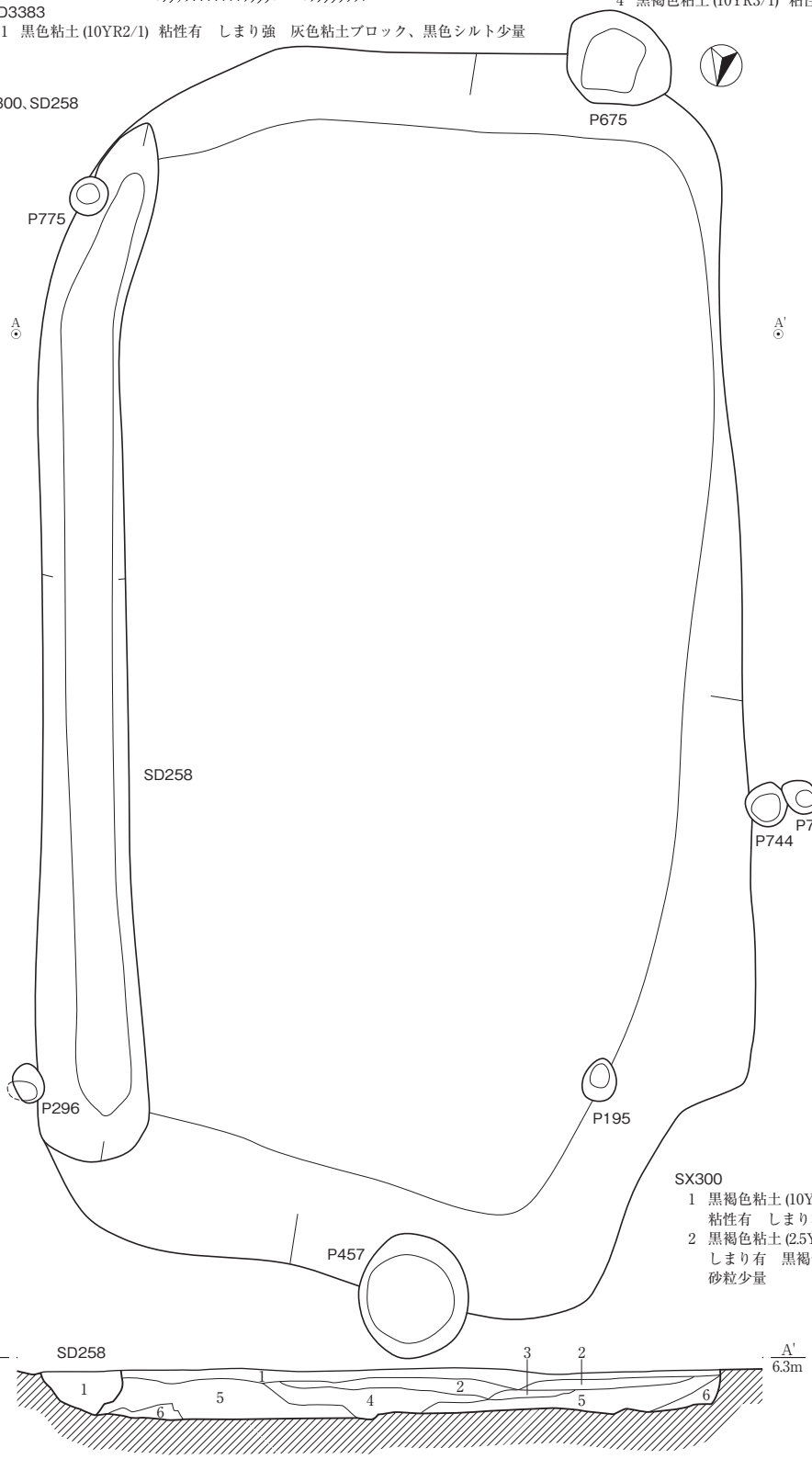
SD3305
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり強　灰色粘土ブロック少量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量
4　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
5　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有　黒褐色粘土ブロック多量

1区
道路状遺構（図版12）

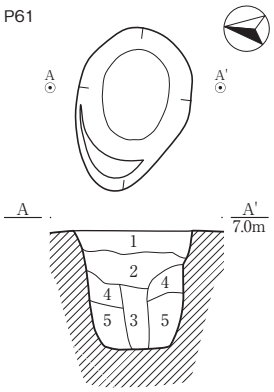


道路状遺構
1　黒褐色シルト (10YR3/1)　粘性有　しまり強　炭化物、砂粒少量　黄褐色粒子多量
2　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量
4　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック多量

1区
SX300、SD258

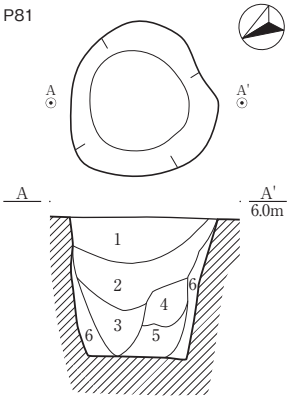


1区
P61



P61
1　灰色粘土 (5Y5/1)　粘性有　しまり有　黒褐色粘土ブロック少量　灰色シルト含有
2　灰オリーブ色粘土 (5Y6/2)　粘性有　しまり有　砂粒多量　灰色シルト少量
3　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック少量
4　灰色オリーブ色粘土 (5Y4/2)　粘性有　しまり有　灰色粘土ブロック含有
5　オリーブ黒色粘土 (5Y3/1)　粘性有　しまり有

P81



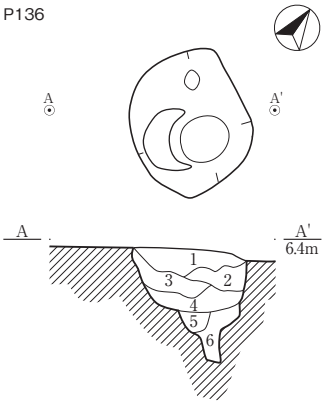
P81
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり有　白色粘土ブロック少量
2　黒褐色粘土 (10YR3/2)　粘性有　しまり有　白色粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土 (10YR4/1)　粘性有　しまり有
4　にぶい黒褐色粘土 (10YR4/3)　粘性有　しまり有
5　暗褐色粘土 (10YR3/3)　粘性有　しまり有　白色粘土ブロック多量
6　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性有　しまり有

SX300
1　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性有　しまり有
2　黒褐色粘土 (2.5Y3/2) 粘性有　しまり有　黒褐色粘土ブロック、砂粒少量
3　暗オリーブ褐色粘土 (2.5Y3/3) 粘性有　しまり有　黒褐色粘土ブロック少量
4　黄褐色粘土 (2.5Y5/4) 粘性有　しまり有　黒褐色粘土ブロック含有
5　黄褐色粘土(2.5Y5/4)　粘性有　しまり有　黒褐色粘土ブロック多量
6　黒褐色粘土 (2.5Y3/1)　粘性有　しまり有　黒褐色粘土ブロック多量

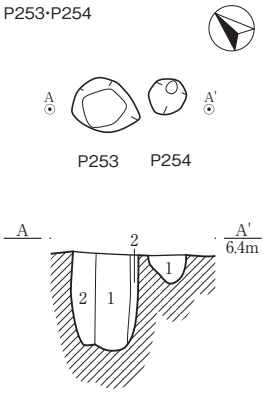
SD258
1　褐灰色粘土 (10YR5/1)　粘性有　しまり有

0　すべて（1：40）　2m

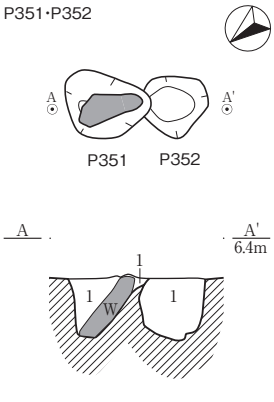
P136



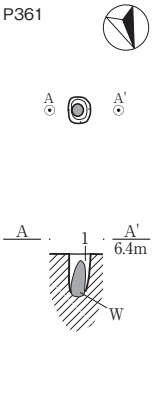
P253・P254



P351・P352



P361



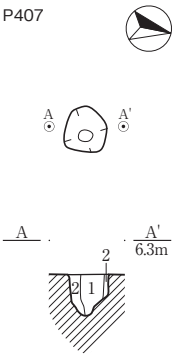
P136
1 黒色シルト (10YR2/1) 粘性有　しまり弱
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック、灰色シルトブロック含有
3 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック、灰色シルトブロック、
炭化物少量
4 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック、灰色シルトブロック多量
5 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
未分解腐植物少量
6 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
灰色粘土ブロック、灰色シルトブロック多量

P253
1 黒色粘土 (10YR2/1)
粘性強　しまり有
2 灰色粘土 (5Y4/1)
粘性有　しまり有
P254
1 褐灰色粘土 (10YR5/1)
粘性強　しまり有

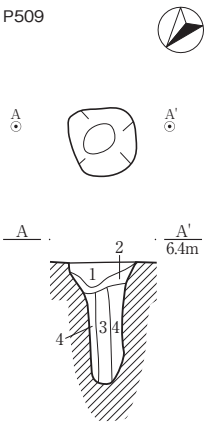
P351
1 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有
P352
1 黒褐色粘土 (10YR3/1)
粘性有　しまり有

P361
1 黒褐色粘土 (2.5YR3/1)
粘性有　しまり有

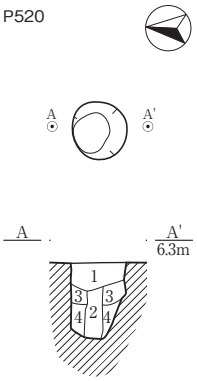
P407



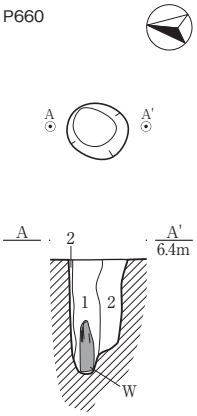
P509



P520



P660



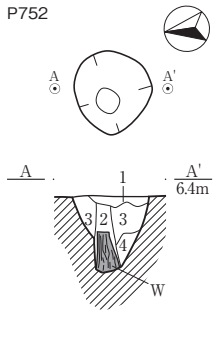
P407
1 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有

P509
1 黒褐色粘土 (10YR3/2) 粘性有
しまり有　灰粘土粒子含有
2 オリーブ灰色粘土 (5Y5/3) 粘性有
しまり有　灰粘土ブロック含有
3 オリーブ灰色粘土 (5Y5/3) 粘性有
しまり有　灰粘土ブロック多量
4 オリーブ灰色粘土 (5Y5/3) 粘性有
しまり有　黒砂粒含有

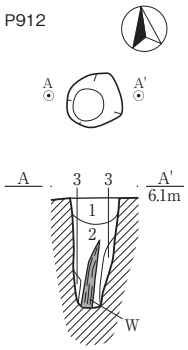
P520
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　灰色粘土ブロック多量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有

P660
1 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性有　しまり有
炭化物少量
2 褐灰色粘土 (10YR4/1) 粘性強　しまり有
褐色粘土ブロック多量

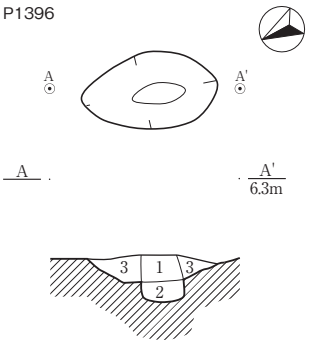
P752



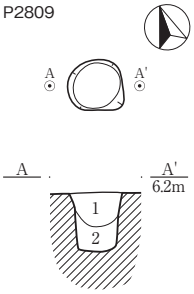
P912



P1396



P2809



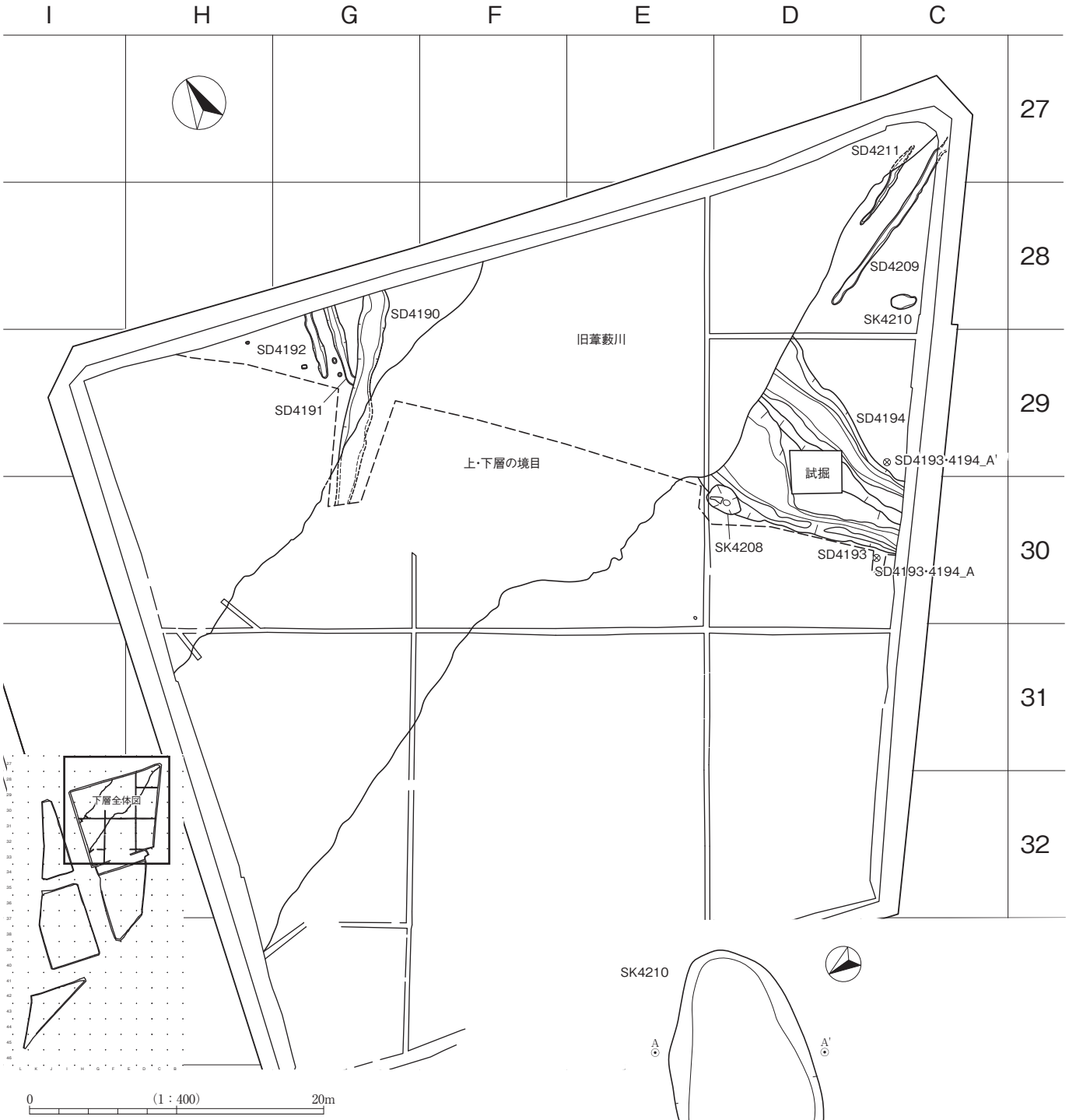
P752
1 黒色シルト (10YR2/1) 粘性有　しまり強
灰色シルトブロック少量
2 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性強　しまり有
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック少量
4 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性有　しまり有
黒褐色粘土ブロック少量

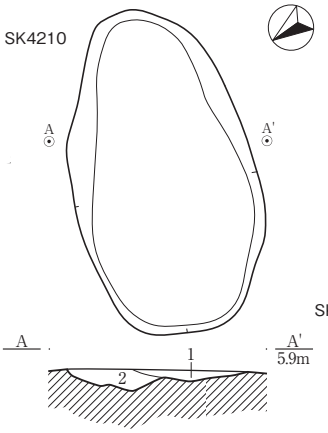
P912
1 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性有　しまり強
灰色シルトブロック、黒色シルト少量
2 黒色粘土 (10YR2/1) 粘性強　しまり有
3 灰色粘土 (5Y4/1) 粘性強　しまり有
黒色粘土ブロック多量

P1396
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　灰色粘土ブロック多量
2 青灰色粘土 (5B6/1) 粘性有
しまり有　黒色粘土ブロック少量
3 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有
しまり有　灰色粘土ブロック少量

P2809
1 黒褐色粘土 (10YR3/1) 粘性有　しまり有
灰色粘土ブロック多量
2 青灰色粘土 (5B6/1) 粘性有　しまり有

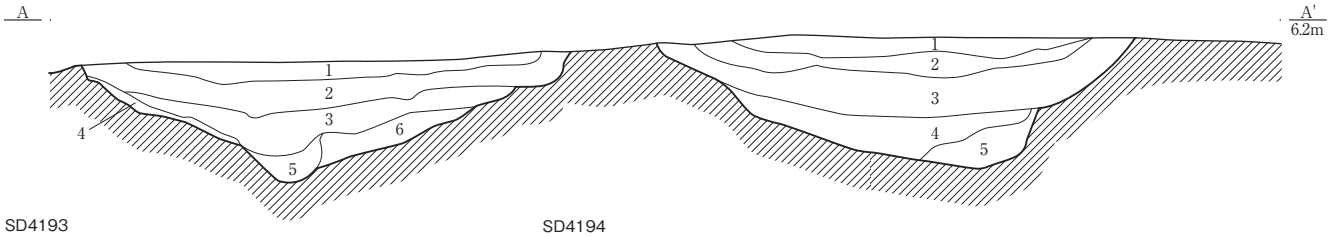
0　すべて（1：40）　2m





SK4210
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性強　しまり有
2　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有

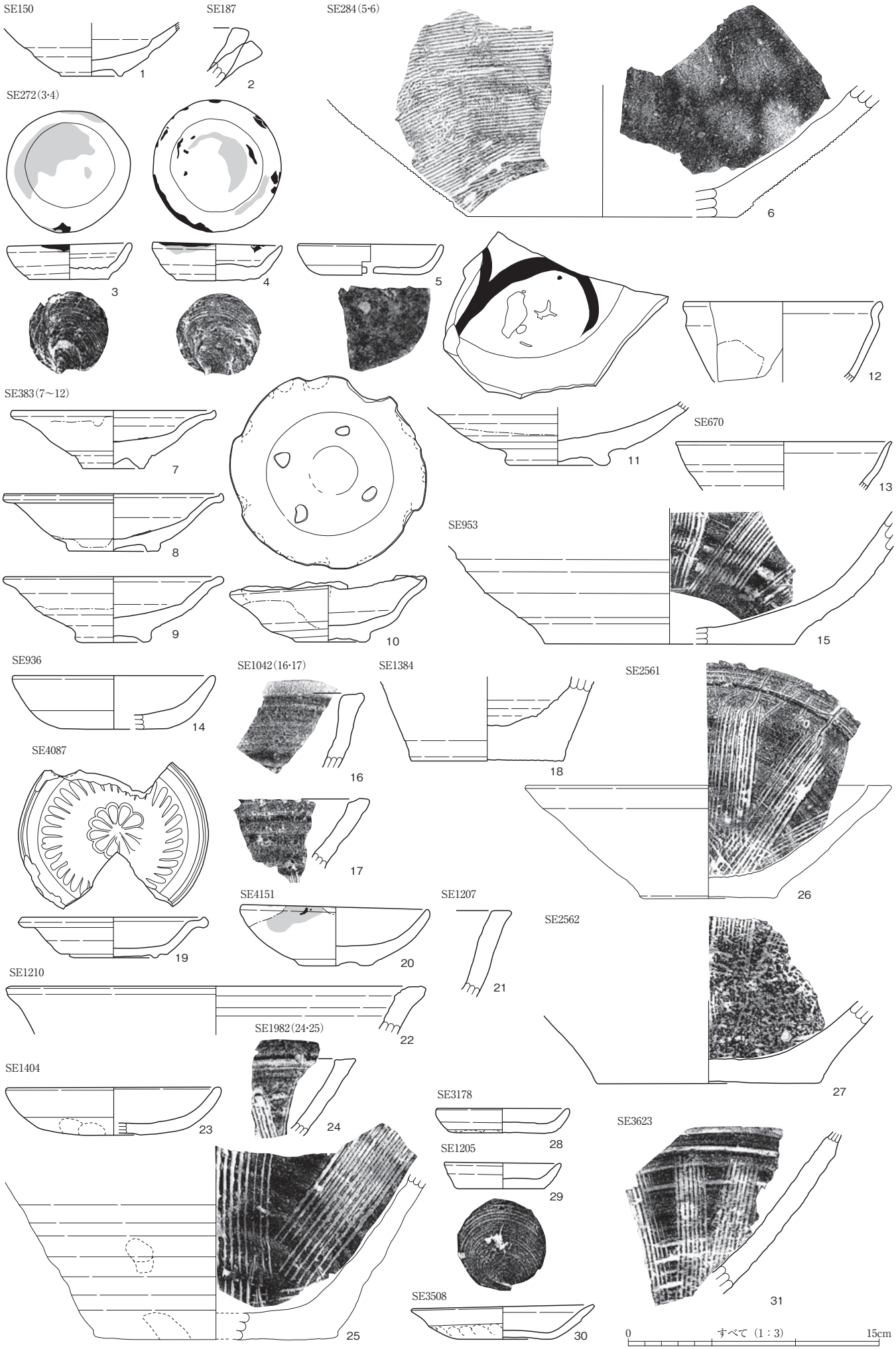
SD4193・SD4194

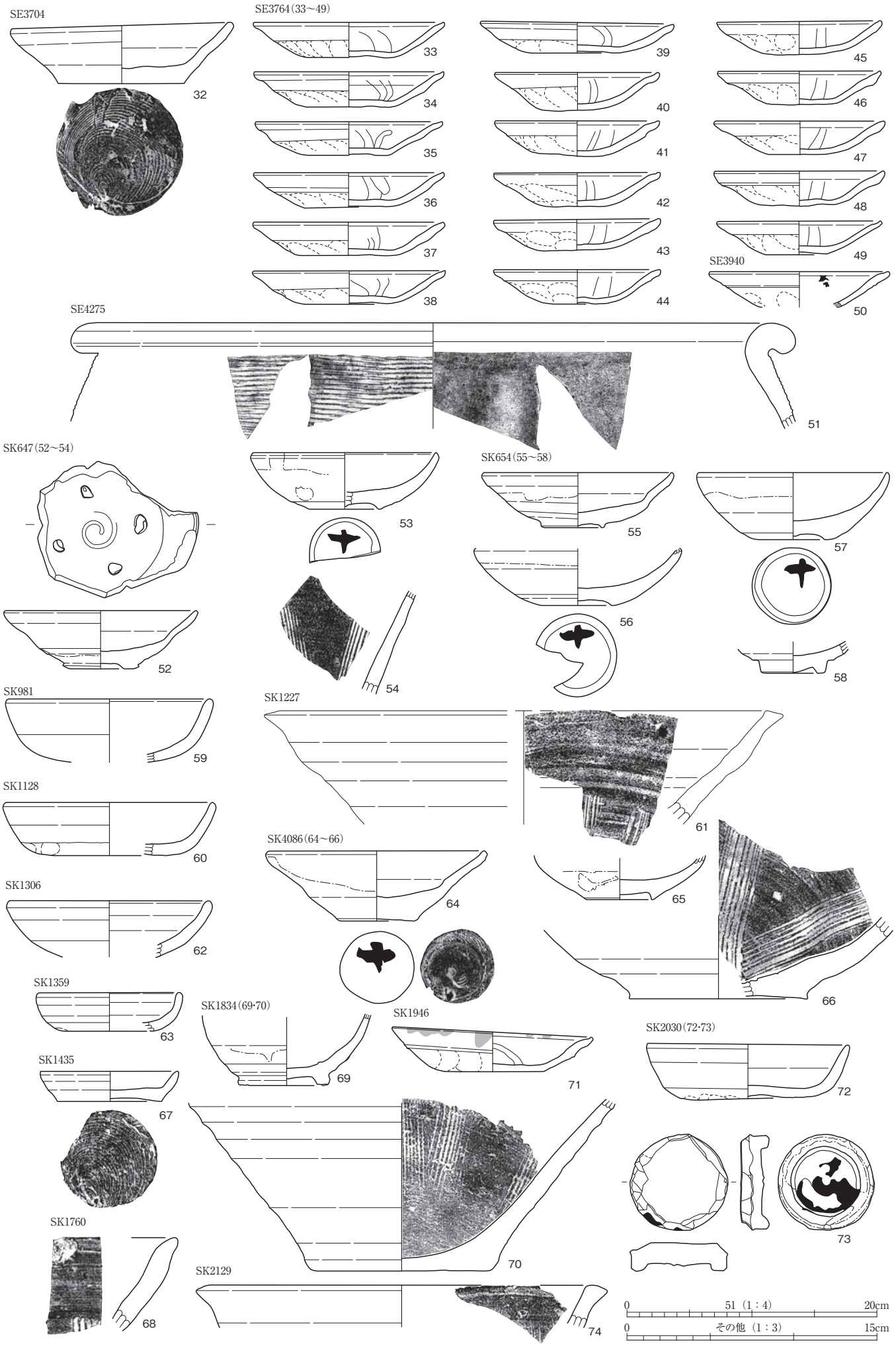


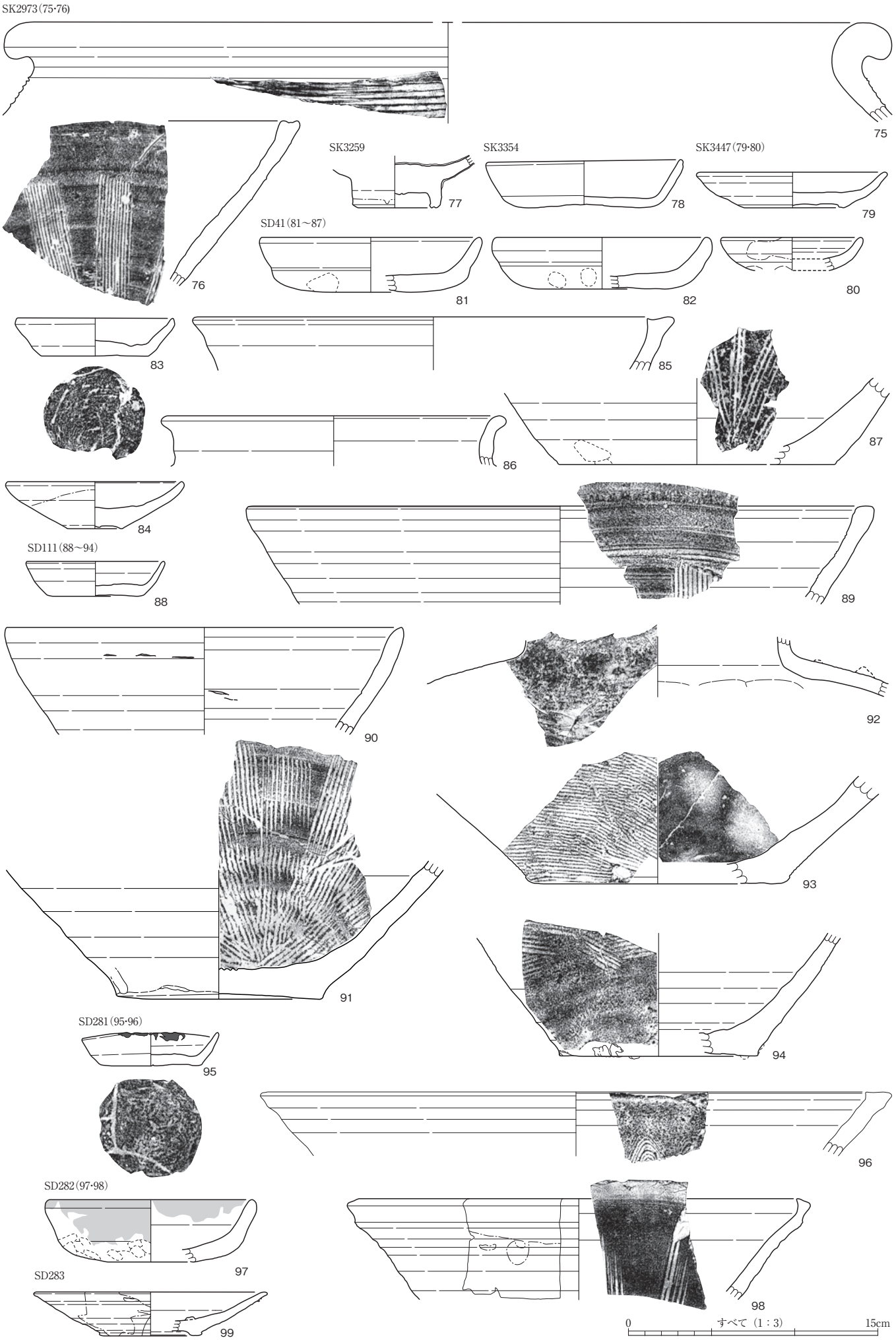
SD4193
1　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強　砂粒少量
2　黒色粘土 (10YR2/1)　粘性有　しまり強
3　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有　黒色粘土ブロック少量
4　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり有　黒褐色粘土ブロック多量
5　黒褐色粘土 (10YR3/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック少量
6　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり強

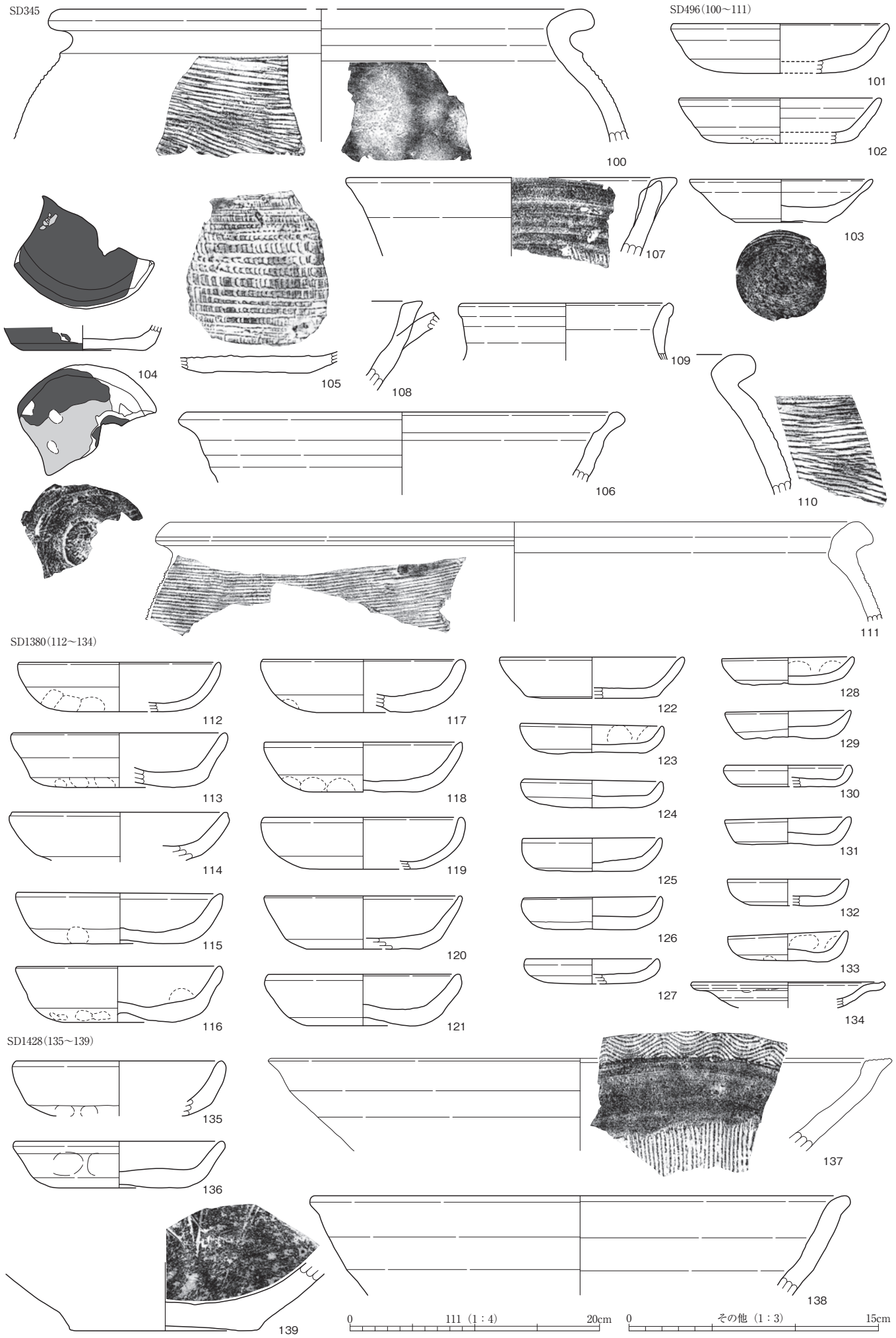
SD4194
1　黄灰色粘土 (2.5Y4/1)　粘性有　しまり強
2　黄灰色粘土 (2.5Y4/1)　粘性有　しまり強
3　暗青灰色粘土 (5B4/1)　粘性強　しまり有
4　暗青灰色粘土 (5B4/1)　粘性強　しまり有　灰色粘土ブロック多量
5　灰色粘土 (5Y4/1)　粘性有　しまり強　砂粒多量

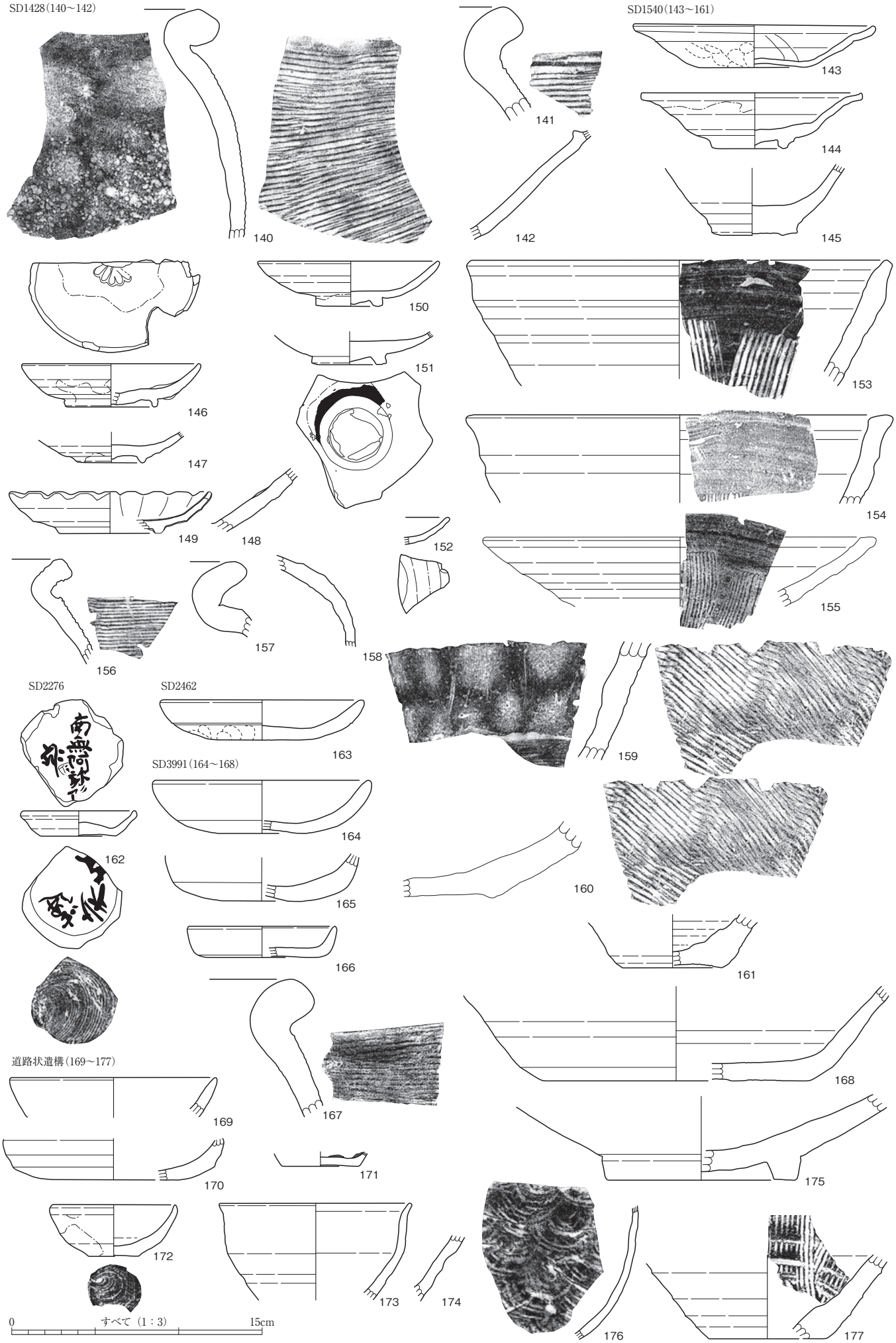
0　すべて（1：40）　2m

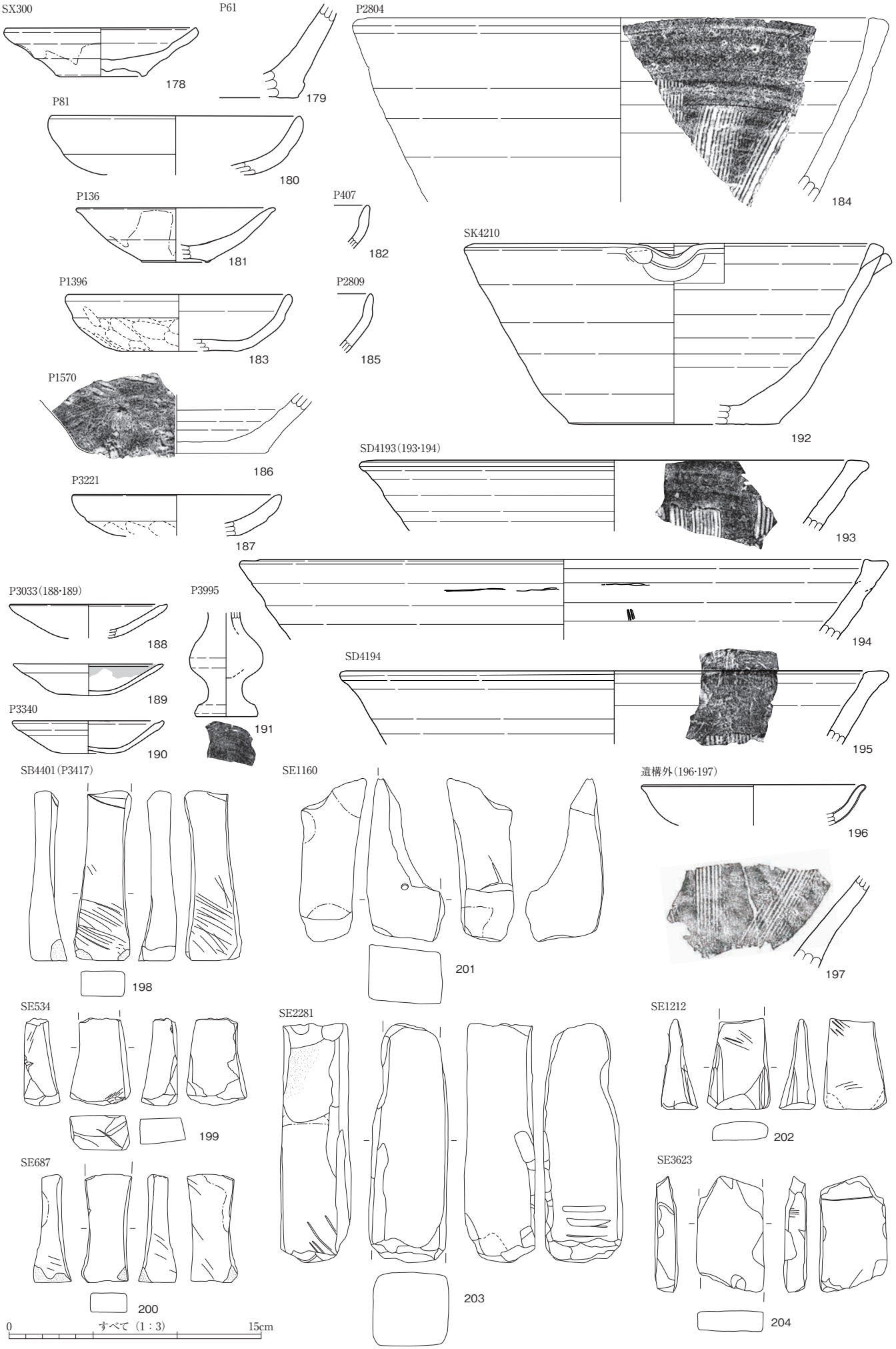

SE150
1
SE187
2
SE284(5・6)
6
SE272(3・4)
3
4
5
12
SE383(7～12)
7
8
9
10
11
SE670
13
SE953
15
SE936
14
SE1042(16・17)
16
17
SE1384
18
SE2561
26
SE4087
19
SE4151
20
SE1207
21
SE2562
27
SE1210
22
SE1982(24・25)
24
SE1404
23
25
SE3178
28
SE1205
29
SE3508
30
SE3623
31
0
すべて（1：3）
15cm

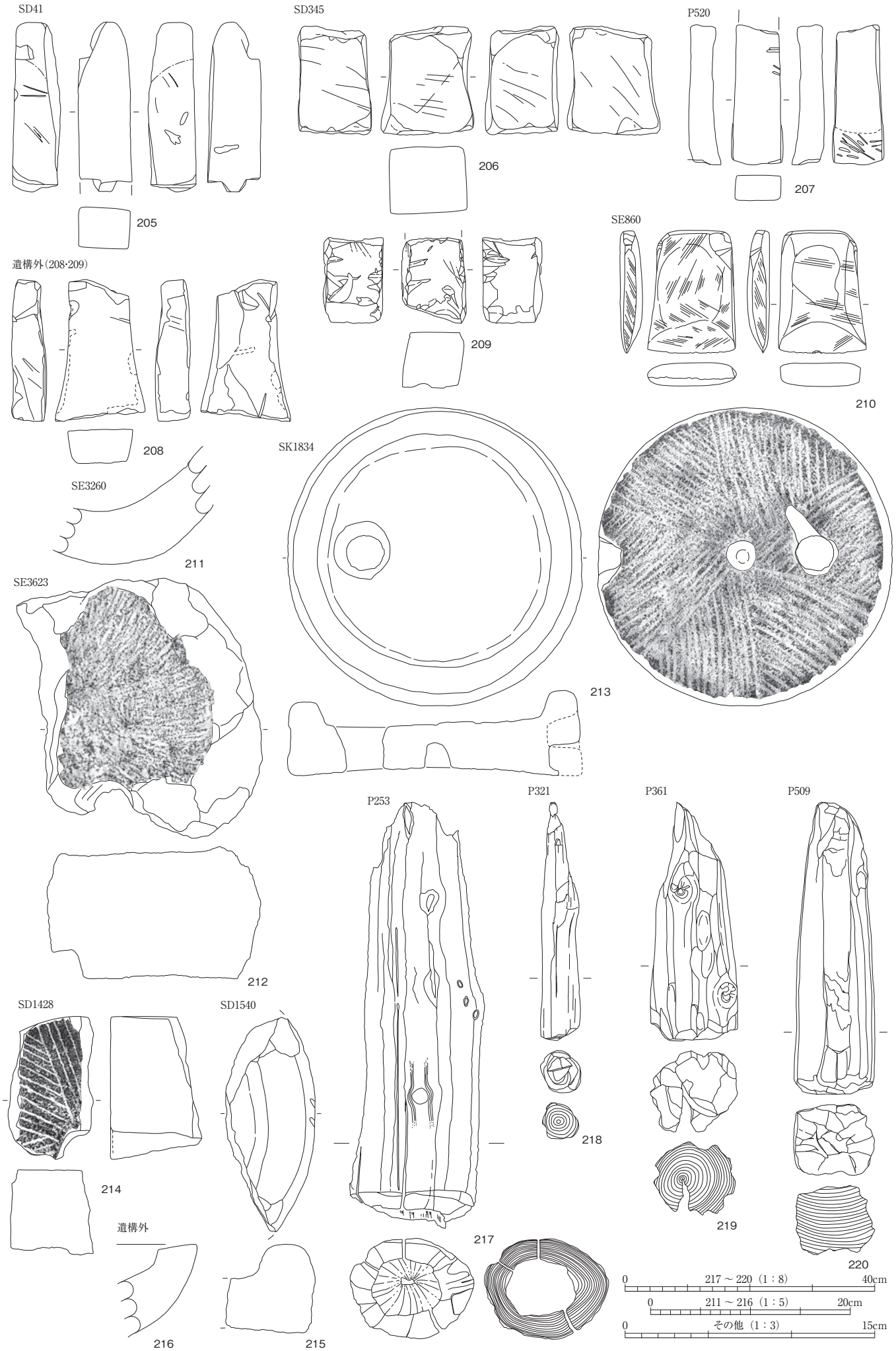

SE3704
32
SE3764(33～49)
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
SE3940
50
SE4275
51
SK647(52～54)
52
53
54
SK654(55～58)
55
56
57
58
SK981
59
SK1227
61
SK1128
60
SK4086(64～66)
64
65
66
SK1306
62
SK1359
63
SK1834(69･70)
69
SK1946
71
SK2030(72･73)
72
SK1435
67
70
73
SK1760
68
SK2129
74
0　51（1：4）　20cm
0　その他（1：3）　15cm

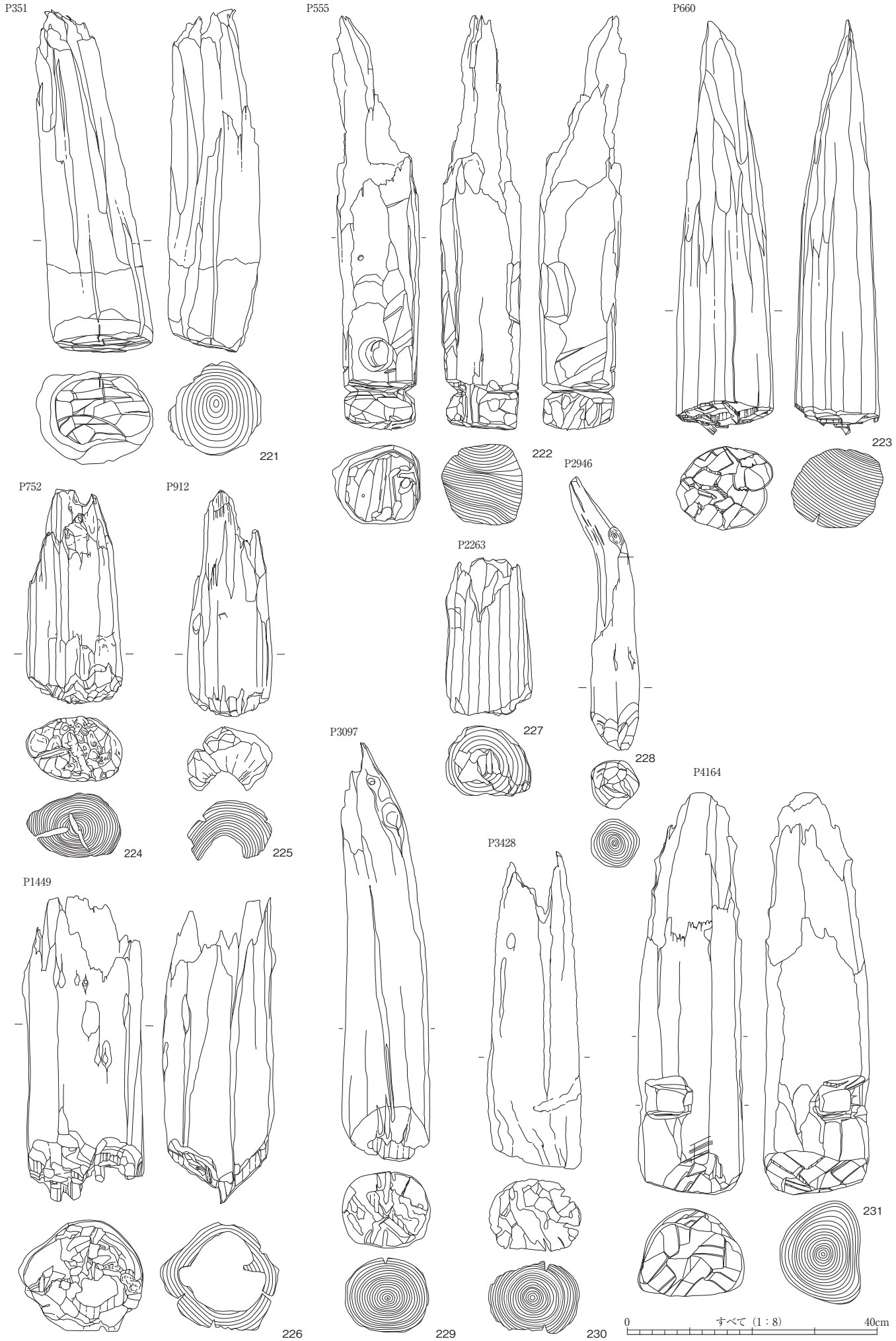

SK2973(75・76)
75
76
SK3259
77
SK3354
78
SK3447(79・80)
79
SD41(81～87)
81
82
80
83
85
87
86
84
SD111(88～94)
88
89
90
92
91
93
94
SD281(95・96)
95
96
SD282(97・98)
97
98
SD283
99
0
すべて（1：3）
15cm


SD345
SD496（100～111）
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
SD1380（112～134）
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
SD1428（135～139）
135
136
137
138
139
0　111（1：4）　20cm
0　その他（1：3）　15cm

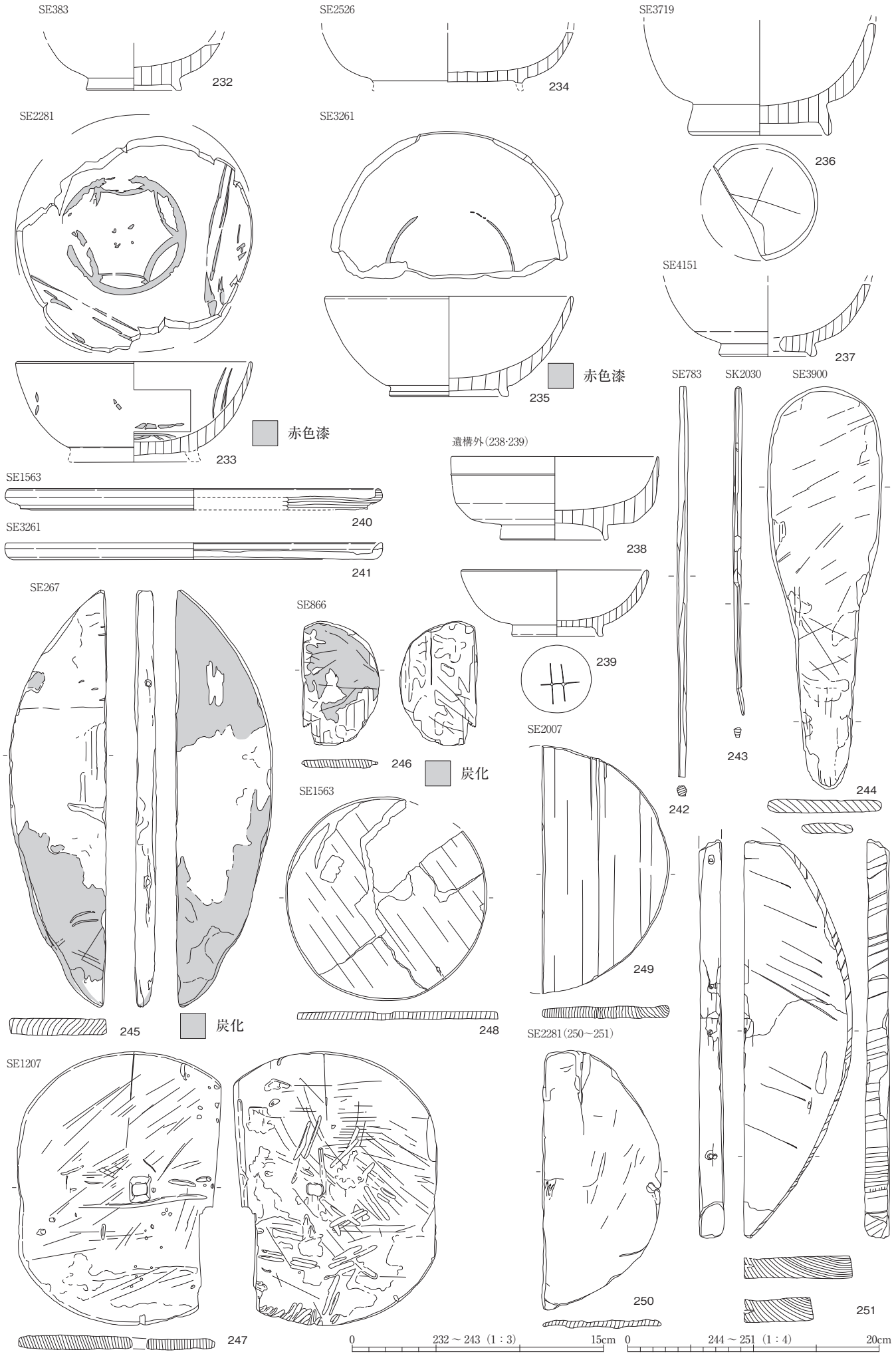

SD1428（140～142）
140
141
142
SD1540（143～161）
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
SD2276
SD2462
163
SD3991（164～168）
164
165
166
162
167
168
道路状遺構（169～177）
169
170
171
172
173
174
175
176
177
0
すべて（1：3）
15cm

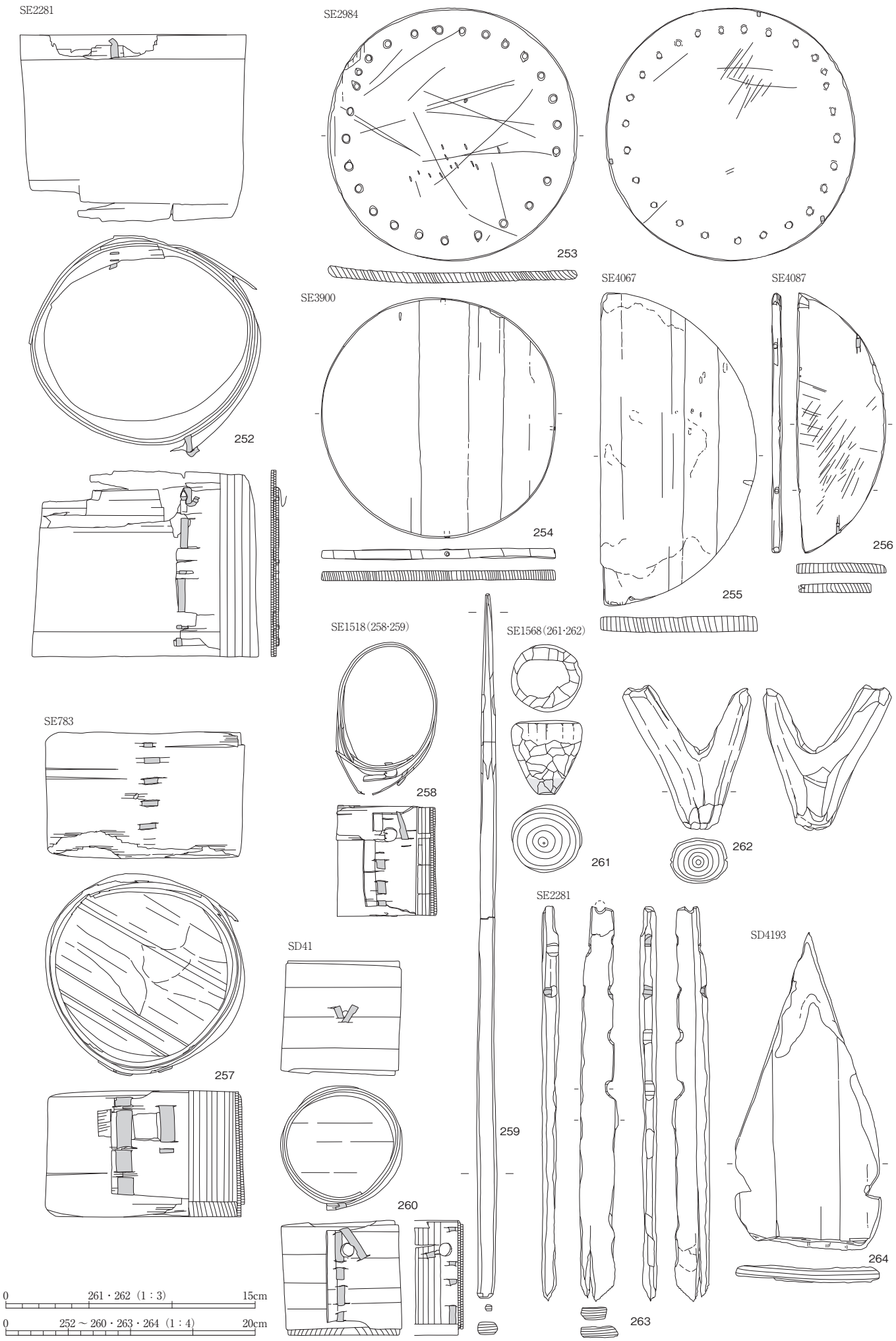

SX300
178
P61
179
P2804
184
P81
180
P136
181
P407
182
SK4210
192
P1396
183
P2809
185
P1570
186
SD4193（193･194）
193
P3221
187
194
P3033（188･189）
188
P3995
189
SD4194
P3340
190
191
195
SB4401（P3417）
SE1160
遺構外（196･197）
196
198
201
197
SE534
SE2281
SE1212
199
202
SE687
SE3623
200
203
204
0
すべて（1：3）
15cm

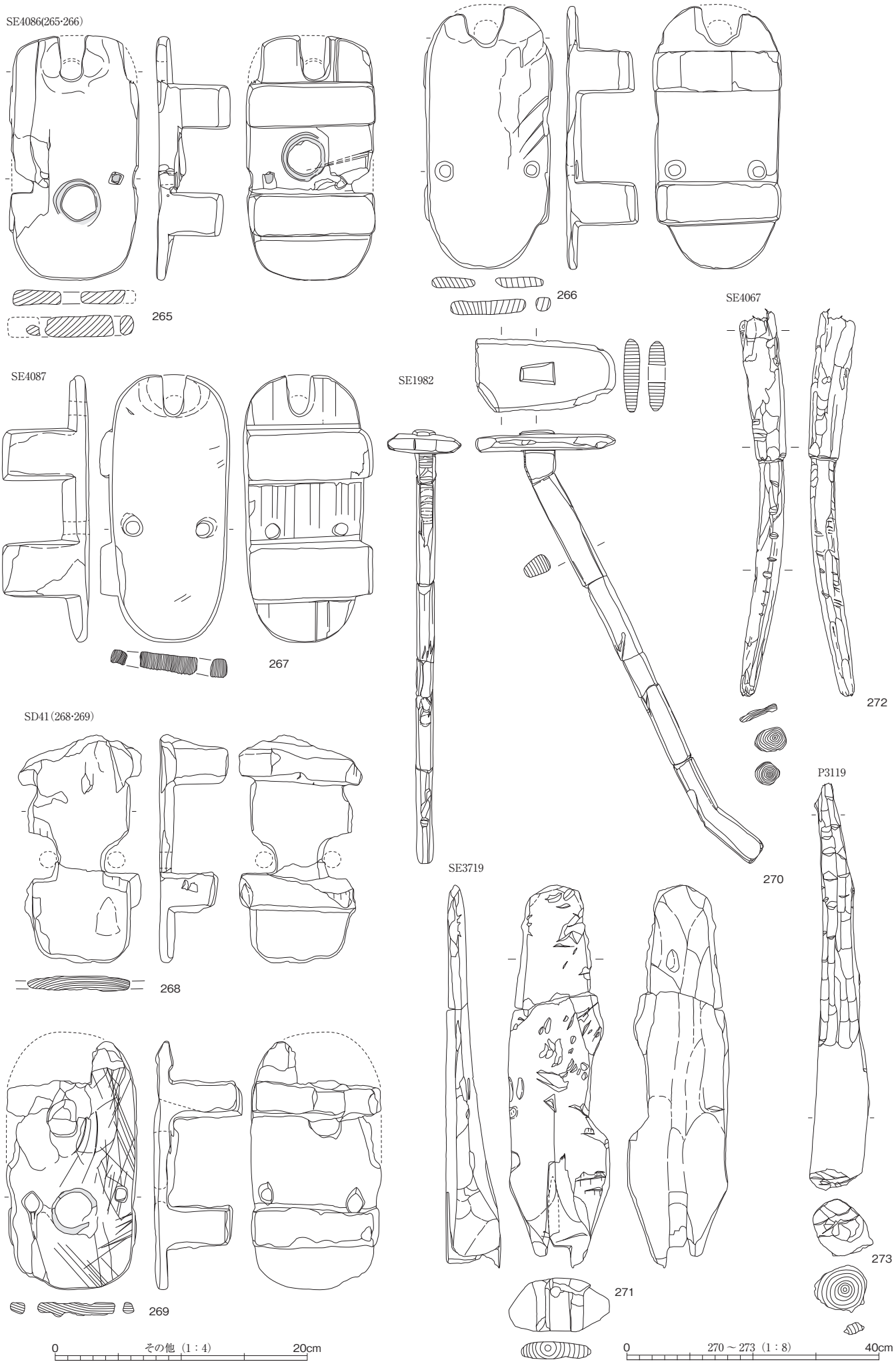

SD41
205
SD345
206
P520
207
遺構外（208･209）
208
209
SE860
210
SE3260
211
SK1834
213
SE3623
212
P253
P321
P361
P509
SD1428
214
SD1540
遺構外
216
215
217
218
219
220
0 217～220（1：8） 40cm
0 211～216（1：5） 20cm
0 その他（1：3） 15cm

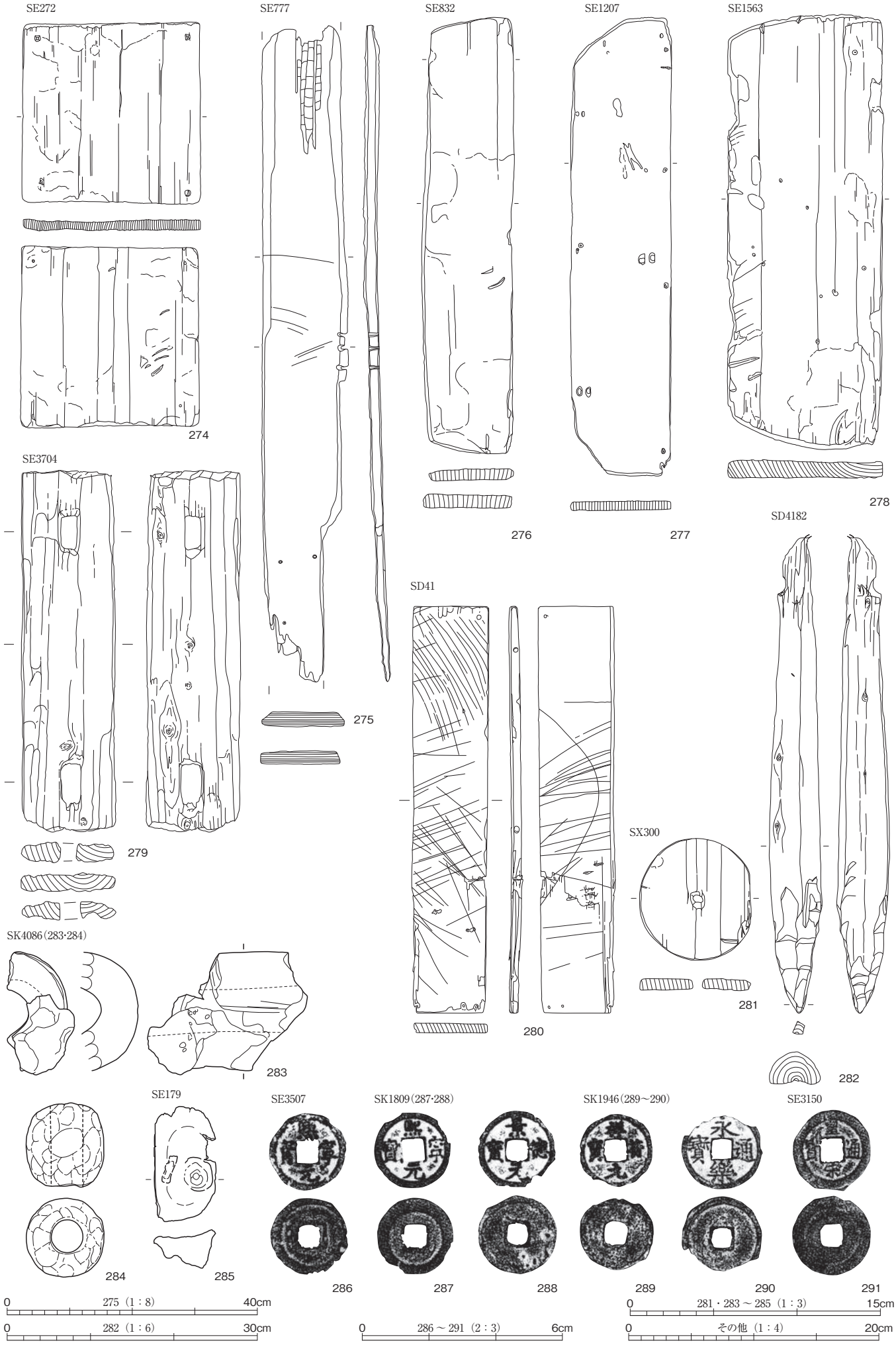

P351
221
P555
222
P660
223
P752
224
P912
225
P2946
228
P2263
227
P3097
229
P3428
230
P4164
231
P1449
226
0
すべて（1：8）
40cm

木製品３（漆器椀・盤・箸・杓子・曲物）

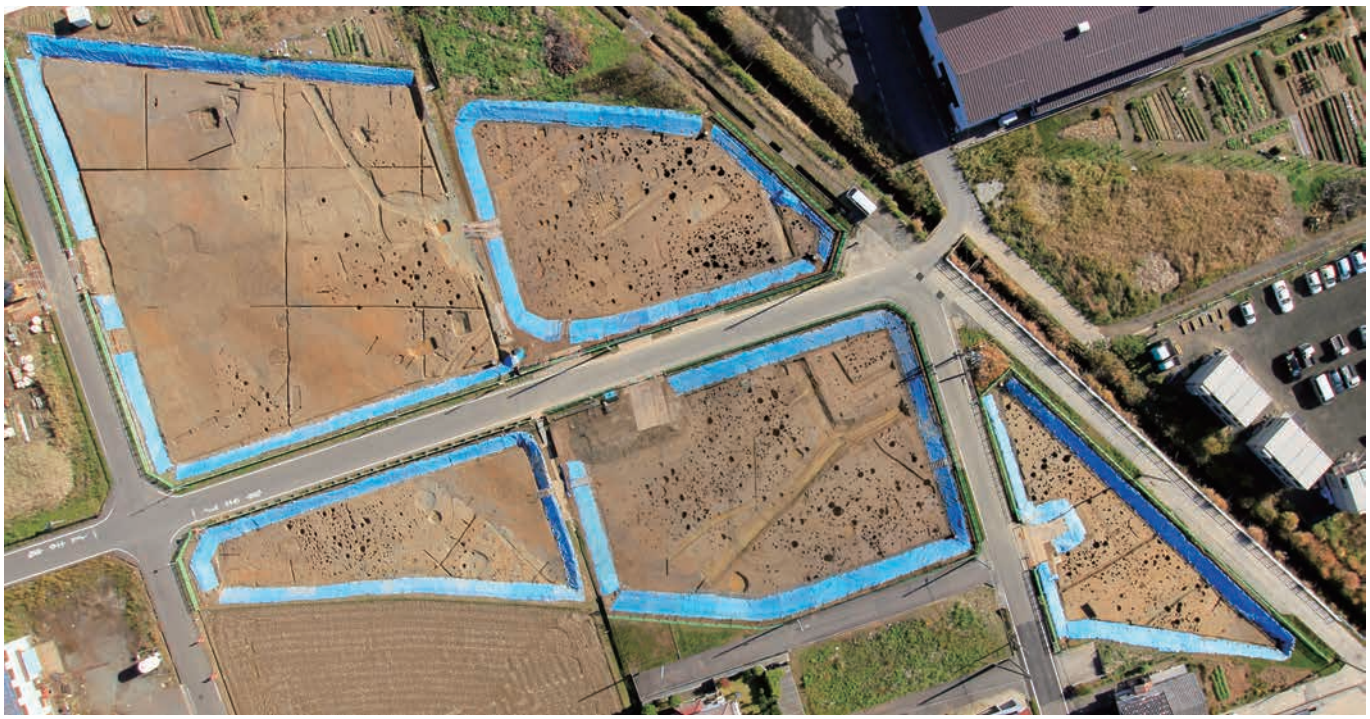



SE2281
SE2984
253
SE3900
SE4067
SE4087
252
254
255
256
SE1518（258･259）
SE1568（261･262）
SE783
258
261
262
SE2281
SD41
SD4193
257
259
260
263
264
0　261・262（1：3）　15cm
0　252～260・263・264（1：4）　20cm


SE4086(265･266)
265
266
SE4087
267
SE1982
270
SE4067
272
SD41（268･269）
268
269
SE3719
271
P3119
273
0
その他（1：4）
20cm
0
270～273（1：8）
40cm

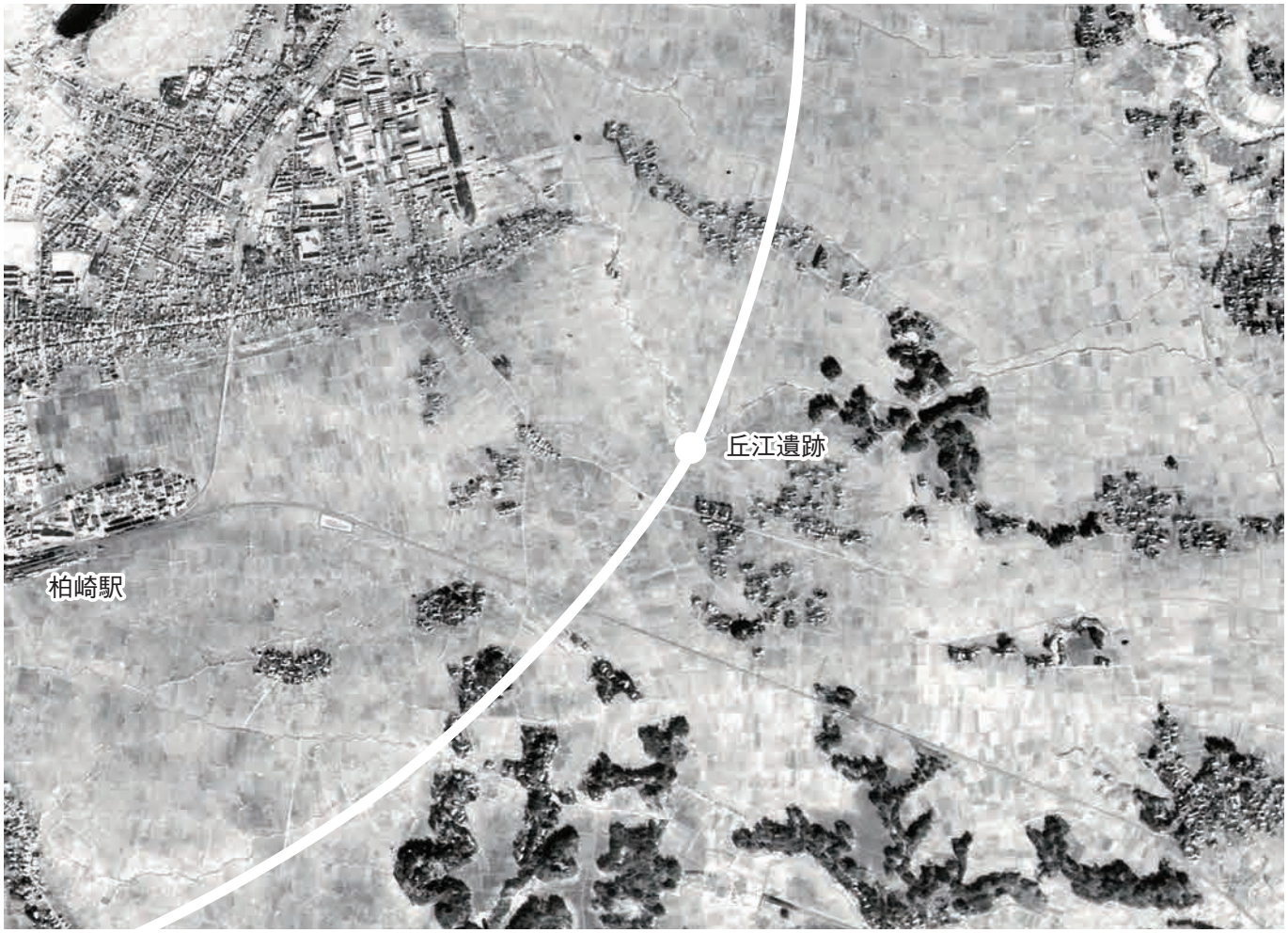

SE272
SE777
SE832
SE1207
SE1563
274
275
276
277
278
SE3704
279
SD41
280
SD4182
281
282
SX300
SK4086（283･284）
283
SE179
284
285
SE3507
SK1809（287･288）
SK1946（289～290）
SE3150
286
287
288
289
290
291
0 275（1：8） 40cm
0 282（1：6） 30cm
0 286～291（2：3） 6cm
0 281・283～285（1：3） 15cm
0 その他（1：4） 20cm

調査区　遠景　北から



調査区　空撮　直上西から（合成）

遺跡位置、基本層序、SB4345完掘、SE3764出土遺物



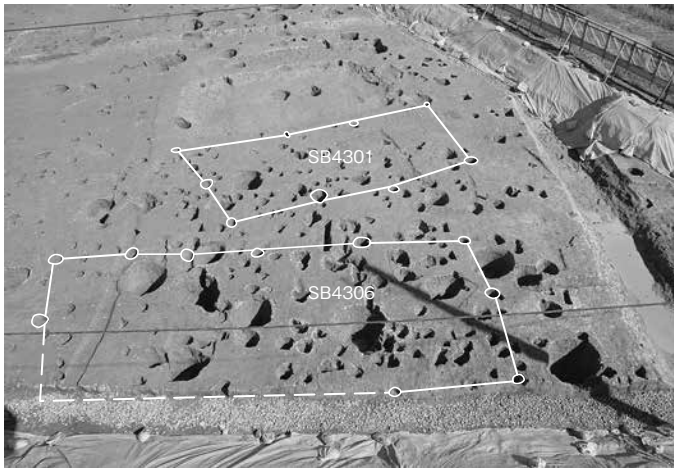
遺跡位置　一般財団法人日本地図センター発行　1947（昭和22）年11月11日　米軍撮影

基本層序　西から

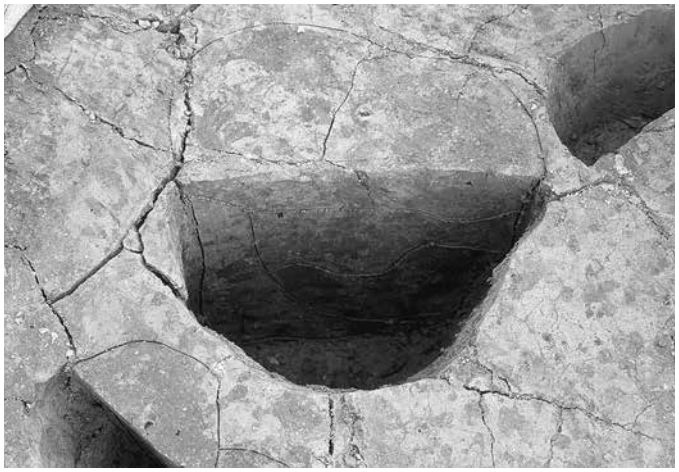
２区　SB4345　完掘　北西から

２区　SB4345　完掘　北東から

SE3764　出土遺物



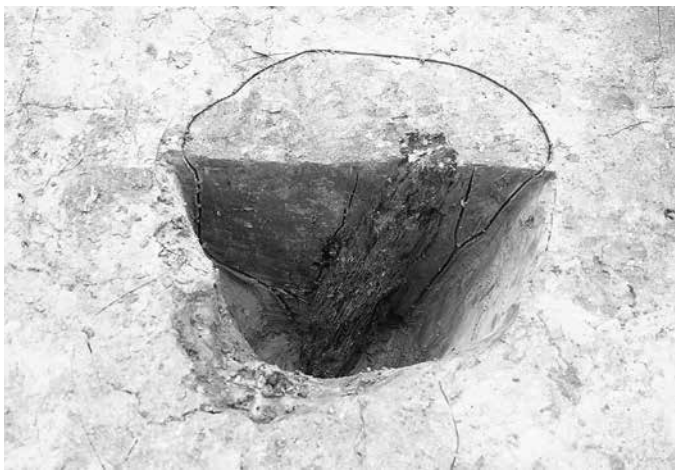
1区　SB4301・SB4306　西から


1区　SB4301　P380　セクション　北から

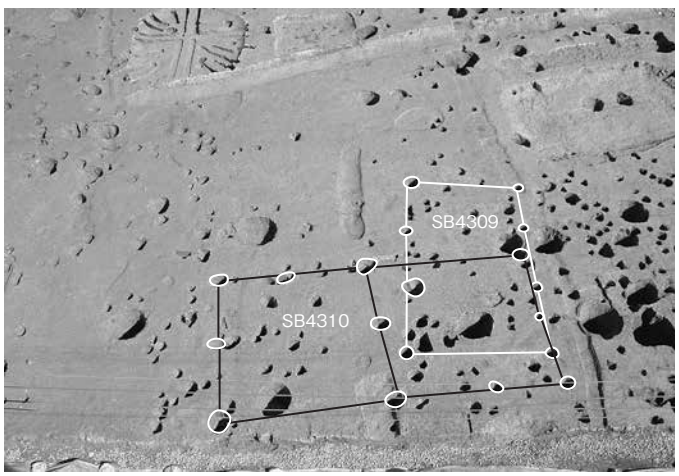
1区　SB4301　P471　セクション　南から

1区　SB4301　P942　セクション　西から

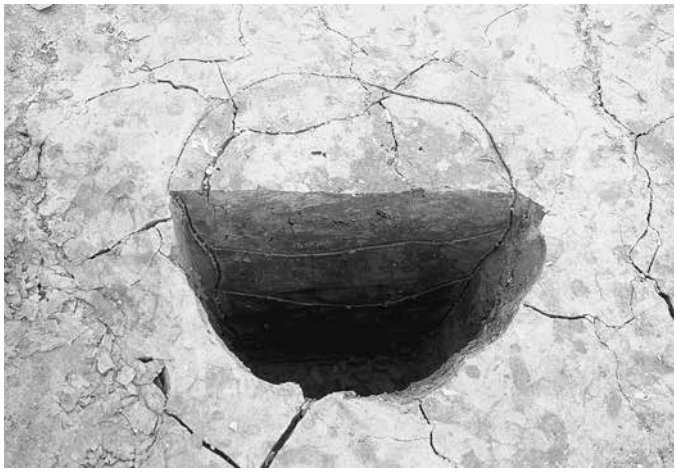
1区　SB4306　P259　セクション　西から


1区　SB4306　P321　セクション　東から

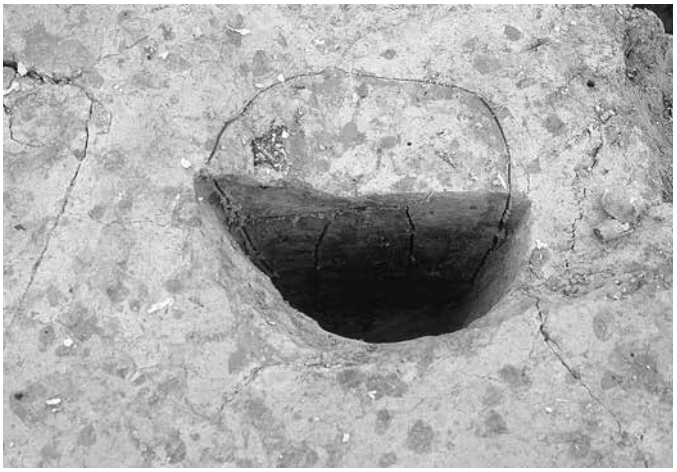
1区　SB4306　P321　柱根出土状況　東から



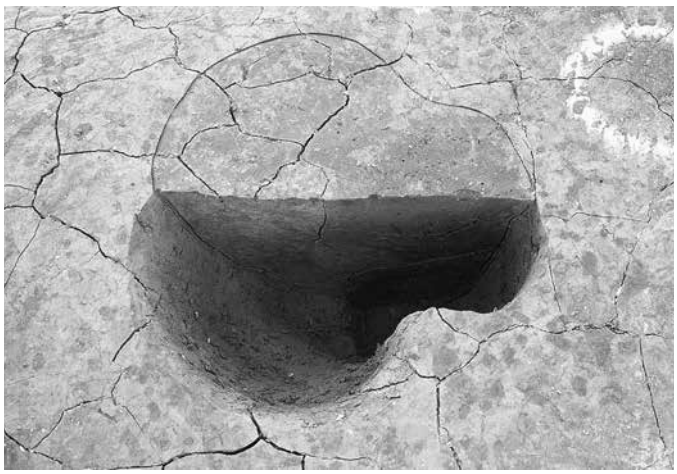
1区　SB4309・SB4310　西から



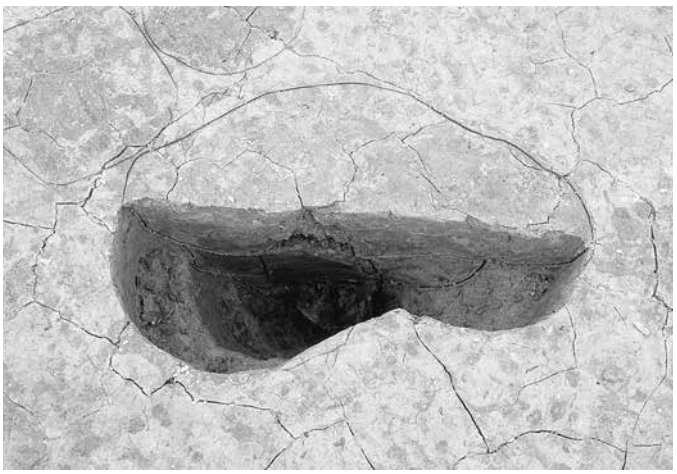
1区　SB4309　P205　セクション　南から



1区　SB4309　P516　セクション　東から

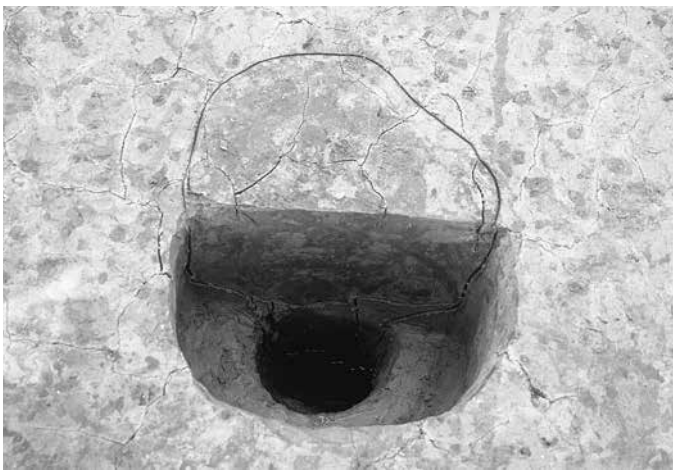


1区　SB4309　P535　セクション　東から

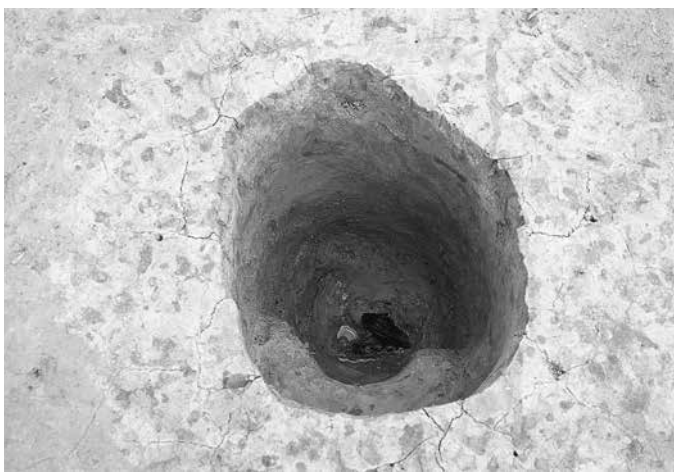


1区　SB4310　P555　セクション　南西から

1区　SB4310　P555　礎板・柱根出土状況　東から



1区　SB4310　P694　セクション　南から

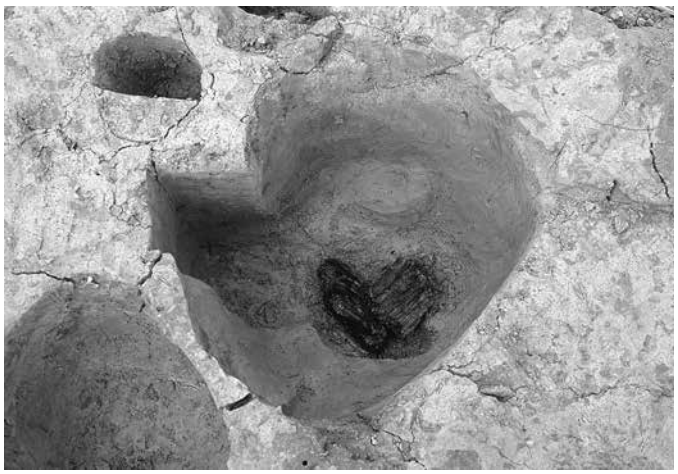


1区　SB4310　P694　柱根出土状況　南から

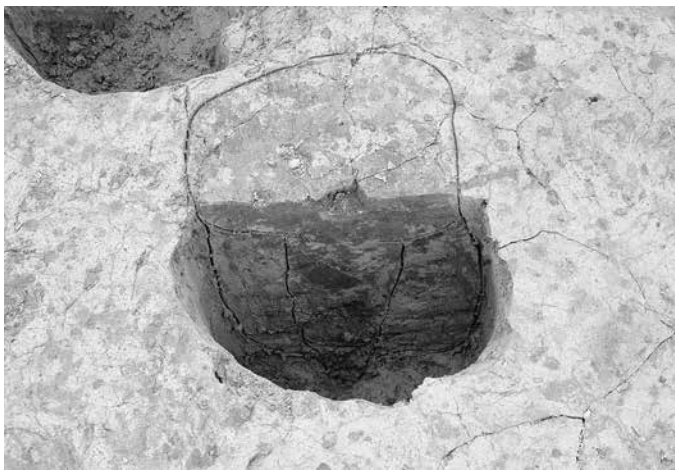
1区　SB4310　P712・P713　セクション　西から

1区　SB4310　P712　柱根出土状況　西から

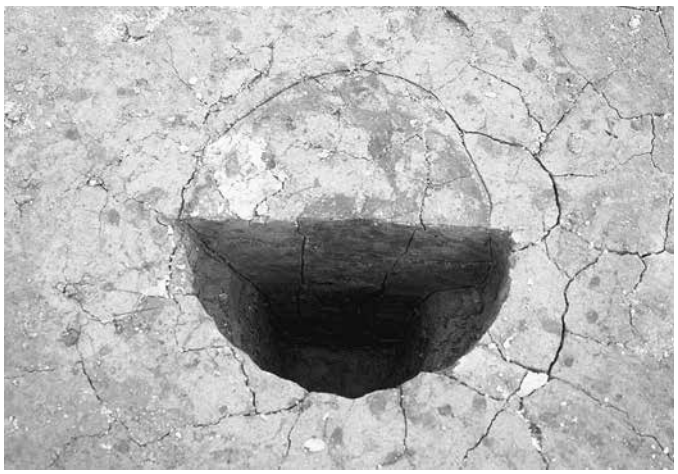
1区　SB4310　P728　セクション　東から



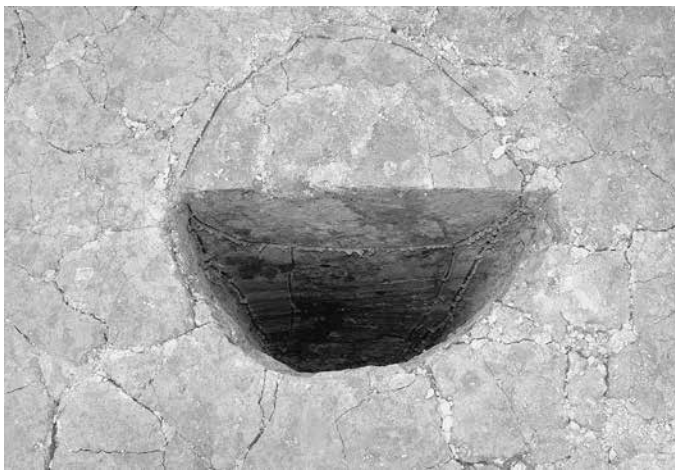
1区　SB4310　P728　柱根出土状況　東から



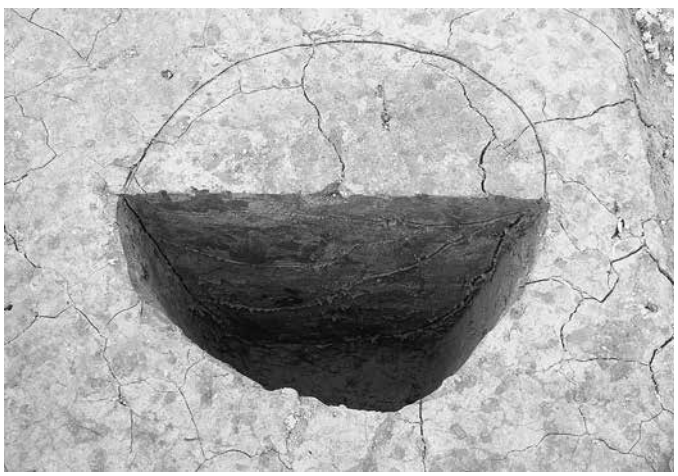
1区　SB4314　P952　セクション　西から



1区　SB4314　P1102　セクション　南から

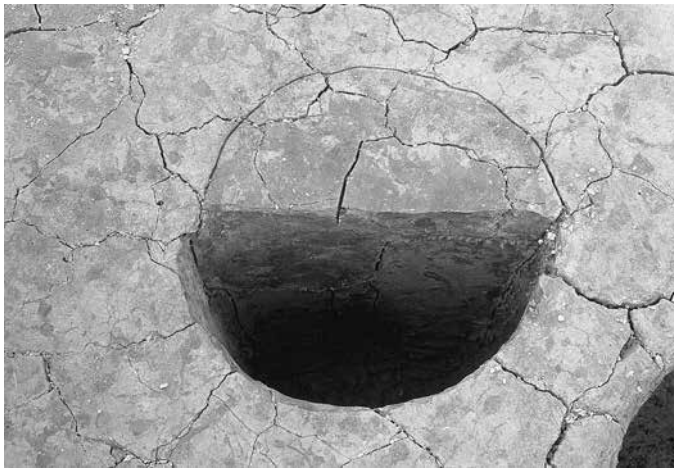


1区　SB4314　P1192　セクション　東から



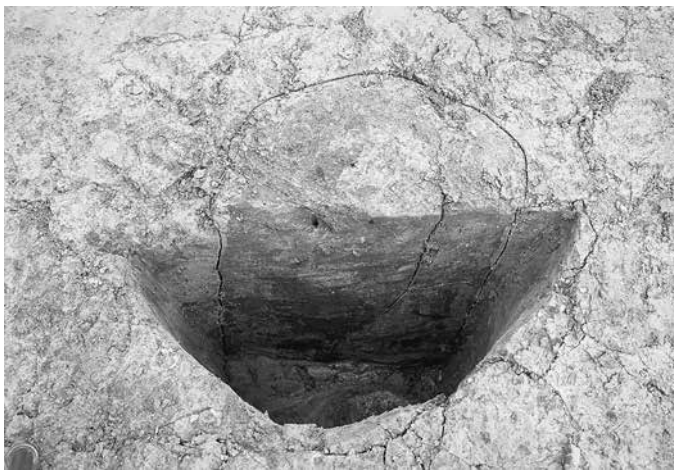
1区　SB4316　P1111　セクション　南から

1区　SB4316　P1131　セクション　南から

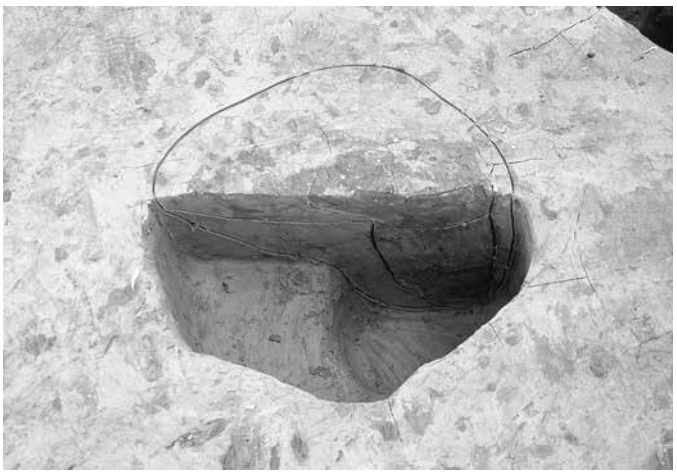


1区　SB4316　P1137　セクション　南から

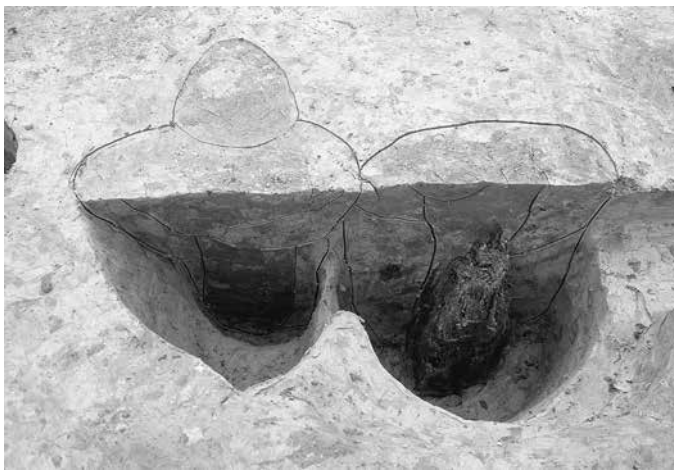
1区　SB4316　P1190　セクション　西から



1区　SB4325　P491　セクション　南から

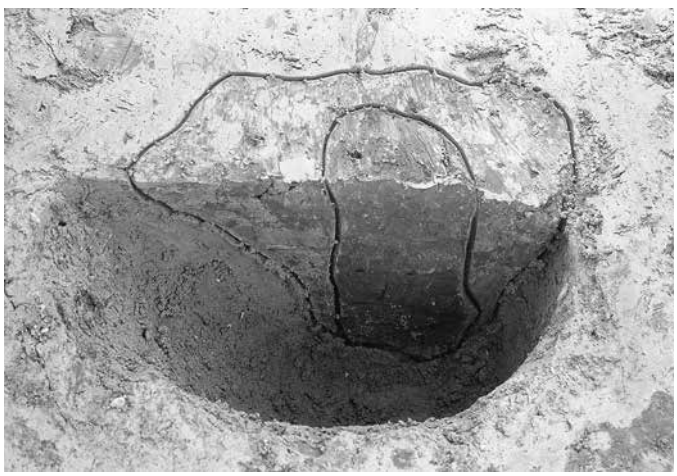


1区　SB4325　P4063　セクション　東から

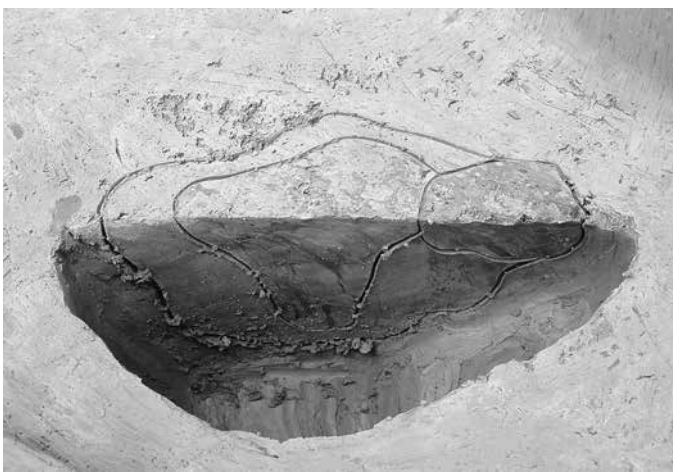


1区　SB4325　P4078・P4079　セクション　北から

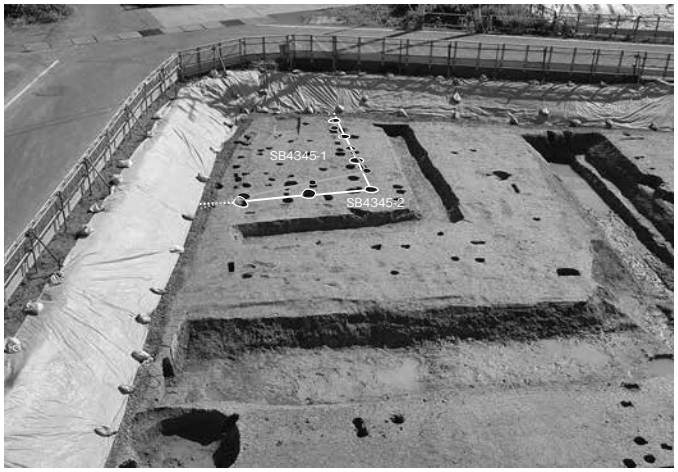
1区　SB4325　P4079　柱根出土状況　北から



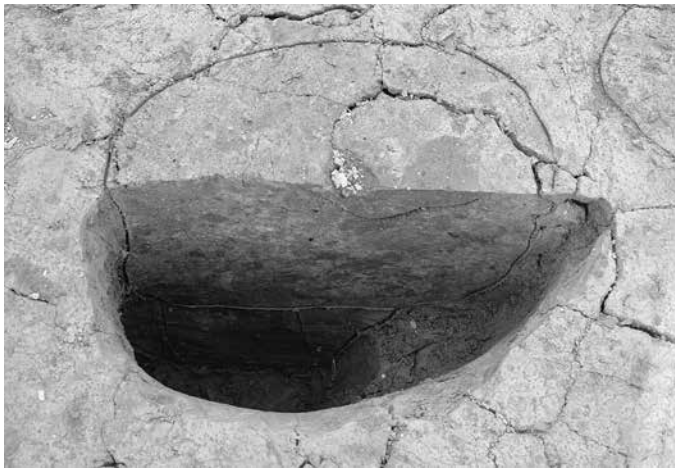
1区　SB4326　P419　セクション　東から



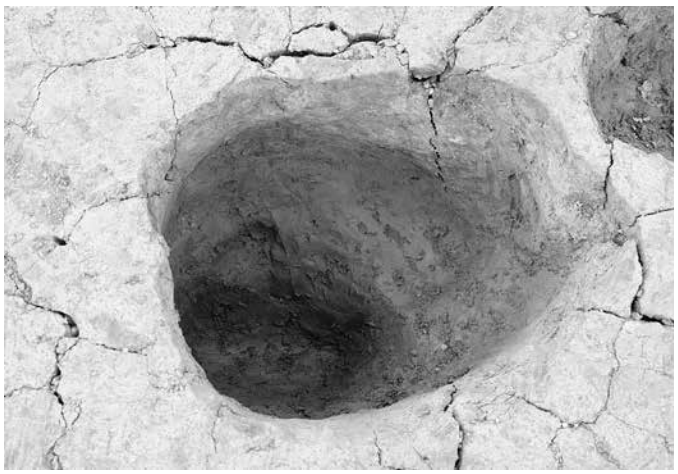
1区　SB4326　P495　セクション　東から



２区　SB4345-1・2　検出状況　北から



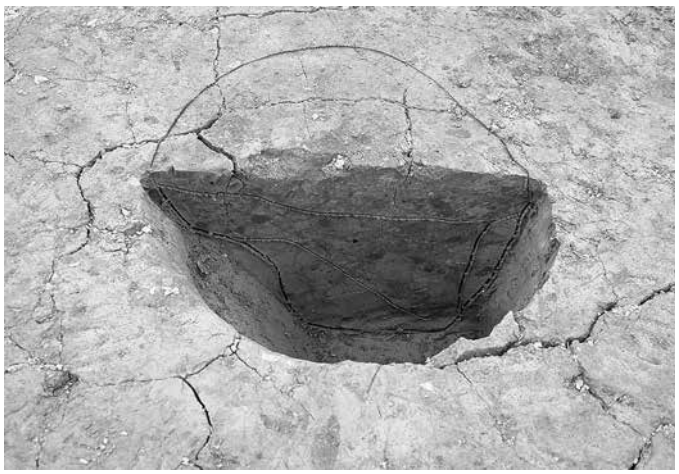
２区　SB4345-1　P1297　セクション　南から



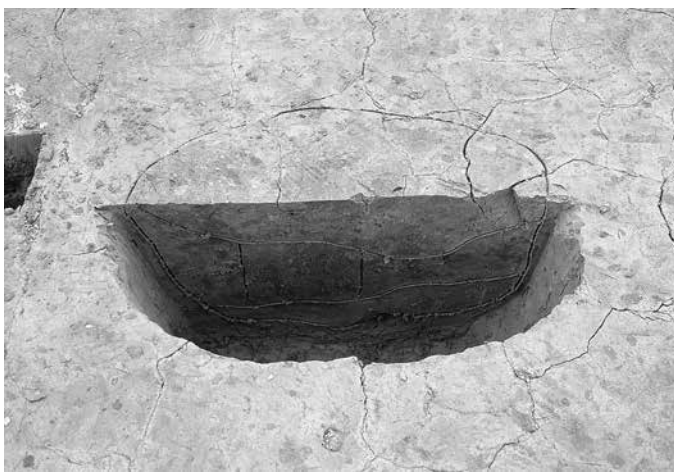
２区　SB4345-1　P1297　完掘　南から

２区　SB4345-1　P1350・P1351　セクション　西から

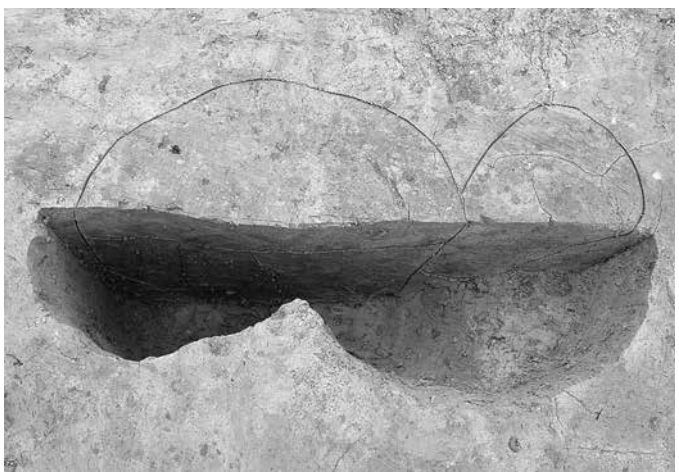
２区　SB4345-1　P1366・P1368　セクション　東から



２区　SB1345-2　P1342　セクション　南から

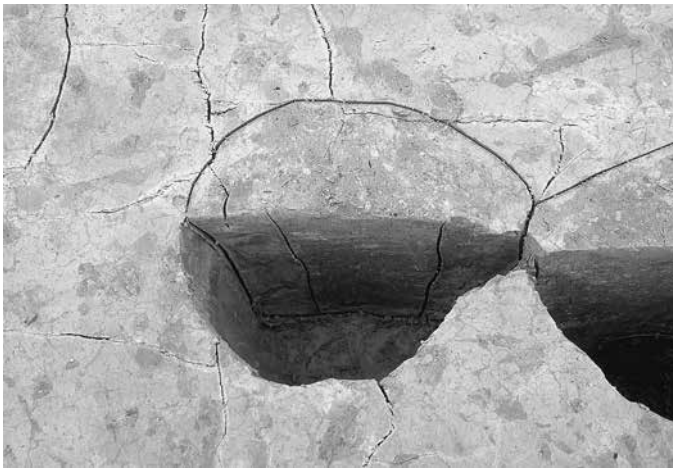


２区　SB4345-2　P1364　セクション　南から

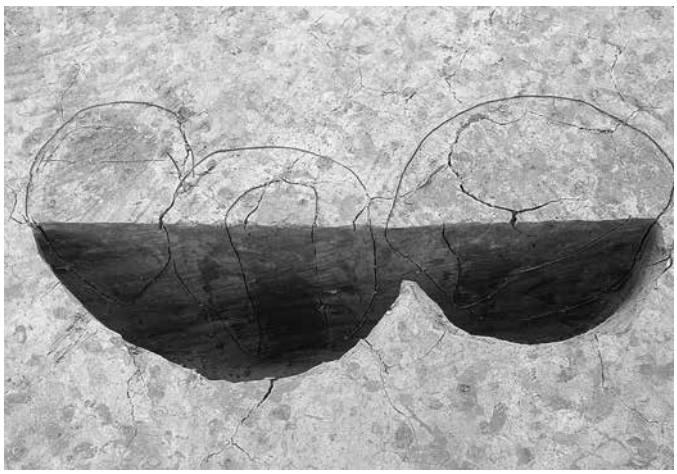


２区　SB4345-2　P1378・P1379　セクション　西から

２区　SB4348・SB4351・SB4353・SB4355　検出状況　北から

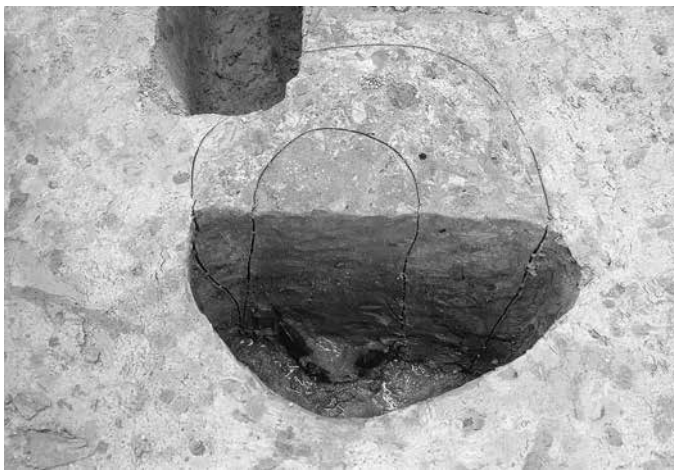


２区　SB4348　P1270　セクション　南から



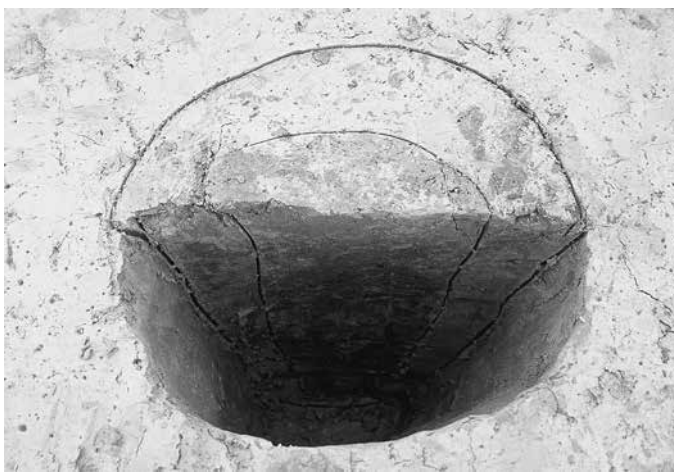
２区　SB4348　P1323・P1324・P1325　セクション　南から

２区　SB4351　P1417　セクション　東から

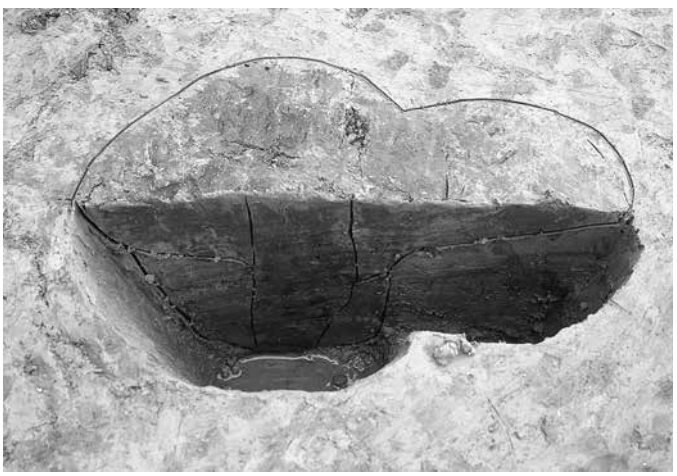


２区　SB4351　P1449　セクション　東から

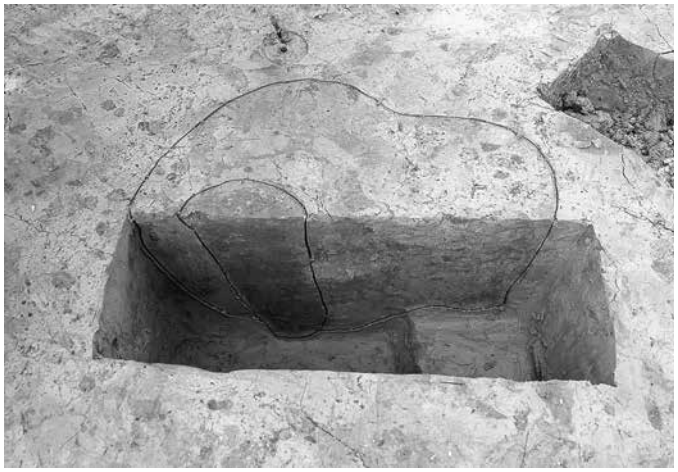
２区　SB4351　P1449　柱根出土状況　東から



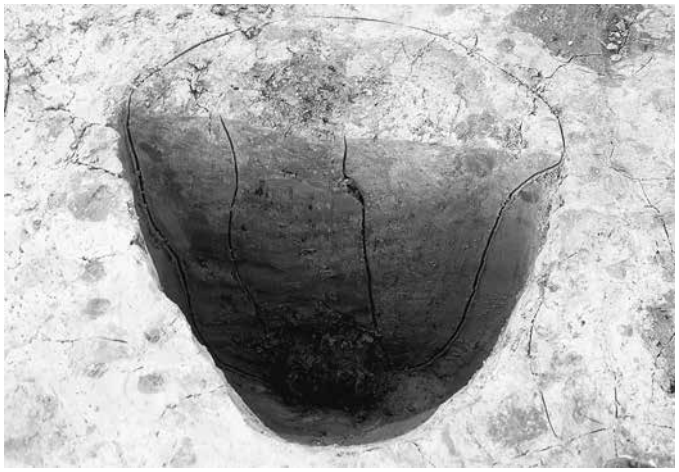
２区　SB4351　P1555　セクション　西から



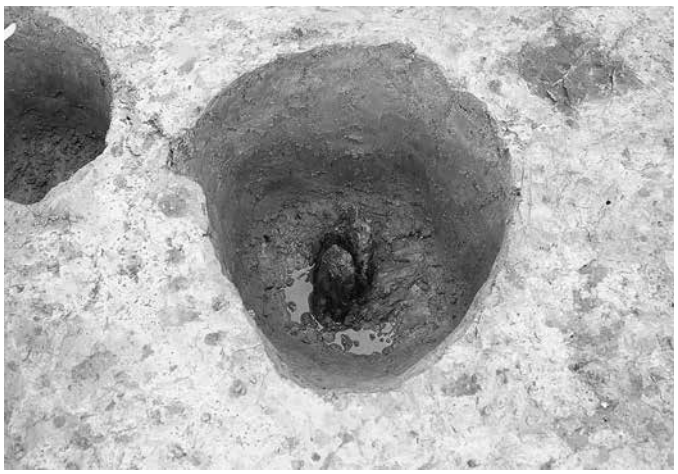
２区　SB4353　P1481　セクション　南から



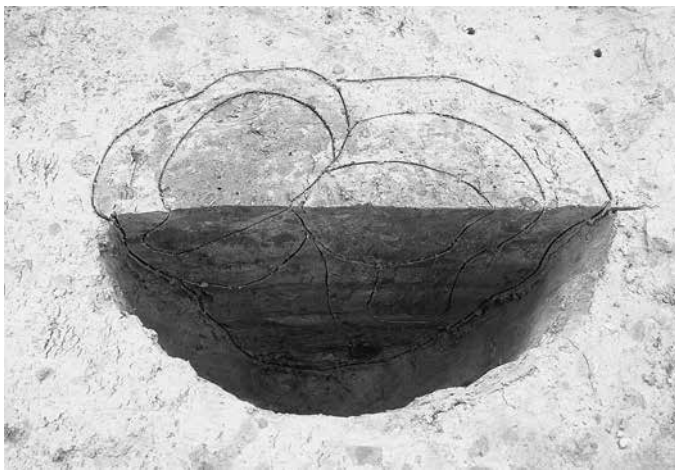
２区　SB4353　P1530　セクション　東から



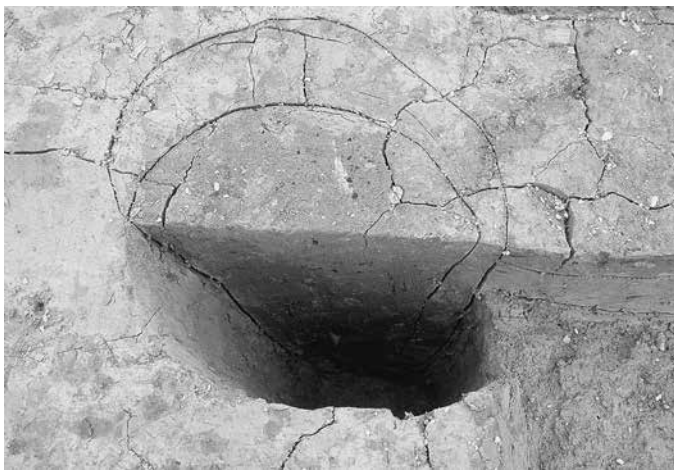
２区　SB4353　P1612　セクション　東から



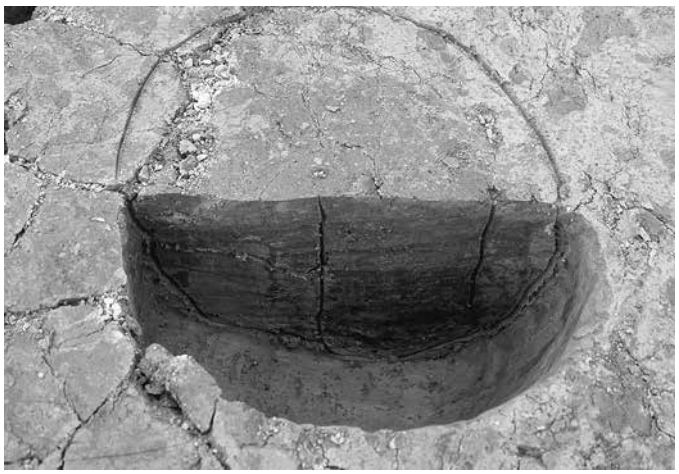
２区　SB4353　P1612　柱根出土状況　東から



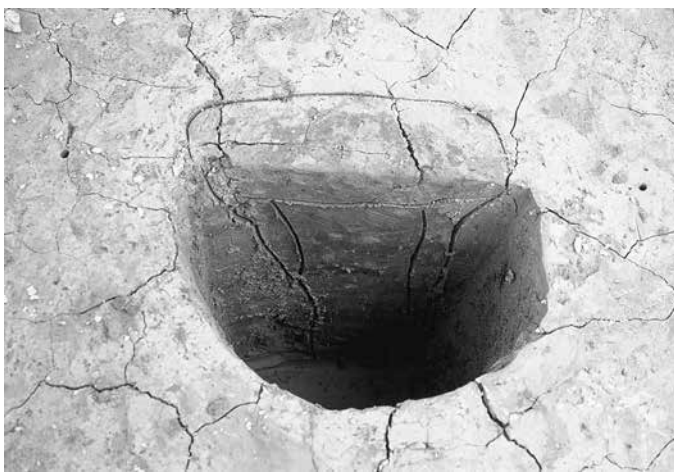
２区　SB4353　P1923・P1924　セクション　西から



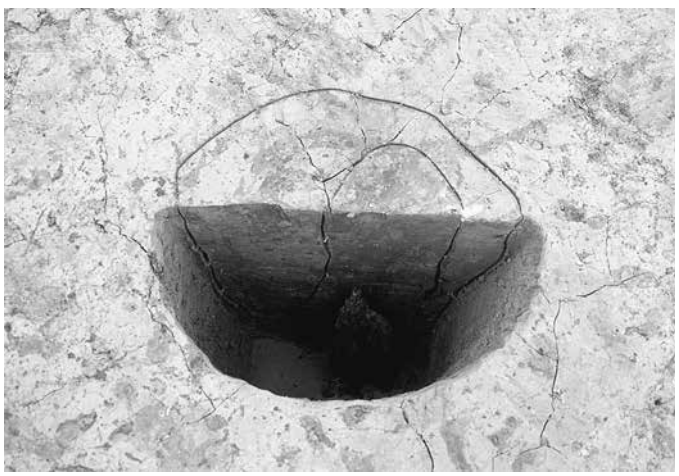
２区　SB4355　P1589　セクション　東から



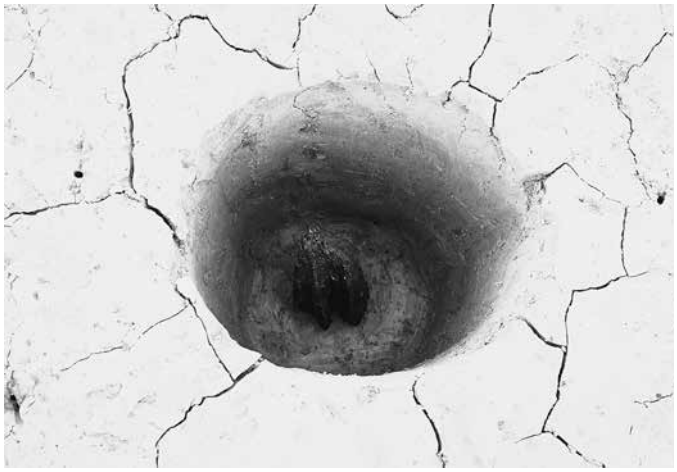
２区　SB4355　P2263　セクション　西から



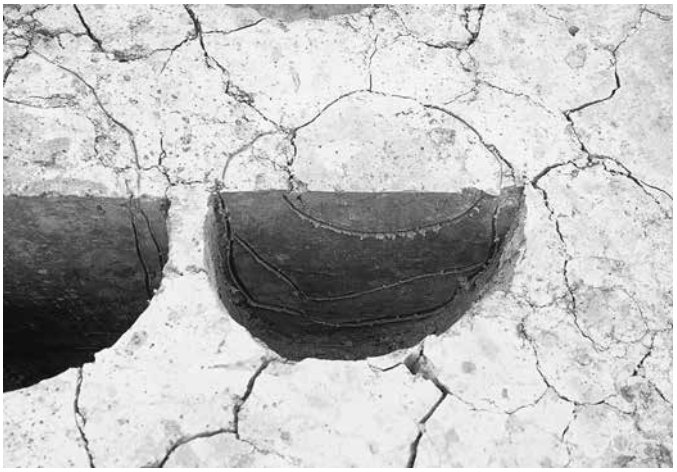
２区　SB4369　P2082　セクション　南から



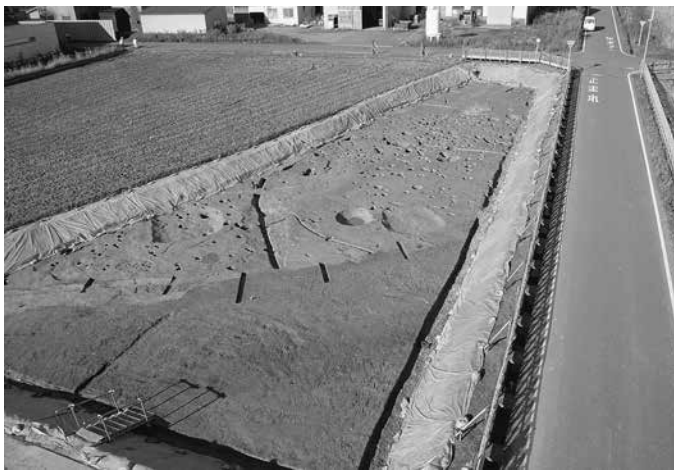
２区　SB4369　P2096　セクション　南東から



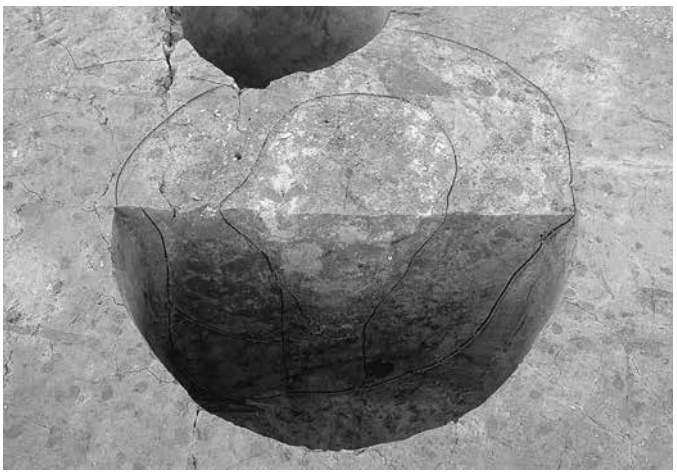
２区　SB4369　P2096　セクション　南東から



２区　SB4369　P2250　セクション　西から

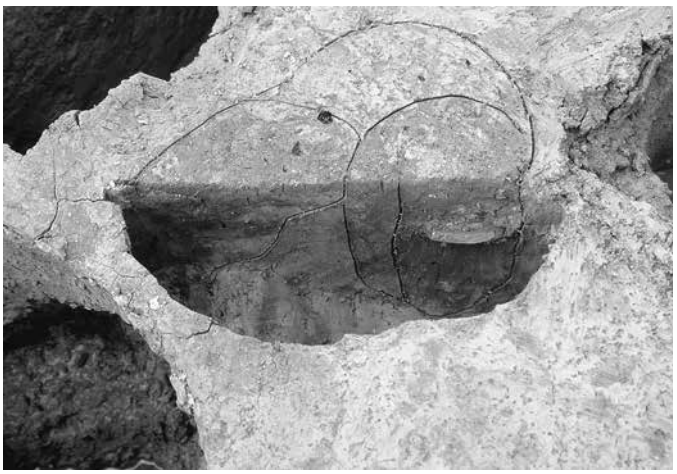


２区北　全景　南東から

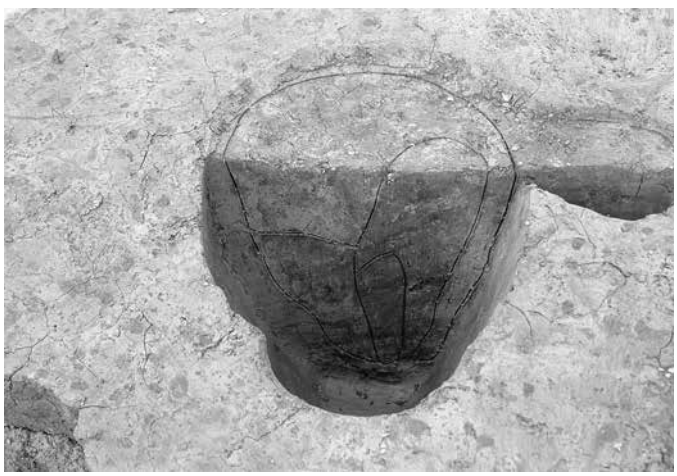


２区　SB4396　P3103　セクション　東から

２区　SB4396　P3781　セクション　西から

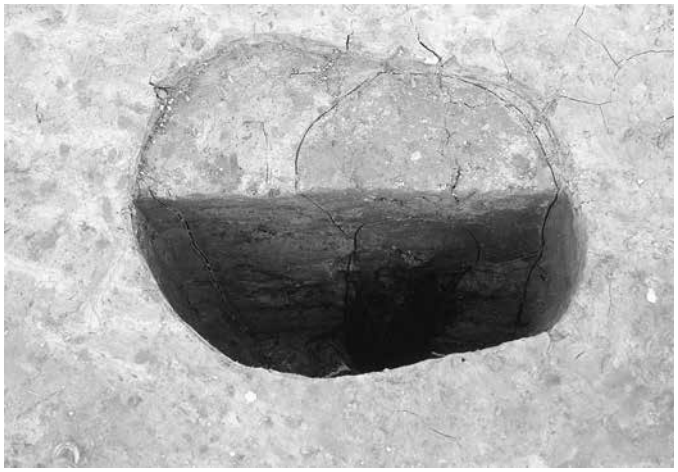


２区　SB4397　P3126・P3176　セクション　南から



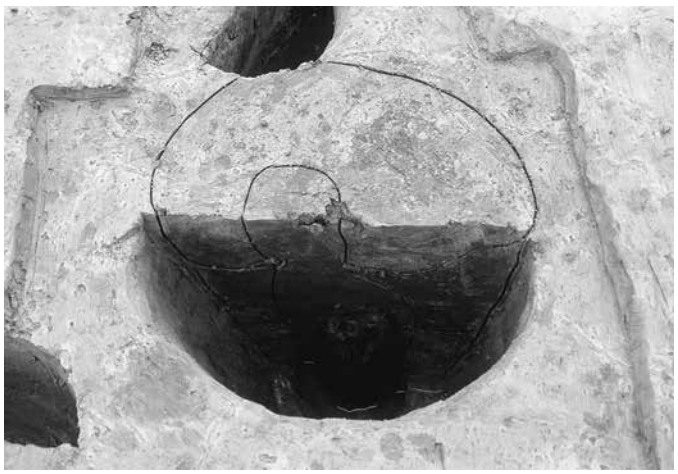
２区　SB4397　P3872　セクション　西から

２区　SB4398　P3119　セクション　南から



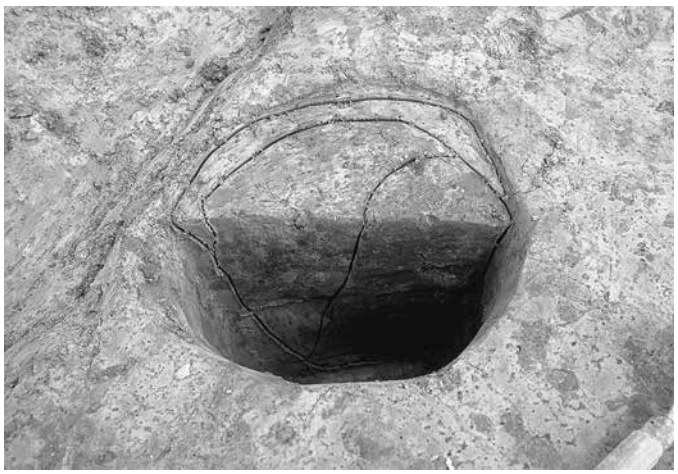
２区　SB4398　P3428　セクション　南から

２区　SB4398　P3428　柱根出土状況　南から



２区　SB4398　P3450　セクション　北西から

２区　SB4398　P3450　柱根出土状況　北西から

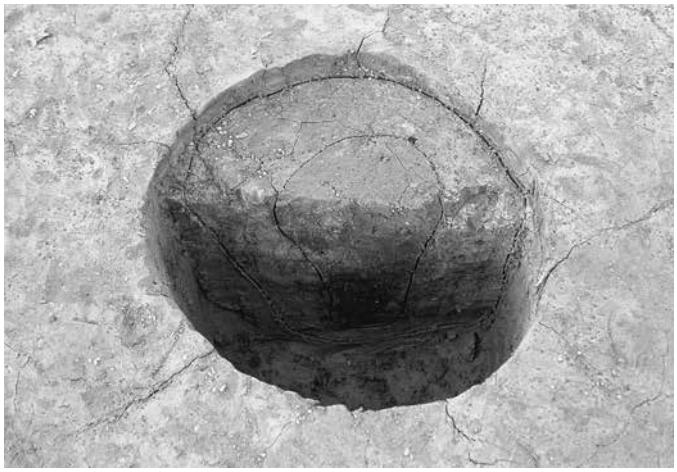


２区　SB4399　P3141　セクション　西から

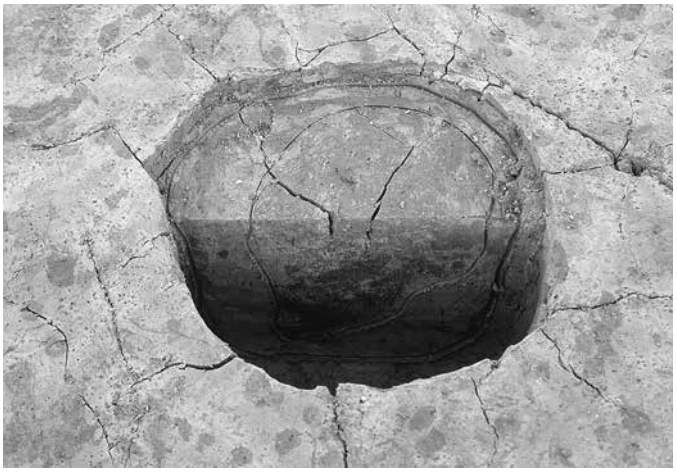
２区　SB4399　P3190　セクション　東から

２区　SB4399　P3410　セクション　北から

２区　SB4401　P3193・P3194（SB4398）　セクション　南から

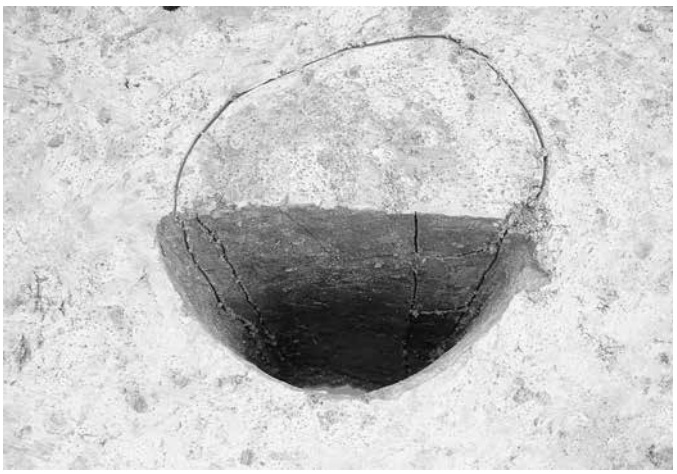


２区　SB4401　P3199　セクション　南から

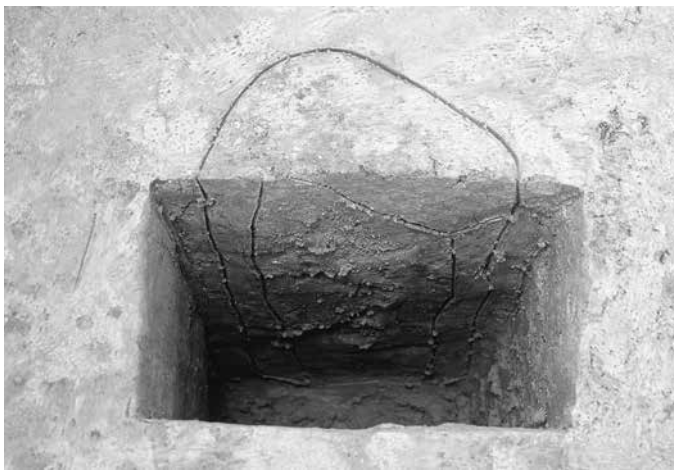


２区　SB4401　P3437　セクション　東から

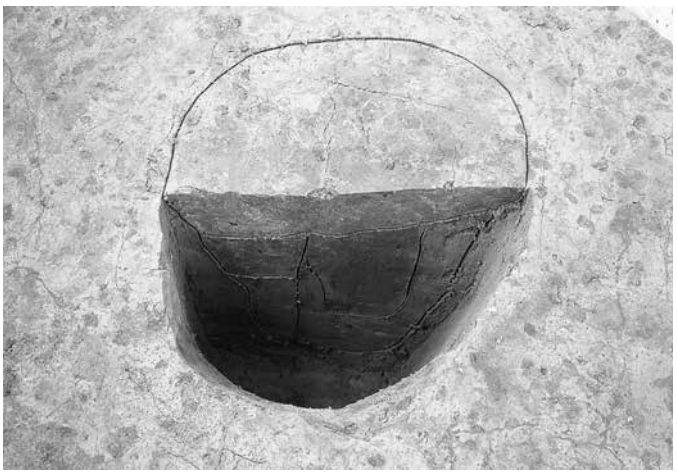
３区　全景　東から



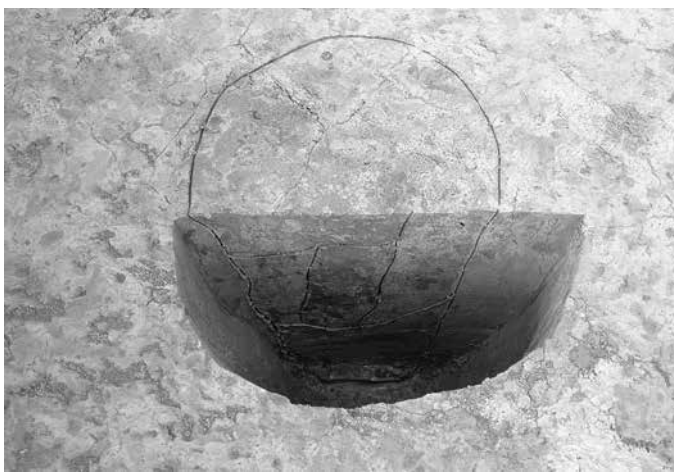
３区　SB4420　P3780　セクション　南から



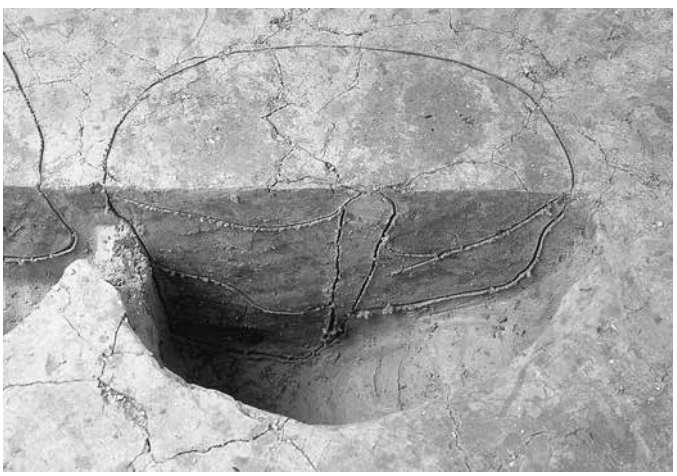
３区　SB4420　P3857　セクション　南から



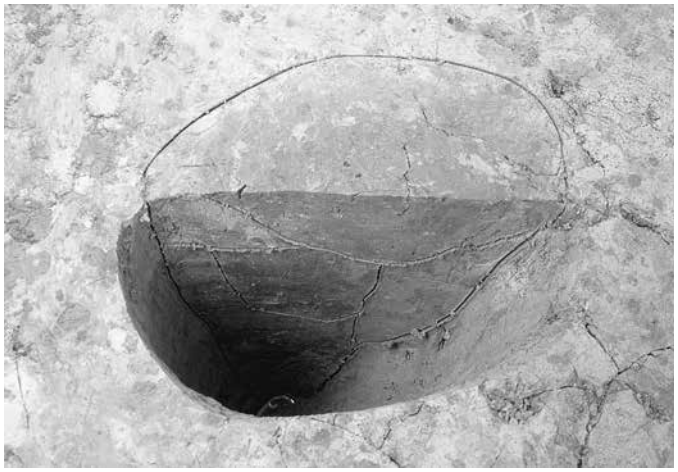
３区　SB4427　P3332　セクション　南から



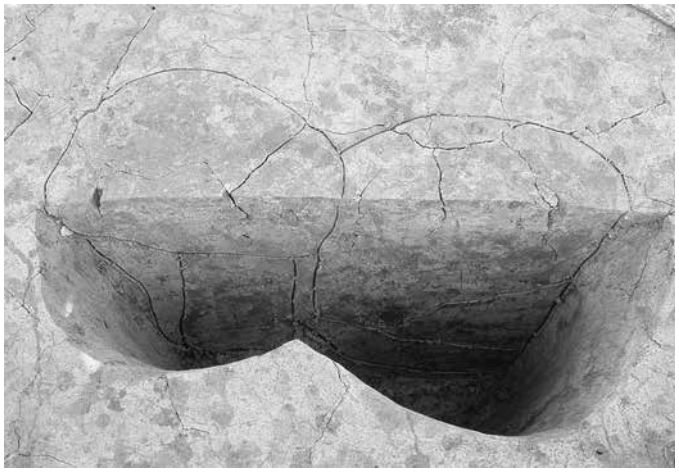
３区　SB4427　P3335 セクション　東から



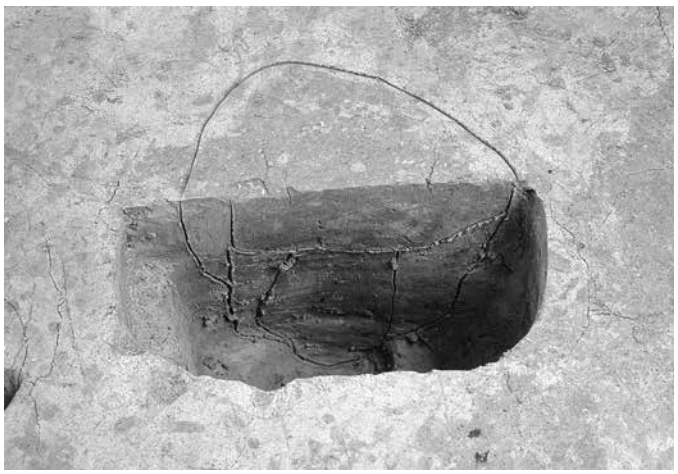
３区　SB4427　P3382　セクション　西から



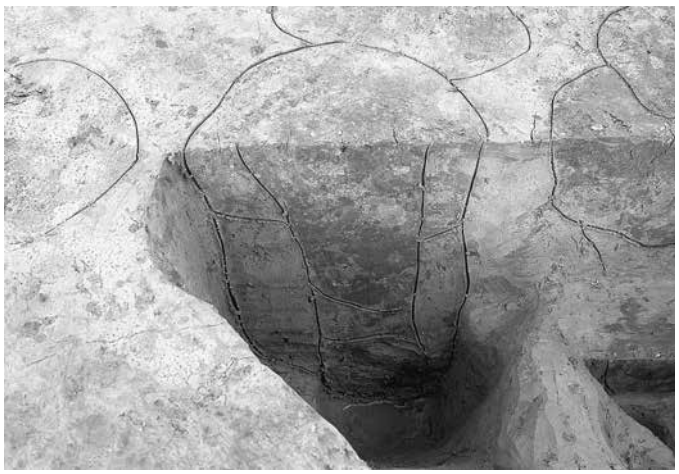
３区　SB4428　P3333　セクション　南から



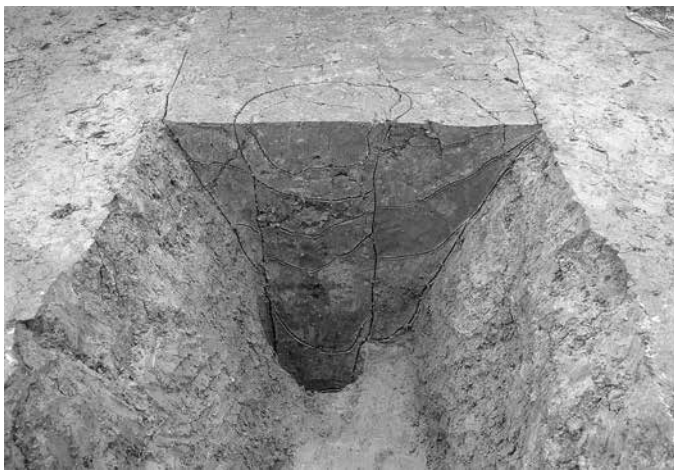
３区　SB4428　P3744・P3743　セクション　南から



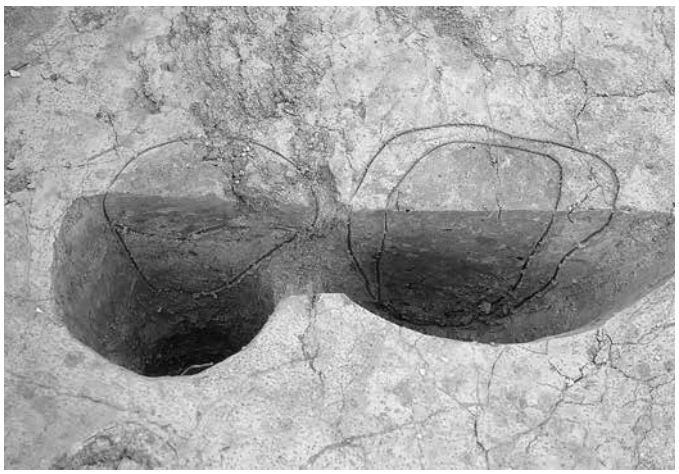
３区　SB4428　P3481　セクション　南から



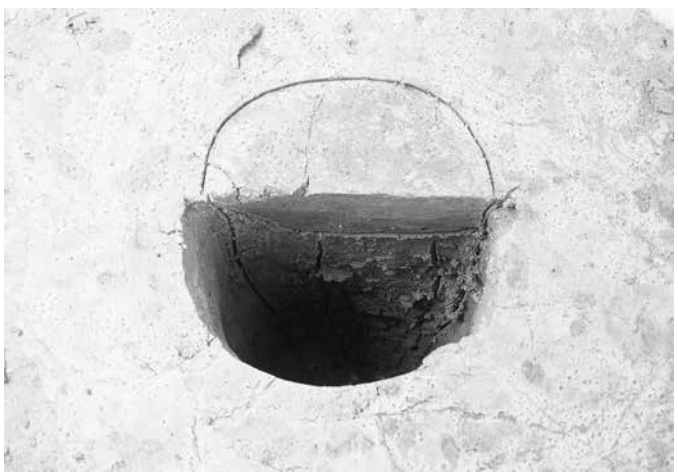
３区　SB4429　P3369　セクション　南西から



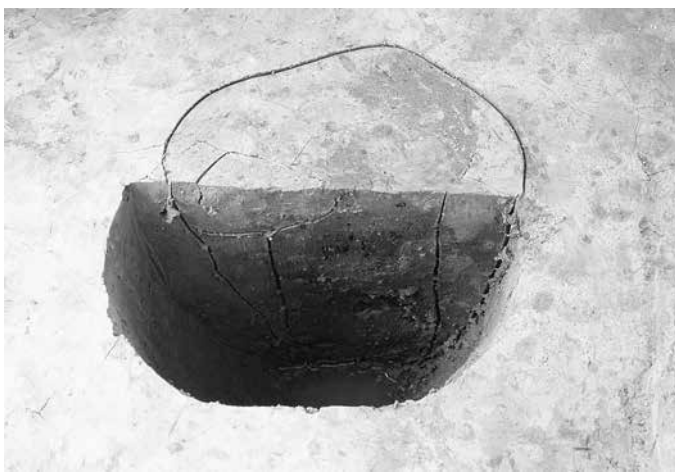
３区　SB4429　P3493　セクション　北から



３区　SB4438　P3069・P3070　セクション　南東から



３区　SB4438　P3078　セクション　南から



３区　SB4439　P3082　セクション　東から

3区　SB4439　SK3083・P3084・SD3002　セクション　北から

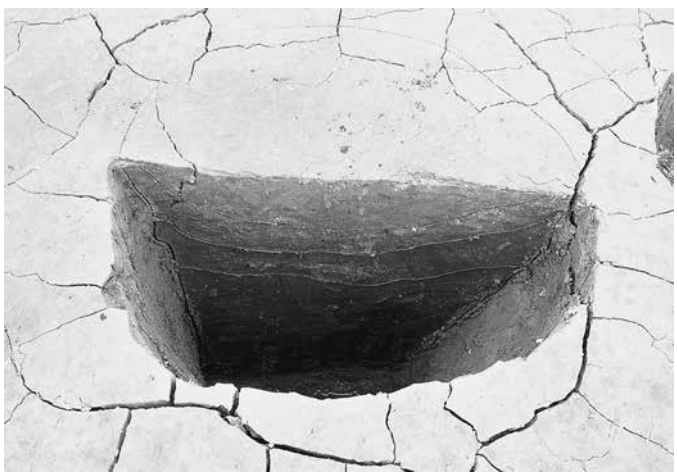
3区　SB4439　P3097　柱根出土状況　西から

1区　SE99　セクション　北から

1区　SE99　完掘　西から

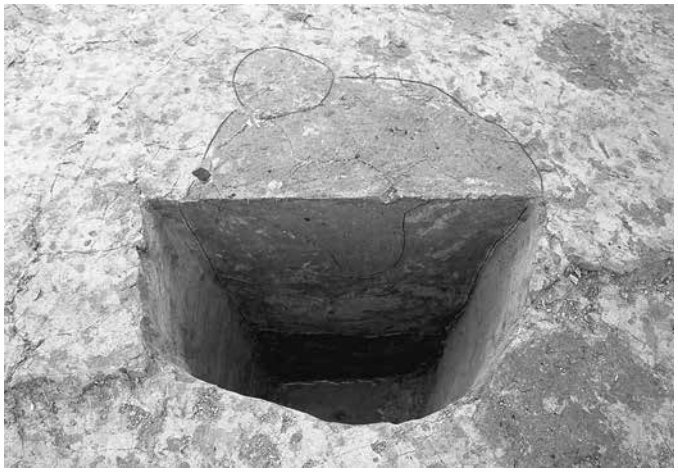
1区　SE150　セクション　北東から

1区　SE150　完掘　南西から

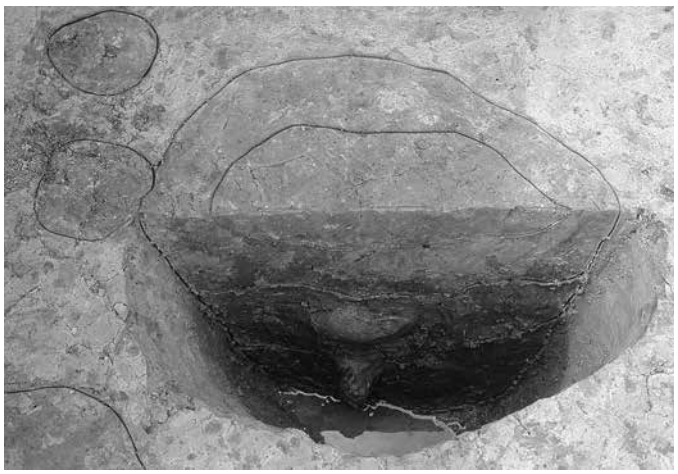


1区　SE151　セクション　南から

1区　SE151　完掘　南から


1区　SE187　セクション　南から

1区　SE187　完掘　南から

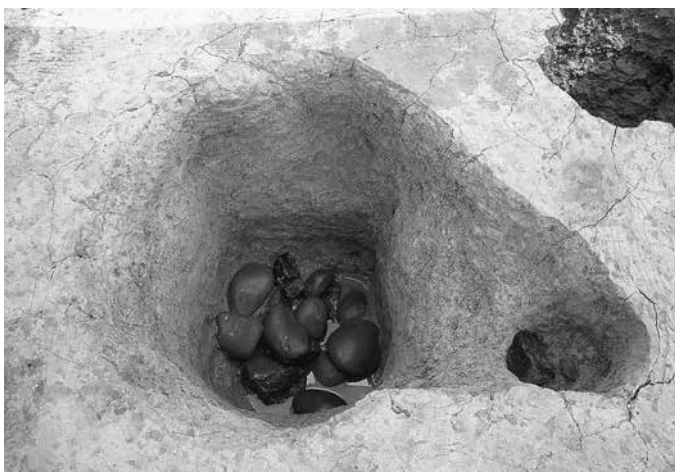

1区　SE267　セクション　東から

1区　SE267　遺物出土状況　東から

1区　SE272　セクション　北から

1区　SE272　完掘　東から

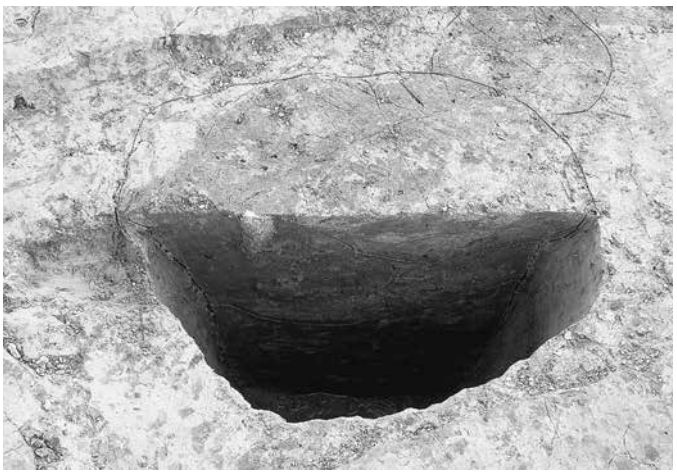
1区　SE284　セクション　南から


1区　SE284　礫出土状況　南から

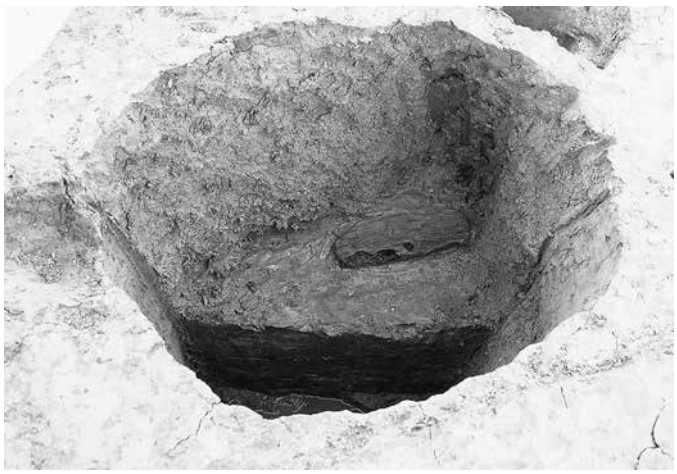
1区　SE284、P443　完掘　南から

1区　SE383　セクション　東から

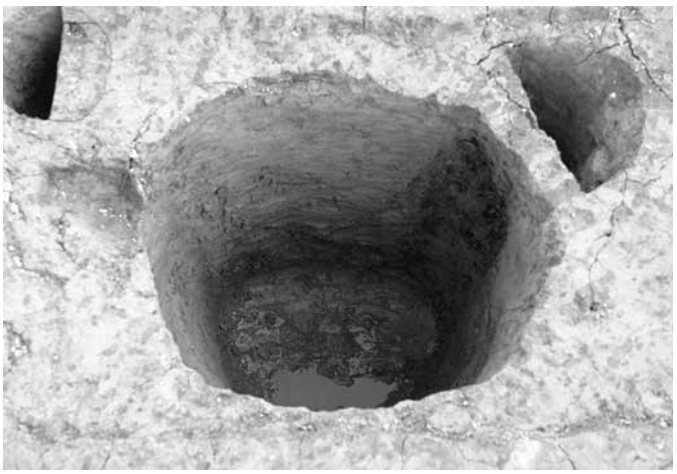
1区　SE383　完掘　東から



1区　SE534　セクション　北から

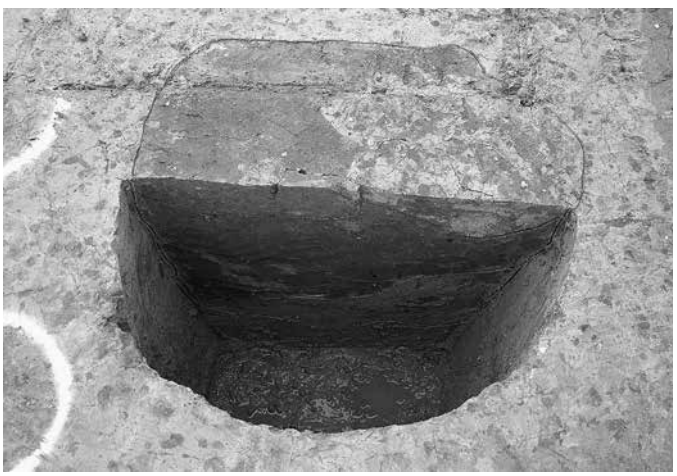


1区　SE534　遺物出土状況　北から



1区　SE534　完掘　北から

1区　SE670　セクション　東から



1区　SE687　セクション　東から

1区　SE777　セクション　南から

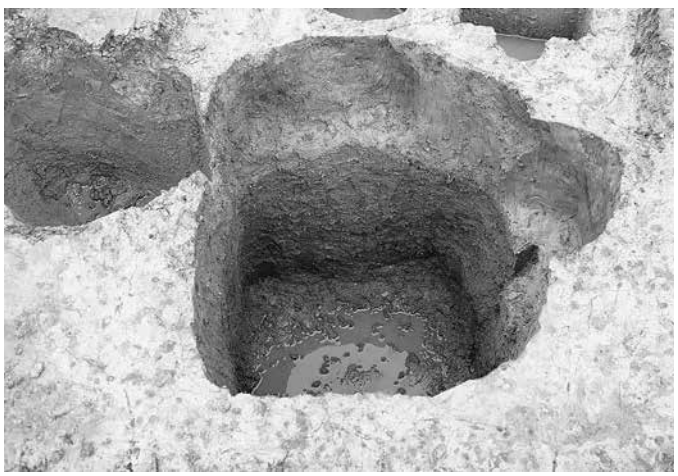
1区　SE777　完掘　南から

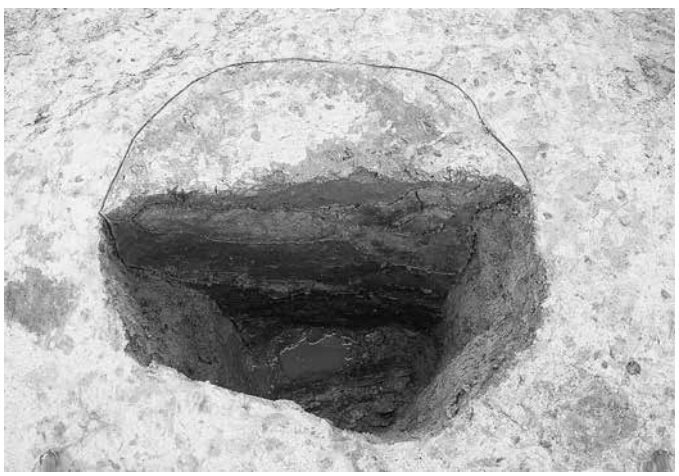
1区　SE783　セクション　南から

1区　SE783　遺物出土状況　南から

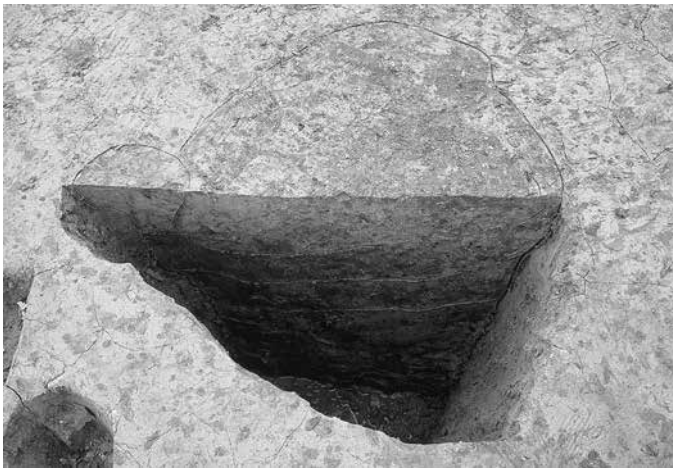
1区　SE783　完掘　南から

1区　SE813、P814　セクション　西から

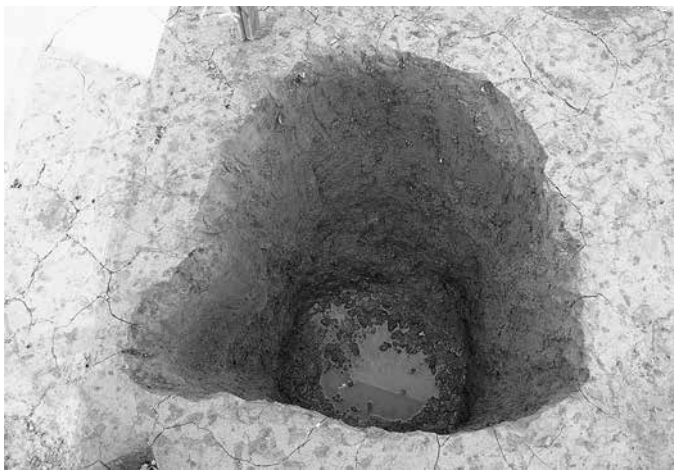

1区　SE813、P814　完掘　西から


1区　SE832　セクション　南から

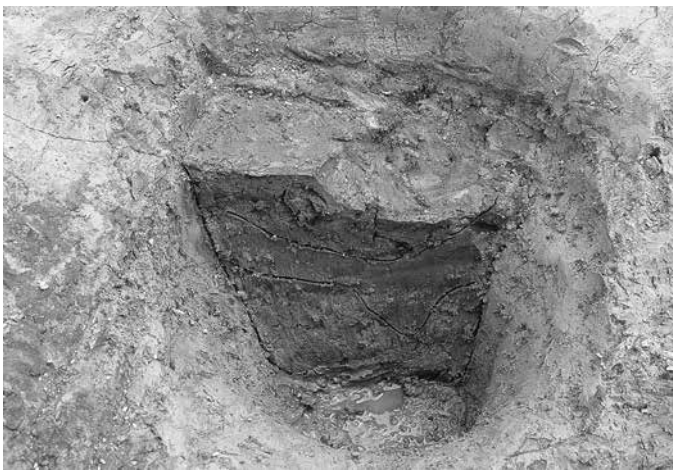
1区　SE832　完掘　南から



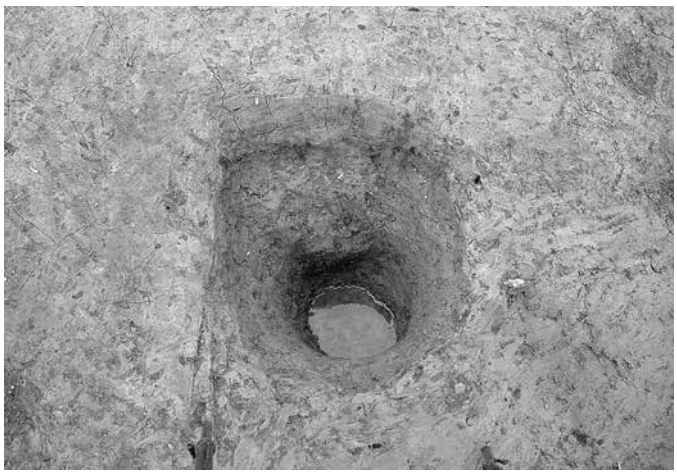
1区　SE860、P908　セクション　南から



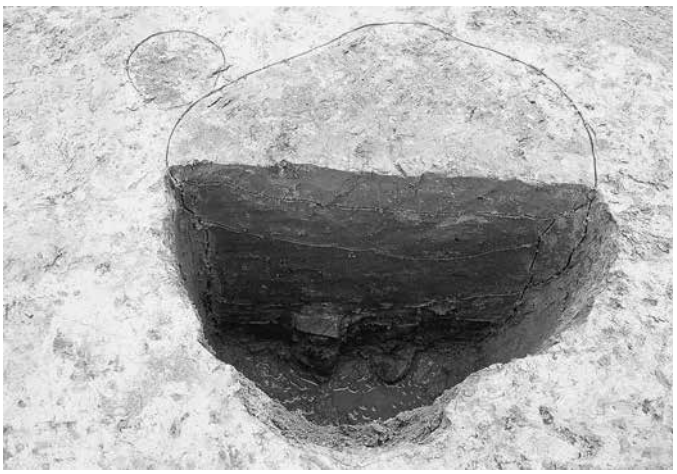
1区　SE860、P908　完掘　南から



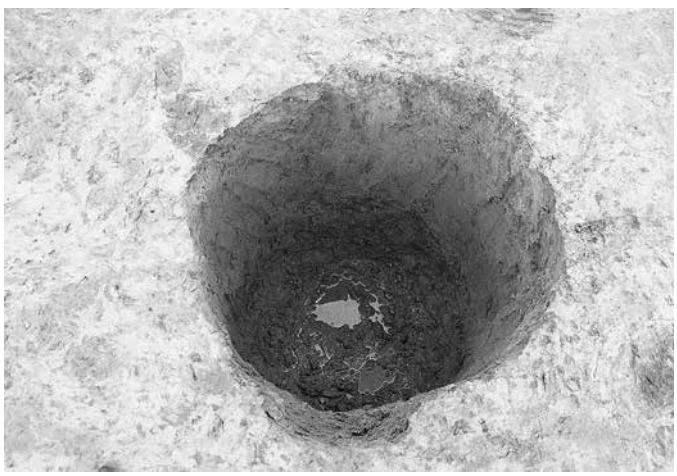
1区　SE855　セクション　北から



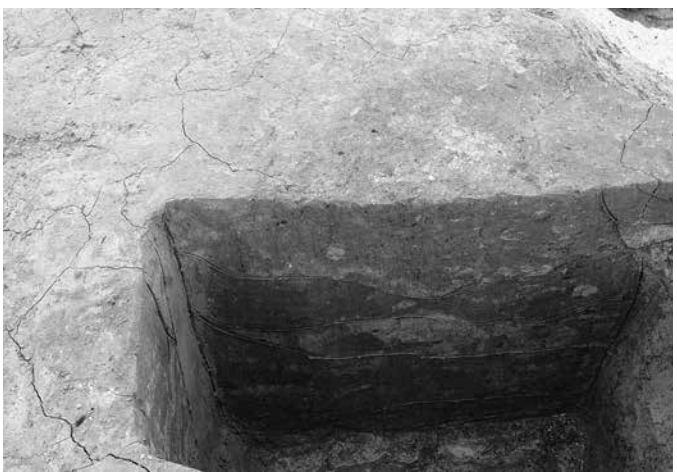
1区　SE855　完掘　北から



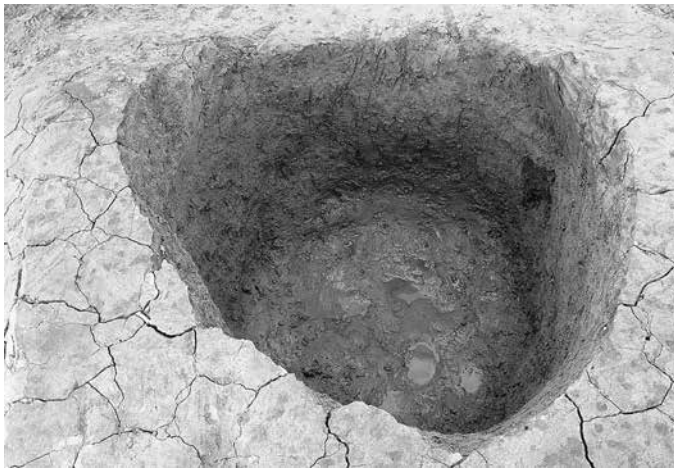
1区　SE866　セクション　南から



1区　SE866　完掘　南から



1区　SE936　セクション　東から


1区　SE936　完掘　南から

1区　SE953　セクション　南から

1区　SE953　完掘　南から

1区　SE1045　セクション　西から

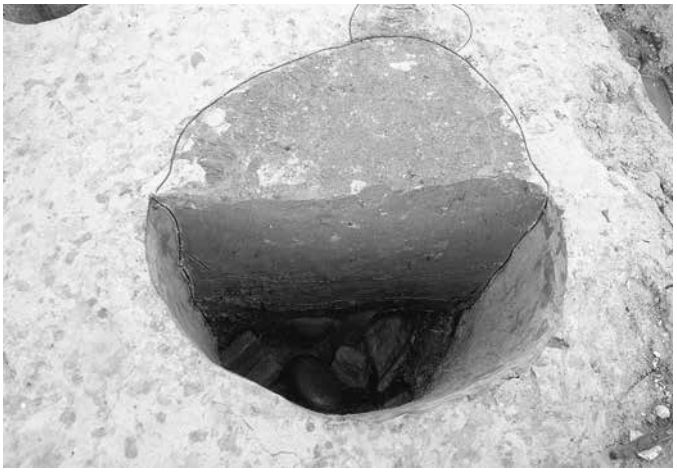
1区　SE1045　完掘　南から

1区　SE1160　セクション　南から

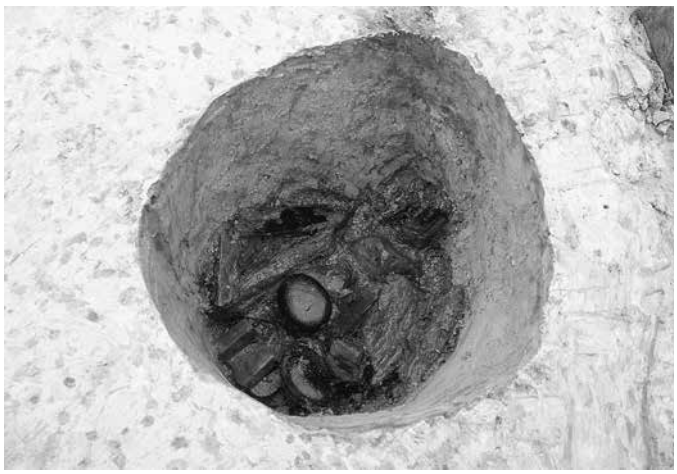
1区　SE1384、P1395　完掘　東から

1区　SE4067、SK4068　セクション　南から

1区　SE4067　完掘　南から



1区　SE4087　セクション　南西から

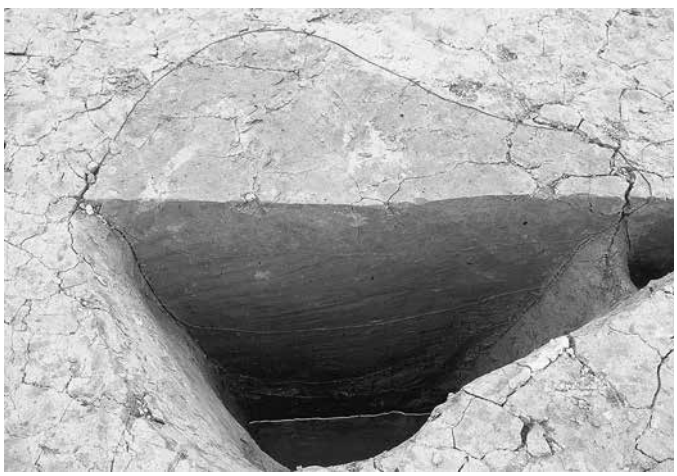


1区　SE4087　遺物出土状況　南西から

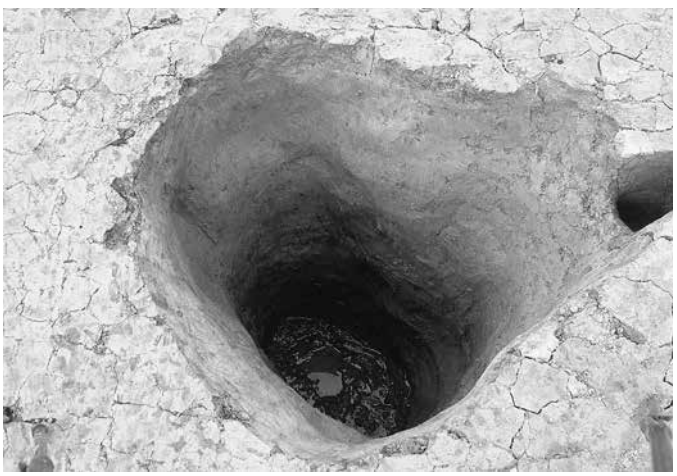
1区　SE4087　完掘　南西から

1区　SE4151　セクション　南から

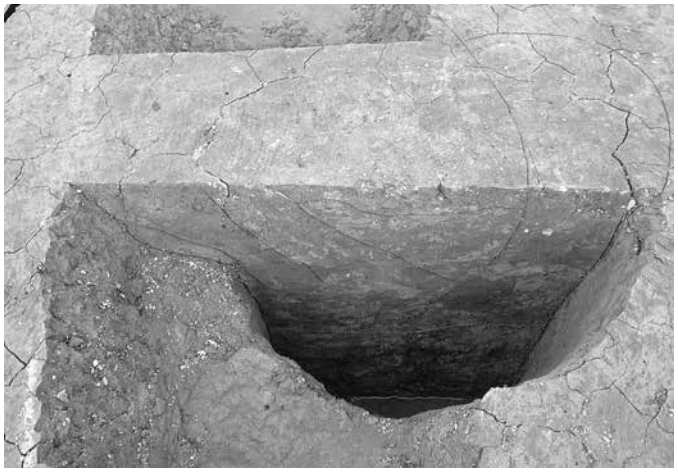
1区　SE4151　完掘　南から



2区　SE1207　セクション　南から

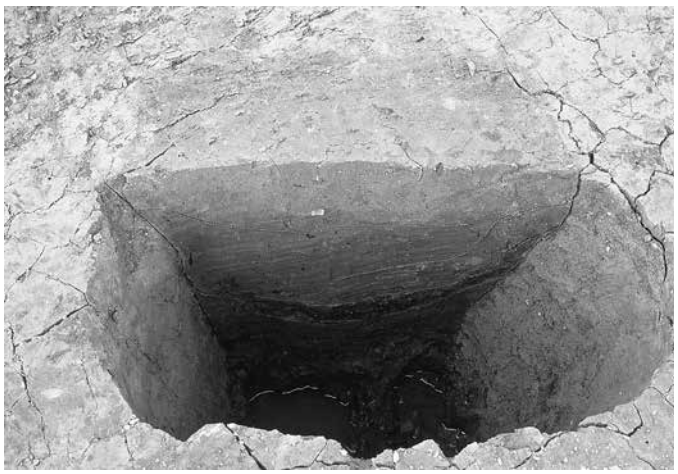


2区　SE1207　完掘　南から



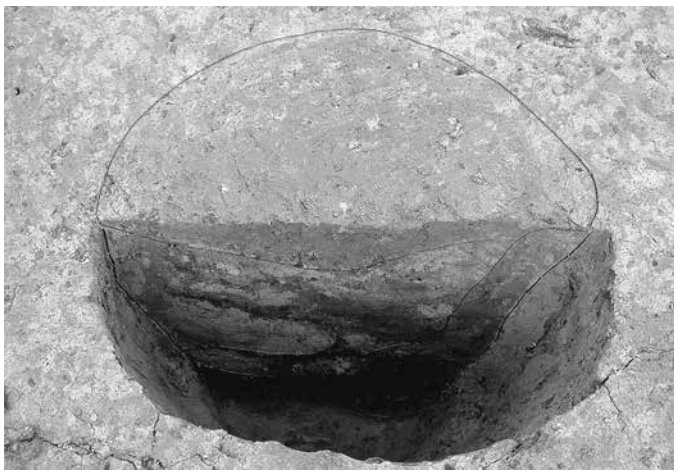
２区　SE1210、SD1211　セクション　西から

２区　SE1210　完掘　西から



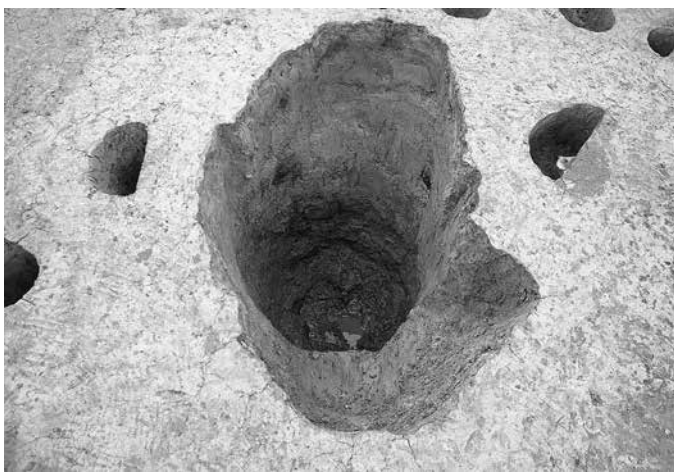
２区　SE1212　セクション　南西から

２区　SE1212　完掘　南西から

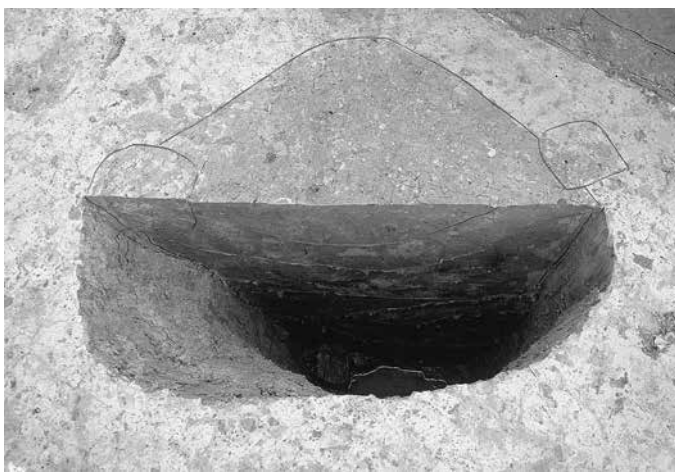


２区　SE1404　セクション　西から

２区　SE1518　セクション　東から



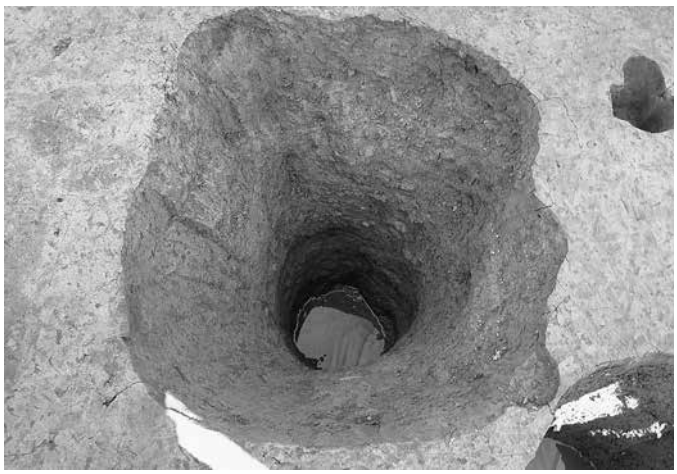
２区　SE1518　完掘　東から



２区　SE1563、P1564　セクション　南から

2区　SE1563、P1564　完掘　南から

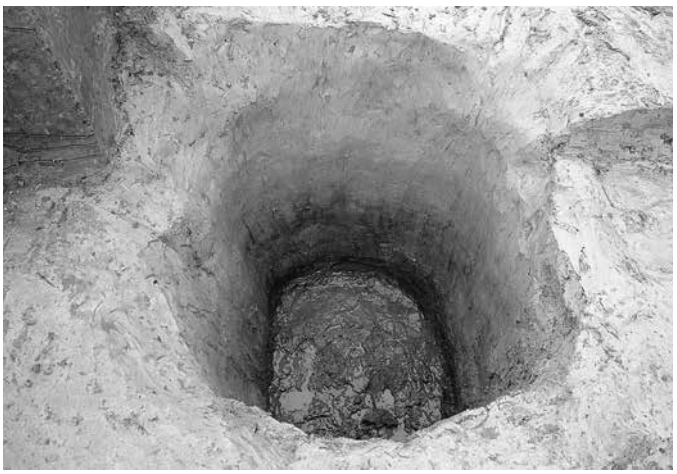
2区　SE1568　セクション　南から



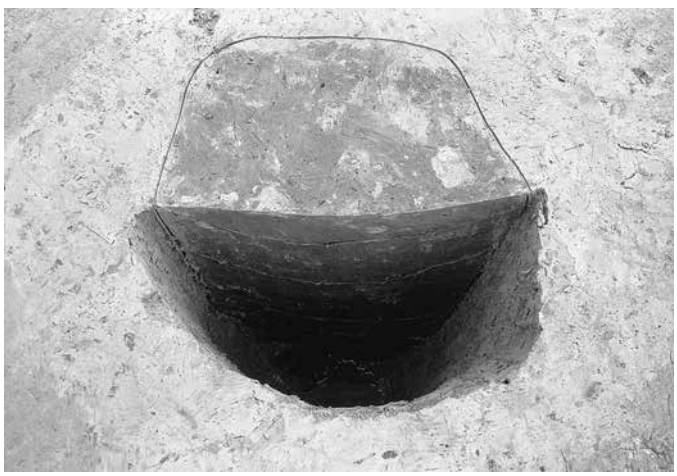
2区　SE1568　完掘　南から

2区　SE1982　セクション　西から

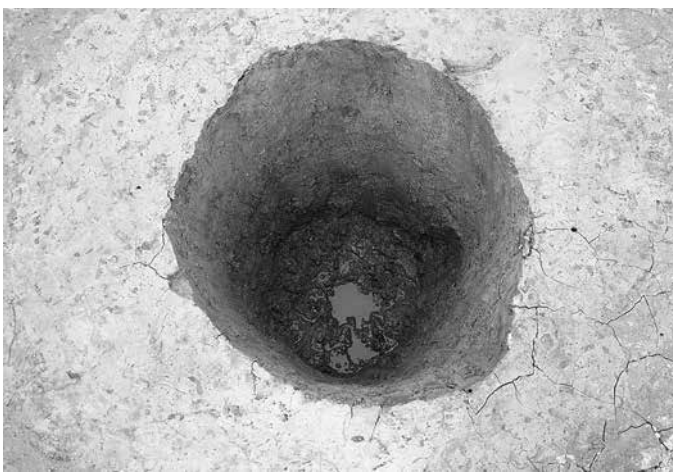
2区　SE1982　遺物出土状況　西から



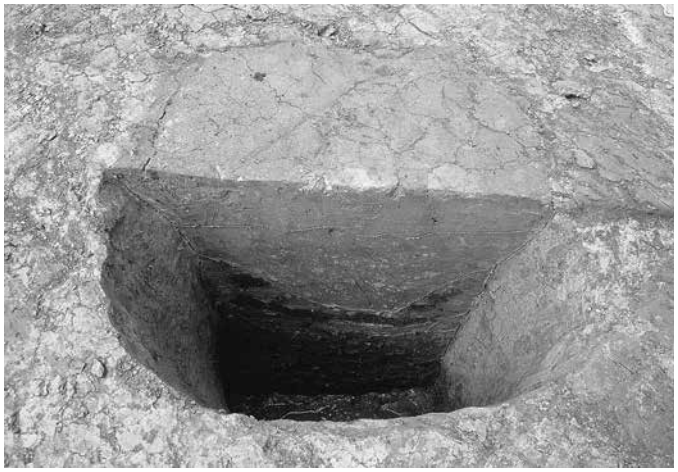
2区　SE1982　完掘　西から



2区　SE2007　セクション　南西から



2区　SE2007　完掘　南西から

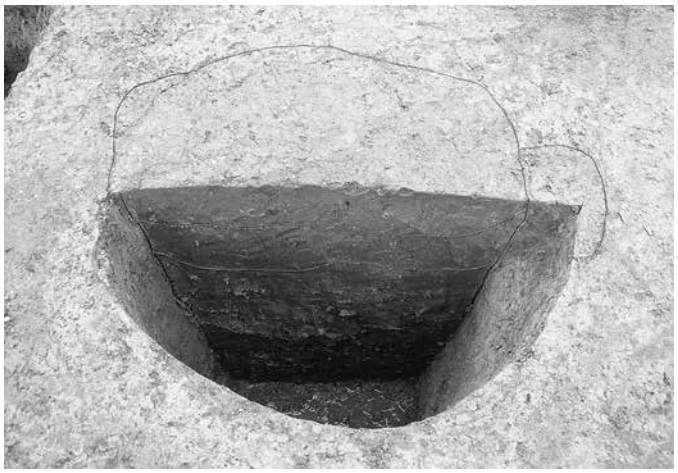


２区　SE2281　セクション　南から

２区　SE2281　遺物出土状況　南から

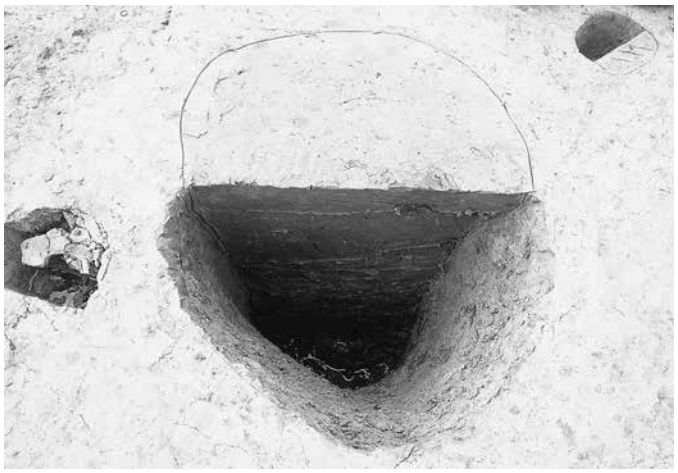
２区　SE2281　遺物出土状況２　南から

２区　SE2526　完掘　南から



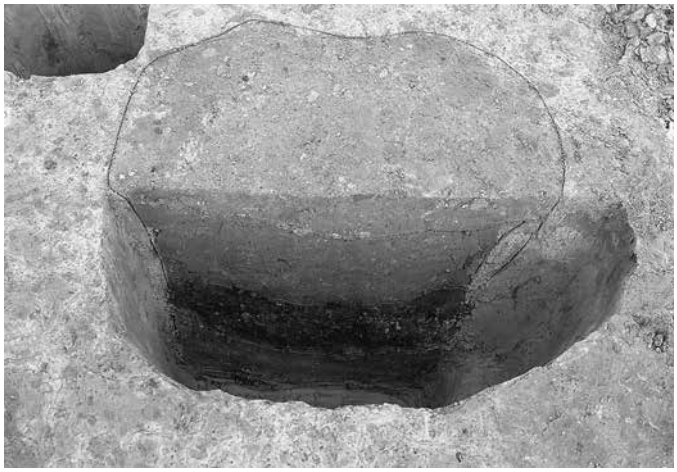
２区　SE2561　セクション　南東から

２区　SE2561　完掘　南東から



２区　SE2562　セクション　南から

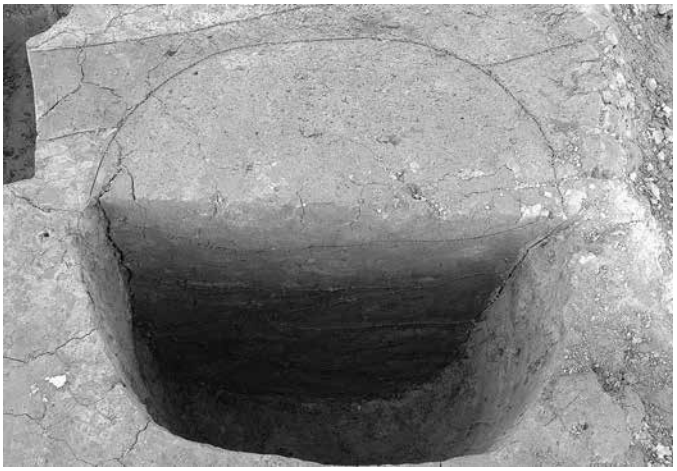
２区　SE2562　完掘　南から



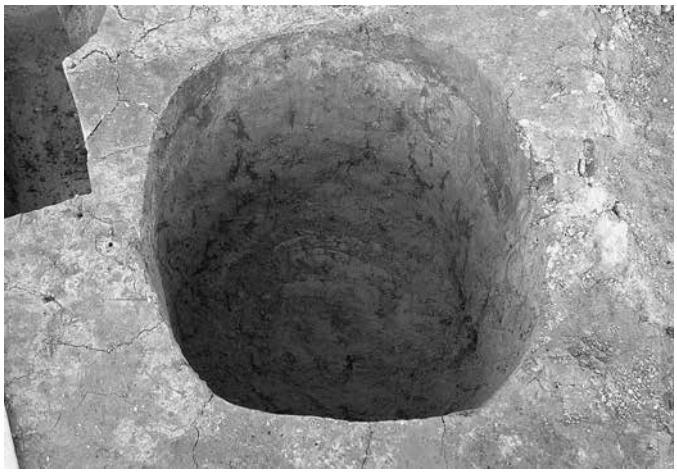
2区　SE2984　セクション　南から

2区　SE2984　遺物出土状況　南から

2区　SE2984　完掘　南から



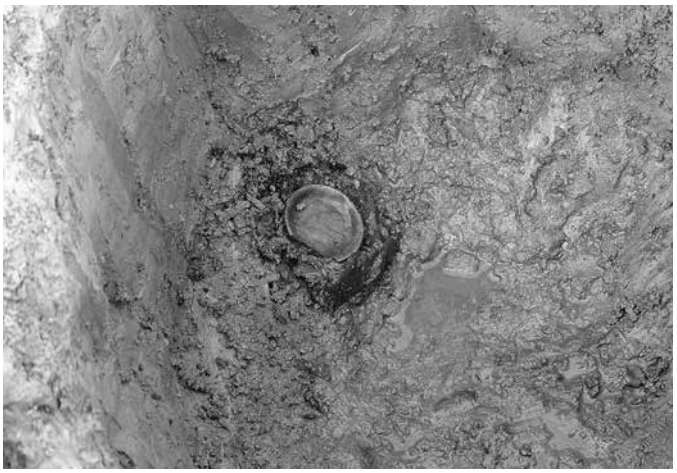
2区　SE3150　セクション　南から



2区　SE3150　完掘　南から

2区　SE3178　セクション　南から

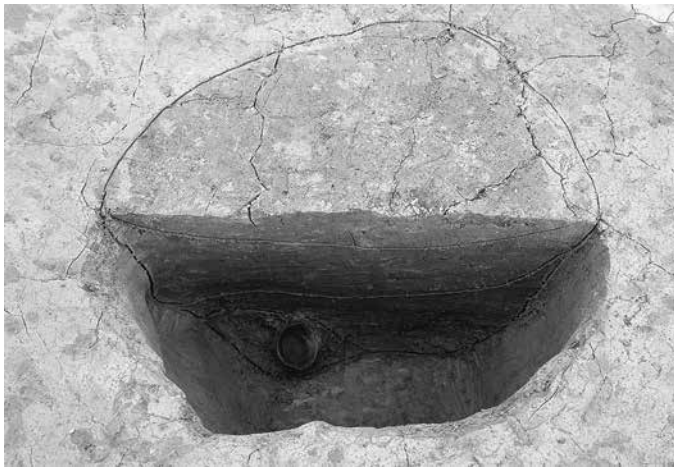
2区　SE3178　完掘　南から



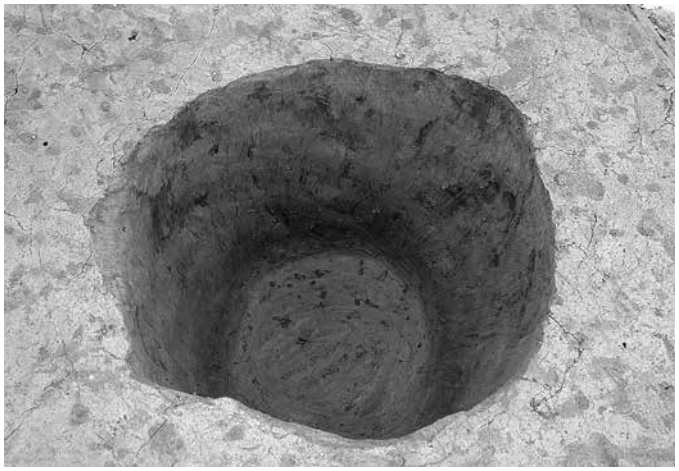
2区　SE3178　遺物出土状況　南から

２区　SE3900　セクション　北から

２区　SE3900　完堀　北から

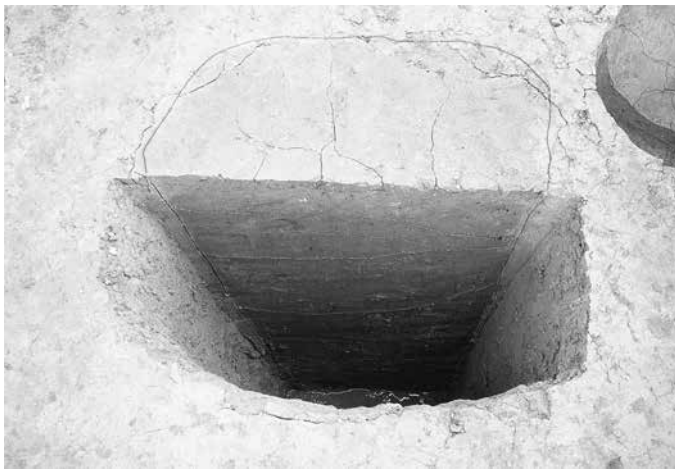


２区　SE1205　セクション　西から



２区　SE1205　完掘　西から

３区　SE3260　セクション　北から

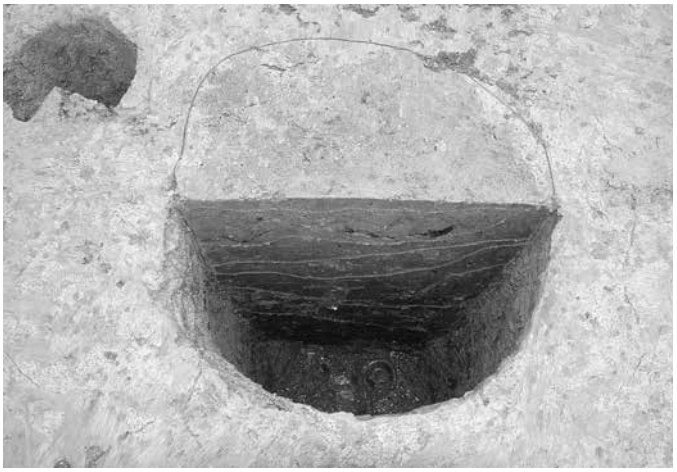


３区　SE3261　セクション　南から

３区　SE3261　完掘　南から

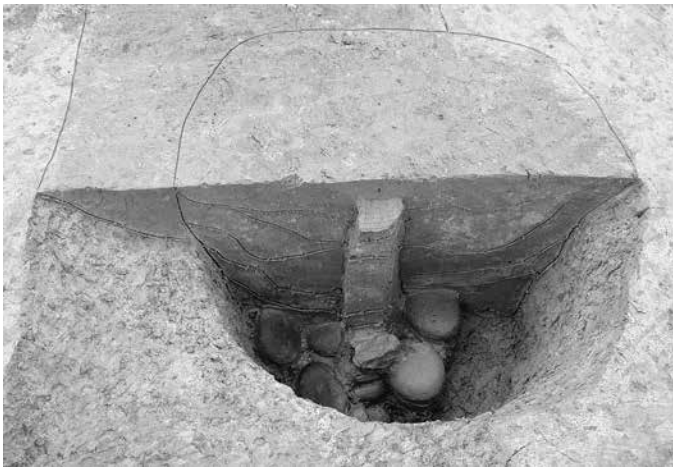
３区　SE3507　セクション　南から

3区　SE3507　完掘　南から



3区　SE3508　セクション　南西から

3区　SE3508　完掘　南西から



3区　SE3623、SD3624　セクション　南から

3区　SE3623　礫出土状況　南から

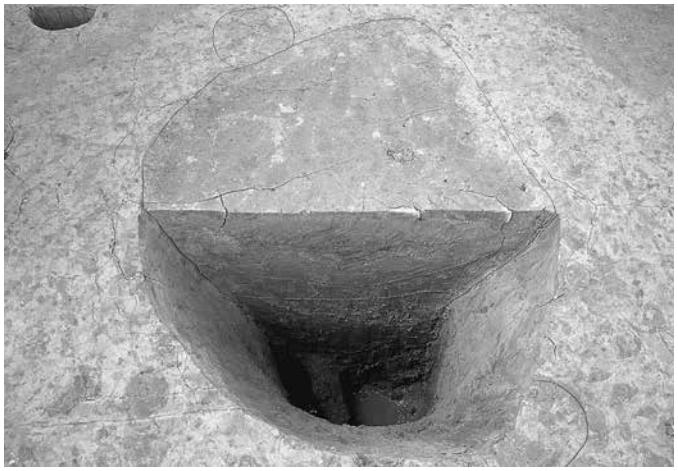
3区　SE3623　完掘　南から

3区　SE3704　セクション　南から

3区　SE3704　遺物出土状況　南から

３区　SE3726　セクション　南から

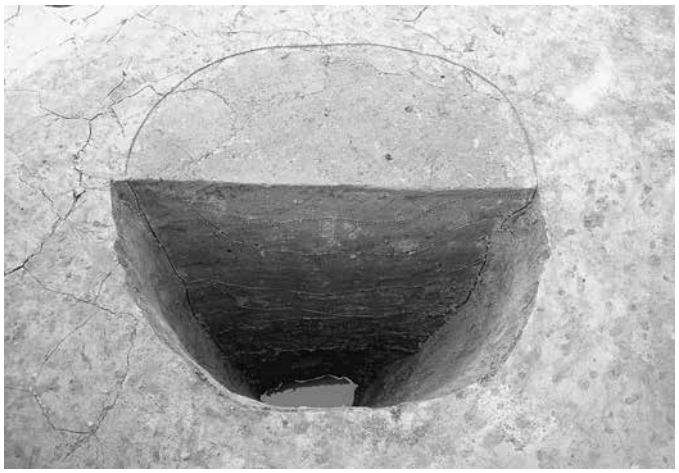
３区　SE3726　完掘　南から



３区　SE3719　セクション　南から

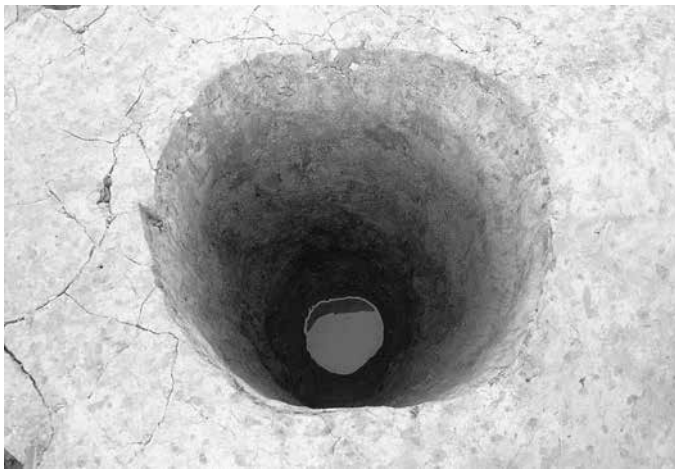
３区　SE3719　遺物出土状況　南から

３区　SE3719　完掘　南から

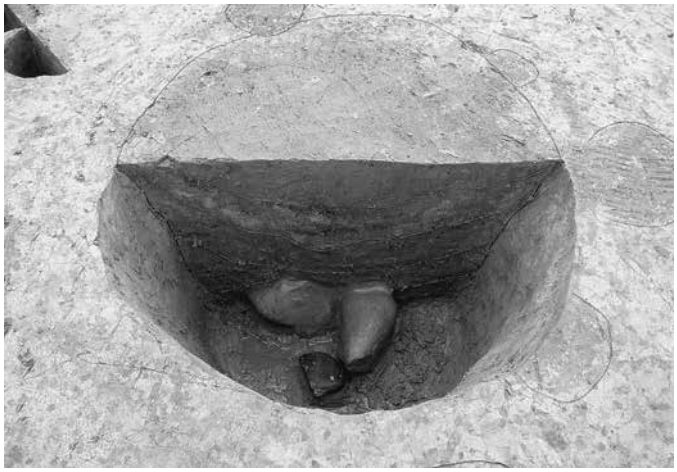


３区　SE3764　セクション　南東から

３区　SE3764　遺物出土状況　南東から



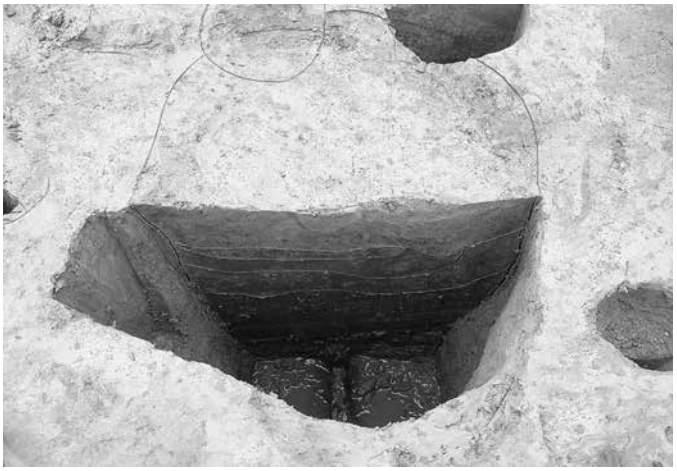
３区　SE3764　完掘　南東から



3区　SE3940　セクション　南から

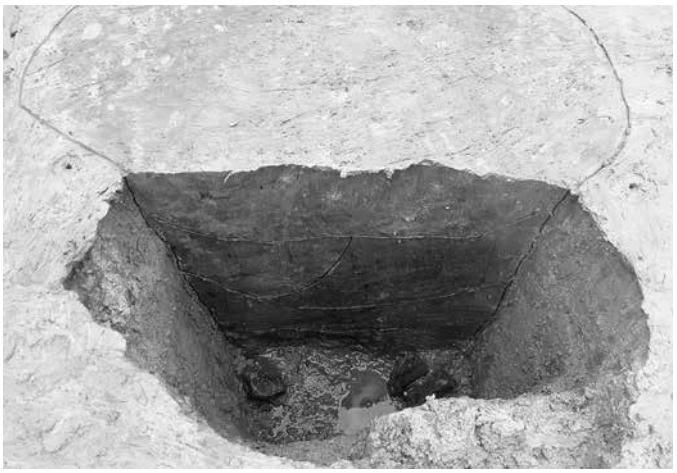
3区　SE3940　遺物出土状況　南から

3区　SE3940　完掘　南から



3区　SE4030　セクション　南から

3区　SE4030　完掘　南から



3区　SE4275　セクション　南から

1区　SK44　セクション　南東から

1区　SK44　完掘　東から

1区　SK581　セクション　東から

1区　SK581　完掘　東から

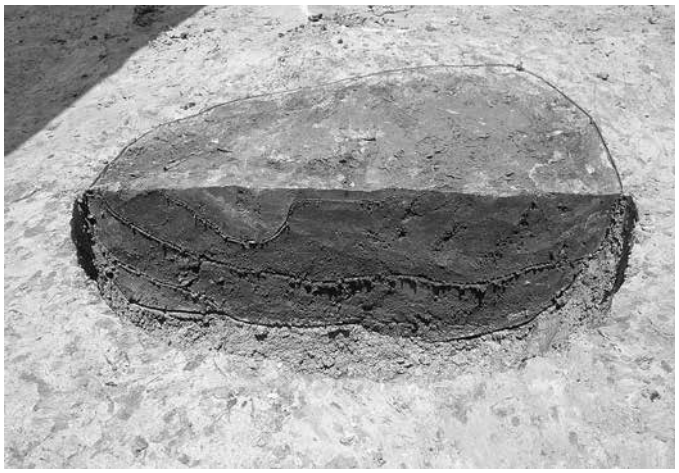
1区　SK654　セクション　東から

1区　SK654　完堀　東から

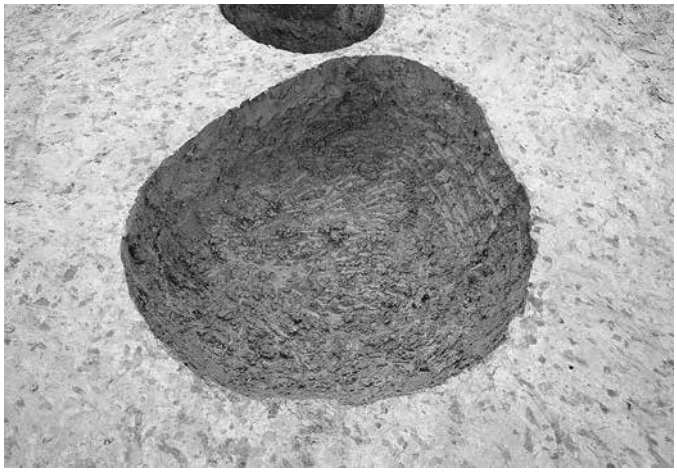
1区　SK647　セクション1　南から

1区　SK647　セクション2　南から

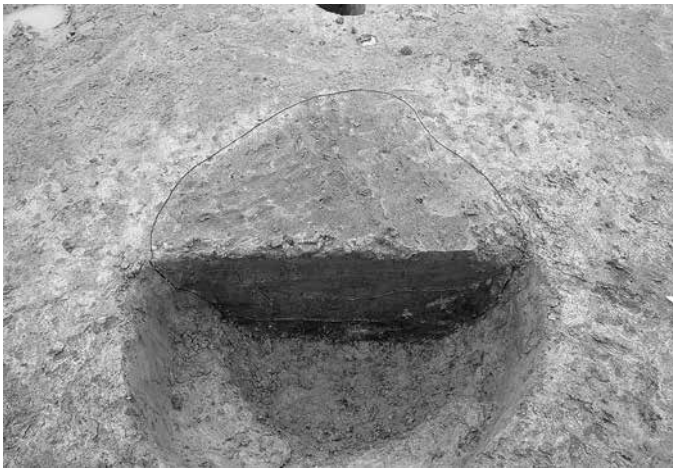
1区　SK647　完掘　東から



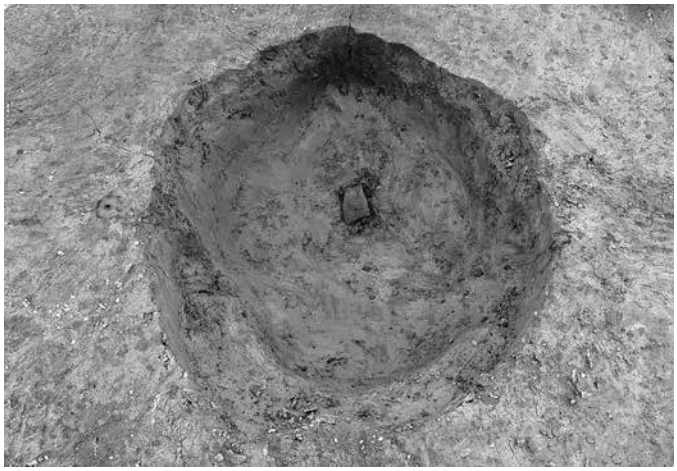
1区　SK688　セクション　南から



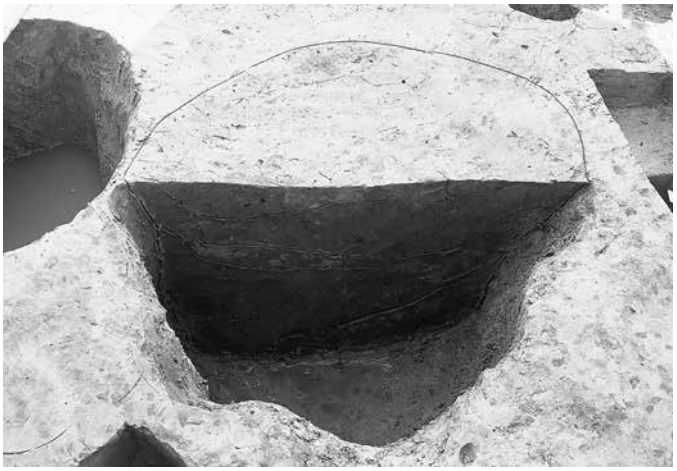
1区　SK688　完掘　南から



1区　SK853　セクション　西から



1区　SK853　完掘　西から

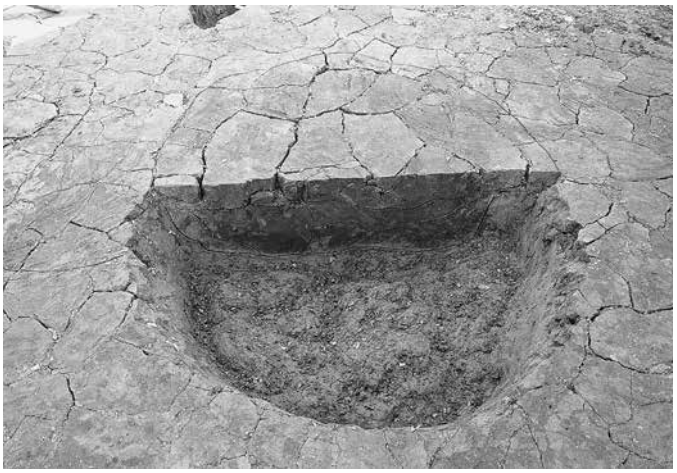


1区　SK981　セクション　東から

1区　SK981　完掘　南から

1区　SK1128　セクション　南西から

1区　SK1128　完掘　南西から



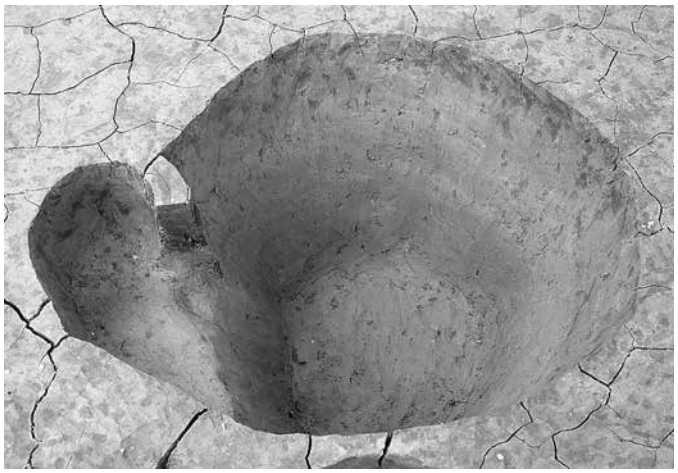
1区　SK1168　セクション　南東から

１区　SK1227　セクション　東から

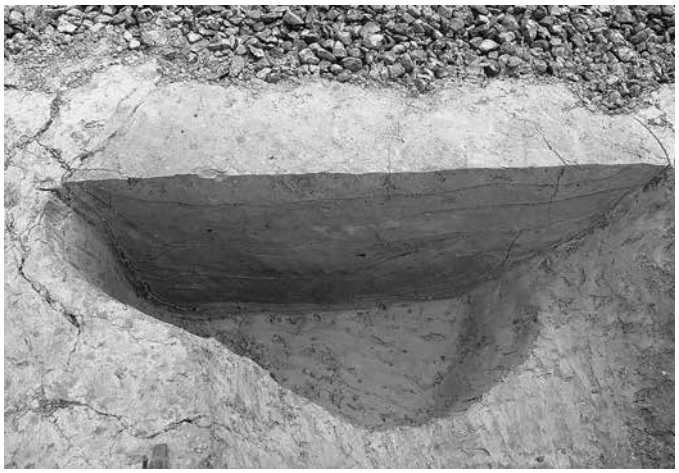
１区　SK4086、SD41、SD496　セクション　東から

１区　SK4086　完掘　東から

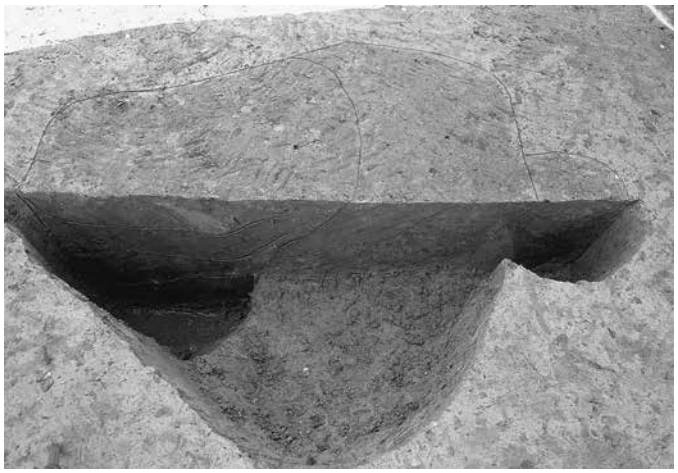
２区　SK1306、P1305　セクション　南から



２区　SK1306、P1305　完掘　南から



２区　SK1359　セクション　北から

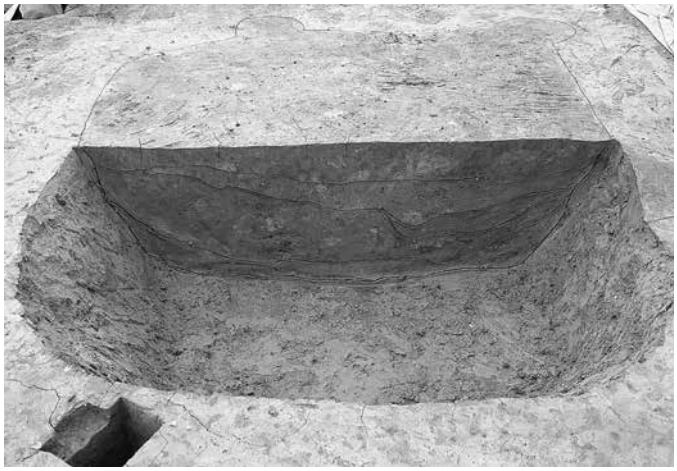


２区　SK1435・SK1436、P1437　セクション　東から

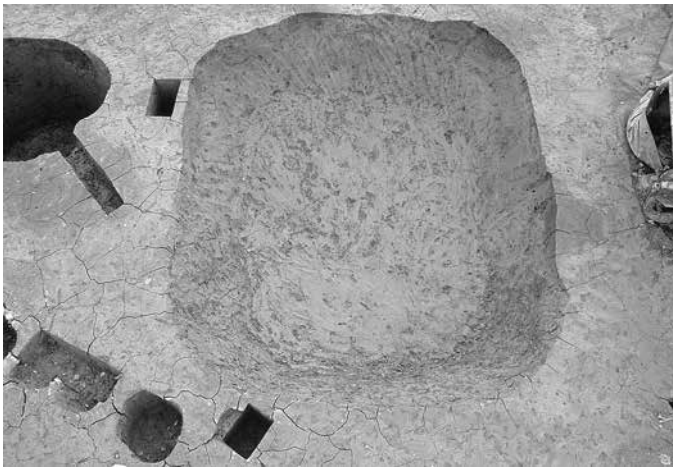
２区　SK1435　完掘　東から

２区　SK1515　セクション　南東から

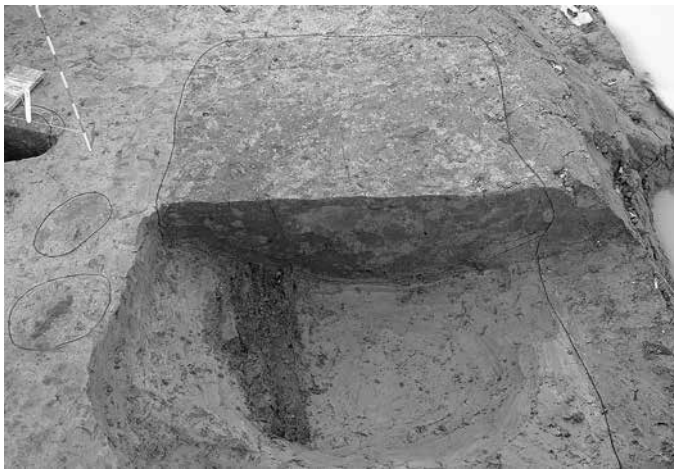
２区　SK1515　完掘　南東から



２区　SK1760　セクション　東から



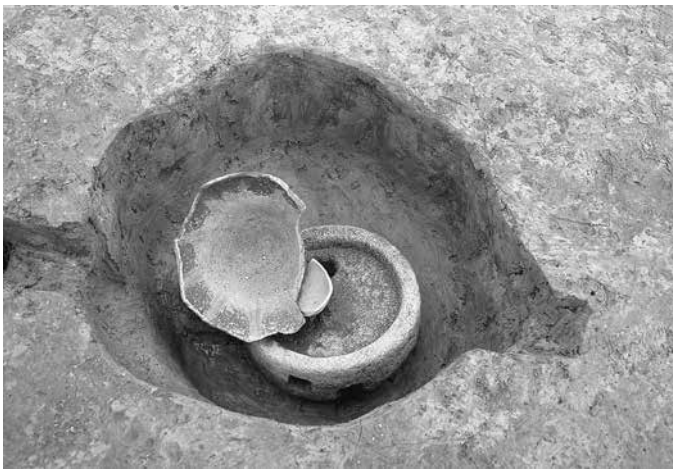
２区　SK1760　完掘　東から



２区　SK1809　セクション　南から

２区　SK1809　完掘　南から

２区　SK1834　セクション　南から



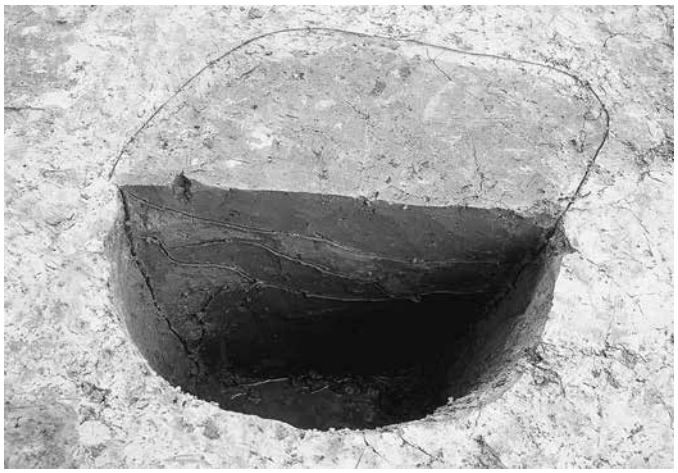
２区　SK1834　遺物出土状況　南から

２区　SK1946　セクション　東から

２区　SK1946　完掘　東から

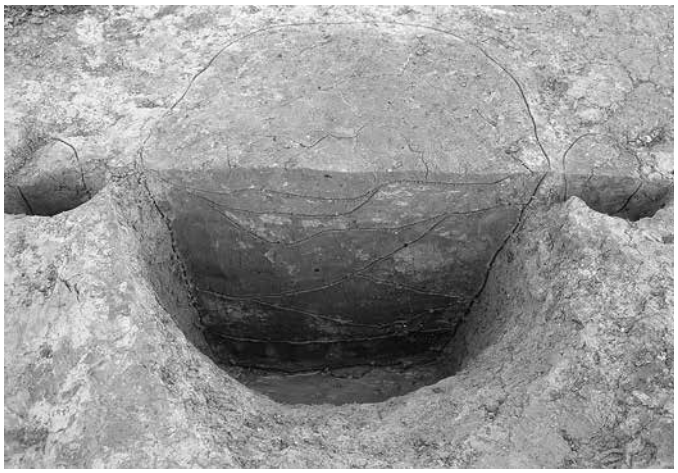
２区　SK1947　セクション　東から

２区　SK1947　完掘　東から



２区　SK2062　セクション　西から

２区　SK2062　完掘　西から



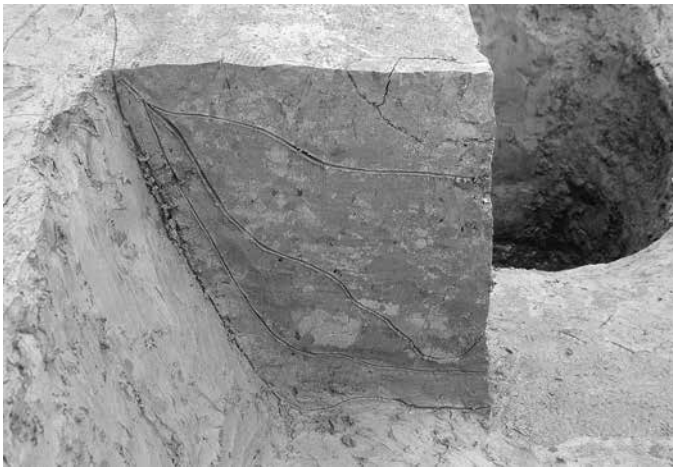
２区　SK2129　セクション　南西から

２区　SK2129　完掘　南西から

２区　SK2030　セクション　西から

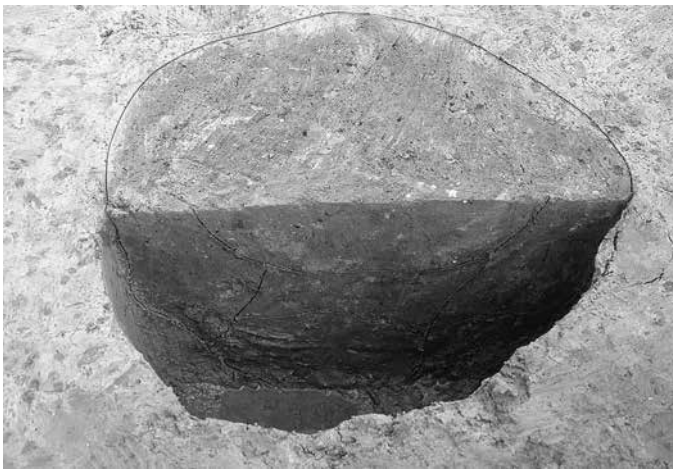
２区　SK2030　遺物出土状況　南から

２区　SK2030　完掘　南から



２区　SK2278　セクション　北から

２区　SK2278　完掘　西から

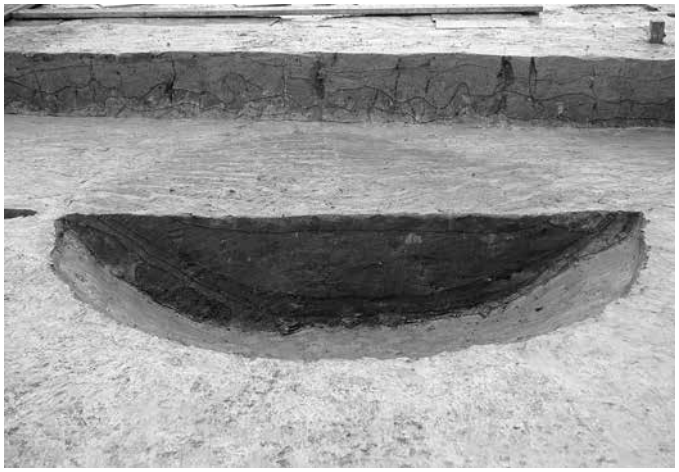


２区　SK2973　セクション　西から

２区　SK2973　完掘　西から

２区　SK2894　セクション　東から

２区　SK2894　完掘　東から



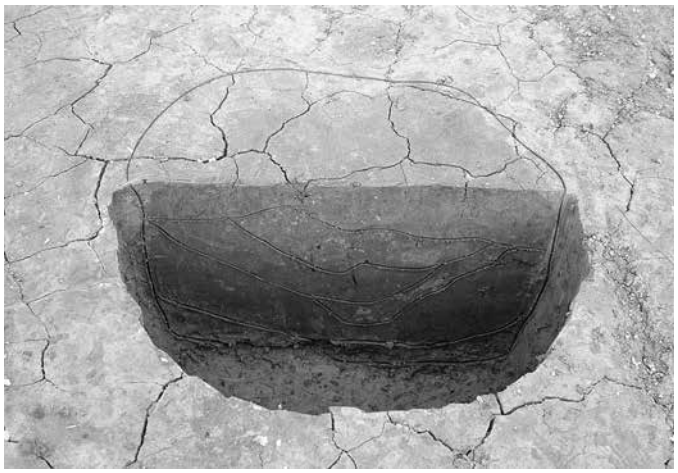
２区　SK3447　セクション　南から

２区　SK3447　完掘　南から

２区　SK3641　セクション　東から

２区　SK3641　完掘　東から

２区　SK3652　セクション　西から



３区　SK3259　セクション　南から

３区　SK3259　遺物出土状況　南から

３区　SK3354　セクション　東から

３区　SK3354　完掘　東から

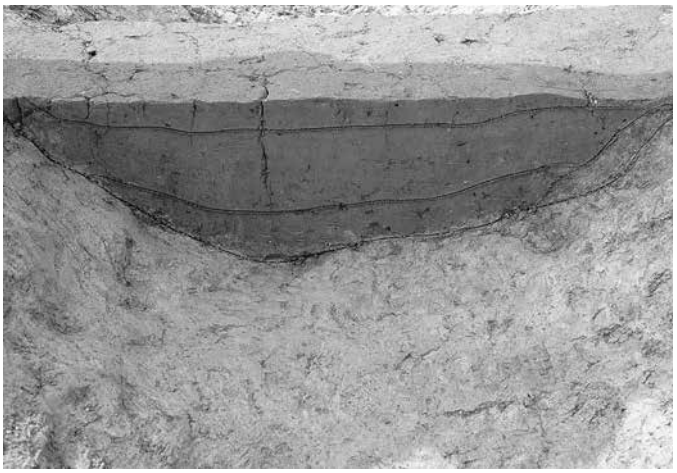
１区　SD41　セクション　西から

１区　SD41　遺物出土状況　東から

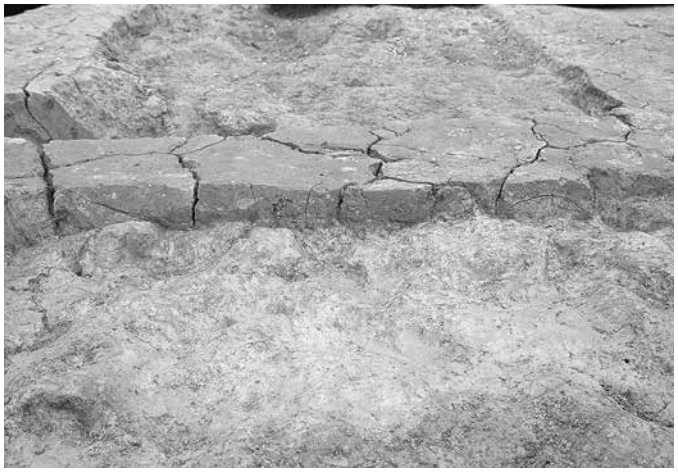
１区　SD111　セクション　西から

１区　SD111　遺物出土状況　西から

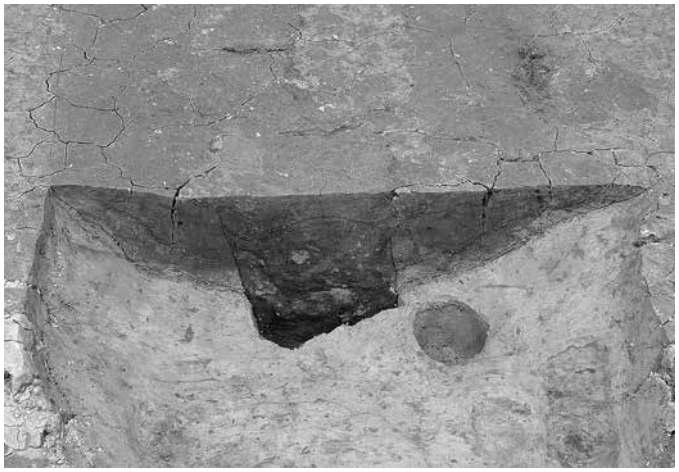
１区　SD281　セクション　南から



１区　SD282　セクション　北から

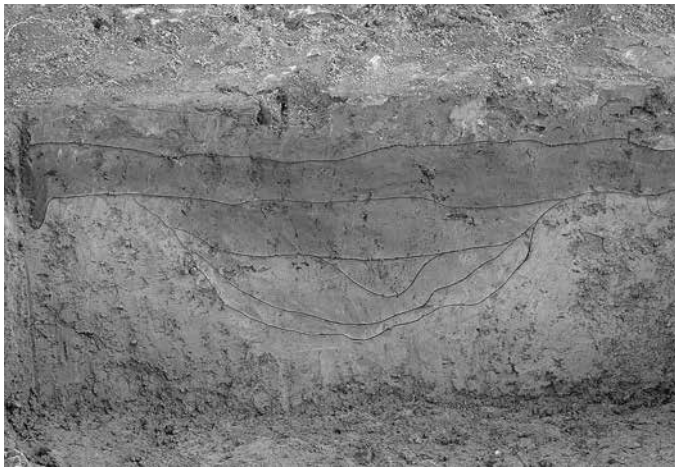


１区　SD283　セクション　南から



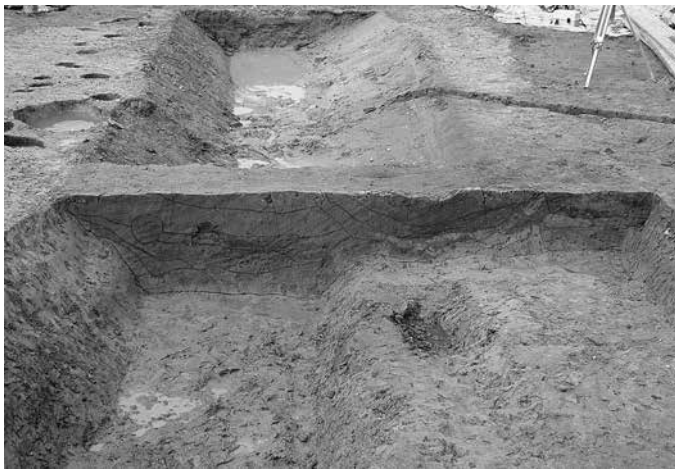
１区　SD345、P356　セクション　東から

１区　SD496　セクション　北から



２区　SD1380　セクション　北から

２区　SD2285　セクション　南から



２区　SD1540・SD2276・SD2462　セクション　南から

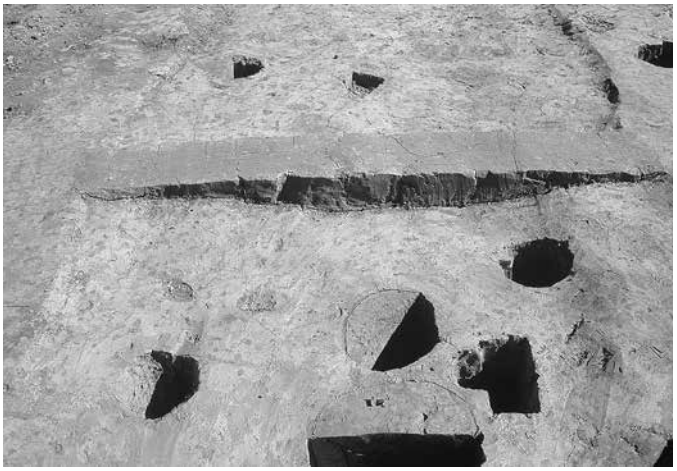
２区　SD1540・SD2276・SD2462　完掘　南から

２区　SD3991・SD4019・SD4282　完掘　南から

２区　SD3991・SD4019・SD4282　完堀　南から

３区　SD3002 セクション　南東から

３区　SD3305　セクション　南から



３区　SD3383　セクション　西から

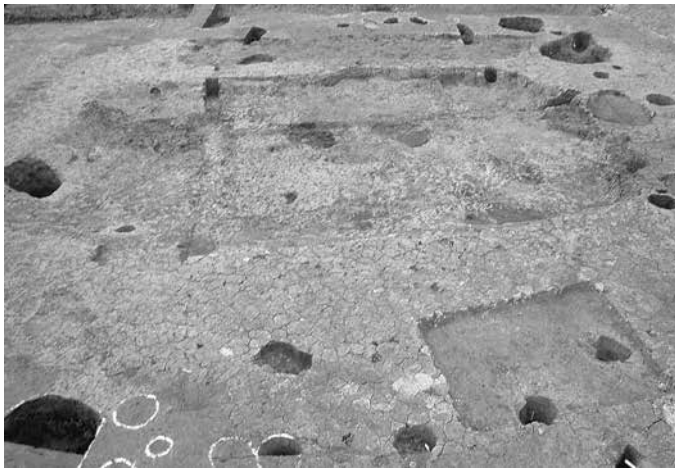
１区　道路状遺構　セクション　南から

１区　道路状遺構　完掘　南から

１区　道路状遺構　完掘　北から

１区　道路状遺構　完掘　東から

１区　SX300　完掘　北から

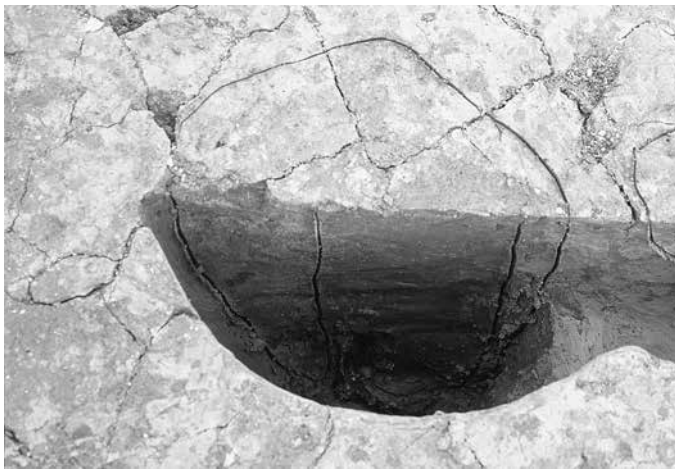


１区　SX300　完掘　西から

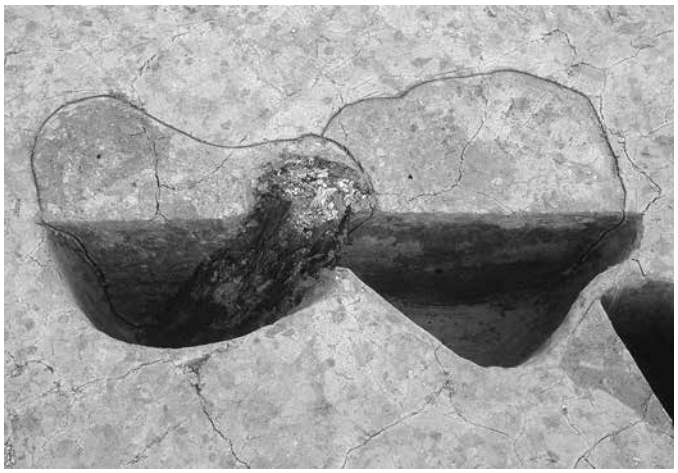
１区　P61　セクション　西から

１区　P81　セクション　西から

１区　P136　セクション　南東から

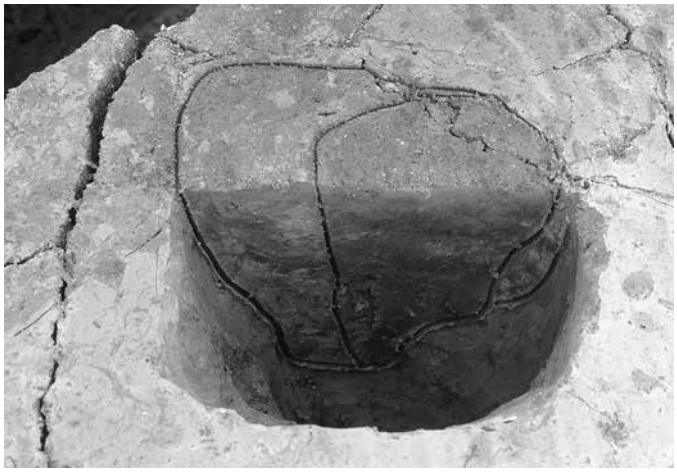


１区　P253　セクション　南西から

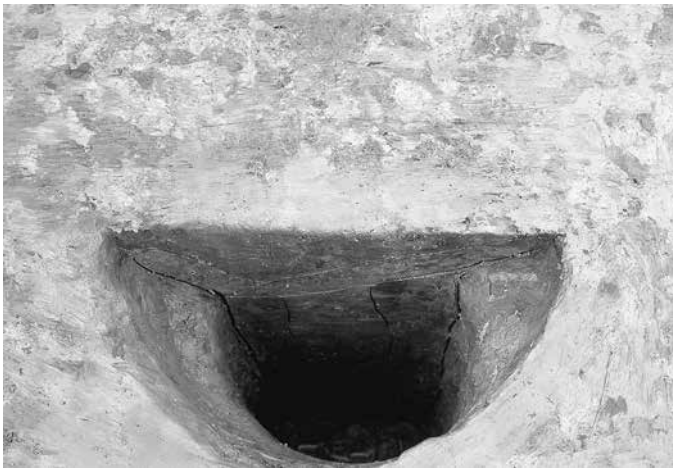


１区　P351　セクション　北西から

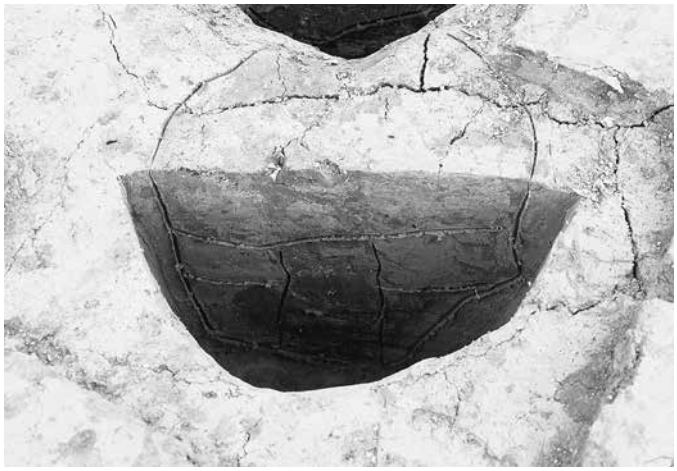
１区　P361　セクション　北から



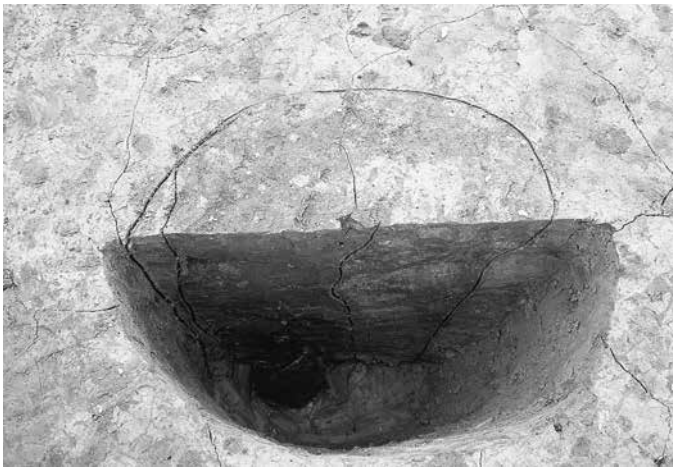
1区　P407　セクション　東から



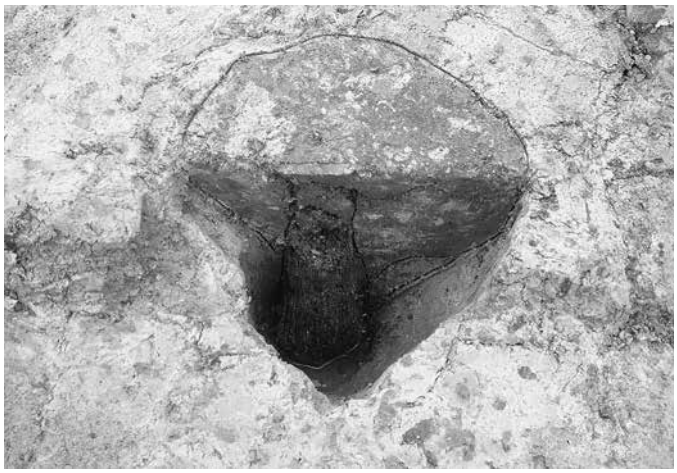
1区　P509　セクション　北から



1区　P520　セクション　西から

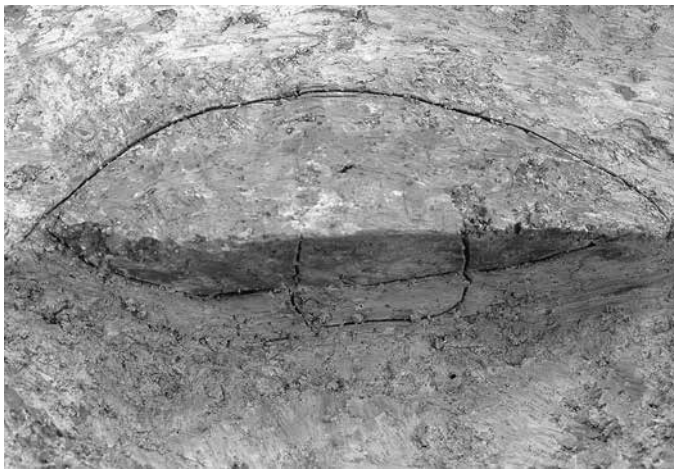


1区　P660　セクション　西から

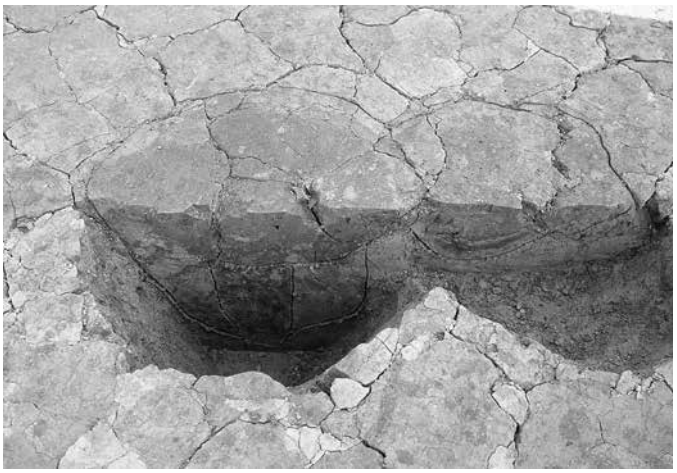


1区　P752　セクション　西から

1区　P912　セクション　南から

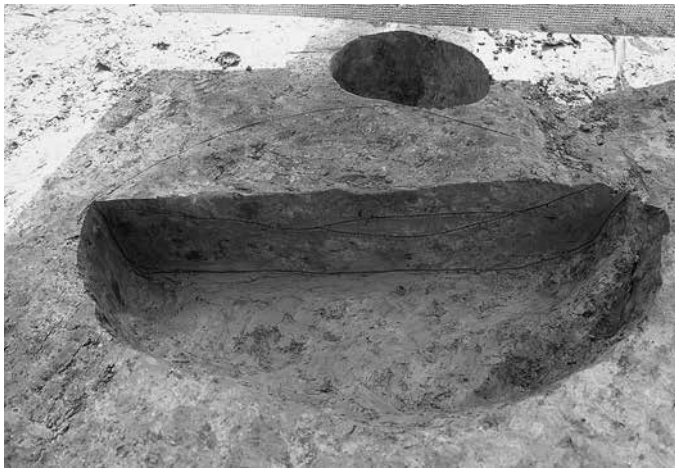


1区　P1396　セクション　西から

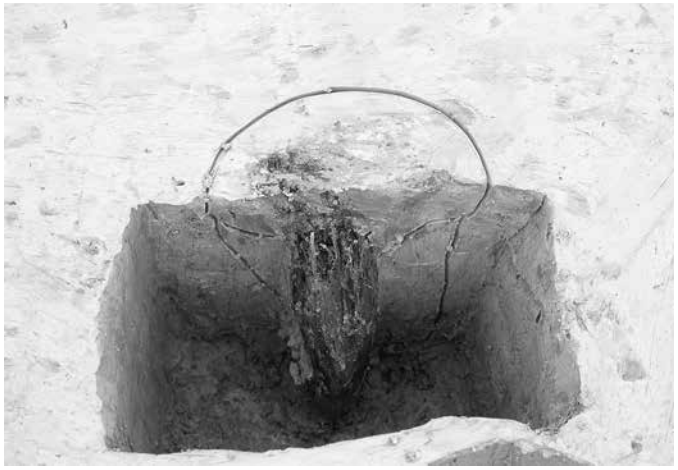


1区　P2622・P2623　セクション　南西から

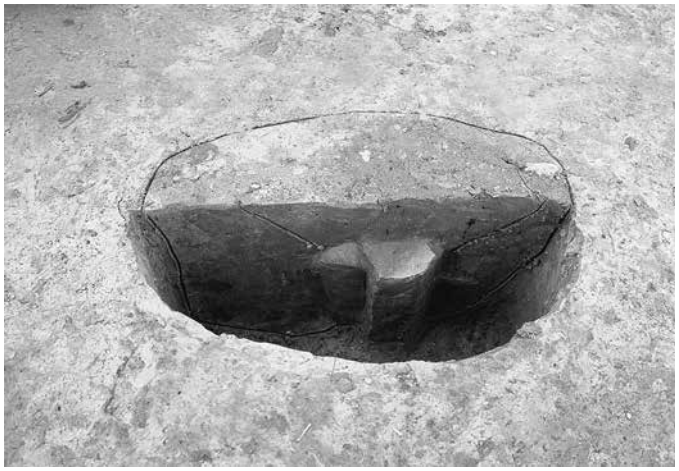
1区　P2809　セクション　南から



1区　P3221　セクション　西から

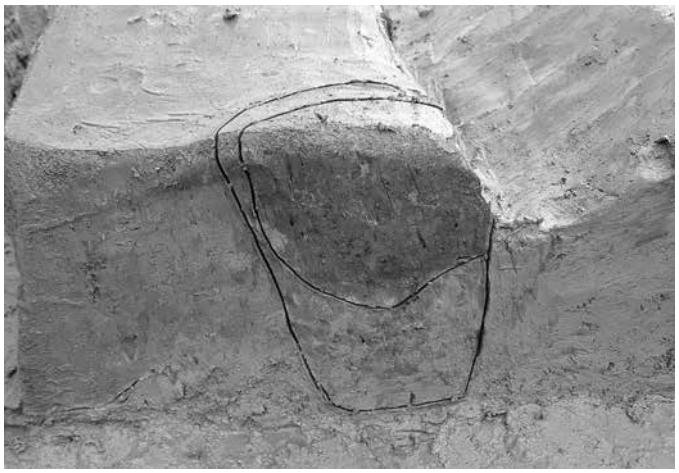


1区　P4164　セクション　南から

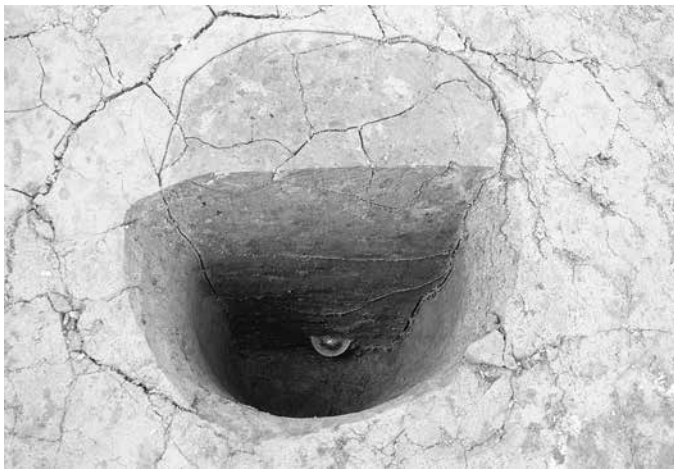


2区　P1570　セクション　南から

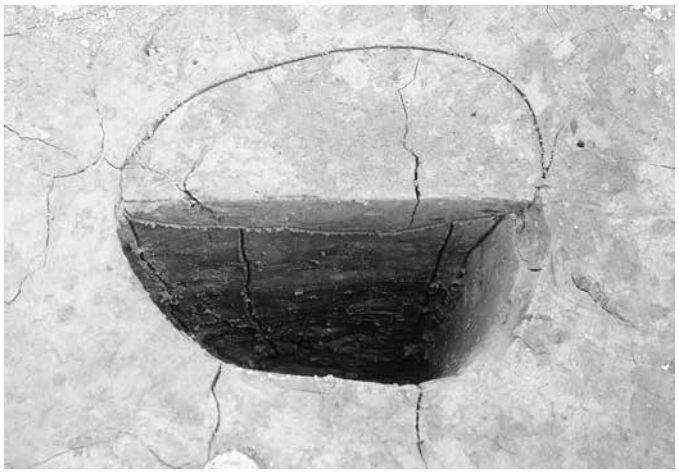
2区　P2946　セクション　南から



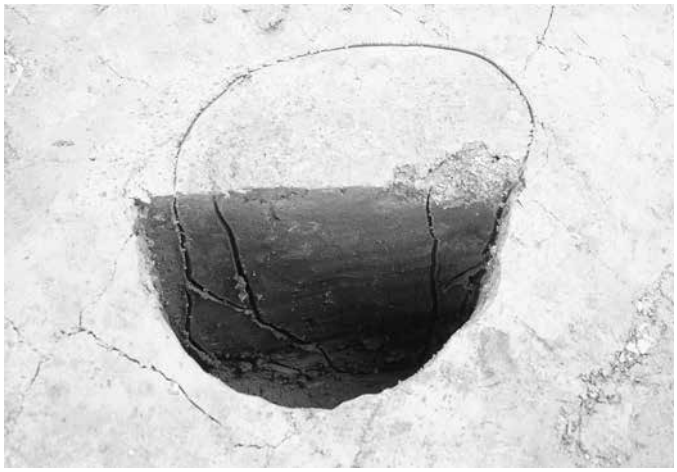
2区　P3995　セクション　北から



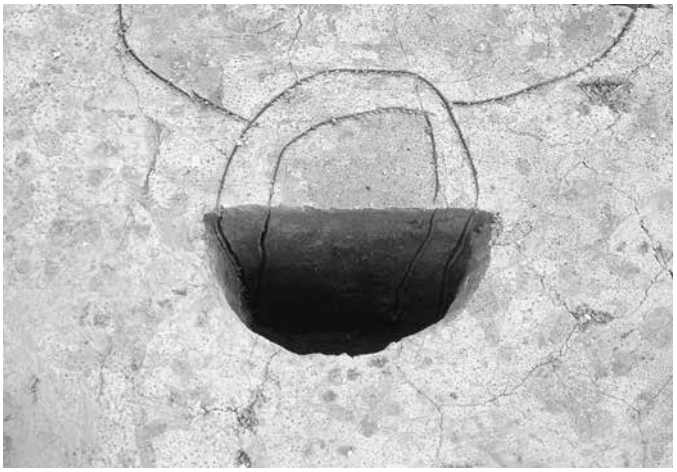
3区　P3033　セクション　南から



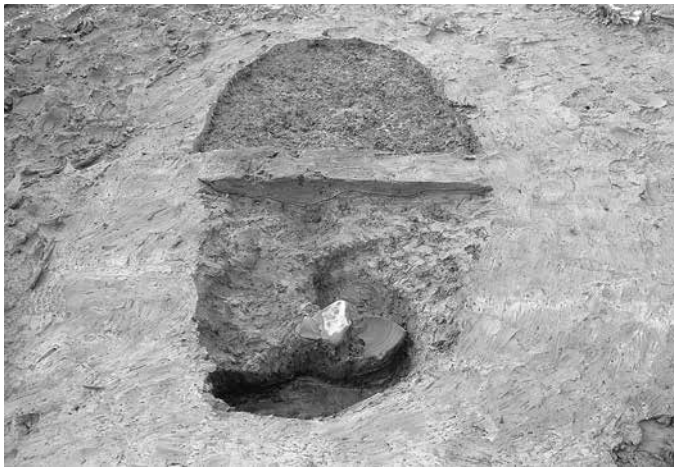
3区　P3097　セクション　西から



3区　P3249　セクション　南東から

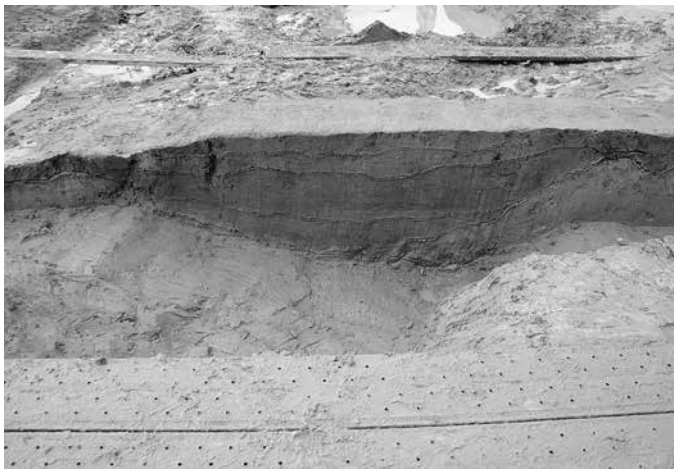


3区　P3340　セクション　北西から



1区下層　SK4210　セクション　西から

1区下層　SD4193　セクション　東から

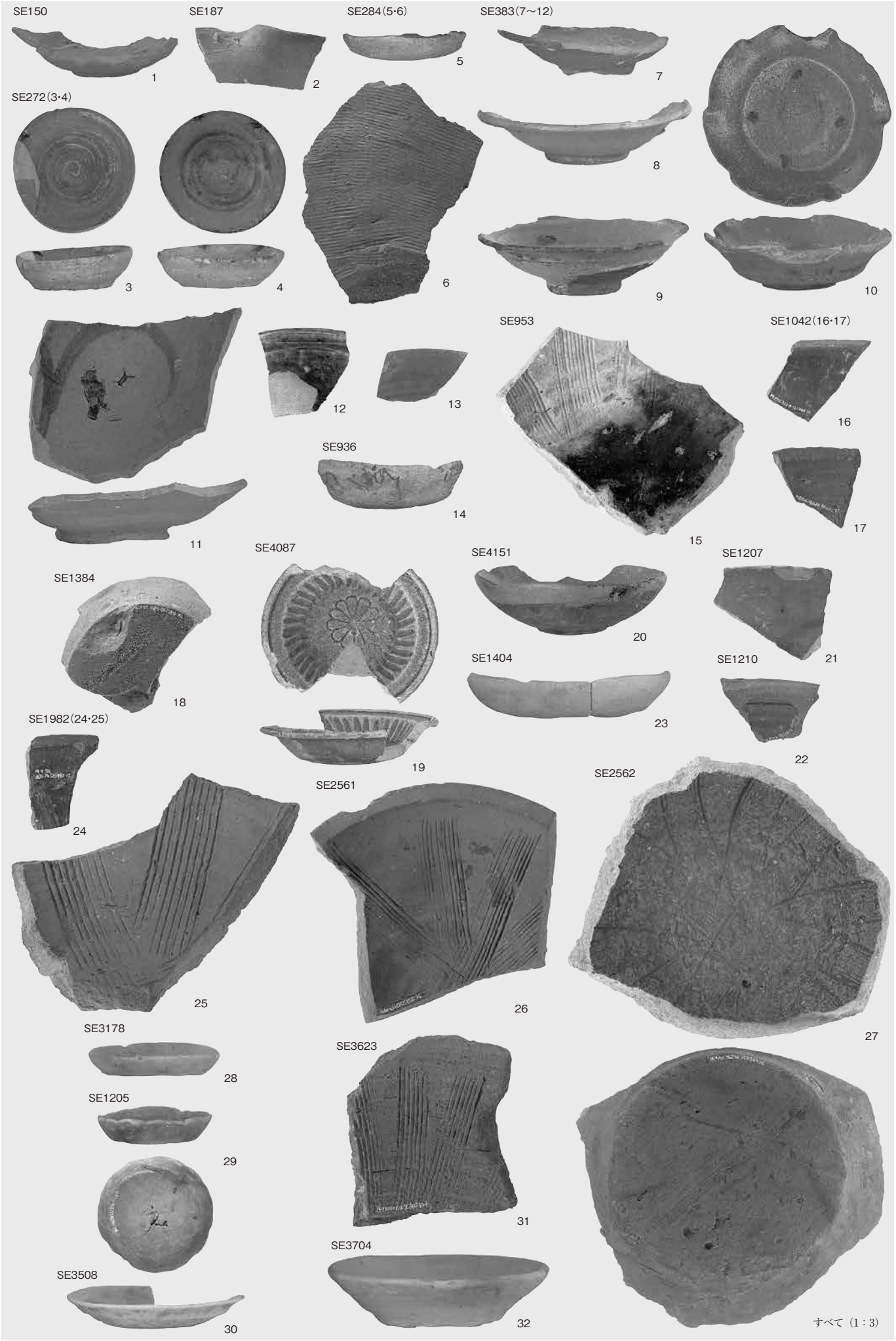


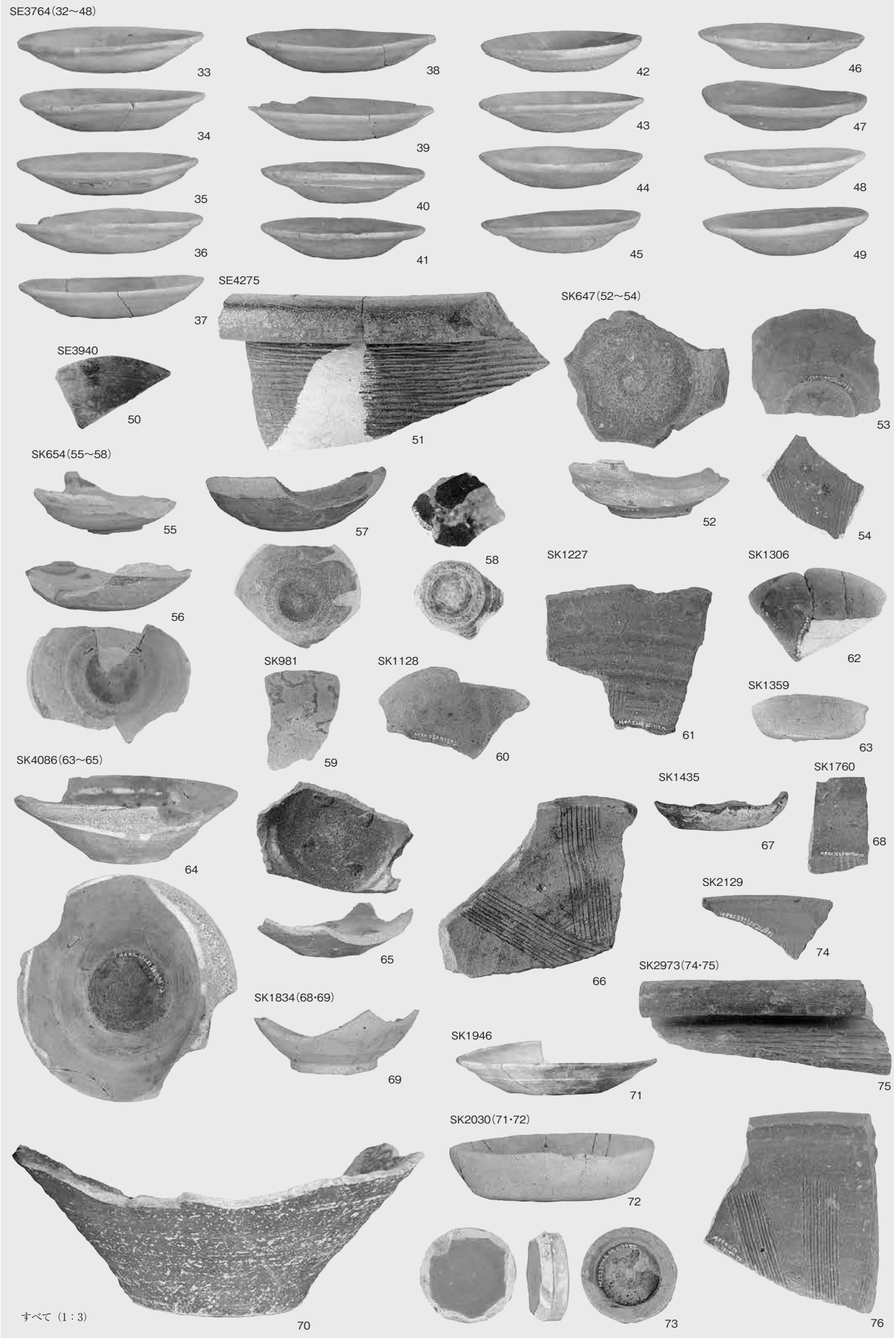
1区下層　SD4194　セクション　東から

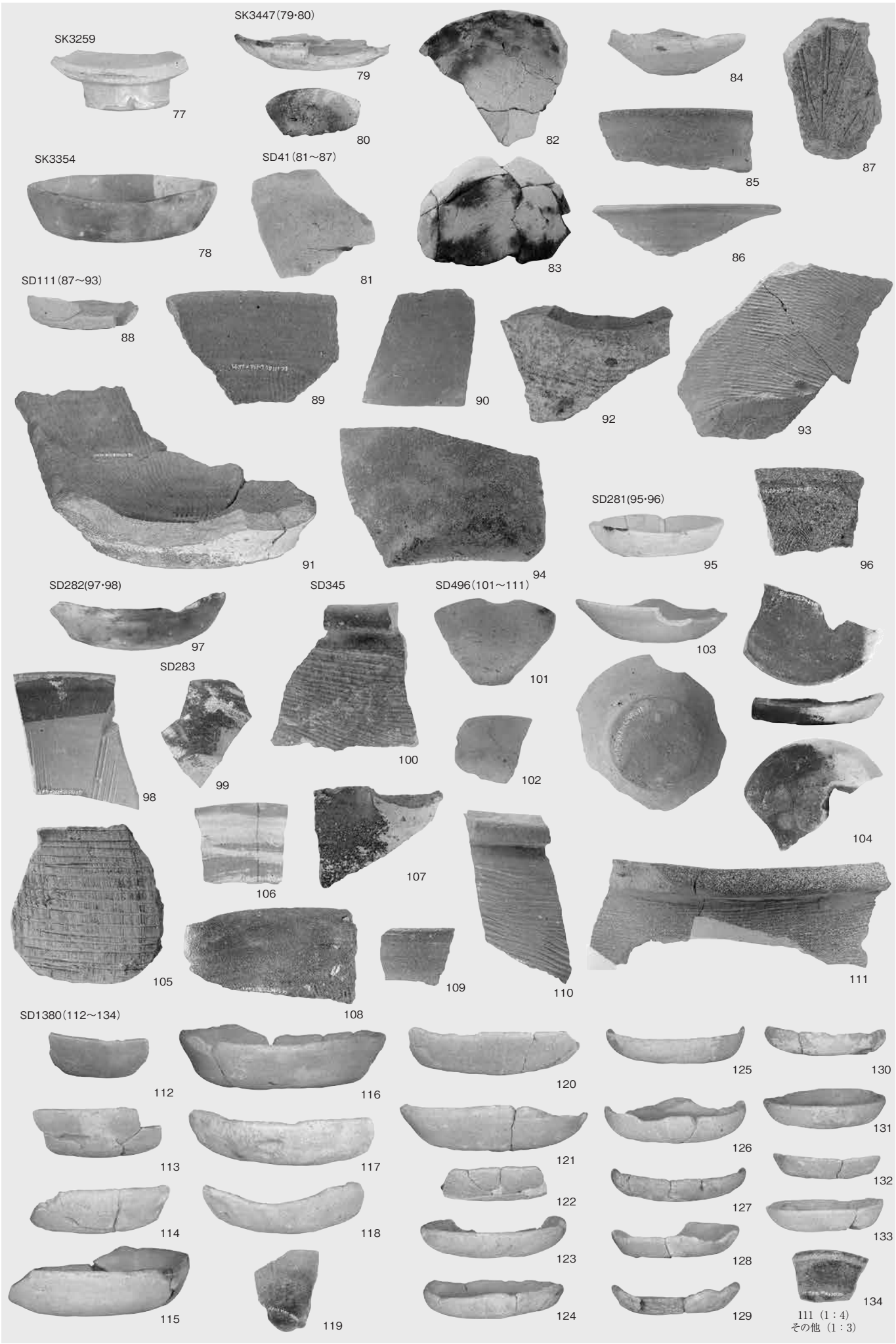
1区下層　SD4193・SD4194　完掘　東から

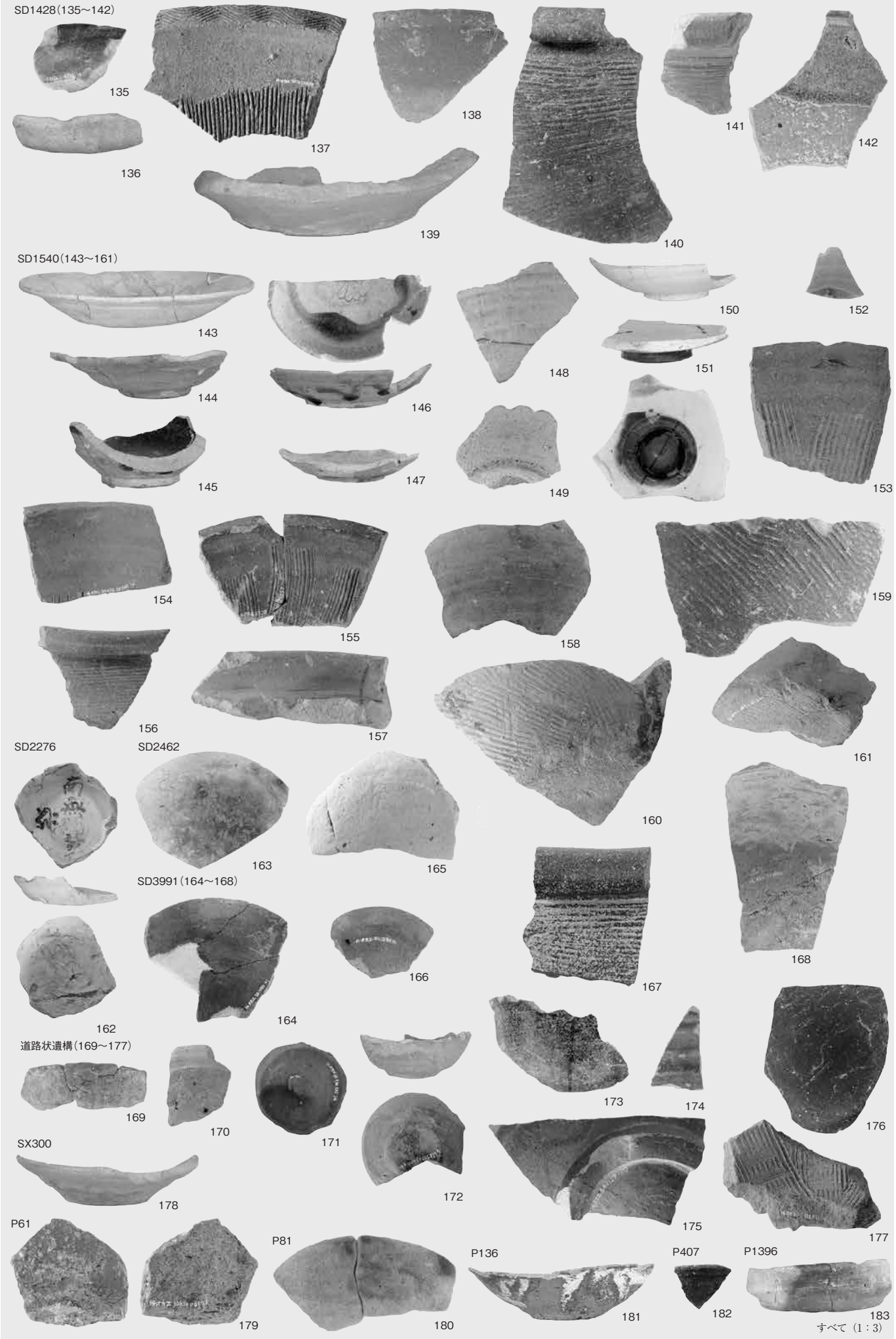
1区下層　全景　北西から

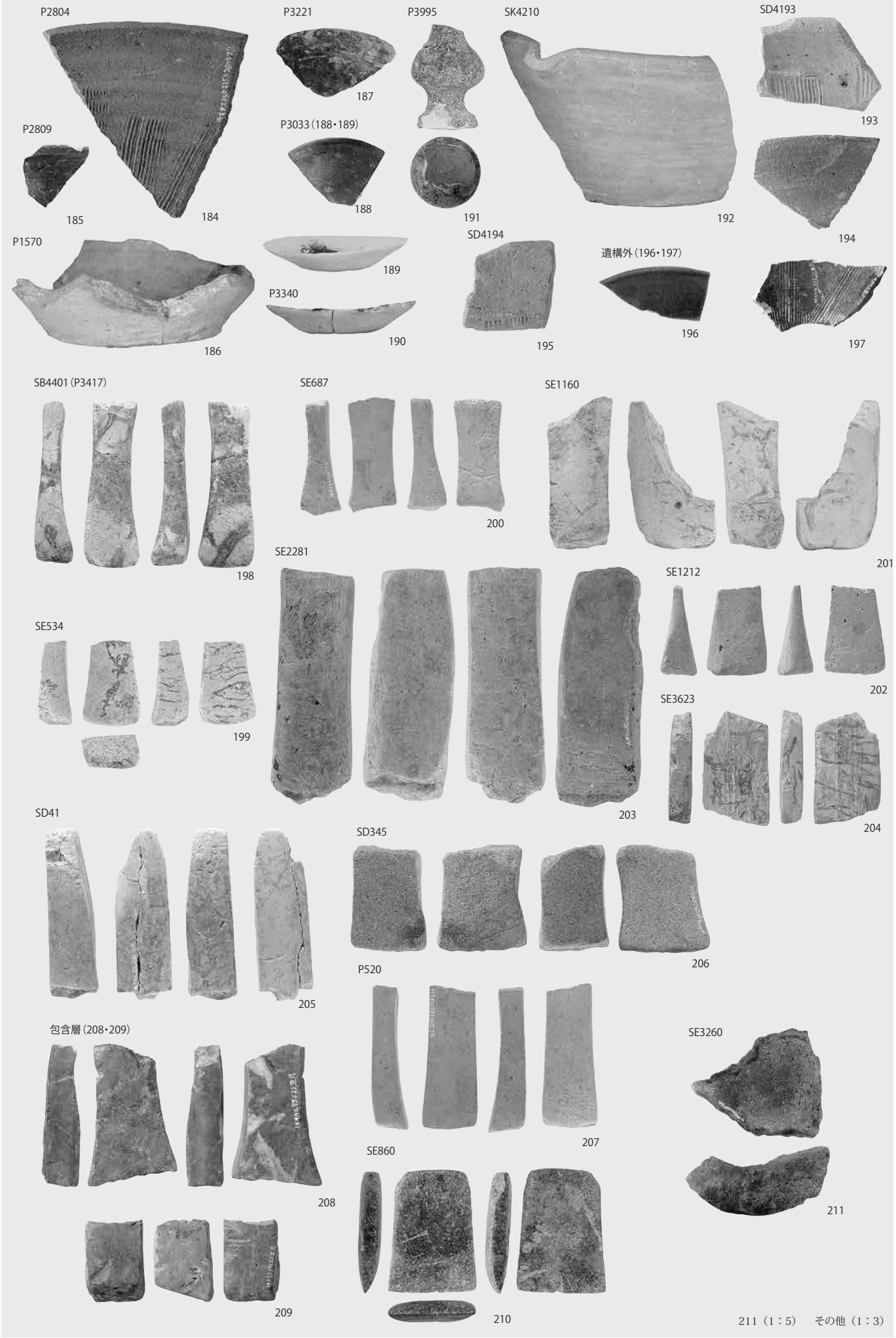
現地説明会の様子　東から

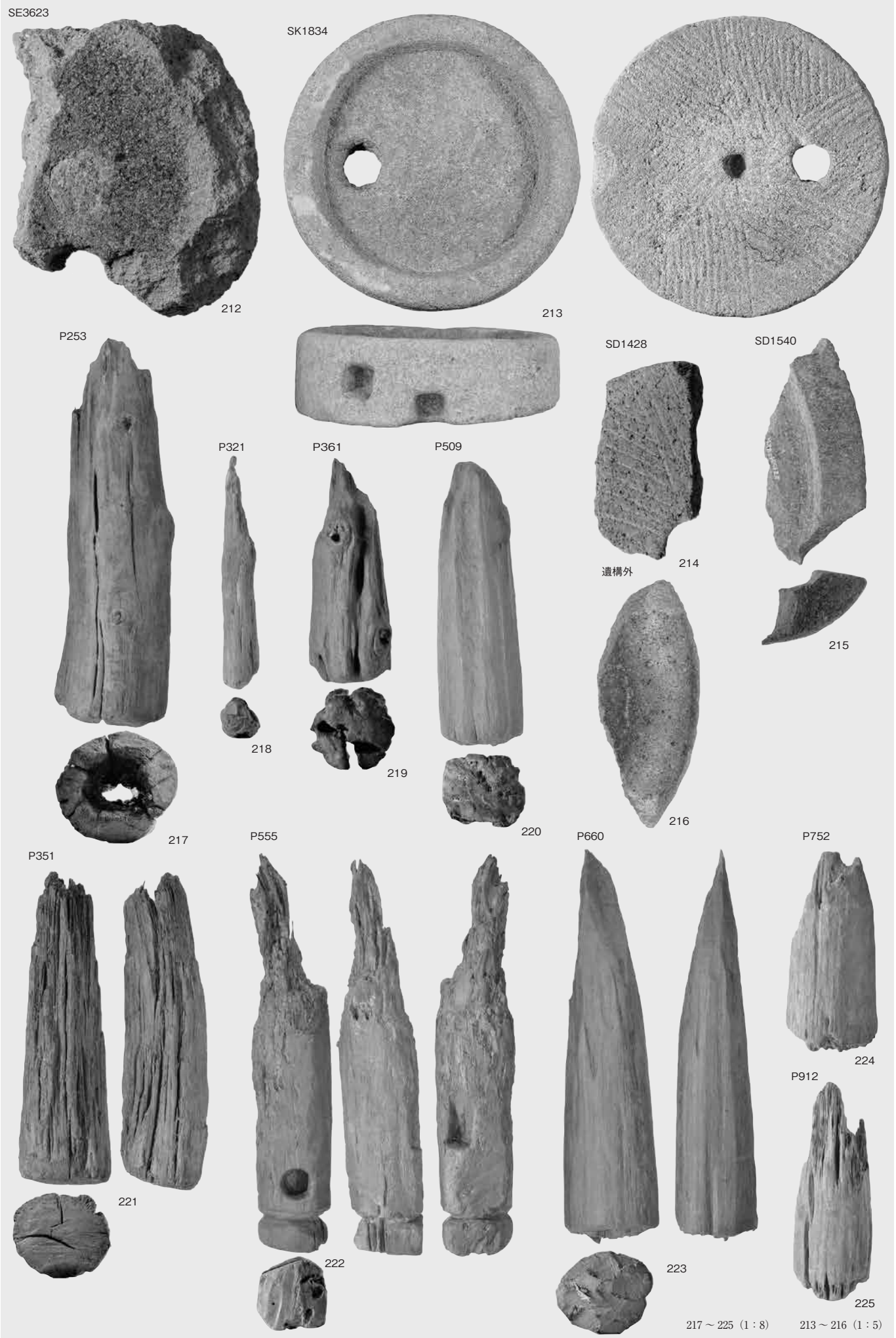

SE150
1
SE187
2
SE284(5・6)
5
SE383(7～12)
7
SE272(3・4)
3
4
6
8
9
10
SE953
12
13
15
SE1042(16・17)
16
17
SE936
14
11
SE4087
SE4151
20
SE1207
21
SE1384
18
19
SE1404
23
SE1210
22
SE1982(24・25)
24
SE2561
26
SE2562
27
25
SE3178
28
SE3623
31
SE1205
29
SE3704
32
SE3508
30
すべて（1：3）

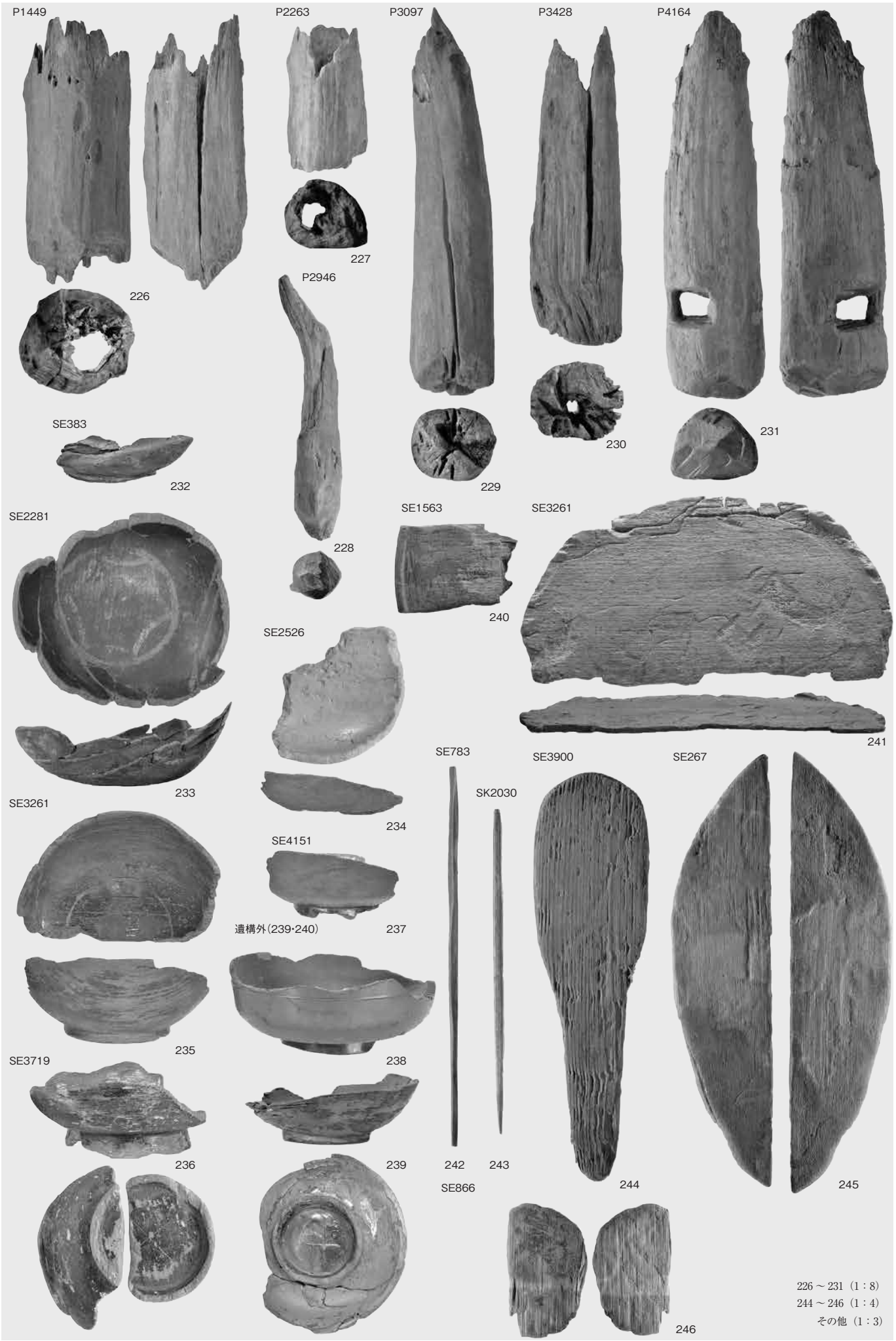

SE3764(32～48)
33
38
42
46
34
39
43
47
35
40
44
48
36
41
45
49
37
SE4275
51
SK647(52～54)
53
SE3940
50
SK654(55～58)
55
57
58
52
54
56
SK1227
SK1306
SK981
SK1128
62
61
SK1359
59
60
63
SK4086(63～65)
SK1435
SK1760
64
67
68
65
66
SK2129
74
SK2973(74･75)
SK1834(68･69)
69
SK1946
71
75
SK2030(71･72)
72
70
73
76
すべて（1：3）

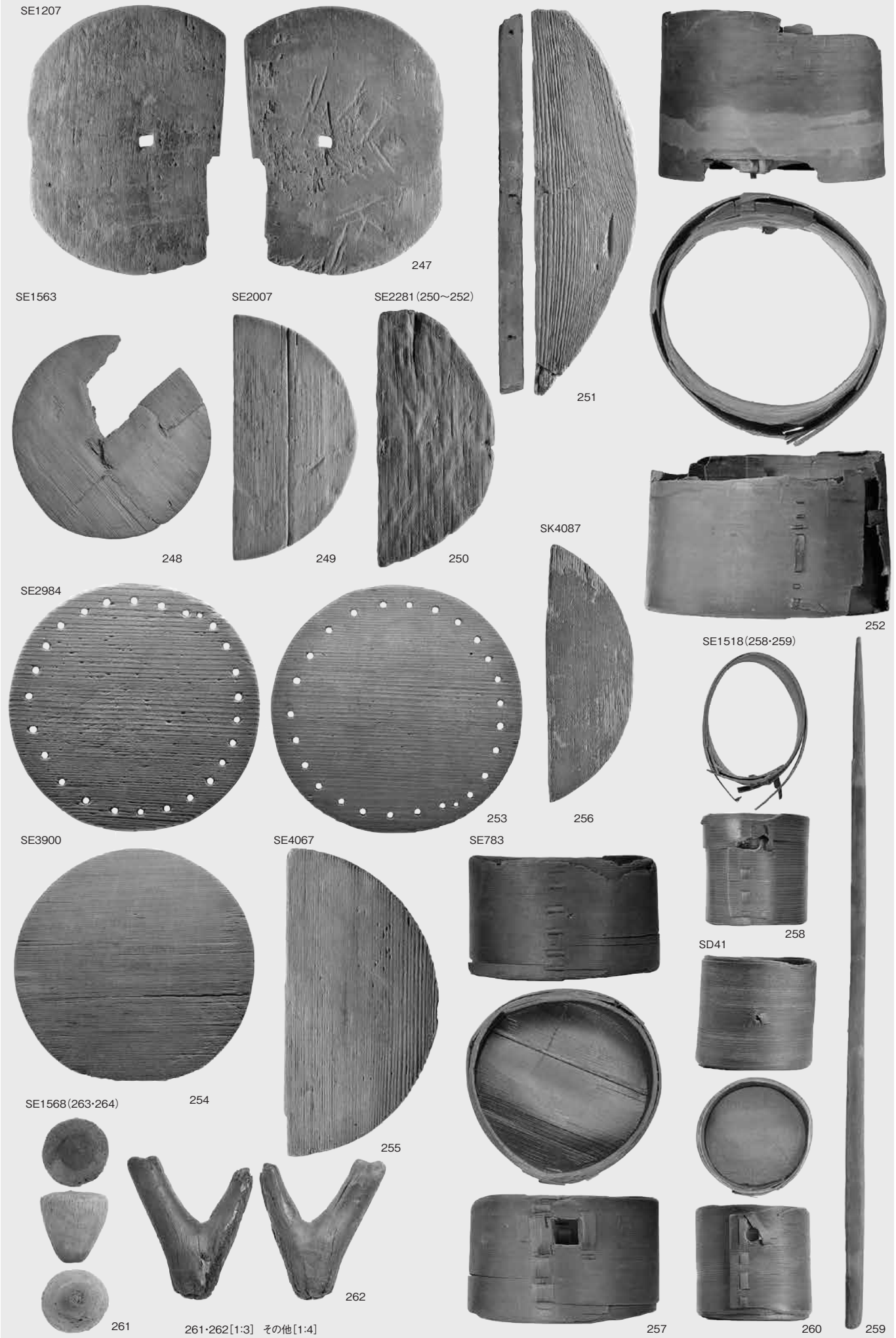

SK3259
77
SK3447(79・80)
79
80
82
84
85
87
SK3354
78
SD41(81～87)
81
83
86
SD111(87～93)
88
89
90
92
93
91
94
SD281(95・96)
95
96
SD282(97・98)
97
SD345
SD496(101～111)
101
103
SD283
98
99
100
102
104
105
106
107
108
109
110
111
SD1380(112～134)
112
116
120
125
130
113
117
121
126
131
114
118
122
127
132
115
119
123
128
133
124
129
134
111（1：4）
その他（1：3）


SD1428(135～142)
135
136
137
138
139
140
141
142
SD1540(143～161)
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
SD2276
SD2462
162
163
164
165
166
167
168
SD3991(164～168)
道路状遺構(169～177)
169
170
171
172
173
174
175
176
177
SX300
178
P61
179
P81
180
P136
181
P407
182
P1396
183
すべて (1：3)

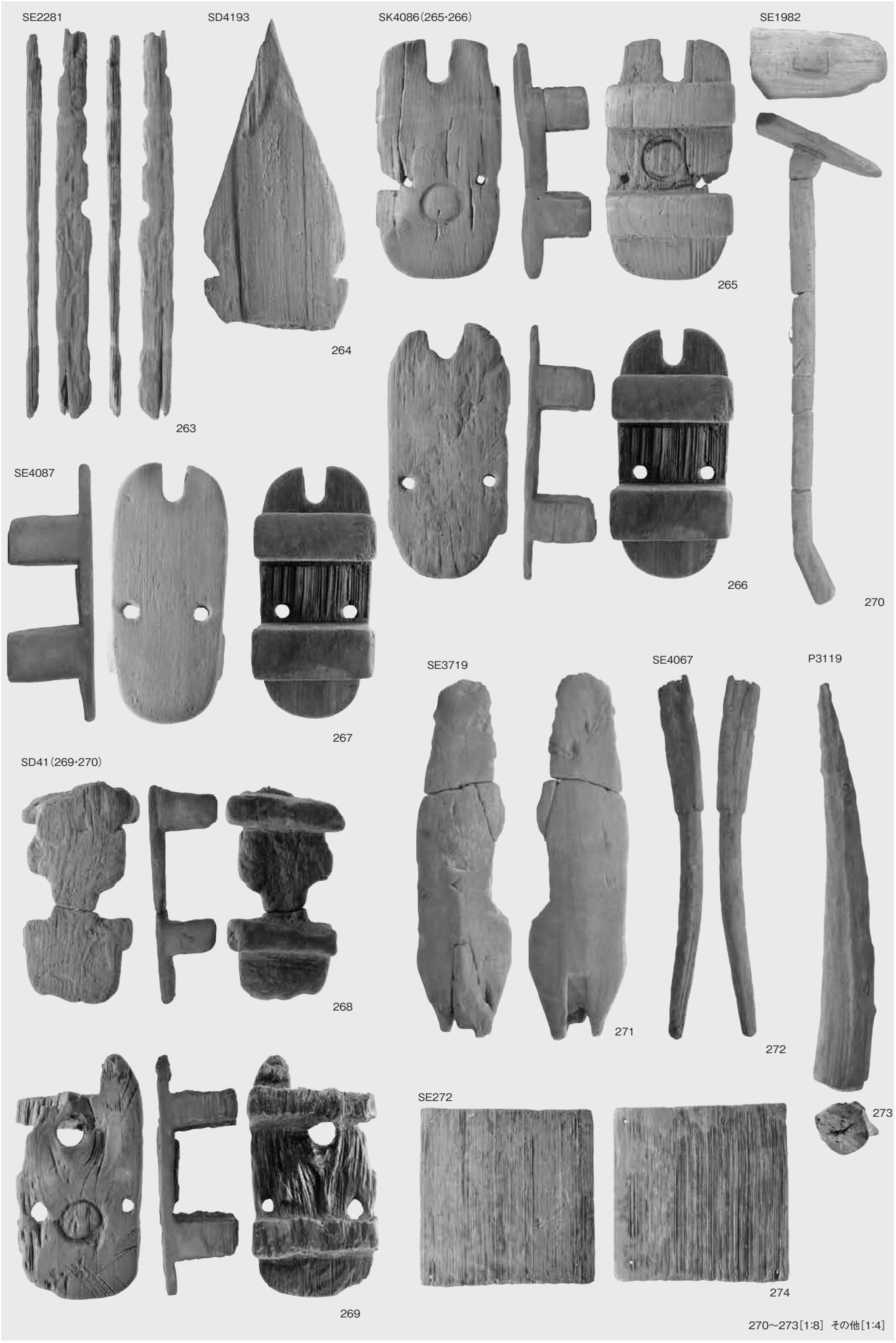

P2804
184
P2809
185
P3221
187
P3995
191
SK4210
192
SD4193
193
194
P3033（188・189）
188
P1570
186
189
P3340
190
SD4194
195
遺構外（196・197）
196
197
SB4401（P3417）
198
SE687
200
SE1160
201
SE2281
203
SE1212
202
SE534
199
SE3623
204
SD41
205
SD345
206
P520
207
包含層（208・209）
208
209
SE860
210
SE3260
211
211（1：5）　その他（1：3）


SE3623
212
SK1834
213
P253
217
P321
218
P361
219
P509
220
SD1428
214
遺構外
216
SD1540
215
P351
221
P555
222
P660
223
P752
224
P912
225
217～225（1：8）
213～216（1：5）


P1449
226
P2263
227
P2946
228
P3097
229
P3428
230
P4164
231
SE383
232
SE2281
233
SE2526
234
SE1563
240
SE3261
241
SE3261
235
SE4151
遺構外(239・240)
237
SE783
242
SK2030
243
SE3900
244
SE267
245
SE3719
236
238
239
SE866
246
226～231（1：8）
244～246（1：4）
その他（1：3）



261･262［1:3］　その他［1:4］



270～273[1:8]　その他[1:4]

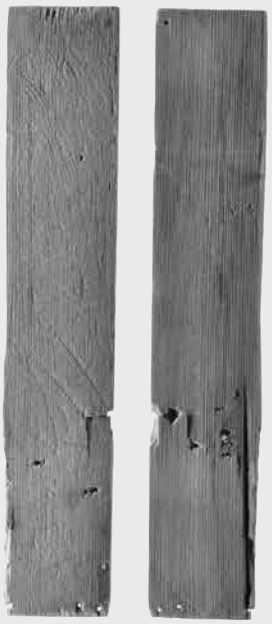
SE777
275

SE832
276

SE1207
277

SE1563
278

SE3704
279


SD41
280

SD4182
282

SK4086(283･284)
283

284

SX300
281

SE179
285

SE3507
286

SK1809(287･288)
287

288

SK1946(289･290)
289

290

SE3150
291

275[1:8]　282[1:6]　276～281[1:4]　286～291[2:3]　その他[1:3]

報 告 書 抄 録

ふりがな	おかえいせき　いち
書名	丘江遺跡Ⅰ
副書名	一般国道８号柏崎バイパス関係発掘調査報告書
巻次	ＸＶ
シリーズ名	新潟県埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第 275 集
編集著者名	今井昭俊（株式会社吉田建設）・春日真実・山崎忠良（公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団） パリノ・サーヴェイ株式会社
編集機関	公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
所在地	〒 956-0845　新潟県新潟市秋葉区金津 93 番地１　TEL 0250（25）3981
発行年月日	西暦 2018（平成 30）年 3 月 30 日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 （㎡）	調査原因
		市町村	遺跡番号					
おかえいせき 丘江遺跡	にいがたけんかしわざきし 新潟県柏崎市 たつか 田塚ほか	15205	1010	37° 21′ 59″	138° 35′ 04″	20140414 ～ 20141227	9,750	一般国道８号柏崎バイパス建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
丘江遺跡	遺物包蔵地	弥生時代中期～古墳時代前期		弥生土器・磨製石斧	遺物が散発的に出土した。
	集落・生産域	中世 近世	掘立柱建物、井戸、土坑、畑作溝、溝、ピット、水田	土師質土器、輸入陶磁器、国産陶磁器、石製品、木製品、土製品、金属製品	

要約	丘江遺跡は、柏崎平野北西部、鯖石川左岸の沖積地に立地する。調査の結果、中･近世（13 ～ 17 世紀）の遺構・遺物を検出した。主体は 14 世紀中葉～後半・16 世紀後半～ 17 世紀前半である。遺構は、区画溝によって掘立柱建物や井戸・土坑を計画的に配置する様子が窺える。遺物は土師質土器、珠洲焼、唐津焼の出土が目立つ。中には、「南無阿弥陀□」･「□妙法□」と記された土師質土器皿が出土するなど宗教関連の遺物も存在する。このような調査結果から、当遺跡は地域における拠点で、有力な在地勢力が所在する集落であった可能性がある。

新潟県埋蔵文化財調査報告書　第275集

一般国道８号柏崎バイパス関係発掘調査報告書ＸＶ

丘 江 遺 跡 Ⅰ

2018(平成30)年３月29日印刷　編集・発行　新潟県教育委員会
2018(平成30)年３月30日発行　〒950-8570　新潟市中央区新光町４番地１
電話　025(285)5511

公益財団法人　新潟県埋蔵文化財調査事業団
〒956-0845　新潟市秋葉区金津93番地1
電話　0250(25)3981
FAX　0250(25)3986

印刷・製本　株式会社　文化
〒954－0057　新潟県見附市新町３丁目６番14号
電話　0258(62)0558

新潟県埋蔵文化財調査報告書 第275集『丘江遺跡Ⅰ』 正誤表　　2022年3月追加

頁	位置	誤	正
42	上から８・９行目	土錘（図版63・115　283） 283は土錘で…	土錘（図版63・115　284） 284は土錘で…
42	上から10・11行目	羽口（図版63・115　284） 284は羽口で…	羽口（図版63・115　283） 283は羽口で…